

庁議における審議要旨	
日時	
令和7年12月25日	午後3時00分～午後4時00分
場所	
庁議室	
出席者	
区長、副区長、副区長、教育長、総務企画部長、管理部長、区民生活部長、地域文化スポーツ部長、産業経済部長、環境清掃部長、福祉部長、健康部長、健康推進担当部長、子ども家庭部長、防災都市づくり部長、土木担当部長、会計管理部長、教育部長、総務企画課長、企画担当課長、財政課長、広報課長	
付議案件	
1 令和7年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について 2 第50回荒川区政世論調査結果について 3 「荒川区スポーツ推進プラン」の素案について 4 私債権にかかる債権管理の取組状況について 5 DX推進に向けた取組について	
審議の要旨	
1 令和7年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について 教育総務課長から資料に基づき説明があり、了承。	
2 第50回荒川区政世論調査結果について 秘書課長から資料に基づき説明があり、了承。 (主な意見・質疑) ○今回の世論調査における自由意見の内容の特徴はどのようなものか。 ・ 今回は調査の回収数が多いため、自由意見の数が増えている。特に、外国人の方のごみ出し等のマナーに関する意見が目立っている。	
3 「荒川区スポーツ推進プラン」の素案について スポーツ振興課長から資料に基づき説明があり、了承。 (主な意見・質疑) ○現在、学校の部活動を地域のスポーツ施設等を活用して行う視点が重要となっているが、プランにはどのように盛り込まれているのか。 ・ 基本目標1の施策1「子どもたちのスポーツ活動を充実する」の主な取組として「部活動地域展開の推進」を掲げ、将来的な部活動の地域展開に向け、令和7(2025)年度にモデル校1校で開始した地域連携モデル事業について検証を行いながら対象校や種目等の拡大を図っていく旨を記載している。	
4 私債権にかかる債権管理の取組状況について 会計管理課長から資料に基づき説明があり、了承。	

- | |
|---|
| 5 DX推進に向けた取組について
企画担当課長及びデジタル推進課長から資料に基づき説明があり、了承。 |
|---|

配付資料

- | |
|---------------------------------------|
| 1 令和7年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について |
| 2 第50回荒川区政世論調査結果について |
| 3 「荒川区スポーツ推進プラン」の素案について |
| 4 私債権にかかる債権管理の取組状況について |
| 5 DX推進に向けた取組について |

庁議付議予定案件
(令和7年12月25日 午後 3時00分～)

- 1 令和7年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について

(説明者 教育総務課長)

- 2 第50回荒川区政世論調査結果について

(説明者 秘書課長)

- 3 「荒川区スポーツ推進プラン」の素案について

(説明者 スポーツ振興課長)

- 4 私債権にかかる債権管理の取組状況について

(説明者 会計管理課長)

- 5 DX推進に向けた取組について

(説明者 企画担当課長・デジタル推進課長)

○ 今後の庁議日程

1月 8日(木) 午後 4時00分～

1月15日(木) 午後 4時00分～

庁議説明資料	
7.12.25	教育委員会事務局教育総務課

令和7年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について

内 容	1 概要 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の点検・評価における本年度の実施結果及び今後の取り組み等について、報告する。 2 主要施策に関する点検・評価について 平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年度から毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、議会への報告や公表する事が義務付けられた。 3 令和7年度の対象事業 学校図書館支援事業 4 外部評価を行った学識経験者 (1) こやまつとむ 小山 勉氏 東京未来大学こども心理学部保育・教職センター特任教授 (2) かまたかずひろ 鎌田和宏氏 帝京大学教育学部初等教育学科教授 5 経過 8月28日 点検評価会議（事業説明） 10月 3日～17日 日暮里幼稚園、ひぐらし小学校、諏訪台中学校視察 11月28日 点検評価会議（取りまとめ） 6 外部評価の概要 (1) 小山勉氏からの評価 ア 読書センター機能に関して ・「家読」に関しては、小学校高学年や中学生の子どもには難しい面もみられる。区立図書館と連携して保護者にリーフレット(うちリス等)、各校に『「家読」実践事例集』を配布するなど、普及・啓発を図っており、更なる効果が上がることを期待する。 イ 学習センター機能に関して ・調べ学習に注力するあまり、本の面白さを感じられなくなる懸念もある。本来の読書の楽しさを伝える指導も行っていくことが肝要である。 ウ 情報センター機能に関して ・学校図書館においてもDX化が進んでいる。児童・生徒は、タブレットPCを活用して必要な情報を収集したり、電子書籍を閲覧することができる。情報センター機能のさらなる充実を期待する。 エ まとめ ・荒川区の施策については、子どもの実態に合わせた明確なねらいのもとに着実な取組がなされていると考える。荒川区の学校図書館がさらに充実していくことを大いに期待する。

	(2) 鎌田和宏氏からの評価 ア 教育委員会の取り組み 【1】 学校図書館支援室の取り組み 元管理職が配置されていることは重要で、学校図書館の利活用の鍵は管理職の理解によるところが大きく、他自治体での事例でも元管理職が支援を行うことの有効性が指摘されている。 【2】 エビデンスにもとづく読書・学校図書館活用の活性化 区内全校の学校図書館活用状況調査を実施している。このような自治体は全国的にみても稀であり、支援はこのようなエビデンスをもとにして行われ、効果についてもこれによって評価・検証できる。 イ 学校園の状況～視察から～ ・日暮里幼稚園（10月3日）：図書室は充実し、各教室にも日常生活と図書が結びつく工夫（図鑑の配置等）があった。 ・ひぐらし小学校（10月6日）：課題は児童急増に伴う施設増強と電子書籍の検討である。 ・諏訪台中学校（10月17日）：特筆すべきは学校図書館を活用した年間指導計画を示して説明されたことである。年間計画活用を実践し教育課程に応じ磨き上げている。 ウ 総括 ・学校図書館が良好に整備され、政策が適切に実施されていると評価する。これまで取り組みを充実させつつ、ICT機器の利活用とのベストミックスについても検討し、更なる発展を期待したい。 7 教育委員会の今後の取り組み ・本を活用して調べる学習については、調べる学習コンクールの参加状況や学力調査の結果から、概ね定着しているが、今後も、学校と連携して子どもが友達に本を様々な方法を用いて紹介する取組み等を推進し、子どもたちが進んで本を読めるよう働き掛けていく。 ・小学校高学年及び中学生の「家読（うちどく）」の推進のため、区立図書館との連携（区立図書館司書が学校で本や読書に関する講話を行うブックトークや読み聞かせ会、お話し会をはじめ、うちリス、太鼓ボン、ビブリオバトル及びPOPづくり等）をさらに深めるとともに、スクリレやチラシを用いて、保護者に子どもが読んでいる本や読み終わった本を読むことを提案し、子どもたちが興味をもっている事柄について知っていただけるよう働き掛けていく。 ・子どもたちの情報活用能力の育成をはじめ、本区の学校図書館支援事業全体の更なる充実を図るため、学校司書研修会、司書教諭研修会を通じて、先進的に区内で取り組んでいる事例を各学校で共有するとともに、学校図書館活用に関する先進自治体への視察を行うなど、取組みを推進していく。				
今後の予定	令和8年 1月 9日 教育委員会定例会報告 15日 文教・子育て支援委員会報告				
	議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見
	1月15日 文教・子育て支援委員会	委員会報告後	—	委員会報告後	—

令和 7 年度
荒川区教育委員会主要施策
に関する点検・評価報告書

令和 7 年〇〇月

荒川区教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	点検・評価の方法等について	2～3
	（1）教育委員会の主要施策について	
	（2）点検・評価対象事業	
	（3）点検・評価の実施方法	
	（4）学識経験を有する者	
	（5）学識経験者の視察先	
3	対象事業の点検・評価	4～18
	学校図書館支援事業	
	目的・対象・事業概要・取組状況・現状と課題（4～13）	
	外部評価 小山 勉 氏（14～15）	
	外部評価 鎌田 和宏 氏（16～17）	
	教育委員会の今後の取組み（18）	
	参考資料	19～30
	・【教育委員会の活動】	
	・【荒川区教育委員会の事務点検・評価実施要綱】	

1 はじめに

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年度から、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、議会に提出するとともに公表することが義務付けられた。

また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされた。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、区民への説明責任を果たすために実施することになったものである。

本報告書は、同法に基づき、教育委員会の活動を振り返るとともに、教育委員会の主要施策について、教育委員会自らが点検・評価を行い、学識経験者の意見を付して作成したものである。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の方法等について

(1) 教育委員会の主要施策について

教育委員会では、平成19年に策定された荒川区基本構想を受け、学校教育の分野においても、これまで進めてきた取組の成果を踏まえ、教育をととして区民の夢や心を育むための「子育て教育都市」を実現するため、これからの学校教育の在り方や施策の方向性を示すことを目的として、5～10年間の計画期間で、荒川区学校教育ビジョンを策定した。

そして、平成29年には、従来の荒川区学校教育ビジョンにおける成果と課題を分析し、今後の方向性を明らかにした上で、平成29年度からの10年間の計画期間とする新たな荒川区学校教育ビジョンを作成した。

そのうえで、荒川区学校教育ビジョンに示されている中長期目標を達成するために、荒川区学校教育ビジョンの3つの方向性に沿いながら、6本の施策の柱を推進していくための具体の取組内容を示した学びの推進プランも策定し、教育委員会の主要施策を明らかにしているところである。

(2) 点検・評価対象事業

学校図書館支援事業

(3) 点検・評価の実施方法

ア 点検・評価は、教育委員会主要施策について、評価及び今後の取組の方向性を示すものとし、毎年1回実施する。

イ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、学識経験者の意見を伺う機会を設ける。

ウ 対象事業について、前年度の実績を中心に今年度の実施状況等を合わせて、点検・評価を行う。

エ 教育委員会で点検・評価を行った後、その結果を取りまとめ、報告書を荒川区議会へ提出するとともに、区民へ公表する。

(4) 学識経験を有する者

教育に関し学識経験を有する方に集まっていただく機会を設け、区立幼稚園・小学校・中学校を視察の後、御意見等をいただいた。

こやま つとむ
小山 勉 氏（東京未来大学こども心理学部保育・教職センター特任教授）

かまた かずひろ
鎌田 和宏 氏（帝京大学教育学部初等教育学科教授）

(5) 学識経験者の視察先

日暮里幼稚園、ひぐらし小学校、諏訪台中学校

3 対象事業の点検・評価（学校図書館支援事業）

目的
より発展的な学校図書館運営を行い、各校における言語活動の充実（国語力の向上）に資するために、学校司書を全校に常駐配置（月20日）するとともに、学校図書館スーパーバイザー（1名）の配置を通して、学校司書の指導育成機能を強化、学校司書活用の充実を図ることにより、あらゆる場面での学校図書館活用を活性化する。
対象
全区立小学校・中学校
事業概要
1 学校図書館の活用を促進する人材確保 （1）学校司書の全校配置 （2）学校図書館長支援員の配置 （3）学校図書館スーパーバイザー（1名）の配置 2 各職層に応じた研修会の実施 （1）学校司書研修会 （2）新任学校司書研修会 （3）司書教諭研修会 （4）区外転入・新任教諭研修会 3 区における読書活動推進を促すその他の取組 （1）学校図書館支援室の設置 （2）教育課程に位置付けた意図的・計画的な学校図書館の活用 （3）学校図書館活用状況調査の実施 （4）学校司書連絡会の実施 （5）チャレンジ講座の実施 （6）「荒川区 図書館を使った調べる学習コンクール」の実施 （7）「全国図書館を使った調べる学習コンクール」への応募 （8）「荒川区 小論文コンテスト」の実施 （9）「家読（うちどく）」の推進 （10） 各種刊行物の作成・配布
取組状況
1 学校図書館の活用を促進する人材確保 （1）学校司書の全校配置 平成21年度より、児童図書や児童文学に関する広範な知識と、子どもの発達の段階に応じた図書の選択に関する知識及び子どもの読書指導に関する知識と技術を有する司書又は司書教諭を学校司書として、1日あたり6時間勤務、月20日間、全区立小・中学校に配置。

主な勤務内容は、蔵書管理、貸出業務等の日常的な学校図書館の運営、司書教諭や図書主任との連携を授業づくり及び授業への参加、公立図書館との連携を行う。

(2) 学校図書館長支援員の配置

平成30年度より、学校図書館の運営に知見を有する元学校管理職を、学校図書館支援員として、1日7時間45分、月16日間、学校図書館支援室に配置。

主な業務内容は、各学校を訪問し、学校図書館長である校長及び学校司書から、学校図書館の活用状況をヒアリングした後、更なる活用に向けた指導・助言、各種研修会の企画・運営、学校図書館支援室からの刊行物の作成等を行う。

(3) 学校図書館スーパーバイザー（1名）の配置

平成21年度より、より高度な専門性と豊かな経験を有する司書または司書教諭を学校図書館スーパーバイザーとして、1日7時間45分、月16日間、学校図書館支援室に配置。

主な業務内容は、学校図書館長支援員と共に高い専門性と指導力をもって、学校司書を指導し学校図書館運営を支援する他、各種研修会の計画、啓発リーフレットの作成、推薦図書リストの作成及び活用促進等を行う。

2 各職層に応じた研修会の実施

(1) 学校司書研修会

施設の見学や、学校司書と連携した授業の参観、推進校等の実践例の共有等を行うことで、全校に配置した学校司書の資質・能力の向上を図り、各校における学校図書館を活用した取組の更なる推進を図ることを目的として実施。

【令和7年度の取組 全4回（予定含む）】

- ・ 4月25日（金）国立国会図書館、国際子ども図書館の施設見学
講話「国立国会図書館、国際子ども図書館の使命・役割、機能について」
- ・ 7月 4日（金）授業参観、研究協議会、講義
講師 東京未来大学 特任教授 小山 勉 氏
- ・ 1月30日（金）荒川区教育委員会研究指定校研究 発表会への参加
講師 帝京大学 教授 鎌田 和宏 氏
- ・ 2月16日（月）「学校図書館学習・情報センター化推進校」事例発表

(2) 新任学校司書研修会

任用1年目の学校司書を対象に、荒川区の学校図書館の活用について、理解を深めることを目的として実施。

【令和7年の取組 全2回】

- ・ 4月15日（火）学校の教育活動について、学校司書の役割について
講師 学校図書館スーパーバイザー 小川 ひろみ 氏 他
- ・ 6月17日（火）図書館を使った調べる学習コンクールに向けて
講師 学校図書館スーパーバイザー 小川 ひろみ 氏 他

(3) 司書教諭研修会

学校図書館を活用した学習活動の中核として、大きな役割を担う司書教諭を対象として、推進校等の取組を共有したり、学校図書館を活用した年間指導計画の作成方法や、司書教諭の役割の理解を深めたりすることで、自校における学校図書館を活用した教育活動の更なる充実を図ることを目的として実施。

【令和7年度の取組 全4回（予定含む）】

- ・ 4月24日（木）調べる学習の進め方、司書教諭の役割について
講師 学校図書館スーパーバイザー 小川 ひろみ 氏
- ・ 7月 4日（金）授業参観、研究協議会、講義
講師 東京未来大学 特任教授 小山 勉 氏
- ・ 1月30日（金）荒川区教育委員会研究指定校研究 発表会への参加
講師 帝京大学 教授 鎌田 和宏 氏
- ・ 2月16日（月）「学校図書館学習・情報センター化推進校」事例発表

(4) 区外転入・新任教諭研修会

荒川区で授業を行う1年目教員を対象に、荒川区の学校図書館活用事業の理解を深めるとともに、実際に学校図書館を活用した授業を実践することで、各校の年間指導計画を確実に実践することを目的として実施。

【令和7年度の取組 全2回】

- ・ 4月中 荒川区における学校図書館事業について、授業実践について
講師 学校図書館スーパーバイザー 小川 ひろみ 氏 他
- ・ 11月 学校司書とした連携した学校図書館を活用した授業実践

3 区における読書活動推進を促すその他の取組

(1) 学校図書館支援室の設置

平成21年度より、各校の学校図書館の活用促進を支援することを目的に、教育センターに学校図書館支援室を設置。

学校図書館支援室には、学校図書館長支援員、学校図書館スーパーバイザー、教育センター司書（1日7時間45分、月16日）の3名配置。

主な業務内容は、学校における学校図書館活用の充実に向けた学校支援、学校司書及び司書教諭の資質向上に資する研修会の企画・運営、図書館を使った調べる学習コンクールに向けた取組、刊行物の配布等を行う。

(2) 教育課程に位置付けた意図的・計画的な学校図書館の活用

教育委員会が全区立小・中学校に「学校図書館教育全体計画・活用指導について」及び「学校図書館を活用した年間指導計画」を作成し、教育課程の補助資料として提出を義務付け、意図的・計画的な活用を推進。

(3) 学校図書館活用状況調査の実施

毎学期末に、学校図書館の活用状況（①一人当たりの貸出・閲覧冊数、②各

教科の指導における1学級当たりの学校図書館活用時数、③学校図書館図書標準の達成状況等）を全区立小・中学校から把握し、学校図書館支援室職員が学校訪問した際に、フィードバックし、更なる活用に向けた指導・助言を行う。

【令和6年度の実績 小学校全24校、中学校全10校の平均値】

	一人当たりの貸出・ 閲覧冊数（冊）	各教科の指導にお ける1学級当たり の活用時数（回）	学校図書館図書標 準の達成状況（％）
小学校	119 冊	141.2 回	170.6％
中学校	10.3 冊	108.1 回	145.3％

【令和5年度の実績 小学校全24校、中学校全10校の平均値】

	一人当たりの貸出・ 閲覧冊数（冊）	各教科の指導にお ける1学級当たり の活用時数（回）	学校図書館図書標 準の達成状況（％）
小学校	92.1 冊	129.6 回	168.4％
中学校	11.2 冊	103.5 回	142.1％

【令和4年度の実績 小学校全24校、中学校全10校の平均値】

	一人当たりの貸出 冊数（冊）	各教科の指導にお ける1学級当たり の活用時数（回）	学校図書館図書標 準の達成状況（％）
小学校	87.1 冊	112.4 回	169.4％
中学校	9.5 冊	88.9 回	140.2％

（4）学校司書連絡会の実施

学校司書が区立図書館の担当者が対象となり、学校で実践している取組や区立図書館での取組を共有するとともに、学校司書が協働して教科学習の資料の研究活動を行うことで、各校の読書活動の充実を図ることを目的として実施。

【令和7年度の実績 全3回（予定を含む）】

- ・ 5月19日（月） 区立図書館との情報共有、研究テーマに関する協議
- ・ 11月11日（火） 区立図書館との情報共有、研究テーマに関する協議
- ・ 2月20日（金） 区立図書館との情報共有、研究テーマに関する協議

（5）チャレンジ講座の開催、探求学習動画の作成・配信

「図書館を使った調べる学習コンクール」の応募意欲を高めることを目的として、区立小学校の児童を対象に、区立図書館を活用して、学校司書、区立図書館司書から支援を受けながら、参加児童が短時間で調べ学習を体験できる「チャレンジ講座」を平成23年度から開催。

令和7年度に、「図書館を使った調べる学習コンクール」の指導を支援することを目的として、授業等で活用可能な探求学習に関する説明動画を作成・配信。

【令和7年度の取組 全8回】

日程	時間	会場	対象
6月7日(土)	午前	ゆいの森	小学校第1～3学年
6月7日(土)	午後	ゆいの森	小学校第4～6学年
6月21日(土)	午前	ゆいの森	小学校第1～3学年
6月21日(土)	午後	ゆいの森	小学校第1～3学年
6月28日(土)	午前	尾久図書館	小学校第1～3学年
6月28日(土)	午後	尾久図書館	小学校第1～3学年
7月5日(土)	午前	南千住図書館	小学校第1～3学年
7月5日(土)	午後	南千住図書館	小学校第4～6学年

(6)「荒川区 図書館を使った調べる学習コンクール」の実施

図書館資料をはじめ様々な情報を活用した「調べる学習」を通じて、児童・生徒自らが考え、判断し、表現できる力を育むとともに、荒川区の公共・学校図書館利用の促進と「調べる学習」の普及を図ることを目的として平成23年度から実施。

【実績 過去3年間】

年度		応募数
令和6年度	小学校(24校)	6,578
	中学校(10校)	2,158
	合計(34校)	8,736
令和5年度	小学校(24校)	6,297
	中学校(10校)	1,850
	合計(34校)	8,147
令和4年度	小学校(24校)	5,799
	中学校(10校)	1,834
	合計(34校)	7,633

(7)「全国図書館を使った調べる学習コンクール」への応募

【実績 過去3年間】

年度		推薦作品数	優秀賞 作品	優秀賞 団体	優良賞 作品	奨励賞 作品	佳作 作品
令和6年度	小学校	99 (91,554)	0	0	7	19	73
	中学校	33 (30,008)	0	0	4	6	23
	合計	123 (121,562)	0	0	11	25	96

令和5年度	小学校	9 5 (89,419)	2	0	7	7	7 9
	中学校	2 8 (28,006)	0	0	2	7	1 9
	合計	1 2 3 (117,425)	2	0	9	1 4	9 8
令和4年度	小学校	8 7 (83,945)	1	0	3	4	7 9
	中学校	2 8 (26,815)	0	0	0	1 0	1 8
	合計	1 1 5 (11,760)	1	0	3	1 4	9 7

(8) 「荒川区小論文コンテスト」の実施

読書活動の一層の充実を図り、学校図書館を活用した学習活動を推進するとともに、全ての教科等において言語を用いた論理的思考力や表現力の育成を目的として「荒川区 小論文コンテスト」を平成18年度から実施。

【実績 過去3年間】

年度		応募数
令和6年度	小学校(24校)	6,982
	中学校(10校)	1,990
	合計(34校)	8,972
令和5年度	小学校(24校)	7,270
	中学校(10校)	1,919
	合計(34校)	9,189
令和4年度	小学校(24校)	7,452
	中学校(10校)	2,195
	合計(34校)	9,647

(9) 「家読(うちどく)」の推進

令和3年度より、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、長期休業中等に読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆をつくる「家読(うちどく)」を推進。

(10) 各種刊行物の作成・配布

ア 学校図書館活用指針

学校における読書活動の推進、「荒川区学校教育ビジョン」の理念の下に、学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として学校の教育活動全般を支えるものであると位置付けることを目的として平成2

5年度に策定。「荒川区学校教育ビジョン」の改定、「荒川区子ども読書活動推進計画（第四次）」の改定に伴い、平成28年度、令和3年度に改訂。

イ 荒川区推薦図書リスト「本との出会い」

平成22年度から子どもたちの読書活動の推進を図るため、発達の段階に応じた推薦図書リスト「本との出会い」を作成し、小学校第1学年、中学校第1学年に配布。平成27年度、令和4年度に改訂。

ウ 教科学習教材「荒川区内調べ あら・カード」

令和元年度の学校司書連絡会で、学校司書が研究した小学校第3学年用の教科学習の教材を、区全体で活用できるよう令和2年度に修正・共有。令和6年度に、情報を更新するとともにデジタル活用できるよう修正。

エ 「荒川区学校図書館学習・情報センター化推進校 実践報告書」

区は平成28年度に全区立小・中学校が学習・情報センター化推進校に指定。各校における学校図書館利活用の取組の共有を目的として、平成28年度より、「荒川区学校図書館学習・情報センター化推進校 実践報告書」を作成・全校への配布。

オ 学校図書館だより

平成22年度、学校図書館支援室設置以降、学校における学校図書館の活用の推進や、各校における効果的な取組を共有することを目的に毎月、作成・配布。

現状と課題

【現状】

区では、「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」に基づき、児童・生徒の読書活動を充実させるため、様々な事業を取り入れている。これにより、児童等が主体的な読書活動を行い、豊かな心を育み、知識、教養、コミュニケーションの能力等を高め、生きる力及び人生を切り拓いていく力の育成に努めている。

・人材の確保と活用

学校司書や学校図書館長支援員などの学校図書館の活用を促進する人材を確保することで、各校が実態や発達の段階に応じた取組を实践でき、取組に向けた事前の打ち合わせや準備を行うことができている。

・研究体制の充実

各職層に応じた研修会を実施することで、学校図書館の効果的な活用方法の共有や国・東京都の動向を確認し、各校における読書活動の充実に向けた取組の参考としている。

・指針に基づく施策の展開

学校図書館活用指針等を用いて、区が具体的な方針や体制を示すことで、各校がこれを教育課程に位置付け、各校独自の取組を実施している。

・コンクールを通じた動機付け

「図書館を使った調べる学習コンクール」や「あらかわ小論文コンテスト」のコンクールを実施することで、目的をもった読書活動につながっている。

・家庭連携の推進

「家読（うちどく）」を推進することで、親子で読書に触れることを通じて、読書活動を促すとともに、親子で話し合う貴重な機会となっている。

【課題】

・「家読（うちどく）」の年齢層別アプローチの必要性

親子で話し合う貴重な機会を創出することができる「家読（うちどく）」については、小学校低・中学年までは比較的、保護者の協力を得られやすく、その効果を期待できる。反面、高学年や中学生では、なかなか保護者の協力を得ることが難しい状況であり、この年齢層への効果的な普及啓発のため、新たな働き掛けが必要である。

・読書を楽しむ活動と調べる学習のバランス

令和7年度の全国学力学習状況調査の結果において、「読書は好き」と回答した中学校第3学年の生徒の割合は54.6%であり、全国平均を下回る結果となった。一方、令和6年度に実施した区の学力向上を図るための調査では、「学校図書館の本

や資料を活用した授業は楽しい」と回答した生徒の割合は72.4%と高水準である。今後は、子どもたちが進んで本を読み、本から新たな知識を習得したり、新たな事に興味をもったりするためにも、読書を楽しむ活動と本を活用して調べる学習をバランスよく実施することが必要である。

・デジタル・アナログ併用への対応（学校図書館DX）

GIGAスクール構想、教育のDXを受け、子どもたちの情報活用能力の育成は、必要不可欠である。学校図書館においても、読書センター、学習センター、情報センターとして、デジタルとアナログを併用した取組を充実させる必要がある。

1 はじめに

荒川区では、平成 30 年 5 月 27 日、「読書を愛するまち・あらかわ」を宣言した。読書活動推進に向けてこれまで区が行ってきた取組やその精神を未来につなげていくことで、子どもから高齢者まで、誰もが読書に親しみ、学びながら心豊かに暮らすことのできるまちづくりを目指している。これまで区が行ってきた取組とは、児童・生徒に「生きる力」を育成するという理念のもと、言語活動の充実に重点を置くことである。具体的には、平成 18 年度の図書標準 100% 全校達成、19 年度の学校図書館指導員（学校司書）全校配置から始まる。このことを契機に、荒川区の学校図書館の施策が全国的に注目されるようになった。それから約 20 年、現在の荒川区の学校図書館の状況を、視察を踏まえ学校図書館の機能ごとに所見を記す。

2 読書センター機能に関して

読書センター機能とは、児童・生徒の読書活動や読書指導の場を工夫し、読書好きの児童・生徒を育むことである。そのためには、乳幼児期からの切れ目のない支援が重要である。視察した幼稚園では、絵本の部屋以外にも教室、廊下、ピロティなど至る所に絵本が配置されていた。カブトムシに関する本のそばにはカブトムシの飼育箱が置いてある。季節やテーマに合わせ、関連する本が集められている。さまざまな工夫により園児の興味・関心を高めていることが分かる。降園前の教員の読み聞かせや保護者への絵本の貸し出しも効果的である。小・中学校も同様に、校内の至る所に本が紹介されているとともに、朝読書に取り組んでいる。学校図書館には、外国籍の生徒のために英語だけでなく他国言語の本も準備されている。区では、親子で同じ本を読み感想を伝え合うという「家読」を推奨している。令和 6 年度からは、児童・生徒が園児に読み聞かせを行ったり、園児が小学校の学校図書館を利用したりする「幼保小中連携による学校図書館活用に関わる取組」も始めた。乳幼児期からの切れ目のない支援を、区として取り組んでいることを大いに評価する。「家読」に関しては、幼稚園や小学校低学年の子どもの親には浸透しやすいが、小学校高学年や中学生の子どもには難しい面もみられる。区として保護者にリーフレットを配布したり、各校に『「家読」実践事例集』を配布したりして普及・啓発を図っており、更なる効果が上がることを期待する。

3 学習センター機能に関して

学習センター機能とは、児童・生徒の学習活動を支援したり授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりすることである。そのために、小・中学校では、調べ学習を充実させている。調べ学習では、課題を発見し、仮説を立て、調べ検証し、それをまとめるという一連の学習をとおり、思考力・判断力・表現力を高めることができる。視察した小・中学校では、学校図書館で担任教員と学校司書が連携して調べ学習を進めていた。児童・生徒は学校図書館の本や学校司書が公立図書館等から集めた関連の本などを活用し調べ学習をスムーズに進めている。これは、学校司書が児童・生徒の調べたい課題を把握し、適切に本を準備しているからである。そのために、区の学校図書館交換便事業や司書教諭の 2 時間軽減による打ち合わせ時間の確保が有効に使われ

外部評価 小山 勉（東京未来大学子ども心理学部保育・教職センター 特任教授）

ている。さらに、平成 23 年度から実施されている「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」や今年度から提供を開始された探究学習の動画「探求（調べる）学習を始めよう」も効果を上げている。その原動力として、平成 21 年度に設置された学校図書館支援室は、研修や学校訪問を通じて、司書教諭や学校司書の資質・能力を育んでいるからだと考えられる。反面、調べ学習に注力していくことにより本の面白さを感じられなくなり、読書から離れていくという児童・生徒もいるという。調べ学習を推進するとともに、本来の読書の楽しさを伝える指導もバランスよく行っていくことが肝要であると思われる。

4 情報センター機能に関して

情報センター機能とは、児童・生徒や教員の情報ニーズに対応したり児童・生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりすることである。特に、教員の授業支援になるような本や資料を収集、整理しておくことは重要である。視察した小・中学校とともに、新聞はバックナンバーも含め配置されている。修学旅行等の实地踏査で集めてきた資料などもまとめられている。教員研修で作成した学習指導案も見やすく整理されており、情報センターの機能が十分活用されていると評価する。昨今、社会のデジタル化、GIGA スクール構想を踏まえ、学校図書館もコロナ禍のような緊急時に備える DX 化なども進められている。児童・生徒は、タブレット PC で簡単に欲しい情報を調べられるようになってきた。電子書籍も導入され活用が広がっている。情報センターとして、さらなる充実を期待する。

5 おわりに

上記の所見で示したように、平成 19 年度から進められている荒川区の学校図書館の施策であるが、子どもの実態に合わせた明確なねらいのもとに、着実な取組がなされていると考える。この背景には、予算に裏付けされた蔵書の充実、適切な学校司書の配置、学校図書館支援室の丁寧な支援体制、子どもの実態に合わせたコンクールなどの施策の継続等、これまでの荒川区が取り組んできたさまざまな施策が十分生かされているからに違いない。これまでの施策を継続するとともに、それぞれの課題に合わせてブラッシュアップしながら、荒川区の学校図書館がさらに充実していくことを大いに期待する。

荒川区の「学びの推進プラン第3期 令和6年度～令和8年度」では、「荒川区学校教育ビジョン」（以下、プランとする）が示す6つの施策の柱ごとに重点項目及び推進目標が設定されている。読書の推進、学校図書館については「1 夢につながる主体的な学びを推進する」の具体項目「（2）＜重点＞学校図書館を活用し、興味関心を広げ探究する力を育む」として、30ある具体項目の中の15の重点項目に位置づけられている。これを具体化するために重点推進目標として①教育課程に位置づけた学校図書館の利活用を推進する②毎日実施する読書活動を充実する③区立図書館との連携を充実するを設定しており、これらを具体化するための10の取り組みを示している。これは「プラン 第2期」の検証において、子どもの学校図書館や本・資料を使った授業へ評価、情報入手における学校図書館の信頼度、読む能力（区調査と全国調査との比較）などの数々の肯定的成果をふまつつも、課題として以下の2点があげられていた

①図書館資料を使った授業について小学校低学年に比べ高学年は興味関心が低い傾向が見られ、「図書館を使った調べる学習コンクール」への積極的取り組みや区立図書館。各校の学校図書館担当者及び学校司書と連携し、具体的な学習活動を通して子どもたちの図書への関心や読書の意欲を高めていく

②読書の習慣づくりのために、教員が率先して読書し、朝読書や各教科等での読書・学校図書館の利活用をすすめる（「プラン 第3期」より鎌田要約）

基本的には、読書の推進と学校図書館の利活用が良好な状況であるとの評価の元に上記2点を重点として施策が展開されていることがわかる。ではこのために、実際どのような取り組みがされているのか、教育委員会の取り組み、実際の園・学校現場の状況について視察も交えて検討した。

（1）教育委員会の取り組み

小中学校全校に学校司書（大規模校では複数）配置を行い、教師、児童・生徒がいつでも学校図書館が利用できる状況が実現されている。この教育環境が活かされるように教育委員会は以下の様な働きかけをしていることがわかった。

①学校図書館支援室の取り組み

利活用活性化のため学校支援室を設置している。支援室には学校図書館長支援員（元管理職）、学校図書館スーパーバイザー（元司書教諭）、教育センター司書（元学校司書）が研修の実施と学校支援に取り組んでいる。これにより学校図書館環境の整備、学校司書配置の効果が生み出されるようになっている。特に元管理職が学校支援員として配置されていることは重要で、学校図書館の利活用の鍵は教育課程編成責任者である管理職の理解によるところが大きく、他自治体での事例でも元管理職が支援を行うことの有効性が指摘されている。また研修に於いては司書教諭、学校司書の研修が積極的に行われているだけでなく、他自治体からの転入校長・教諭に対する研修資料の作成と研修の実施は特筆に値する。初任者研修や中堅教員研修の研修課題の選択テーマの1つとして学校図書館の活用が位置づけられているとのことだった。今回評価の為のインタビューは行わなかったが、これまでに関与させていただいた支援室スタッフは高い見識と熱意を持った方々で、区の教育政策を強力に推進していく原動力となっていたことを付記

しておく。

②エビデンスにもとづく読書・学校図書館活用の活性化

教育委員会は区内全校の学校図書館活用状況調査を実施し、それにもとづいて学校への働きかけを行っている。本の貸出数、入館者数、電子書籍の閲覧数、各教科等での学校図書館活用状況（回数）、教育課程外（コンクール等）のための学校図書館活用状況、学校司書の勤務実績（担当者間の打合せを含む）、蔵書状況等を定期的に把握している。このようなきめ細やかな状況把握をしている自治体は全国的にみても稀である。上記学校図書館支援室の支援はこのようなエビデンスをもとにして行われ、効果についてもこれによって評価・検証できる。

（２）学校園の状況～視察から～

①日暮里幼稚園（10月3日）園長は読み聞かせを経営方針に明記し、自ら推進。週案にも絵本活用が位置づけ。図書室は充実し、各教室にも日常生活と図書が結びつく工夫（図鑑の配置等）があった。玄関には親子のスペースもあった。

②ひぐらし小学校（10月6日）学校司書が支援する2年生授業を参観後、校長らにインタビュー。校長は「図書館は削れない」と重点を置く。司書教諭は学校司書の常駐が重要と述べた。図書館は読書・探究の場として整備され、教員向け支援も多い。課題は児童急増に伴う施設増強と電子書籍の検討。

③諏訪台中学校（10月17日）全学級での朝読書後、2年生の探究学習と3年生のビブリオバトルを参観。2年生では学校司書が支援し、生徒は図書資料とタブレットを適切に併用。ビブリオバトルも活発だった。図書館環境も良好。聞き取りでは、校長が全校に図書館活用を働きかけていた。特筆すべきは、学校図書館を活用した年間指導計画を示して説明された点。年間計画活用それを実践し教育課程に応じ磨き上げている。中学校での全校的取り組みは難しい中、同校の取り組みは注目に値する。

3校園の視察を通じ、荒川区の読書推進・学校図書館利活用政策が現場で実践されていることが確認できた。区内の他校園での同様の取り組みを期待したい。

（３）総括

以上検討してきたが、学校図書館が良好に整備され、政策が適切に実施されていると評価する。課題もある。子どもの活字離れ、読解力の低下は全国的に指摘されていることであり、さらなる取り組みが求められているところである。そのためには担当者以外の全教職員の意識改革が鍵となる。子ども個々への読書推進の働きかけは、授業等での活用場面で有用さが実感され、自律的な読書習慣の形成と情報活用能力の獲得へと発展していく。授業での活用の展開には教員の意識改革が必須なのである。これまでの取り組みを充実させつつ、ICT機器の利活用とのベストミックスについても検討し、更なる発展を期待したい。

教育委員会の今後の取組み

本区が推進している本を活用して調べる学習については、調べる学習コンクールの参加状況や学力調査の結果から、概ね定着しているが、今後も、学校と連携して子どもが友達に本を様々な方法を用いて紹介する取組み等を推進し、子どもたちが進んで本を読めるよう働き掛けていく。

また、小学校高学年及び中学生の「家読（うちどく）」の推進のため、区立図書館との連携（区立図書館司書が学校で本や読書に関する講話を行うブックトークや読み聞かせ会、お話し会をはじめ、うちリス、太鼓ボン、ビブリオバトル及びPOPづくり等）をさらに深めるとともに、スクリレやチラシを用いて、保護者に子どもが読んでいる本や読み終わった本を読むことを提案し、子どもたちが興味をもっている事柄について知っていただけるよう働き掛けていく。

更に、子どもたちの情報活用能力の育成をはじめ、本区の学校図書館支援事業全体の更なる充実を図るため、学校司書研修会、司書教諭研修会を通じて、先進的に区内で取り組んでいる事例を各学校で共有するとともに、学校図書館活用に関する先進自治体への視察を行うなど、取組みを推進していく。

参考資料

教育委員会の活動

1 教育委員会の構成

教育委員会は、区長が区議会の同意を得て任命した教育長及び4人の委員から組織される合議制の執行機関である。区立学校その他の教育機関を管理し、就学、保健、給食、学習指導などに関する事務を処理している。

任期は、教育長が3年間、教育委員が4年間であるが、再任も認められている。

(令和7年4月2日現在)

職 名	氏 名	委員の任期
教 育 長	阿部 忠資（元区民生活部長）	自 令和7年4月1日 至 令和8年4月1日
教 育 長 職務代理者	繁田 雅弘（東京都立大学名誉教授）	自 令和5年7月7日 至 令和9年7月6日
委 員	長島 啓記（早稲田大学名誉教授）	自 令和5年7月7日 至 令和9年7月6日
委 員	八木 敦子（東京国際外語学院校長）	自 令和7年4月2日 至 令和11年4月1日
委 員	中澤 礼子（小学校PTA連合会元会長）	自 令和7年4月2日 至 令和11年4月1日

2 教育委員会の会議

原則として毎月、第2・第4金曜日に定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会及び協議会を開催している。

定例会及び臨時会については原則公開し、開催予定や傍聴の案内等を荒川区ホームページに掲載している。また、平成22年分以降の会議録については、情報提供コーナーでの自由閲覧及び荒川区ホームページへの掲載を行い、区民の知る権利の保障と利便性の向上、教育委員会活動の透明性の向上や説明責任の発揮等を図っている。

令和6年度は定例会22回、協議会19回、文書付議3回の合計44回を開催した（詳細は別表1のとおり）。また、定例会及び文書付議の議案件数は33件（前年度比9件増）、報告事項は49件（前年度比18件減）となっている。

3 教育委員会の活動状況

教育委員は、例年、学校行事を始めとする教育委員会行事等に積極的に出席し、教育行政の現状把握に努めるとともに、関係者への激励を行っている。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度から5類感染症移行までの間は、教育委員会行事への出席や区立小中学校訪問等は出来るだけ控えた。

別表1 令和6年度 教育委員会の会議の開催状況

ア 定例会及び臨時会

開催日	種別	議案番号	議 案 名
4月12日	定例会 (7)	報告	令和6年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について
			令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択について
			いじめ重大事態に関する調査結果報告について
4月26日	定例会 (8)	9	令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択に係る選定調査会への調査依頼項目について
		10	荒川区社会教育委員の委嘱について
5月10日	定例会 (9)	11	令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択に係る選定調査会の委員の委嘱について
5月24日	定例会 (10)	12	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		13	財産の取得（防犯カメラ）に対する意見の聴取について
		報告	令和6年度荒川区登録・指定文化財諮問（案）について
6月3日	文書 付議	14	峡田小学校増設校舎等建築工事請負契約に対する意見の聴取について
		15	峡田小学校増設校舎等電気設備工事請負契約に対する意見の聴取について
6月14日	定例会 (11)	報告	第43回「あらかわの伝統技術展」の開催について
			柳田邦男絵本大賞事業の実施について
6月28日	定例会 (12)	報告	区立幼稚園の方向性（預かり教育の拡充）について
			「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」・「あらかわ小論文コンテスト」・「あらかわお弁当レシピコンテスト」の実施について
			フリースクール等を利用する児童生徒への支援の実施について
			伝統工芸技術短期現場実習支援事業（ステップ1）について
			荒川区指定無形文化財及び保持者の解除について
7月12日	定例会 (13)	報告	区議会定例会・6月会議について
			令和7年度区立小中学校入学生を対象とする学校選択制度の実施について
			令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択に係る選定調査会からの報告について
7月26日	定例会 (14)	報告	令和6年度子ども議会の開催について
			第43回「あらかわの伝統技術展」の報告について
8月9日	定例会 (15)	16	令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択について
		17	令和7年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について
8月23日	定例会 (16)	18	令和5年度荒川区一般会計決算（教育関係）に対する意見の聴取について

※議案番号欄の「(報告)」は、報告事項をあらわす。

開催日	種別	議案番号	議 案 名
9月13日	定例会 (17)	休会	
9月27日	定例会 (18)	報告	令和6年度夏季休業中の諸活動の結果等について
			令和6年度東京都功労者表彰受賞者の報告について
10月11日	定例会 (19)	報告	区議会定例会・9月会議について
			令和6年度荒川区立幼稚園・こども園、小・中学校の研究活動について
10月25日	定例会 (20)	19	会計年度任用講師の任用等に関する規則の一部を改正する規則
		報告	令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果について
			長期休業明けにおける児童・生徒の生活実態に関する調査結果について
			荒川区伝統工芸技術継承者育成支援事業補助の中止について
			令和6年度東京都優秀技能者（東京マイスター）知事賞受賞者の報告について
			荒川区登録無形文化財及び保持者の解除について
			電子図書館サービスの開始について
11月8日	定例会 (21)	20	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例に対する意見の聴取について
		報告	第17回あらかわお弁当レシピコンテストの審査について
			令和6年度「あらかわ小論文コンテスト」の審査について
11月22日	定例会 (22)	21	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について
		報告	学校施設建替え計画の検討状況（中間報告）について
			第14回「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」の審査結果について

※議案番号欄の「(報告)」は、報告事項をあらわす。

開催日	種別	議案番号	議 案 名
12月13日	定例会 (23)	22	幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則
		23	幼稚園教育職員の初任給、昇格及び昇給に関する規則の一部を改正する規則
		報告	区議会定例会・11月会議について
			第17回あらかわお弁当レシピコンテストの審査結果について
			令和6年度東京都公立学校校長職候補者選考及び教育管理職選考合格者について
			学校パワーアップ事業の成果報告及び実施計画について
			令和6年度合同表彰式の実施について
12月27日	定例会 (24)	休会	令和6年度「あらかわ小論文コンテスト」の審査結果について
1月10日	定例会 (1)	1	荒川区社会教育委員の委嘱について
		報告	令和6年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について
			令和6年度東京都教育委員会職員表彰被表彰者について
			令和6年度文部科学大臣優秀教職員表彰の被表彰教職員について
			第三日暮里小学校への知的固定特別支援学級の開設について
1月24日	定例会 (2)	2	伝統工芸技術継承者育成支援事業現場実習者の選考結果について
			刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例に対する意見の聴取について
			荒川区立学校設置条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について
		4	令和7年度荒川区一般会計予算（教育事務）に対する意見の聴取について
		報告	区立中学校における不登校対応巡回教員の配置について（モデル実施）
1月29日	文書 付議	5	南千住図書館・荒川ふるさと文化館リニューアルの基本設計について
			幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について

※議案番号欄の「(報告)」は、報告事項をあらわす。

開催日	種別	議案番号	議 案 名
2月13日	定例会 (3)	6	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について
		7	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第38条に基づく内申について
		8	令和6年度荒川区登録文化財の登録、荒川区指定文化財の指定について
		報告	伝統工芸技術継承者育成支援事業補助延長について
2月28日	定例会 (4)	9	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		10	幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則
		11	幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則
		報告	令和6年度荒川区教育委員会褒賞について
			汐入小学校における教育課程特例校の指定等について
			「こころの健康に関する調査」及び「ヤングケアラー実態調査」の調査結果について
3月5日	文書 付議	12	教育長の辞職について
3月14日	定例会 (5)	報告	区議会定例会・2月会議について
			令和6年度荒川区教職員表彰について
3月28日	定例会 (6)	13	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		14	荒川区教育委員会事務局の人事について
		15	指導主事の任用について
		16	荒川区立学校等の園長、校長及び副校長の任用について
		17	荒川区文化財保護審議会委員の委嘱について
		18	荒川区文化財保護推進員の委嘱について

※議案番号欄の「(報告)」は、報告事項をあらわす。

イ 協議会

月 日	種別	内 容
4月12日	定例会後	小中学校の卒業式、入学式の感想について
4月26日	定例会後	小中学校課外活動視察について
5月10日	定例会後	本の寄贈について（繁田委員）
		運動会視察について
5月24日	定例会後	令和6年度市町村教育委員会研究協議会について
6月14日	定例会前	尾久第六小学校視察
6月27日	単独実施	市町村教育委員会研究協議会
6月28日	定例会後	教科書調査研究資料について
		あらわ座ワークショップ 匠が語る江戸指物の世界
7月12日	定例会後	教科書採択の運営や議事録の扱い等について
		適応教室教室「みらい」におけるバーチャル・ラーニング・プラットフォームのアカウント配布を希望する児童・生徒の募集について
8月23日	定例会後	秋の運動会について
		周年行事について
		中学校教科用図書の採択結果について
9月27日	定例会後	秋の運動会について
		中学校視察について
		ワールドスクール視察の感想について
10月11日	定例会後	運動会視察について
		周年行事について
		中学校視察について
		令和6年度市町村教育委員会研究協議会について
10月25日	定例会後	第九中学校夜間学級視察
11月8日	定例会後	吉村昭記念文学館企画展視察
12月13日	定例会後	小学校校長会懇談会
	定例会後	中学校校長会懇談会
1月10日	定例会後	合同表彰式について
	定例会後	第2ブロック教育委員会協議会について
1月30日	単独実施	第2ブロック教育委員会協議会
2月7日	単独実施	市町村教育委員会研究協議会
2月13日	定例会前	第2ブロック教育委員会協議会について（報告）
	定例会前	市町村教育委員会研究協議会について（報告）
	定例会前	アントレプレナーシップ教育について（報告）
2月28日	定例会後	教育委員会褒賞の贈呈式について
	定例会後	小中学校卒業式について

別表2 令和6年度 荒川区教育委員会委員の活動実績（教育長は除く。）

月 日	内 容
4月8日	小学校入学式
4月9日	中学校入学式
4月12日	教育委員会定例会
4月12日	教育委員会協議会
4月12日	退職校長感謝状贈呈式
4月26日	教育委員会定例会
5月10日	教育委員会定例会
5月10日	教育委員会協議会
5月18日	運動会視察（赤土小学校、第四中学校）
5月24日	教育委員会定例会
5月24日	教育委員会協議会
5月25日	運動会視察（第三瑞光小学校、第四峡田小学校、第一中学校、第九中学校）
4月～5月	東京都教育施策連絡協議会（Web）
6月1日	運動会視察（第二峡田小学校、第三峡田小学校）
6月14日	尾久第六小学校視察
6月14日	教育委員会定例会
6月27日	市町村教育委員会研究協議会（Web）
6月28日	教育委員会定例会
6月28日	教育委員会協議会
7月12日	あらかわの伝統技術展 開会式
7月12日	教育委員会定例会
7月12日	教育委員会協議会
7月26日	教育委員会定例会
8月4日	中学校ワールドスクール視察（秋田市）
8月5日	中学校ワールドスクール視察（秋田市）
8月9日	教育委員会定例会（中学校教科書採択）
8月23日	教育委員会定例会
8月23日	教育委員会協議会

月 日	内 容
8月23日	荒川区立中学校防災部連合行事釜石市被災地訪問報告会
9月27日	教育委員会定例会
9月27日	教育委員会協議会
9月28日	運動会視察（第二瑞光小学校、第六瑞光小学校、汐入東小学校、第九峡田小学校）
10月11日	教育委員会定例会
10月11日	教育委員会協議会
10月12日	原中学校創立30周年記念式典
10月19日	尾久宮前小学校創立90周年記念式典
10月25日	教育委員会定例会
10月25日	第九中学校夜間学級視察
10月26日	赤土小学校創立100周年記念式典
11月8日	教育委員会定例会
11月8日	吉村昭記念文学館企画展視察
11月22日	汐入小学校研究発表
11月22日	教育委員会定例会
11月29日	汐入東小学校研究発表
12月12日	南千住第二幼稚園創立70周年記念式典
12月13日	新区長との顔合わせ
12月13日	教育委員会定例会
12月13日	小学校長会懇談会
12月13日	中学校長会懇談会
12月24日	新区長との顔合わせ
1月10日	教育委員会定例会
1月10日	教育委員会協議会
1月10日	「第18回あらかわ小論文コンテスト」「第14回荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」「第17回あらかわお弁当レシピコンテスト」合同表彰式
1月17日	卒業生を送る会
1月24日	教育委員会定例会
1月24日	大門小学校研究発表

月 日	内 容
1月30日	第二ブロック教育委員会協議会
2月4日	第一中学校研究発表
2月7日	市町村教育委員会研究協議会
2月10日	尾久八幡中学校研究発表
2月13日	教育委員会協議会
2月13日	教育委員会定例会
2月14日	尾久小学校研究発表
2月18日	諏訪台中学校研究発表
2月28日	教育委員会定例会
2月28日	教育委員会協議会
3月14日	教育委員会褒賞贈呈式第1部
3月14日	教育委員会定例会
3月14日	教育委員会褒賞贈呈式第2部
3月19日	中学校卒業式
3月24日	小学校卒業式
3月28日	教育委員会定例会
3月28日	教育委員会協議会

荒川区教育委員会の事務点検・評価実施要綱

20年11月26日制定

20荒教庶第 635号

教 育 長 決 定

平成29年4月2日一部改正

令和2年8月24日一部改正

令和3年7月2日一部改正

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、荒川区教育委員会（以下「教育委員会」という。）が自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施するために必要な事項を定めることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、区民への説明責任を果たし、区民に信頼される教育行政を推進することを目的とする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、教育委員会主要施策とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 点検及び評価は、教育委員会主要施策について、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年1回実施する。

2 点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 前年度の実績を中心に今年度の実施状況等を合わせて、点検・評価を行うものとする。

4 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けるものとする。

5 委員会において点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を作成し、荒川区議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

(学識経験者等の知見の活用)

第4条 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する学識経験者」を置く。

(委任)

第5条 この要綱に規定するもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、教育部長が定める。

附 則

1 この要綱は、平成20年11月26日から施行する。

令和7年●●月

登録番号 (07) ●●●●号

令和7年度荒川区教育委員会主要施策に関する
点検・評価報告書

発行 荒川区教育委員会事務局教育総務課
〒116-8501
荒川区荒川2-2-3
TEL 03(3802)3111(代)



荒川区

第 50 回荒川区政世論調査結果について

内 容

1 概要

区政に対する区民の意向・要望等を把握し、今後の施策に反映させるために実施した「第 50 回荒川区政世論調査」の結果を報告する。

2 調査方法

(1) 対象

区内に居住する満 18 歳以上の個人 3,000 人を無作為抽出(住民基本台帳)

(2) 配布・回収方法

(配布)郵送

(回収)郵送、インターネット (パソコン・スマートフォン)、持参

(3) 調査期間

令和 7 年 8 月 30 日～9 月 30 日

(4) 回収率向上のための取組

①発送用封筒のデザイン変更 (あら坊折り紙が折れるデザイン)

②啓発チラシを同封 (令和 5 年度世論調査の結果と区の実施等を記載)

(5) 回収数 (率)

年度	回収数	回収率
令和 7 年度	1,552	51.7%
令和 6 年度	1,414	47.1%

郵送	インターネット	持参
948(61.1%)	601(38.7%)	3(0.2%)
972(68.7%)	441(31.2%)	1(0.1%)

3 調査結果の概要

継続調査項目である「居住と生活環境」「区政への関心と要望」に加え、各部からの調査項目として「広報活動」「荒川区の魅力」「防災対策」「地域とのつながり・暮らし」「人権意識」の計 7 項目をテーマに調査を実施した。

(1) 調査結果

項目	主な調査結果
居住と生活環境	・ 住み続けたいと回答した方は 8 割半ばを超えている。
広報活動	・ 区政に関する情報の入手方法は、「あらかわ区報」と回答した方が 5 割近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」が 2 割である。
荒川区の魅力	・ 荒川区の魅力と感じているものについて、「交通の便」が 6 割強で最も高く、次いで「都電」が 4 割近くとなっている。 ・ 荒川区に愛着を感じているかについて、愛着を感じている割合が約 8 割であった。
防災対策	・ 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、「普段使っている食料等の買い置きがある (日常備蓄)」と回答した方は 6 割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期保存用食料等を備蓄している」が 3 割となっている。 ・ 備蓄をしている方のうち、3 日分以上の備蓄をしている方は 6 割強となっている。

	<table><tr><th>項目</th><th>主な調査結果</th></tr><tr><td>地域とのつながり・暮らし</td><td>・地域行事や活動に参加している方は3割近くであった。 ・そのうち、どのようなものに参加しているかについて、「お祭りなどの地域の催し」が約7割で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」が4割強であった。</td></tr><tr><td>人権意識</td><td>・今の社会は人権が守られているかについて、守られていると答えた割合が7割を超えている。</td></tr><tr><td>区政への関心と要望</td><td>・区政への関心度は、関心があると答えた方が約6割で、昨年と同様の傾向であった。 ・「今後、区に力を入れてほしい事業」では、第1位「地震・水害などの防災対策」（昨年度第1位）、第2位「地域防犯の取組」（昨年度第2位）、第3位「子どもの安全対策」（昨年度3位）であり、順位に大きな変化はなかった。</td></tr></table>	項目	主な調査結果	地域とのつながり・暮らし	・地域行事や活動に参加している方は3割近くであった。 ・そのうち、どのようなものに参加しているかについて、「お祭りなどの地域の催し」が約7割で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」が4割強であった。	人権意識	・今の社会は人権が守られているかについて、守られていると答えた割合が7割を超えている。	区政への関心と要望	・区政への関心度は、関心があると答えた方が約6割で、昨年と同様の傾向であった。 ・「今後、区に力を入れてほしい事業」では、第1位「地震・水害などの防災対策」（昨年度第1位）、第2位「地域防犯の取組」（昨年度第2位）、第3位「子どもの安全対策」（昨年度3位）であり、順位に大きな変化はなかった。				
	項目	主な調査結果											
	地域とのつながり・暮らし	・地域行事や活動に参加している方は3割近くであった。 ・そのうち、どのようなものに参加しているかについて、「お祭りなどの地域の催し」が約7割で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」が4割強であった。											
	人権意識	・今の社会は人権が守られているかについて、守られていると答えた割合が7割を超えている。											
	区政への関心と要望	・区政への関心度は、関心があると答えた方が約6割で、昨年と同様の傾向であった。 ・「今後、区に力を入れてほしい事業」では、第1位「地震・水害などの防災対策」（昨年度第1位）、第2位「地域防犯の取組」（昨年度第2位）、第3位「子どもの安全対策」（昨年度3位）であり、順位に大きな変化はなかった。											
	(2) 調査結果への対応												
	<table><tr><th>項目</th><th>対応及び方向性</th></tr><tr><td>広報活動</td><td>・「あらかわ区報」の新聞未購読世帯への個別配付やスマートフォンアプリによる閲覧を周知していくとともに、LINEの機能性を高め、情報発信の充実を図る。</td></tr><tr><td>荒川区の魅力</td><td>・地域ブランディングや区の魅力発信事業の参考にするとともに、「荒川区シティプロモーション基本方針」策定の基礎資料とする。</td></tr><tr><td>防災対策</td><td>・食料等のローリングストック法による備蓄や屋内安全対策、災害用トイレについて、若者やファミリー層、高齢者など、世代に応じた効果的な普及啓発活動を実施する。</td></tr><tr><td>地域とのつながり・暮らし</td><td>・地域で活動する団体が抱える課題について研究する際の参考にするとともに、地域に関わる諸施策策定の基礎資料とする。</td></tr><tr><td>人権意識</td><td>・改定中の荒川区人権推進指針において、区の基本姿勢や各人権課題への取組の方向性を示した上で、区民に向けた相談窓口の案内や、より効果的な人権啓発事業を実施し、地域全体の人権意識の向上につなげていく。</td></tr></table>	項目	対応及び方向性	広報活動	・「あらかわ区報」の新聞未購読世帯への個別配付やスマートフォンアプリによる閲覧を周知していくとともに、LINEの機能性を高め、情報発信の充実を図る。	荒川区の魅力	・地域ブランディングや区の魅力発信事業の参考にするとともに、「荒川区シティプロモーション基本方針」策定の基礎資料とする。	防災対策	・食料等のローリングストック法による備蓄や屋内安全対策、災害用トイレについて、若者やファミリー層、高齢者など、世代に応じた効果的な普及啓発活動を実施する。	地域とのつながり・暮らし	・地域で活動する団体が抱える課題について研究する際の参考にするとともに、地域に関わる諸施策策定の基礎資料とする。	人権意識	・改定中の荒川区人権推進指針において、区の基本姿勢や各人権課題への取組の方向性を示した上で、区民に向けた相談窓口の案内や、より効果的な人権啓発事業を実施し、地域全体の人権意識の向上につなげていく。
	項目	対応及び方向性											
	広報活動	・「あらかわ区報」の新聞未購読世帯への個別配付やスマートフォンアプリによる閲覧を周知していくとともに、LINEの機能性を高め、情報発信の充実を図る。											
	荒川区の魅力	・地域ブランディングや区の魅力発信事業の参考にするとともに、「荒川区シティプロモーション基本方針」策定の基礎資料とする。											
防災対策	・食料等のローリングストック法による備蓄や屋内安全対策、災害用トイレについて、若者やファミリー層、高齢者など、世代に応じた効果的な普及啓発活動を実施する。												
地域とのつながり・暮らし	・地域で活動する団体が抱える課題について研究する際の参考にするとともに、地域に関わる諸施策策定の基礎資料とする。												
人権意識	・改定中の荒川区人権推進指針において、区の基本姿勢や各人権課題への取組の方向性を示した上で、区民に向けた相談窓口の案内や、より効果的な人権啓発事業を実施し、地域全体の人権意識の向上につなげていく。												
今 後 の 予 定													
令和8年1月14日 2月下旬													
総務企画委員会 調査結果を区報等に掲載													
議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見									
1月14日 総務企画委員会	委員会報告後	2月21日号	2月21日	—									

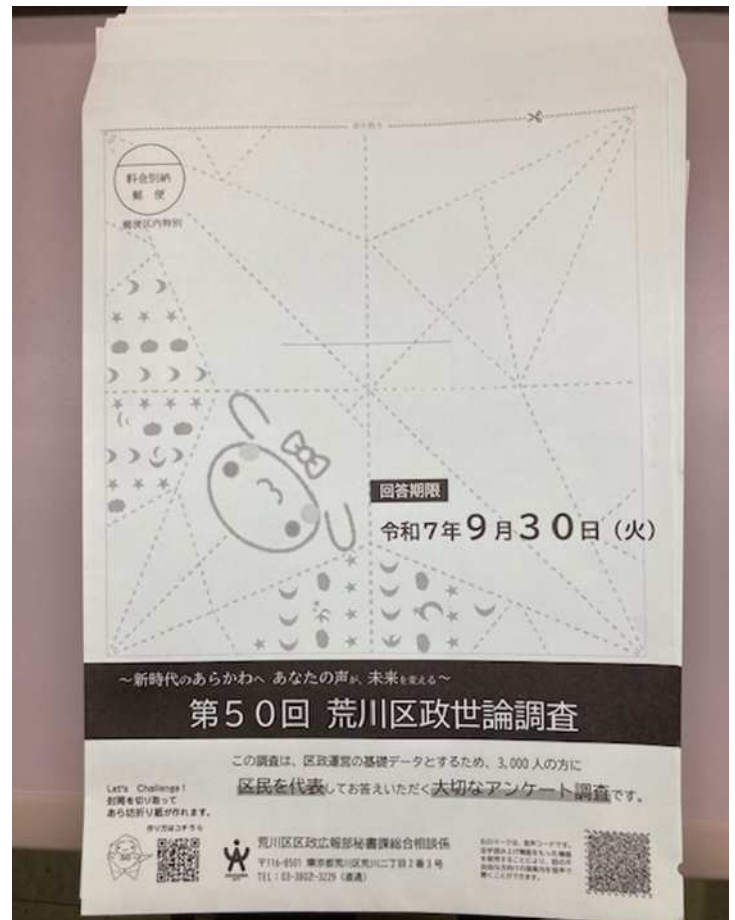
●回収率向上のための取組

①発送用封筒のデザイン変更（あら坊折り紙が折れるデザイン）

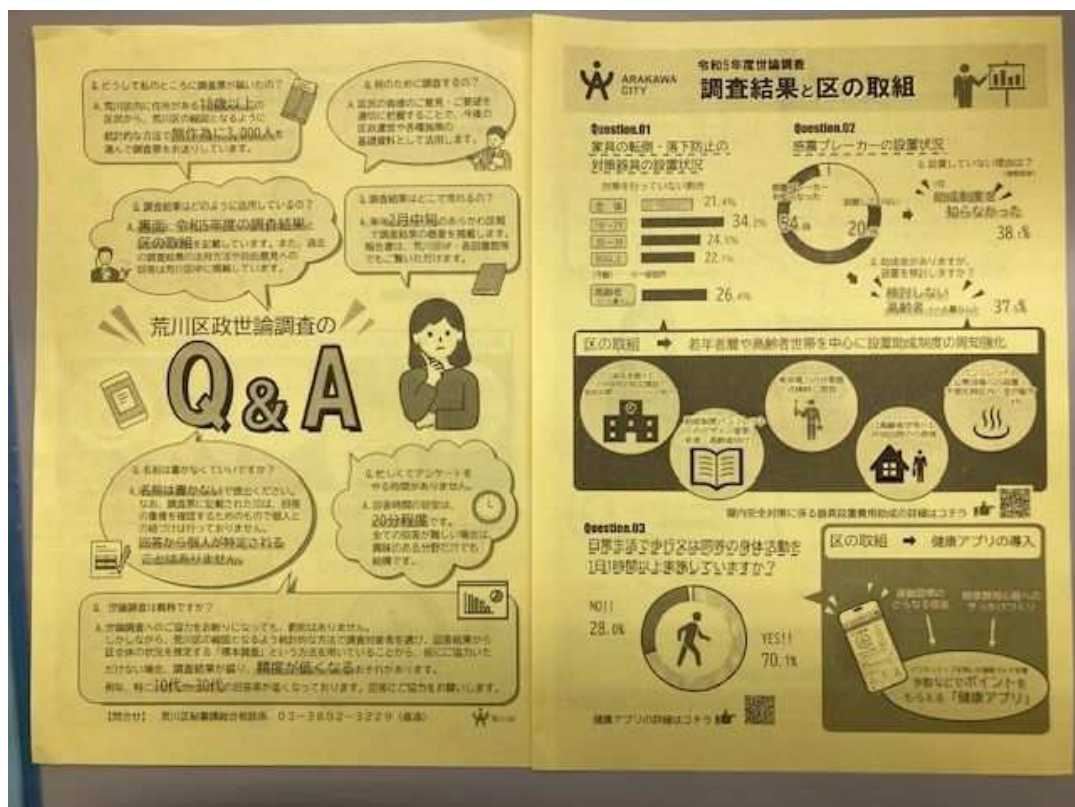
完成写真



※裏面には、「アリガトウ」の隠れ文字を記載



②啓発チラシを同封（令和5年度世論調査の結果と取組、世論調査のQA）



第 50 回 荒川区政世論調査

＜概要版＞

荒川区では、区民の皆様のご意見やご要望を区政に反映するため、毎年、区政世論調査を実施しています。この調査によって得られた結果は、適切に把握・分析した上で、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。併せて多くの皆様に参考にしていただければ幸いです。

調査の実施に当たり、ご協力くださいました区民並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

荒川区区政広報部秘書課

◆調査の概要

✧ 調査対象	区内在住の満 18 歳以上の個人	✧ 配布方法	郵送配布
✧ 対象者数	3,000 人	✧ 回収方法	郵送またはインターネットによる回収
✧ 抽出方法	層化 2 段階無作為抽出		
✧ 調査期間	令和 7 年 8 月 30 日～9 月 30 日	✧ 有効回収数（率）	1,552 件（51.7%）

◆調査内容と主な調査結果

【居住と生活環境】住み続けたいと回答した方は 8 割半ばを超えている。

【広報活動】区政に関する情報の入手方法について、「あらかじめ区報」と回答した方が 5 割近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」が 2 割である。

【荒川区の魅力】荒川区の魅力と感じているものについて、「交通の便」が 6 割強で最も高く、次いで「都電」が 4 割近くとなっている。

【防災対策】災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」と回答した方は 6 割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期保存用食料等を備蓄している」が 3 割となっている。

【地域とのつながり・暮らし】地域の行事や活動に参加している方は 3 割近くとなっている。そのうち、どのようなものに参加しているか聞いたところ、「お祭りなどの地域の催し」が約 7 割で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」が 4 割強となっている。

【人権意識】今の社会は人権が守られているかについて、「十分守られている」（15.2%）と「十分ではないが守られている」（59.2%）を合わせた《守られている》（74.4%）の割合は 7 割を超えている。

【区政への関心と要望】区政への関心度は、関心があると回答した方が約 6 割である。

◆概要版の見方

- ☆ 図中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- ☆ 小数点第2位を四捨五入したため、回答率を合計しても100%にならないものもあります。
- ☆ 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数としたため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ☆ 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によって語句を簡略化してあります。
- ☆ ライフステージは、以下の定義に従って区分しています。
 - ・ 家族形成期 : 「39 歳以下で同居している子どものいない夫婦」または「同居している一番上の子どもが小学校入学前」
 - ・ 家族成長前期 : 「同居している一番上の子どもが小・中学生」
 - ・ 家族成長後期 : 「同居している一番上の子どもが高校・大学生」
 - ・ 家族成熟期 : 「64 歳以下で同居している一番上の子どもが学校卒業」
 - ・ 高齢期 : 「65 歳以上で同居している一番上の子どもが学校卒業」または「65 歳以上で同居している子どもはいない」
 - ・ 高齢期(一人暮らし) : 「65 歳以上で一人暮らし」
 - ・ 一人暮らし : 「64 歳以下で一人暮らし」

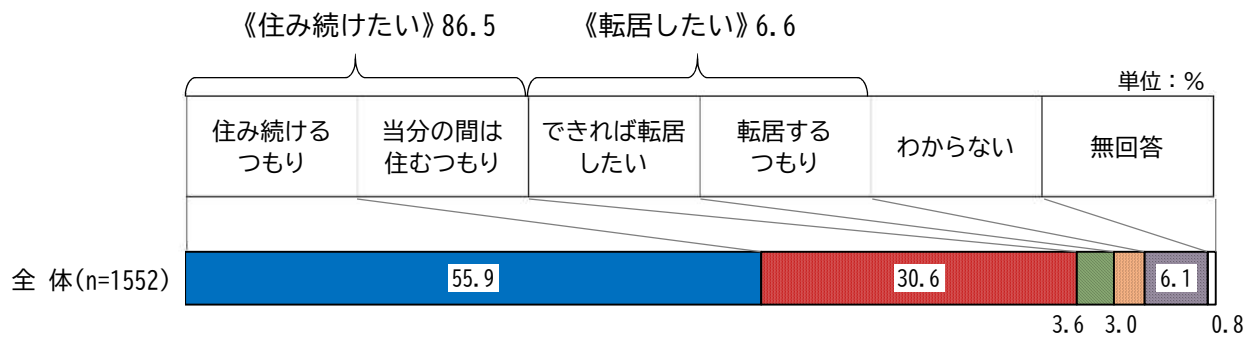
この概要版は、荒川区政世論調査報告書を抜粋し、まとめたものです。報告書全文は、区役所地下1階の情報提供コーナーや各区立図書館、荒川区ホームページでご覧いただけます。

(荒川区ホームページアドレス <https://www.city.arakawa.tokyo.jp>)

1. 居住と生活環境 【継続調査項目】

設問：これからも荒川区にお住まいになりますか。（回答は1つ）

「住み続けるつもり」（55.9％）と「当分の間は住むつもり」（30.6％）を合わせた《住み続けたい》の割合が8割半ば（86.5％）を超えている。



※令和2年度調査

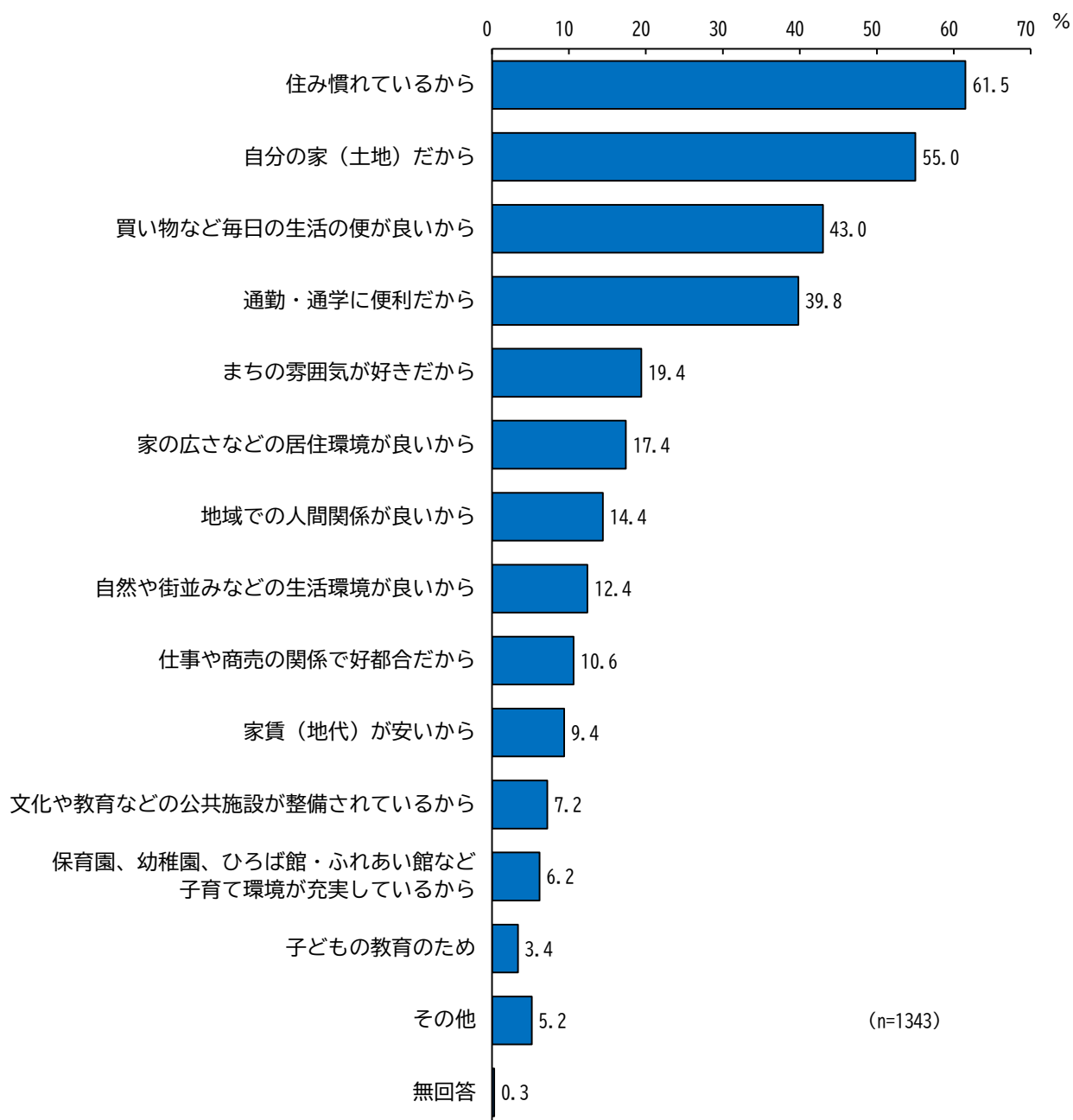
《住み続けたい》	住み続けるつもり	59.7	87.5
	当分の間は住むつもり	27.8	
《転居したい》	できれば転居したい	2.7	5.7
	転居するつもり	3.0	

※平成27年度調査

《住み続けたい》	住み続けるつもり	60.5	88.8
	当分の間は住むつもり	28.3	
《転居したい》	できれば転居したい	2.4	5.3
	転居するつもり	2.9	

設問：《住み続けたいとお答えの方に》その主な理由は何ですか。（回答はいくつでも）

「住み慣れているから」（61.5％）が6割強と最も高く、次いで「自分の家（土地）だから」（55.0％）、「買い物など毎日の生活の便が良いから」（43.0％）、「通勤・通学に便利だから」（39.8％）が比較的高くなっている。



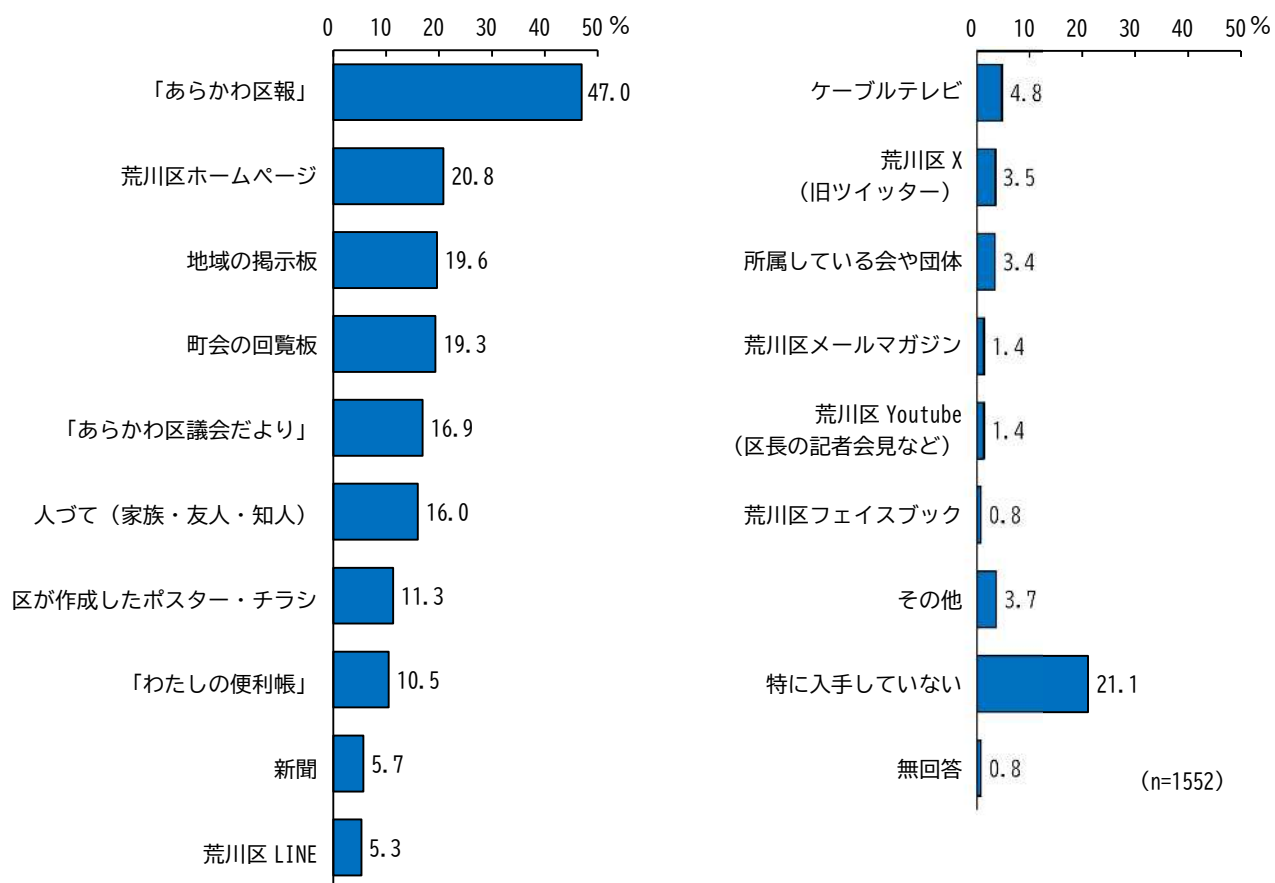
※昨年度調査（上位5項目）

住み慣れているから	61.3
自分の家（土地）だから	53.6
買い物など毎日の生活の便が良いから	42.6
通勤・通学に便利だから	38.0
まちの雰囲気が好きだから	17.8

2. 広報活動 【各部調査項目】

設問：区政に関する情報は、どのようにして入手していますか。（回答はいくつでも）

「あらかわ区報」（47.0％）が5割近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」（20.8％）となっている。



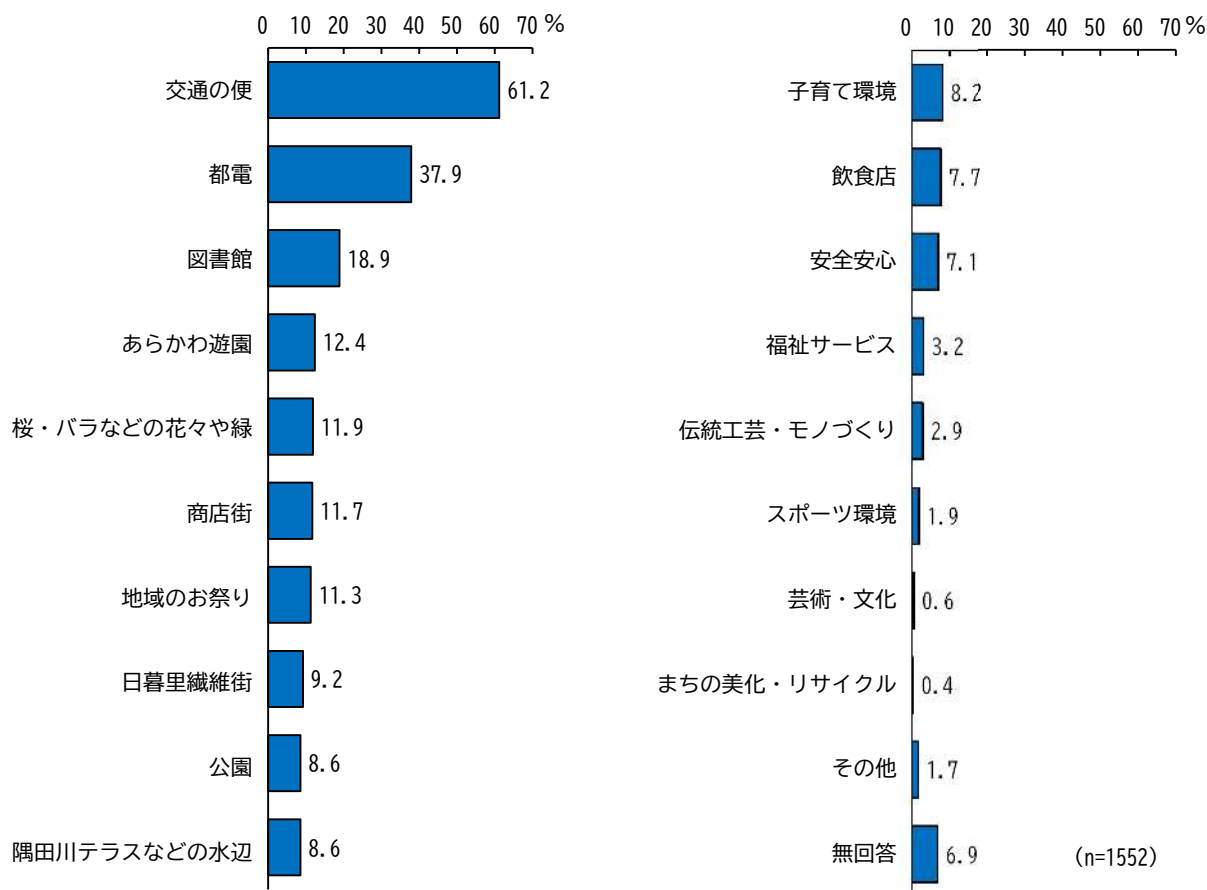
※令和4年度調査（上位5項目）

「あらかわ区報」	53.5
荒川区ホームページ	20.5
町会の回覧板	19.1
地域の掲示板	18.6
「あらかわ区議会だより」	17.1

3. 荒川区の魅力 【各部調査項目】

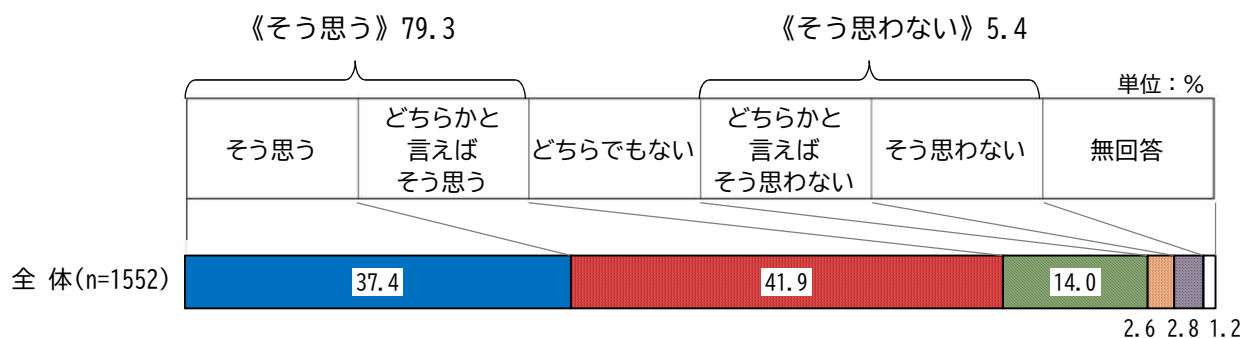
設問：荒川区の魅力と感じているものを、次の中からお選びください。（回答は3つまで）

「交通の便」（61.2％）が6割強と最も高く、次いで「都電」（37.9％）が4割近くで高くなっている。



設問：荒川区に愛着を感じていますか。（回答は1つだけ）

「そう思う」（37.4％）と「どちらかと言えばそう思う」（41.9％）を合わせた《そう思う》（79.3％）の割合が約8割と高い割合を示している。

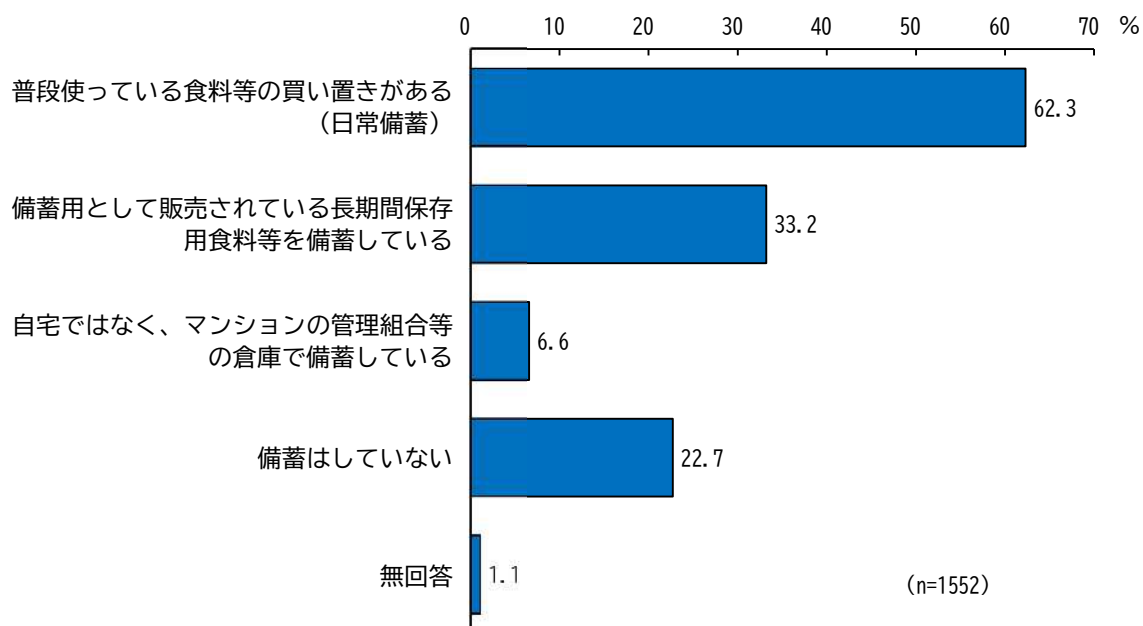


4. 防災対策 【各部調査項目】

設問：災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。

（回答は「備蓄はしていない」以外はいくつでも）

「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」（62.3%）が6割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」（33.2%）が3割となっている。

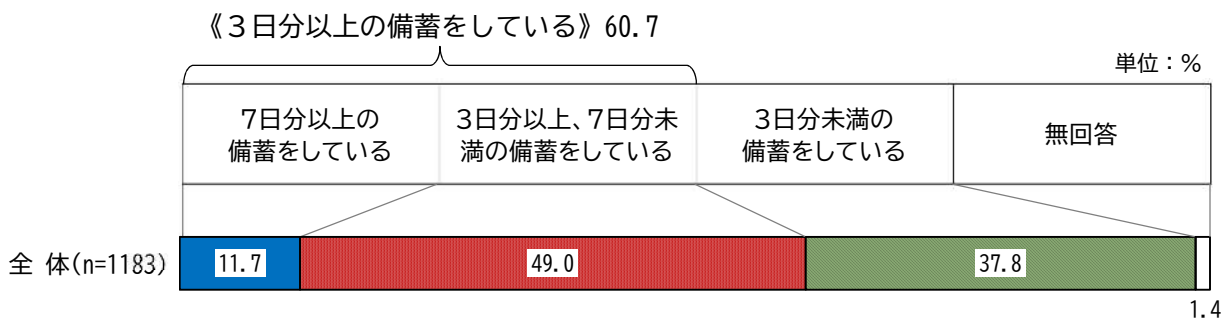


※昨年度調査

普段使っている食料等を多めに購入しておくようにしている（日常備蓄）	64.5
備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	34.0
自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	5.7
備蓄はしていない	19.6

設問：《備蓄をしているとお答えの方に》何日分の備蓄をしていますか。（回答は1つ）

「7日分以上の備蓄をしている」（11.7%）と「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」（49.0%）を合わせた《3日分以上の備蓄をしている》（60.7%）は6割強となっている。

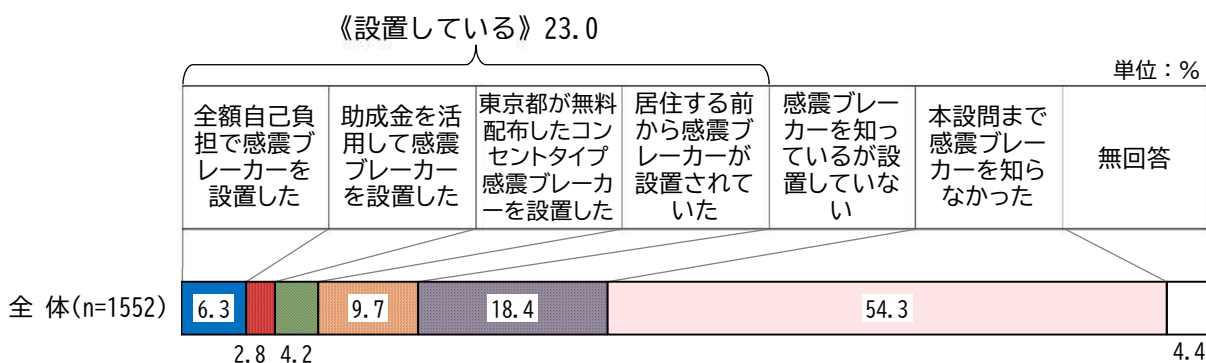


※昨年度調査

7日分以上の備蓄をしている	11.9	61.7
3日分以上、7日分未満の備蓄をしている	49.8	
3日分未満の備蓄をしている	36.7	

設問：地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。（回答は1つ）

「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」（6.3%）と「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」（2.8%）と「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」（4.2%）と「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」（9.7%）を合わせた《設置している》（23.0%）は2割強となっている。「感震ブレーカーを知っているが設置していない」（18.4%）は2割近くで、「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」（54.3%）が5割を占める。



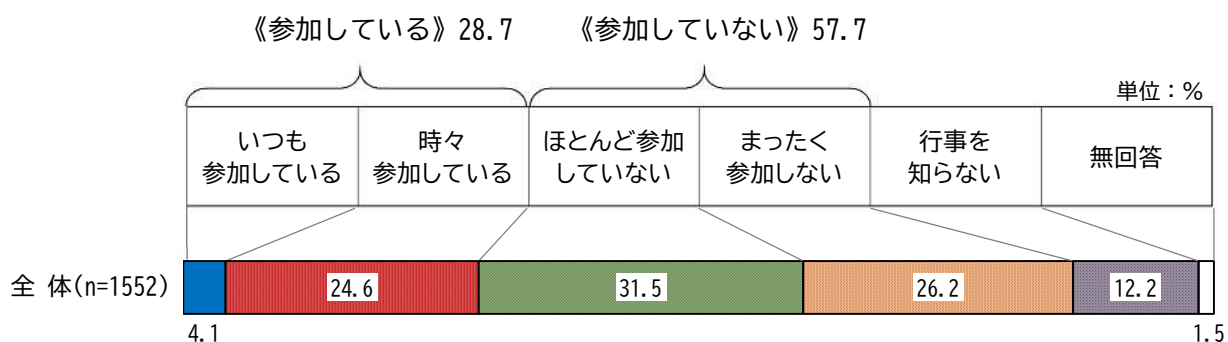
※昨年度調査

《設置している》	全額自己費用で設置した	5.2	23.2
	助成金を活用して設置した	2.9	
	東京都が配付した感震ブレーカーを設置した	5.2	
	居住する前から設置されていた	9.9	
知っているが設置していない		19.7	
知らない		52.8	

5. 地域とのつながり・暮らし 【各部調査項目】

設問：あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。（回答は1つ）

「いつも参加している」（4.1%）と「時々参加している」（24.6%）を合わせた《参加している》（28.7%）は3割近くとなっている。一方、「ほとんど参加していない」（31.5%）と「まったく参加しない」（26.2%）を合わせた《参加していない》（57.7%）は6割近くとなっている。

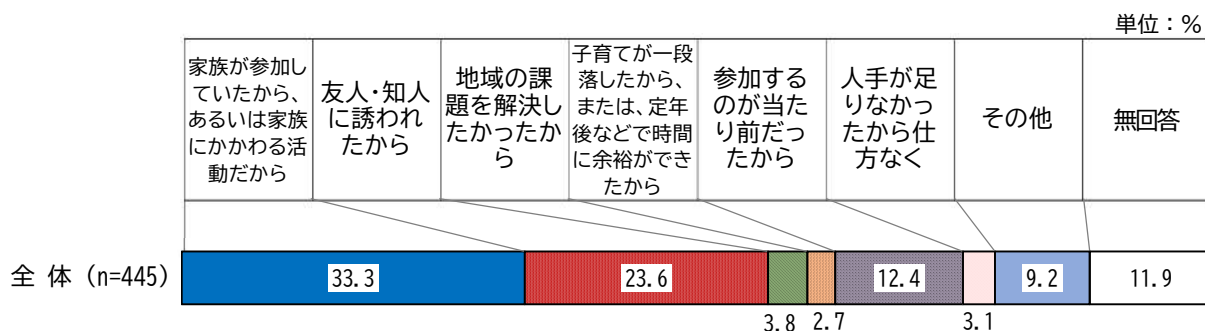


※昨年度調査

《参加している》	いつも参加している	5.0	31.4
	時々参加している	26.4	
《参加していない》	ほとんど参加していない	33.7	54.4
	まったく参加しない	20.7	

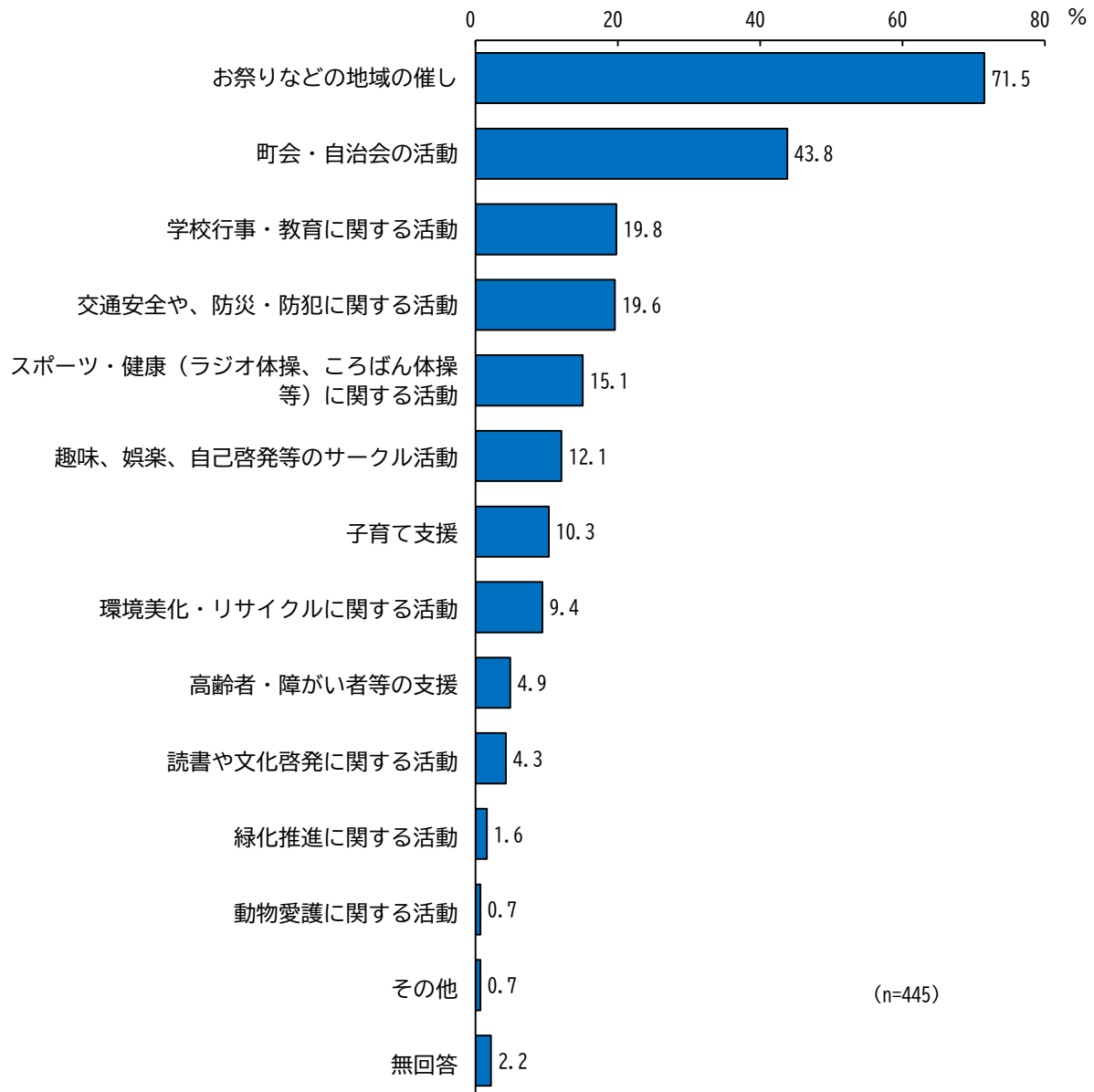
設問：《参加しているとお答えの方に》あなたが地域の行事や活動に参加するようになったきっかけはどのようなものでしたか。（回答は1つ）

「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」（33.3%）が約3割と最も高く、以下、「友人・知人に誘われたから」（23.6%）、「参加するのが当たり前だったから」（12.4%）が続いている。



設問：《参加しているとお答えの方に》次のうち、どのようなものに参加していますか。（回答は
いくつでも）

「お祭りなどの地域の催し」（71.5％）が約7割と最も高く、次いで「町会・自治会の活動」（43.8％）が4割強となっている。



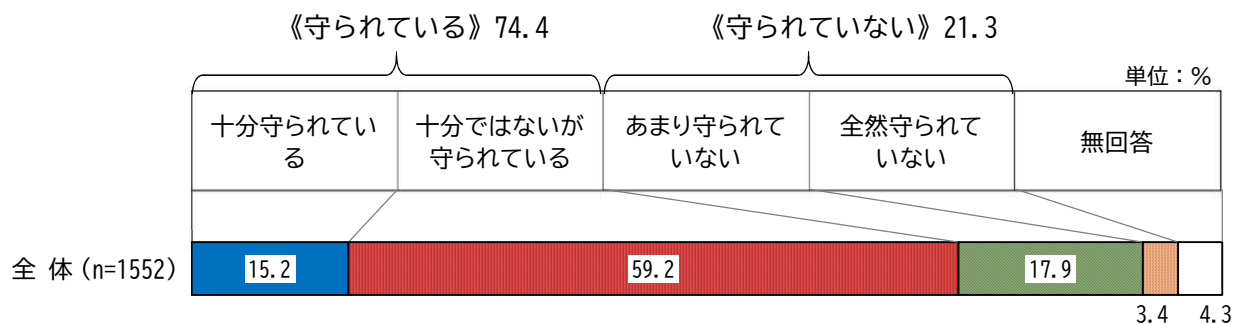
※昨年度調査（上位5項目）

お祭りなどの地域の催し	72.8
町会・自治会の活動	43.4
交通安全や、防災・防犯に関する活動	19.6
スポーツ・健康に関する活動	18.7
学校行事・教育に関する活動	18.0

6. 人権意識 【各部調査項目】

設問：あなたは、今の社会は人権が守られていると思いますか。（回答は1つ）

「十分守られている」（15.2％）と「十分ではないが守られている」（59.2％）を合わせた《守られている》（74.4％）の割合は7割を超えている。



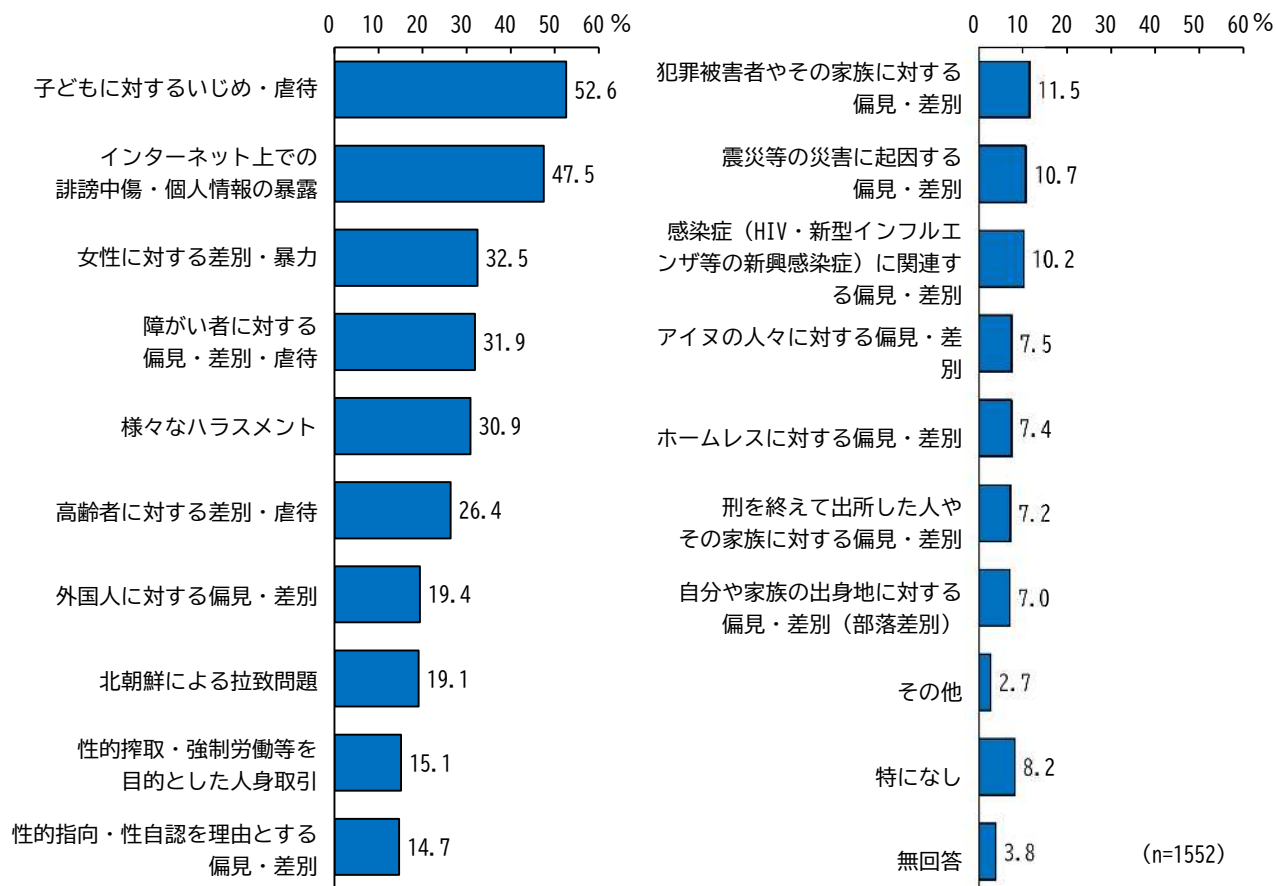
※令和5年度調査

《守られている》	十分に守られている	12.1	76.7
	十分ではないが守られている	64.6	
《守られていない》	あまり守られていない	17.0	19.1
	全然守られていない	2.1	

設問：あなたが、関心があり、解消に向けて取り組むべきと考える人権問題は何ですか。

（回答はいくつでも）

「子どもに対するいじめ・虐待」（52.6%）が5割強と最も高く、次いで「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」（47.5%）が5割近くで高くなっている。



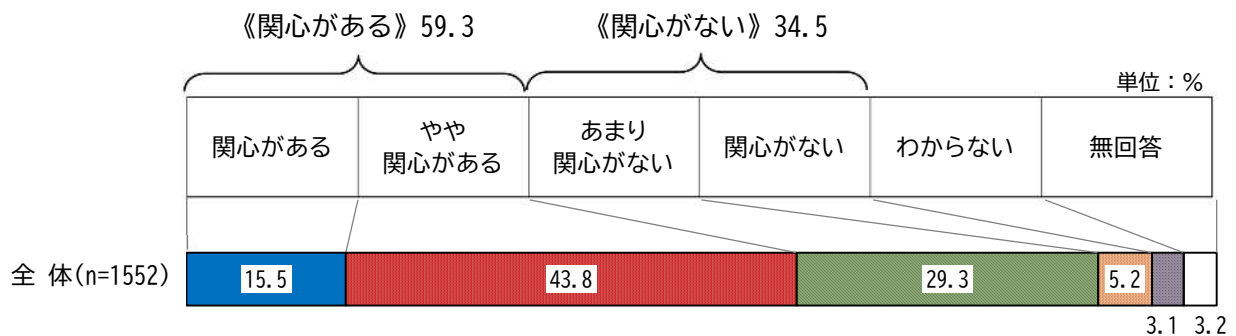
※令和5年度調査（上位5項目）

子どもに対するいじめ・虐待	63.7
インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	63.1
障がい者に対する偏見・差別・虐待	43.4
女性に対する差別・暴力	38.5
高齢者に対する差別・虐待	37.7

7. 区政への関心と要望 【継続調査項目】

設問：あなたは、区政にどの程度関心がありますか。（回答は1つ）

「関心がある」（15.5%）と「やや関心がある」（43.8%）を合わせた《関心がある》（59.3%）は約6割、一方、「あまり関心がない」（29.3%）と「関心がない」（5.2%）を合わせた《関心がない》（34.5%）は3割半ば近くとなっている。



※令和2年度調査

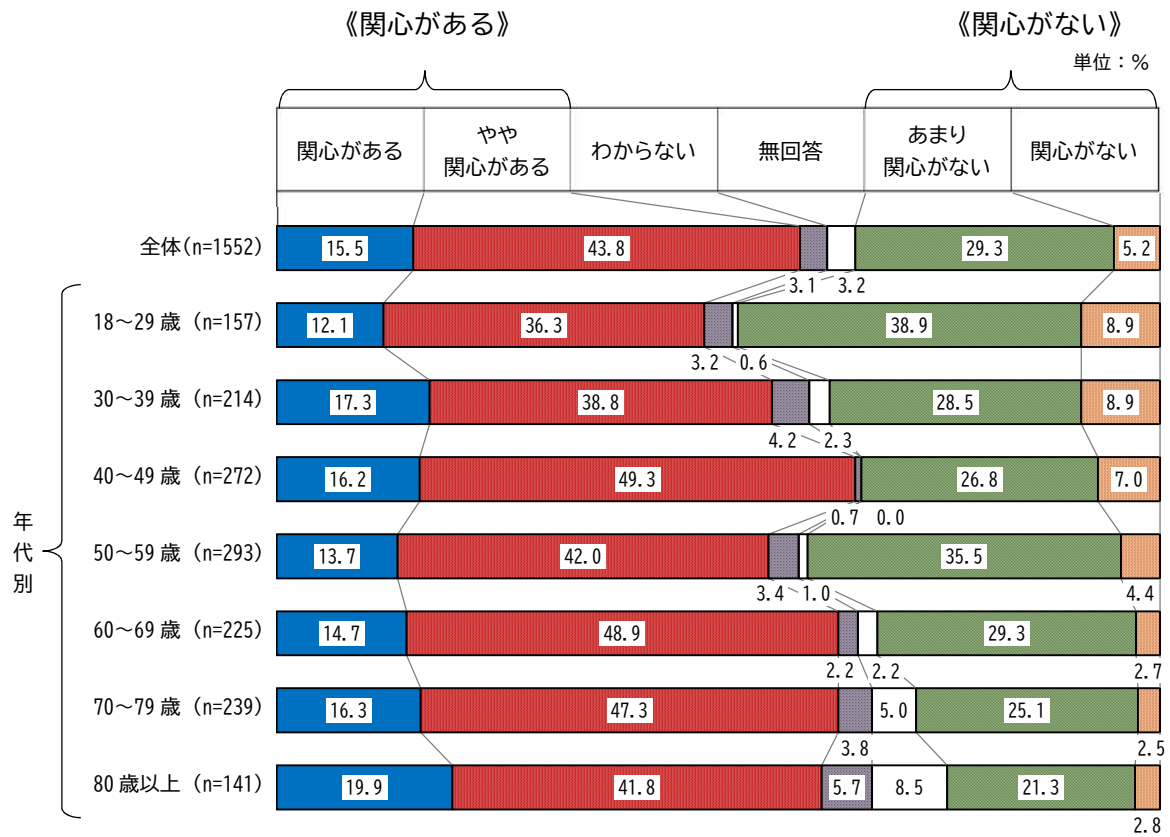
《関心がある》	関心がある	16.1	56.0
	やや関心がある	39.9	
《関心がない》	あまり関心がない	28.7	36.1
	関心がない	7.4	

※平成27年度調査

《関心がある》	関心がある	18.0	52.4
	やや関心がある	34.4	
《関心がない》	あまり関心がない	29.4	36.7
	関心がない	7.3	

年代別でみると、《関心がある》は40～49歳（65.5%）が6割を超え最も高く、次いで60～69歳と70～79歳（63.6%）が高くなっている。一方、《関心がない》は18～29歳（47.8%）が5割近くで最も高く、30～69歳が3割台と、70歳以上に比べ高くなっている。

区政への関心 年代別



設問：区が行っている事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を5つ選んでください。

経年比較すると、「地震・水害などの防災対策」は、令和元年度を除き、第1位となっている。「地域防犯の取組」は令和2年度以降第2位となっており、令和7年度（42.7%）が最も高くなっている。

単位：％

年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
令和7年	地震・水害などの防災対策	56.6	地域防犯の取組	42.7	子どもの安全対策	30.3	高齢者福祉の充実	19.0	幼児・児童の子育て支援の充実	17.1	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.8	道路・交通網の整備	16.2
令和6年	地震・水害などの防災対策	62.4	地域防犯の取組	33.9	子どもの安全対策／高齢者福祉の充実			25.2	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	18.1	幼児・児童の子育て支援の充実	17.3	道路・交通網の整備	17.0
令和5年	地震・水害などの防災対策	59.9	地域防犯の取組	36.4	子どもの安全対策	31.1	高齢者福祉の充実	25.7	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／幼児・児童の子育て支援の充実			19.7	道路・交通網の整備	18.9
令和4年	地震・水害などの防災対策	58.8	地域防犯の取組	31.0	高齢者福祉の充実	26.8	子どもの安全対策	23.0	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7	公園の整備充実・緑化の推進	18.3	幼児・児童の子育て支援の充実	15.3
令和3年	地震・水害などの防災対策	64.0	地域防犯の取組	32.8	子どもの安全対策	29.2	高齢者福祉の充実	27.1	幼児・児童の子育て支援の充実	18.1	感染症対策の充実	17.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	17.0
令和2年	地震・水害などの防災対策	58.2	地域防犯の取組	31.2	感染症対策の充実	25.3	子どもの安全対策	24.7	高齢者福祉の充実	24.3	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7	幼児・児童の子育て支援の充実	17.7
令和元年	高齢者福祉の充実	35.8	地震などの防災対策	34.7	幼児・児童の子育て支援の充実	23.9	子どもの安全対策	19.2	地域防犯の取組	19.0	学校教育の充実	18.1	健康づくりなどの保健衛生施策の充実	17.3
平成30年	地震などの防災対策	37.6	高齢者福祉の充実	25.8	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	24.3	地域防犯の取組	23.9	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	23.3	幼児・児童の子育て支援の充実	21.6	道路・交通網の整備	19.5
平成29年	地震などの防災対策	31.0	高齢者福祉の充実	28.4	幼児・児童の子育て支援の充実	24.1	道路・交通網の整備	20.7	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	20.5	地域防犯の取組	20.1	公園の整備充実・緑化の推進／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	19.3
平成28年	地震などの防災対策	37.0	高齢者福祉の充実	31.7	幼児・児童の子育て支援の充実	24.9	地域防犯の取組	22.2	子どもの安全対策	20.4	公園の整備充実・緑化の推進	19.6	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.0

ライフステージ別にみると、家族形成期、家族成長前期を除いたライフステージで「地震・水害などの防災対策」が第1位に挙げられている。家族形成期、家族成長前期では「子どもの安全対策」が第1位、「地震・水害などの防災対策」が第2位に挙げられている。

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） ライフステージ別

単位：％

区分	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
全体	地震・水害などの防災対策	56.6	地域防犯の取組	42.7	子どもの安全対策	30.3	高齢者福祉の充実	19.0	幼児・児童の子育て支援の充実	17.1	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.8	道路・交通網の整備	16.2
家族形成期	子どもの安全対策	53.8	地震・水害などの防災対策	49.5	幼児・児童の子育て支援の充実	48.9	地域防犯の取組	41.4	学校教育の充実	20.4	公園の整備充実・緑化の推進	18.3	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	16.7
家族成長前期	子どもの安全対策	69.5	地震・水害などの防災対策	57.8	地域防犯の取組	46.1	学校教育の充実	38.3	幼児・児童の子育て支援の充実	32.0	公園の整備充実・緑化の推進	23.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	14.1
家族成長後期	地震・水害などの防災対策	57.3	地域防犯の取組	47.9	子どもの安全対策	36.8	学校教育の充実	20.5	幼児・児童の子育て支援の充実	19.7	道路・交通網の整備	18.8	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	13.7
家族成熟期	地震・水害などの防災対策	62.5	地域防犯の取組	47.3	子どもの安全対策	27.7	高齢者福祉の充実	21.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	20.5	道路・交通網の整備	18.8	低所得者に対する福祉の充実	14.3
高齢期	地震・水害などの防災対策	66.1	地域防犯の取組	41.9	高齢者福祉の充実	33.1	子どもの安全対策	27.1	道路・交通網の整備	17.4	バリアフリー化の推進	16.5	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	14.8
（一人暮らし） 高齢期	地震・水害などの防災対策	53.2	高齢者福祉の充実	40.4	地域防犯の取組	33.3	低所得者に対する福祉の充実	22.7	子どもの安全対策	17.0	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	14.9	バリアフリー化の推進	14.9
一人暮らし	地震・水害などの防災対策	52.7	地域防犯の取組	43.3	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	21.4	道路・交通網の整備	18.4	子どもの安全対策	17.4	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	13.4	低所得者に対する福祉の充実	13.4
その他	地震・水害などの防災対策	55.2	地域防犯の取組	42.9	高齢者福祉の充実	20.6	子どもの安全対策	19.5	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	18.3	道路・交通網の整備	16.0	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	13.5

第 50 回 荒川区政世論調査
《概要版》

—— 令和 7 年度 ——

令和 8 年 1 月発行

登 録 (07) 0075
発 行 荒川区区政広報部秘書課
東京都荒川区荒川 2-2-3
電話 03-3802-3111 (代表) 内線 2161

第 50 回
荒川区政世論調査
＜報告書＞

令和8年1月
荒 川 区

はじめに

区政運営のための指針づくりや、施策を行う上で大切なことは、区民の皆様の意見・要望を適切に把握・分析した上で、区民が真に望む区政を運営していくことです。そのため、区では、世論調査、区民の声などの広聴活動を積極的に実施しています。

また、区では現在、現行の基本構想の策定から間もなく 20 年を迎えることから、2040 年の荒川区の将来像や政策の方向性を定めるため、新たな「荒川区基本構想」の策定を進めています。策定にあたっては、区民の多様な声を把握するため、アンケートの他、ワークショップを通じて区民の生の声を聴くなど、様々な機会を捉えて区民参画を実施しています。

今年度の世論調査では、「居住と生活環境」「広報活動」「荒川区の魅力」「防災対策」「地域とのつながり・暮らし」「人権意識」「区政への関心と要望」の 7 項目について伺いました。

この調査によって得られた結果は、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。併せて多くの皆様に参加にいただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力くださいました区民並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和 8 年 1 月

荒川区区政広報部秘書課

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	7
III	質問と結果	13
IV	調査結果の要約	33
V	結果と分析	41
	1. 居住と生活環境	43
	(1) 居住年数	43
	(2) 定住意向	45
	(2-1) 住み続けたい理由	48
	(2-2) 転居したい理由	49
	(3) 住みよさ評価	50
	(4) まちづくりを進めていく上で重要な課題	53
	2. 広報活動	59
	(1) 区政に関する情報の入手方法	59
	3. 荒川区の魅力	63
	(1) 荒川区の魅力だと感じているもの	63
	(2) 荒川区の魅力を人に勧めたいか	67
	(3) 荒川区に愛着を感じているか	71
	4. 防災対策	74
	(1) 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄	74
	(1-1) 災害時に備えた備蓄の量	77
	(1-2) 備蓄を行っていない理由	81
	(2) 災害用トイレの備蓄	84
	(2-1) 災害用トイレの備蓄の量	87
	(2-2) 災害用トイレを備蓄していない理由	91
	(3) 家具の転倒・落下防止	94
	(3-1) 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由	98
	(4) 感震ブレーカーの設置状況	101
	(4-1) 感震ブレーカーの未設置理由	105
	5. 地域とのつながり・暮らし	109
	(1) 地域の行事や活動への参加頻度	109
	(1-1) 参加している地域の行事や活動	114
	(1-2) 地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ	119
	(2) 住居周辺の知っている団体活動	124
	(3) 住居周辺の知っている団体	129
	(4) 興味または参加してみたい活動	134
	(5) 興味または参加してみたい団体	139
	(6) 地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと	144

(7) 地域の団体が取り組むべき課題	149
(8) 地域の人々とのつながりの必要性	154
(8-1) つながりがある方が良いと思う理由	159
(8-2) つながりがない方が良いと思う理由	162
6. 人権意識	164
(1) 人権が守られているか	164
(2) 関心のある人権問題	169
(3) 多様性を認め合う社会の実現に必要な取組	173
7. 区政への関心と要望	176
(1) 区政への関心	176
(2) 区政への意見・要望などの伝達方法	181
(3) 今後、区に力を入れてほしい事業	183
VI 自由記述	191
VII 集計表	221

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、区民の意識や意向、意見、要望などを荒川区として把握し、これらを今後の区政運営に反映させるための基礎資料とするものである。

2. 調査の内容

- (1) 居住と生活環境
- (2) 広報活動
- (3) 荒川区の魅力
- (4) 防災対策
- (5) 地域とのつながり・暮らし
- (6) 人権意識
- (7) 区政への関心と要望

3. 調査の設計

- (1) 調査区域
荒川区全域
- (2) 母集団
荒川区在住の満 18 歳以上の個人（住民基本台帳による）
- (3) 標本数
3,000 サンプル
- (4) 抽出方法
層化 2 段階無作為抽出（7 地区に分類し対象者を抽出）
- (5) 調査期間
令和 7 年 8 月 30 日～令和 7 年 9 月 30 日
- (6) 調査実施機関
株式会社名豊

4. 調査の方法

- (1) 配布方法
郵送による配布
- (2) 回収方法
郵送またはインターネット回答（パソコン、スマートフォンを利用）による回収
- (3) 調査票
別添調査票を使用

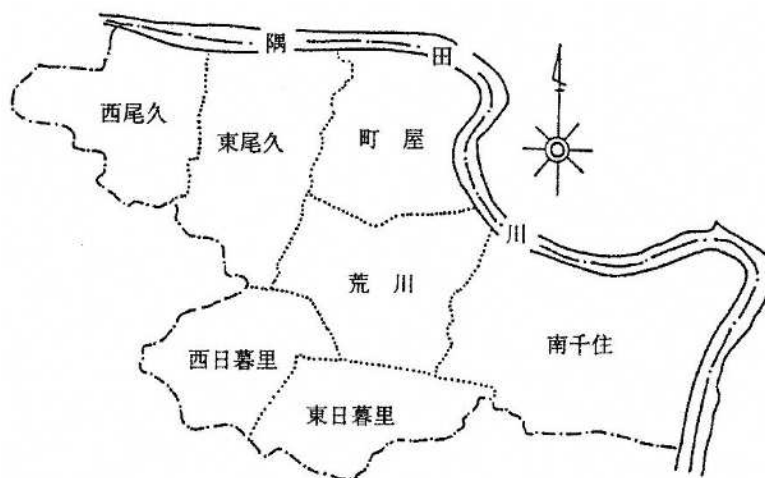
5. 回収結果

(1) 地域別

No	地域名	対象人口（構成比）		配布数	有効回収数	有効回収率
1	南千住	39,867	20.4%	611	327	53.5%
2	荒川	30,126	15.4%	462	239	51.7%
3	町屋	26,182	13.4%	401	211	52.6%
4	東尾久	25,150	12.8%	385	187	48.6%
5	西尾久	23,526	12.0%	361	195	54.0%
6	東日暮里	28,811	14.7%	441	204	46.3%
7	西日暮里	22,110	11.3%	339	168	49.6%
	無回答	-	-	-	21	-
	合計	195,772	100.0%	3,000	1,552	51.7%

(2) 回収方法別

No	回収方法	有効回収数	構成比
1	郵送回収	948	61.1%
2	インターネット	601	38.7%
3	持参	3	0.2%
	合計	1,552	100.0%



6. 報告書の見方

- (1) 図中の「n」は、その設問の回答者数を表している。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にはならず、1%の範囲で増減することがある。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によって語句を簡略化してある。
- (5) 集計は、全て単純集計、属性別クロス集計を行った。また、分析の必要に応じて設問間のクロス集計を行った。
- (6) 集計に際して使用した属性項目は、①年代、②居住地区、③職業、④同居世帯人数、⑤同居世帯構成、⑥住まいの形態、⑦国籍、⑧性別、⑨ライフステージである。
- (7) ライフステージは、以下の定義に従って区分した。
 - ・家族形成期 「39歳以下で同居している子どものいない夫婦」または「同居している一番上の子どもが小学校入学前」
 - ・家族成長前期 「同居している一番上の子どもが小・中学生」
 - ・家族成長後期 「同居している一番上の子どもが高校・大学生」
 - ・家族成熟期 「64歳以下で同居している一番上の子どもが学校卒業」
 - ・高齢期 「65歳以上で同居している一番上の子どもが学校卒業」または「65歳以上で同居している子どもはいない」
 - ・高齢期（一人暮らし） 「65歳以上で一人暮らし」
 - ・一人暮らし 「64歳以下で一人暮らし」
- (8) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- (9) 属性別の分析については、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。図表上で数値が高いものでも、有意差がなく分析でふれていない場合がある。なお、分析軸の基数が30以下のものについては、少数意見でも比率が拡大され有意差が生じやすいため、分析結果では基本的にふれないものとした。
- (10) この調査の標本誤差は、おおよそ下記のとおりである。標本誤差は次表によって得られ、①比率算出の基数(n)及び②回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$= \pm \lambda \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

標本誤差
(2段階抽出)

λ = 信頼係数
N = 母集団数
n = 比率算出の基数
p = 回答の比率

回答の比率(p) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,552	± 1.5%	± 2.0%	± 2.3%	± 2.5%	± 2.5%
1,200	± 1.7%	± 2.3%	± 2.6%	± 2.8%	± 2.9%
900	± 2.0%	± 2.7%	± 3.1%	± 3.3%	± 3.3%
600	± 2.4%	± 3.3%	± 3.7%	± 4.0%	± 4.1%
300	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%

(注) 1. 表は $\lambda \div 2$ として算出した。

2. 表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出した。

3. 層化を行った場合の誤差は上記表の値よりやや小さくなる。

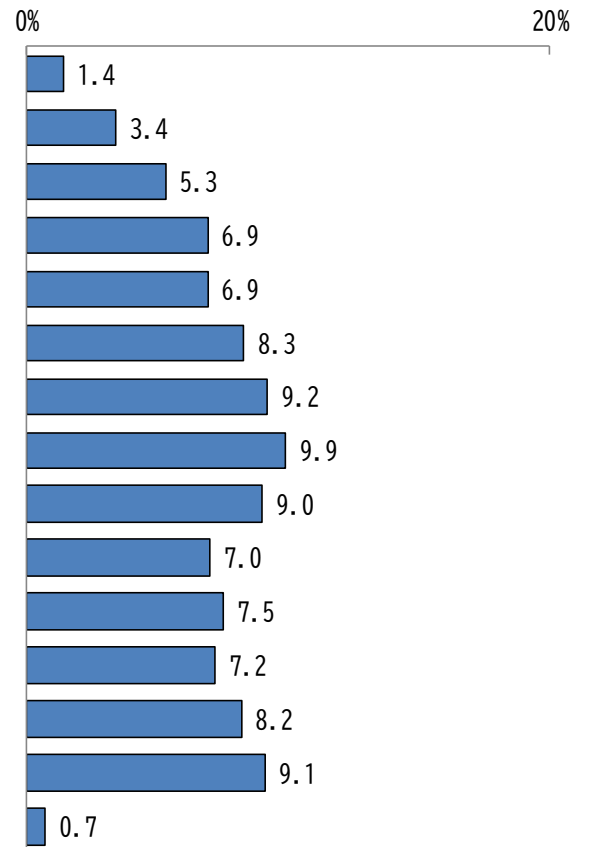
4. この表の見方は次のとおりである。

ある設問の回答者が1,552 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.3%の範囲内（67.6%～72.4%）である。

II 回答者の属性

(1) F 1 年代

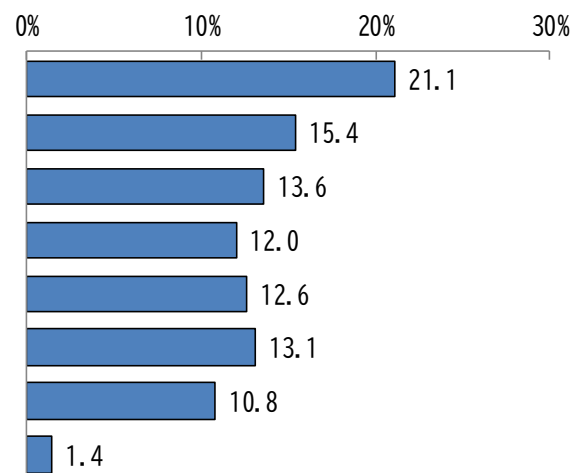
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	18・19歳	21	1.4
2	20～24歳	53	3.4
3	25～29歳	83	5.3
4	30～34歳	107	6.9
5	35～39歳	107	6.9
6	40～44歳	129	8.3
7	45～49歳	143	9.2
8	50～54歳	154	9.9
9	55～59歳	139	9.0
10	60～64歳	109	7.0
11	65～69歳	116	7.5
12	70～74歳	112	7.2
13	75～79歳	127	8.2
14	80歳以上	141	9.1
	無回答	11	0.7
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(2) F 2 現在お住まいの地域

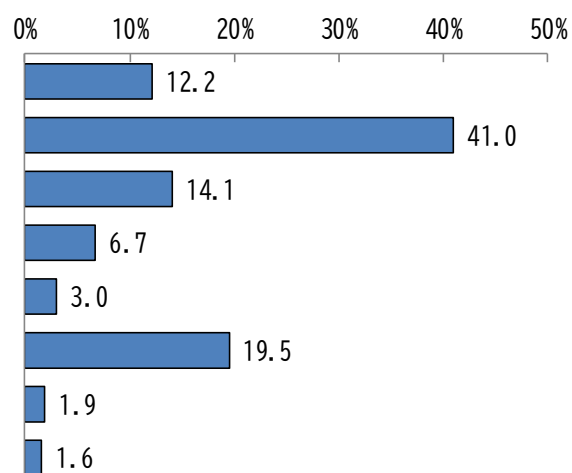
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	南千住	327	21.1
2	荒川	239	15.4
3	町屋	211	13.6
4	東尾久	187	12.0
5	西尾久	195	12.6
6	東日暮里	204	13.1
7	西日暮里	168	10.8
	無回答	21	1.4
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(3) F3 ご職業

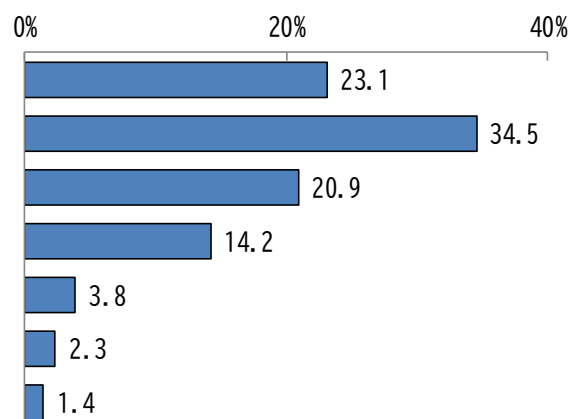
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	自営業主・事業主	189	12.2
2	会社員・公務員	636	41.0
3	パート・アルバイト・非常勤	219	14.1
4	家事専業	104	6.7
5	学生	47	3.0
6	無職（年金生活を含む）	302	19.5
7	その他	30	1.9
	無回答	25	1.6
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(4) F4 同居世帯の人数（あなた自身を含みます）

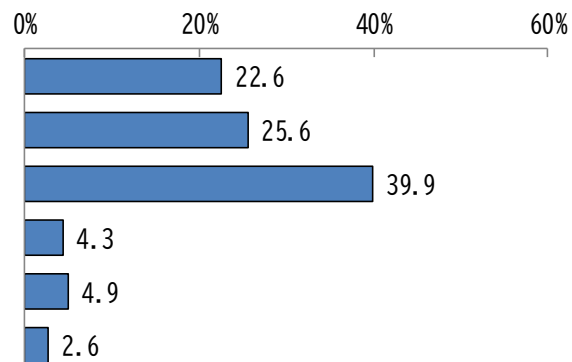
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	1人	358	23.1
2	2人	535	34.5
3	3人	324	20.9
4	4人	220	14.2
5	5人	59	3.8
6	6人以上	35	2.3
	無回答	21	1.4
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(5) F5 同居世帯の構成

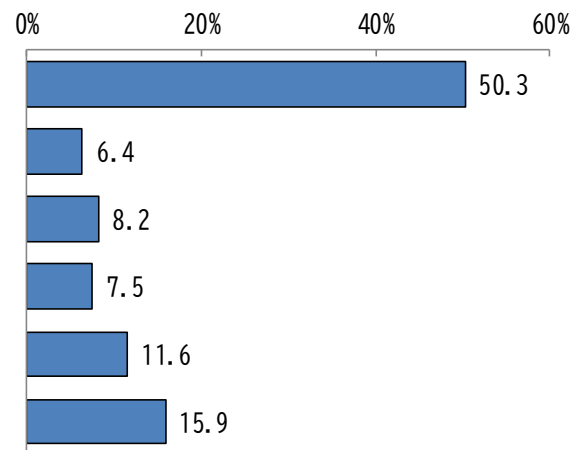
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	一人暮らし	351	22.6
2	夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）	398	25.6
3	二世世代家族（親と子ども）	620	39.9
4	三世世代家族（親と子どもと孫）	66	4.3
5	その他	76	4.9
	無回答	41	2.6
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(6) F 6 同居しているお子様について

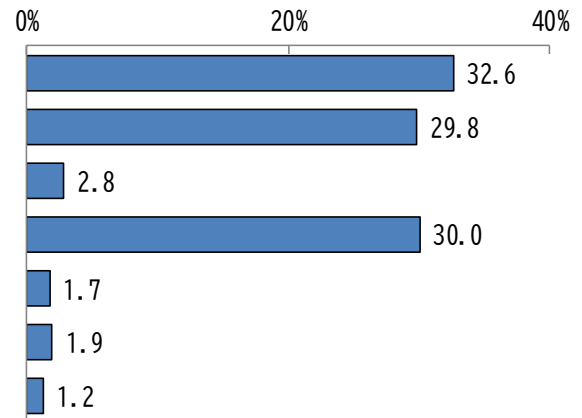
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	同居している子どもはいない、独身、夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）など	780	50.3
2	一番上の子どもが小学校入学前	100	6.4
3	一番上の子どもが小・中学生	128	8.2
4	一番上の子どもが高校生・大学生	117	7.5
5	一番上の子どもが学校卒業	180	11.6
	無回答	247	15.9
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(7) F 7 お住まいの形態

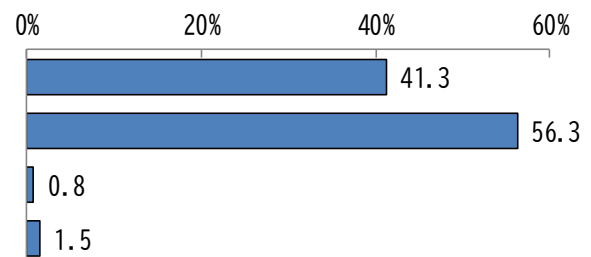
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	持ち家（一戸建て）	506	32.6
2	持ち家（集合住宅）	463	29.8
3	借家（一戸建て）	43	2.8
4	借家（集合住宅）	465	30.0
5	寮・社宅	27	1.7
6	その他	29	1.9
	無回答	19	1.2
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(8) F 8 性別

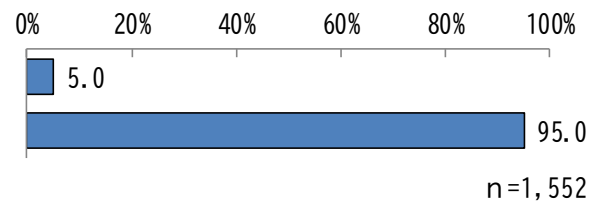
No.	カテゴリー名	回答数	%
1	男	641	41.3
2	女	874	56.3
3	その他（どちらでもない、わからない）	13	0.8
	無回答	24	1.5
	n（回答者数）	1,552	100.0



n=1,552

(9) F 9 外国籍の有無

No.	カテゴリー名	回答数	%
1	外国籍	77	5.0
	無回答	1,475	95.0
	n (回答者数)	1,552	100.0



Ⅲ 質問と結果



第50回 荒川区 区政世論調査

～回答にご協力をお願いします～

この調査は、区民の皆様のご意見を区政に反映し、区の施策・事業等を適切に実施していく基礎データとするため、住民基本台帳から無作為に抽出した3,000名の方を対象として、アンケート形式で実施するものです。調査の結果はすべて統計的に処理するとともに、調査への回答を区政世論調査以外に使用することは決してありません。調査結果は来年2月頃に区報で紹介するほか、区役所地下1階の情報提供コーナーや各区立図書館、荒川区ホームページで報告書を閲覧することができます。



回答期限 令和7年9月30日(火) まで

▼郵送で回答する場合

この調査票に回答をご記入ください。

- ・質問は、3ページから始まります。
- ・選択肢の番号に○印を付けてください。
- ・「その他」を選ばれた場合は、() 内にその内容をご記入ください。

同封した水色の返信用封筒に、回答を記載した調査票(本書)を折り曲げて入れ、**回答期限(令和7年9月30日)**までに、ポストにご投函ください。※切手は不要です。

▼インターネット(パソコンやスマートフォン)で回答する場合



QRコードまたはURL (<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a003/kouhou/kouchou/yorontyousa/gokyouryokunoonegair7.html>) から回答フォームにアクセスし、ID(半角)を入力してください。

ID : 12345

※このIDは、インターネットにより回答を行うためのもので、個人を特定するものではありません。

- ・前のページに戻る場合は、画面内の「戻る」ボタンを使用してください(ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません)。
- ・セキュリティ上、60分以上画面の切替が行われないと接続が切れる仕組みとなっています。回答を中断する場合は、「一時保存」ボタンを押して再開用URLをメモ帳等に保存してください。回答を再開する場合は、再開用URLからアクセスしてください。
- ・回答の最後に「回答確認画面」が表示されたら、「送信」ボタンを押してください。「回答完了」画面が表示されたら終了です。

※通信サービスの接続料金は、利用者様のご負担となります。

●調査画面へのアクセス方法 (QRコードが読み込めない場合)

①荒川区ホームページトップページ右上にある「区政情報」をクリック。
(<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/>)

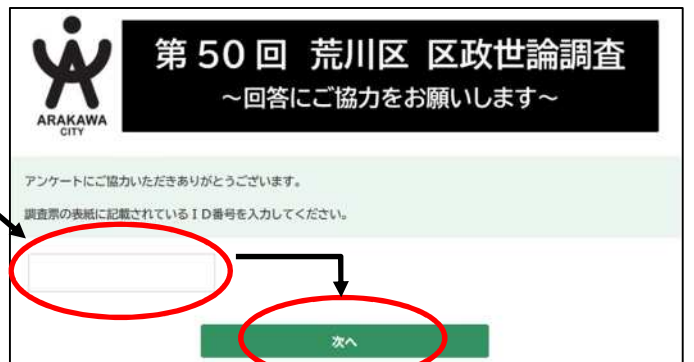
②「広報・報道・広聴」をクリック。

③ページを下にスクロールし、「広聴」のカテゴリのうち、「世論調査」をクリック。

④「第50回荒川区政世論調査にご協力を」をクリックし、表示されるページの「回答はコチラから(画像)」をクリック。

⑤ログイン画面が表示されますので、1ページ記載のIDを入力し、「次へ」をクリック。

⑥入力画面が表示されますので、順に回答をしてください。



※必ず宛名のご本人が、回答くださるようお願いいたします。ただし、ご事情により、ご本人による記入が難しい場合は、ご家族の方が代わりに記入していただいても構いません。

※本調査で、区の職員や調査員が訪問や電話をすることはありません。

(親族や区役所職員・警察官等をかたった特殊詐欺が多発しています。ご注意ください。)

担 当／荒川区秘書課総合相談係
電 話／03-3802-3229 (直通)
受付時間／月～金、8:30～17:15
※祝日を除く

委託先／株式会社名豊
電 話／0120-960-569 担当：田島
受付時間／月～金、10:00～18:00
※祝日を除く

居住と生活環境

問1 荒川区にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つだけ)

1	5年未満	17.8%	2	5～9年	10.9%	3	10～19年	17.8%	4	20年以上	52.8%
										無回答	0.6%

問2 これからも荒川区にお住まいになりますか。(〇は1つだけ)

1	住み続ける つもり	55.9%	2	当分の間は 住むつもり	30.6%	3	できれば 転居したい	3.6%	4	転居する つもり	3.0%	5	わからない	6.1%
													無回答	0.8%

問2で「1」、「2」とお答えの方に伺います

→問2-1 その主な理由は何ですか。次の中から選びください。(〇はいくつでも)

1	住み慣れているから	61.5%	9	子どもの教育のため	3.4%
2	自分の家(土地)だから	55.0%	10	地域での人間関係が良いから	14.4%
3	家の広さなどの居住環境が良いから	17.4%	11	自然や街並みなどの生活環境が	12.4%
4	家賃(地代)が安いから	9.4%		良いから	
5	通勤・通学に便利だから	39.8%	12	文化や教育などの公共施設が整備	7.2%
6	買い物など毎日の生活の便が良いから	43.0%		されているから	
7	仕事や商売の関係で都合だから	10.6%	13	まちの雰囲気が好きだから	19.4%
8	保育園、幼稚園、ひろば館・ふれあい館など子育て環境が充実しているから	6.2%	14	その他()	5.2%
				無回答	0.3%

問2で「3」、「4」とお答えの方に伺います

→問2-2 その主な理由は何ですか。次の中から選びください。(〇はいくつでも)

1	自分の家(土地)ではないから	31.1%	9	子どもの教育のため	5.8%
2	家の広さなどの居住環境が悪いから	20.4%	10	地域での人間関係が悪いから	6.8%
3	家賃(地代)が高いから	26.2%	11	自然や街並みなどの生活環境が	14.6%
4	相続税、固定資産税の負担が重いから	1.9%		悪いから	
5	通勤・通学に不便だから	16.5%	12	文化や教育などの公共施設が整備	4.9%
6	買い物など毎日の生活の便が悪いから	10.7%		されていないから	
7	仕事や商売の関係で不都合だから	9.7%	13	まちの雰囲気が嫌いだから	9.7%
8	保育園、幼稚園、ひろば館・ふれあい館など子育て環境が充実していないから	0.0%	14	その他()	29.1%
				無回答	1.0%

ここからはすべての方に伺います

問3 現在の荒川区を住みよいと思いますか。(〇は1つだけ)

1	非常に住みよい	22.0%	2	まあまあ住みよい	69.1%	3	やや住みにくい	6.1%	4	住みにくい	1.2%
										無回答	1.7%

問4 今後、荒川区のまちづくりを進めていく上で重要な課題と思われるものを、次の中からお選びください。
(〇は3つまで)

1 住宅・住環境の整備	24.9%
2 道路の整備	24.6%
3 交通網の整備	13.7%
4 駅前などの開発整備	33.1%
5 公園・緑地の整備	18.3%
6 建物の不燃化などの防災まちづくり	32.4%
7 水辺環境などをつくる隅田川沿岸の整備	12.2%
8 歴史・文化を大切にしたい街並みの保全や景観の整備	10.1%
9 自然や環境に配慮したまちづくり	18.2%
10 歩道の段差解消など高齢者・障がい者に配慮したまちづくり	29.6%
11 その他（ ）	10.4%
12 わからない	3.0%
無回答	2.5%

広報活動

問5 区政に関する情報は、どのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)

1 「あらかわ区報」	47.0%	10 ケーブルテレビ	4.8%
2 「あらかわ区議会だより」	16.9%	11 荒川区ホームページ	20.8%
3 「わたしの便利帳」	10.5%	12 荒川区メールマガジン	1.4%
4 区が作成したポスター・チラシ	11.3%	13 荒川区 LINE	5.3%
5 町会の回覧板	19.3%	14 荒川区 X (旧ツイッター)	3.5%
6 地域の掲示板	19.6%	15 荒川区フェイスブック	0.8%
7 人づて (家族・友人・知人)	16.0%	16 荒川区 Youtube (区長の記者会見など)	1.4%
8 所属している会や団体	3.4%	17 その他 ()	3.7%
9 新聞	5.7%	18 特に入手していない	21.1%
		無回答	0.8%

あらかわ区報は、新聞折り込みのほか、区内などの駅の広報スタンドや区の施設、一部のコンビニエンスストア、区内の銭湯にも置いています。また、新聞未購読で希望する方の自宅にお届けするほか、アプリ配信も行っています。ぜひ、ご利用ください。

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/koho/goriyokudasai.html>



荒川区の魅力

問6 荒川区の魅力と感じているものを、次の中から選びください。(〇は3つまで)

1 交通の便	61.2%	11 都電	37.9%
2 飲食店	7.7%	12 日暮里織維街	9.2%
3 商店街	11.7%	13 あらかわ遊園	12.4%
4 地域のお祭り	11.3%	14 芸術・文化	0.6%
5 子育て環境	8.2%	15 伝統工芸・モノづくり	2.9%
6 スポーツ環境	1.9%	16 福祉サービス	3.2%
7 図書館	18.9%	17 まちの美化・リサイクル	0.4%
8 公園	8.6%	18 安全安心	7.1%
9 隅田川テラスなどの水辺	8.6%	19 その他 ()	1.7%
10 桜・バラなどの花々や緑	11.9%	無回答	6.9%

問7 問6で答えた荒川区の魅力を人に勧めたいですか。(〇は1つだけ)

1 そう思う	27.0%	4 どちらかと言えばそう思わない	3.2%
2 どちらかと言えばそう思う	40.1%	5 そう思わない	3.5%
3 どちらでもない	23.8%	無回答	2.4%

問8 荒川区に愛着を感じていますか。(〇は1つだけ)

1 そう思う	37.4%	4 どちらかと言えばそう思わない	2.6%
2 どちらかと言えばそう思う	41.9%	5 そう思わない	2.8%
3 どちらでもない	14.0%	無回答	1.2%

防災対策

問9 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。
(「1」、「2」、「3」は、〇はいくつでも)

1 備蓄用として販売されている長期間保存用食料等(アルファ化米、乾パン、保存水等)を備蓄している	33.2%
2 普段使っている食料等(パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料(水・お茶等))の買い置きがある(日常備蓄)	62.3%
3 自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	6.6%
4 備蓄はしていない	22.7%
無回答	1.1%

問9-1へ

問9-2へ

問9で「1」～「3」とお答えの方に伺います

問9-1 何日分の備蓄をしていますか。(〇は1つだけ)

※備蓄用として販売されている食料等だけでなく、普段使っている食料等(パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料(水・お茶等))の買い置きをしている分(日常備蓄)も含めてご回答ください。

1 7日分以上の備蓄をしている	11.7%	2 3日以上、7日未満の備蓄をしている	49.0%	3 3日分未満の備蓄をしている	37.8%
				無回答	1.4%

問9で「4」とお答えの方に伺います

問9-2 食料や飲料水の備蓄を行っていない理由について、次の中から当てはまるものをお選びください。
(〇はいくつでも)

1 何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	39.8%
2 災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	2.6%
3 備蓄物資の入替や管理が面倒だから	30.7%
4 地震や水害が起きる可能性は低いから	6.8%
5 お金がかかるから	27.8%
6 備蓄物資を置くスペースがないから	50.6%
7 その他 ()	7.1%
無回答	3.4%

《7日間以上の備蓄を推奨しています》

首都直下地震等により大きな災害が発生した際は、長期間物流が滞り、また電気、ガス、水道などのライフラインが一週間以上、復旧しない状態も考えられるため、区民の皆様に7日間以上の食料や飲料水等の備蓄【※】を推奨しています。

【※】備蓄量の目安(大人1人、1日あたり) 飲料水3ℓ、食料3食分

また、普段使っている食料等を少し多めに購入し、日常的に消費しながら、家の中に常に一定の食料や飲料水等を確保しておく「日常備蓄(ローリングストック法)」を推奨しています。長期保存用食品でなくても、この方法であれば負担が少なく備蓄することができます。

備蓄品は特別な保存食である必要はなく、日常使う食品で、保存できるもので構いません。(パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料(お茶など))

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a013/bousai/sonae/nitijoubitiku.html>



ここからはすべての方に伺います

問10 あなたの家庭では、災害用トイレ(携帯トイレ、簡易トイレ)を備蓄していますか。
(〇は1つだけ)

1 備蓄している	46.5%	2 備蓄していない	52.2%
		無回答	1.3%
↓		↓	
問10-1へ		問10-2へ	

問10で「1」とお答えの方に伺います

問10-1 トイレの平均回数は、大人1日5回とされています。何日分の災害用トイレ(携帯トイレ、簡易トイレ)を備蓄していますか。(〇は1つだけ)

1 7日分以上の備蓄をしている	16.9%	2 3日分以上、7日分未満の備蓄をしている	38.2%	3 3日分未満の備蓄をしている	44.3%
				無回答	0.6%

問10で「2」とお答えの方に伺います

問10-2 災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していない理由を次の中からお選びください。
（〇はいくつでも）

1	どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	36.0%
2	災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	7.3%
3	入替や管理が面倒だから	17.7%
4	どこで買うかわからないから	21.1%
5	お金がかかるから	23.5%
6	置くスペースがないから	30.2%
7	使用したことがなく使い方がわからないから	28.0%
8	その他（ ）	8.6%
	無回答	2.5%

災害発生時に自宅に被害が無く安全な場合、自宅に留まる在宅避難が有効ですが、災害時には停電、断水、排水管の破損などで自宅の水洗トイレが使えなくなる恐れがあります。
また、避難所の仮設トイレは、多くの人が利用することから非常に混雑し、衛生状態が悪くなりがちのため、出来るだけトイレに行く回数を減らそうと水分や食事を控える傾向になると言われています。
災害時には食料、飲料水の確保と同様に、トイレ対策が重要となります。

ここからはすべての方に伺います

問11 あなたの家では、地震に備え、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具（例：つっぱり棒、固定金具、ガラス飛散防止フィルム等）による対策を行っていますか。（〇は1つだけ）

1	大部分の家具類に対策を行っている	14.6%
2	一部の家具類だけに対策を行っている	30.9%
3	対策器具の設置は行っていないが、家具類の配置を工夫している	12.0%
4	クローゼット等に収納しており、倒れるような家具類は置いていない	9.8%
5	行っていない	30.5%
	無回答	2.1%

→問11-1へ

問11で「2」、「3」、「5」とお答えの方に伺います

問11-1 区で家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置に5千円～2万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、一部の家具類だけに設置を行っている、または設置を行っていない理由を教えてください。
（〇はいくつでも）

1	固定する方法がわからない、 または固定するのが難しいから	20.9%	5	固定しても効果がないと思うから	5.5%
2	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、 壁に傷をつけることができないから	24.5%	6	お金をかけたくないから	8.8%
3	持ち家に住んでおり、家具や壁に 傷をつけたくないから	8.7%	7	助成制度を知らなかったから	37.4%
4	地震が起きても転倒・落下等しない、または 転倒・落下等しても危険ではないと思うから	18.1%	8	設置が面倒だから	24.5%
			9	その他（ ）	6.7%
				無回答	2.6%

ここからはすべての方に伺います

問12 地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。(〇は1つだけ)

1 全額自己負担で感震ブレーカーを設置した	6.3%
2 助成金を活用して感震ブレーカーを設置した	2.8%
3 東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した	4.2%
4 居住する前から感震ブレーカーが設置されていた	9.7%
5 感震ブレーカーを知っているが設置していない	18.4%
6 本設問まで感震ブレーカーを知らなかった	54.3%
無回答	4.4%

問12で「5」とお答えの方に伺います

→問12-1 荒川区では感震ブレーカー等の設置について、5千円～10万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、「感震ブレーカー」を設置していない理由を次の中からお選びください。
(〇はいくつでも)

1 設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから	30.4%
2 賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	21.0%
3 分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	6.3%
4 電気が突然止まると困るから	5.9%
5 設置しても効果がないと思うから	3.8%
6 避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の 通電火災対策をしているから	7.3%
7 お金をかけたくないから	5.2%
8 助成制度を知らなかったから	38.5%
9 設置が面倒だから	22.0%
10 その他（ ）	6.6%
無回答	0.0%

荒川区では、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具や感震ブレーカーの購入・設置費用の助成を行っています。また、高齢者のみの世帯や障がい者のいる世帯等には、簡易型感震ブレーカー及び自動点灯ライトの無料配付事業も行っています。事業の詳細は、区ホームページで確認できます。

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/bousai/sonae/index.html>



地域とのつながり・暮らし

ここからはすべての方に伺います

問13 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。(〇は1つだけ)

1	いつも参加している	4.1%	3	ほとんど参加していない	31.5%
2	時々参加している	24.6%	4	まったく参加しない	26.2%
			5	行事を知らない	12.2%
				無回答	1.5%

(問13で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

問13-1 次のうち、どのようなものに参加していますか。(〇はいくつでも)

1	町会・自治会の活動	43.8%	7	環境美化・リサイクルに関する活動	9.4%
2	お祭りなどの地域の催し	71.5%	8	高齢者・障がい者等の支援	4.9%
3	交通安全や、防災・防犯に関する活動	19.6%	9	動物愛護に関する活動	0.7%
4	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	12.1%	10	子育て支援	10.3%
5	スポーツ・健康(ラジオ体操、 ころばん体操等)に関する活動	15.1%	11	緑化推進に関する活動	1.6%
6	読書や文化啓発に関する活動	4.3%	12	学校行事・教育に関する活動	19.8%
			13	その他()	0.7%
				無回答	2.2%

(問13で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

問13-2 あなたが地域の行事や活動に参加するようになったきっかけはどのようなものでしたか。次の中からお選びください。(〇は1つだけ)

1	家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから	33.3%
2	友人・知人に誘われたから	23.6%
3	地域の課題を解決したかったから	3.8%
4	子育てが一段落したから、または、定年後などで時間に余裕ができたから	2.7%
5	参加するのが当たり前だったから	12.4%
6	人手が足りなかったから仕方なく	3.1%
7	その他()	9.2%
	無回答	11.9%

ここからはすべての方に伺います

問14 次のうち、あなたの住居の周辺では、以下の種類の、団体による活動は行われていますか。知っている活動を選んでください。(〇はいくつでも)

1	町会・自治会の活動	60.9%	8	高齢者・障がい者等の支援	11.3%
2	お祭りなどの地域の催し	77.4%	9	動物愛護に関する活動	3.2%
3	交通安全や、防災・防犯に関する活動	39.2%	10	子育て支援	13.5%
4	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	14.4%	11	緑化推進に関する活動	5.7%
5	スポーツ・健康(ラジオ体操、 ころばん体操等)に関する活動	29.0%	12	学校行事・教育に関する活動	15.1%
6	読書や文化啓発に関する活動	6.8%	13	その他()	0.8%
7	環境美化・リサイクルに関する活動	13.9%	14	知っている活動はない	10.8%
				無回答	1.7%

問15 次のうち、あなたの住居の周辺にある、以下の種類の、団体は知っていますか。知っている団体を選んでください。(〇はいいくつでも)

1 町会・自治会	74.7%	12 社会福祉協議会	15.8%
2 商店街	48.1%	13 地域包括支援センター	22.9%
3 公衆浴場	30.2%	14 障がい者団体	6.1%
4 消防団	34.1%	15 民生委員・児童委員	17.2%
5 防犯協会	8.3%	16 シルバー人材センター	30.2%
6 趣味・娯楽・自己啓発等の サークル団体	10.5%	17 動物愛護団体	3.3%
7 高齢者クラブ	8.5%	18 青少年育成団体(子ども会含む)	3.5%
8 青年会議所	3.3%	19 緑化推進団体	2.8%
9 女性団体	1.4%	20 PTA	25.5%
10 コミュニティカレッジ	5.5%	21 その他の地域活動団体 ()	0.8%
11 環境保全団体	1.1%	22 知っている団体はない 無回答	12.8% 1.9%

問16 次のうち、(現在参加されているもの以外で) 興味のあるものまたは参加してみたいと思う活動はありますか。(〇はいいくつでも)

1 町会・自治会の活動	7.4%	8 高齢者・障がい者等の支援	6.2%
2 お祭りなどの地域の催し	17.8%	9 動物愛護に関する活動	6.5%
3 交通安全や、防災・防犯に関する活動	5.6%	10 子育て支援	7.8%
4 趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	18.0%	11 緑化推進に関する活動	6.6%
5 スポーツ・健康(ラジオ体操、 ころばん体操等)に関する活動	15.5%	12 学校行事・教育に関する活動	4.9%
6 読書や文化啓発に関する活動	8.8%	13 その他()	2.2%
7 環境美化・リサイクルに関する活動	6.5%	14 興味のあるまたは参加してみたい 活動はない 無回答	38.7% 6.6%

問17 次のうち、(現在参加されているもの以外で) 興味のあるものまたは参加してみたいと思う団体はありますか。(〇はいいくつでも)

1 町会・自治会	5.5%	13 地域包括支援センター	3.1%
2 地域活動を行う商店街	4.5%	14 障がい者団体	2.2%
3 地域活動を行う公衆浴場	3.1%	15 民生委員・児童委員	1.4%
4 消防団	1.6%	16 シルバー人材センター	4.7%
5 防犯協会	2.4%	17 動物愛護団体	6.1%
6 趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	14.9%	18 青少年育成団体(子ども会含む)	1.4%
7 高齢者クラブ	2.1%	19 緑化推進団体	4.4%
8 青年会議所	0.6%	20 PTA	1.2%
9 女性団体	1.8%	21 その他の地域活動団体 ()	0.8%
10 コミュニティカレッジ	4.7%	22 興味のあるまたは参加してみたい 団体はない 無回答	51.7% 9.3%
11 環境保全団体	2.3%		
12 社会福祉協議会	2.3%		

問18 あなたは、地域の活動で多くの方が参加できるようにするためには何が最も必要だと思いますか。
(○は1つだけ)

1	活動内容を区内外に積極的にPRすること	13.8%
2	活動団体(町会、NPO、自主活動など)が信頼できる組織であること	7.8%
3	活動内容を魅力的なものにすること	11.0%
4	活動に気軽に参加できるようにすること	22.3%
5	地域のニーズ・課題にあった活動をする	5.0%
6	活動の目的が明確で共感できること	9.5%
7	自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること	16.9%
8	その他()	2.8%
	無回答	10.9%

問19 あなたは、地域で活動する団体が取り組むべき地域の課題とはどのようなものだと思いますか。重要と思われるものを、次の中からお選びください。(○はいくつでも)

1	防災・防犯・交通安全の対策	58.6%	7	地域の将来的な課題(担い手不足、空き家問題など)	24.2%
2	環境美化や生活環境の整備	30.4%	8	多文化共生や支援	10.5%
3	高齢者等が暮らしやすいまちづくり	34.4%	9	地域で活動する団体の取組には	5.3%
4	子育てしやすいまちづくり	34.3%		関心はない	
5	子ども・若者を取り巻く社会問題	20.9%	10	その他()	2.6%
6	地域の人と人とのつながりづくり	27.1%		無回答	3.5%

問 20 あなたは地域の人々とのつながりは、ある方が良いと思いますか。(〇は1つだけ)

※ここでの「つながり」は地域の活動や団体への参加に限らず、近所の人々との日常的な付き合い等を含みます。

1 ある方が良い	35.0%	3 どちらかと言えない方が良い	10.7%
2 どちらかと言えばある方が良い	48.7%	4 ない方が良い	3.2%
		無回答	2.4%

(問 20 で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

問 20-1 地域の人々とのつながりがある方が良いと思う理由はどのようなものですか。
(〇はいくつでも)

1 人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから	54.5%
2 隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから	69.3%
3 いざというときに頼りにすることができるから	53.4%
4 日常の仕事や生活にとって利益があるから	8.2%
5 地域の情報や他人の考え方がわかるから	22.8%
6 自分の成長につながるから	10.3%
7 地域の人々以外とのつながりが無いから	4.2%
8 その他 ()	1.7%
無回答	0.5%

(問 20 で「3」、「4」とお答えの方に伺います)

問 20-2 地域の人々とのつながりがない方が良いと思う理由はどのようなものですか。
(〇はいくつでも)

1 日常的な会話等のコミュニケーションが負担だから	32.4%
2 よく知らない人々につきあうのは不安だから	40.3%
3 人づきあいが苦手だから	39.8%
4 他人に頼られたくないから	12.5%
5 地域の行事や活動への参加を求められるから	26.9%
6 他のやりたいことをやる時間がなくなるから	16.7%
7 他のやらなければならないことをやる時間がなくなるから	22.2%
8 地域の人々以外とのつながりがあるから	14.8%
9 その他 ()	6.0%
無回答	0.9%

人権意識

ここからはすべての方に伺います

問21 あなたは、今の社会は人権が守られていると思いますか。(〇は1つだけ)

1 十分 守られている	15.2%	2 十分ではないが 守られている	59.2%	3 あまり守られて いない	17.9%	4 全然守られて いない	3.4%
						無回答	4.3%

問22 あなたが、関心があり、解消に向けて取り組むべきと考える人権問題は何ですか。
(〇はいくつでも)

1 女性に対する差別・暴力	32.5%
2 子どもに対するいじめ・虐待	52.6%
3 高齢者に対する差別・虐待	26.4%
4 障がい者に対する偏見・差別・虐待	31.9%
5 自分や家族の出身地に対する偏見・差別（部落差別）	7.0%
6 アイヌの人々に対する偏見・差別	7.5%
7 外国人に対する偏見・差別	19.4%
8 感染症（H I V・新型インフルエンザ等の新興感染症）に関連する偏見・差別	10.2%
9 刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	7.2%
10 犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別	11.5%
11 インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	47.5%
12 北朝鮮による拉致問題	19.1%
13 ホームレスに対する偏見・差別	7.4%
14 性的指向※1・性自認※2を理由とする偏見・差別	14.7%
15 性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引	15.1%
16 震災等の災害に起因する偏見・差別	10.7%
17 様々なハラスメント※3	30.9%
18 その他（ ）	2.7%
19 特になし	8.2%
無回答	3.8%

※1 「性的指向」とは、どのような性別の人を好きになるのかをいい、異性愛のほか、同性愛や両性愛を含みます。

※2 「性自認」とは、自分の性をどのように認識しているか（心の性）をいい、生物学的な性と心の性が一致しない方もいます。

※3 「ハラスメント」とは、「嫌がらせ、いじめ」の意で、セクハラ（セクシュアルハラスメント）やパワハラ（パワーハラスメント）、カスハラ（カスタマーハラスメント）等があります。

問 23 すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合う社会を実現するためには、どのような事業や取組が必要だと考えますか。(〇はいくつでも)

1	子どもを対象とした啓発イベント・教室	34.0%
2	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	28.1%
3	相談窓口の案内・周知	40.9%
4	さまざまな支援制度の案内・周知	44.3%
5	関係法令の整備	30.7%
6	地域における交流の推進	19.1%
7	会社や企業における啓発の取組	18.8%
8	その他 ()	4.4%
	無回答	7.6%

区政への関心と要望

問 24 あなたは、区政にどの程度関心がありますか。(〇は1つだけ)

1	2	3	4	5
関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない
15.5%	43.8%	29.3%	5.2%	3.1%
				無回答 3.2%

問 25 区に意見・要望や相談することがある場合、どのような手段を利用したいですか。(〇はいくつでも)

1	区の担当窓口などに来庁する	29.8%
2	区の担当窓口などに電話する	41.9%
3	「区民の声」などを送る	15.7%
4	電子メール、LINE等のチャットアプリを利用する	39.2%
5	パソコンやスマートフォンを活用したテレビ電話を利用する	6.0%
6	議員を通じて伝える	8.1%
7	町会・自治会を通じて伝える	7.7%
8	その他 ()	2.3%
	無回答	4.8%

問 26 荒川区が行っている次の事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を、次の中からお選びください。（〇は5つまで）

1 地震・水害などの防災対策	56.6%	16 バリアフリー化の推進	9.7%
2 地域防犯の取組	42.7%	17 健康づくりなどの保健衛生施策	7.6%
3 子どもの安全対策	30.3%	の充実	
4 文化芸術の振興	7.1%	18 感染症対策の充実	5.2%
5 生涯学習・社会教育の振興	6.3%	19 幼児・児童の子育て支援の充実	17.1%
6 スポーツの振興	5.9%	20 青少年健全育成の推進	2.7%
7 産業の振興	6.8%	21 魅力ある景観づくり、木造住宅	13.3%
8 消費生活に関する相談などの 消費者対策	4.6%	密集地域の改善など街づくりの推進	
9 就労支援の充実	6.5%	22 道路・交通網の整備	16.2%
10 観光振興などによる地域の イメージアップ	5.4%	23 放置自転車対策	5.6%
11 リサイクルなどの環境配慮活動の推進	7.3%	24 公園の整備充実・緑化の推進	12.7%
12 騒音・ポイ捨て対策などの良好な 生活環境のための施策の充実	16.8%	25 良好な住宅の確保などの住宅対策	8.4%
13 低所得者に対する福祉の充実	10.8%	26 学校教育の充実	11.2%
14 高齢者福祉の充実	19.0%	27 区報や区民の声などの広報・ 広聴活動	2.6%
15 心身障がい者（児）福祉の充実	5.4%	28 その他	5.8%
		（ ）	
		29 特になし	1.8%
		無回答	5.9%

あなたご自身について

最後に、お答えいただいた「あなた」ご自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、是非ご記入ください。

F 1 年代

1	18・19 歳	1.4%	6	40～44 歳	8.3%	11	65～69 歳	7.5%
2	20～24 歳	3.4%	7	45～49 歳	9.2%	12	70～74 歳	7.2%
3	25～29 歳	5.3%	8	50～54 歳	9.9%	13	75～79 歳	8.2%
4	30～34 歳	6.9%	9	55～59 歳	9.0%	14	80 歳以上	9.1%
5	35～39 歳	6.9%	10	60～64 歳	7.0%		無回答	0.7%

F 2 現在お住まいの地域

1	南 千 住 () 丁目	21.1%	5	西 尾 久 () 丁目	12.6%
2	荒 川 () 丁目	15.4%	6	東日暮里 () 丁目	13.1%
3	町 屋 () 丁目	13.6%	7	西日暮里 () 丁目	10.8%
4	東 尾 久 () 丁目	12.0%		無回答	1.4%

F 3 ご職業

1	自営業主・事業主	12.2%	5	学生	3.0%
2	会社員・公務員	41.0%	6	無職（年金生活を含む）	19.5%
3	パート・アルバイト・非常勤	14.1%	7	その他 ()	1.9%
4	家事専業	6.7%		無回答	1.6%

F 4 同居世帯の人数（あなた自身を含みます）

1	1 人	23.1%	3	3 人	20.9%	5	5 人	3.8%
2	2 人	34.5%	4	4 人	14.2%	6	6 人以上	2.3%
							無回答	1.4%

F 5 同居世帯の構成

1	一人暮らし	22.6%	4	三世大家族（親と子どもと孫）	4.3%
2	夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）	25.6%	5	その他	4.9%
3	二世大家族（親と子ども）	39.9%		無回答	2.6%

F 6 同居しているお子様について

1 同居している子どもはいない、独身、夫婦のみ (事実婚、パートナーを含む) など	50.3%	3 一番上の子どもが小・中学生	8.2%
2 一番上の子どもが小学校入学前	6.4%	4 一番上の子どもが高校生・大学生	7.5%
		5 一番上の子どもが学校卒業	11.6%
		無回答	15.9%

F 7 お住まいの形態

1 持ち家（一戸建て）	32.6%	4 借家（集合住宅）	30.0%
2 持ち家（集合住宅）	29.8%	5 寮・社宅	1.7%
3 借家（一戸建て）	2.8%	6 その他（ ）	1.9%
		無回答	1.2%

F 8 性別

1 男	41.3%	2 女	56.3%	3 その他（どちらでもない、わからない）	0.8%
				無回答	1.5%

F 9 外国人住民の皆様の意向や生活意識などを把握させていただくため、
外国籍の方は、右の□の中に○印を記入してください。

5.0%

区政についてのご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



IV 調査結果の要約

1. 居住と生活環境

(1) 居住年数

居住年数について聞いたところ、「20年以上」(52.8%)の《長期居住者》が5割強で最も高く、次いで「10～19年」(17.8%)と「5～9年」(10.9%)を合わせた《中期居住者》(28.7%)が3割近く、「5年未満」(17.8%)の《短期居住者》が2割近い。

(2) 定住意向

定住意向について聞いたところ、「住み続けるつもり」(55.9%)と「当分の間は住むつもり」(30.6%)を合わせた《住み続けたい》の割合が8割半ば(86.5%)を超えている。

一方、「できれば転居したい」(3.6%)と「転居するつもり」(3.0%)を合わせた《転居したい》(6.6%)の割合は1割未満となっている。

(2-1) 住み続けたい理由

住み続けたい理由について聞いたところ、「住み慣れているから」(61.5%)が6割強と最も高く、次いで「自分の家(土地)だから」(55.0%)、「買い物など毎日の生活の便が良いから」(43.0%)、「通勤・通学に便利だから」(39.8%)が比較的高くなっている。

(2-2) 転居したい理由

転居したい理由について聞いたところ、「自分の家(土地)ではないから」(31.1%)が3割強で最も高く、次いで「家賃(地代)が高いから」(26.2%)、「家の広さなどの居住環境が悪いから」(20.4%)が比較的高くなっている。

(3) 住みよさ評価

住みよさ評価について聞いたところ、「非常に住みよい」(22.0%)と「まあまあ住みよい」(69.1%)を合わせた《住みよい》(91.1%)の割合は9割強と圧倒的に高い。

一方、「やや住みにくい」(6.1%)と「住みにくい」(1.2%)を合わせた《住みにくい》(7.3%)は1割に満たない。

(4) まちづくりを進めていく上で重要な課題

まちづくりを進めていく上で重要な課題について聞いたところ、「駅前などの開発整備」(33.1%)が3割超で最も高く、次いで「建物の不燃化などの防災まちづくり」(32.4%)が約3割と高くなっている。

2. 広報活動

(1) 区政に関する情報の入手方法

区政に関する情報の入手方法について聞いたところ、「「あらかわ区報」」(47.0%)が5割近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」(20.8%)となっている。

3. 荒川区の魅力

(1) 荒川区の魅力だと感じているもの

荒川区の魅力だと感じているものについて聞いたところ、「交通の便」(61.2%)が6割強と最も高く、次いで「都電」(37.9%)が4割近くとなっている。

(2) 荒川区の魅力を人に勧めたいか

荒川区の魅力を人に勧めたいか聞いたところ、「そう思う」(27.0%)と「どちらかと言えばそう思う」(40.1%)を合わせた《そう思う》(67.1%)の割合が7割近く比較的高い割合を示している。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」(3.2%)と「そう思わない」(3.5%)を合わせた《そう思わない》(6.7%)の割合は1割未満となっている。

(3) 荒川区に愛着を感じているか

荒川区に愛着を感じているか聞いたところ、「そう思う」(37.4%)と「どちらかと言えばそう思う」(41.9%)を合わせた《そう思う》(79.3%)の割合が約8割と高い割合を示している。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」(2.6%)と「そう思わない」(2.8%)を合わせた《そう思わない》(5.4%)の割合は1割未満となっている。

4. 防災対策

(1) 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について聞いたところ、「普段使っている食料等の買い置きがある(日常備蓄)」(62.3%)が6割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」(33.2%)が3割となっている。一方、「備蓄はしていない」(22.7%)は2割強を占める。

(1-1) 災害時に備えた備蓄の量

災害時に備えた備蓄の量について聞いたところ、「7日分以上の備蓄をしている」(11.7%)と「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(49.0%)を合わせた《3日分以上の備蓄をしている》(60.7%)は6割強となっている。

(1-2) 備蓄を行っていない理由

備蓄を行っていない理由について聞いたところ、「備蓄物資を置くスペースがないから」(50.6%)が5割と最も高く、以下、「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(39.8%)、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」(30.7%)が続いている。

(2) 災害用トイレの備蓄

災害用トイレの備蓄について聞いたところ、「備蓄していない」(52.2%)は5割強を占める。一方、「備蓄している」(46.5%)も5割に近くなっている。

(2-1) 災害用トイレの備蓄の量

災害用トイレの備蓄の量について聞いたところ、「3日分未満の備蓄をしている」(44.3%)が4割強と最も高く、次いで「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(38.2%)が4割近くとなっている。「7日分以上の備蓄をしている」(16.9%)は1割半ばを超えている。

(2-2) 災害用トイレを備蓄していない理由

災害用トイレを備蓄していない理由について聞いたところ、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(36.0%)が4割近く最も高く、以下、「置くスペースがないから」(30.2%)、「使用したことがなく使い方がわからないから」(28.0%)が続いている。

(3) 家具の転倒・落下防止

家具の転倒・落下防止について聞いたところ、「一部の家具類だけに対策を行っている」(30.9%)と「大部分の家具類に対策を行っている」(14.6%)を合わせた《設置している》

(45.5%)は4割を超えている。「対策器具の設置は行っていないが、家具類の配置を工夫している」(12.0%)が1割強、「クローゼット等に収納しており、倒れるような家具類は置いていない」(9.8%)は1割弱となっている。一方、「行っていない」(30.5%)は3割となっている。

(3-1) 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」(37.4%)が4割近くで最も高く、以下、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」(24.5%)、「設置が面倒だから」(24.5%)、「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」(20.9%)が続いている。

(4) 感震ブレーカーの設置状況

感震ブレーカーの設置状況について聞いたところ、「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」(6.3%)と「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」(2.8%)と「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」(4.2%)と「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」(9.7%)を合わせた《設置している》(23.0%)は2割強となっている。「感震ブレーカーを知っているが設置していない」(18.4%)は2割近くで、「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」(54.3%)が5割を占める。

(4-1) 感震ブレーカーの未設置理由

感震ブレーカーの未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」(38.5%)が4割近くと最も高く、以下、「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」(30.4%)、「設置が面倒だから」(22.0%)、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」(21.0%)が続いている。

5. 地域とのつながり・暮らし

(1) 地域の行事や活動への参加頻度

地域の行事や活動への参加頻度を聞いたところ、「いつも参加している」(4.1%)と「時々参加している」(24.6%)を合わせた《参加している》(28.7%)は3割近くとなっている。一方、「ほとんど参加していない」(31.5%)と「まったく参加しない」(26.2%)を合わせた《参加していない》(57.7%)は6割近くとなっている。

(1-1) 参加している地域の行事や活動

参加している地域の行事や活動について聞いたところ、「お祭りなどの地域の催し」(71.5%)が約7割と最も高く、次いで「町会・自治会の活動」(43.8%)が4割強となっている。

(1-2) 地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ

地域の行事や活動に参加するようになったきっかけについて聞いたところ、「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」(33.3%)が約3割と最も高く、以下、「友人・知人に誘われたから」(23.6%)、「参加するのが当たり前だったから」(12.4%)が続いている。

(2) 住居周辺の知っている団体活動

住居周辺の知っている団体活動について聞いたところ、「お祭りなどの地域の催し」(77.4%)が8割近くで最も高く、次いで「町会・自治会の活動」(60.9%)が6割と高くなっている。一方、「知っている活動はない」(10.8%)は1割となっている。

(3) 住居周辺の知っている団体

住居周辺の知っている団体について聞いたところ、「町会・自治会」(74.7%)が7割を超えて最も高く、次いで「商店街」(48.1%)が比較的高くなっている。

(4) 興味または参加してみたい活動

興味または参加してみたい活動について聞いたところ、「興味のあるまたは参加してみたい活動はない」(38.7%)を除くと、「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル活動」(18.0%)が2割近くと最も高く、以下、「お祭りなどの地域の催し」(17.8%)、「スポーツ・健康(ラジオ体操、ころばん体操等)に関する活動」(15.5%)が続いている。

(5) 興味または参加してみたい団体

興味または参加してみたい団体について聞いたところ、「興味のあるまたは参加してみたい団体はない」(51.7%)を除くと、「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体」(14.9%)が1割半ば近くと最も高く、それ以外の選択肢の割合は1割未満となっている。

(6) 地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと

地域活動へ参加できるようにするために最も必要なことについて聞いたところ、「活動に気軽に参加できるようにすること」(22.3%)が2割強と最も高く、以下、「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」(16.9%)、「活動内容を区内外に積極的にPRすること」(13.8%)が続いている。

(7) 地域の団体が取り組むべき課題

地域の団体が取り組むべき課題について聞いたところ、「防災・防犯・交通安全の対策」(58.6%)が6割近くと最も高く、以下、「高齢者等が暮らしやすいまちづくり」(34.4%)、「子育てしやすいまちづくり」(34.3%)、「環境美化や生活環境の整備」(30.4%)が続いている。

(8) 地域の人々とのつながりの必要性

地域の人々とのつながりの必要性について聞いたところ、「ある方が良い」(35.0%)と「どちらかと言えばある方が良い」(48.7%)を合わせた《ある方が良い》(83.7%)の割合は8割を超え高い割合を示している。

一方、「どちらかと言えばない方が良い」(10.7%)と「ない方が良い」(3.2%)を合わせた《ない方が良い》(13.9%)は1割半ば近くとなっている。

(8-1) つながりがある方が良いと思う理由

つながりがある方が良いと思う理由について聞いたところ、「隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから」(69.3%)が約7割と最も高く、以下、「人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから」(54.5%)、「いざというときに頼りにすることができるから」(53.4%)が続いている。

(8-2) つながりがない方が良いと思う理由

つながりがない方が良いと思う理由について聞いたところ、「よく知らない人々とつきあうのは不安だから」(40.3%)が4割と最も高く、以下、「人づきあいが苦手だから」(39.8%)、「日常的な会話等のコミュニケーションが負担だから」(32.4%)が続いている。

6. 人権意識

(1) 人権が守られているか

人権が守られているか聞いたところ、「十分守られている」(15.2%)と「十分ではないが守られている」(59.2%)を合わせた《守られている》(74.4%)の割合は7割を超えている。

一方、「あまり守られていない」(17.9%)と「全然守られていない」(3.4%)を合わせた《守られていない》(21.3%)は2割強となっている。

(2) 関心のある人権問題

関心のある人権問題について聞いたところ、「子どもに対するいじめ・虐待」(52.6%)が5割強と最も高く、次いで「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」(47.5%)が5割近くで高くなっている。

(3) 多様性を認め合う社会の実現に必要な取組

多様性を認め合う社会の実現に必要な取組について聞いたところ、「さまざまな支援制度の案内・周知」(44.3%)が4割を超え最も高く、以下、「相談窓口の案内・周知」(40.9%)、「子どもを対象とした啓発イベント・教室」(34.0%)が続いている。

7. 区政への関心と要望

(1) 区政への関心

区政への関心について聞いたところ、「関心がある」(15.5%)と「やや関心がある」(43.8%)を合わせた《関心がある》(59.3%)は約6割、一方、「あまり関心がない」(29.3%)と「関心がない」(5.2%)を合わせた《関心がない》(34.5%)は3割半ば近くとなっている。

(2) 区政への意見・要望などの伝達方法

区政への意見・要望などの伝達方法について聞いたところ、「区の担当窓口などに電話する」(41.9%)が4割強で最も高く、以下、「電子メール、LINE等のチャットアプリを利用する」(39.2%)、「区の担当窓口などに来庁する」(29.8%)、「区民の声」などを送る」(15.7%)が続いている。

(3) 今後、区に力を入れてほしい事業

今後、区に力を入れてほしい事業について聞いたところ、「地震・水害などの防災対策」(56.6%)が5割を超えて最も高く、以下、「地域防犯の取組」(42.7%)、「子どもの安全対策」(30.3%)が続いている。

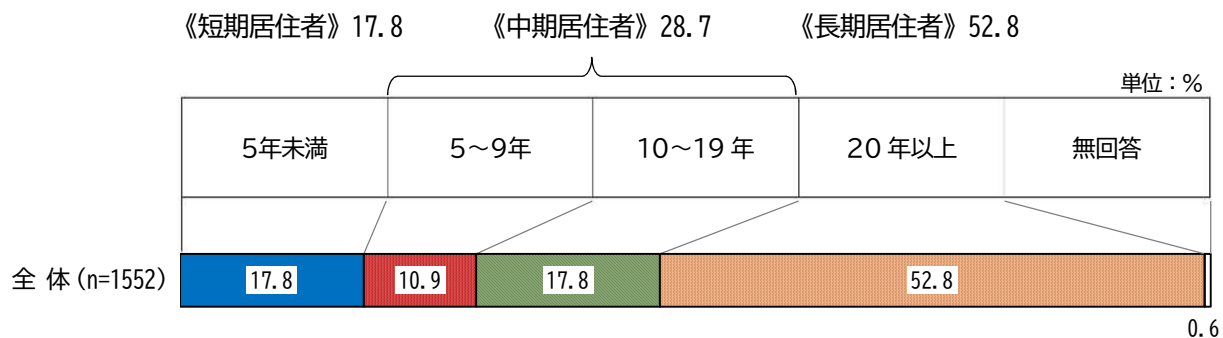
V 結果と分析

1. 居住と生活環境

(1) 居住年数

◇「20年以上」の《長期居住者》が5割強

問1 荒川区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つだけ)



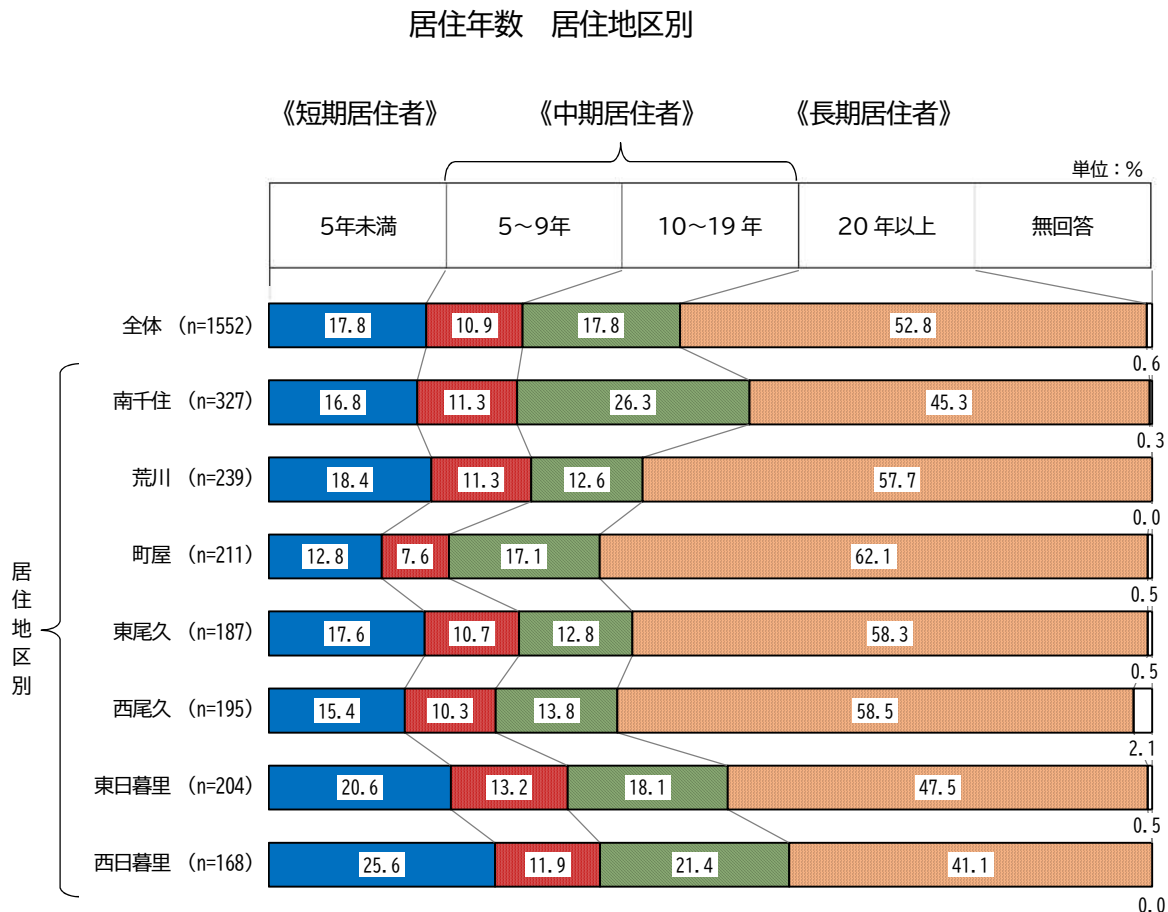
(注) 《短期居住者》＝「5年未満」

《中期居住者》＝「5～9年」＋「10～19年」

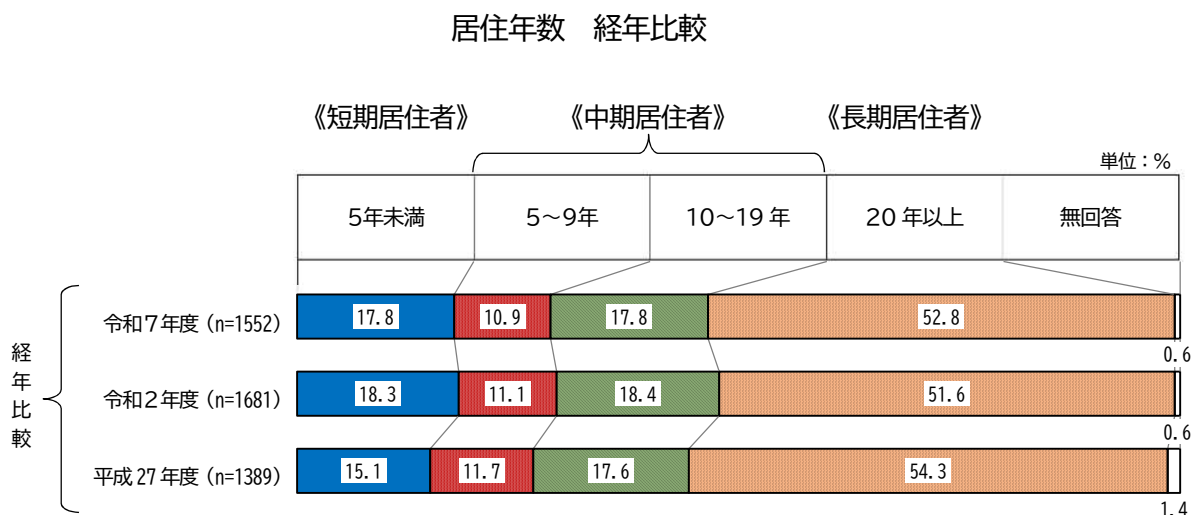
《長期居住者》＝「20年以上」

居住年数について聞いたところ、「20年以上」(52.8%)の《長期居住者》が5割強で最も高く、次いで「10～19年」(17.8%)と「5～9年」(10.9%)を合わせた《中期居住者》(28.7%)が3割近く、「5年未満」(17.8%)の《短期居住者》が2割近い。

居住地区別でみると、「5年未満」の《短期居住者》では、西日暮里地区（25.6%）が高くなっている。一方、「20年以上」の《長期居住者》では、町屋地区（62.1%）で6割強、西尾久地区（58.5%）と東尾久地区（58.3%）で6割近くと高くなっている。また、「5～9年」と「10～19年」を合わせた《中期居住者》では、南千住地区（37.6%）が4割近くで高くなっている。



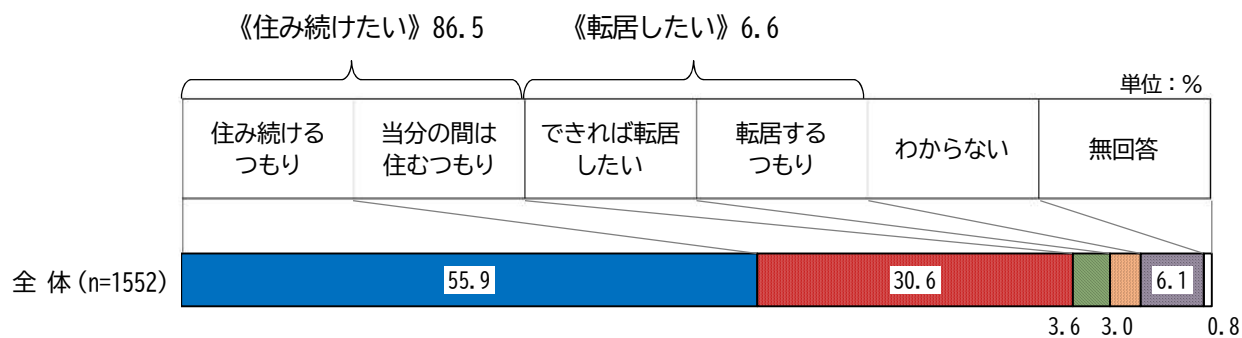
経年比較すると、「5～9年」が、平成27年度で11.7%、令和2年度で11.1%、令和7年度で10.9%と減少している。



(2) 定住意向

◇ 《住み続けたい》の割合は8割半ばを超える

問2 これからも荒川区にお住まいになりますか。(○は1つだけ)



(注) 《住み続けたい》＝「住み続ける」＋「当分の間は住むつもり」

《転居したい》＝「できれば転居したい」＋「転居するつもり」

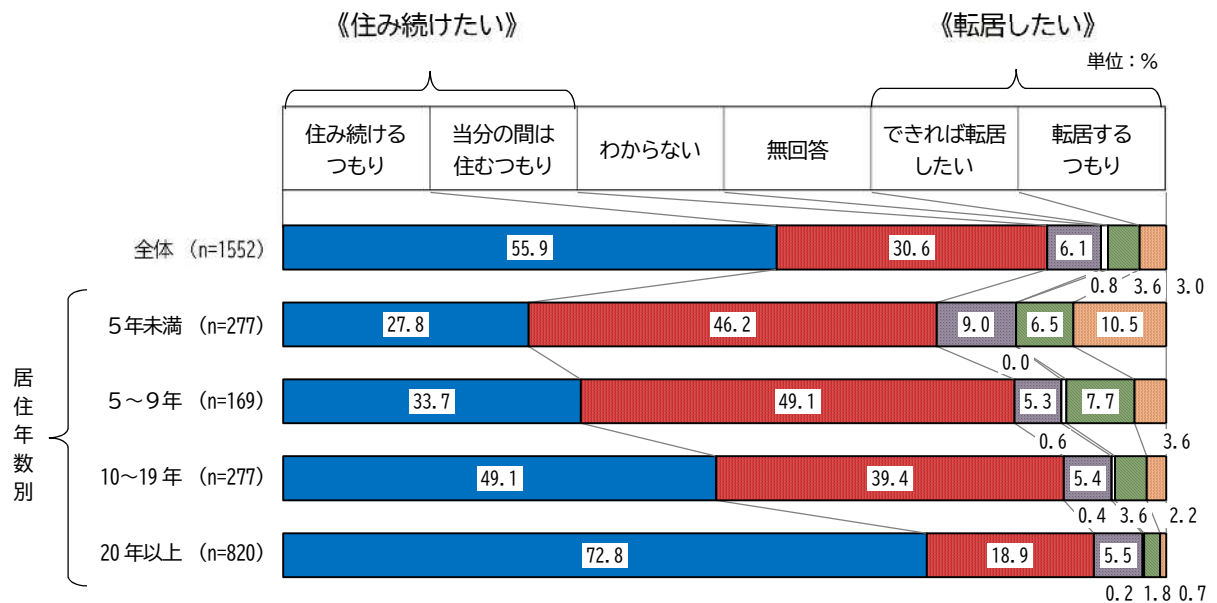
定住意向について聞いたところ、「住み続けるつもり」(55.9%)と「当分の間は住むつもり」(30.6%)を合わせた《住み続けたい》の割合が8割半ば(86.5%)を超えている。

一方、「できれば転居したい」(3.6%)と「転居するつもり」(3.0%)を合わせた《転居したい》(6.6%)の割合は1割未満となっている。

居住年数別でみると、「住み続けるつもり」と「当分の間は住むつもり」を合わせた《住み続けたい》は居住年数が長いほど割合が高くなっており、「20年以上」（91.7%）では9割強となっている。

一方、「できれば転居したい」と「転居するつもり」を合わせた《転居したい》は居住年数が短いほど割合が高くなっており、「5年未満」（17.0%）では1割半ばを超え、「5～9年」（11.3%）では1割強となっている。

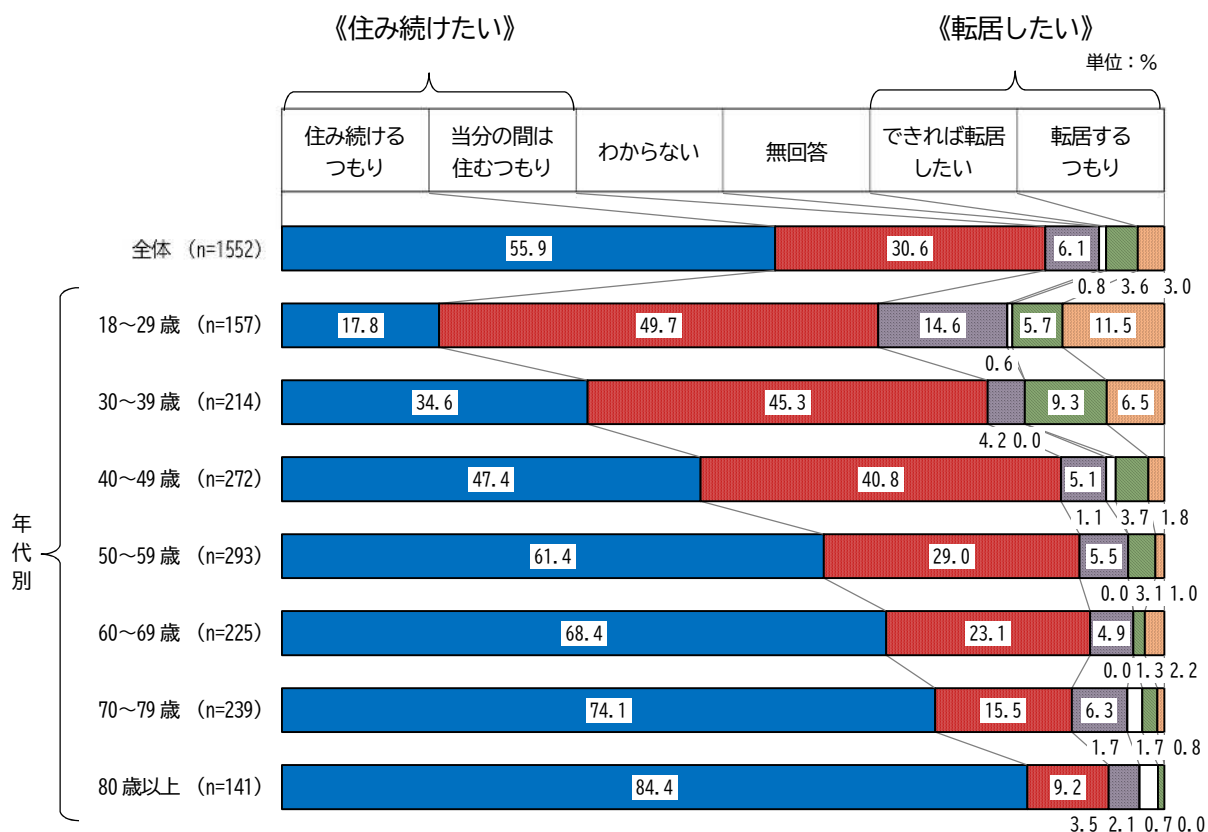
定住意向 居住年数別



年代別でみると、年齢層が高いほど「住み続けるつもり」の割合も高くなっており、80歳以上（84.4%）では8割を超えている。また、《住み続けたい》では、80歳以上（93.6%）が9割半ば近く、60～69歳（91.5%）が9割強、50～59歳（90.4%）が9割となっている。

一方、《転居したい》では、18～29歳（17.2%）が2割に近く、30～39歳（15.8%）が1割半ば、他の年齢層では1割未満となっている。

定住意向 年代別

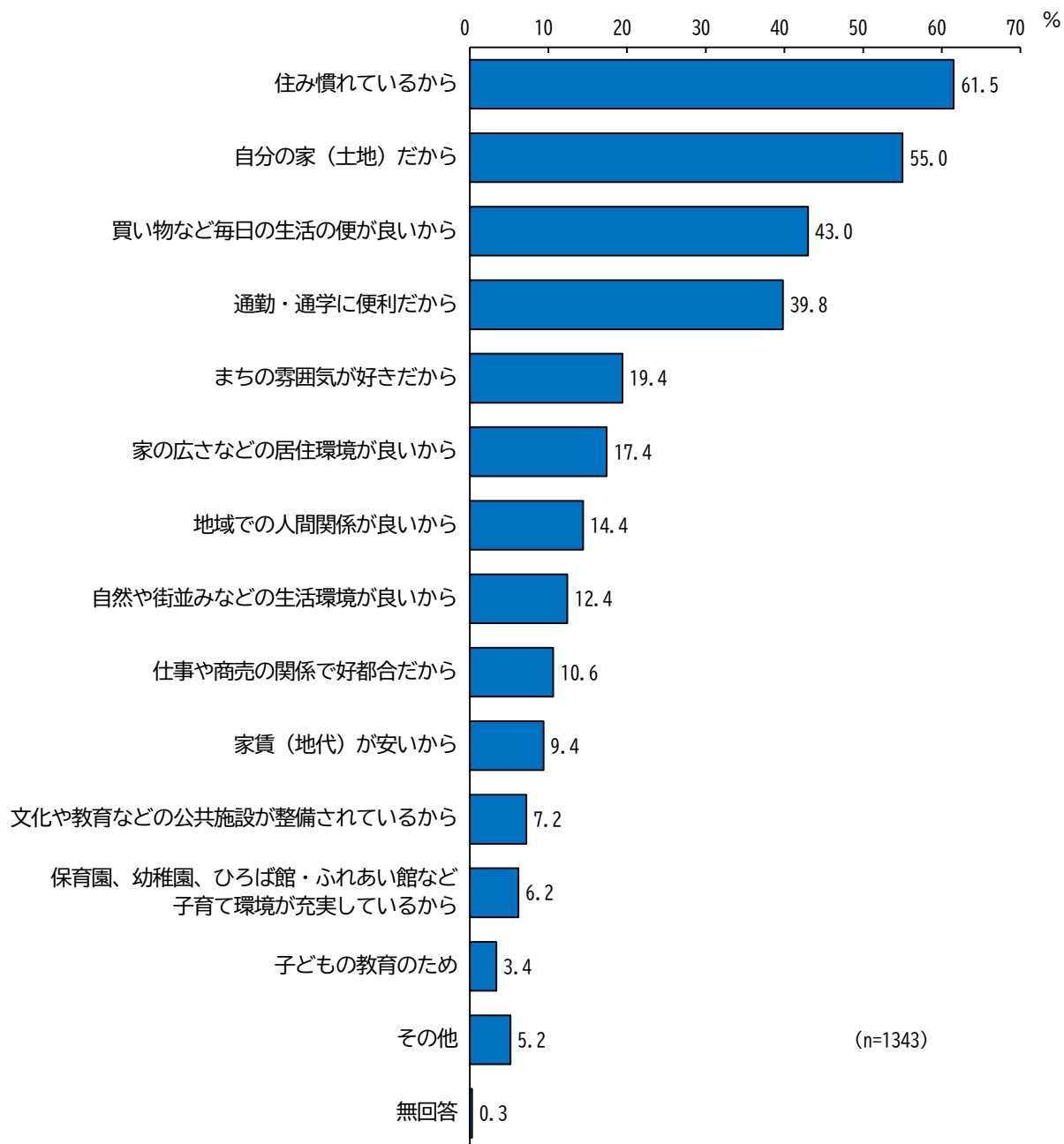


(2-1) 住み続けたい理由

◇「住み慣れているから」が6割強

問2-1 (問2で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

その主な理由は何ですか。次の中から選びください。(〇はいくつでも)



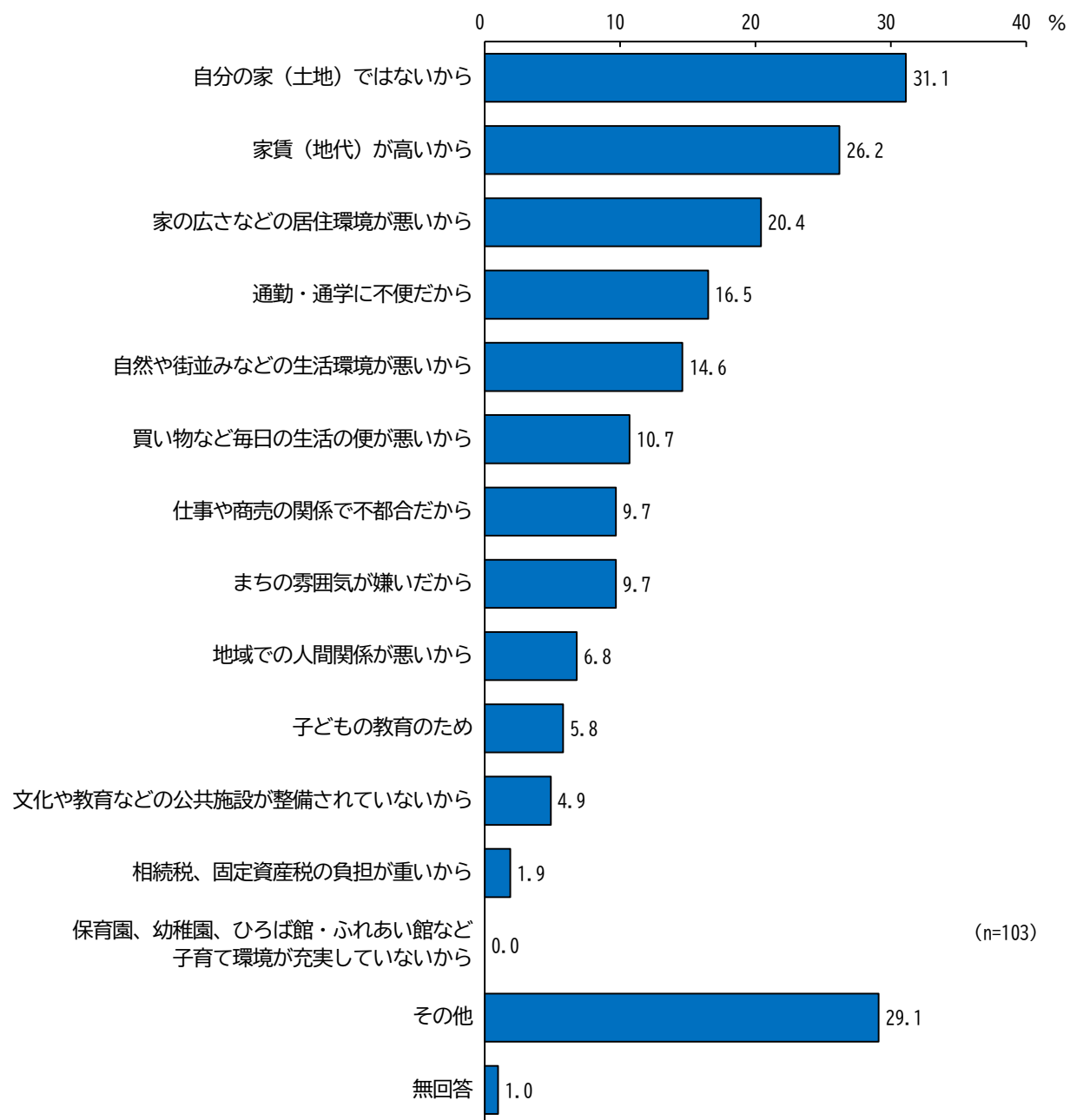
住み続けたい理由について聞いたところ、「住み慣れているから」(61.5%)が6割強と最も高く、次いで「自分の家(土地)だから」(55.0%)、「買い物など毎日の生活の便が良いから」(43.0%)、「通勤・通学に便利だから」(39.8%)が比較的高くなっている。

(2-2) 転居したい理由

◇「自分の家（土地）ではないから」が3割強

問2-2 （問2で「3」、「4」とお答えの方に伺います）

その主な理由は何ですか。次の中からお選びください。（〇はいくつでも）

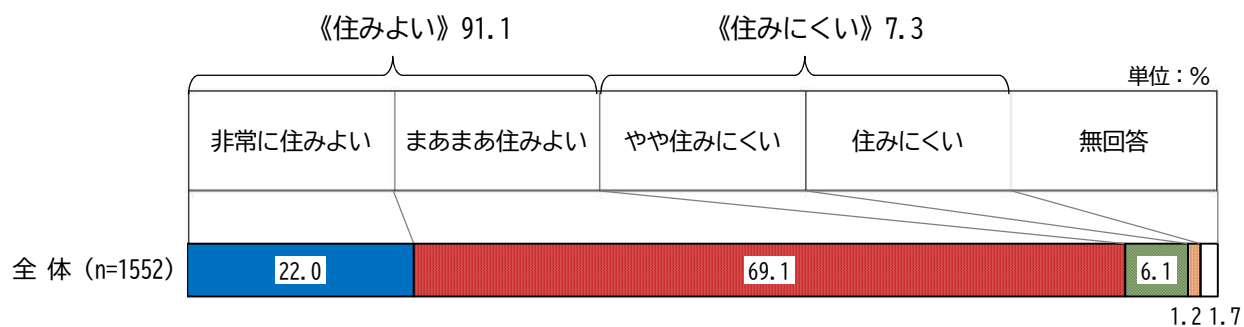


転居したい理由について聞いたところ、「自分の家（土地）ではないから」（31.1%）が3割強で最も高く、次いで「家賃（地代）が高いから」（26.2%）、「家の広さなどの居住環境が悪いから」（20.4%）が比較的高くなっている。

(3) 住みよさ評価

◇ 《住みよい》が9割強

問3 現在の荒川区を住みよいと思いますか。(○は1つだけ)



(注) 《住みよい》 = 「非常に住みよい」 + 「まあまあ住みよい」

《住みにくい》 = 「住みにくい」 + 「やや住みにくい」

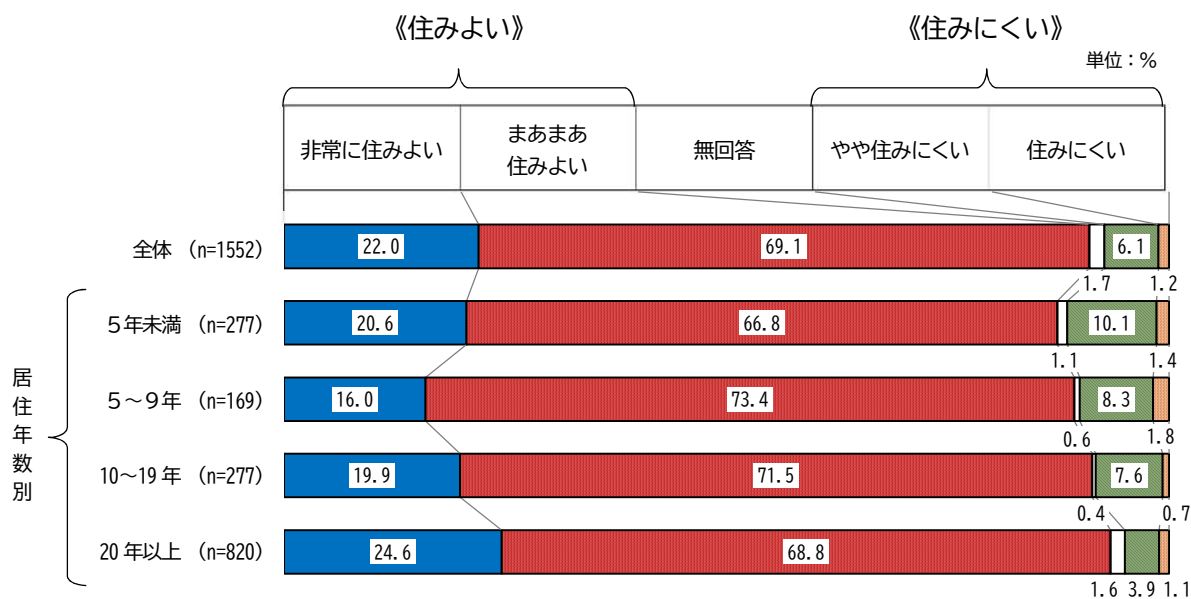
住みよさ評価について聞いたところ、「非常に住みよい」(22.0%)と「まあまあ住みよい」(69.1%)を合わせた《住みよい》(91.1%)の割合は9割強と圧倒的に高い。

一方、「やや住みにくい」(6.1%)と「住みにくい」(1.2%)を合わせた《住みにくい》(7.3%)は1割に満たない。

居住年数別でみると、「非常に住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた《住みよい》は、わずかながらあるが居住年数が長いほど割合が高くなっており、「20年以上」（93.4%）で9割を超え、「10～19年」（91.4%）も同様の傾向である。

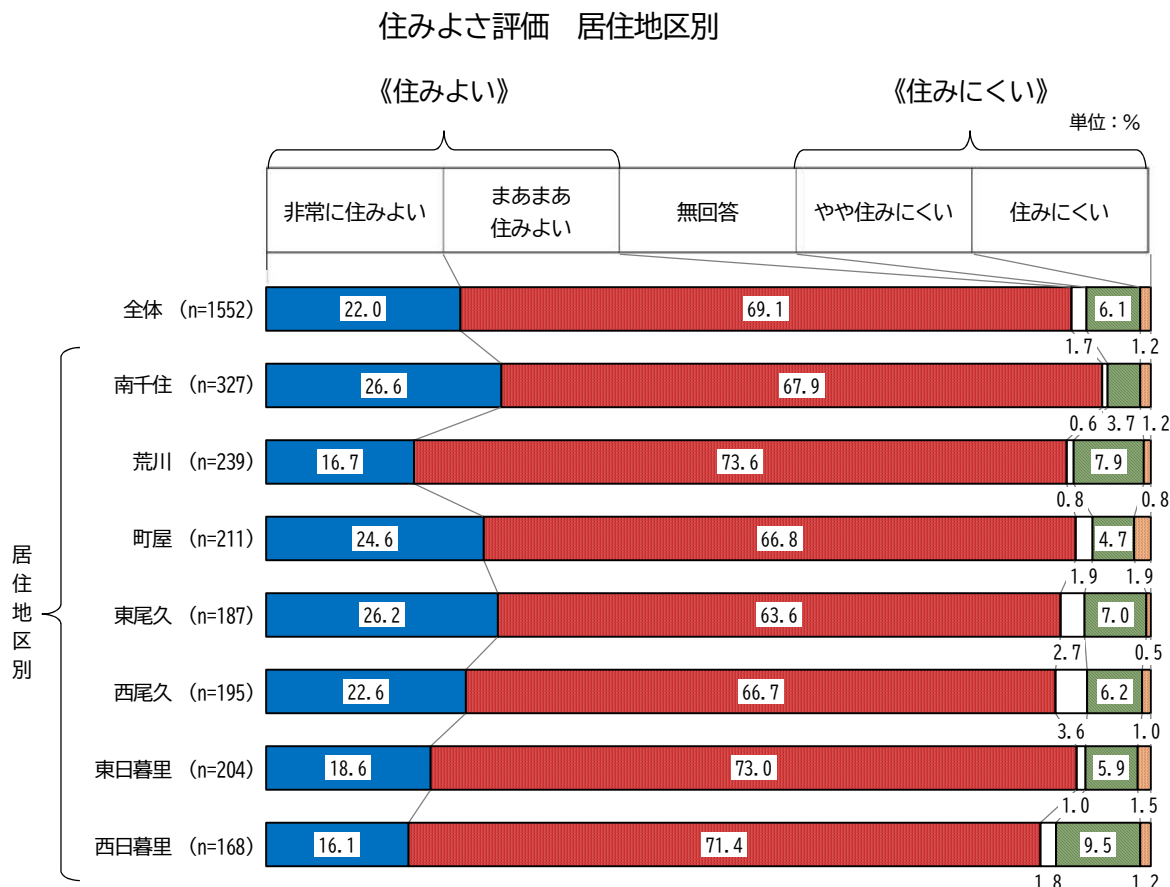
一方、「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた《住みにくい》は居住年数が短いほど割合が高くなっており「5年未満」（11.5%）が1割強、「5～9年」（10.1%）が1割となっている。

住みよさ評価 居住年数別

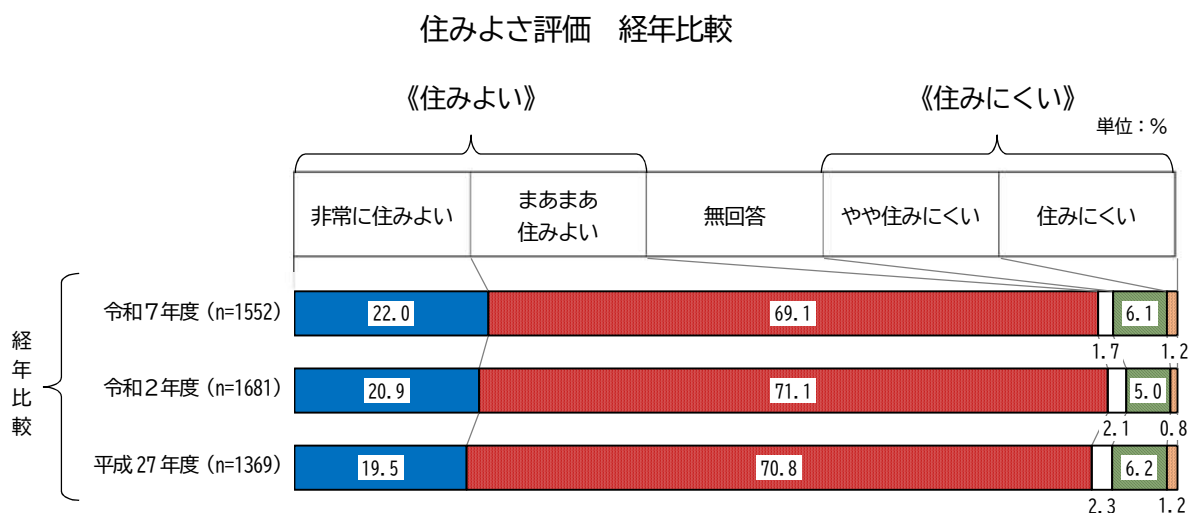


居住地区別でみると、「非常に住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた《住みよい》は、南千住地区（94.5%）が最も高くなっている。

一方、「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた《住みにくい》は、各地区で5～10%程度となっている。



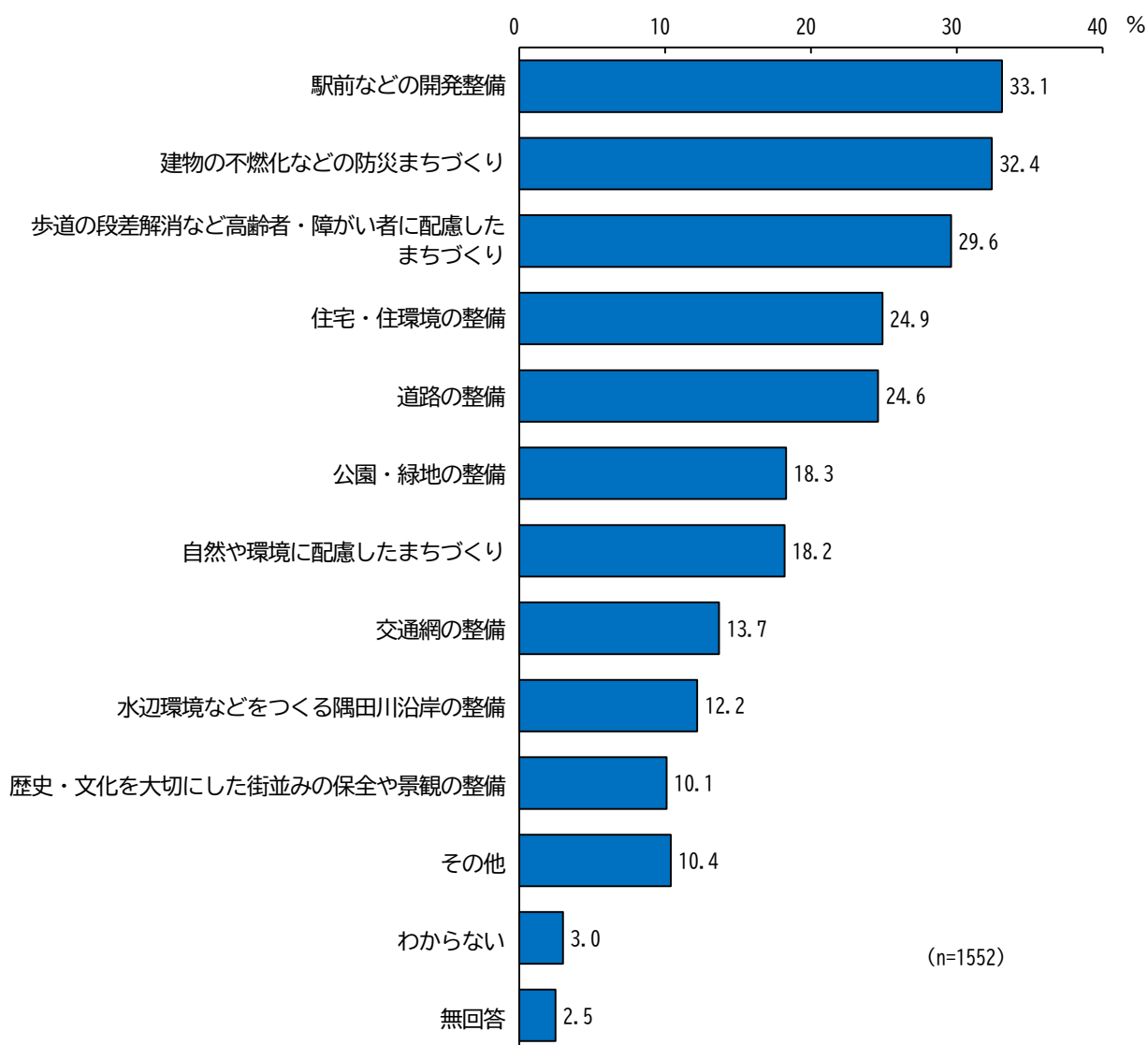
経年比較でみると、「非常に住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた《住みよい》は、令和7年度は91.1%で令和2年度の92.0%よりやや減少しているものの、平成27年度の90.3%より増加している。また、「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた《住みにくい》はどの年度も1割に満たない。



(4) まちづくりを進めていく上で重要な課題

◇「駅前などの開発整備」が3割超

問4 今後、荒川区のまちづくりを進めていく上で重要な課題と思われるものを、次の中から選びください。(〇は3つまで)



まちづくりを進めていく上で重要な課題について聞いたところ、「駅前などの開発整備」(33.1%)が3割超で最も高く、次いで「建物の不燃化などの防災まちづくり」(32.4%)が約3割と高くなっている。

居住地区別でみると、「駅前などの開発整備」は西日暮里地区（43.5%）が4割を超えている。「建物の不燃化などの防災まちづくり」は東日暮里地区と西日暮里地区を除く地区で3割台、「歩道の段差解消など高齢者・障がい者に配慮したまちづくり」は荒川地区（34.3%）が3割を超えている。

まちづくりを進めていく上で重要な課題 居住地区別

単位：％

		駅前などの開発整備	建物の不燃化などの防災まちづくり	歩道の段差解消など高齢者・障がい者に配慮したまちづくり	住宅・住環境の整備	道路の整備	公園・緑地の整備	自然や環境に配慮したまちづくり	交通網の整備	水辺環境などをつくる隅田川沿岸の整備	歴史・文化を大切にしたい街並みの保全や景観の整備
	全体（n=1552）	33.1	32.4	29.6	24.9	24.6	18.3	18.2	13.7	12.2	10.1
居住地区別	南千住（n=327）	33.6	32.7	31.5	17.7	21.7	19.6	17.4	19.6	13.1	10.4
	荒川（n=239）	30.5	35.6	34.3	29.7	24.7	17.2	20.1	11.7	10.9	9.2
	町屋（n=211）	30.3	32.7	30.8	23.7	34.6	17.1	15.6	13.3	13.3	8.1
	東尾久（n=187）	31.0	34.2	26.7	28.9	28.3	12.3	17.6	18.2	13.9	8.6
	西尾久（n=195）	26.7	35.4	29.7	20.0	25.1	17.4	21.0	13.8	23.1	7.7
	東日暮里（n=204）	38.2	29.4	27.9	28.9	22.1	19.6	15.7	8.8	4.9	10.3
	西日暮里（n=168）	43.5	25.6	20.2	31.5	17.3	22.6	22.6	6.5	6.0	15.5

		その他	わからない	無回答
	全体（n=1552）	10.4	3.0	2.5
居住地区別	南千住（n=327）	8.6	3.1	3.1
	荒川（n=239）	11.7	2.5	1.7
	町屋（n=211）	10.0	3.8	0.9
	東尾久（n=187）	11.2	3.2	2.7
	西尾久（n=195）	11.3	1.5	2.1
	東日暮里（n=204）	12.3	3.9	3.9
	西日暮里（n=168）	9.5	3.0	2.4

過去の荒川区政世論調査から

今回の調査で、区政世論調査は 50 回目の節目となる。継続調査項目の結果から過去 20 年間（5 年毎）を振り返る。

◇概要

調査年度（調査回）	標本数	有効回収数	調査方法
令和 7 年度（第 50 回）	3,000 サンプル	1,552	郵送配布・郵送またはインターネットによる回収
令和 2 年度（第 45 回）	3,000 サンプル	1,681	郵送配布・郵送またはインターネットによる回収
平成 27 年度（第 40 回）	2,500 サンプル	1,389	郵送配布・郵送またはインターネットによる回収
平成 22 年度（第 35 回）	1,300 サンプル	915	郵送配布・訪問回収
平成 17 年度（第 30 回）	900 サンプル	742	個別訪問面接聴取法

◇回答者の属性

単位：％

年代	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	無回答
令和 7 年度	10.1	13.8	17.5	18.9	14.5	24.5	0.7
令和 2 年度	10.0	13.8	16.5	14.9	14.5	22.0	8.1
平成 27 年度	10.2	16.7	17.9	14.4	16.8	21.3	2.7
平成 22 年度	11.1※	16.8	16.4	13.0	19.9	19.6	3.2
平成 17 年度	9.8※	13.5	15.6	19.9	21.2	19.9	—

※平成 17 年度・平成 22 年度は 20 歳～29 歳

単位：％

居住地区	南千住	荒川	町屋	東尾久	西尾久	東日暮里	西日暮里	無回答
令和 7 年度	21.1	15.4	13.6	12.0	12.6	13.1	10.8	1.4
令和 2 年度	21.0	15.1	12.3	12.4	12.1	14.8	9.3	2.9
平成 27 年度	21.4	16.4	13.7	12.1	11.4	12.5	9.4	3.2
平成 22 年度	19.2	16.5	14.0	13.4	11.8	11.8	9.3	3.9
平成 17 年度	18.7	17.7	15.4	11.5	14.3	12.3	10.2	—

◇（参考）区の人口推移

表は各年4月1日現在の住民基本台帳登録者。なお、調査対象者は調査実施月1日現在の住民基本台帳登録者。

総人口	4月1日現在
令和7年	222,450人※
令和2年	217,167人※
平成27年	209,449人※
平成22年	188,129人
平成17年	177,216人

※平成27年・令和2年、令和7年は外国籍を含む（平成24年7月に改正住民基本台帳法が施行され、外国人も住民基本台帳上に記載されることとなった。それに伴い、平成24年度の区政世論調査から外国人も対象としている）。

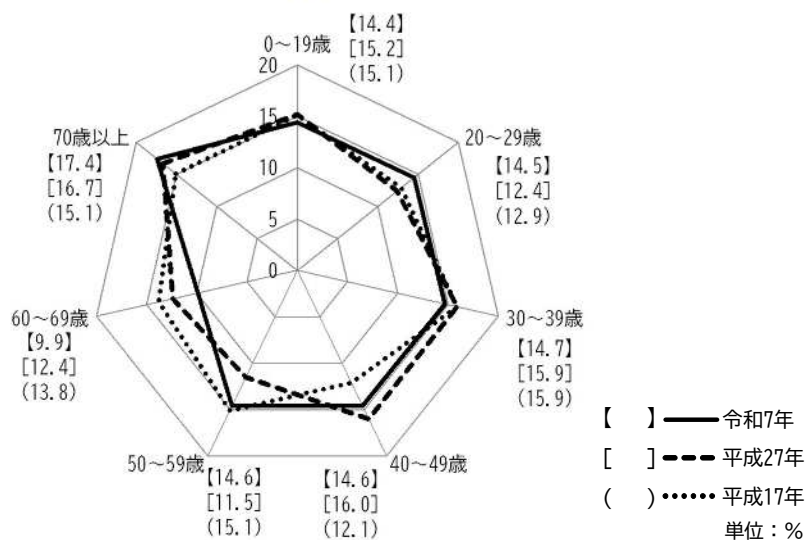
単位：％

年代	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
令和7年	14.4	14.5	14.7	14.6	14.6	9.9	17.4
令和2年	15.2	13.1	14.8	16.2	12.8	10.1	17.8
平成27年	15.2	12.4	15.9	16.0	11.5	12.4	16.7
平成22年	14.9	12.1	16.9	13.8	12.0	14.1	16.3
平成17年	15.1	12.9	15.9	12.1	15.1	13.8	15.1

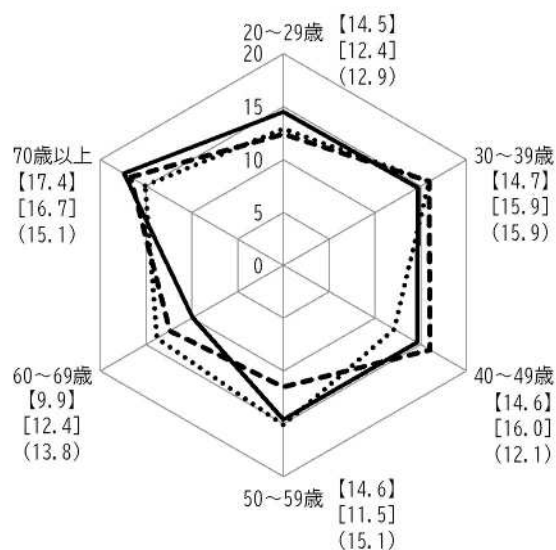
単位：％

居住地区	南千住	荒川	町屋	東尾久	西尾久	東日暮里	西日暮里
令和7年	21.3	15.2	13.4	12.8	11.9	14.3	11.1
令和2年	21.5	15.0	13.6	12.9	12.1	13.8	11.0
平成27年	21.7	15.3	13.8	12.8	12.2	13.3	11.0
平成22年	21.6	15.8	14.5	13.5	13.2	11.7	9.7
平成17年	18.6	16.2	15.1	14.0	14.4	12.2	9.5

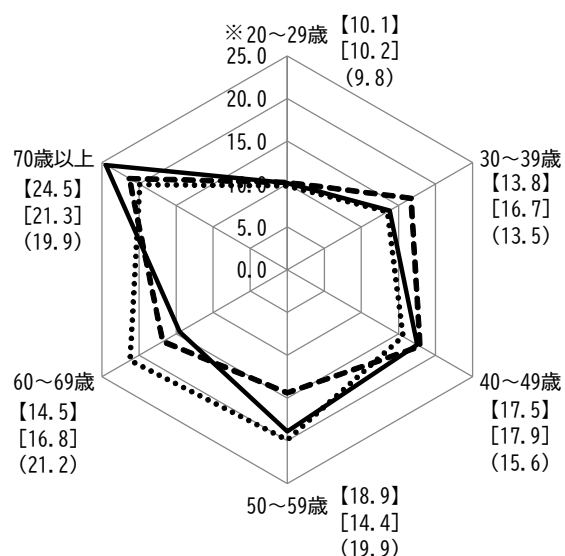
住民基本台帳登録者割合 年代別・経年比較



住民基本台帳登録者割合
年代別・経年比較（20歳以上）

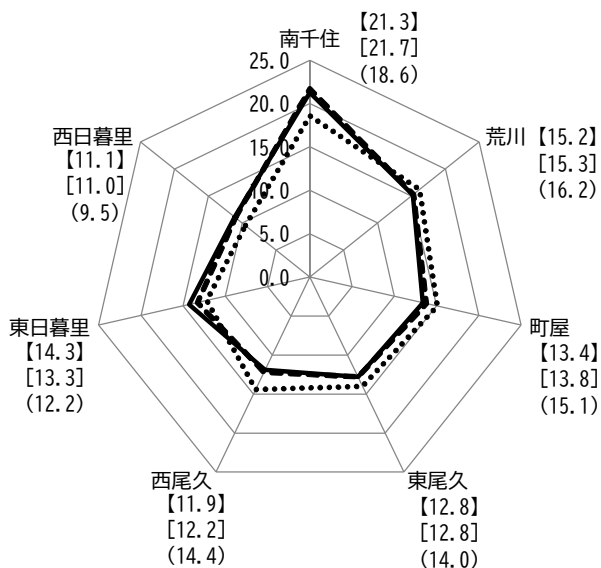


回答者割合 年代別・経年比較

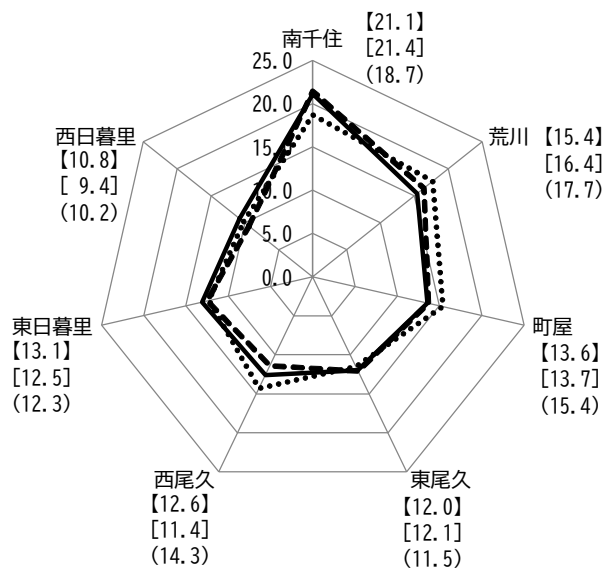


※平成27年度、令和7年度は18歳～29歳

住民基本台帳登録者割合
居住地区別・経年比較



回答者割合 居住地区別・経年比較

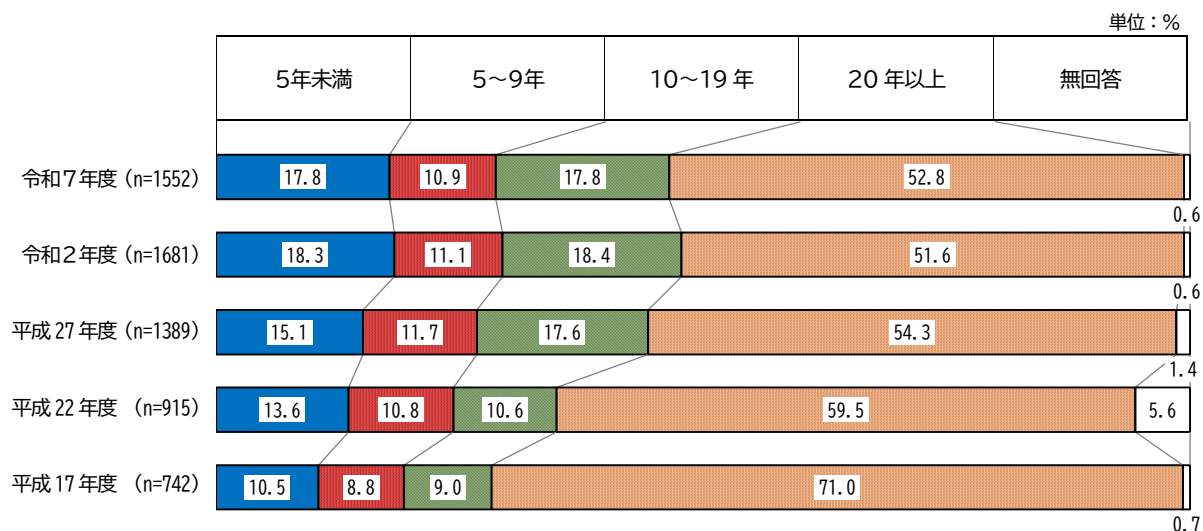


【 】——令和7年
[] --- 平成27年
() 平成17年
単位：％

◇継続調査項目の結果から

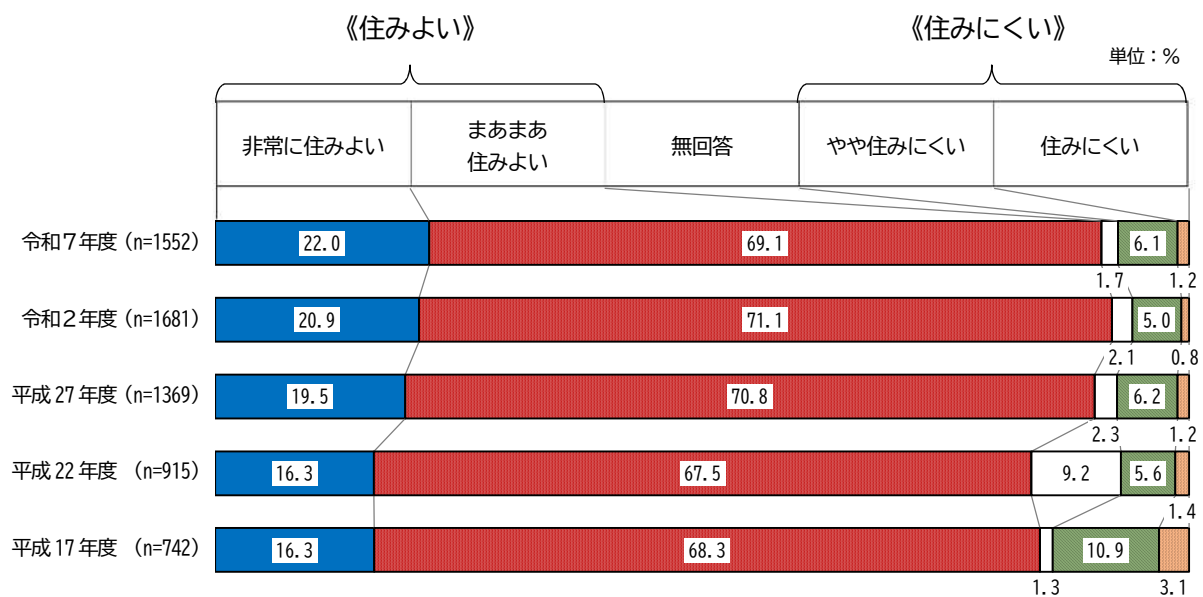
問：荒川区にお住まいになって何年になりますか。

「5年未満」「10～19年」の割合が増加傾向にあり、「20年以上」の割合が減少傾向にある。



問：現在の荒川区を住みよいと思いますか。

どの年度も、「住みよい」と回答している方が多数派であり、「住みにくい」と回答している方は平成17年度を除き、1割に満たない。

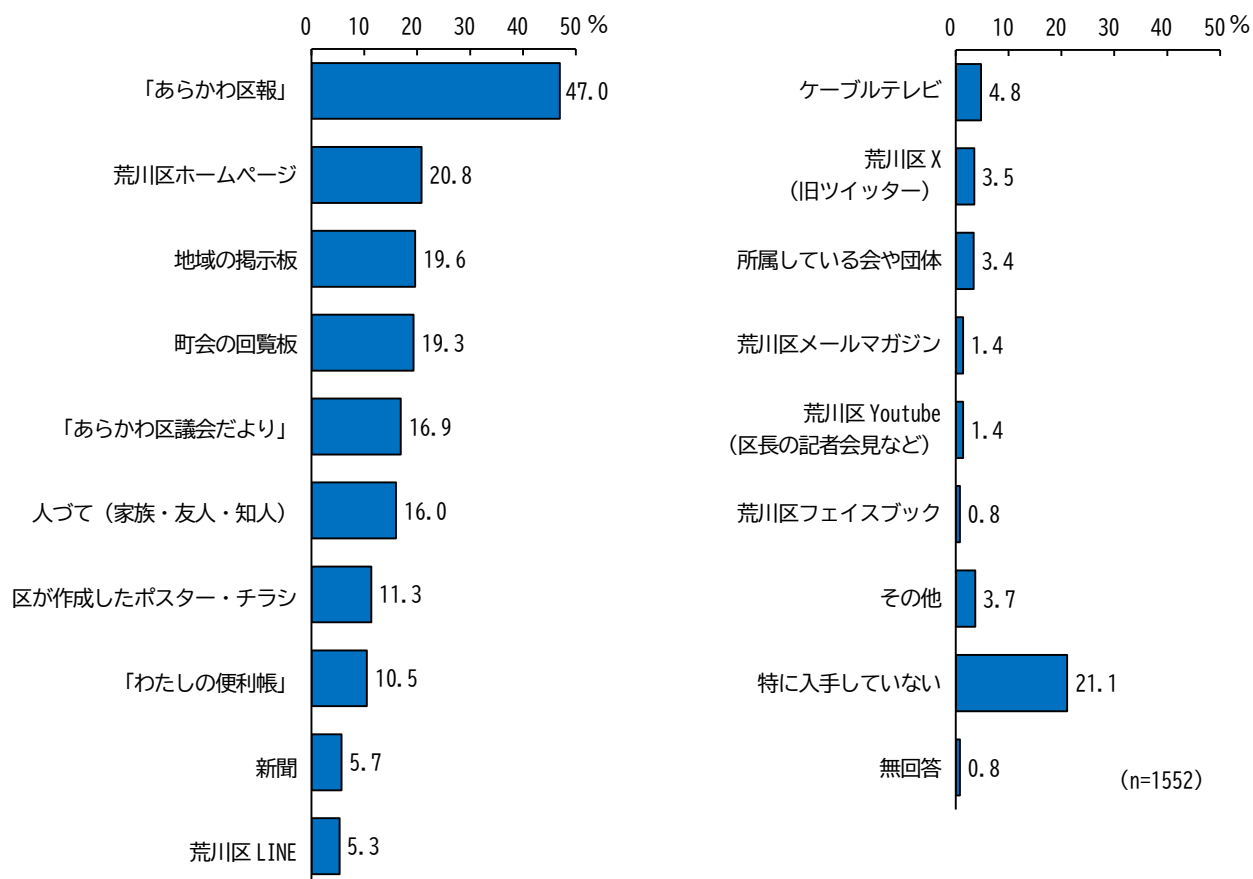


2. 広報活動

(1) 区政に関する情報の入手方法

◇ 「「あらかわ区報」」が5割近く

問5 区政に関する情報は、どのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)



区政に関する情報の入手方法について聞いたところ、「「あらかわ区報」」(47.0%)が5割近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」(20.8%)となっている。

年代別でみると、「あらかわ区報」は年齢層が高いほど割合が高くなる傾向にあり、80歳以上（79.4%）で8割弱、70～79歳（73.2%）で7割半ば近くとなっている。一方、「特に入手していない」は年齢層が低いほど割合が高くなる傾向にあり、18～29歳（42.7%）で4割強となっている。

「町会の回覧板」は80歳以上（41.1%）が4割強、「わたしの便利帳」は70歳以上が2割台と高くなっている。

区政に関する情報の入手方法 年代別

単位：％

		「あらかわ区報」	荒川区ホームページ	地域の掲示板	町会の回覧板	「あらかわ区議会だより」	人づて（家族・友人・知人）	区が作成したポスター・チラシ	「わたしの便利帳」	新聞	荒川区LINE
全体（n=1552）		47.0	20.8	19.6	19.3	16.9	16.0	11.3	10.5	5.7	5.3
年代別	18～29歳（n=157）	16.6	16.6	12.1	7.0	4.5	19.7	10.2	1.3	3.8	2.5
	30～39歳（n=214）	21.5	20.6	21.0	6.1	8.4	18.2	8.4	0.9	1.9	9.8
	40～49歳（n=272）	44.1	23.5	21.3	14.3	13.6	21.0	11.0	4.0	3.7	8.8
	50～59歳（n=293）	39.9	26.3	18.8	17.7	14.7	14.7	10.6	8.2	4.4	4.8
	60～69歳（n=225）	56.4	30.7	16.4	24.0	20.0	14.7	12.4	12.0	4.0	4.9
	70～79歳（n=239）	73.2	15.5	19.7	28.9	30.5	12.1	12.1	23.4	10.5	2.5
	80歳以上（n=141）	79.4	4.3	29.1	41.1	27.7	11.3	17.0	27.7	14.9	1.4

		ケーブルテレビ	荒川区X（旧ツイッター）	所属している会や団体	荒川区メールマガジン	荒川区Youtube（区長の記者会見など）	荒川区フェイスブック	その他	特に入手していない	無回答
全体（n=1552）		4.8	3.5	3.4	1.4	1.4	0.8	3.7	21.1	0.8
年代別	18～29歳（n=157）	1.3	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	42.7	0.0
	30～39歳（n=214）	2.3	9.8	3.3	0.0	1.4	0.9	6.1	29.9	0.9
	40～49歳（n=272）	1.5	7.0	4.0	2.6	0.7	0.7	5.1	22.8	0.4
	50～59歳（n=293）	5.5	1.7	3.4	2.7	2.0	1.0	5.1	25.6	0.3
	60～69歳（n=225）	4.4	1.8	2.7	1.8	2.2	1.3	3.1	12.9	0.4
	70～79歳（n=239）	8.4	0.4	2.9	0.8	1.3	0.8	2.1	9.6	1.3
	80歳以上（n=141）	10.6	0.0	7.8	0.7	1.4	0.0	1.4	3.5	2.1

居住年数別でみると、「あらかわ区報」は「20年以上」（60.5%）が6割と高くなっている。「町会の回覧板」も「20年以上」（28.7%）が3割近くと高くなっている。「特に入手していない」は5年未満（42.6%）が4割強と最も高くなっている。

区政に関する情報の入手方法 居住年数別

単位：％

		「あらかわ区報」	荒川区ホームページ	地域の掲示板	町会の回覧板	「あらかわ区議会だより」	人づて（家族・友人・知人）	区が作成したポスター・チラシ	「わたしの便利帳」	新聞	荒川区LINE
	全体（n=1552）	47.0	20.8	19.6	19.3	16.9	16.0	11.3	10.5	5.7	5.3
居住年数別	5年未満（n=277）	22.4	19.5	16.2	5.1	7.9	7.9	7.9	1.8	4.3	7.6
	5～9年（n=169）	36.1	21.3	20.7	8.9	13.0	19.5	13.6	3.6	2.4	10.7
	10～19年（n=277）	37.9	25.3	17.3	11.2	14.8	19.9	10.5	5.8	4.3	4.3
	20年以上（n=820）	60.5	19.9	21.5	28.7	21.5	16.6	12.3	16.3	7.3	3.8

		ケーブルテレビ	荒川区X（旧ツイッター）	所属している会や団体	荒川区メールマガジン	荒川区Youtube（区長の記者会見など）	荒川区フェイスブック	その他	特に入手していない	無回答
	全体（n=1552）	4.8	3.5	3.4	1.4	1.4	0.8	3.7	21.1	0.8
居住年数別	5年未満（n=277）	1.8	4.7	1.4	0.4	0.4	0.4	3.2	42.6	0.7
	5～9年（n=169）	3.6	4.7	2.4	1.2	1.2	0.6	5.3	22.5	1.2
	10～19年（n=277）	2.2	4.3	2.5	2.5	1.1	1.1	6.5	23.5	1.1
	20年以上（n=820）	7.0	2.6	4.4	1.5	1.8	0.9	2.7	12.9	0.4

区政への関心別でみると、「あらかわ区報」で入手している人は「関心がある」（59.2%）と「やや関心がある」（54.6%）が5割台と高くなっている。「特に入手していない」は「関心がない」（53.1%）が5割強と高くなっている。

区政に関する情報の入手方法 区政への関心別

単位：%

		「あらかわ区報」	荒川区ホームページ	地域の掲示板	町会の回覧板	「あらかわ区議会だより」	人づて（家族・友人・知人）	区が作成したポスター・チラシ	「わたしの便利帳」	新聞	荒川区LINE
	全体（n=1552）	47.0	20.8	19.6	19.3	16.9	16.0	11.3	10.5	5.7	5.3
区政への関心別	関心がある（n=240）	59.2	30.8	26.7	25.0	28.3	21.3	20.4	14.6	8.8	6.3
	やや関心がある（n=679）	54.6	23.3	22.5	23.3	19.1	16.8	14.3	12.4	5.4	6.5
	あまり関心がない（n=455）	35.4	16.5	13.8	12.5	10.1	15.8	5.1	6.2	4.4	3.1
	関心がない（n=81）	18.5	6.2	8.6	3.7	6.2	6.2	2.5	2.5	2.5	4.9
	わからない（n=48）	29.2	14.6	12.5	16.7	10.4	6.3	2.1	6.3	2.1	8.3

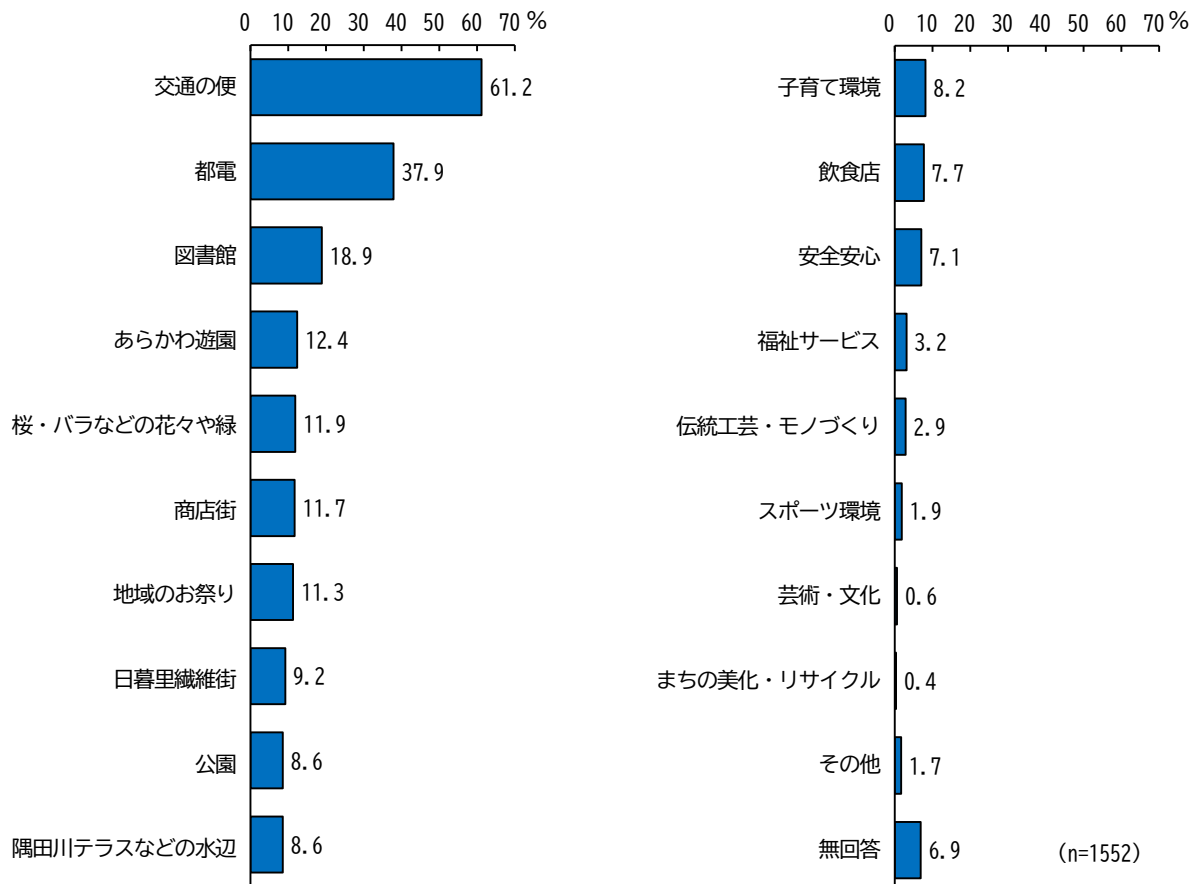
		ケーブルテレビ	荒川区X（旧ツイッター）	所属している会や団体	荒川区メールマガジン	荒川区Youtube（区長の記者会見など）	荒川区フェイスブック	その他	特に入手していない	無回答
	全体（n=1552）	4.8	3.5	3.4	1.4	1.4	0.8	3.7	21.1	0.8
区政への関心別	関心がある（n=240）	6.3	5.8	7.9	2.5	3.3	1.7	7.9	5.8	0.4
	やや関心がある（n=679）	5.4	4.3	4.3	1.6	1.5	1.2	3.4	15.0	0.6
	あまり関心がない（n=455）	2.6	2.0	0.2	1.1	0.4	0.0	1.5	31.9	0.4
	関心がない（n=81）	6.2	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	6.2	53.1	0.0
	わからない（n=48）	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	4.2	35.4	2.1

3. 荒川区の魅力

(1) 荒川区の魅力だと感じているもの

◇「交通の便」が6割強

問6 荒川区の魅力と感じているものを、次の中から選びください。(〇は3つまで)



荒川区の魅力だと感じているものについて聞いたところ、「交通の便」(61.2%)が6割強と最も高く、次いで「都電」(37.9%)が4割近くとなっている。

年代別でみると、「都電」は年齢層が高いほど割合が高くなっており、80歳以上（48.9％）で5割近く、70～79歳（46.4％）で4割半ばを超えて高くなっている。「交通の便」は60～69歳（72.4％）が7割強、「桜・バラなどの花々や緑」は80歳以上（28.4％）が3割近くと高くなっている。

荒川区の魅力と感じているもの 年代別

単位：％

	交通の便	都電	図書館	あらかわ遊園	桜・バラなどの花々や緑	商店街	地域のお祭り	日暮里織維街	公園	隅田川テラスなどの水辺
全体 (n=1552)	61.2	37.9	18.9	12.4	11.9	11.7	11.3	9.2	8.6	8.6
年代別	18～29歳 (n=157)	55.4	29.3	17.8	13.4	9.6	18.5	15.3	7.0	12.7
	30～39歳 (n=214)	60.7	30.8	21.0	10.7	7.0	17.8	13.1	9.3	8.4
	40～49歳 (n=272)	51.8	33.8	25.7	14.0	7.0	9.2	14.3	12.1	8.8
	50～59歳 (n=293)	64.2	35.5	14.7	14.3	9.6	10.9	11.6	9.9	7.2
	60～69歳 (n=225)	72.4	42.7	19.1	13.3	12.4	5.3	9.8	8.4	7.6
	70～79歳 (n=239)	63.6	46.4	18.8	12.6	15.1	15.1	8.4	9.6	8.8
	80歳以上 (n=141)	58.2	48.9	12.8	5.7	28.4	6.4	5.7	5.7	9.2
	子育て環境	飲食店	安全安心	福祉サービス	伝統工芸・モノづくり	スポーツ環境	芸術・文化	まちの美化・リサイクル	その他	無回答
全体 (n=1552)	8.2	7.7	7.1	3.2	2.9	1.9	0.6	0.4	1.7	6.9
年代別	18～29歳 (n=157)	5.1	16.6	8.3	0.6	2.5	0.6	1.3	0.0	2.5
	30～39歳 (n=214)	15.0	12.6	8.9	2.3	2.3	1.4	0.5	0.5	3.3
	40～49歳 (n=272)	19.9	8.1	5.9	2.2	3.7	2.2	1.1	0.4	0.7
	50～59歳 (n=293)	6.5	6.8	6.1	2.7	2.7	1.7	0.7	0.0	2.4
	60～69歳 (n=225)	3.6	5.3	7.6	4.0	3.1	1.8	0.0	0.4	1.3
	70～79歳 (n=239)	2.1	3.3	6.3	4.2	4.2	3.8	0.4	0.8	0.8
	80歳以上 (n=141)	0.0	2.1	7.8	7.8	0.7	1.4	0.0	0.7	0.7

居住地区別でみると、「交通の便」は西日暮里地区（75.6％）が7割半ばと最も高くなっている。西尾久地区は「都電」（65.1％）が6割半ば、「あらかわ遊園」（33.8％）が3割半ば近くとなっている。「商店街」は東尾久地区（25.7％）が2割半ば、「隅田川テラスなどの水辺」は南千住地区（25.4％）が2割半ばとなっている。

荒川区の魅力と感じているもの 居住地区別

単位：％

		交通の便	都電	図書館	あらかわ 遊園	桜・バラ などの 花々や緑	商店街	地域のお 祭り	日暮里織 維街	公園	隅田川テ ラスなど の水辺
全体 (n=1552)		61.2	37.9	18.9	12.4	11.9	11.7	11.3	9.2	8.6	8.6
居住地区別	南千住 (n=327)	60.6	25.7	14.1	5.5	15.3	12.8	17.1	3.7	15.9	25.4
	荒川 (n=239)	62.8	44.4	27.6	10.0	9.2	7.9	13.4	5.0	10.0	2.5
	町屋 (n=211)	64.5	44.1	20.9	12.8	11.8	10.9	7.1	8.1	10.4	5.7
	東尾久 (n=187)	54.5	49.7	24.6	15.0	10.7	25.7	8.6	4.8	5.3	2.1
	西尾久 (n=195)	42.1	65.1	15.4	33.8	20.5	9.2	4.1	3.1	5.1	7.2
	東日暮里 (n=204)	69.6	20.6	17.2	7.8	6.4	9.3	9.8	25.0	6.9	5.4
	西日暮里 (n=168)	75.6	20.8	14.3	6.5	6.5	7.1	14.3	20.2	1.2	1.8

		子育て環境	飲食店	安全安心	福祉サービス	伝統工芸・モノづくり	スポーツ環境	芸術・文化	まちの美化・リサイクル	その他	無回答
全体 (n=1552)		8.2	7.7	7.1	3.2	2.9	1.9	0.6	0.4	1.7	6.9
居住地区別	南千住 (n=327)	11.3	3.7	5.8	3.4	4.3	3.1	1.2	0.3	1.5	8.0
	荒川 (n=239)	7.9	10.0	8.8	2.1	3.3	2.5	0.4	0.4	1.3	6.7
	町屋 (n=211)	6.2	15.6	3.8	3.3	2.4	0.5	0.9	0.0	2.8	7.1
	東尾久 (n=187)	4.3	8.6	7.5	5.9	1.6	1.1	0.0	0.0	1.1	7.0
	西尾久 (n=195)	10.3	2.1	8.7	1.5	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	6.7
	東日暮里 (n=204)	7.4	6.9	9.8	4.4	1.0	1.5	0.5	1.5	1.0	8.3
	西日暮里 (n=168)	7.7	8.9	6.0	1.8	5.4	2.4	0.6	0.0	4.8	3.6

同居世帯の構成別でみると、「交通の便」はその他（68.4%）と夫婦のみ（68.1%）が7割近くと高く、「都電」はその他（46.1%）が4割半ばを超え最も高くなっている。「図書館」は二世世代家族（23.4%）が2割を超え、「あらかわ遊園」は三世世代家族（19.7%）が2割程度となっている。

荒川区の魅力と感じているもの 同居世帯の構成別

単位：%

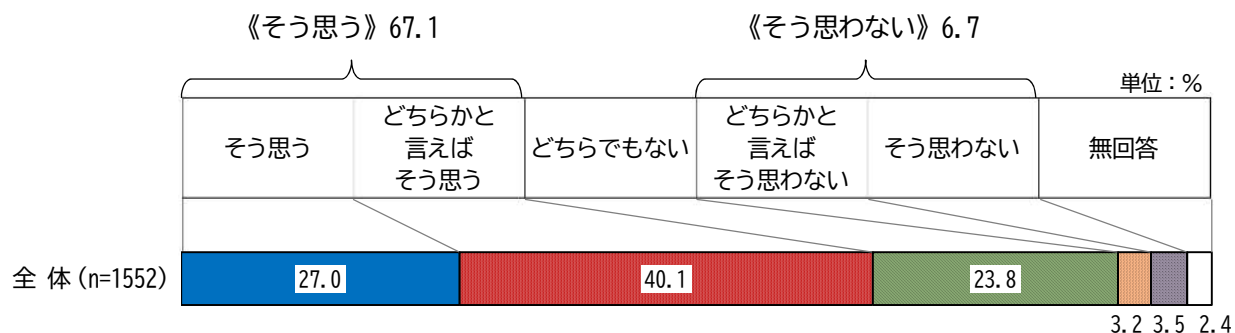
	交通の便	都電	図書館	あらかわ遊園	桜・バラなどの花々や緑	商店街	地域のお祭り	日暮里織維街	公園	隅田川テラスなどの水辺
全体 (n=1552)	61.2	37.9	18.9	12.4	11.9	11.7	11.3	9.2	8.6	8.6
同居世帯の構成別										
一人暮らし (n=351)	59.3	40.7	15.7	9.4	8.8	16.0	8.8	9.1	9.1	8.8
夫婦のみ (n=398)	68.1	37.2	16.1	8.5	15.8	11.8	9.8	10.8	6.3	10.6
二世世代家族 (n=620)	56.9	35.2	23.4	15.6	10.2	10.2	14.0	8.5	11.0	8.4
三世世代家族 (n=66)	62.1	42.4	22.7	19.7	16.7	7.6	15.2	7.6	6.1	3.0
その他 (n=76)	68.4	46.1	13.2	17.1	10.5	13.2	6.6	9.2	3.9	5.3

	子育て環境	飲食店	安全安心	福祉サービス	伝統工芸・モノづくり	スポーツ環境	芸術・文化	まちの美化・リサイクル	その他	無回答
全体 (n=1552)	8.2	7.7	7.1	3.2	2.9	1.9	0.6	0.4	1.7	6.9
同居世帯の構成別										
一人暮らし (n=351)	1.4	9.1	6.0	4.0	1.4	2.0	0.9	0.9	1.7	8.0
夫婦のみ (n=398)	1.8	7.5	5.5	3.0	3.3	1.5	0.5	0.5	2.3	6.3
二世世代家族 (n=620)	16.6	6.8	8.7	3.2	3.4	2.4	0.5	0.2	1.5	5.8
三世世代家族 (n=66)	13.6	6.1	9.1	4.5	3.0	0.0	0.0	0.0	1.5	7.6
その他 (n=76)	1.3	11.8	6.6	1.3	5.3	2.6	0.0	0.0	1.3	7.9

(2) 荒川区の魅力を人に勧めたいか

◇ 《そう思う》の割合は7割近く

問7 問6で答えた荒川区の魅力を人に勧めたいですか。(○は1つだけ)



(注) 《そう思う》 = 「そう思う」 + 「どちらかと言えばそう思う」

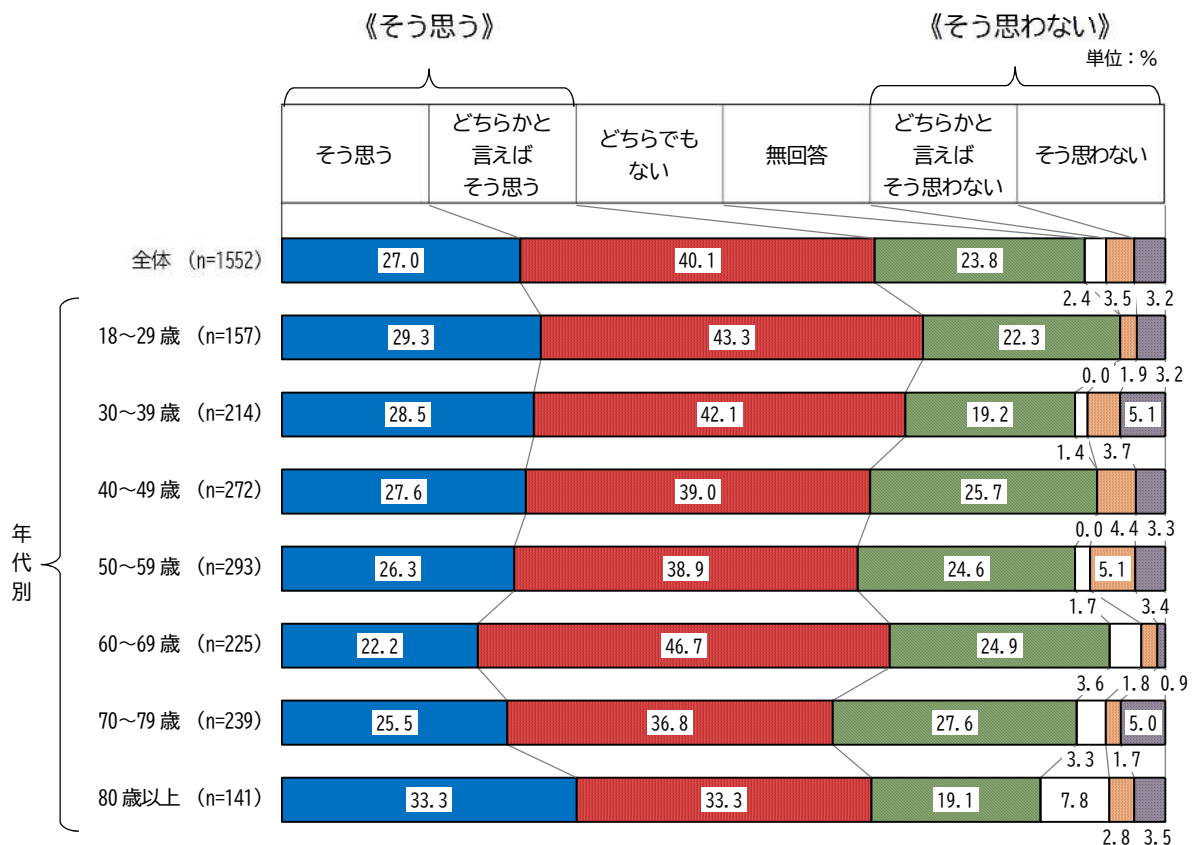
《そう思わない》 = 「どちらかと言えばそう思わない」 + 「そう思わない」

荒川区の魅力を人に勧めたいか聞いたところ、「そう思う」(27.0%)と「どちらかと言えばそう思う」(40.1%)を合わせた《そう思う》(67.1%)の割合が7割近く比較的高い割合を示している。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」(3.2%)と「そう思わない」(3.5%)を合わせた《そう思わない》(6.7%)の割合は1割未満となっている。

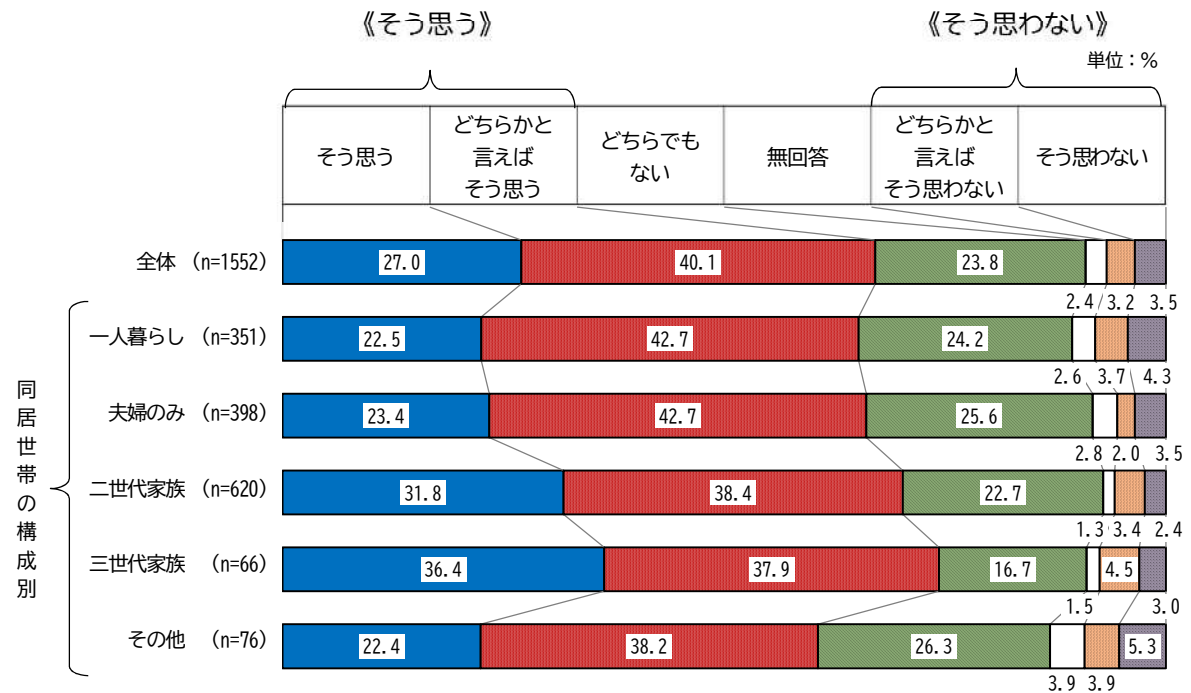
年代別でみると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた《そう思う》は、18～29歳（72.6%）が7割強、30～39歳（70.6%）が7割と高くなっている。一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《そう思わない》は、どの年齢層も1割未満となっている。

荒川区の魅力を人に勧めたいか 年代別



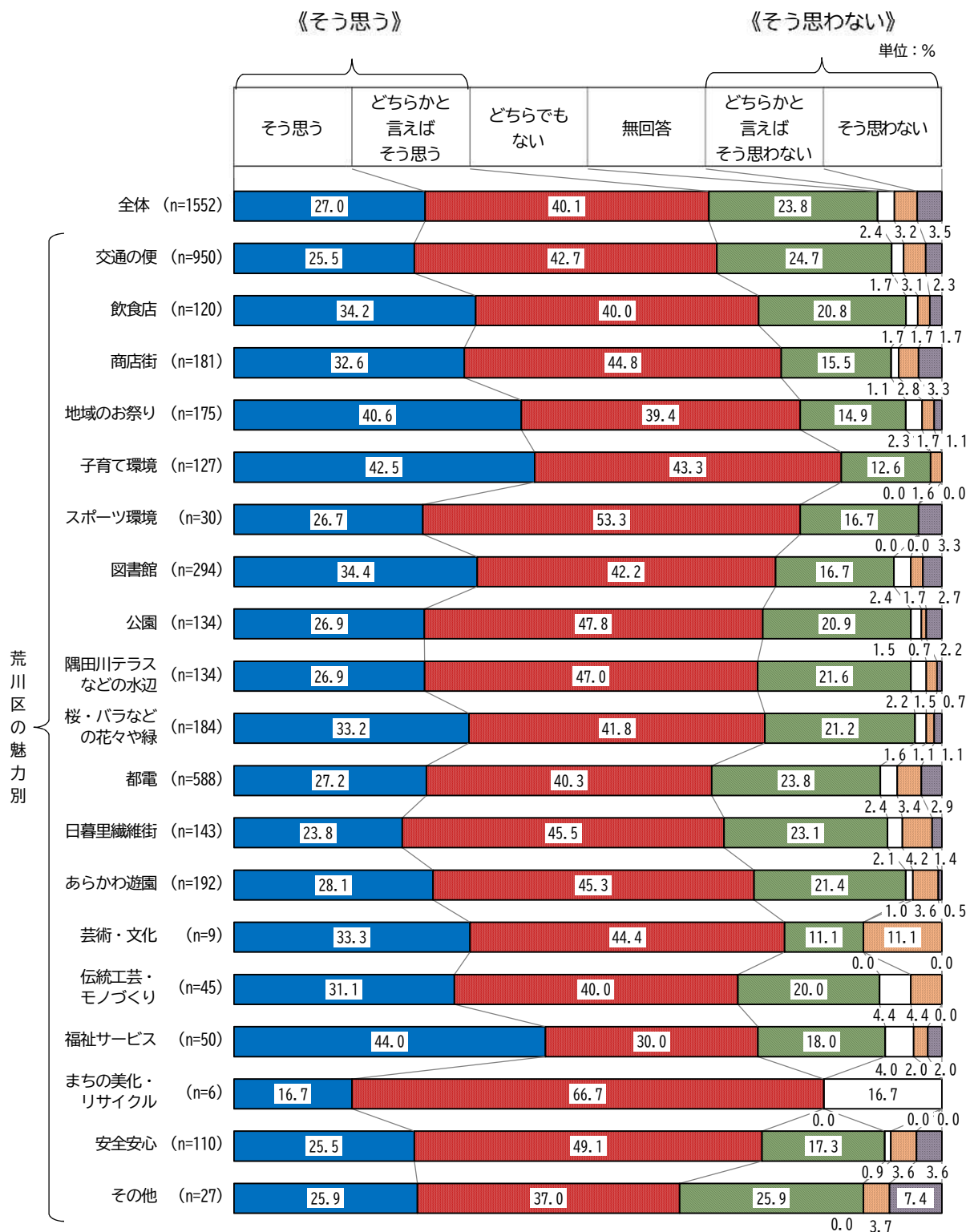
同居世帯の構成別でみると、《そう思う》は三世代家族（74.3%）が7割半ば近くと最も高く、次いで二世世代家族（70.2%）が7割となっている。一方、《そう思わない》はどの世帯も1割未満となっている。

荒川区の魅力を人に勧めたいか 同居世帯の構成別



荒川区の魅力別でみると、《そう思う》は「子育て環境」(85.8%)が8割半ばと最も高く、次いで「地域のお祭り」(80.0%)と「スポーツ環境」(80.0%)が8割となっている。

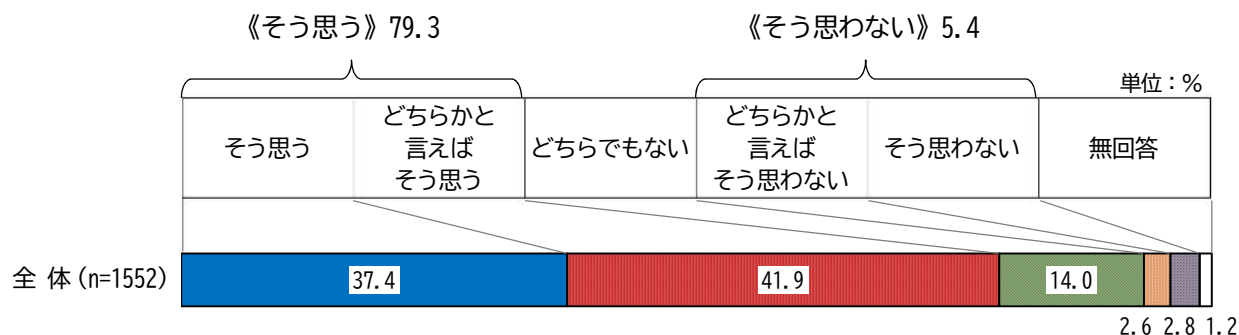
荒川区の魅力を人に勧めたいか 荒川区の魅力別



(3) 荒川区に愛着を感じているか

◇《《そう思う》》の割合は約8割

問8 荒川区に愛着を感じていますか。(○は1つだけ)



(注) 《《そう思う》》 = 「そう思う」 + 「どちらかと言えばそう思う」

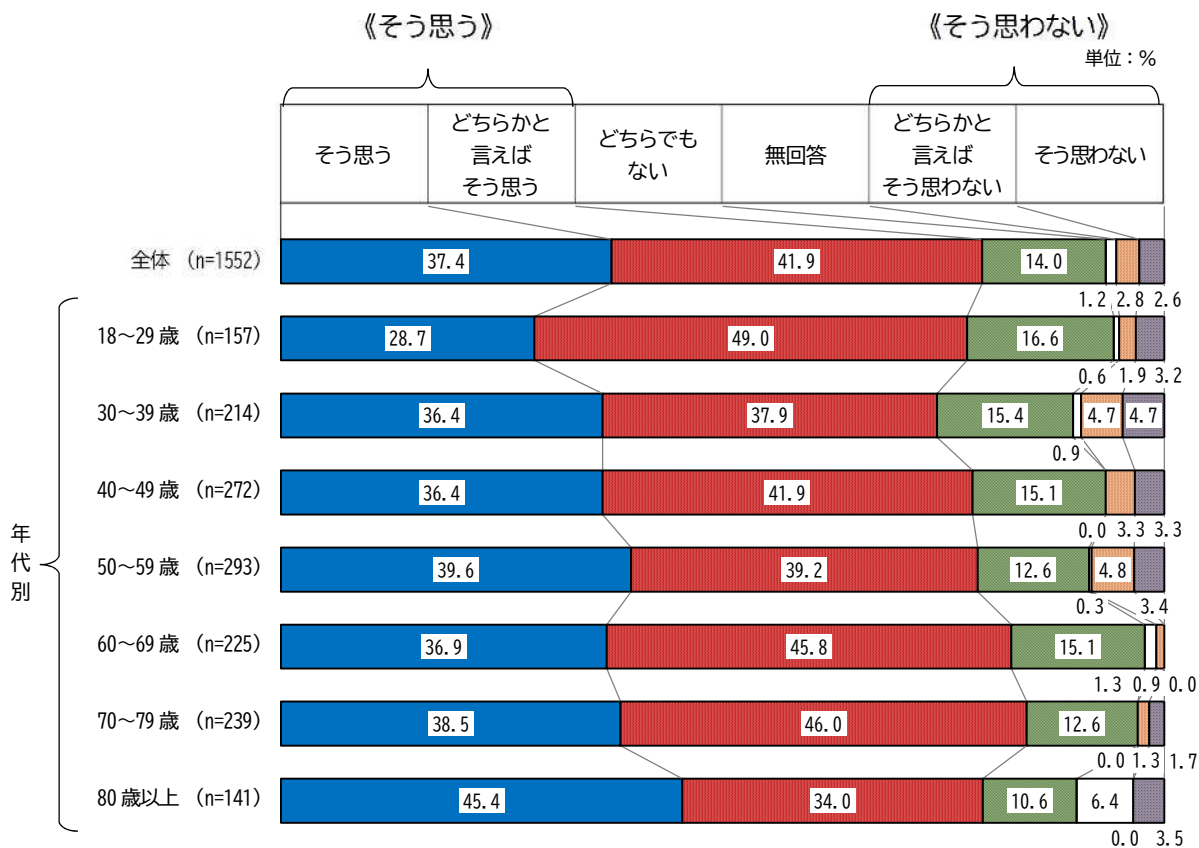
《《そう思わない》》 = 「どちらかと言えばそう思わない」 + 「そう思わない」

荒川区に愛着を感じているか聞いたところ、「そう思う」(37.4%)と「どちらかと言えばそう思う」(41.9%)を合わせた《《そう思う》》(79.3%)の割合が約8割と高い割合を示している。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」(2.6%)と「そう思わない」(2.8%)を合わせた《《そう思わない》》(5.4%)の割合は1割未満となっている。

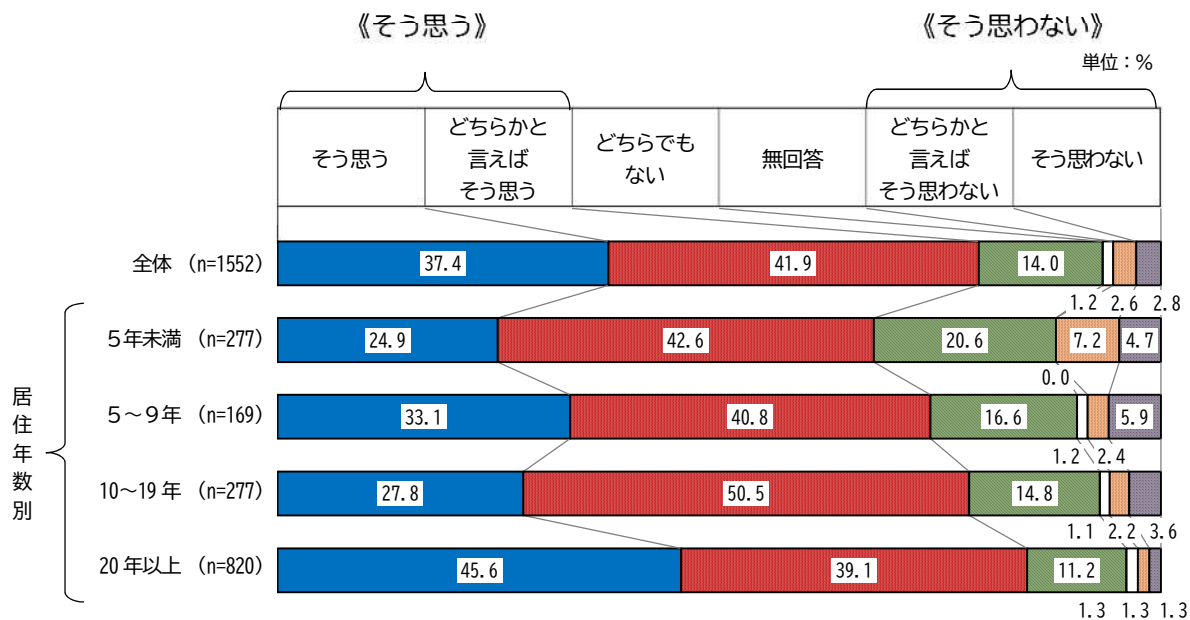
年代別でみると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた《そう思う》は、70～79歳（84.5%）が8割半ば近く、60～69歳（82.7%）が8割強と高くなっている。一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《そう思わない》は、全ての年齢層で1割未満となっている。

荒川区に愛着を感じているか 年代別



居住年数別でみると、《そう思う》は居住年数が長いほど割合が高くなっており、「20 年以上」（84.7％）が8割半ば近くとなっている。一方、《そう思わない》は「5年未満」（11.9％）が1割強、他の居住年数は1割未満となっている。

荒川区に愛着を感じているか 居住年数別

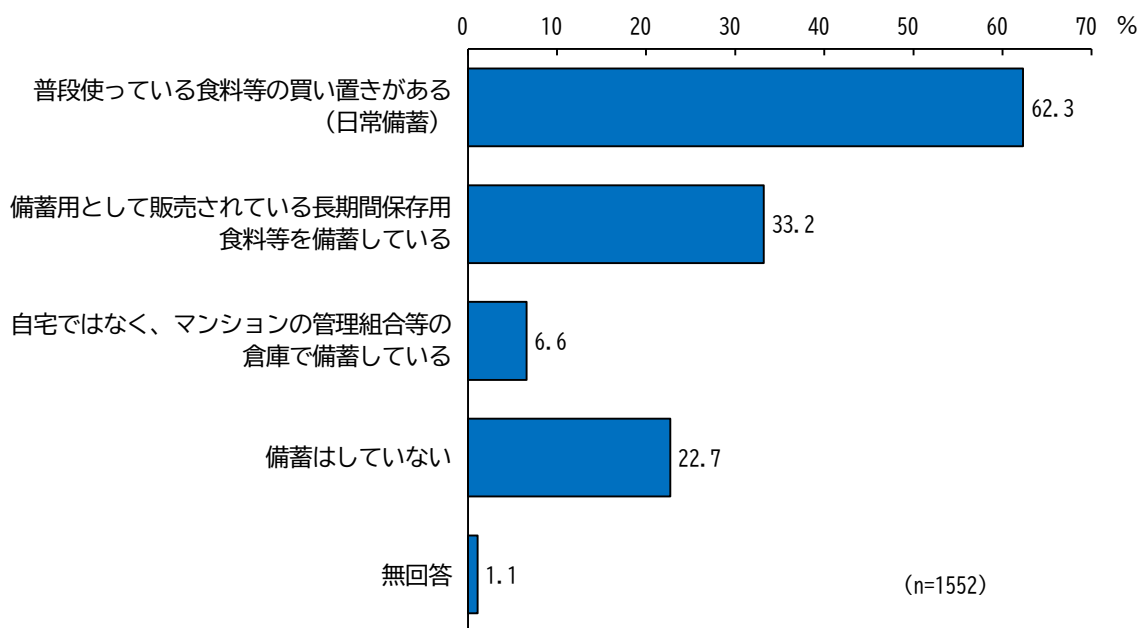


4. 防災対策

(1) 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄

◇「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」が6割強

問9 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。
（「1」、「2」、「3」は、○はいくつでも）



災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について聞いたところ、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」（62.3%）が6割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」（33.2%）が3割となっている。一方、「備蓄はしていない」（22.7%）は2割強を占める。

年代別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は18～29歳（47.8%）と30～39歳（49.5%）が4割台と低く、他の年齢層は6割台と高くなっている。「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は30～39歳（42.1%）と40～49歳（41.2%）が4割強と高くなっている。「備蓄はしていない」は18～29歳（38.9%）が4割近くと最も高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 年代別

単位：％

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
全体（n=1552）		62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
年代別	18～29歳（n=157）	47.8	23.6	3.2	38.9	0.0
	30～39歳（n=214）	49.5	42.1	6.1	24.3	0.9
	40～49歳（n=272）	67.3	41.2	9.9	12.9	0.0
	50～59歳（n=293）	62.5	30.0	8.2	25.6	0.7
	60～69歳（n=225）	69.8	30.7	7.1	21.3	0.4
	70～79歳（n=239）	67.4	33.1	5.0	21.3	1.7
	80歳以上（n=141）	68.1	29.1	3.5	18.4	5.0

同居世帯の構成別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は三世代家族（66.7%）が6割半ばを超え最も高く、「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は夫婦のみ（37.9%）が4割近くで最も高くなっている。「備蓄はしていない」はその他（32.9%）が3割強、一人暮らし（29.6%）が3割弱と高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 同居世帯の構成別

単位：％

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
全体（n=1552）		62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
同居世帯の構成別	一人暮らし（n=351）	61.0	24.5	3.7	29.6	0.9
	夫婦のみ（n=398）	60.1	37.9	7.3	22.9	1.8
	二世代家族（n=620）	65.6	36.9	9.5	17.1	0.6
	三世代家族（n=66）	66.7	36.4	0.0	24.2	0.0
	その他（n=76）	50.0	26.3	1.3	32.9	0.0

ライフステージ別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は家族成長前期（69.5%）と高齢期（69.1%）が7割弱と高くなっている。「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は家族成長前期（48.4%）が5割近くと最も高く、次いで家族形成期（40.9%）が4割となっている。「備蓄はしていない」は一人暮らし（34.8%）が3割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 ライフステージ別

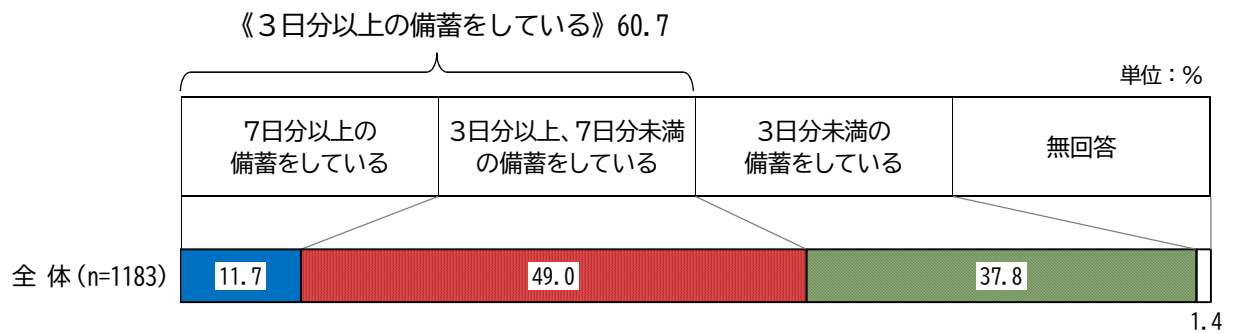
単位：%

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
	全体（n=1552）	62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
ライフステージ別	家族形成期（n=186）	54.8	40.9	6.5	24.7	0.5
	家族成長前期（n=128）	69.5	48.4	13.3	7.0	0.8
	家族成長後期（n=117）	68.4	38.5	9.4	17.1	0.0
	家族成熟期（n=112）	60.7	18.8	8.0	29.5	0.0
	高齢期（n=236）	69.1	33.1	6.8	19.5	2.1
	高齢期（一人暮らし）（n=141）	68.8	24.8	2.1	22.7	2.1
	一人暮らし（n=201）	54.7	23.9	5.0	34.8	0.0
	その他（n=431）	59.9	35.0	5.6	22.3	1.6

(1-1) 災害時に備えた備蓄の量

◇《3日分以上の備蓄をしている》が6割強

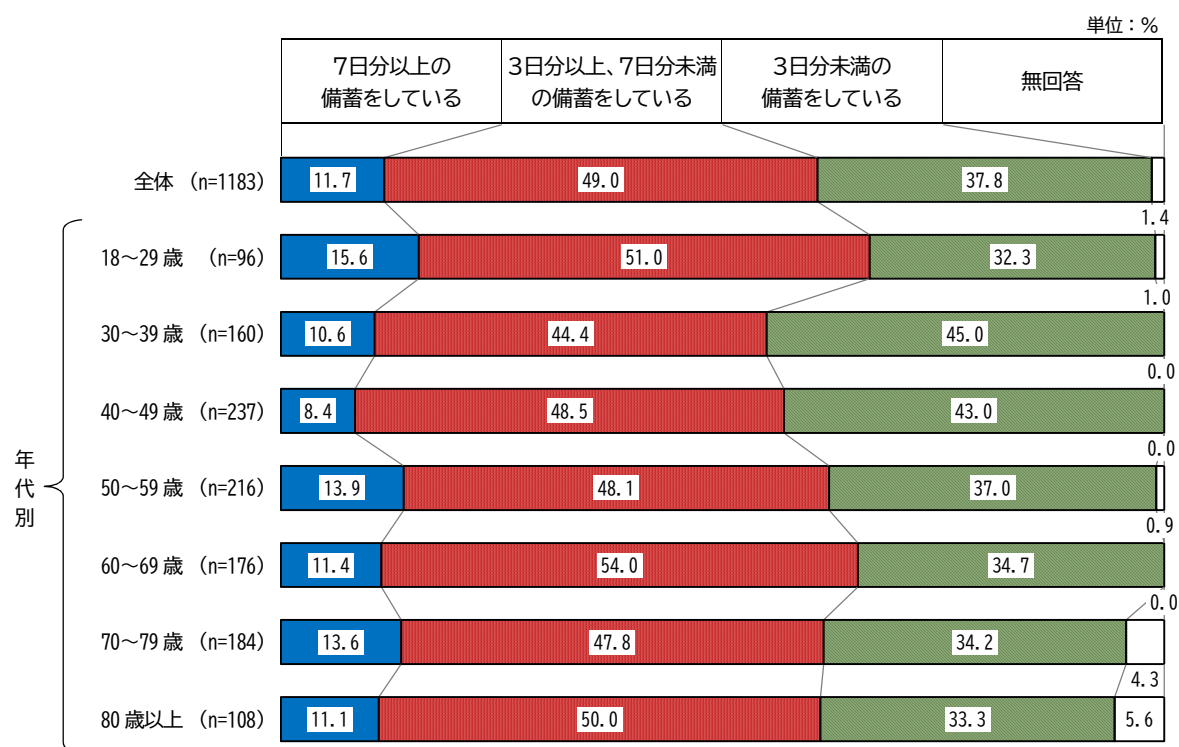
問9-1 (問9で「1」～「3」とお答えの方に伺います)
何日分の備蓄をしていますか。(○は1つだけ)



災害時に備えた備蓄の量について聞いたところ、「7日分以上の備蓄をしている」(11.7%)と「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(49.0%)を合わせた《3日分以上の備蓄をしている》(60.7%)は6割強となっている。

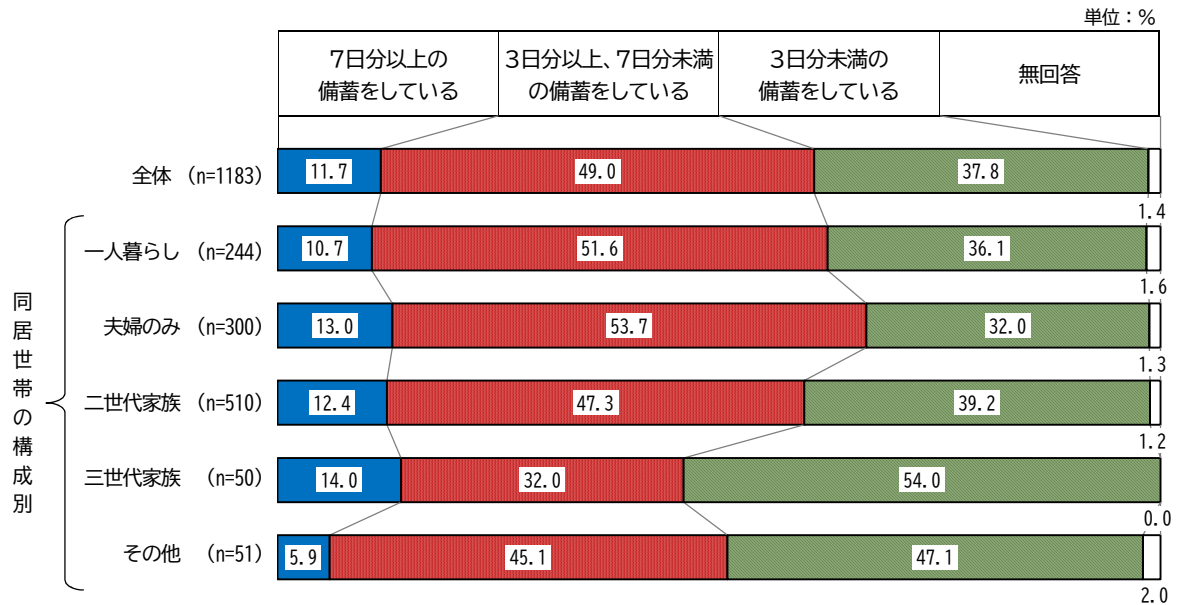
年代別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は18～29歳（15.6%）が1割半ばで最も高く、「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は60～69歳（54.0%）が5割半ば近くと最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は30～39歳（45.0%）が4割半ばと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 年代別



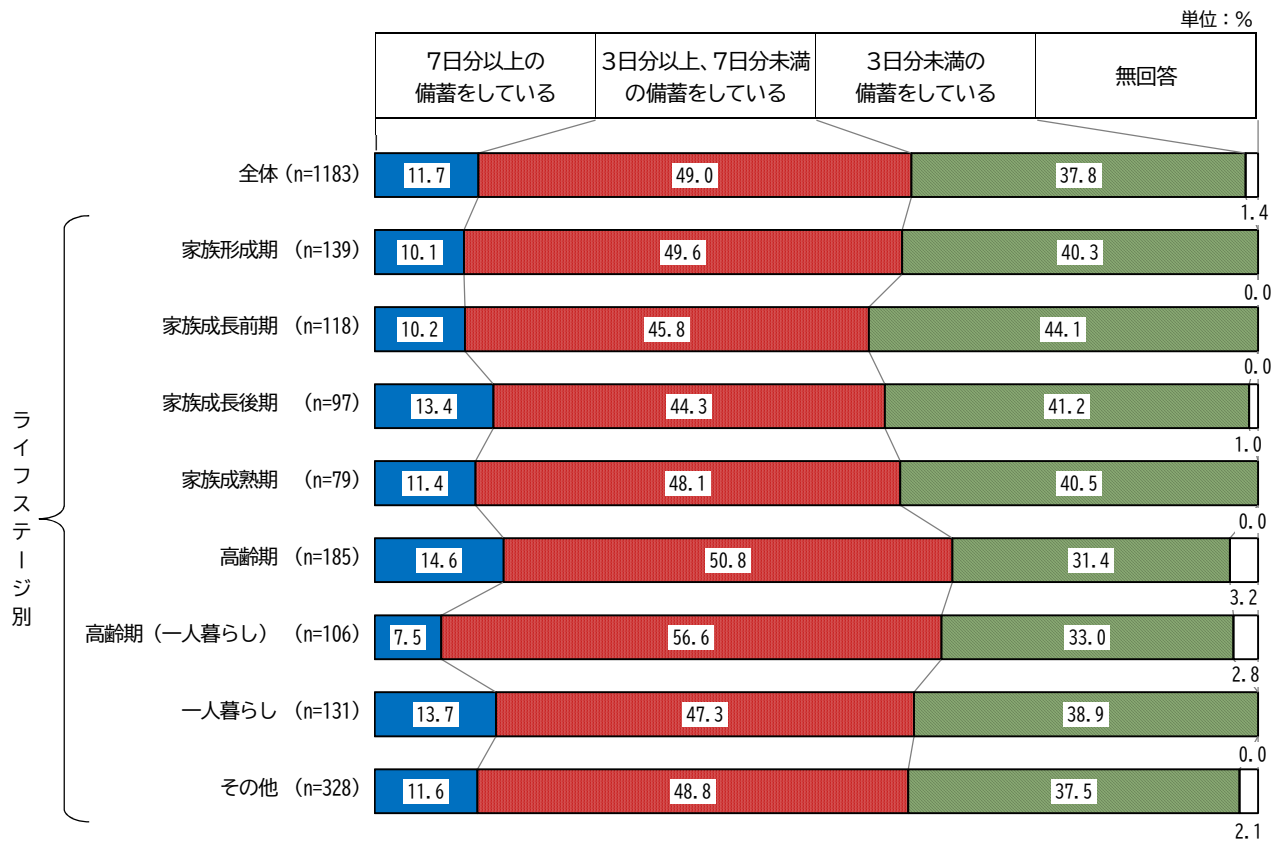
同居世帯の構成別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は三世代家族（14.0%）が1割半ば近くと最も高く、「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は夫婦のみ（53.7%）が5割半ば近く、一人暮らし（51.6%）が5割強と高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は三世代家族（54.0%）が5割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は高齢期（14.6%）、一人暮らし（13.7%）、家族成長後期（13.4%）が1割半ば近くとなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は高齢期（一人暮らし）（56.6%）が5割半ばを超えて最も高く、「3日分未満の備蓄をしている」は家族成長前期（44.1%）が4割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 ライフステージ別

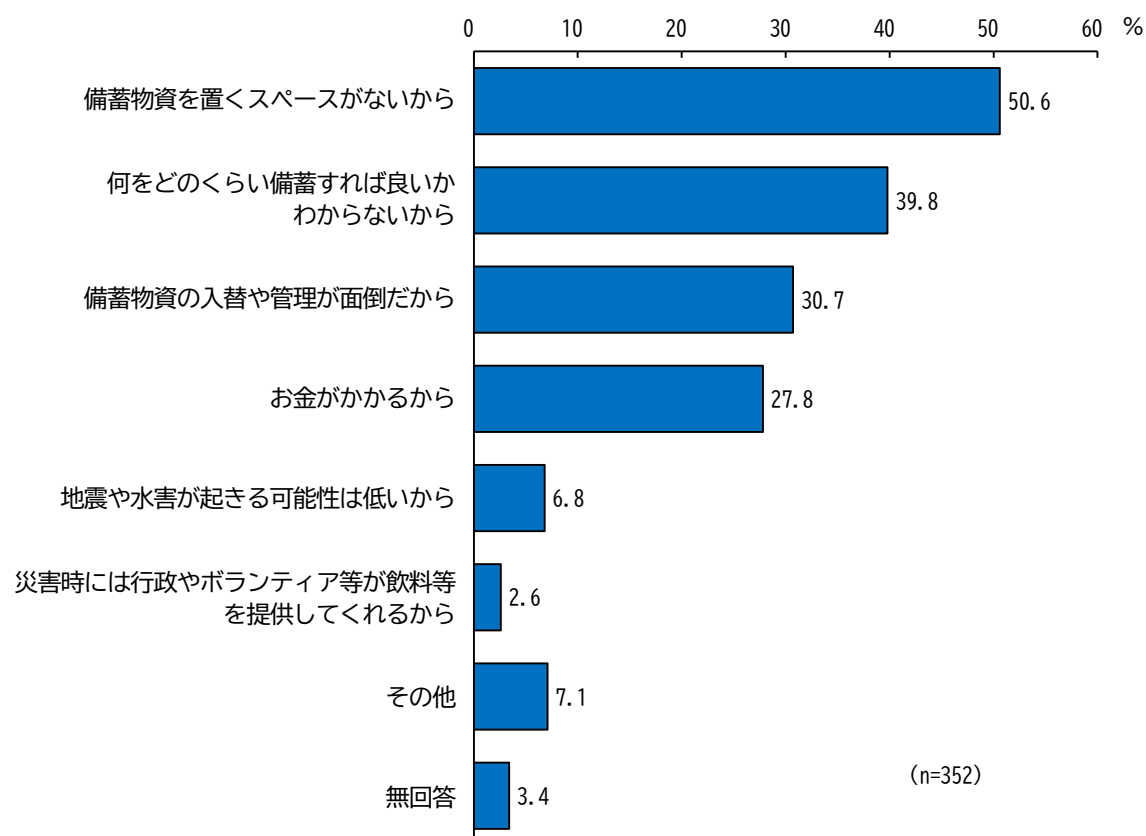


(1-2) 備蓄を行っていない理由

◇「備蓄物資を置くスペースがないから」が5割

問9-2 (問9で「4」とお答えの方に伺います)

食料や飲料水の備蓄を行っていない理由について、次の中から当てはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)



備蓄を行っていない理由について聞いたところ、「備蓄物資を置くスペースがないから」(50.6%)が5割と最も高く、以下、「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(39.8%)、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」(30.7%)が続いている。

年代別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」では、40～49歳（80.0%）が8割と最も高くなっている。「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は60～69歳（56.3%）が5割半ばを超え、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」は70～79歳（39.2%）が4割弱と高くなっている。「お金がかかるから」は40～49歳（40.0%）が4割と最も高くなっている。

備蓄を行っていない理由 年代別

単位：％

	備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=352)	50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
年代別								
18～29歳 (n=61)	57.4	31.1	24.6	36.1	3.3	1.6	1.6	3.3
30～39歳 (n=52)	55.8	32.7	34.6	23.1	11.5	1.9	9.6	1.9
40～49歳 (n=35)	80.0	45.7	25.7	40.0	5.7	0.0	5.7	0.0
50～59歳 (n=75)	52.0	40.0	26.7	29.3	5.3	0.0	9.3	2.7
60～69歳 (n=48)	43.8	56.3	35.4	18.8	8.3	4.2	2.1	2.1
70～79歳 (n=51)	35.3	35.3	39.2	23.5	11.8	9.8	9.8	5.9
80歳以上 (n=26)	30.8	42.3	34.6	26.9	0.0	0.0	11.5	7.7

同居世帯の構成別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」は三世代家族（62.5%）が6割強、「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は二世代家族（50.0%）が5割と最も高くなっている。「お金がかかるから」は一人暮らし（30.8%）と二世代家族（30.2%）が3割台と高くなっている。

備蓄を行っていない理由 同居世帯の構成別

単位：％

	備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=352)	50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
同居世帯の構成別								
一人暮らし (n=104)	49.0	30.8	31.7	30.8	4.8	1.0	10.6	1.9
夫婦のみ (n=91)	51.6	38.5	29.7	24.2	11.0	2.2	3.3	4.4
二世代家族 (n=106)	51.9	50.0	31.1	30.2	8.5	4.7	4.7	2.8
三世代家族 (n=16)	62.5	43.8	37.5	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5
その他 (n=25)	48.0	36.0	24.0	28.0	0.0	4.0	12.0	0.0

ライフステージ別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」では、家族成熟期（57.6%）が5割半ばを超え最も高くなっている。「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は家族成熟期（54.5%）と高齢期（52.2%）が5割台、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」は高齢期（一人暮らし）（43.8%）が4割半ば近くとなっている。「お金がかかるから」は家族成長後期（40.0%）が4割と高くなっている。

備蓄を行っていない理由 ライフステージ別

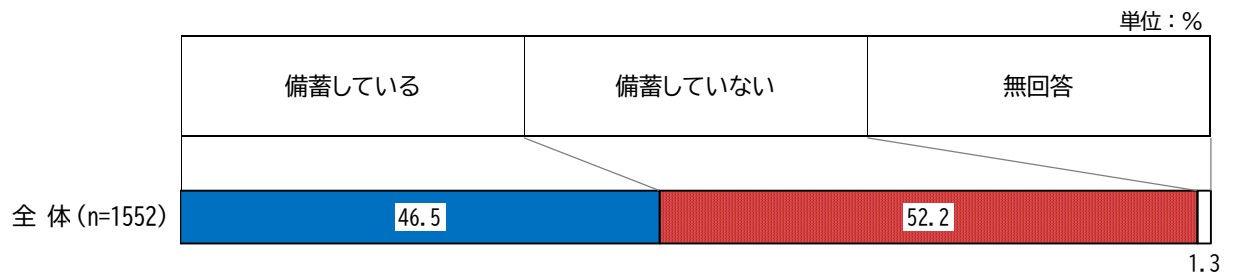
単位：％

		備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
	全体（n=352）	50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
ライフステージ別	家族形成期（n=46）	56.5	39.1	28.3	17.4	6.5	0.0	4.3	0.0
	家族成長前期（n=9）	55.6	33.3	44.4	44.4	11.1	0.0	22.2	11.1
	家族成長後期（n=20）	55.0	30.0	20.0	40.0	5.0	10.0	5.0	5.0
	家族成熟期（n=33）	57.6	54.5	33.3	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	高齢期（n=46）	45.7	52.2	28.3	17.4	10.9	6.5	4.3	6.5
	高齢期（一人暮らし）（n=32）	34.4	40.6	43.8	28.1	6.3	0.0	9.4	6.3
	一人暮らし（n=70）	55.7	25.7	27.1	32.9	4.3	1.4	11.4	0.0
	その他（n=96）	47.9	41.7	31.3	30.2	6.3	3.1	7.3	5.2

(2)災害用トイレの備蓄

◇「備蓄していない」が5割強

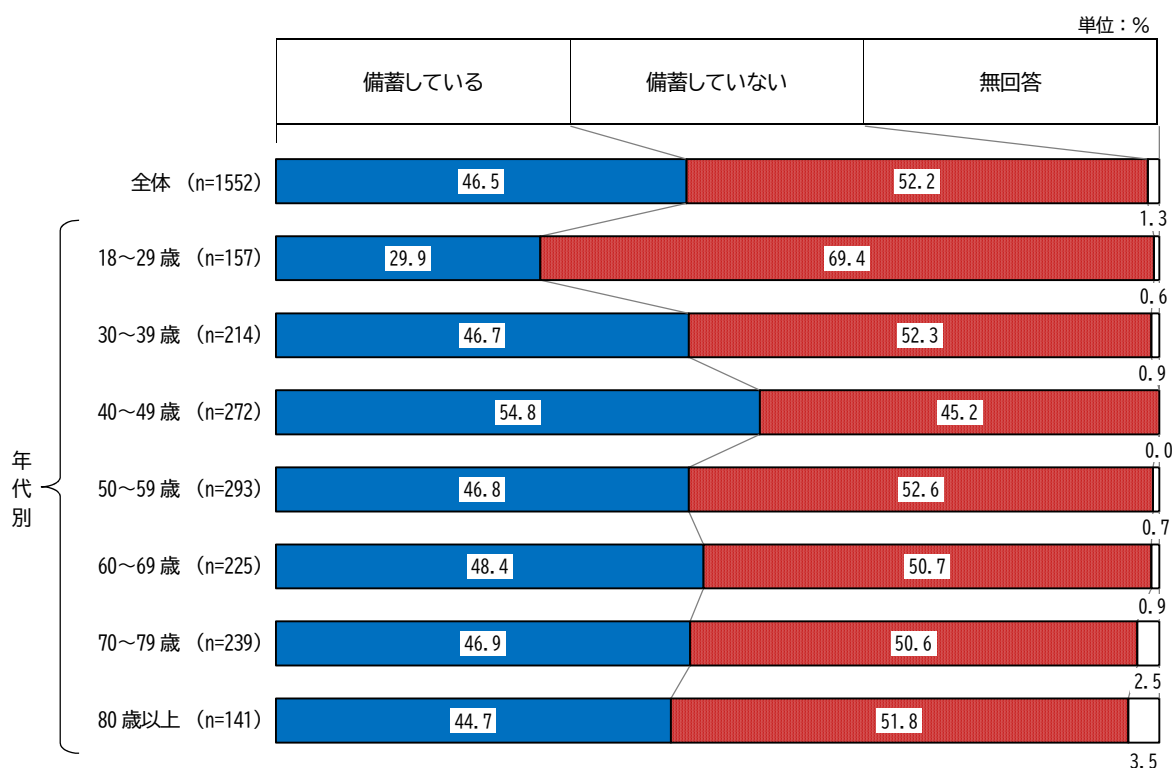
問 10 あなたの家庭では、災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。
（○は1つだけ）



災害用トイレの備蓄について聞いたところ、「備蓄していない」（52.2％）は5割強を占める。一方、「備蓄している」（46.5％）も5割に近くなっている。

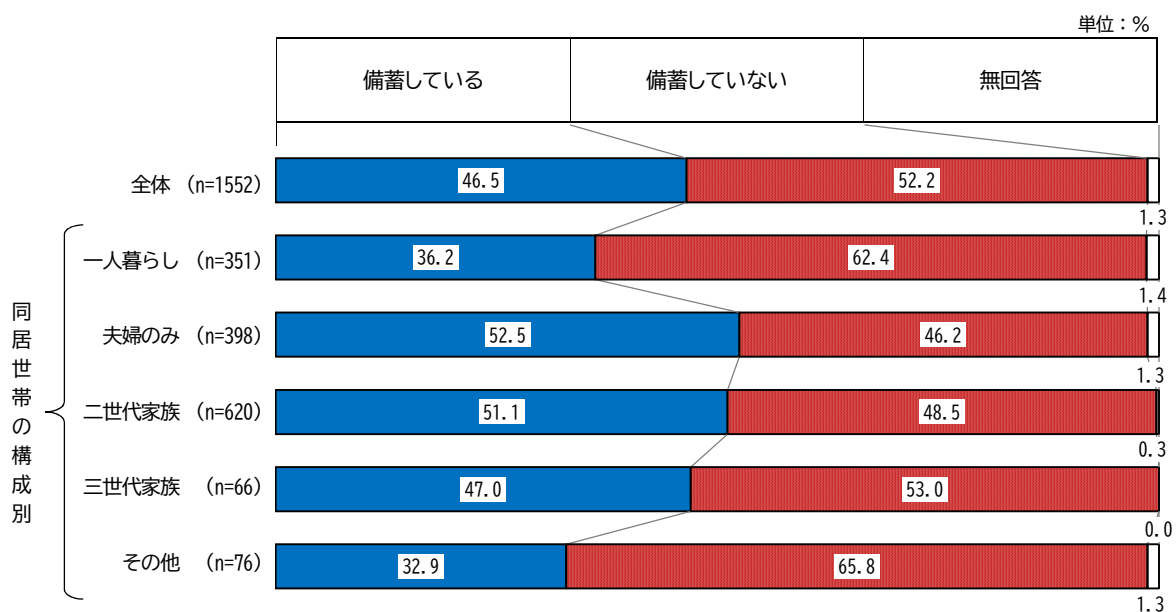
年代別でみると、「備蓄している」は40～49歳（54.8%）が5割半ば近くと最も高くなっている。一方、「備蓄していない」は18～29歳（69.4%）が7割弱と最も高くなっている。

災害用トイレの備蓄 年代別



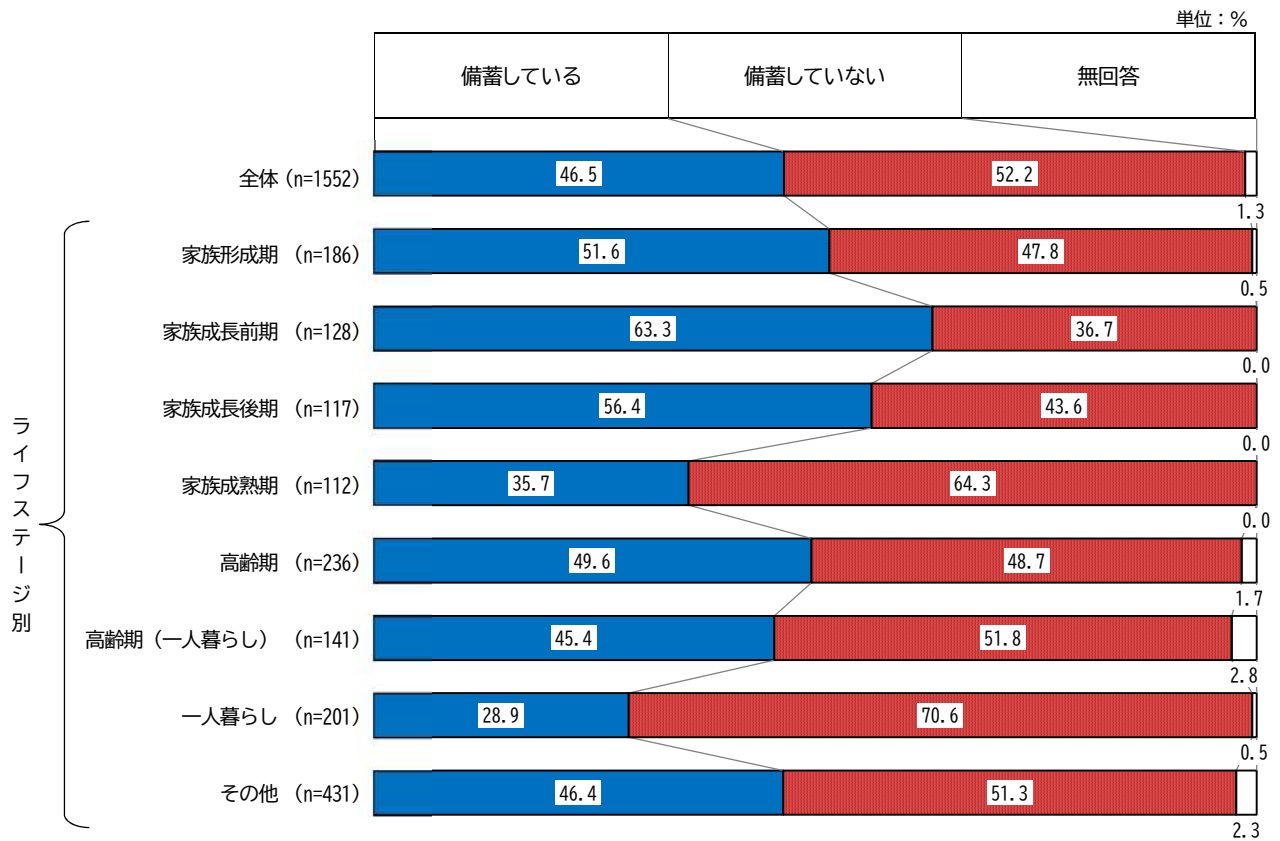
同居世帯の構成別でみると、「備蓄している」は夫婦のみ（52.5%）、二世世代家族（51.1%）が5割強と高くなっており、一人暮らし（36.2%）とその他（32.9%）は3割台にとどまっている。

災害用トイレの備蓄 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「備蓄している」は家族成長前期（63.3%）が6割半ば近く、家族成長後期（56.4%）が5割半ばを超えている。一方、家族成熟期（35.7%）と一人暮らし（28.9%）は他のライフステージに比べ低くなっている。

災害用トイレの備蓄 ライフステージ別

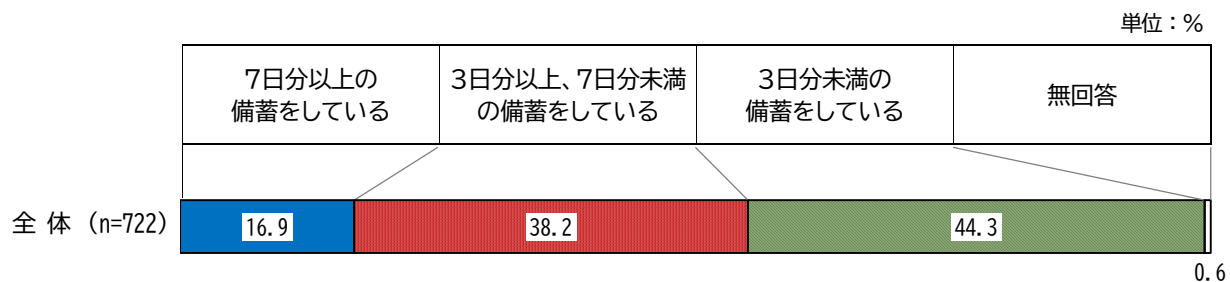


(2-1)災害用トイレの備蓄の量

◇「3日分未満の備蓄をしている」が4割強

問10-1 (問10で「1」とお答えの方に伺います)

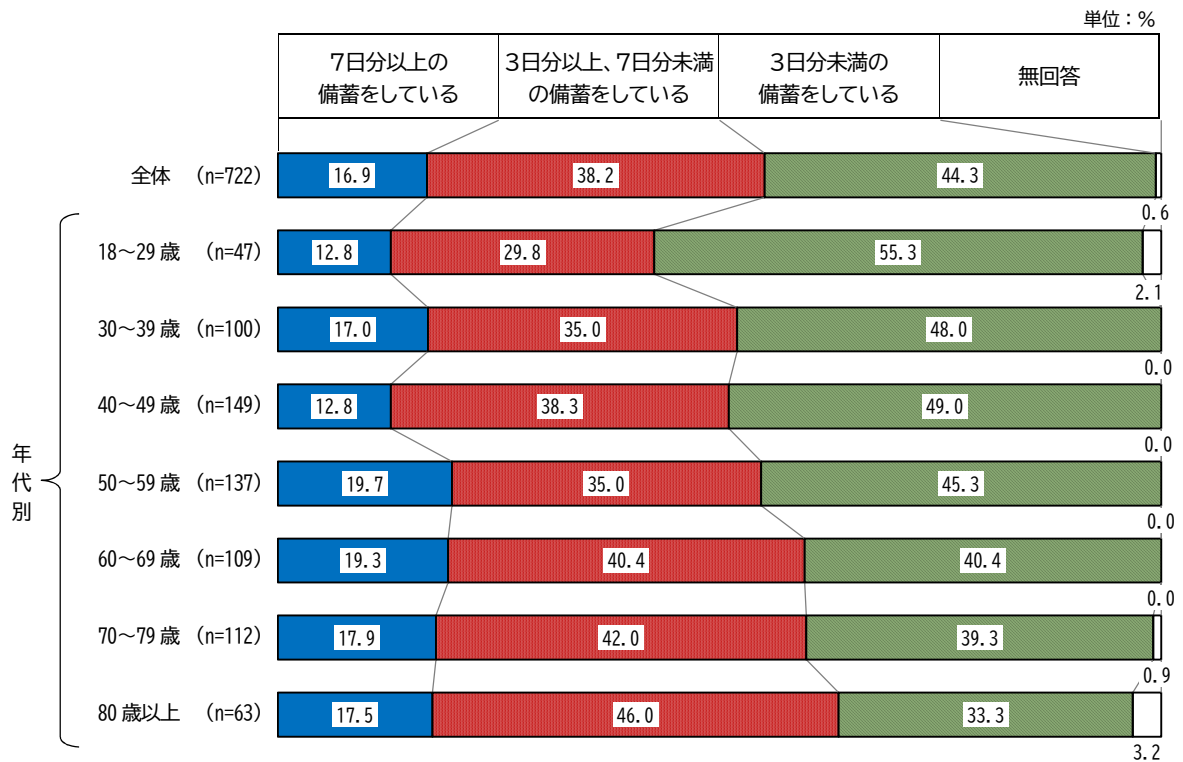
トイレの平均回数は、大人1日5回とされています。何日分の災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。（○は1つだけ）



災害用トイレの備蓄の量について聞いたところ、「3日分未満の備蓄をしている」（44.3％）が4割強と最も高く、次いで「3日以上、7日分未満の備蓄をしている」（38.2％）が4割近くとなっている。「7日分以上の備蓄をしている」（16.9％）は1割半ばを超えている。

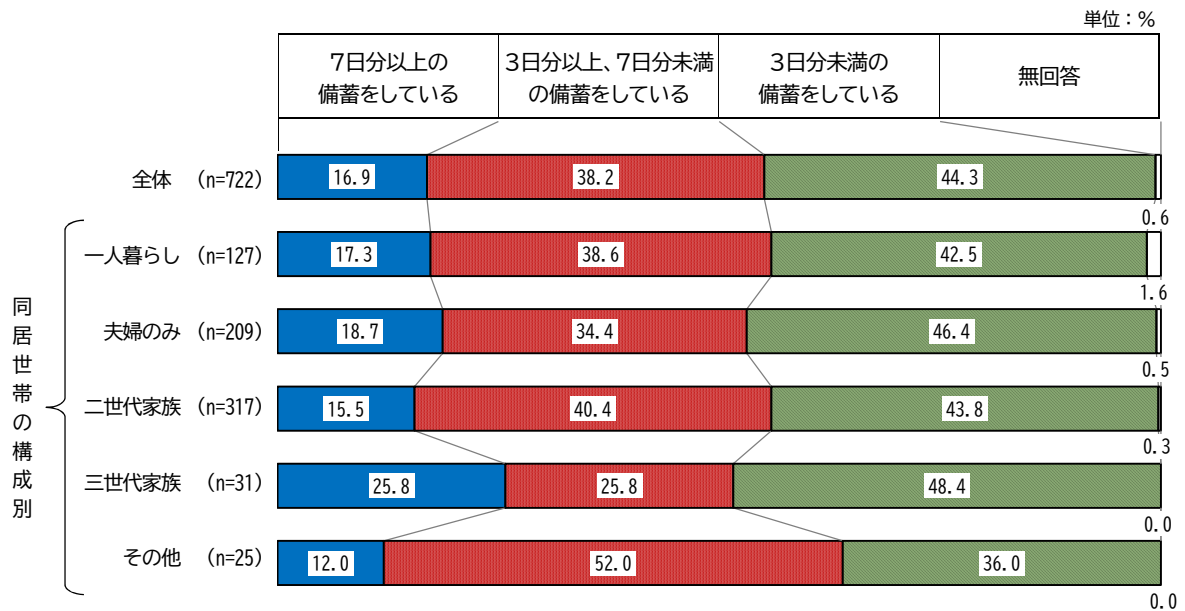
年代別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は50～59歳（19.7%）と60～69歳（19.3%）が2割弱と高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は80歳以上（46.0%）で4割半ばを超えて最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は18～29歳（55.3%）で5割半ばと最も高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 年代別



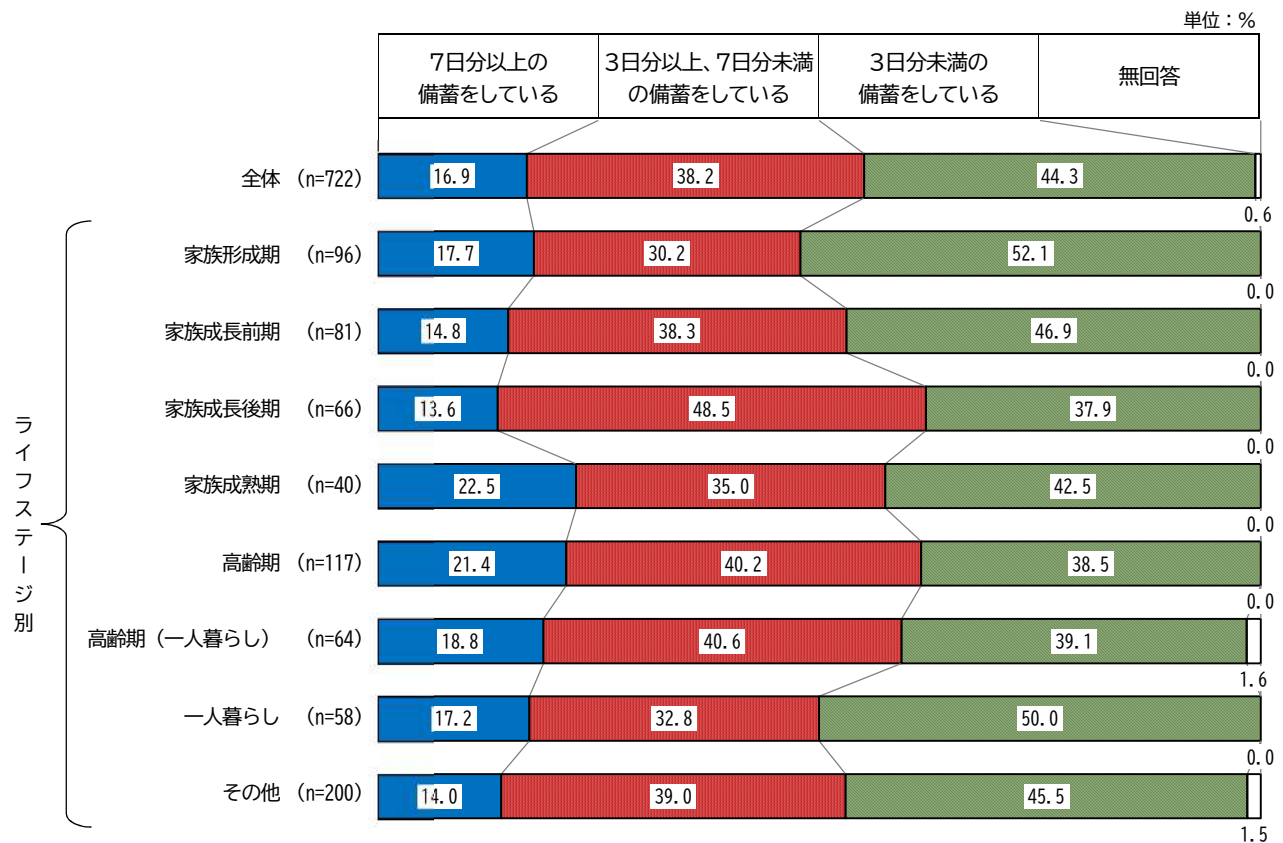
同居世帯の構成別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は三世代家族（25.8%）が2割半ばと最も高く、次いで夫婦のみ（18.7%）が2割近くと高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は二世世代家族（40.4%）が4割、「3日分未満の備蓄をしている」は三世代家族（48.4%）が5割近くと高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は家族成熟期（22.5%）と高齢期（21.4%）が2割強と高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は家族成長後期（48.5%）が5割近くと最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は家族形成期（52.1%）が5割強、一人暮らし（50.0%）が5割と高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 ライフステージ別

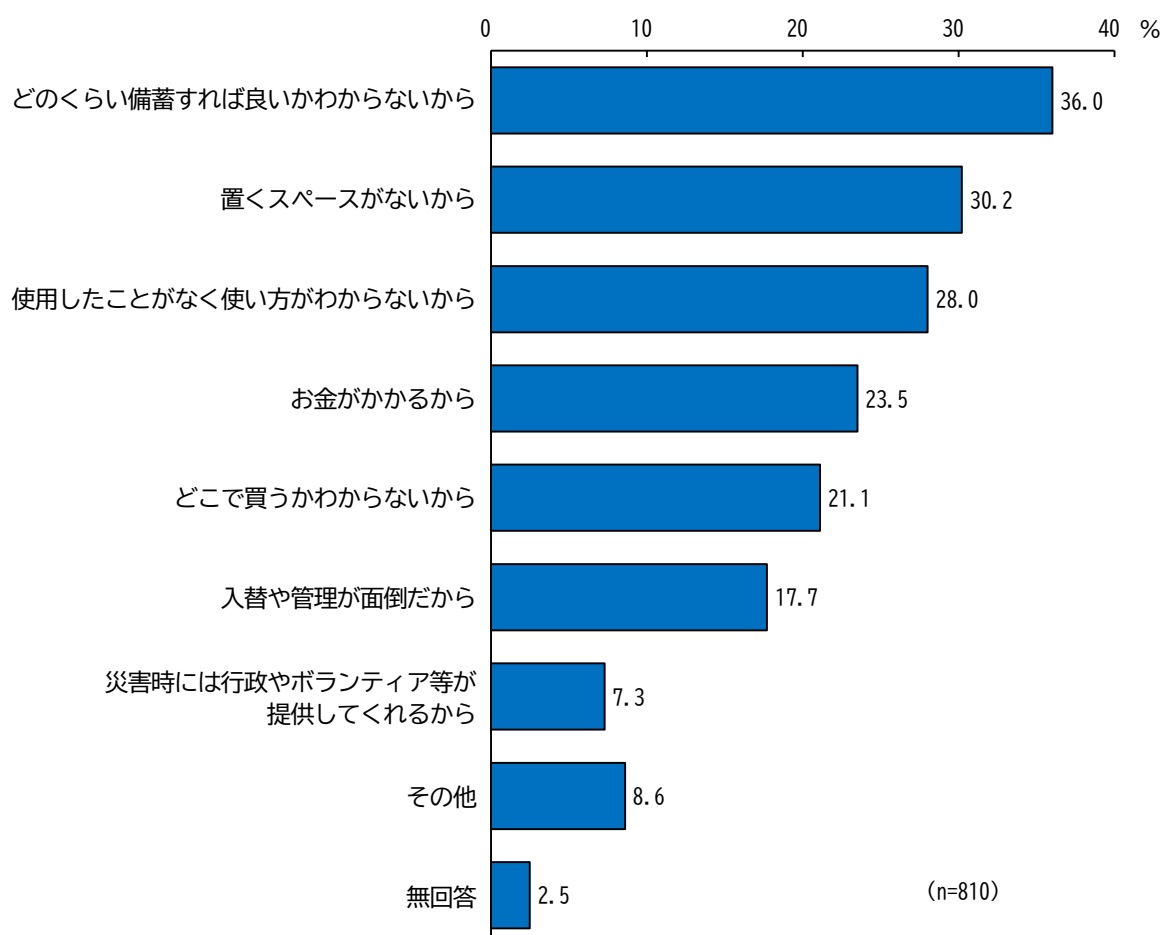


(2-2) 災害用トイレを備蓄していない理由

◇「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」が4割近く

問10-2 (問10で「2」とお答えの方に伺います)

災害用トイレ(携帯トイレ、簡易トイレ)を備蓄していない理由を次の中から選びください。(〇はいくつでも)



災害用トイレを備蓄していない理由について聞いたところ、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(36.0%)が4割近く最も高く、以下、「置くスペースがないから」(30.2%)、「使用したことがなく使い方がわからないから」(28.0%)が続いている。

年代別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は60歳以上が4割台、「置くスペースがないから」は18～59歳が3割台と高くなっている。「使用したことがなく使い方がわからないから」は50歳以上が3割台と他の年齢層より高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 年代別

単位：％

	どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=810)	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
年代別									
18～29歳 (n=109)	25.7	35.8	21.1	24.8	23.9	19.3	4.6	4.6	1.8
30～39歳 (n=112)	33.9	34.8	25.9	25.0	15.2	23.2	8.0	6.3	0.9
40～49歳 (n=123)	29.3	39.0	18.7	24.4	19.5	17.1	4.1	14.6	0.0
50～59歳 (n=154)	34.4	32.5	30.5	29.9	18.8	14.9	7.8	7.8	1.3
60～69歳 (n=114)	43.9	26.3	31.6	21.9	22.8	18.4	8.8	7.9	0.9
70～79歳 (n=121)	44.6	19.8	35.5	18.2	24.8	16.5	8.3	9.1	8.3
80歳以上 (n=73)	42.5	20.5	34.2	16.4	24.7	15.1	11.0	11.0	2.7

同居世帯の構成別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は二世世代家族（41.2％）が4割強で最も高くなっている。「置くスペースがないから」は三世世代家族（34.3％）が3割半ば近く、「使用したことがなく使い方がわからないから」は二世世代家族（32.9％）とその他（32.0％）が3割強と高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 同居世帯の構成別

単位：％

	どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=810)	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
同居世帯の構成別									
一人暮らし (n=219)	29.2	29.7	24.2	23.7	25.6	17.8	5.9	9.1	0.9
夫婦のみ (n=184)	35.3	29.9	24.5	22.8	19.0	16.3	7.6	8.2	4.9
二世世代家族 (n=301)	41.2	29.9	32.9	22.9	20.3	17.9	7.6	9.0	1.7
三世世代家族 (n=35)	37.1	34.3	28.6	31.4	22.9	20.0	8.6	2.9	2.9
その他 (n=50)	38.0	32.0	32.0	24.0	16.0	20.0	10.0	12.0	0.0

ライフステージ別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は高齢期（44.3%）が4割半ば近く、「置くスペースがないから」は家族成熟期（37.5%）が3割半ばを超えて高くなっている。「使用したことがなく使い方がわからないから」は高齢期（38.3%）が4割近く、高齢期（一人暮らし）（37.0%）が3割半ばを超えて高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 ライフステージ別

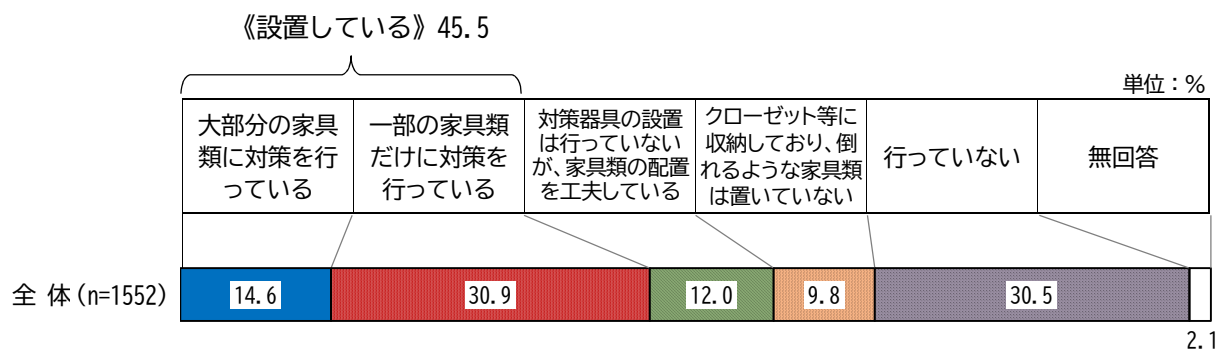
単位：％

		どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
	全体（n=810）	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
ライフステージ別	家族形成期（n=89）	33.7	32.6	23.6	20.2	19.1	22.5	3.4	5.6	1.1
	家族成長前期（n=47）	40.4	23.4	25.5	19.1	14.9	25.5	4.3	17.0	2.1
	家族成長後期（n=51）	35.3	33.3	27.5	31.4	21.6	13.7	13.7	5.9	0.0
	家族成熟期（n=72）	33.3	37.5	30.6	30.6	15.3	13.9	5.6	6.9	2.8
	高齢期（n=115）	44.3	26.1	38.3	16.5	22.6	19.1	11.3	5.2	6.1
	高齢期（一人暮らし）（n=73）	39.7	19.2	37.0	17.8	28.8	15.1	5.5	12.3	2.7
	一人暮らし（n=142）	23.9	34.5	16.9	26.8	23.9	19.7	6.3	7.7	0.0
	その他（n=221）	39.4	30.8	28.5	24.9	19.9	14.9	7.7	10.4	3.2

(3) 家具の転倒・落下防止

◇《設置している》が4割を超える、「行っていない」が3割

問 11 あなたの家では、地震に備え、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具による対策を行っていますか。(○は1つだけ)

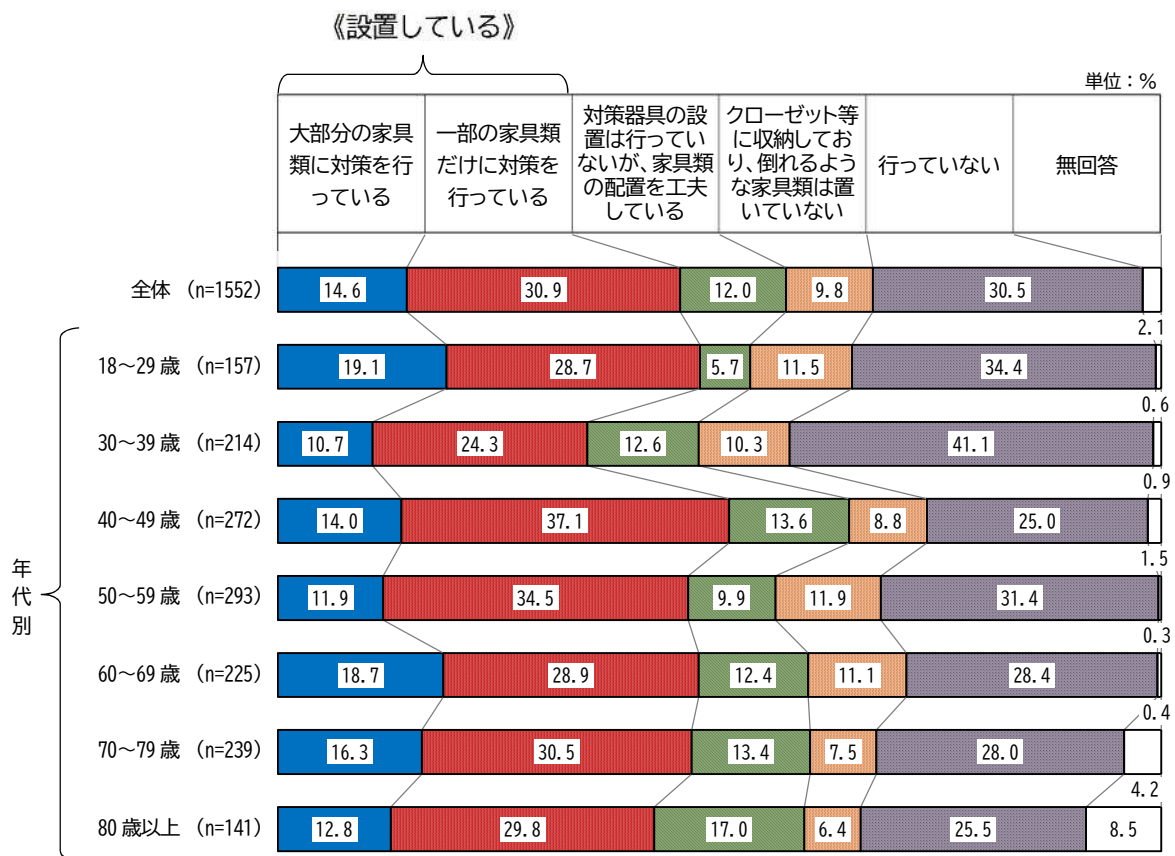


(注) 《設置している》＝「大部分の家具類に対策を行っている」＋「一部の家具類だけに対策を行っている」

家具の転倒・落下防止について聞いたところ、「一部の家具類だけに対策を行っている」(30.9%)と「大部分の家具類に対策を行っている」(14.6%)を合わせた《設置している》(45.5%)は4割を超えている。「対策器具の設置は行っていないが、家具類の配置を工夫している」(12.0%)が1割強、「クローゼット等に収納しており、倒れるような家具類は置いていない」(9.8%)は1割弱となっている。一方、「行っていない」(30.5%)は3割となっている。

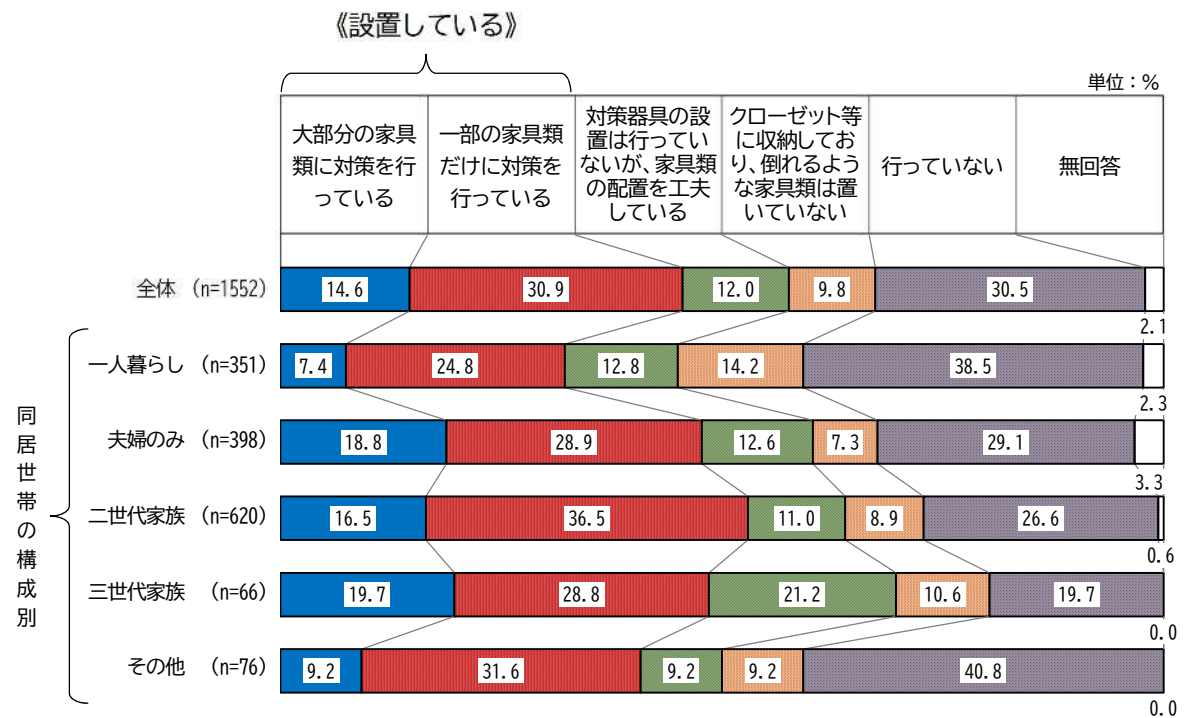
年代別でみると、《設置している》は40～49歳（51.1%）が5割強と最も高くなっている。「行っていない」は30～39歳（41.1%）が4割強と最も高く、18～29歳（34.4%）も3割半ば近くとなっている。

家具の転倒・落下防止 年代別



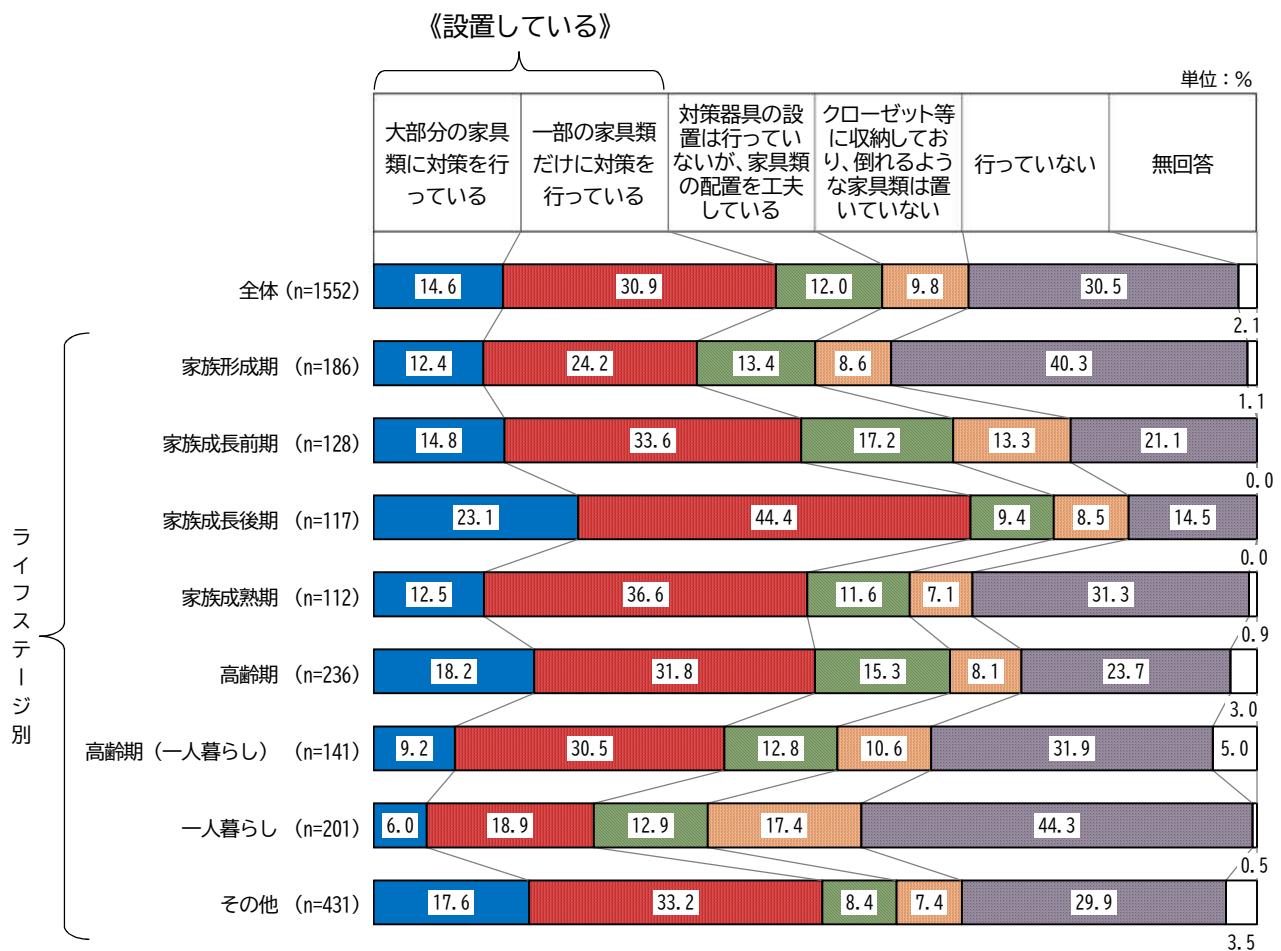
同居世帯の構成別でみると、《設置している》は二世世代家族（53.0％）が5割強と最も高く、三世世代家族（48.5％）も5割近くと高くなっている。「行っていない」はその他（40.8％）が4割、一人暮らし（38.5％）が4割近くと高くなっている。

家具の転倒・落下防止 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、《設置している》は家族成長後期（67.5%）が6割半ばを超えて最も高くなっている。「行っていない」は一人暮らし（44.3%）が4割半ば近く、家族形成期（40.3%）、が4割と高くなっている。

家具の転倒・落下防止 ライフステージ別

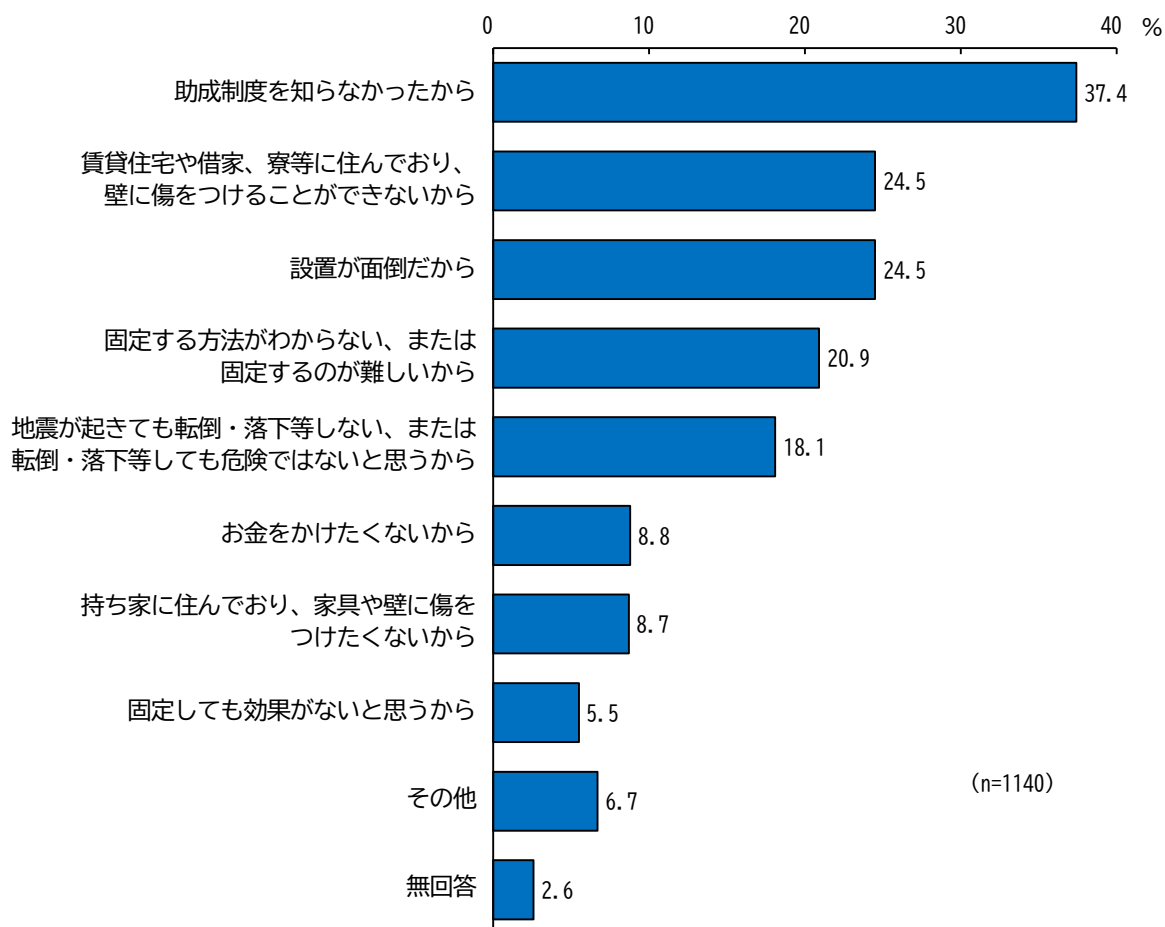


(3-1) 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由

◇「助成制度を知らなかったから」が4割近く

問11-1 (問11で「2」、「3」、「5」とお答えの方に伺います)

区で家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置に5千円～2万円(条件有)の助成金が出る制度がありますが、一部の家具類だけに設置を行っている、または設置を行っていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)



家具の転倒・落下防止器具の未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」(37.4%)が4割近くで最も高く、以下、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」(24.5%)、「設置が面倒だから」(24.5%)、「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」(20.9%)が続いている。

年代別でみると、「助成制度を知らなかったから」は30～49歳が4割台、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は18～39歳が3割台と高くなっている。「設置が面倒だから」は80歳以上（19.6%）を除くすべての年齢層で2割台となっている。「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」は80歳以上（35.3%）が3割半ばと高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 年代別

単位：％

		助成制度 を知らな かったか ら	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり 、壁に傷 をつける ことがで きないか ら	設置が面 倒だから	固定する 方法がわ からない 、または 固定する のが難し いから	地震が起 きても転 倒・落下 等しない 、または 転倒・落 下等し ても危険 ではない と思うか ら	お金をか けたくな いから	持ち家に 住んでお り、家具 や壁に傷 をつけた くないか ら	固定して も効果が ないと思 うから	その他	無回答
全体 (n=1140)		37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
年代別	18～29歳 (n=108)	26.9	37.0	26.9	14.8	18.5	14.8	2.8	1.9	4.6	2.8
	30～39歳 (n=167)	42.5	37.7	28.7	15.6	12.6	9.0	8.4	3.6	2.4	1.8
	40～49歳 (n=206)	40.8	25.7	25.7	19.9	18.4	6.8	10.7	4.4	8.7	0.0
	50～59歳 (n=222)	34.2	20.3	23.4	18.5	18.5	9.0	14.0	3.6	11.3	1.4
	60～69歳 (n=157)	39.5	21.0	23.6	22.3	19.7	9.6	10.2	10.8	5.1	1.3
	70～79歳 (n=172)	39.0	18.0	23.3	24.4	22.1	9.3	5.2	7.0	5.2	6.4
	80歳以上 (n=102)	36.3	12.7	19.6	35.3	15.7	2.9	3.9	7.8	5.9	7.8

同居世帯の構成別でみると、「助成制度を知らなかったから」は三世代家族（41.3%）が4割強、二世世代家族（40.5%）が4割と高くなっている。「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は一人暮らし（38.2%）が4割近くと高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 同居世帯の構成別

単位：％

		助成制度 を知らな かったか ら	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり 、壁に傷 をつける ことがで きないか ら	設置が面 倒だから	固定する 方法がわ からない 、または 固定する のが難し いから	地震が起 きても転 倒・落下 等しない 、または 転倒・落 下等し ても危険 ではない と思うか ら	お金をか けたくな いから	持ち家に 住んでお り、家具 や壁に傷 をつけた くないか ら	固定して も効果が ないと思 うから	その他	無回答
全体 (n=1140)		37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=267)	33.7	38.2	18.7	23.2	18.7	12.7	4.9	4.5	5.6	3.0
	夫婦のみ (n=281)	37.0	26.3	24.6	17.1	17.4	6.0	9.3	7.1	6.4	2.8
	二世世代家族 (n=459)	40.5	17.6	28.8	20.9	19.2	7.2	10.0	5.0	7.0	2.0
	三世代家族 (n=46)	41.3	8.7	23.9	32.6	19.6	13.0	23.9	6.5	6.5	2.2
	その他 (n=62)	32.3	24.2	17.7	17.7	11.3	12.9	4.8	4.8	9.7	3.2

ライフステージ別でみると、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は一人暮らし（47.1%）が4割半ばを超えて高くなっている。「設置が面倒だから」は家族成長前期（30.4%）が3割、「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」は高齢期（一人暮らし）（29.2%）が3割弱と高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 ライフステージ別

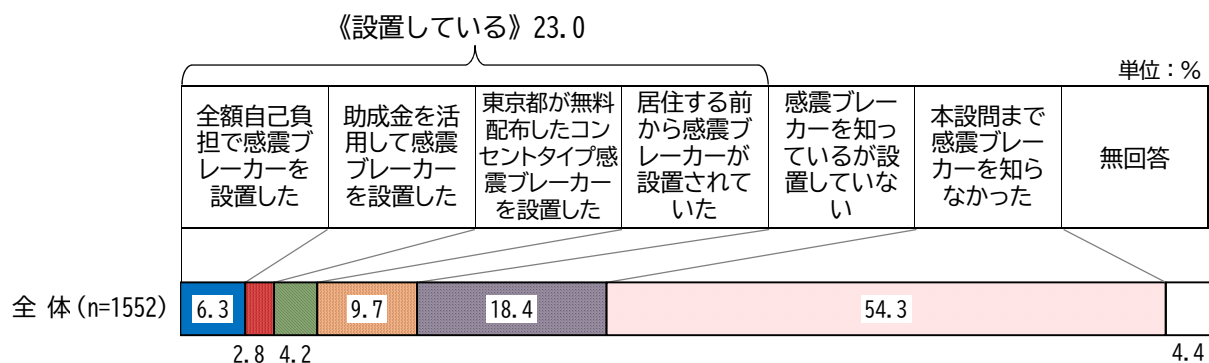
単位：%

		助成制度 を知らな かったか ら	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり、 壁に傷をつ けることが できないか ら	設置が面 倒だから	固定する 方法がわ からない 、または 固定する のが難し いから	地震が起 きても転 倒・落下 等しない 、または 転倒・落 下等し ても危険 ではない と思うか ら	お金をか けたくな いから	持ち家に 住んでお り、家具 や壁に傷 をつけた くないか ら	固定して も効果が ないと思 うから	その他	無回答
	全体 (n=1140)	37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
ライフ ステー ジ別	家族形成期 (n=145)	40.0	38.6	26.2	17.2	14.5	8.3	7.6	2.1	2.8	1.4
	家族成長前期 (n=92)	42.4	17.4	30.4	23.9	21.7	5.4	17.4	2.2	6.5	1.1
	家族成長後期 (n=80)	40.0	13.8	27.5	17.5	21.3	13.8	13.8	1.3	7.5	2.5
	家族成熟期 (n=89)	41.6	22.5	24.7	16.9	15.7	5.6	12.4	5.6	6.7	1.1
	高齢期 (n=167)	41.3	10.2	24.0	26.9	18.6	6.6	7.8	10.8	4.8	4.8
	高齢期(一人暮らし) (n=106)	38.7	27.4	17.9	29.2	21.7	11.3	5.7	4.7	2.8	5.7
	一人暮らし (n=153)	29.4	47.1	19.6	17.6	17.6	13.7	4.6	3.9	7.8	1.3
	その他 (n=308)	34.1	18.8	26.0	19.2	17.2	7.5	7.8	7.5	10.1	2.6

(4) 感震ブレーカーの設置状況

◇《設置している》は2割強

問 12 地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。(○は1つだけ)

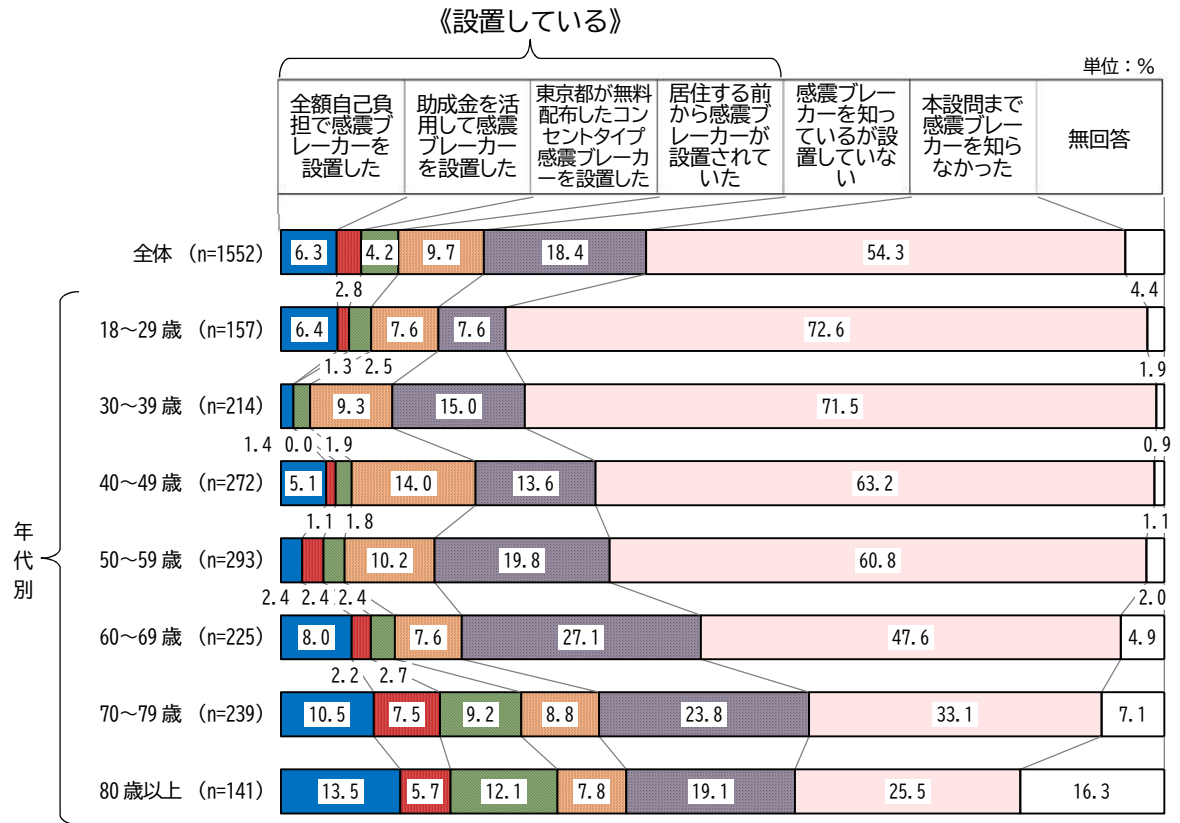


(注) 《設置している》＝「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」＋「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」＋「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」＋「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」

感震ブレーカーの設置状況について聞いたところ、「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」(6.3%)と「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」(2.8%)と「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」(4.2%)と「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」(9.7%)を合わせた《設置している》(23.0%)は2割強となっている。「感震ブレーカーを知っているが設置していない」(18.4%)は2割近くで、「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」(54.3%)が5割を占める。

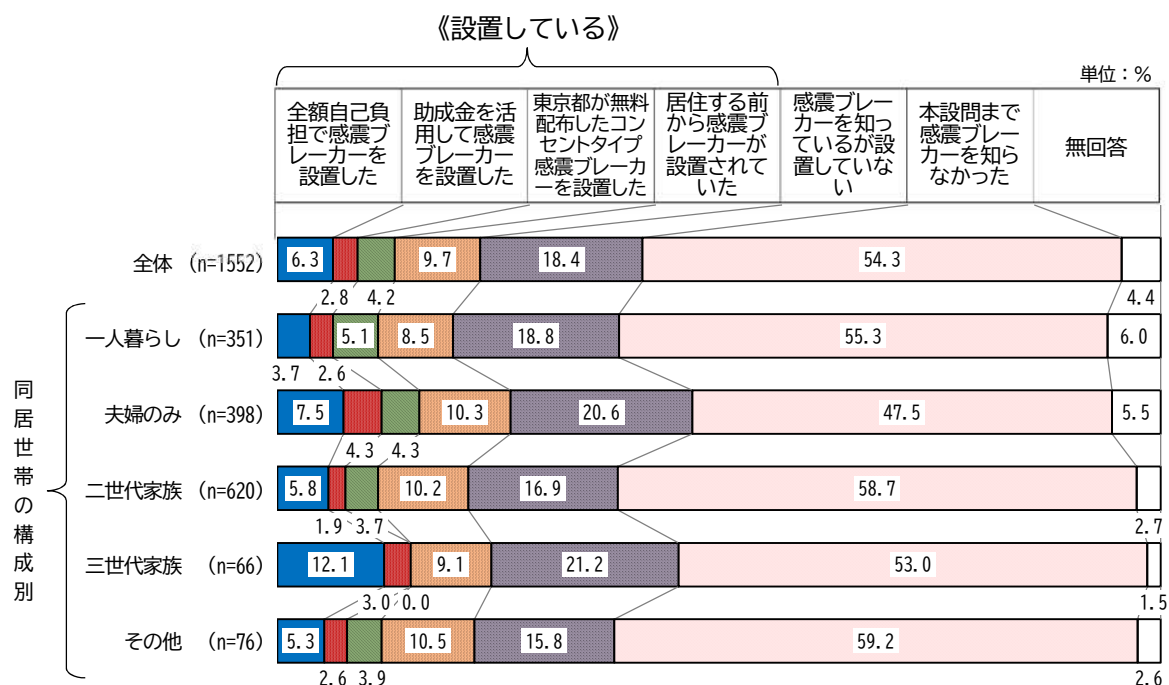
年代別でみると、《設置している》は80歳以上（39.1%）が4割弱と最も高くなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」は年齢層が低くなるほど割合が高くなっており、18～29歳（72.6%）では7割強となっている。

感震ブレーカーの設置状況 年代別



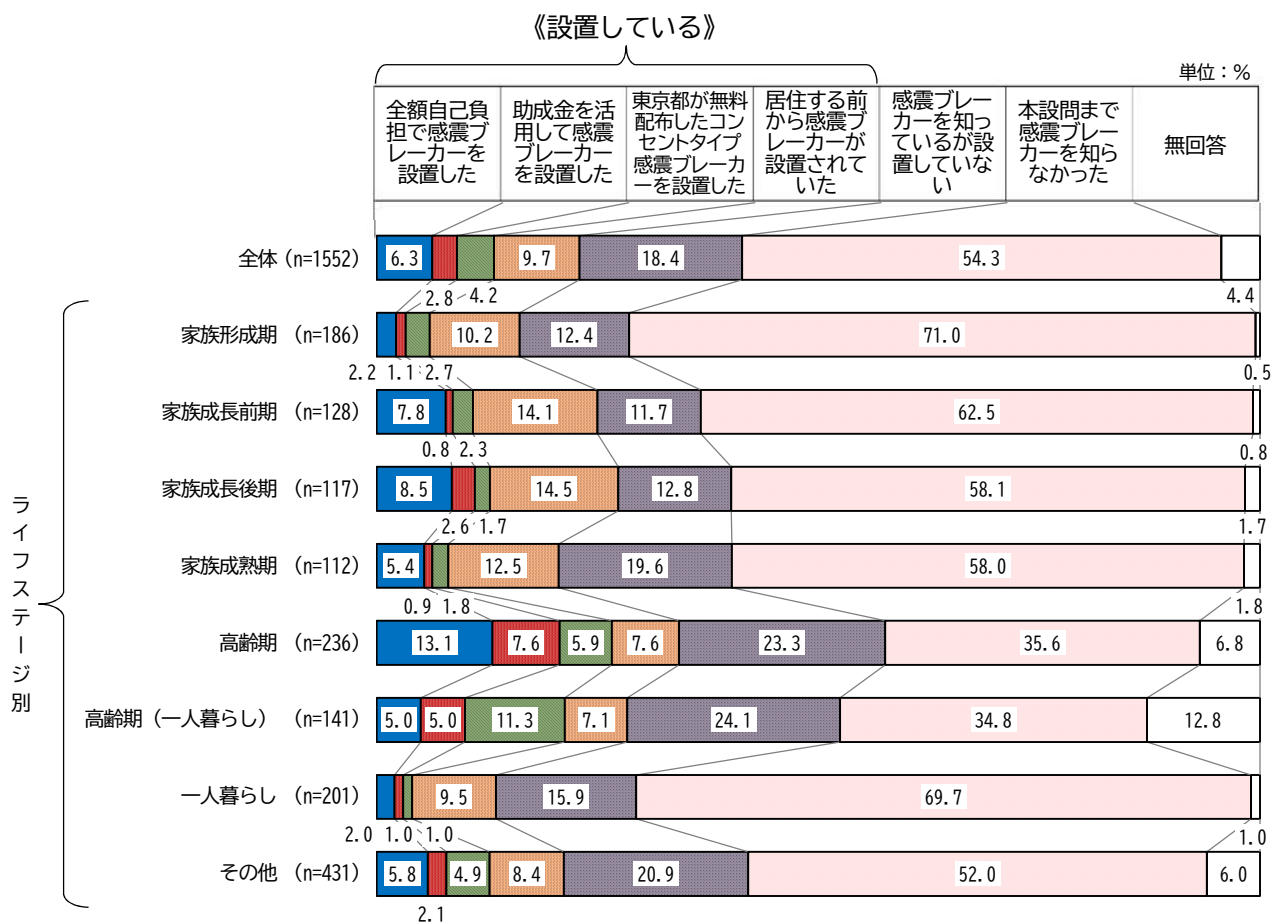
同居世帯の構成別でみると、《設置している》は夫婦のみ（26.4%）が2割半ばを超えて最も高く、次いで三世代家族（24.2%）が2割半ば近くとなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」は夫婦のみ（47.5%）を除くすべての世帯で5割台となっている。

感震ブレーカーの設置状況 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、《設置している》は高齢期（34.2%）が3割半ば近くと最も高く、次いで高齢期（一人暮らし）（28.4%）が3割近くと高くなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」では家族形成期（71.0%）が7割強と最も高く、次いで一人暮らし（69.7%）が7割弱となっている。

感震ブレーカーの設置状況 ライフステージ別

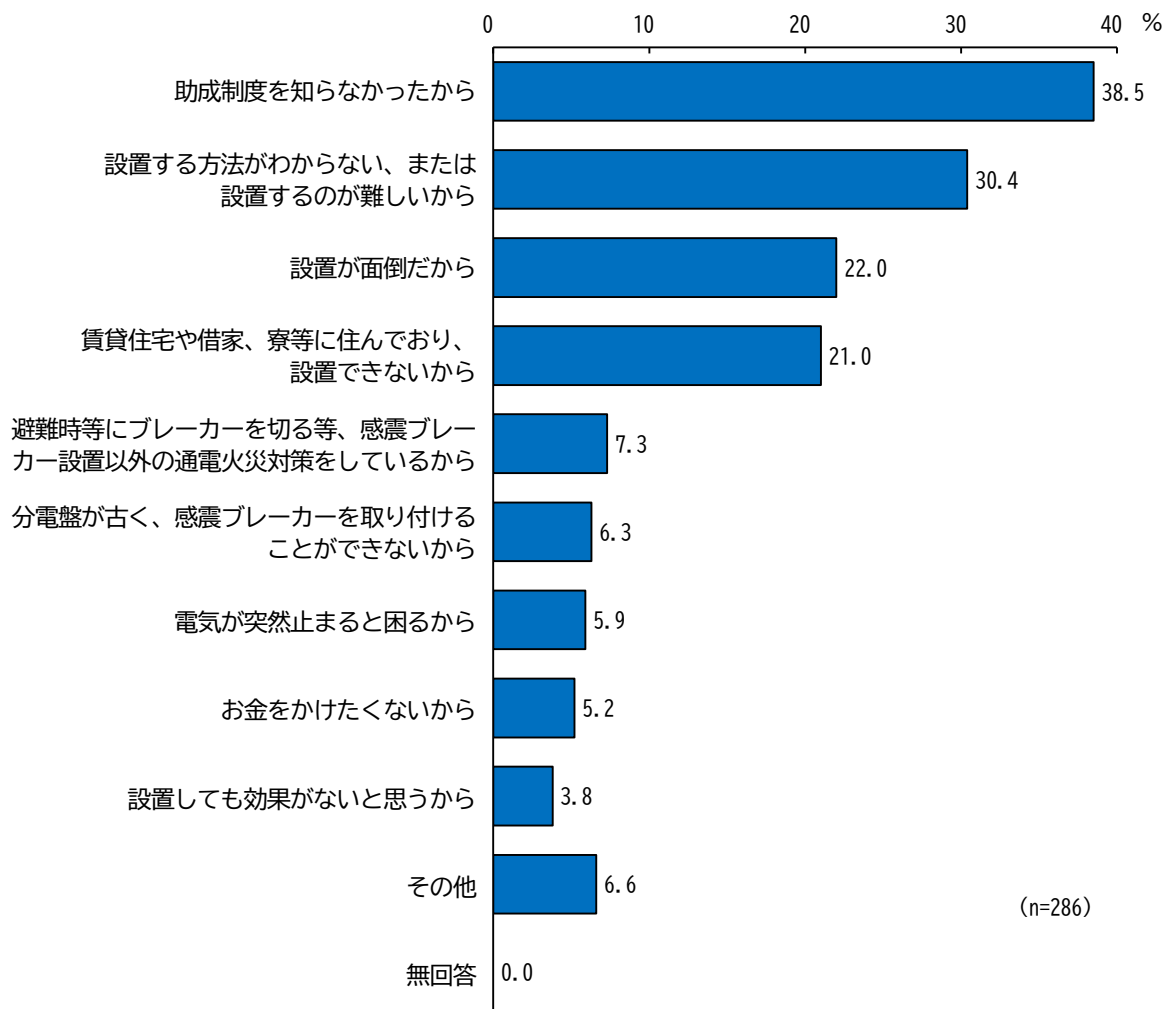


(4-1) 感震ブレーカーの未設置理由

◇「助成制度を知らなかったから」が4割近く

問12-1 (問12で「5」とお答えの方に伺います)

荒川区では感震ブレーカー等の設置について、5千円～10万円(条件有)の助成金が出る制度がありますが、「感震ブレーカー」を設置していない理由を次の中からお選びください。(〇はいくつでも)



感震ブレーカーの未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」(38.5%)が4割近くと最も高く、以下、「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」(30.4%)、「設置が面倒だから」(22.0%)、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」(21.0%)が続いている。

年代別でみると、「助成制度を知らなかったから」は80歳以上（63.0%）が6割を超え最も高くなっている。「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は80歳以上（44.4%）と70～79歳（40.4%）が4割台、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」は40～49歳（35.1%）が3割半ばと高くなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 年代別

単位：％

		助成制度 を知らな かったか ら	設置する 方法がわ からない、 または設 置するの が難しい から	設置が面 倒だから	賃貸住宅 や借家、寮 等に住ん でおり、設 置できな いから	避難時等 にブレー カーを切 る等、感震 ブレー カー設置 以外の通 電火災対 策をして いるから	分電盤が 古く、感震 ブレー カーを取 り付ける ことがで きないか ら	電気が突 然止まる と困るか ら	お金をか けたくな いから	設置して も効果が ないと思 うから
全体（n=286）		38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
年代別	18～29歳（n=12）	33.3	8.3	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	30～39歳（n=32）	31.3	31.3	25.0	28.1	3.1	0.0	9.4	6.3	3.1
	40～49歳（n=37）	32.4	32.4	18.9	35.1	8.1	5.4	2.7	2.7	2.7
	50～59歳（n=58）	32.8	24.1	24.1	22.4	1.7	1.7	3.4	8.6	3.4
	60～69歳（n=61）	37.7	23.0	21.3	13.1	9.8	11.5	6.6	3.3	8.2
	70～79歳（n=57）	43.9	40.4	22.8	17.5	17.5	5.3	8.8	3.5	1.8
	80歳以上（n=27）	63.0	44.4	18.5	14.8	0.0	14.8	7.4	7.4	0.0

	その他	無回答
全体（n=286）	6.6	0.0
年代別	18～29歳（n=12）	0.0
	30～39歳（n=32）	3.1
	40～49歳（n=37）	10.8
	50～59歳（n=58）	10.3
	60～69歳（n=61）	6.6
	70～79歳（n=57）	3.5
	80歳以上（n=27）	7.4

同居世帯の構成別でみると、「助成制度を知らなかったから」は夫婦のみ（48.8%）が5割近く、「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は三世代家族（57.1%）が6割近くとなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 同居世帯の構成別

単位：％

	助成制度を知らなかったから	設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから	設置が面倒だから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	電気が突然止まると困るから	お金をかけたくないから	設置しても効果がないと思うから
全体（n=286）	38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
同居世帯の構成別									
一人暮らし（n=66）	25.8	22.7	15.2	31.8	13.6	6.1	7.6	4.5	6.1
夫婦のみ（n=82）	48.8	20.7	23.2	23.2	4.9	8.5	7.3	3.7	0.0
二世代家族（n=105）	39.0	37.1	23.8	11.4	6.7	3.8	5.7	6.7	4.8
三世代家族（n=14）	35.7	57.1	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3
その他（n=12）	33.3	41.7	33.3	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体（n=286）	6.6	0.0
同居世帯の構成別		
一人暮らし（n=66）	3.0	0.0
夫婦のみ（n=82）	4.9	0.0
二世代家族（n=105）	9.5	0.0
三世代家族（n=14）	21.4	0.0
その他（n=12）	0.0	0.0

ライフステージ別でみると、「助成制度を知らなかったから」は高齢期（60.0%）が6割と最も高くなっている。「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は家族成長前期（40.0%）と家族成長後期（40.0%）が4割、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」は一人暮らし（40.6%）が4割と高くなっている。「避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから」は高齢期（一人暮らし）（20.6%）が2割と高くなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 ライフステージ別

単位：%

		助成制度 を知らな かったか ら	設置する 方法がわ からない、 または設 置するの が難しい から	設置が面 倒だから	賃貸住宅 や借家、 寮等に住 んでおり、 設置でき ないから	避難時等 にブレー カーを切 る等、感 震ブレー カー設置 以外の通 電火災対 策をして いるから	分電盤が 古く、感 震ブレー カーを取 り付ける ことがで きないか ら	電気が突 然止まる と困るか ら	お金をか けたくな いから	設置して も効果が ないと思 うから
	全体（n=286）	38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
ライフ ステー ジ別	家族形成期（n=23）	26.1	34.8	17.4	34.8	0.0	0.0	4.3	8.7	4.3
	家族成長前期（n=15）	20.0	40.0	26.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族成長後期（n=15）	20.0	40.0	20.0	20.0	6.7	0.0	6.7	6.7	20.0
	家族成熟期（n=22）	27.3	36.4	22.7	22.7	4.5	4.5	0.0	4.5	9.1
	高齢期（n=55）	60.0	38.2	21.8	5.5	9.1	9.1	5.5	1.8	1.8
	高齢期（一人暮らし）（n=34）	32.4	29.4	8.8	23.5	20.6	8.8	8.8	5.9	8.8
	一人暮らし（n=32）	18.8	15.6	21.9	40.6	6.3	3.1	6.3	3.1	3.1
	その他（n=90）	46.7	25.6	27.8	21.1	4.4	8.9	7.8	7.8	0.0

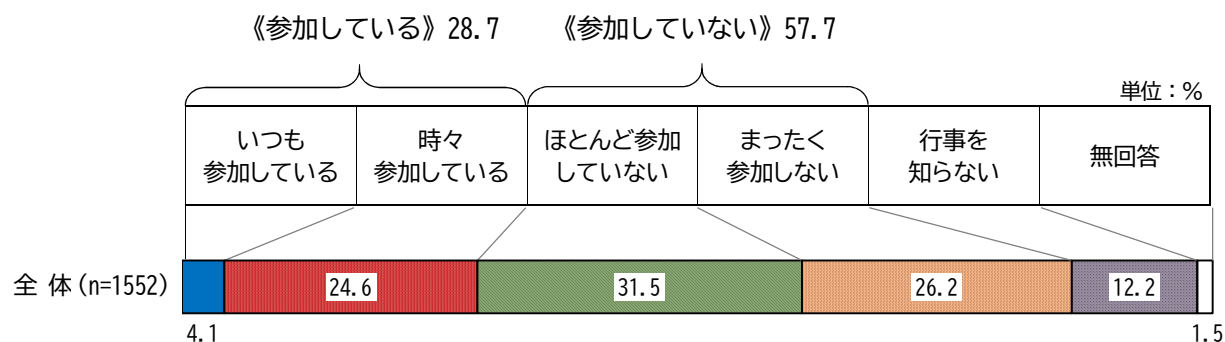
		その他	無回答
全体（n=286）		6.6	0.0
ライフ ステー ジ別	家族形成期（n=23）	8.7	0.0
	家族成長前期（n=15）	20.0	0.0
	家族成長後期（n=15）	6.7	0.0
	家族成熟期（n=22）	18.2	0.0
	高齢期（n=55）	3.6	0.0
	高齢期（一人暮らし）（n=34）	2.9	0.0
	一人暮らし（n=32）	3.1	0.0
	その他（n=90）	5.6	0.0

5. 地域とのつながり・暮らし

(1) 地域の行事や活動への参加頻度

◇《参加している》は3割近く

問13 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。(○は1つだけ)



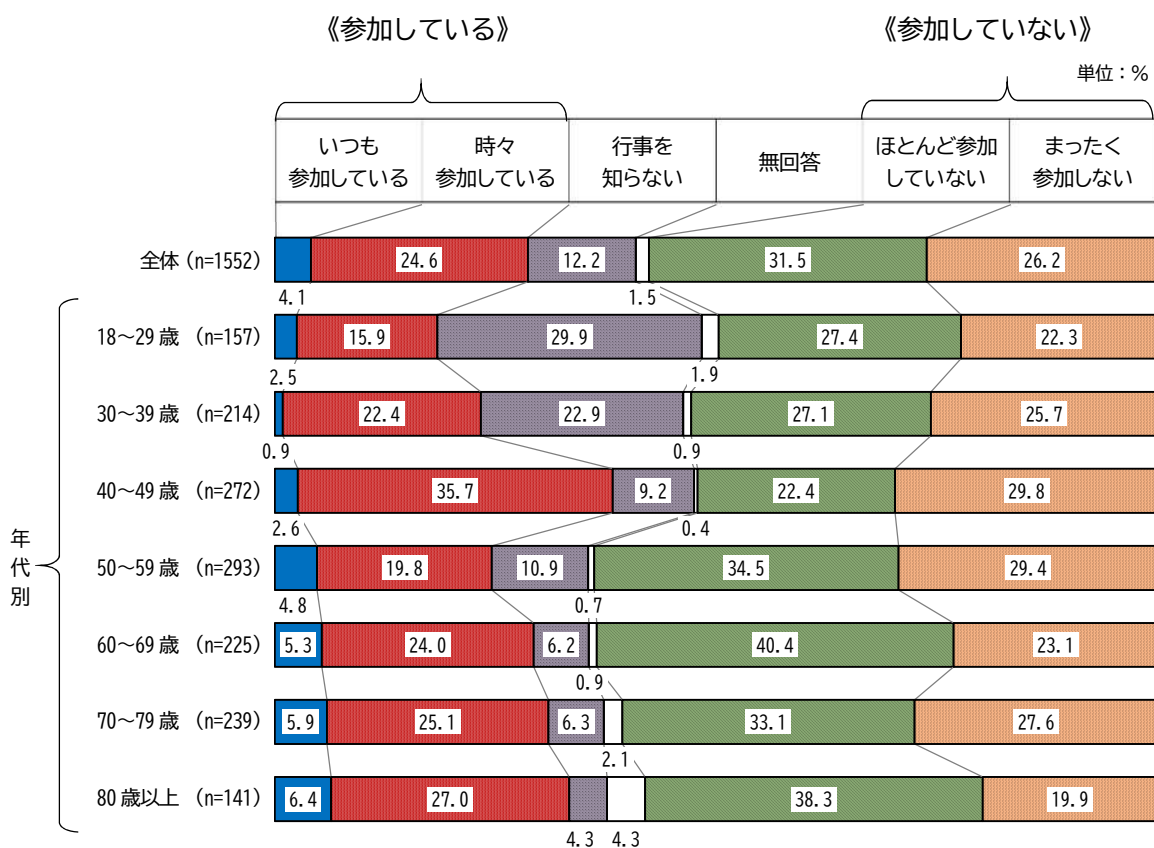
(注) 《参加している》＝「いつも参加している」＋「時々参加している」

《参加していない》＝「ほとんど参加していない」＋「まったく参加していない」

地域の行事や活動への参加頻度を聞いたところ、「いつも参加している」(4.1%)と「時々参加している」(24.6%)を合わせた《参加している》(28.7%)は3割近くとなっている。一方、「ほとんど参加していない」(31.5%)と「まったく参加しない」(26.2%)を合わせた《参加していない》(57.7%)は6割近くとなっている。

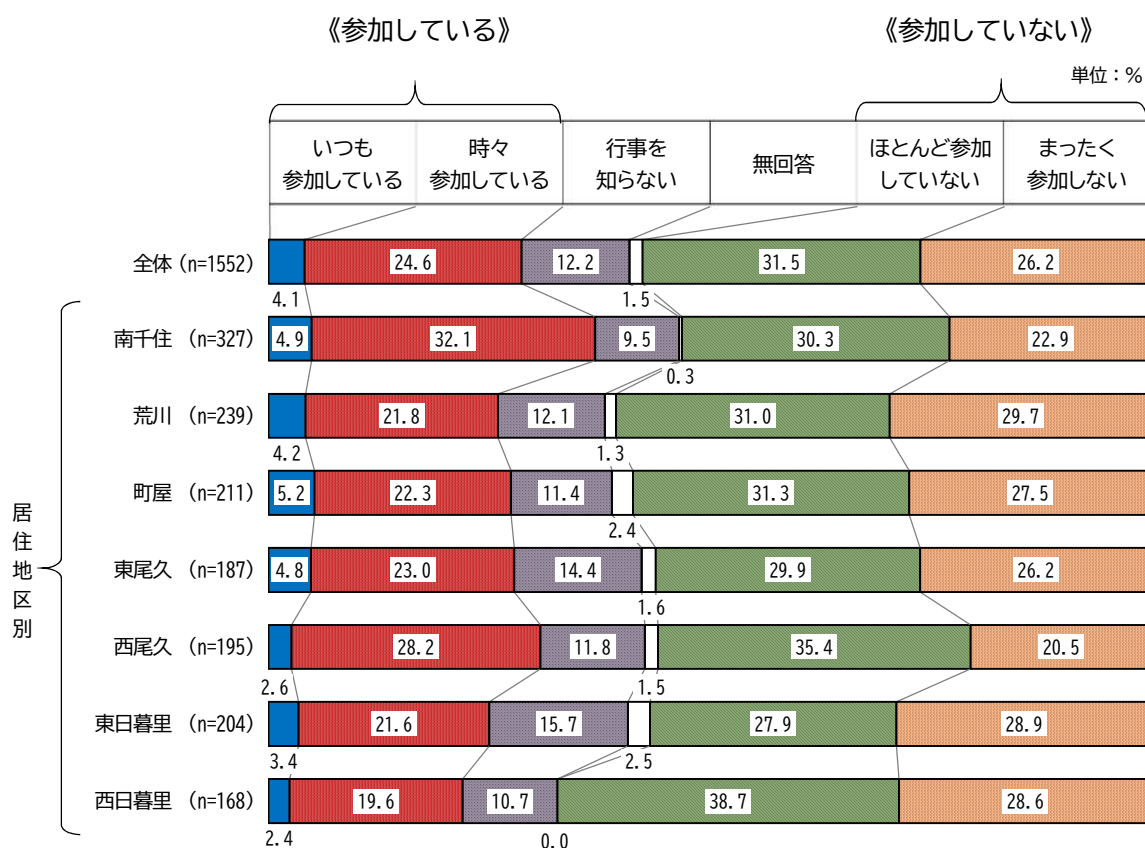
年代別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は40～49歳（38.3%）が4割近くと高くなっている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加しない」を合わせた《参加していない》は50～59歳（63.9%）と60～69歳（63.5%）で6割強となっている。

地域の行事や活動への参加頻度 年代別



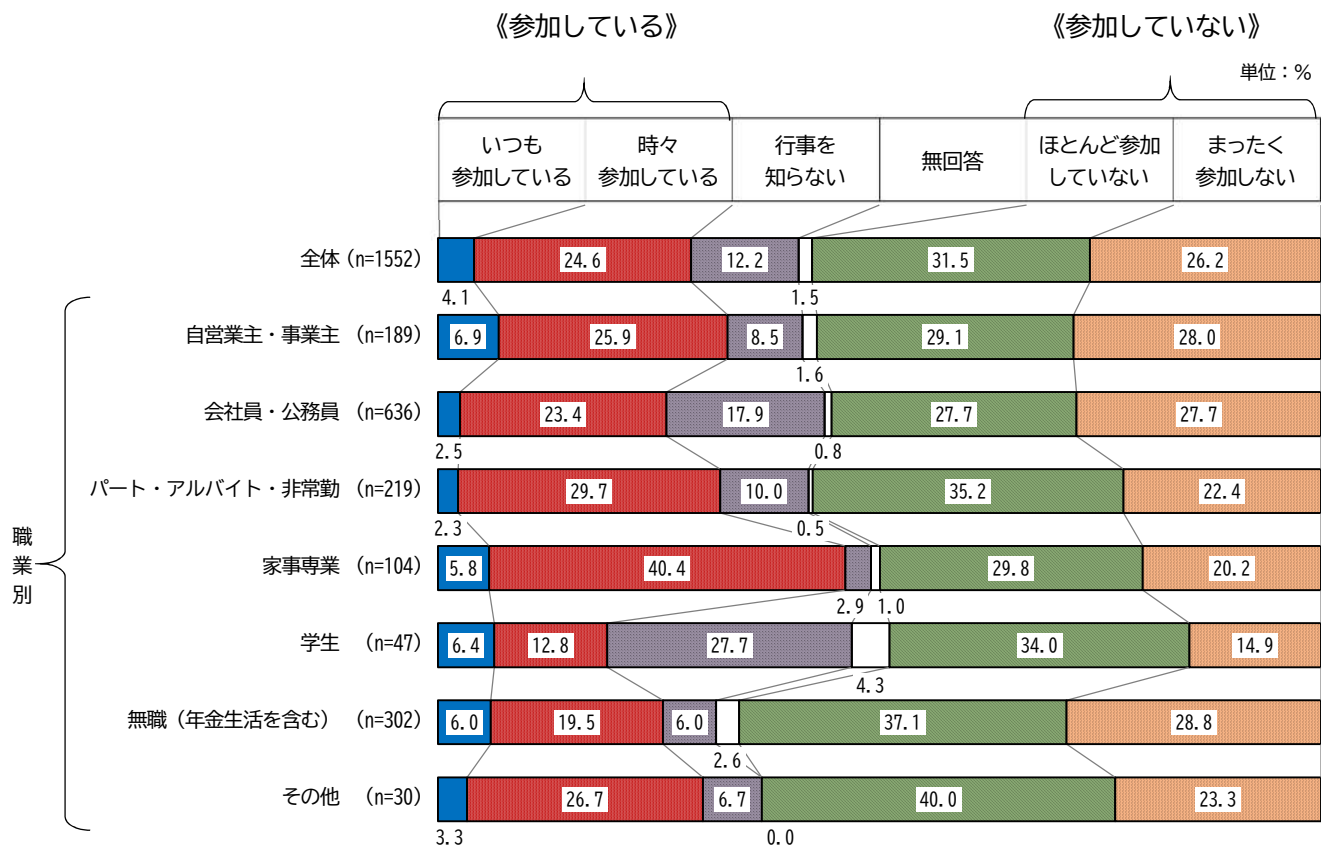
居住地区別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は南千住地区（37.0%）が4割近く最も高くなっている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加しない」を合わせた《参加していない》は西日暮里地区（67.3%）が6割半ばを超えている。

地域の行事や活動への参加頻度 居住地区別



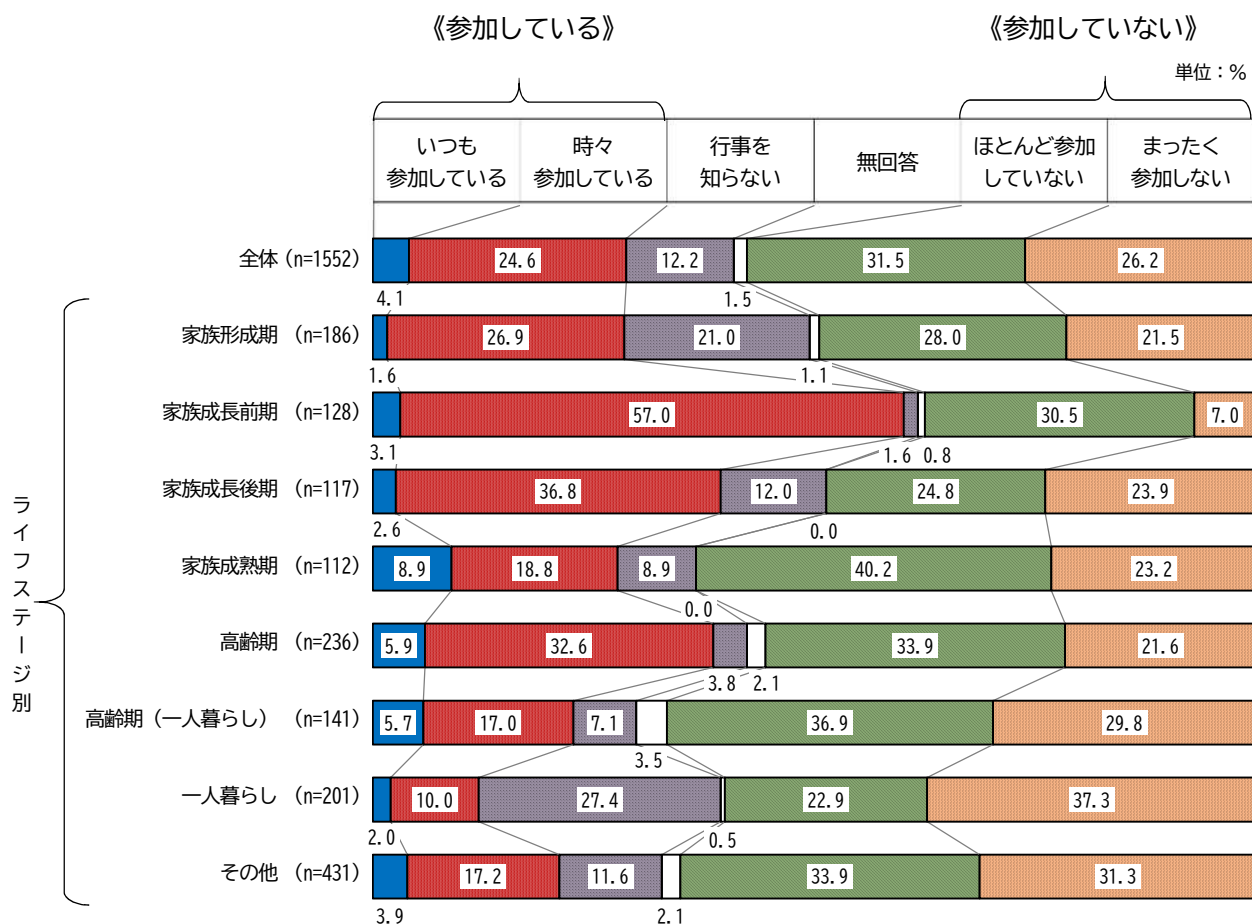
職業別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は家事専業（46.2%）が4割半ばを超えて最も高くなっている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加しない」を合わせた《参加していない》は無職（年金生活を含む）（65.9%）で6割半ばと最も高くなっている。

地域の行事や活動への参加頻度 職業別



ライフステージ別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は家族成長前期（60.1%）が6割と最も高くなっている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加しない」を合わせた《参加していない》は高齢期（一人暮らし）（66.7%）で6割半ばを超えて最も高くなっている。

地域の行事や活動への参加頻度 ライフステージ別

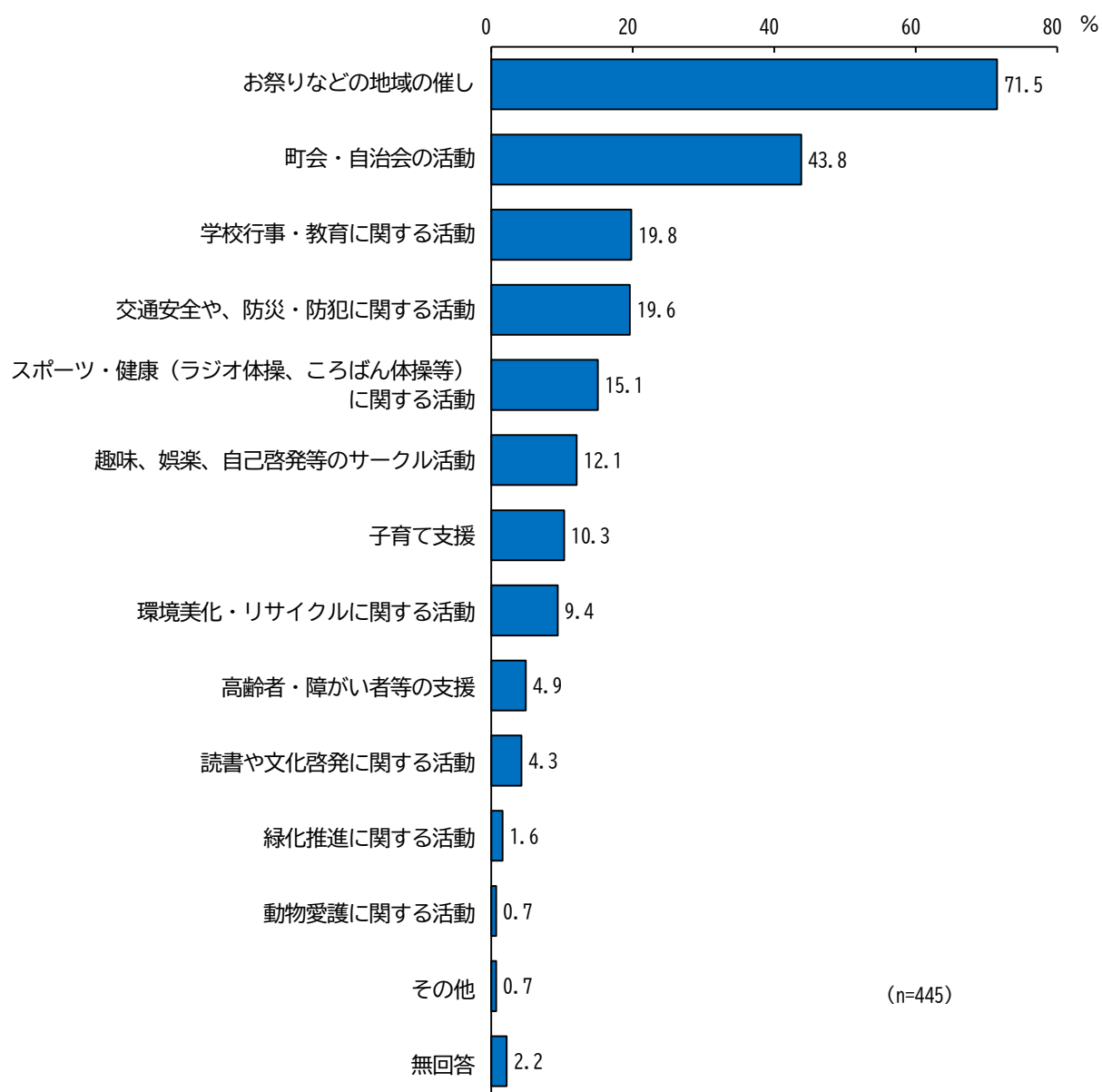


(1-1)参加している地域の行事や活動

◇「お祭りなどの地域の催し」が約7割

問13-1 (問13で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

次のうち、どのようなものに参加していますか。(〇はいくつでも)



参加している地域の行事や活動について聞いたところ、「お祭りなどの地域の催し」（71.5%）が約7割と最も高く、次いで「町会・自治会の活動」（43.8%）が4割強となっている。

年代別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は18～49歳が8割台～9割台、「町会・自治会の活動」は60歳以上が5割台～6割台と高くなっている。「学校行事・教育に関する活動」は40～49歳（42.3%）が4割強と最も高くなっている。「子育て支援」は30～39歳（40.0%）が4割、「交通安全や、防災・防犯に関する活動」は80歳以上（31.9%）と70～79歳（31.1%）が3割強となっている。

参加している地域の行事や活動 年代別

単位：％

		お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	学校行事・教育に関する活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	子育て支援	環境美化・リサイクルに関する活動	高齢者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
全体 (n=445)		71.5	43.8	19.8	19.6	15.1	12.1	10.3	9.4	4.9	4.3
年代別	18～29歳 (n=29)	93.1	13.8	6.9	6.9	6.9	3.4	6.9	3.4	0.0	3.4
	30～39歳 (n=50)	82.0	14.0	26.0	14.0	4.0	4.0	40.0	2.0	2.0	8.0
	40～49歳 (n=104)	91.3	33.7	42.3	7.7	14.4	2.9	16.3	2.9	1.0	4.8
	50～59歳 (n=72)	68.1	44.4	29.2	19.4	12.5	6.9	4.2	12.5	5.6	4.2
	60～69歳 (n=66)	56.1	56.1	6.1	25.8	18.2	16.7	3.0	13.6	7.6	1.5
	70～79歳 (n=74)	60.8	67.6	1.4	31.1	20.3	25.7	1.4	18.9	12.2	4.1
	80歳以上 (n=47)	44.7	57.4	6.4	31.9	21.3	27.7	2.1	10.6	4.3	4.3

		緑化推進 に関する 活動	動物愛護 に関する 活動	その他	無回答
全体 (n=445)		1.6	0.7	0.7	2.2
年代別	18～29歳 (n=29)	0.0	0.0	3.4	0.0
	30～39歳 (n=50)	2.0	2.0	0.0	2.0
	40～49歳 (n=104)	0.0	0.0	0.0	1.0
	50～59歳 (n=72)	2.8	1.4	1.4	5.6
	60～69歳 (n=66)	3.0	0.0	0.0	6.1
	70～79歳 (n=74)	2.7	1.4	1.4	0.0
	80歳以上 (n=47)	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は西日暮里地区（86.5％）が8割半ばを超えて最も高く、東尾久地区（78.8％）も8割近くと高くなっている。「町会・自治会の活動」は西尾久地区（53.3％）が5割半ば近く、荒川地区（51.6％）が5割強と高くなっている。

参加している地域の行事や活動 居住地区別

単位：％

		お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	学 校 行 事・教育に関する活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	ス ポ ー ツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	子育て支援	環 境 美 化・リサイクルに関する活動	高 齢 者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
全体（n=445）		71.5	43.8	19.8	19.6	15.1	12.1	10.3	9.4	4.9	4.3
居住地区別	南千住（n=121）	70.2	38.8	23.1	19.8	15.7	11.6	9.9	9.1	5.0	4.1
	荒川（n=62）	75.8	51.6	12.9	24.2	16.1	11.3	14.5	9.7	6.5	4.8
	町屋（n=58）	58.6	43.1	19.0	15.5	13.8	13.8	12.1	13.8	5.2	3.4
	東尾久（n=52）	78.8	42.3	26.9	19.2	15.4	19.2	13.5	19.2	9.6	7.7
	西尾久（n=60）	63.3	53.3	15.0	20.0	15.0	11.7	5.0	1.7	3.3	5.0
	東日暮里（n=51）	72.5	37.3	13.7	15.7	13.7	13.7	7.8	3.9	3.9	3.9
	西日暮里（n=37）	86.5	40.5	29.7	21.6	10.8	2.7	10.8	10.8	0.0	0.0

		緑化推進 に関する 活動	動物愛護 に関する 活動	その他	無回答
全体（n=445）		1.6	0.7	0.7	2.2
居住地区別	南千住（n=121）	2.5	0.0	0.8	1.7
	荒川（n=62）	1.6	0.0	0.0	1.6
	町屋（n=58）	3.4	1.7	1.7	3.4
	東尾久（n=52）	1.9	1.9	0.0	0.0
	西尾久（n=60）	0.0	0.0	0.0	5.0
	東日暮里（n=51）	0.0	2.0	2.0	3.9
	西日暮里（n=37）	0.0	0.0	0.0	0.0

職業別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は会社員・公務員（80.0％）が8割、パート・アルバイト・非常勤（78.6％）が8割近くと高くなっている。「町会・自治会の活動」は自営業主・事業主（59.7％）が6割弱、無職（年金生活を含む）（58.4％）が6割近くと高くなっている。

参加している地域の行事や活動 職業別

単位：％

	お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	学校行事・教育に関する活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	子育て支援	環境・リサイクルに関する活動	高齢者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
全体（n=445）	71.5	43.8	19.8	19.6	15.1	12.1	10.3	9.4	4.9	4.3
職業別										
自営業主・事業主（n=62）	72.6	59.7	25.8	25.8	12.9	9.7	6.5	9.7	6.5	0.0
会社員・公務員（n=165）	80.0	37.6	27.9	15.8	9.1	3.6	19.4	3.6	2.4	7.3
パート・アルバイト・非常勤（n=70）	78.6	34.3	20.0	12.9	17.1	12.9	7.1	11.4	4.3	4.3
家事専業（n=48）	56.3	41.7	12.5	18.8	25.0	20.8	4.2	8.3	6.3	0.0
学生（n=9）	77.8	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0
無職（年金生活を含む）（n=77）	53.2	58.4	2.6	29.9	18.2	26.0	2.6	20.8	9.1	5.2
その他（n=9）	77.8	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0

	緑化推進に関する活動	動物愛護に関する活動	その他	無回答
全体（n=445）	1.6	0.7	0.7	2.2
職業別				
自営業主・事業主（n=62）	1.6	1.6	0.0	1.6
会社員・公務員（n=165）	0.6	0.0	1.2	3.0
パート・アルバイト・非常勤（n=70）	1.4	0.0	0.0	2.9
家事専業（n=48）	4.2	0.0	0.0	2.1
学生（n=9）	0.0	11.1	0.0	0.0
無職（年金生活を含む）（n=77）	2.6	1.3	1.3	1.3
その他（n=9）	0.0	0.0	0.0	0.0

ライフステージ別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は家族成長前期（90.9%）が9割と最も高く、一人暮らし（87.5%）と家族形成期（86.8%）が8割半ばを超えて高くなっている。「町会・自治会の活動」は家族成熟期（67.7%）と高齢期（一人暮らし）（65.6%）、高齢期（62.6%）が6割台と高くなっている。「学校行事・教育に関する活動」は家族成長前期（57.1%）が5割半ばを超え、「子育て支援」は家族形成期（43.4%）が4割半ば近くと高くなっている。

参加している地域の行事や活動 ライフステージ別

単位：%

		お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	学校行事・教育に関する活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	子育て支援	環境・リサイクルに関する活動	高齢者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
	全体（n=445）	71.5	43.8	19.8	19.6	15.1	12.1	10.3	9.4	4.9	4.3
ライフステージ別	家族形成期（n=53）	86.8	17.0	15.1	9.4	3.8	1.9	43.4	1.9	1.9	9.4
	家族成長前期（n=77）	90.9	32.5	57.1	14.3	18.2	3.9	20.8	5.2	2.6	3.9
	家族成長後期（n=46）	76.1	34.8	32.6	6.5	15.2	0.0	2.2	2.2	0.0	4.3
	家族成熟期（n=31）	61.3	67.7	29.0	32.3	16.1	9.7	0.0	9.7	3.2	3.2
	高齢期（n=91）	57.1	62.6	4.4	26.4	20.9	26.4	3.3	18.7	8.8	4.4
	高齢期（一人暮らし）（n=32）	46.9	65.6	0.0	40.6	21.9	18.8	0.0	18.8	12.5	0.0
	一人暮らし（n=24）	87.5	29.2	4.2	8.3	8.3	12.5	4.2	4.2	4.2	4.2
	その他（n=91）	65.9	42.9	7.7	20.9	12.1	15.4	2.2	9.9	5.5	3.3

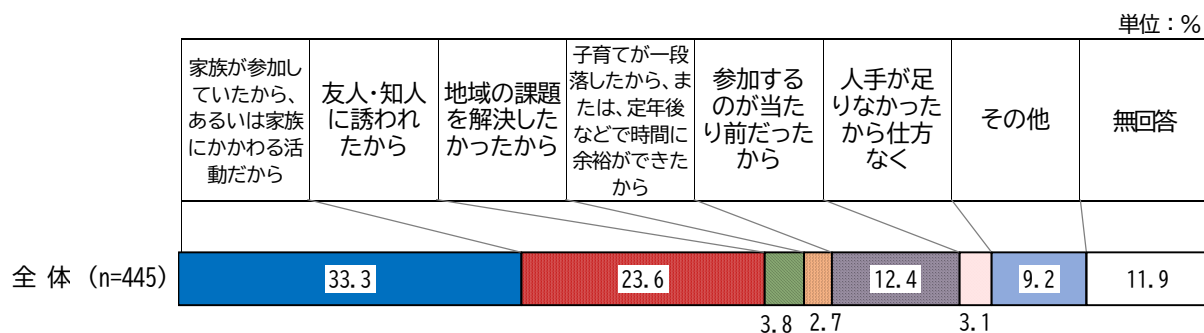
		緑化推進に関する活動	動物愛護に関する活動	その他	無回答
	全体（n=445）	1.6	0.7	0.7	2.2
ライフステージ別	家族形成期（n=53）	1.9	0.0	0.0	3.8
	家族成長前期（n=77）	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族成長後期（n=46）	2.2	0.0	0.0	6.5
	家族成熟期（n=31）	0.0	0.0	0.0	0.0
	高齢期（n=91）	2.2	1.1	0.0	0.0
	高齢期（一人暮らし）（n=32）	3.1	0.0	3.1	0.0
	一人暮らし（n=24）	0.0	4.2	8.3	0.0
	その他（n=91）	2.2	1.1	0.0	5.5

(1-2)地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ

◇「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」が約3割

問13-2 (問13で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

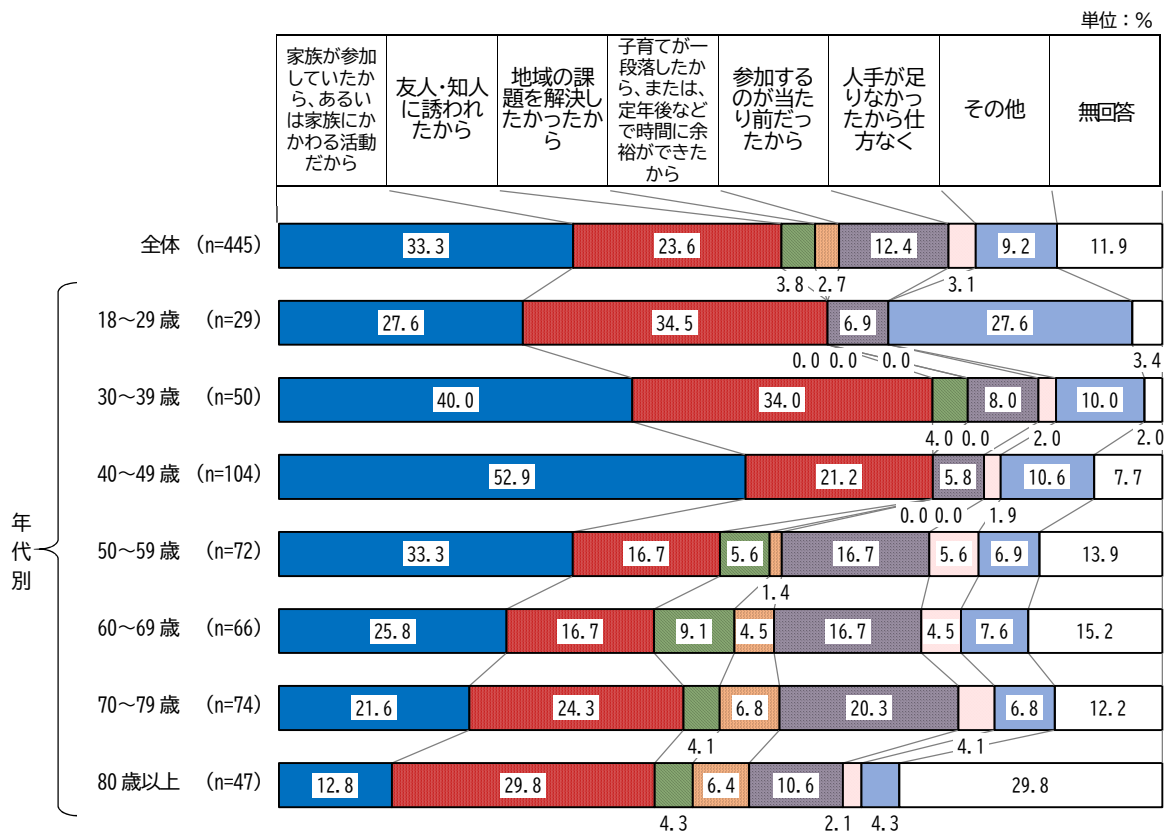
あなたが地域の行事や活動に参加するようになったきっかけはどのようなものでしたか。次の中からお選びください。(○は1つだけ)



地域の行事や活動に参加するようになったきっかけについて聞いたところ、「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」(33.3%)が約3割と最も高く、以下、「友人・知人に誘われたから」(23.6%)、「参加するのが当たり前だったから」(12.4%)が続いている。

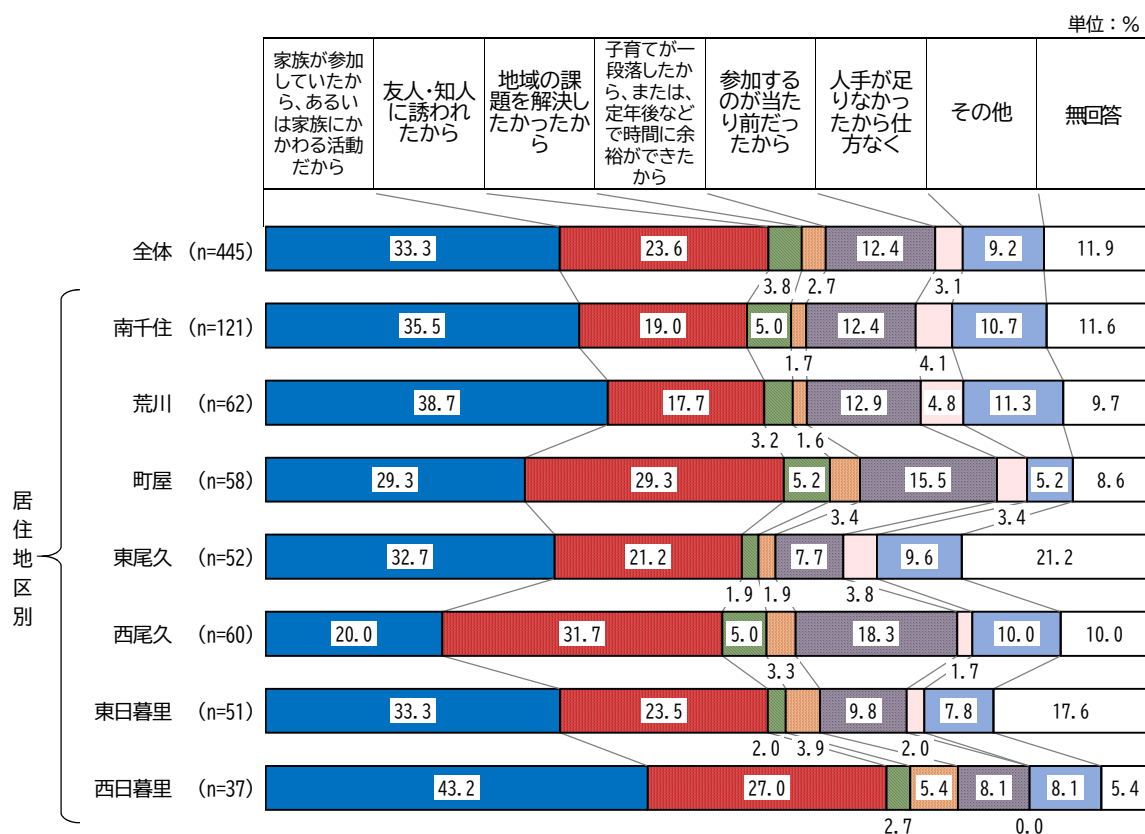
年代別でみると、「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」は40～49歳（52.9%）が5割強と最も高くなっている。「友人・知人に誘われたから」は18～29歳（34.5%）と30～39歳（34.0%）が3割を超え、「参加するのが当たり前だったから」は70～79歳（20.3%）が2割となっている。

地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ 年代別



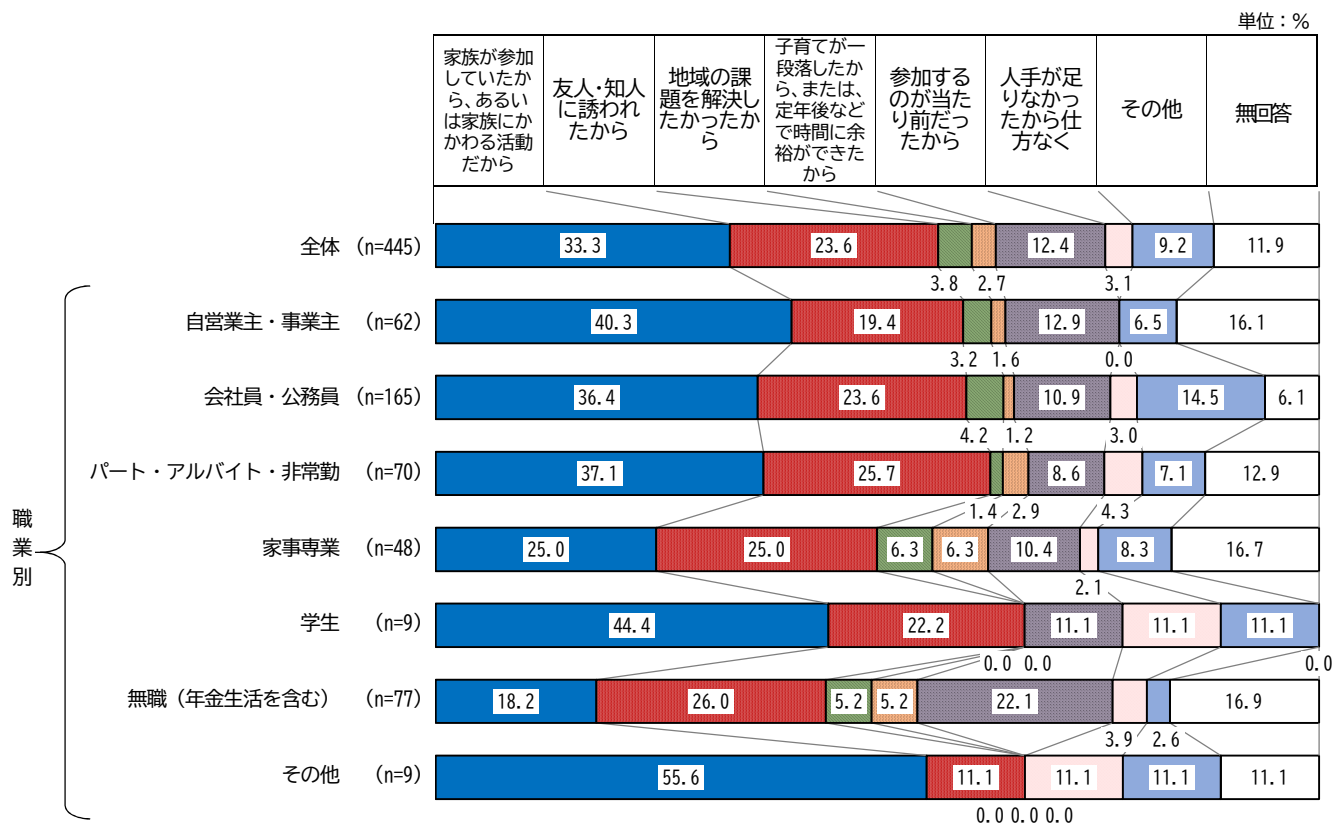
居住地区別でみると、「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」は西日暮里地区（43.2%）が4割半ば近くと最も高く、次いで荒川地区（38.7%）が4割近くとなっている。「友人・知人に誘われたから」は西尾久地区（31.7%）が3割強と高くなっている。

地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ 居住地区別



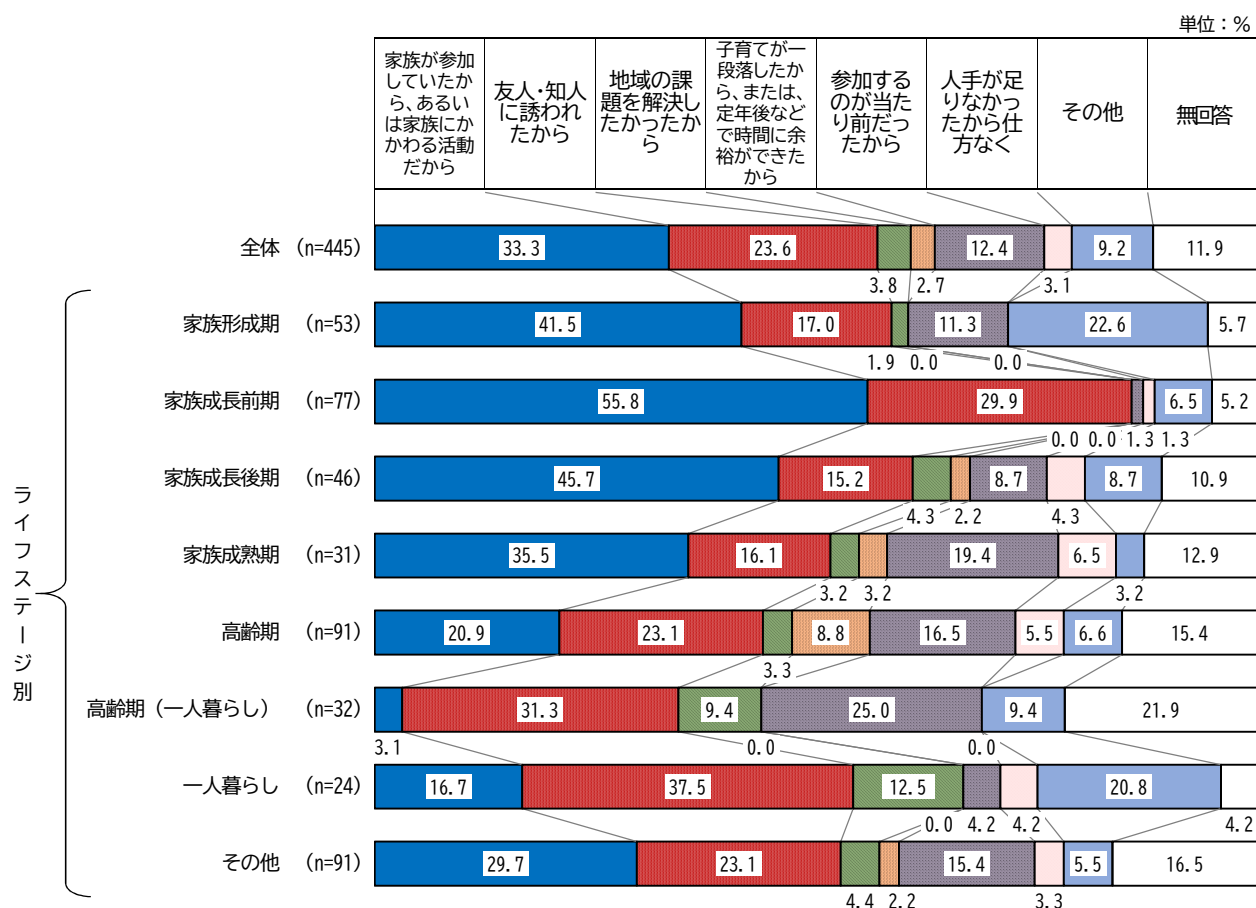
職業別でみると、「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」は自営業主・事業主（40.3%）が4割となっている。「友人・知人に誘われたから」は無職（年金生活を含む）（26.0%）が2割半ばを超え、パート・アルバイト・非常勤（25.7%）と家事専業（25.0%）が2割半ばと高くなっている。「参加するのが当たり前だったから」は無職（年金生活を含む）（22.1%）が2割強と高くなっている。

地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ 職業別



ライフステージ別でみると、「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」は家族成長前期（55.8%）が5割半ばと最も高く、次いで家族成長後期（45.7%）が4割半ばと高くなっている。「参加するのが当たり前だったから」は高齢期（一人暮らし）（25.0%）が2割半ばと高くなっている。

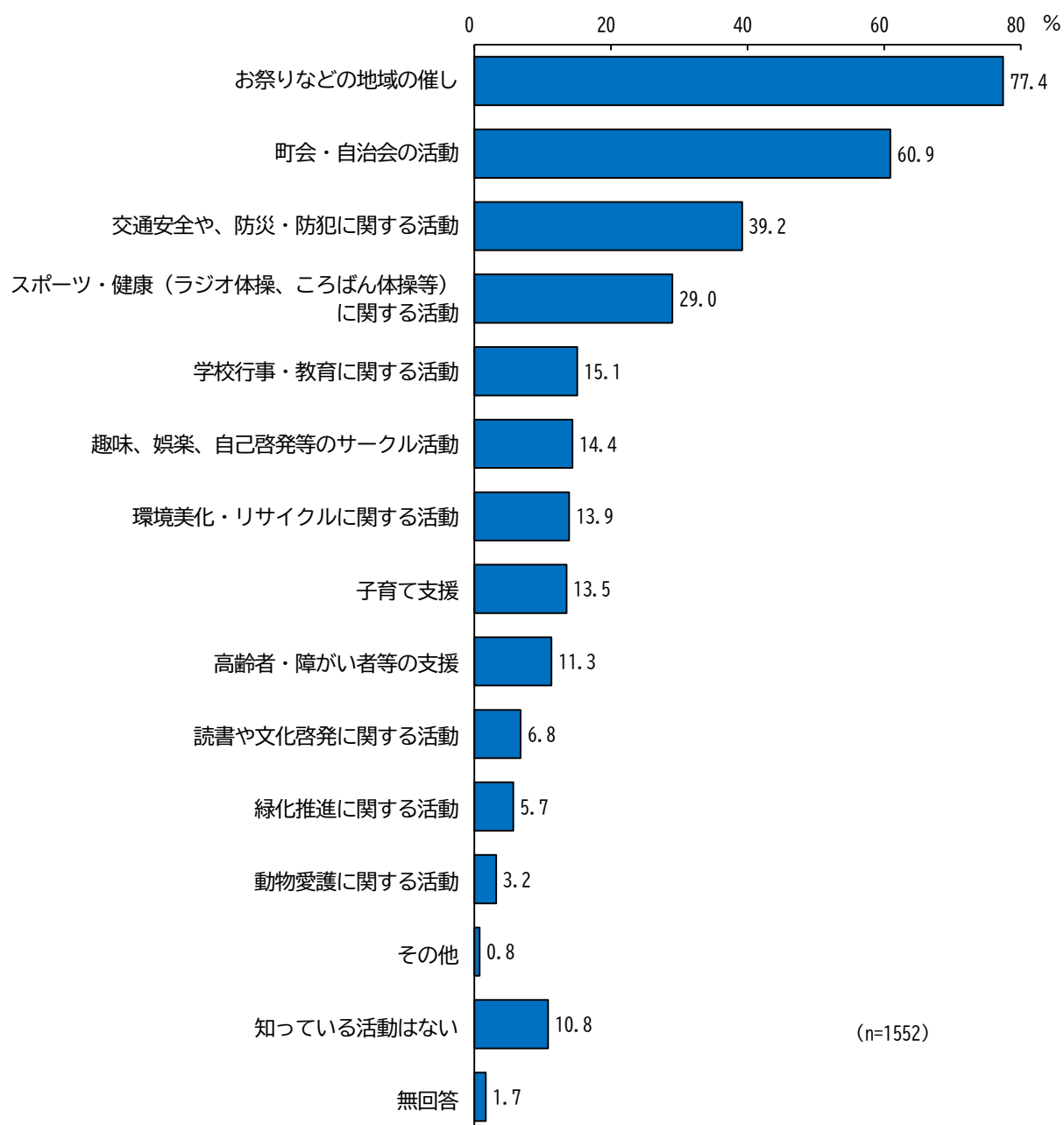
地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ ライフステージ別



(2)住居周辺の知っている団体活動

◇「お祭りなどの地域の催し」が8割近い

問 14 次のうち、あなたの住居の周辺では、以下の種類の、団体による活動は行われていますか。知っている活動を選んでください。(〇はいくつでも)



住居周辺の知っている団体活動について聞いたところ、「お祭りなどの地域の催し」（77.4%）が8割近くで最も高く、次いで「町会・自治会の活動」（60.9%）が6割と高くなっている。一方、「知っている活動はない」（10.8%）は1割となっている。

年代別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は40～49歳（84.6%）と60～69歳（84.4%）が8割半ば近く、「町会・自治会の活動」は60～69歳（77.8%）が8割近くになっている。「学校行事・教育に関する活動」は40～49歳（29.8%）で3割弱と最も高くなっている。「子育て支援」は30～39歳（23.8%）と、40～49歳（22.8%）で2割強と高くなっている。

参加している地域の行事や活動 年代別

単位：％

		お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	学校行事・教育に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	環境美化・リサイクルに関する活動	子育て支援	高齢者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
全体（n=1552）		77.4	60.9	39.2	29.0	15.1	14.4	13.9	13.5	11.3	6.8
年代別	18～29歳（n=157）	78.3	38.9	26.1	24.2	11.5	10.2	2.5	10.2	5.7	10.8
	30～39歳（n=214）	74.3	39.7	26.6	19.6	14.5	9.8	3.7	23.8	7.0	5.6
	40～49歳（n=272）	84.6	62.9	42.3	29.8	29.8	13.6	11.8	22.8	12.9	11.8
	50～59歳（n=293）	76.8	63.1	41.0	30.4	18.1	14.3	17.7	15.0	12.3	6.5
	60～69歳（n=225）	84.4	77.8	48.9	30.2	13.3	20.0	20.9	8.9	14.2	4.9
	70～79歳（n=239）	73.6	71.1	45.2	33.1	6.3	17.2	20.9	5.0	10.9	5.9
	80歳以上（n=141）	65.2	66.0	39.0	35.5	5.0	15.6	14.9	2.8	16.3	0.7

		緑化推進 に関する 活動	動物愛護 に関する 活動	その他	知っている 活動は ない	無回答
全体 (n=1552)		5.7	3.2	0.8	10.8	1.7
年代別	18～29歳 (n=157)	0.6	0.6	0.0	14.6	0.6
	30～39歳 (n=214)	3.3	3.7	0.0	17.8	0.5
	40～49歳 (n=272)	6.3	4.8	0.7	8.8	0.4
	50～59歳 (n=293)	7.2	4.1	1.4	12.3	0.7
	60～69歳 (n=225)	6.7	1.8	1.3	6.2	0.4
	70～79歳 (n=239)	7.1	3.3	0.8	9.6	2.1
	80歳以上 (n=141)	7.8	2.1	1.4	6.4	9.2

居住地区別でみると、「お祭りなどの地域の催し」はすべての地区で7割台となっている。「町会・自治会の活動」は東尾久地区（67.4%）と西尾久地区（66.2%）が6割半ばを超えて高くなっている。

参加している地域の行事や活動 居住地区別

単位：％

		お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	学校行事・教育に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	環境美化・リサイクルに関する活動	子育て支援	高齢者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
全体（n=1552）		77.4	60.9	39.2	29.0	15.1	14.4	13.9	13.5	11.3	6.8
居住地区別	南千住（n=327）	79.8	58.7	45.9	34.6	22.0	20.2	14.1	19.6	13.1	9.2
	荒川（n=239）	76.6	61.1	35.6	25.9	10.0	11.7	15.9	13.4	10.9	6.3
	町屋（n=211）	76.3	64.9	34.1	31.8	16.6	12.3	16.1	12.8	11.8	8.5
	東尾久（n=187）	76.5	67.4	41.7	32.6	16.0	16.6	15.5	12.8	13.4	7.0
	西尾久（n=195）	74.4	66.2	40.5	26.7	12.8	17.4	16.9	13.8	13.8	4.6
	東日暮里（n=204）	78.9	53.4	38.2	24.5	11.3	9.8	9.8	8.3	9.8	5.4
	西日暮里（n=168）	78.0	56.5	35.7	24.4	14.3	10.7	7.7	10.1	6.0	5.4

		緑化推進 に関する 活動	動物愛護 に関する 活動	その他	知っている 活動は ない	無回答
全体 (n=1552)		5.7	3.2	0.8	10.8	1.7
居住地区別	南千住 (n=327)	8.6	1.5	0.9	8.9	2.1
	荒川 (n=239)	4.2	2.5	2.1	12.6	0.4
	町屋 (n=211)	8.1	5.2	1.4	10.0	0.9
	東尾久 (n=187)	4.8	3.7	0.0	11.2	2.1
	西尾久 (n=195)	6.7	5.6	0.5	9.2	2.1
	東日暮里 (n=204)	2.9	2.0	0.5	14.2	1.5
	西日暮里 (n=168)	3.6	3.0	0.0	11.3	1.8

職業別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は家事専業（90.4%）が9割と最も高くなっている。「町会・自治会の活動」は家事専業（75.0%）が7割半ば、自営業主・事業主（71.4%）が7割強と高くなっている。

参加している地域の行事や活動 職業別

単位：％

		お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	学校行事・教育に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	環境美化・リサイクルに関する活動	子育て支援	高齢者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
全体（n=1552）		77.4	60.9	39.2	29.0	15.1	14.4	13.9	13.5	11.3	6.8
職業別	自営業主・事業主（n=189）	81.0	71.4	44.4	27.0	19.6	12.7	17.5	12.2	6.9	5.3
	会社員・公務員（n=636）	77.7	52.5	34.7	26.1	16.5	14.3	10.4	17.8	10.1	8.2
	パート・アルバイト・非常勤（n=219）	80.8	68.5	47.9	30.6	19.6	15.5	17.8	14.6	13.2	7.8
	家事専業（n=104）	90.4	75.0	50.0	46.2	17.3	23.1	22.1	18.3	17.3	8.7
	学生（n=47）	80.9	46.8	31.9	25.5	17.0	6.4	0.0	10.6	8.5	10.6
	無職（年金生活を含む）（n=302）	70.2	66.2	36.8	30.5	5.3	13.6	13.9	4.0	14.6	4.0
	その他（n=30）	66.7	50.0	40.0	26.7	20.0	13.3	26.7	13.3	6.7	0.0

		緑化推進 に関する 活動	動物愛護 に関する 活動	その他	知っている 活動は ない	無回答
全体（n=1552）		5.7	3.2	0.8	10.8	1.7
職業別	自営業主・事業主（n=189）	4.2	4.8	0.0	10.6	0.0
	会社員・公務員（n=636）	5.0	2.0	0.9	13.7	0.6
	パート・アルバイト・ 非常勤（n=219）	6.4	6.8	0.9	7.8	0.5
	家事専業（n=104）	11.5	4.8	1.0	1.9	2.9
	学生（n=47）	2.1	2.1	0.0	12.8	0.0
	無職(年金生活を含む)（n=302）	6.0	1.7	1.3	9.9	4.0
	その他（n=30）	6.7	3.3	0.0	10.0	0.0

ライフステージ別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は家族成長前期（88.3%）、家族成長後期（84.6%）、家族成熟期（83.9%）が8割台と高くなっている。「町会・自治会の活動」は高齢期（76.7%）が7割半ばを超え、「学校行事・教育に関する活動」は家族成長前期（52.3%）が5割強と高くなっている。「知っている活動はない」は一人暮らし（22.9%）が2割強と高くなっている。

参加している地域の行事や活動 ライフステージ別

単位：%

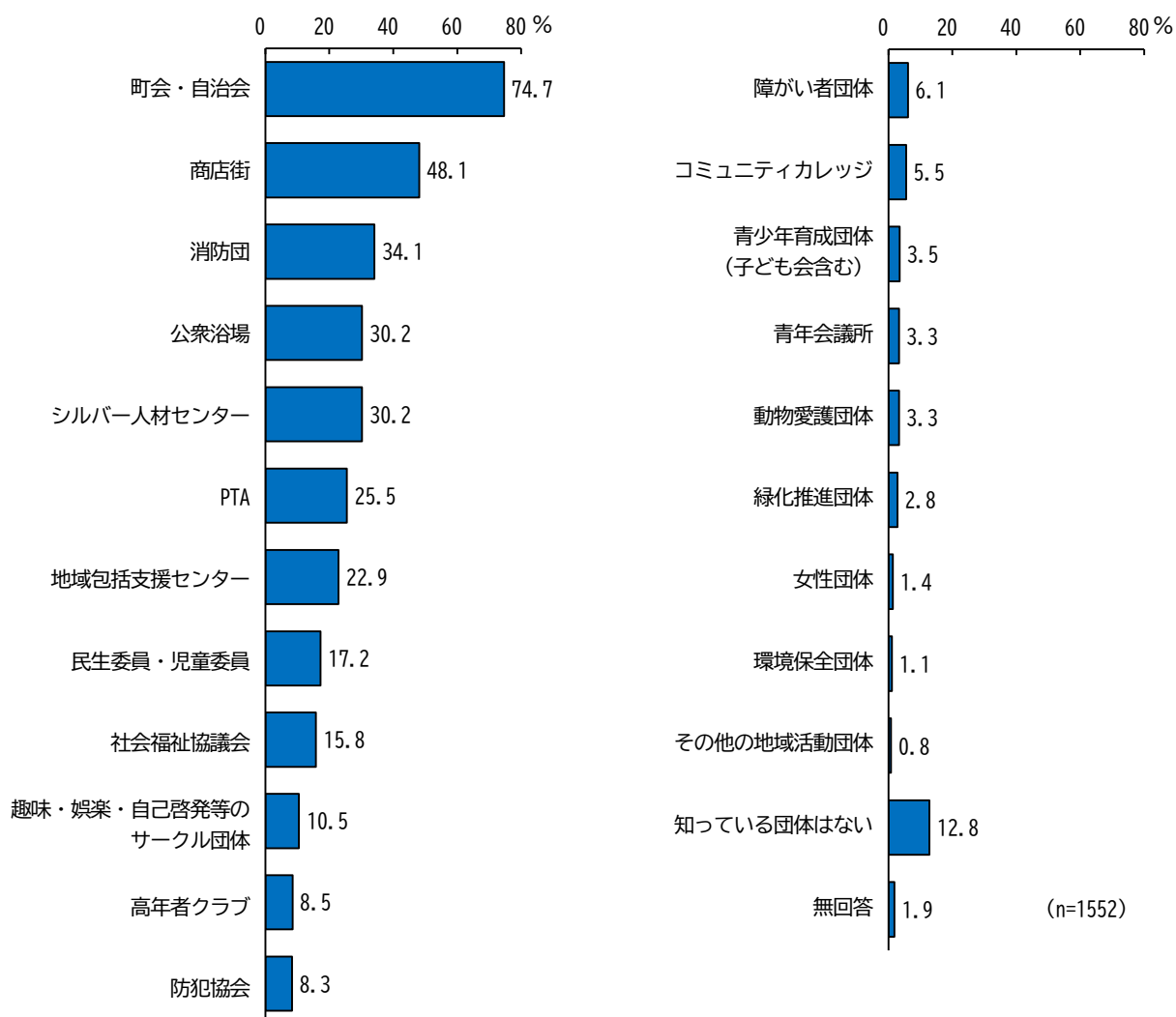
	お祭りなどの地域の催し	町会・自治会の活動	交通安全や、防災・防犯に関する活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらぼん体操等）に関する活動	学校行事・教育に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	環境美化・リサイクルに関する活動	子育て支援	高齢者・障がい者等の支援	読書や文化啓発に関する活動
全体（n=1552）	77.4	60.9	39.2	29.0	15.1	14.4	13.9	13.5	11.3	6.8
ライフステージ別	家族形成期（n=186）	79.0	38.7	27.4	22.0	9.7	11.3	5.4	30.6	7.0
	家族成長前期（n=128）	88.3	68.8	43.0	35.2	52.3	17.2	9.4	32.0	13.3
	家族成長後期（n=117）	84.6	72.6	50.4	35.0	36.8	12.0	17.9	23.9	10.3
	家族成熟期（n=112）	83.9	70.5	49.1	33.9	25.9	16.1	23.2	18.8	17.9
	高齢期（n=236）	77.1	76.7	44.9	38.6	7.2	22.9	22.5	7.2	11.9
	高齢期（一人暮らし）（n=141）	68.8	65.2	42.6	29.8	5.0	12.8	12.1	3.5	13.5
	一人暮らし（n=201）	67.7	38.8	24.4	11.9	6.5	10.0	7.5	6.0	10.0
	その他（n=431）	77.3	62.6	40.1	29.7	9.5	13.2	14.4	6.5	10.9

	緑化推進に関する活動	動物愛護に関する活動	その他	知っている活動はない	無回答
全体（n=1552）	5.7	3.2	0.8	10.8	1.7
ライフステージ別	家族形成期（n=186）	2.7	3.8	0.5	13.4
	家族成長前期（n=128）	5.5	2.3	0.8	3.1
	家族成長後期（n=117）	7.7	6.0	0.0	8.5
	家族成熟期（n=112）	8.0	1.8	1.8	7.1
	高齢期（n=236）	9.7	3.4	0.4	8.1
	高齢期（一人暮らし）（n=141）	5.0	1.4	0.7	9.9
	一人暮らし（n=201）	3.0	2.5	1.5	22.9
	その他（n=431）	5.3	3.5	0.9	9.7

(3) 住居周辺の知っている団体

◇「町会・自治会」が7割超

問 15 次のうち、あなたの住居の周辺にある、以下の種類の、団体は知っていますか。知っている団体を選んでください。(〇はいくつでも)



住居周辺の知っている団体について聞いたところ、「町会・自治会」(74.7%)が7割を超えて最も高く、次いで「商店街」(48.1%)が比較的高くなっている。

年代別でみると、「町会・自治会」は60～69歳（88.0%）で9割近くと最も高く、次いで80歳以上（83.7%）で8割半ば近く、70～79歳（82.4%）で8割強と高くなっている。「商店街」は40～69歳で5割台、「消防団」は60～69歳（40.9%）と50～59歳（40.6%）で4割と高くなっている。「知っている団体はない」は30～39歳（29.4%）が3割弱、18～29歳（26.1%）が2割半ばを超えて高くなっている。

住居周辺の知っている団体 年代別

単位：％

		町会・自治会	商店街	消防団	公衆浴場	シルバー人材センター	PTA	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	高齢者クラブ	防犯協会
全体 (n=1552)		74.7	48.1	34.1	30.2	30.2	25.5	22.9	17.2	15.8	10.5	8.5	8.3
年代別	18～29歳 (n=157)	52.9	44.6	21.7	24.2	10.8	19.7	5.7	1.9	3.8	5.1	2.5	1.3
	30～39歳 (n=214)	52.8	43.9	23.4	24.3	18.2	15.0	11.2	3.3	7.5	5.1	3.7	3.3
	40～49歳 (n=272)	80.1	51.1	37.9	33.1	33.5	39.7	15.4	19.1	15.4	8.8	7.7	7.7
	50～59歳 (n=293)	77.1	56.3	40.6	36.5	28.3	31.7	24.6	19.5	16.4	9.6	5.8	9.2
	60～69歳 (n=225)	88.0	53.8	40.9	34.2	34.2	27.1	36.9	26.2	23.6	13.8	10.2	8.4
	70～79歳 (n=239)	82.4	43.1	35.1	25.1	43.5	19.2	28.5	20.9	19.2	14.2	11.7	13.0
	80歳以上 (n=141)	83.7	36.9	30.5	29.8	36.9	15.6	38.3	26.2	21.3	19.1	20.6	13.5

	障がい者団体	コミュニティカレッジ	青少年育成団体（子ども会含む）	青年会議所	動物愛護団体	緑化推進団体	女性団体	環境保全団体	その他の地域活動団体	知っている団体はない	無回答
全体 (n=1552)	6.1	5.5	3.5	3.3	3.3	2.8	1.4	1.1	0.8	12.8	1.9
年代別	18～29歳 (n=157)	3.8	0.6	3.2	1.3	0.6	0.6	1.3	0.6	26.1	1.3
	30～39歳 (n=214)	4.7	2.8	2.3	3.7	3.7	1.4	1.4	0.5	29.4	1.4
	40～49歳 (n=272)	5.9	4.8	4.0	4.4	2.9	2.9	0.7	1.8	10.3	0.7
	50～59歳 (n=293)	7.2	5.1	4.1	3.8	2.7	2.0	1.4	1.4	12.3	1.0
	60～69歳 (n=225)	9.3	10.2	6.7	4.4	5.3	5.3	1.8	0.9	3.6	0.9
	70～79歳 (n=239)	5.4	7.5	1.3	1.7	4.2	3.3	1.7	1.3	6.3	2.9
	80歳以上 (n=141)	5.0	5.7	2.8	2.8	2.8	4.3	1.4	0.7	4.3	5.0

居住地区別でみると、「町会・自治会」はすべての地区で7割台となっている。東尾久地区は「商店街」(59.4%)、「消防団」(42.2%)、「シルバー人材センター」(42.2%)、「地域包括支援センター」(27.8%)が他の地区に比べ高くなっている。

住居周辺の知っている団体 居住地区別

単位：％

	町会・自治会	商店街	消防団	公衆浴場	シルバー人材センター	PTA	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	高齢者クラブ	防犯協会
全体 (n=1552)	74.7	48.1	34.1	30.2	30.2	25.5	22.9	17.2	15.8	10.5	8.5	8.3
居住地区別	南千住 (n=327)	73.7	53.8	33.6	25.4	25.4	28.4	20.5	16.2	15.9	12.2	8.6
	荒川 (n=239)	72.0	45.6	28.9	32.2	28.9	21.8	23.8	16.3	19.2	11.7	7.9
	町屋 (n=211)	77.7	42.2	35.5	20.9	36.5	30.8	23.2	19.0	19.0	10.0	9.5
	東尾久 (n=187)	75.4	59.4	42.2	33.2	42.2	25.7	27.8	20.3	17.6	9.1	8.6
	西尾久 (n=195)	79.5	46.2	37.4	38.5	37.4	29.2	26.7	22.6	21.0	17.4	11.3
	東日暮里 (n=204)	75.5	42.6	36.3	32.8	17.6	18.6	21.1	13.7	7.8	6.4	9.3
	西日暮里 (n=168)	70.8	45.2	25.0	32.7	25.6	23.8	18.5	12.5	7.1	6.0	3.0

	障がい者団体	コミュニティカレッジ	青少年育成団体(子ども会含む)	青年会議所	動物愛護団体	緑化推進団体	女性団体	環境保全団体	その他の地域活動団体	知っている団体はない	無回答
全体 (n=1552)	6.1	5.5	3.5	3.3	3.3	2.8	1.4	1.1	0.8	12.8	1.9
居住地区別	南千住 (n=327)	4.3	4.0	4.9	3.1	2.8	6.1	0.6	1.5	0.9	11.3
	荒川 (n=239)	6.7	9.6	4.6	3.8	4.2	2.5	1.7	1.7	0.4	15.1
	町屋 (n=211)	9.0	7.1	4.7	5.2	4.7	3.8	2.8	1.4	2.4	13.3
	東尾久 (n=187)	3.7	7.5	2.1	1.6	3.2	2.1	2.1	1.1	0.0	10.2
	西尾久 (n=195)	11.8	4.6	2.6	4.1	5.1	1.5	1.0	1.0	1.0	10.3
	東日暮里 (n=204)	2.9	2.0	3.9	2.9	1.5	1.0	0.0	0.5	0.5	13.7
	西日暮里 (n=168)	4.8	3.6	0.6	2.4	1.8	0.6	1.8	0.0	0.6	17.3

職業別でみると、「町会・自治会」は家事専業（87.5%）が9割近くで最も高く、次いでパート・アルバイト・非常勤（82.6%）と自営業主・事業主（81.0%）が8割強と高くなっている。「商店街」は家事専業（58.7%）が6割近くと高くなっている。「知っている団体はない」は学生（21.3%）が2割強と高くなっている。

住居周辺の知っている団体 職業別

単位：%

	町会・自治会	商店街	消防団	公衆浴場	シルバー人材センター	PTA	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	高齢者クラブ	防犯協会
全体 (n=1552)	74.7	48.1	34.1	30.2	30.2	25.5	22.9	17.2	15.8	10.5	8.5	8.3
職業別												
自営業主・事業主 (n=189)	81.0	49.2	40.7	27.5	28.0	29.6	20.1	18.5	18.5	7.9	8.5	16.9
会社員・公務員 (n=636)	67.9	48.1	30.7	32.7	22.8	23.1	15.6	10.7	11.8	8.6	5.8	5.7
パート・アルバイト・非常勤 (n=219)	82.6	51.1	43.4	34.7	39.3	37.0	30.6	25.1	20.5	10.5	7.3	5.9
家事専業 (n=104)	87.5	58.7	41.3	26.0	44.2	38.5	31.7	28.8	21.2	18.3	18.3	7.7
学生 (n=47)	53.2	53.2	29.8	21.3	14.9	31.9	6.4	2.1	2.1	2.1	4.3	2.1
無職(年金生活を含む) (n=302)	80.1	42.1	29.1	26.2	37.1	14.2	35.8	22.2	19.2	14.9	12.3	11.3
その他 (n=30)	73.3	46.7	40.0	36.7	40.0	30.0	13.3	26.7	10.0	10.0	3.3	3.3

	障がい者団体	コミュニティカレッジ	青少年育成団体(子ども会含む)	青年会議所	動物愛護団体	緑化推進団体	女性団体	環境保全団体	その他の地域活動団体	知っている団体はない	無回答
全体 (n=1552)	6.1	5.5	3.5	3.3	3.3	2.8	1.4	1.1	0.8	12.8	1.9
職業別											
自営業主・事業主 (n=189)	5.3	3.2	8.5	5.3	4.8	3.2	2.6	1.1	1.6	10.1	0.0
会社員・公務員 (n=636)	5.2	5.0	3.0	3.3	2.5	1.4	0.9	1.4	1.4	19.7	1.3
パート・アルバイト・非常勤 (n=219)	6.8	6.4	5.5	4.1	4.6	4.1	2.3	0.5	0.0	7.3	0.0
家事専業 (n=104)	8.7	12.5	5.8	1.9	3.8	6.7	1.0	1.0	0.0	5.8	0.0
学生 (n=47)	6.4	2.1	2.1	4.3	2.1	0.0	4.3	0.0	0.0	21.3	0.0
無職(年金生活を含む) (n=302)	7.0	5.3	0.3	2.0	2.6	3.6	0.7	1.0	0.3	5.6	4.3
その他 (n=30)	6.7	3.3	0.0	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0

ライフステージ別でみると、「町会・自治会」は高齢期（89.0%）が9割弱と最も高く、次いで家族成長前期（87.5%）と家族成長後期（87.2%）が8割半ばを超えて高くなっている。「商店街」は家族成長後期（65.8%）が6割半ば、「PTA」は家族成長前期（70.3%）が7割と高くなっている。

「知っている団体はない」は一人暮らし（31.8%）が3割強、家族形成期（25.3%）が2割半ばと高くなっている。

住居周辺の知っている団体 ライフステージ別

単位：%

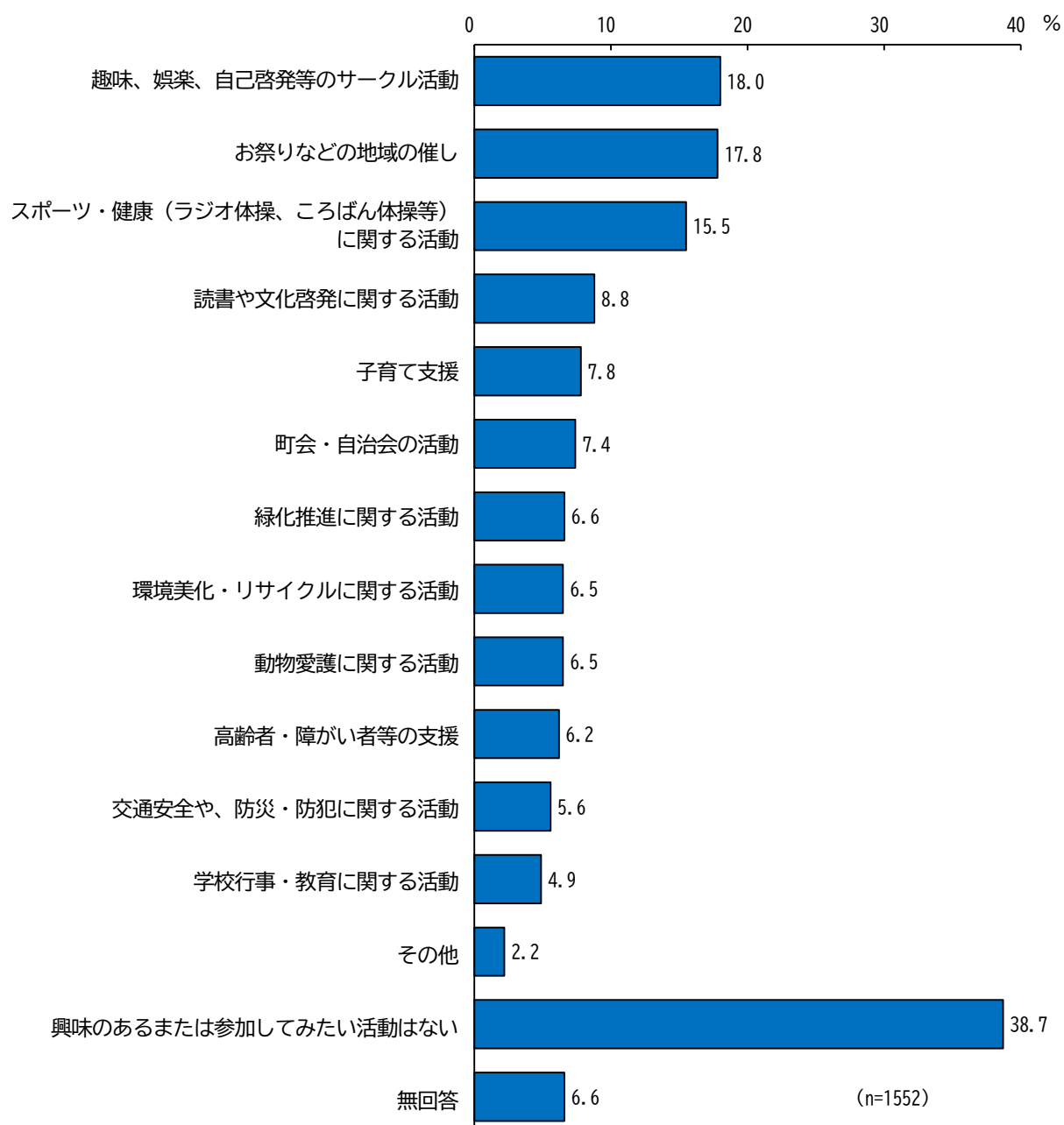
	町会・自治会	商店街	消防団	公衆浴場	シルバー人材センター	PTA	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	高齢者クラブ	防犯協会
全体 (n=1552)	74.7	48.1	34.1	30.2	30.2	25.5	22.9	17.2	15.8	10.5	8.5	8.3
ライフステージ別	家族形成期 (n=186)	58.6	44.6	28.5	22.0	21.5	12.4	15.1	5.9	8.1	6.5	4.3
	家族成長前期 (n=128)	87.5	60.2	37.5	42.2	40.6	70.3	16.4	24.2	18.8	14.1	4.7
	家族成長後期 (n=117)	87.2	65.8	47.0	39.3	36.8	55.6	20.5	21.4	16.2	8.5	7.7
	家族成熟期 (n=112)	82.1	50.9	40.2	36.6	28.6	46.4	32.1	21.4	19.6	11.6	8.9
	高齢期 (n=236)	89.0	47.0	41.5	28.0	41.9	22.9	34.3	25.8	23.3	16.1	11.4
	高齢期(一人暮らし) (n=141)	75.9	39.7	27.7	33.3	37.6	10.6	35.5	19.1	15.6	12.8	7.8
	一人暮らし (n=201)	50.7	36.8	22.9	26.4	15.4	8.0	13.4	8.0	10.0	5.5	6.0
	その他 (n=431)	75.4	49.2	33.9	28.1	27.4	18.8	20.6	16.7	15.8	10.0	10.7

	障がい者団体	コミュニティカレッジ	青少年育成団体(子ども会含む)	青年会議所	動物愛護団体	緑化推進団体	女性団体	環境保全団体	その他の地域活動団体	知っている団体はない	無回答
全体 (n=1552)	6.1	5.5	3.5	3.3	3.3	2.8	1.4	1.1	0.8	12.8	1.9
ライフステージ別	家族形成期 (n=186)	3.8	4.3	3.2	4.3	2.2	2.2	1.6	1.1	25.3	1.1
	家族成長前期 (n=128)	6.3	7.8	4.7	5.5	2.3	0.8	0.0	0.0	3.9	0.0
	家族成長後期 (n=117)	3.4	6.0	4.3	6.0	3.4	2.6	1.7	0.9	6.8	0.0
	家族成熟期 (n=112)	10.7	6.3	5.4	3.6	2.7	1.8	0.9	0.9	9.8	0.9
	高齢期 (n=236)	6.4	10.6	3.4	3.0	6.4	3.8	2.1	1.7	3.0	1.3
	高齢期(一人暮らし) (n=141)	5.7	4.3	0.7	0.0	1.4	3.5	0.0	0.0	8.5	3.5
	一人暮らし (n=201)	7.0	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.0	31.8	2.0
	その他 (n=431)	6.3	4.2	4.2	3.2	3.5	3.9	1.2	1.4	10.2	3.2

(4)興味または参加してみたい活動

◇「趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動」が2割近く

問 16 次のうち、(現在参加されているもの以外で) 興味のあるものまたは参加してみたいと思う活動はありますか。(〇はいくつでも)



興味または参加してみたい活動について聞いたところ、「興味のあるまたは参加してみたい活動はない」(38.7%)を除くと、「趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動」(18.0%)が2割近くと最も高く、以下、「お祭りなどの地域の催し」(17.8%)、「スポーツ・健康（ラジオ体操、ころばん体操等）に関する活動」(15.5%)が続いている。

年代別でみると、「趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動」は60～79歳が2割台、「子育て支援」は30～49歳が1割台と他の年齢層に比べ高くなっている。「お祭りなどの地域の催し」は18～29歳（30.6%）が3割と高くなっている。「興味のあるまたは参加してみたい活動はない」は18～29歳（46.5%）と50～59歳（46.1%）が4割半ばを超えて高くなっている。

興味または参加してみたい活動 年代別

単位：％

		趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	お祭りなどの地域の催し	スポーツ・健康（ラジオ体操、ころばん体操等）に関する活動	読書や文化啓発に関する活動	子育て支援	町会・自治会の活動	緑化推進に関する活動	環境美化・リサイクルに関する活動	動物愛護に関する活動	高齢者・障がい者等の支援
全体（n=1552）		18.0	17.8	15.5	8.8	7.8	7.4	6.6	6.5	6.5	6.2
年代別	18～29歳（n=157）	15.9	30.6	8.9	8.3	5.1	3.8	3.8	3.2	5.1	0.6
	30～39歳（n=214）	18.7	28.5	12.6	14.5	18.2	7.5	8.9	8.9	8.9	2.8
	40～49歳（n=272）	10.3	25.4	15.4	8.8	13.6	8.5	5.1	5.9	8.8	4.8
	50～59歳（n=293）	18.4	12.3	13.0	7.2	6.5	4.8	7.2	7.8	8.2	8.5
	60～69歳（n=225）	21.8	10.7	20.4	8.9	4.9	8.0	10.2	4.9	5.3	8.4
	70～79歳（n=239）	25.1	10.0	18.8	8.4	2.1	10.0	3.8	6.7	3.3	7.1
	80歳以上（n=141）	17.0	7.8	19.9	5.7	1.4	8.5	6.4	7.8	3.5	10.6

		交通安全や、防災・防犯に関する活動	学校行事・教育に関する活動	その他	興味のあるまたは参加してみたい活動はない	無回答
全体（n=1552）		5.6	4.9	2.2	38.7	6.6
年代別	18～29歳（n=157）	1.9	5.7	1.9	46.5	5.1
	30～39歳（n=214）	6.5	9.3	0.9	39.7	0.5
	40～49歳（n=272）	5.1	10.3	1.1	41.2	1.5
	50～59歳（n=293）	5.8	3.4	2.7	46.1	2.0
	60～69歳（n=225）	7.6	2.2	2.2	36.9	4.9
	70～79歳（n=239）	5.0	1.3	2.1	33.5	14.2
	80歳以上（n=141）	6.4	0.7	5.0	21.3	24.8

居住地区別でみると、「趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動」は西尾久地区（22.6％）と荒川地区（22.2％）で2割強と高くなっている。「興味のあるまたは参加してみたい活動はない」は町屋地区（48.8％）で5割近く、東尾久地区（41.7％）と東日暮里地区（41.7％）が4割強と高くなっている。

興味または参加してみたい活動 居住地区別

単位：％

		趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	お祭りなどの地域の催し	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	読書や文化啓発に関する活動	子育て支援	町会・自治会の活動	緑化推進に関する活動	環境美化・リサイクルに関する活動	動物愛護に関する活動	高齢者・障がい者等の支援
	全体（n=1552）	18.0	17.8	15.5	8.8	7.8	7.4	6.6	6.5	6.5	6.2
居住地区別	南千住（n=327）	18.3	16.2	20.8	8.9	10.7	8.0	8.0	7.3	4.9	4.0
	荒川（n=239）	22.2	17.6	16.3	7.5	7.5	5.4	6.3	5.0	6.3	5.9
	町屋（n=211）	14.7	14.7	10.4	10.4	6.6	6.2	5.7	7.1	7.6	5.2
	東尾久（n=187）	17.6	21.4	14.4	5.3	8.0	9.1	7.5	7.0	7.5	7.5
	西尾久（n=195）	22.6	16.9	13.3	10.8	7.2	10.8	7.2	6.2	7.2	9.7
	東日暮里（n=204）	16.2	20.1	14.2	10.3	5.9	5.9	5.9	7.4	7.4	7.4
	西日暮里（n=168）	15.5	19.0	17.3	8.9	6.5	6.5	4.2	4.8	6.0	5.4

		交通安全や、防災・防犯に関する活動	学校行事・教育に関する活動	その他	興味のあるまたは参加してみたい活動はない	無回答
	全体（n=1552）	5.6	4.9	2.2	38.7	6.6
居住地区別	南千住（n=327）	4.9	4.9	2.1	34.3	7.6
	荒川（n=239）	7.1	3.3	1.3	37.2	6.3
	町屋（n=211）	6.2	5.2	1.9	48.8	5.7
	東尾久（n=187）	5.3	5.9	2.1	41.7	5.9
	西尾久（n=195）	6.7	8.2	2.6	30.3	6.7
	東日暮里（n=204）	3.4	3.4	2.5	41.7	5.9
	西日暮里（n=168）	6.0	3.6	2.4	40.5	5.4

職業別でみると、学生は「趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動」(25.5%)、「お祭りなどの地域の催し」(29.8%)が他の職業に比べ高くなっている。「興味のあるまたは参加してみたい活動はない」は自営業主・事業主(43.9%)と会社員・公務員(43.4%)が4割半ば近くと高くなっている。

興味または参加してみたい活動 職業別

単位：％

	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	お祭りなどの地域の催し	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	読書や文化啓発に関する活動	子育て支援	町会・自治会の活動	緑化推進に関する活動	環境美化・リサイクルに関する活動	動物愛護に関する活動	高齢者・障がい者等の支援
全体 (n=1552)	18.0	17.8	15.5	8.8	7.8	7.4	6.6	6.5	6.5	6.2
職業別										
自営業主・事業主 (n=189)	12.7	19.6	12.7	5.8	5.8	11.6	7.9	7.4	5.3	6.3
会社員・公務員 (n=636)	17.6	23.4	14.8	10.7	10.2	7.7	7.2	7.4	6.9	4.9
パート・アルバイト・非常勤 (n=219)	22.4	14.6	16.4	9.6	11.9	5.0	3.2	6.4	7.8	7.8
家事専業 (n=104)	17.3	16.3	24.0	9.6	8.7	8.7	9.6	4.8	6.7	8.7
学生 (n=47)	25.5	29.8	4.3	8.5	6.4	4.3	6.4	6.4	6.4	2.1
無職(年金生活を含む) (n=302)	19.9	7.0	15.9	6.3	1.3	6.0	5.3	4.6	5.0	7.9
その他 (n=30)	16.7	6.7	26.7	10.0	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7

	交通安全や、防災・防犯に関する活動	学校行事・教育に関する活動	その他	興味のあるまたは参加してみたい活動はない	無回答
全体 (n=1552)	5.6	4.9	2.2	38.7	6.6
職業別					
自営業主・事業主 (n=189)	5.8	4.8	1.6	43.9	7.9
会社員・公務員 (n=636)	5.7	7.7	1.1	43.4	1.7
パート・アルバイト・非常勤 (n=219)	4.6	4.6	2.7	34.2	4.1
家事専業 (n=104)	8.7	1.9	1.9	25.0	11.5
学生 (n=47)	2.1	6.4	6.4	36.2	4.3
無職(年金生活を含む) (n=302)	6.0	0.7	3.6	35.4	14.2
その他 (n=30)	3.3	0.0	3.3	33.3	6.7

ライフステージ別でみると、「お祭りなどの地域の催し」は家族形成期（33.3%）が約3割となっている。「子育て支援」は家族形成期（23.1%）と、家族成長前期（22.7%）で2割強となっている。「興味のあるまたは参加してみたい活動はない」は一人暮らし（47.8%）が4割半ばを超えて高くなっている。

興味または参加してみたい活動 ライフステージ別

単位：%

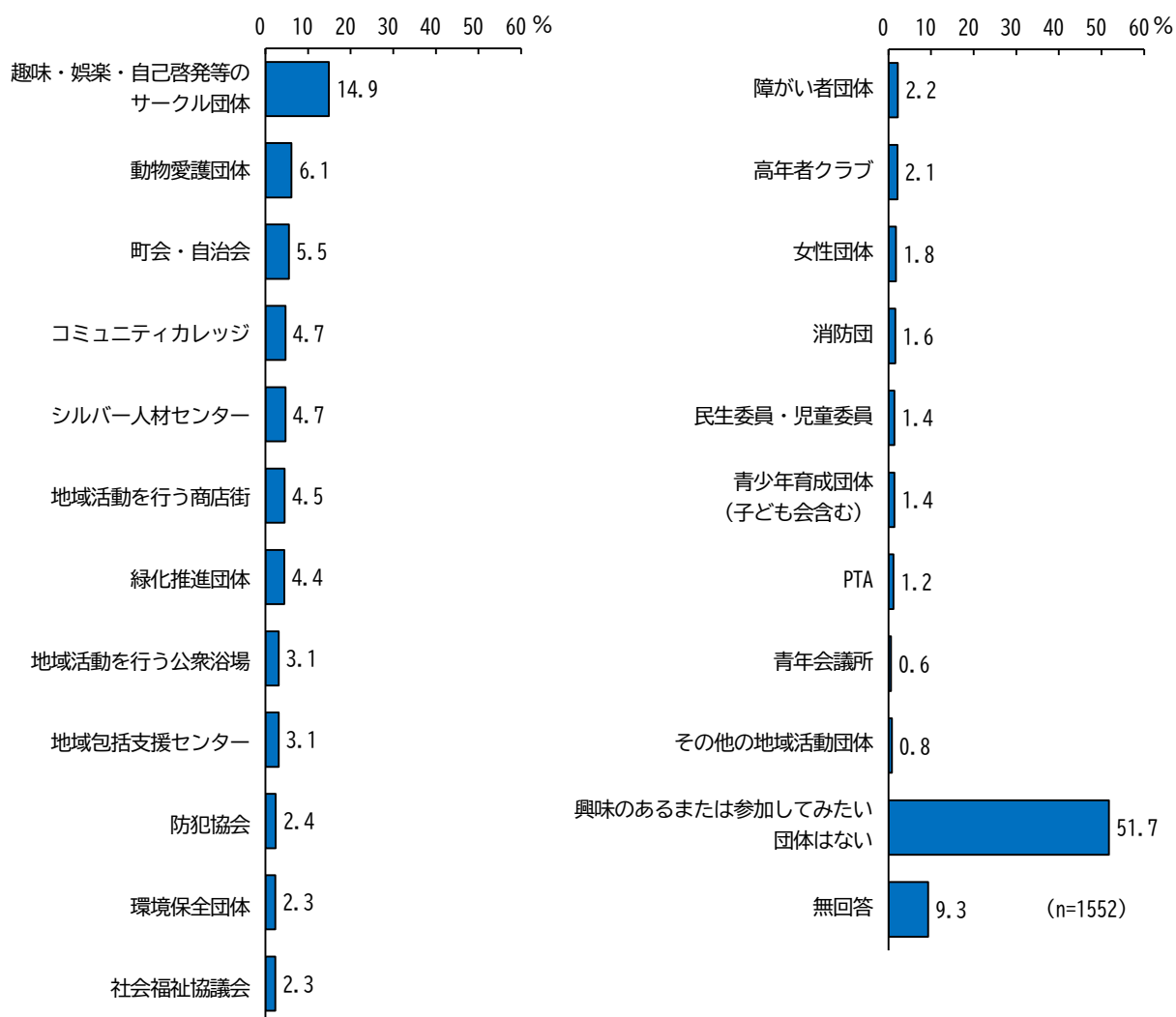
	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	お祭りなどの地域の催し	スポーツ・健康（ラジオ体操、こらばん体操等）に関する活動	読書や文化啓発に関する活動	子育て支援	町会・自治会の活動	緑化推進に関する活動	環境美化・リサイクルに関する活動	動物愛護に関する活動	高齢者・障がい者等の支援
全体 (n=1552)	18.0	17.8	15.5	8.8	7.8	7.4	6.6	6.5	6.5	6.2
ライフステージ別										
家族形成期 (n=186)	16.1	33.3	12.4	10.8	23.1	10.2	5.9	4.8	5.4	2.7
家族成長前期 (n=128)	13.3	27.3	15.6	8.6	22.7	10.2	3.1	8.6	7.8	6.3
家族成長後期 (n=117)	11.1	17.9	16.2	8.5	9.4	6.0	9.4	5.1	9.4	3.4
家族成熟期 (n=112)	20.5	23.2	15.2	4.5	6.3	9.8	1.8	3.6	8.9	9.8
高齢期 (n=236)	23.3	11.9	22.0	7.2	2.5	9.3	9.7	6.8	4.7	8.1
高齢期(一人暮らし) (n=141)	22.7	6.4	17.7	7.1	1.4	5.0	2.1	5.0	0.7	12.1
一人暮らし (n=201)	21.9	21.9	12.9	14.4	2.5	4.5	7.5	8.5	7.5	4.5
その他 (n=431)	15.3	11.8	13.7	8.1	4.2	6.3	7.7	7.2	7.7	5.3

	交通安全や、防災・防犯に関する活動	学校行事・教育に関する活動	その他	興味のあるまたは参加してみたい活動はない	無回答
全体 (n=1552)	5.6	4.9	2.2	38.7	6.6
ライフステージ別					
家族形成期 (n=186)	9.1	9.7	0.5	38.2	0.5
家族成長前期 (n=128)	5.5	19.5	1.6	32.8	0.8
家族成長後期 (n=117)	5.1	6.8	1.7	44.4	0.0
家族成熟期 (n=112)	8.0	2.7	1.8	38.4	3.6
高齢期 (n=236)	5.9	0.8	1.7	29.7	11.0
高齢期(一人暮らし) (n=141)	8.5	0.7	0.7	41.1	11.3
一人暮らし (n=201)	3.0	5.5	3.5	47.8	3.0
その他 (n=431)	3.7	1.9	3.5	39.0	11.4

(5) 興味または参加してみたい団体

◇「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体」が1割半ば近く

問17 次のうち、(現在参加されているもの以外で) 興味のあるものまたは参加してみたいと思う団体はありますか。(〇はいくつでも)



興味または参加してみたい団体について聞いたところ、「興味のあるまたは参加してみたい団体はない」(51.7%)を除くと、「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体」(14.9%)が1割半ば近くと最も高く、それ以外の選択肢の割合は1割未満となっている。

年代別でみると、「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体」は60～69歳（20.4%）で2割と高くなっている。「町会・自治会」は40～49歳が7.0%と最も高くなっている。「興味のあるまたは参加してみたい団体はない」は18～29歳（66.2%）が6割半ばを超えて最も高くなっている。

興味または参加してみたい団体 年代別

単位：％

		趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	動物愛護団体	町会・自治会	コミュニティ・センター	シルバー人材センター	地域活動を行う商店街	緑化推進団体	地域活動を行う公衆浴場	地域包括支援センター	防犯協会	環境保全団体	社会福祉協議会
全体 (n=1552)		14.9	6.1	5.5	4.7	4.7	4.5	4.4	3.1	3.1	2.4	2.3	2.3
年代別	18～29歳 (n=157)	11.5	5.7	3.8	3.2	0.0	7.0	1.3	4.5	0.6	1.3	0.0	0.6
	30～39歳 (n=214)	13.1	7.9	5.6	1.9	0.9	8.9	4.7	6.1	2.8	2.3	2.3	1.4
	40～49歳 (n=272)	12.5	7.7	7.0	5.1	1.5	6.3	5.5	4.4	3.3	4.4	1.8	2.9
	50～59歳 (n=293)	15.0	8.2	4.4	6.1	2.7	3.8	5.5	3.4	2.4	2.4	3.8	3.1
	60～69歳 (n=225)	20.4	6.7	4.9	7.1	10.7	2.7	5.3	1.8	3.6	1.8	1.8	2.7
	70～79歳 (n=239)	15.1	2.9	5.9	5.0	11.7	1.7	2.9	0.4	3.8	1.3	3.8	1.7
	80歳以上 (n=141)	18.4	0.7	6.4	2.8	4.3	1.4	5.0	0.7	5.0	2.8	0.7	3.5

		障がい者団体	高齢者クラブ	女性団体	消防団	民生委員・児童委員	青少年育成団体（子ども会含む）	PTA	青年会議所	その他の地域活動団体	興味のあるまたは参加してみたい団体はない	無回答
全体 (n=1552)		2.2	2.1	1.8	1.6	1.4	1.4	1.2	0.6	0.8	51.7	9.3
年代別	18～29歳 (n=157)	2.5	0.0	3.2	1.9	0.0	0.0	1.3	1.3	1.9	66.2	1.9
	30～39歳 (n=214)	0.9	0.0	2.3	1.4	0.5	3.3	1.4	1.9	0.5	57.5	4.2
	40～49歳 (n=272)	2.6	0.7	1.5	2.2	2.2	2.2	4.4	0.7	0.4	58.8	4.4
	50～59歳 (n=293)	4.1	1.0	1.7	2.7	1.0	2.4	0.7	0.7	1.0	58.7	2.7
	60～69歳 (n=225)	1.8	1.3	1.3	0.9	3.1	0.9	0.0	0.0	0.4	46.7	6.7
	70～79歳 (n=239)	1.7	5.9	2.1	0.8	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	40.6	19.2
	80歳以上 (n=141)	0.0	7.1	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	27.7	33.3

居住地区別でみると、「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体」はすべての地区で1割台となっている。「興味のあるまたは参加してみたい団体はない」は西尾久地区（41.0%）を除くすべての地区で5割台となっている。

興味または参加してみたい団体 居住地区別

単位：％

		趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	動物愛護団体	町会・自治会	コミュニティカレッジ	シルバー人材センター	地域活動を行う商店街	緑化推進団体	地域活動を行う公衆浴場	地域包括支援センター	防犯協会	環境保全団体	社会福祉協議会
全体 (n=1552)		14.9	6.1	5.5	4.7	4.7	4.5	4.4	3.1	3.1	2.4	2.3	2.3
居住地区別	南千住 (n=327)	13.5	6.7	6.4	3.4	2.4	3.7	4.3	4.0	3.4	2.1	2.4	1.5
	荒川 (n=239)	16.7	3.8	3.3	4.2	4.6	3.8	3.3	2.9	4.2	0.8	1.7	0.8
	町屋 (n=211)	12.3	7.1	6.2	6.6	7.6	4.7	4.7	2.4	3.8	3.8	2.8	4.7
	東尾久 (n=187)	16.0	5.9	6.4	4.3	5.9	6.4	4.3	2.1	2.7	2.1	2.7	1.6
	西尾久 (n=195)	19.0	5.6	8.7	6.7	5.6	3.6	5.6	2.1	3.6	1.5	2.6	4.1
	東日暮里 (n=204)	14.2	7.4	3.9	3.9	3.9	4.9	5.4	3.4	2.5	3.9	2.0	2.5
	西日暮里 (n=168)	14.9	6.5	3.0	4.8	4.2	4.8	3.6	4.8	0.6	3.0	1.2	1.8

	障がい者団体	高齢者クラブ	女性団体	消防団	民生委員・児童委員	青少年育成団体（子ども会含む）	PTA	青年会議所	その他の地域活動団体	興味のあるまたは参加してみたい団体はない	無回答
全体 (n=1552)	2.2	2.1	1.8	1.6	1.4	1.4	1.2	0.6	0.8	51.7	9.3
居住地区別	南千住 (n=327)	2.4	1.2	1.8	1.2	2.4	1.2	0.6	0.9	53.5	11.0
	荒川 (n=239)	1.7	2.5	2.9	1.7	0.4	0.4	0.4	0.4	52.7	8.8
	町屋 (n=211)	2.8	1.9	1.4	1.9	0.9	1.9	0.9	1.4	57.8	6.6
	東尾久 (n=187)	1.1	1.6	1.1	0.5	0.5	1.1	2.7	0.0	51.3	10.2
	西尾久 (n=195)	3.6	4.1	1.0	2.1	2.1	1.0	2.6	0.5	41.0	11.8
	東日暮里 (n=204)	1.0	2.9	1.5	2.9	2.5	2.9	0.5	0.5	52.5	8.3
	西日暮里 (n=168)	2.4	0.6	2.4	1.2	0.0	1.8	0.6	0.6	53.6	4.8

職業別でみると、「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体」はその他（23.3%）が2割半ば近くと高くなっている。学生は「動物愛護団体」（10.6%）と「町会・自治会」（10.6%）が1割、他の職業では1割未満となっている。「興味のあるまたは参加してみたい団体はない」は会社員・公務員（59.4%）が6割弱と最も高く、次いで自営業主・事業主（58.7%）が6割近く、学生（55.3%）が5割半ばと高くなっている。

興味または参加してみたい団体 職業別

単位：%

	趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	動物愛護団体	町会・自治会	コミュニティカレッジ	シルバー人材センター	地域活動を行う商店街	緑化推進団体	地域活動を行う公衆浴場	地域包括支援センター	防犯協会	環境保全団体	社会福祉協議会
全体 (n=1552)	14.9	6.1	5.5	4.7	4.7	4.5	4.4	3.1	3.1	2.4	2.3	2.3
職業別												
自営業主・事業主 (n=189)	8.5	2.1	7.4	3.7	3.2	5.8	3.7	2.1	2.1	2.1	1.1	3.7
会社員・公務員 (n=636)	14.2	7.1	5.8	4.4	1.7	6.3	4.9	5.2	2.4	2.5	2.5	2.2
パート・アルバイト・非常勤 (n=219)	18.3	8.7	3.7	6.8	8.2	3.2	5.5	1.8	2.7	1.4	2.7	2.3
家事専業 (n=104)	18.3	4.8	6.7	8.7	7.7	1.9	4.8	1.0	2.9	2.9	1.9	1.9
学生 (n=47)	17.0	10.6	10.6	6.4	2.1	8.5	4.3	2.1	4.3	4.3	0.0	2.1
無職(年金生活を含む) (n=302)	16.6	4.6	3.6	3.6	8.3	1.7	3.3	1.0	5.6	2.3	3.0	2.3
その他 (n=30)	23.3	6.7	6.7	0.0	10.0	0.0	3.3	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0

	障がい者団体	高齢者クラブ	女性団体	消防団	民生委員・児童委員	青少年育成団体(子ども会を含む)	PTA	青年会議所	その他の地域活動団体	興味のあるまたは参加してみたい団体はない	無回答
全体 (n=1552)	2.2	2.1	1.8	1.6	1.4	1.4	1.2	0.6	0.8	51.7	9.3
職業別											
自営業主・事業主 (n=189)	0.5	4.2	1.1	0.5	1.1	1.1	2.1	0.0	0.0	58.7	9.5
会社員・公務員 (n=636)	3.0	0.5	1.9	2.2	1.6	2.0	1.3	1.1	0.9	59.4	3.3
パート・アルバイト・非常勤 (n=219)	4.1	1.8	1.4	0.9	0.9	2.3	2.7	0.0	0.0	47.5	6.8
家事専業 (n=104)	1.0	3.8	0.0	0.0	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	39.4	17.3
学生 (n=47)	4.3	0.0	6.4	4.3	0.0	0.0	2.1	2.1	2.1	55.3	2.1
無職(年金生活を含む) (n=302)	0.3	4.0	2.3	1.7	1.0	0.0	0.0	0.0	1.3	41.1	19.2
その他 (n=30)	0.0	3.3	3.3	3.3	6.7	3.3	0.0	6.7	3.3	40.0	6.7

ライフステージ別でみると、「趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体」はすべてのライフステージで1割台となっている。「町会・自治会」は、家族成長前期で9.4%と最も高くなっている。「興味のあるまたは参加してみたい団体はない」は家族成長後期（61.5%）が6割強、一人暮らし（60.7%）が6割と高くなっている。

興味または参加してみたい団体 ライフステージ別

単位：%

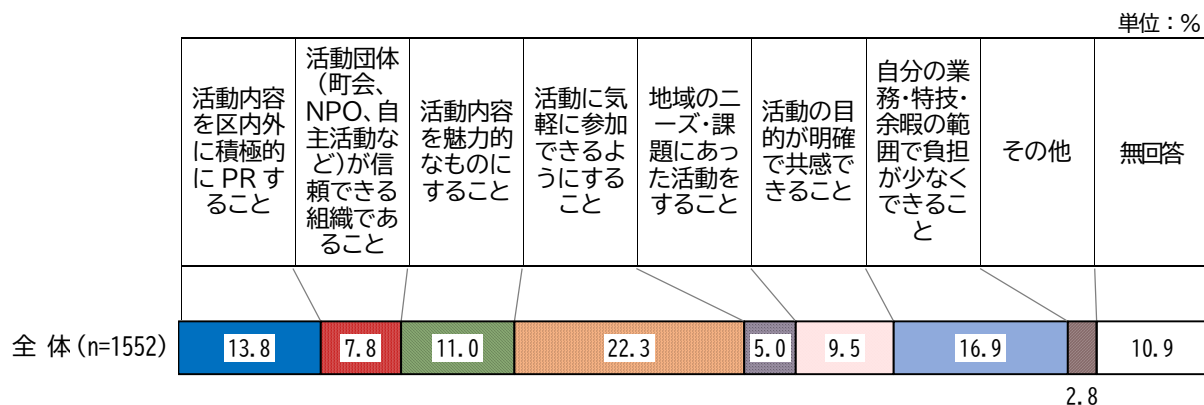
		趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	動物愛護団体	町会・自治会	コミュニティカレッジ	シルバー人材センター	地域活動を行う商店街	緑化推進団体	地域活動を行う公衆浴場	地域包括支援センター	防犯協会	環境保全団体	社会福祉協議会
	全体 (n=1552)	14.9	6.1	5.5	4.7	4.7	4.5	4.4	3.1	3.1	2.4	2.3	2.3
ライフステージ別	家族形成期 (n=186)	11.8	5.4	7.5	3.2	1.6	9.7	2.2	6.5	2.7	4.8	2.2	1.6
	家族成長前期 (n=128)	10.9	7.0	9.4	6.3	1.6	8.6	3.9	3.1	3.1	1.6	3.1	3.1
	家族成長後期 (n=117)	17.1	8.5	3.4	4.3	3.4	5.1	6.0	5.1	3.4	1.7	0.0	4.3
	家族成熟期 (n=112)	17.9	7.1	4.5	4.5	2.7	3.6	1.8	0.9	1.8	4.5	0.9	0.9
	高齢期 (n=236)	18.6	4.2	6.4	4.7	11.0	0.8	5.1	0.8	3.4	1.7	3.4	3.8
	高齢期(一人暮らし) (n=141)	14.9	0.0	2.8	4.3	7.1	0.7	1.4	0.7	5.7	2.1	1.4	1.4
	一人暮らし (n=201)	13.4	7.5	3.0	6.0	2.5	6.0	4.5	5.5	2.0	1.5	1.5	0.5
	その他 (n=431)	14.8	7.4	6.0	4.6	4.6	3.7	6.5	2.6	3.0	2.1	3.0	2.6

		障がい者団体	高齢者クラブ	女性団体	消防団	民生委員・児童委員	青少年育成団体(子ども会含む)	PTA	青年会議所	その他の地域活動団体	興味のあるまたは参加してみたい団体はない	無回答
	全体 (n=1552)	2.2	2.1	1.8	1.6	1.4	1.4	1.2	0.6	0.8	51.7	9.3
ライフステージ別	家族形成期 (n=186)	0.5	0.5	2.2	2.2	1.6	3.8	2.2	1.6	0.5	59.7	3.8
	家族成長前期 (n=128)	3.9	0.8	0.0	0.0	1.6	3.9	7.0	0.0	0.8	50.0	5.5
	家族成長後期 (n=117)	1.7	0.9	1.7	3.4	1.7	2.6	1.7	0.0	0.0	61.5	0.9
	家族成熟期 (n=112)	2.7	0.9	0.9	3.6	1.8	0.9	0.9	0.0	0.9	57.1	6.3
	高齢期 (n=236)	0.8	4.7	1.7	1.3	3.0	0.4	0.0	0.0	0.4	40.7	12.3
	高齢期(一人暮らし) (n=141)	0.7	7.8	2.8	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	18.4
	一人暮らし (n=201)	4.5	0.0	3.0	1.5	0.0	0.5	1.0	1.5	1.5	60.7	2.5
	その他 (n=431)	2.6	1.4	1.6	1.6	0.9	0.9	0.2	0.9	1.2	49.2	14.6

(6) 地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと

◇「活動に気軽に参加できるようにすること」が2割強

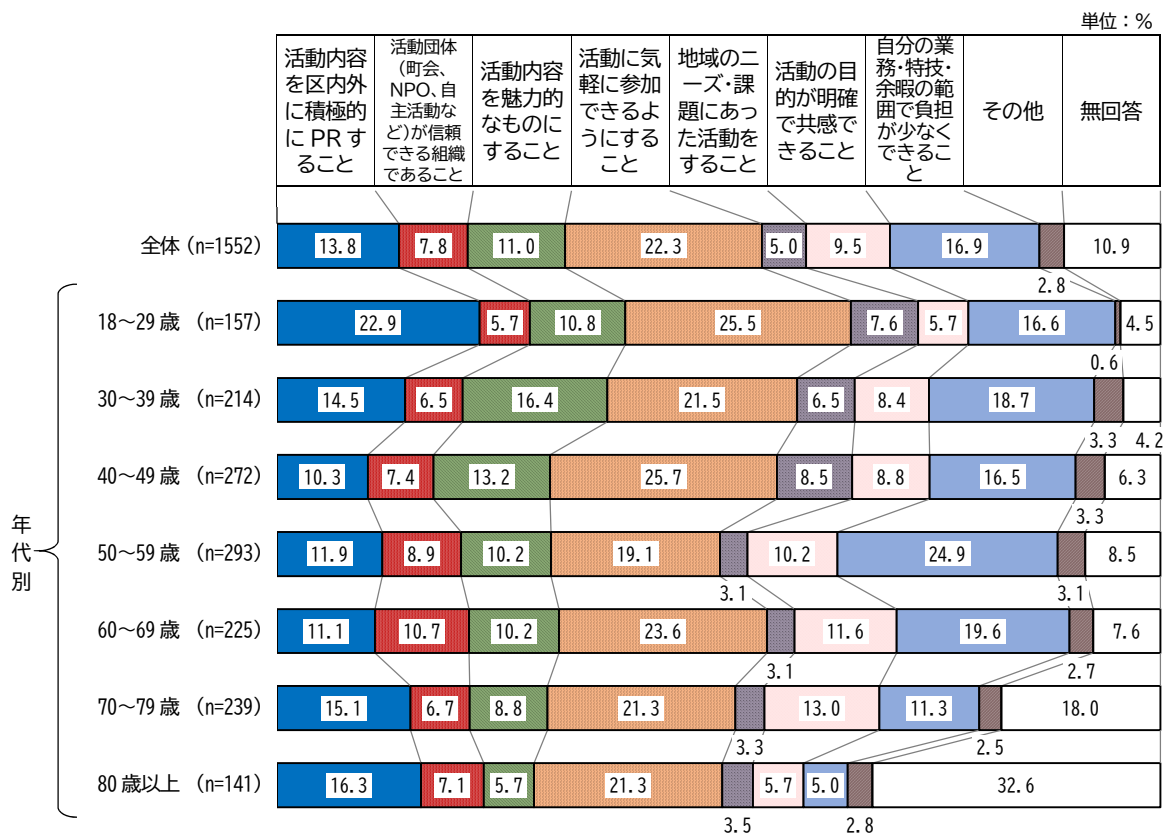
問 18 あなたは、地域の活動で多くの方が参加できるようにするためには何が最も必要だと思いますか。(〇は1つだけ)



地域活動へ参加できるようにするために最も必要なことについて聞いたところ、「活動に気軽に参加できるようにすること」(22.3%)が2割強と最も高く、以下、「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」(16.9%)、「活動内容を区内外に積極的にPRすること」(13.8%)が続いている。

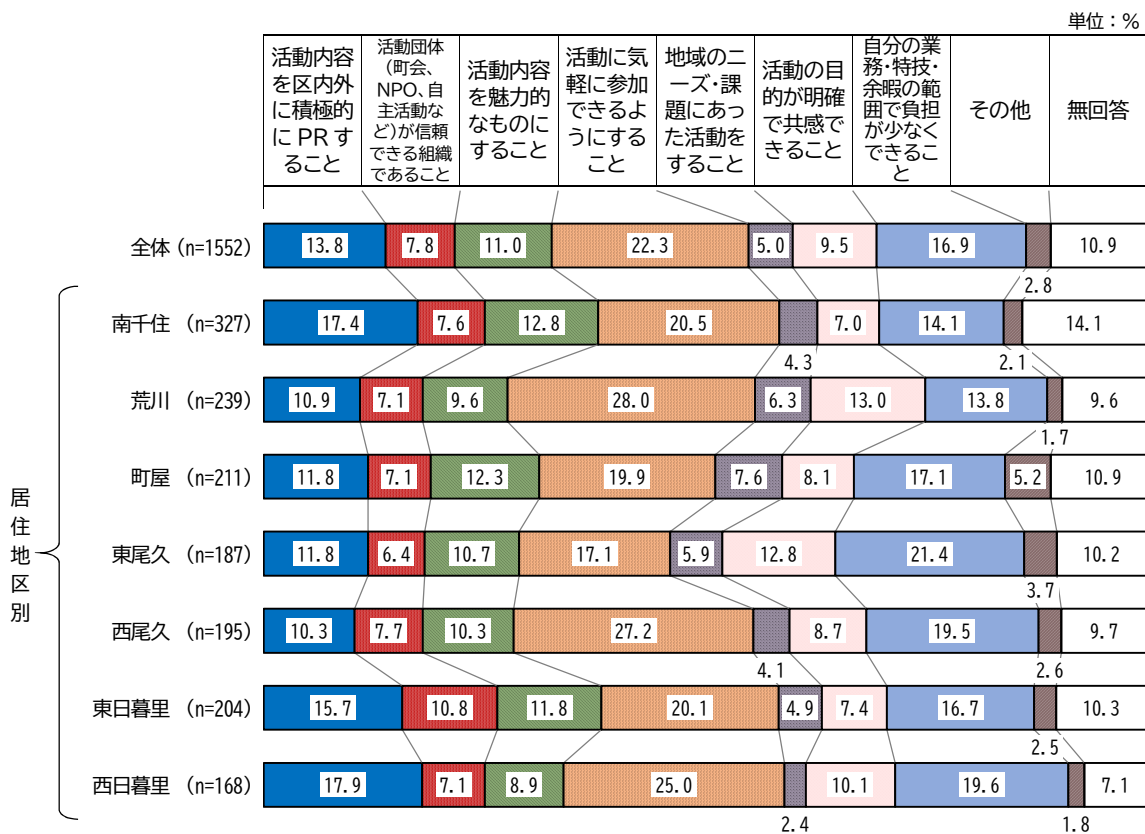
年代別でみると、「活動内容を区内外に積極的にPRすること」は18～29歳（22.9%）が2割強と最も高くなっている。「活動内容を魅力的なものにすること」は30～39歳（16.4%）が1割半ばを超え、「活動に気軽に参加できるようにすること」は40～49歳（25.7%）と18～29歳（25.5%）が2割半ば、「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」は50～59歳（24.9%）が2割半ば近くと高くなっている。

地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと 年代別



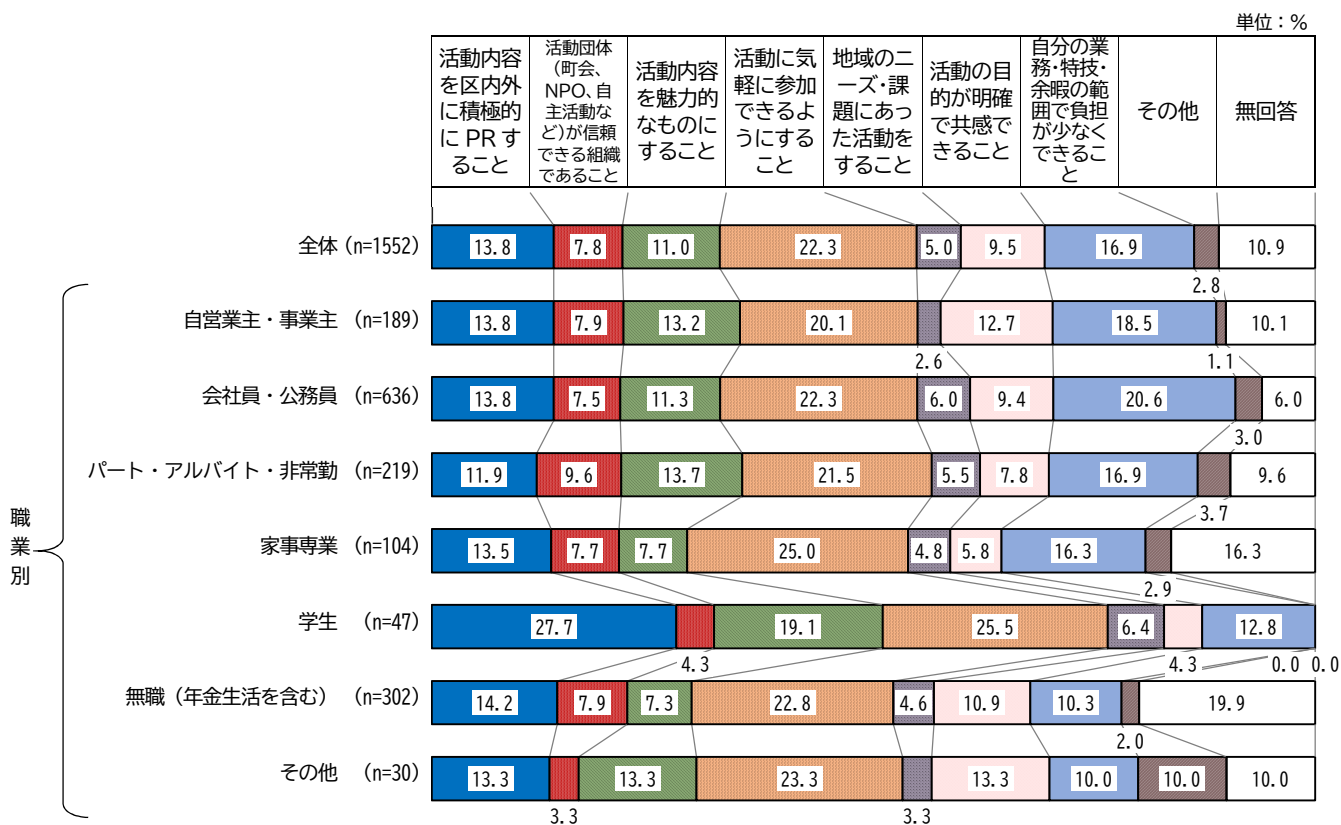
居住地区別でみると、「活動内容を区内外に積極的にPRすること」は西日暮里地区（17.9%）と南千住地区（17.4%）が2割近くとなっている。「活動に気軽に参加できるようにすること」は荒川地区（28.0%）が3割近く、「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」は東尾久地区（21.4%）が2割強と高くなっている。

地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと 居住地区別



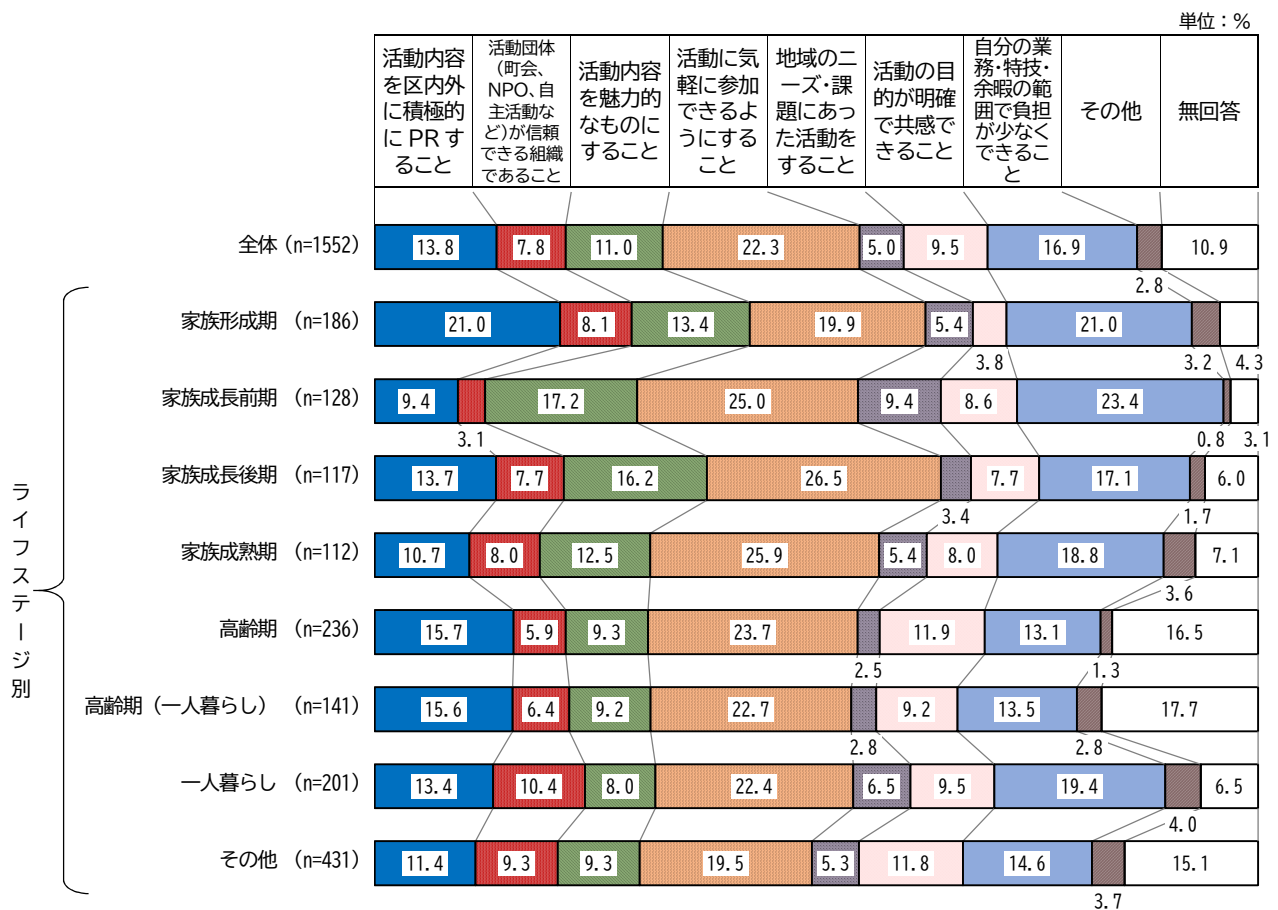
職業別でみると、学生は「活動内容を区内外に積極的にPRすること」(27.7%)、「活動内容を魅力的なものにすること」(19.1%)、「活動に気軽に参加できるようにすること」(25.5%)が他の職業に比べ高くなっている。「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」は会社員・公務員(20.6%)が2割と高くなっている。

地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと 職業別



ライフステージ別でみると、「活動内容を区内外に積極的にPRすること」は家族形成期（21.0%）が2割強、「活動内容を魅力的なものにすること」は家族成長前期（17.2%）と家族成長後期（16.2%）が1割半ばを超えて高くなっている。「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」は家族成長前期（23.4%）が2割半ば近くと高くなっている。

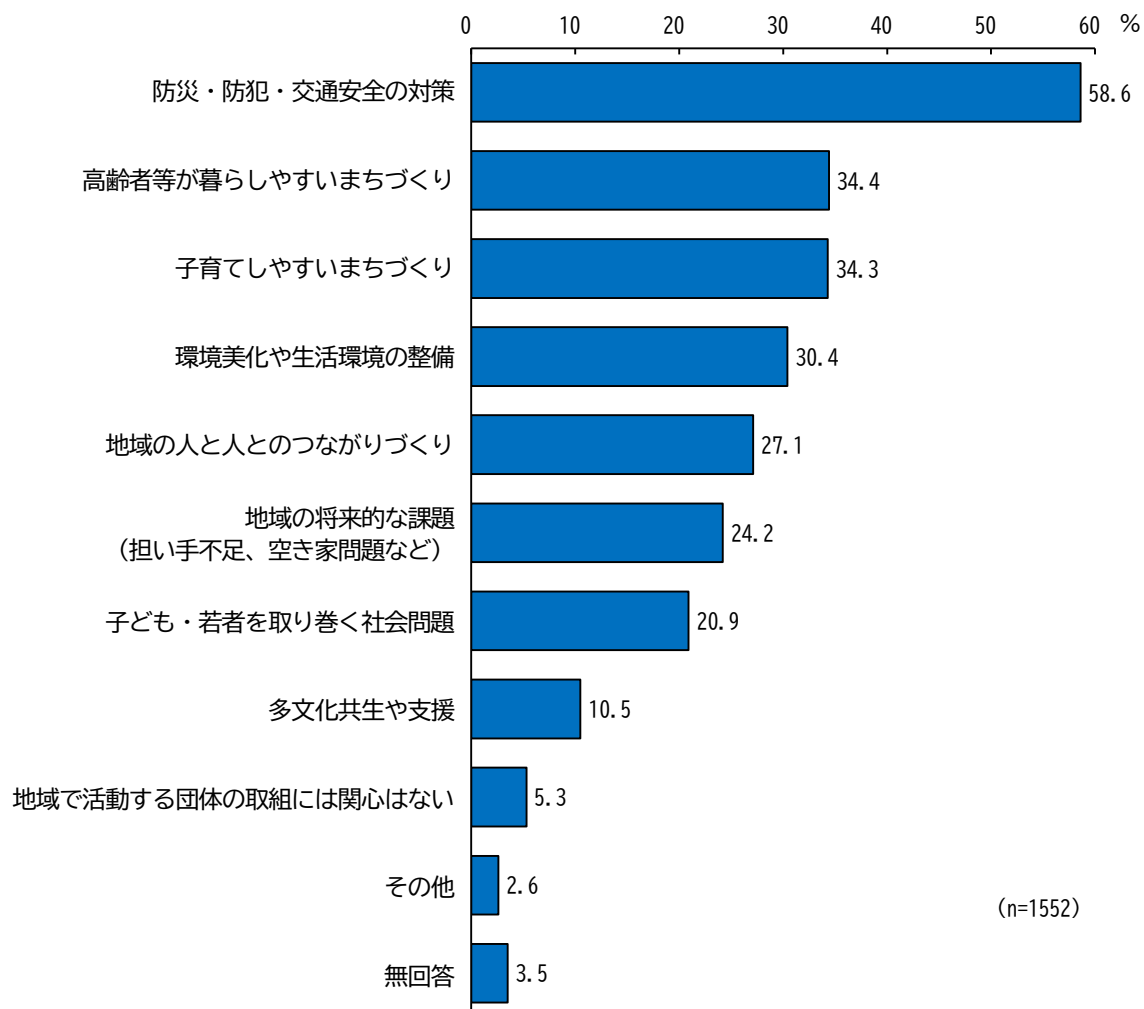
地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと ライフステージ別



(7) 地域の団体が取り組むべき課題

◇「防災・防犯・交通安全の対策」が6割近く

問 19 あなたは、地域で活動する団体が取り組むべき地域の課題とはどのようなものだと思いますか。重要と思われるものを、次の中から選びください。(〇はいくつでも)



地域の団体が取り組むべき課題について聞いたところ、「防災・防犯・交通安全の対策」(58.6%)が6割近くと最も高く、以下、「高齢者等が暮らしやすいまちづくり」(34.4%)、「子育てしやすいまちづくり」(34.3%)、「環境美化や生活環境の整備」(30.4%)が続いている。

年代別でみると、「高齢者等が暮らしやすいまちづくり」は年齢層が高いほど割合が高くなる傾向にあり、70～79歳（57.3%）が6割近く、80歳以上（55.3%）が5割半ばとなっている。一方、「子ども・若者を取り巻く社会問題」は年齢層が低いほど割合が高くなっており、18～29歳（34.4%）が3割半ば近くとなっている。「防災・防犯・交通安全の対策」は60～69歳（69.3%）が7割弱、「子育てしやすいまちづくり」は30～39歳（55.6%）が5割半ばと高くなっている。

地域の団体が取り組むべき課題 年代別

単位：％

		防災・防犯・交通安全の対策	高齢者等が暮らしやすいまちづくり	子育てしやすいまちづくり	環境美化や生活環境の整備	地域の人と人とのつながりづくり	地域の将来的な課題(担い手不足、空き家問題など)	子ども・若者を取り巻く社会問題	多文化共生や支援	地域で活動する団体の取組には関心はない
全体 (n=1552)		58.6	34.4	34.3	30.4	27.1	24.2	20.9	10.5	5.3
年代別	18～29歳 (n=157)	44.6	10.8	39.5	29.3	22.9	23.6	34.4	11.5	4.5
	30～39歳 (n=214)	57.5	11.2	55.6	28.5	23.4	22.4	29.4	12.1	5.1
	40～49歳 (n=272)	57.7	18.8	43.8	27.6	29.0	26.1	28.7	9.6	5.1
	50～59歳 (n=293)	60.1	37.9	27.0	36.2	28.3	25.3	16.7	10.6	7.2
	60～69歳 (n=225)	69.3	50.2	30.7	35.1	25.3	27.1	16.0	15.1	6.2
	70～79歳 (n=239)	62.8	57.3	25.9	27.6	28.9	25.5	11.7	9.6	3.8
	80歳以上 (n=141)	51.1	55.3	15.6	26.2	31.2	17.0	11.3	3.5	3.5

	その他	無回答
全体 (n=286)	2.6	3.5
年代別	18～29歳 (n=157)	3.2
	30～39歳 (n=214)	3.7
	40～49歳 (n=272)	2.9
	50～59歳 (n=293)	2.7
	60～69歳 (n=225)	1.8
	70～79歳 (n=239)	0.8
	80歳以上 (n=141)	2.8

居住地区別でみると、「防災・防犯・交通安全の対策」はすべての地区が5割台～6割台となっている。東尾久地区は「子育てしやすいまちづくり」(40.6%)と「高齢者等が暮らしやすいまちづくり」(40.1%)が4割と他の地区に比べ高くなっている。

地域の団体に取り組むべき課題 居住地区別

単位：％

		防 災 ・ 防 犯 ・ 交 通 安 全 の 対 策	高 齢 者 等 が 暮 ら し や す い ま ち づ く り	子 育 て し や す い ま ち づ く り	環 境 美 化 や 生 活 環 境 の 整 備	地 域 の 人 と 人 と の つ な が り づ く り	地 域 の 将 来 的 な 課 題 (担い手 不足、空き 家 問 題 な ど)	子 ども ・ 若 者 を 取 り 巻 く 社 会 問 題	多 文 化 共 生 や 支 援	地 域 で 活 動 す る 団 体 の 取 組 に は 関 心 は な い
	全体 (n=1552)	58.6	34.4	34.3	30.4	27.1	24.2	20.9	10.5	5.3
居 住 地 区 別	南千住 (n=327)	57.2	34.3	38.2	30.9	29.7	22.6	23.5	9.5	6.1
	荒川 (n=239)	56.9	37.7	34.7	27.6	26.4	27.6	20.9	13.0	4.6
	町屋 (n=211)	63.0	34.6	28.9	29.9	24.2	24.2	19.4	9.0	4.3
	東尾久 (n=187)	56.1	40.1	40.6	29.9	29.9	33.7	23.0	11.2	3.2
	西尾久 (n=195)	60.0	37.9	33.8	36.4	30.8	19.0	21.0	6.2	7.2
	東日暮里 (n=204)	57.4	31.4	31.4	31.4	25.5	18.1	18.1	13.2	5.4
	西日暮里 (n=168)	60.7	24.4	32.7	28.0	22.0	26.2	20.2	12.5	5.4

		その他	無回答
	全体 (n=1552)	2.6	3.5
居 住 地 区 別	南千住 (n=327)	1.5	4.9
	荒川 (n=239)	2.1	2.9
	町屋 (n=211)	5.2	4.7
	東尾久 (n=187)	3.2	2.7
	西尾久 (n=195)	1.5	2.1
	東日暮里 (n=204)	1.5	2.9
	西日暮里 (n=168)	3.6	1.2

職業別でみると、「防災・防犯・交通安全の対策」は学生（40.4%）を除く職業で5割台～6割台となっている。「高齢者等が暮らしやすいまちづくり」は無職（年金生活を含む）（55.3%）が5割半ば、「子育てしやすいまちづくり」は会社員・公務員（42.5%）が4割強と高くなっている。「子ども・若者を取り巻く社会問題」は学生（40.4%）が4割と高くなっている。

地域の団体が取り組むべき課題 職業別

単位：%

		防 災 ・ 防 犯 ・ 交 通 安 全 の 対 策	高 齢 者 等 が 暮 ら し や す い ま ち づ く り	子 育 て し や す い ま ち づ く り	環 境 美 化 や 生 活 環 境 の 整 備	地 域 の 人 と 人 と の つ な が り づ く り	地 域 の 将 来 的 な 課 題 (担 手 不 足 、 空 家 問 題 等)	子 ども ・ 若 者 を 取 り 巻 く 社 会 問 題	多 文 化 共 生 や 支 援	地 域 で 活 動 す る 団 体 の 取 組 み に は 関 心 は な い
全 体 (n=1552)		58.6	34.4	34.3	30.4	27.1	24.2	20.9	10.5	5.3
職 業 別	自 営 業 主 ・ 事 業 主 (n=189)	65.6	29.6	34.9	28.6	27.5	21.7	21.7	9.5	4.8
	会 社 員 ・ 公 務 員 (n=636)	57.7	25.8	42.5	35.5	27.2	24.2	26.4	10.7	5.8
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ 非 常 勤 (n=219)	60.3	38.4	32.0	29.7	25.1	26.9	16.9	9.1	6.4
	家 事 専 業 (n=104)	65.4	39.4	38.5	26.9	29.8	31.7	20.2	11.5	3.8
	学 生 (n=47)	40.4	12.8	31.9	27.7	23.4	23.4	40.4	19.1	2.1
	無 職 (年 金 生 活 を 含 む) (n=302)	57.0	55.3	20.9	24.5	27.5	22.5	10.6	9.6	5.3
	そ の 他 (n=30)	53.3	23.3	20.0	20.0	36.7	23.3	16.7	20.0	0.0

	そ の 他	無 回 答
全 体 (n=1552)	2.6	3.5
職 業 別		
自 営 業 主 ・ 事 業 主 (n=189)	3.7	2.6
会 社 員 ・ 公 務 員 (n=636)	3.0	1.6
パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ 非 常 勤 (n=219)	1.8	2.3
家 事 専 業 (n=104)	1.9	6.7
学 生 (n=47)	2.1	2.1
無 職 (年 金 生 活 を 含 む) (n=302)	1.3	6.0
そ の 他 (n=30)	6.7	6.7

ライフステージ別でみると、「防災・防犯・交通安全の対策」はすべてのライフステージで5割台～6割台となっている。「高齢者等が暮らしやすいまちづくり」は高齢期（一人暮らし）（57.4%）が5割半ばを超え、高齢期（54.7%）が5割半ば近くと高くなっている。「子育てしやすいまちづくり」は家族形成期（66.1%）が6割半ばを超え、家族成長前期（60.2%）が6割と高くなっている。

地域の団体が取り組むべき課題 ライフステージ別

単位：％

		防災・防犯・交通安全の対策	高齢者等が暮らしやすいまちづくり	子育てしやすいまちづくり	環境美化や生活環境の整備	地域の人と人とのつながりづくり	地域の将来的な課題(担い手不足、空き家問題など)	子ども・若者を取り巻く社会問題	多文化共生や支援	地域で活動する団体の取組には関心はない
	全体 (n=1552)	58.6	34.4	34.3	30.4	27.1	24.2	20.9	10.5	5.3
ライフステージ別	家族形成期 (n=186)	54.8	10.2	66.1	32.3	26.3	22.6	30.1	14.0	3.8
	家族成長前期 (n=128)	63.3	22.7	60.2	26.6	36.7	28.9	36.7	7.8	0.8
	家族成長後期 (n=117)	56.4	21.4	36.8	30.8	25.6	23.9	29.1	9.4	2.6
	家族成熟期 (n=112)	57.1	36.6	39.3	26.8	28.6	25.9	21.4	12.5	10.7
	高齢期 (n=236)	62.7	54.7	29.7	31.8	31.4	27.1	13.6	12.7	4.2
	高齢期(一人暮らし) (n=141)	56.0	57.4	19.9	26.2	24.8	24.1	11.3	5.7	7.8
	一人暮らし (n=201)	54.2	20.9	24.9	33.3	24.4	18.9	20.9	10.4	5.5
	その他 (n=431)	60.3	39.0	22.7	30.9	24.4	24.1	16.9	10.0	6.3

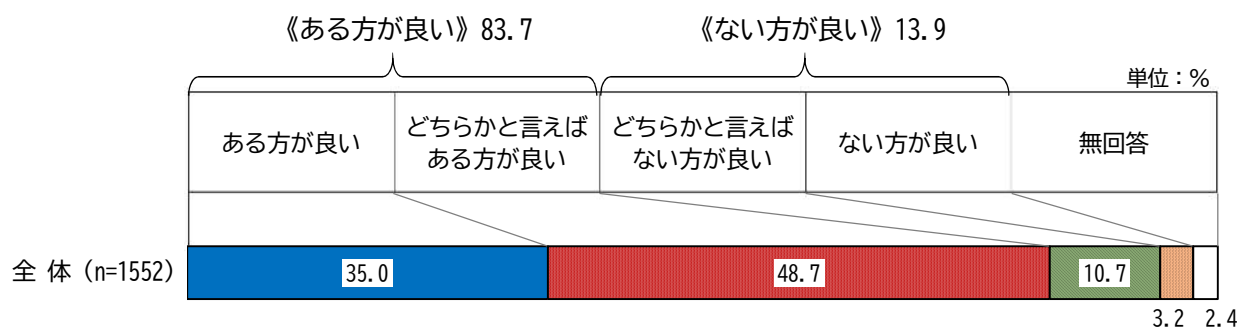
	その他	無回答
全体 (n=286)	2.6	3.5
ライフステージ別	家族形成期 (n=186)	3.2
	家族成長前期 (n=128)	1.6
	家族成長後期 (n=117)	3.4
	家族成熟期 (n=112)	1.8
	高齢期 (n=236)	0.8
	高齢期(一人暮らし) (n=141)	2.1
	一人暮らし (n=201)	4.5
	その他 (n=431)	2.8

（８）地域の人々とのつながりの必要性

◇《ある方が良い》が８割超

問 20 あなたは地域の人々とのつながりは、ある方が良いと思いますか。（○は１つだけ）

※ここでの「つながり」は地域の活動や団体への参加に限らず、近所の人々との日常的な付き合い等を含みます。



（注） 《ある方が良い》＝「ある方が良い」＋「どちらかと言えばある方が良い」

《ない方が良い》＝「ない方が良い」＋「どちらかと言えばない方が良い」

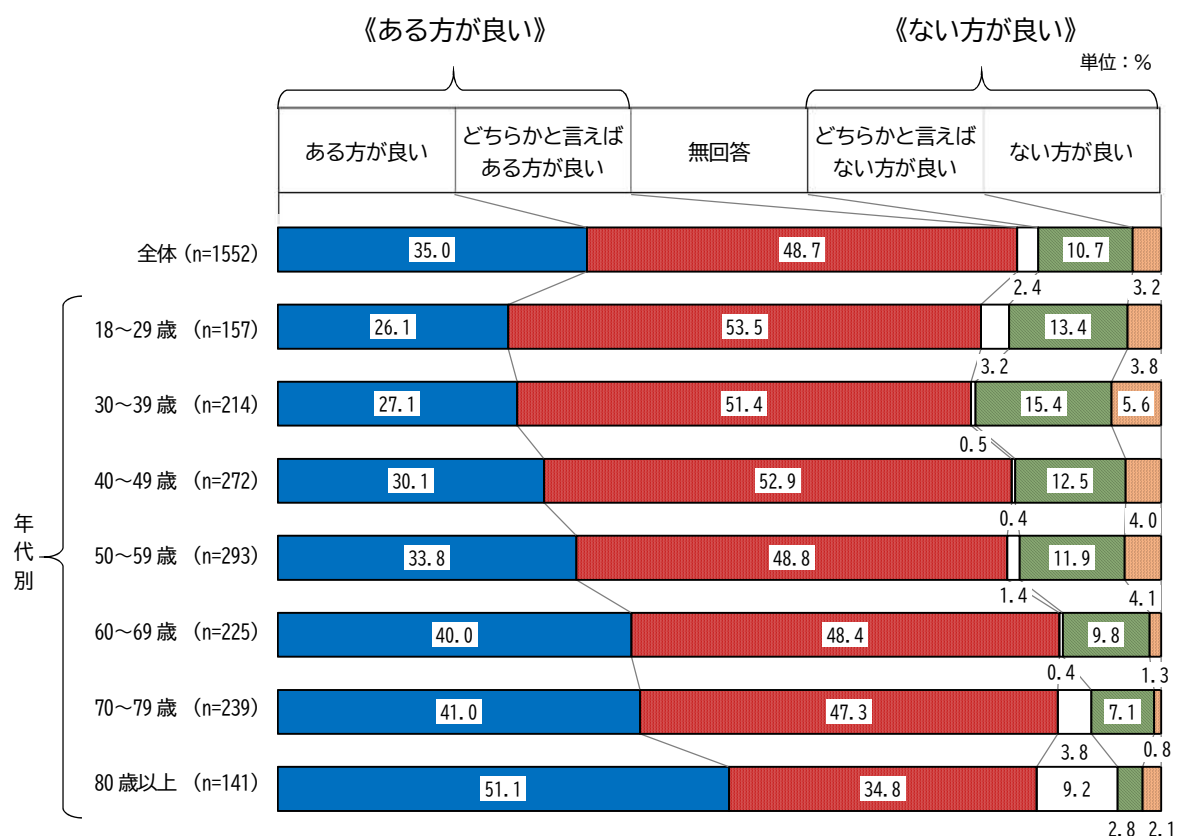
地域の人々とのつながりの必要性について聞いたところ、「ある方が良い」（35.0％）と「どちらかと言えばある方が良い」（48.7％）を合わせた《ある方が良い》（83.7％）の割合は８割を超え高い割合を示している。

一方、「どちらかと言えばない方が良い」（10.7％）と「ない方が良い」（3.2％）を合わせた《ない方が良い》（13.9％）は１割半ば近くとなっている。

年代別でみると、「ある方が良い」は年齢層が高いほど割合が高くなっており、80歳以上（51.1%）では5割強となっている。また、「ある方が良い」と「どちらかと言えばある方が良い」を合わせた《ある方が良い》は、40歳以上が8割台、18～39歳が7割台となっている。

一方、「どちらかと言えばない方が良い」と「ない方が良い」を合わせた《ない方が良い》は30～39歳（21.0%）が2割強と高くなっている。

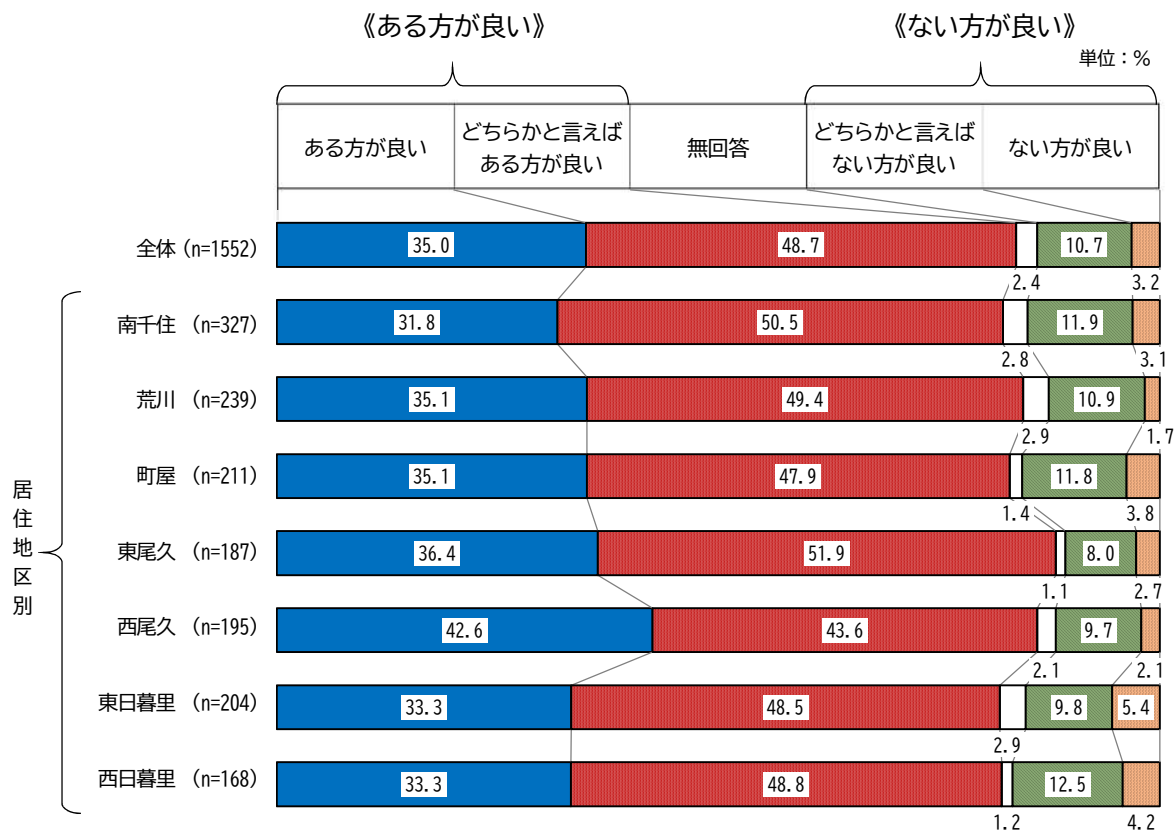
地域の人々とのつながりの必要性 年代別



居住地区別でみると、「ある方が良い」と「どちらかと言えばある方が良い」を合わせた《ある方が良い》は東尾久地区（88.3%）で9割近くと最も高く、次いで西尾久地区（86.2%）で8割半ばを超えて高くなっている。

一方、「どちらかと言えばない方が良い」と「ない方が良い」を合わせた《ない方が良い》は西日暮里地区（16.7%）、町屋地区（15.6%）と東日暮里地区（15.2%）、南千住地区（15.0%）が1割半ばとなっている。

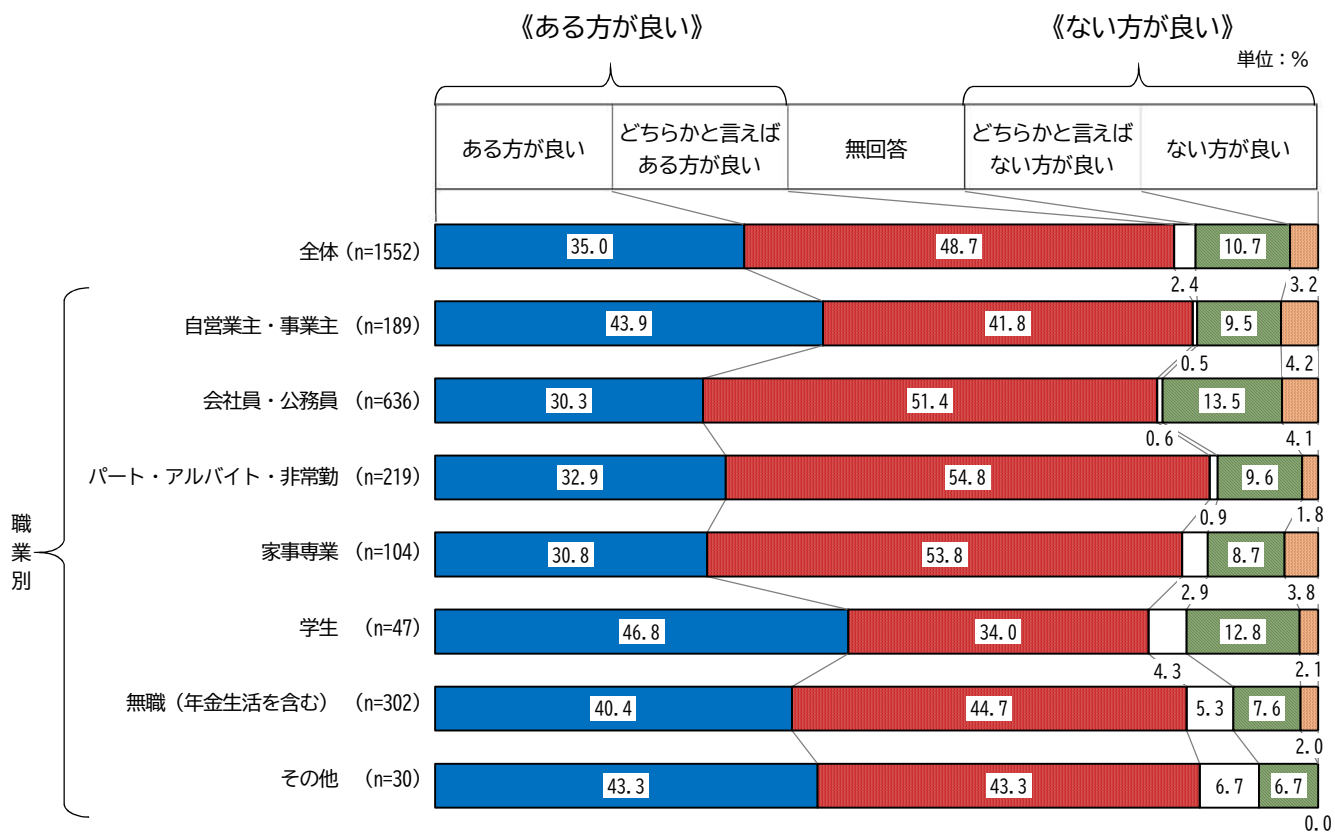
地域の人々とのつながりの必要性 居住地区別



職業別でみると、「ある方が良い」と「どちらかと言えばある方が良い」を合わせた《ある方が良い》はパート・アルバイト・非常勤（87.7%）で8割半ばを超えて最も高くなっている。

一方、「どちらかと言えない方が良い」と「ない方が良い」を合わせた《ない方が良い》は会社員・公務員（17.6%）が1割半ばを超えて最も高くなっている。

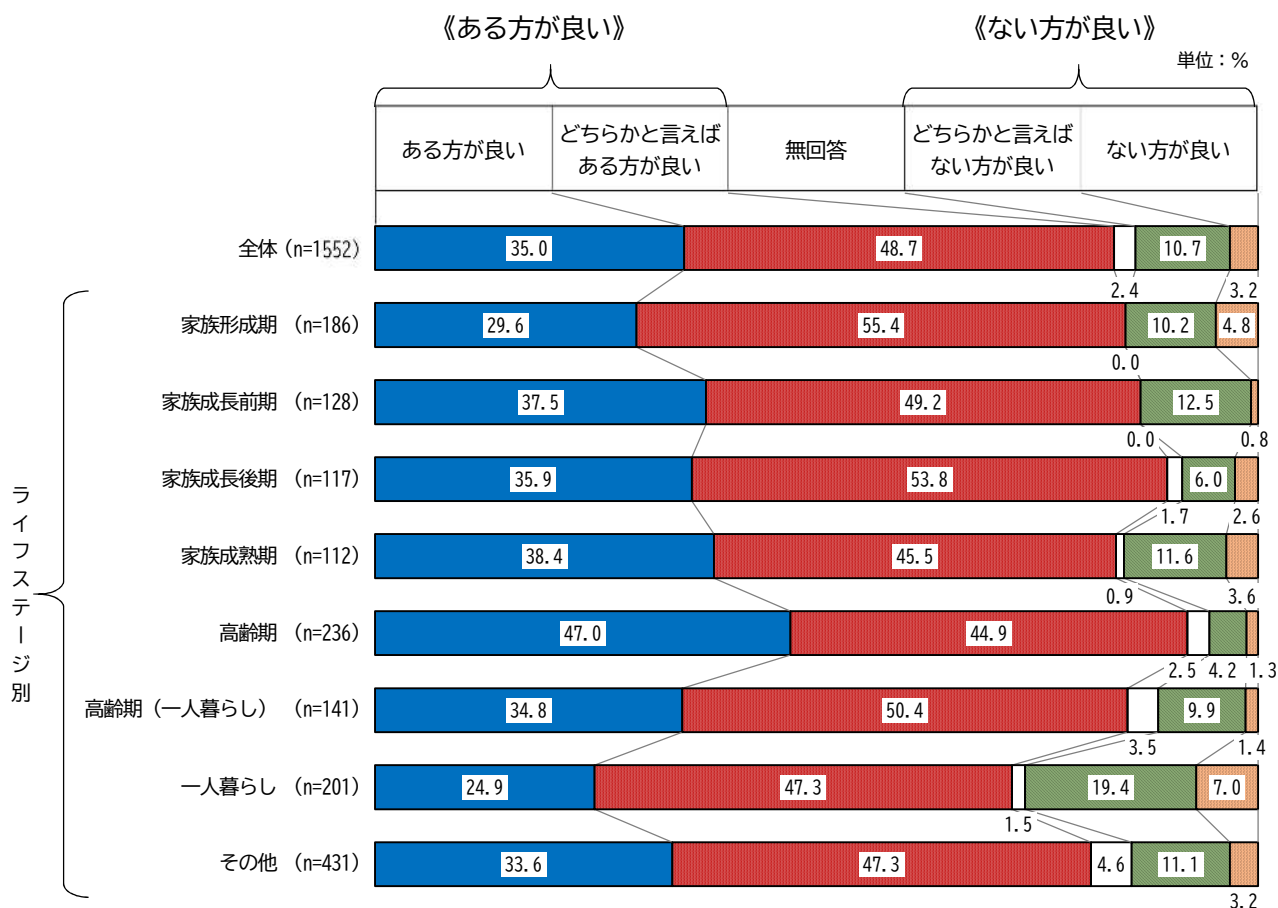
地域の人々とのつながりの必要性 職業別



ライフステージ別でみると、「ある方が良い」と「どちらかと言えばある方が良い」を合わせた《ある方が良い》は高齢期（91.9%）で9割強と最も高く、次いで家族成長後期（89.7%）が9割弱と高くなっている。

一方、「どちらかと言えばない方が良い」と「ない方が良い」を合わせた《ない方が良い》は一人暮らし（26.4%）が2割半ばを超えて最も高くなっている。

地域の人々とのつながりの必要性 ライフステージ別



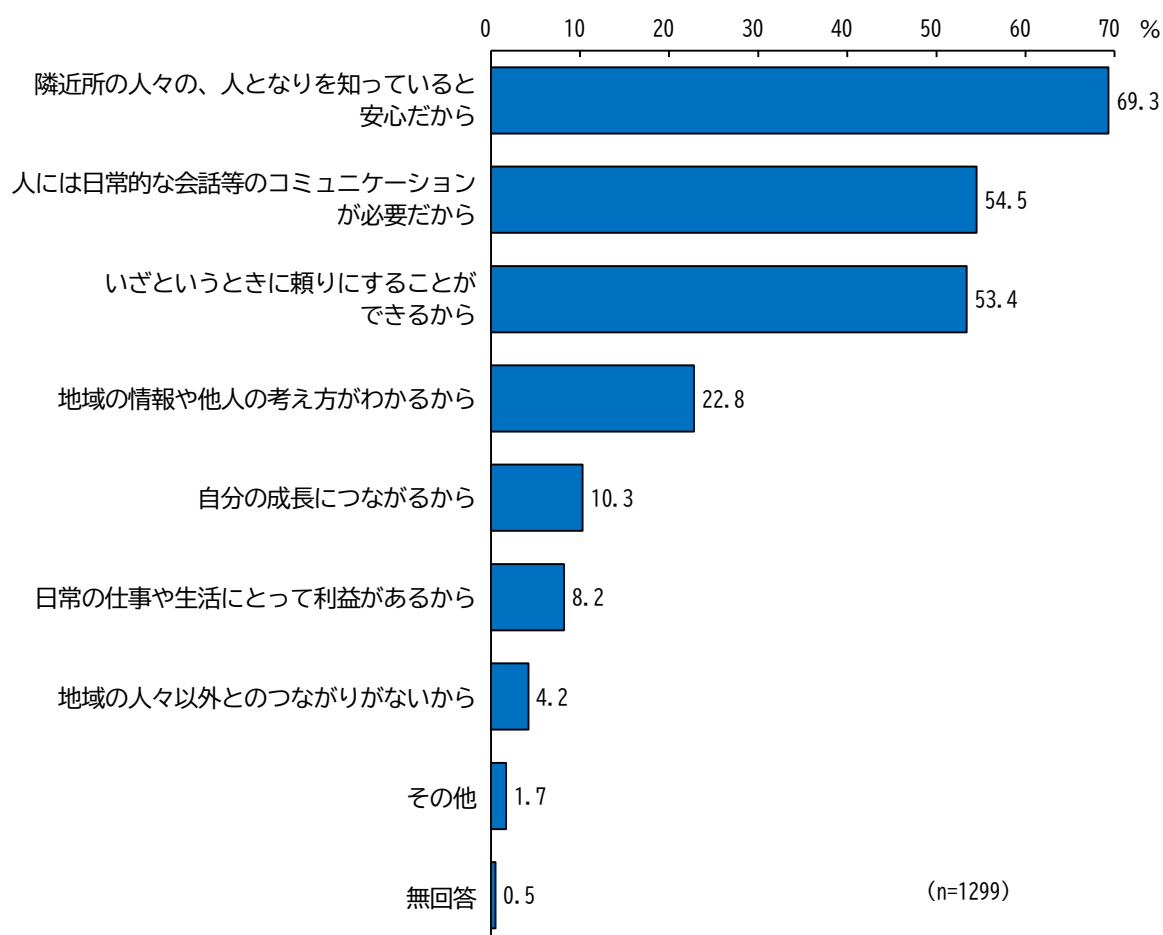
(8-1) つながりがある方が良いと思う理由

◇「隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから」が約7割

問 20-1 (問 20 で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

地域の人々とのつながりがある方が良いと思う理由はどのようなものですか。

(〇はいくつでも)



つながりがある方が良いと思う理由について聞いたところ、「隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから」(69.3%)が約7割と最も高く、以下、「人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから」(54.5%)、「いざというときに頼りにすることができるから」(53.4%)が続いている。

年代別でみると、「隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから」は70～79歳（78.7%）が8割近くと最も高く、40～49歳（74.8%）が7割半ば近く、60～69歳（72.9%）と80歳以上（71.9%）が7割強と高くなっている。「人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから」は60歳以上が6割台、「いざというときに頼りにすることができるから」は18～29歳（63.2%）が6割半ば近くと高くなっている。

つながりがある方が良いと思う理由 年代別

単位：％

	隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから	人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから	いざというときに頼りにすることができるから	地域の情報や他人の考え方がわかるから	自分の成長につながるから	日常の仕事や生活にとって利益があるから	地域の人々以外のつながりがないから	その他	無回答
全体 (n=1299)	69.3	54.5	53.4	22.8	10.3	8.2	4.2	1.7	0.5
年代別	18～29歳 (n=125)	50.4	44.0	63.2	20.0	16.0	13.6	3.2	0.8
	30～39歳 (n=168)	59.5	41.7	58.3	25.6	11.3	13.1	1.8	2.4
	40～49歳 (n=226)	74.8	46.0	56.2	15.5	8.8	9.3	2.7	0.4
	50～59歳 (n=242)	69.0	58.3	52.5	21.5	9.9	7.9	6.2	2.1
	60～69歳 (n=199)	72.9	61.8	47.2	19.1	9.0	5.0	3.0	1.0
	70～79歳 (n=211)	78.7	64.5	46.4	29.9	8.5	5.7	5.7	0.9
	80歳以上 (n=121)	71.9	62.8	56.2	33.1	12.4	4.1	6.6	0.8

居住地区別でみると、「隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから」は西尾久地区（75.6%）が7割半ばと最も高く、次いで荒川地区（71.3%）が7割強と高くなっている。「人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから」は町屋地区（60.6%）が6割、「いざというときに頼りにすることができるから」は南千住地区（62.1%）が6割強と高くなっている。

つながりがある方が良いと思う理由 居住地区別

単位：％

	隣近所の人々の、人となりを知っていると安心だから	人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから	いざというときに頼りにすることができるから	地域の情報や他人の考え方がわかるから	自分の成長につながるから	日常の仕事や生活にとって利益があるから	地域の人々以外のつながりがないから	その他	無回答
全体 (n=1299)	69.3	54.5	53.4	22.8	10.3	8.2	4.2	1.7	0.5
居住地区別	南千住 (n=269)	68.0	55.8	62.1	23.8	9.3	8.6	4.5	1.5
	荒川 (n=202)	71.3	50.5	47.5	25.2	13.4	8.9	4.5	2.0
	町屋 (n=175)	68.0	60.6	51.4	18.9	10.3	8.0	2.9	4.0
	東尾久 (n=165)	67.9	55.8	52.1	22.4	7.9	8.5	5.5	1.2
	西尾久 (n=168)	75.6	54.2	48.2	28.0	13.1	4.2	3.6	1.8
	東日暮里 (n=167)	67.7	56.3	55.1	21.0	7.8	9.6	5.4	0.0
	西日暮里 (n=138)	67.4	50.0	53.6	19.6	11.6	8.7	2.9	0.7

職業別でみると、「隣近所の人々の、人となりを知っている」と安心だから」は自営業主・事業主（77.2%）が7割半ばを超えて最も高くなっている。「人には日常的な会話等のコミュニケーションが必要だから」は家事専業（64.8%）と学生（63.2%）が6割半ば近く、無職（年金生活を含む）（62.3%）が6割強、「いざというときに頼りにすることができるから」は会社員・公務員（58.8%）が6割近くと高くなっている。

つながりがある方が良いと思う理由 職業別

単位：％

	隣近所の人々の、人となりを 知っていると安心 だから	人には日常的な会 話等のコミュニ ケーションが必要 だから	いざというときに 頼りにすること ができるから	地域の情 報や他人 の考え 方がわかる から	自分の成 長につな がるから	日常の仕 事や生活 にとって 利益があ るから	地 域 の 人々以外 とのつな がりがない から	その他	無回答
全体 (n=1299)	69.3	54.5	53.4	22.8	10.3	8.2	4.2	1.7	0.5
職業別									
自営業主・事業主 (n=162)	77.2	58.6	53.1	22.2	9.9	14.8	3.7	0.6	0.6
会社員・公務員 (n=520)	63.8	47.5	58.8	21.7	9.8	8.8	3.8	2.9	0.4
パート・アルバイト・ 非常勤 (n=192)	72.4	55.7	53.1	17.2	8.3	7.3	2.6	0.5	0.0
家事専業 (n=88)	71.6	64.8	52.3	25.0	14.8	4.5	4.5	1.1	0.0
学生 (n=38)	60.5	63.2	47.4	18.4	18.4	18.4	5.3	0.0	0.0
無職(年金生活を含む) (n=257)	74.7	62.3	45.5	29.6	8.9	3.1	5.8	1.2	0.8
その他 (n=26)	61.5	46.2	38.5	23.1	26.9	7.7	3.8	0.0	0.0

ライフステージ別でみると、「隣近所の人々の、人となりを知っている」と安心だから」は家族成長後期（80.0%）が8割と最も高く、次いで高齢期（78.8%）が8割近くと高くなっている。「いざというときに頼りにすることができるから」は家族成長前期（65.8%）が6割半ばと高くなっている。

つながりがある方が良いと思う理由 ライフステージ別

単位：％

	隣近所の人々の、人となりを 知っていると安心 だから	人には日常的な会 話等のコミュニ ケーションが必要 だから	いざというときに 頼りにすること ができるから	地域の情 報や他人 の考え 方がわかる から	自分の成 長につな がるから	日常の仕 事や生活 にとって 利益があ るから	地 域 の 人々以外 とのつな がりがない から	その他	無回答
全体 (n=1299)	69.3	54.5	53.4	22.8	10.3	8.2	4.2	1.7	0.5
ライフ ステー ジ別									
家族形成期 (n=158)	60.1	43.0	58.2	24.1	9.5	10.1	3.8	3.8	0.0
家族成長前期 (n=111)	73.0	50.5	65.8	21.6	11.7	11.7	1.8	2.7	0.9
家族成長後期 (n=105)	80.0	51.4	51.4	14.3	13.3	12.4	2.9	0.0	0.0
家族成熟期 (n=94)	67.0	62.8	53.2	20.2	9.6	5.3	3.2	3.2	0.0
高齢期 (n=217)	78.8	66.4	51.6	27.2	7.4	6.5	3.2	0.5	0.5
高齢期(一人暮らし) (n=120)	71.7	65.0	40.0	31.7	9.2	5.8	6.7	0.8	1.7
一人暮らし (n=145)	57.9	47.6	57.9	17.9	12.4	13.1	5.5	1.4	0.7
その他 (n=349)	67.6	51.6	51.9	22.1	10.9	5.4	4.9	1.7	0.6

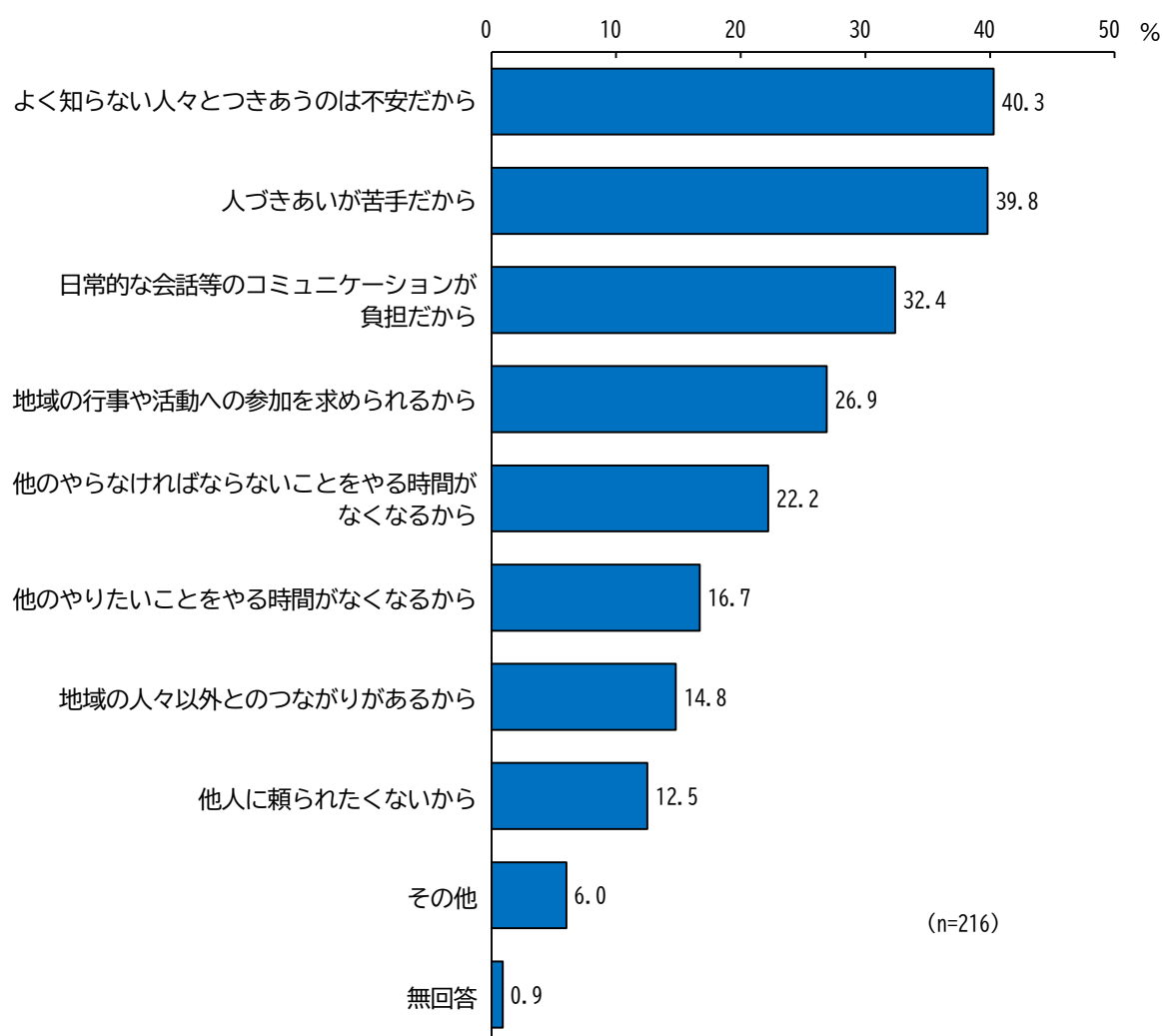
(8-2) つながりがない方が良いと思う理由

◇「よく知らない人々とつきあうのは不安だから」が4割

問 20-2 (問 20 で「3」、「4」とお答えの方に伺います)

地域の人々とのつながりがない方が良いと思う理由はどのようなものですか。

(〇はいくつでも)



つながりがない方が良いと思う理由について聞いたところ、「よく知らない人々とつきあうのは不安だから」(40.3%)が4割と最も高く、以下、「人づきあいが苦手だから」(39.8%)、「日常的な会話等のコミュニケーションが負担だから」(32.4%)が続いている。

年代別でみると、40～49 歳は「日常的な会話等のコミュニケーションが負担だから」(48.9%)、「地域の行事や活動への参加を求められるから」(42.2%)、「他のやりたいことをやる時間がなくなるから」(31.1%) が他の年齢層に比べ高くなっている。「よく知らない人々につきあうのは不安だから」は30～59 歳が4割台と高くなっている。

つながりがない方が良いと思う理由 年代別

単位：%

		よく知らない人々につきあうのは不安だから	人づきあいが苦手だから	日常的な会話等のコミュニケーションが負担だから	地域の行事や活動への参加を求められるから	他のやらなければならないことをやる時間がなくなるから	他のやりたいことをやる時間がなくなるから	地域の人々以外のつながりがあるから	他人に頼られたくないから	その他	無回答
全体 (n=216)		40.3	39.8	32.4	26.9	22.2	16.7	14.8	12.5	6.0	0.9
年代別	18～29歳 (n=27)	25.9	18.5	22.2	22.2	22.2	29.6	18.5	11.1	7.4	0.0
	30～39歳 (n=45)	48.9	46.7	33.3	28.9	26.7	20.0	13.3	15.6	13.3	0.0
	40～49歳 (n=45)	44.4	37.8	48.9	42.2	24.4	31.1	15.6	17.8	2.2	0.0
	50～59歳 (n=47)	44.7	42.6	27.7	21.3	25.5	10.6	14.9	4.3	6.4	0.0
	60～69歳 (n=25)	32.0	44.0	24.0	20.0	16.0	0.0	12.0	20.0	0.0	0.0
	70～79歳 (n=19)	36.8	42.1	31.6	21.1	15.8	0.0	21.1	5.3	5.3	5.3
	80歳以上 (n=7)	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

居住地区別でみると、町屋地区は「人づきあいが苦手だから」(57.6%) が5割半ばを超え、「日常的な会話等のコミュニケーションが負担だから」(51.5%) が5割強と他の地区に比べ高くなっている。

つながりがない方が良いと思う理由 居住地区別

単位：%

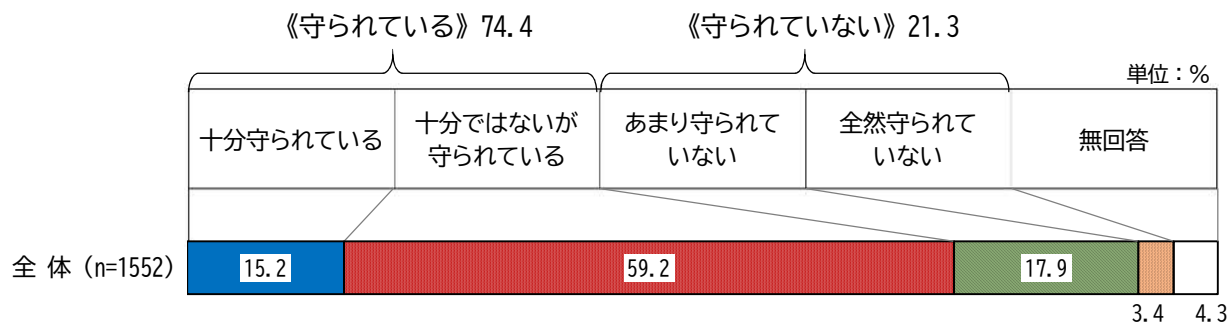
		よく知らない人々につきあうのは不安だから	人づきあいが苦手だから	日常的な会話等のコミュニケーションが負担だから	地域の行事や活動への参加を求められるから	他のやらなければならないことをやる時間がなくなるから	他のやりたいことをやる時間がなくなるから	地域の人々以外のつながりがあるから	他人に頼られたくないから	その他	無回答
全体 (n=216)		40.3	39.8	32.4	26.9	22.2	16.7	14.8	12.5	6.0	0.9
居住地区別	南千住 (n=49)	38.8	38.8	26.5	22.4	24.5	16.3	16.3	10.2	4.1	2.0
	荒川 (n=30)	23.3	40.0	30.0	30.0	13.3	0.0	10.0	13.3	6.7	0.0
	町屋 (n=33)	39.4	57.6	51.5	33.3	36.4	30.3	9.1	24.2	9.1	0.0
	東尾久 (n=20)	60.0	25.0	30.0	25.0	5.0	15.0	15.0	5.0	0.0	0.0
	西尾久 (n=23)	30.4	52.2	26.1	17.4	13.0	8.7	8.7	17.4	4.3	0.0
	東日暮里 (n=31)	45.2	38.7	45.2	35.5	29.0	22.6	25.8	9.7	3.2	3.2
	西日暮里 (n=28)	46.4	17.9	17.9	25.0	25.0	21.4	17.9	3.6	14.3	0.0

6. 人権意識

(1) 人権が守られているか

◇《守られている》が7割を超え、《守られていない》が2割強

問 21 あなたは、今の社会は人権が守られていると思いますか。(○は1つだけ)



(注) 《守られている》＝「十分守られている」＋「十分ではないが守られている」

《守られていない》＝「あまり守られていない」＋「全然守られていない」

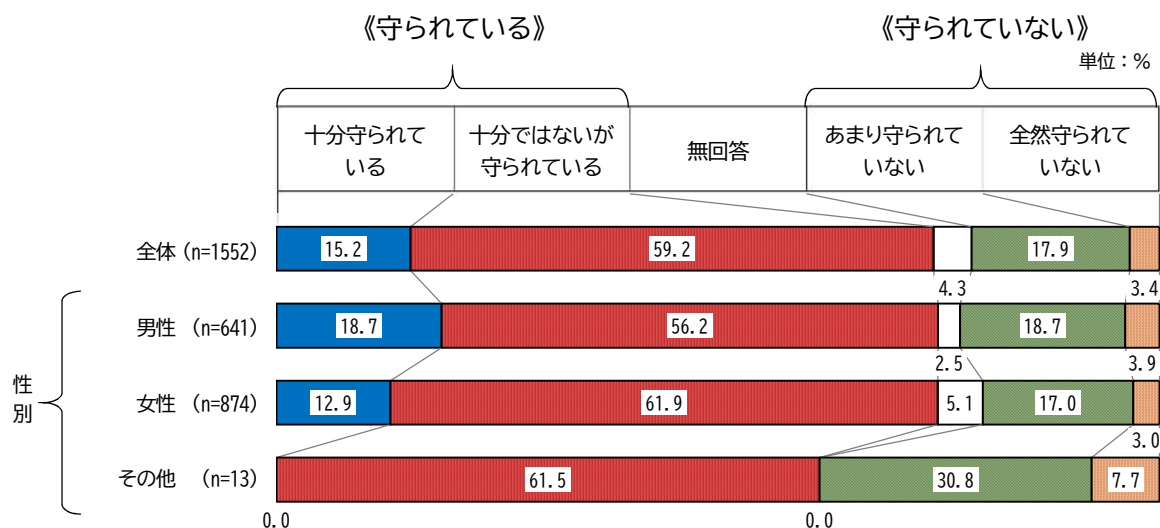
人権が守られているか聞いたところ、「十分守られている」(15.2%)と「十分ではないが守られている」(59.2%)を合わせた《守られている》(74.4%)の割合は7割を超えている。

一方、「あまり守られていない」(17.9%)と「全然守られていない」(3.4%)を合わせた《守られていない》(21.3%)は2割強となっている。

性別でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は男性（74.9%）と女性（74.8%）で大きな差はみられない。

一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は男性（22.6%）が女性（20.0%）より 2.6 ポイント高くなっている。

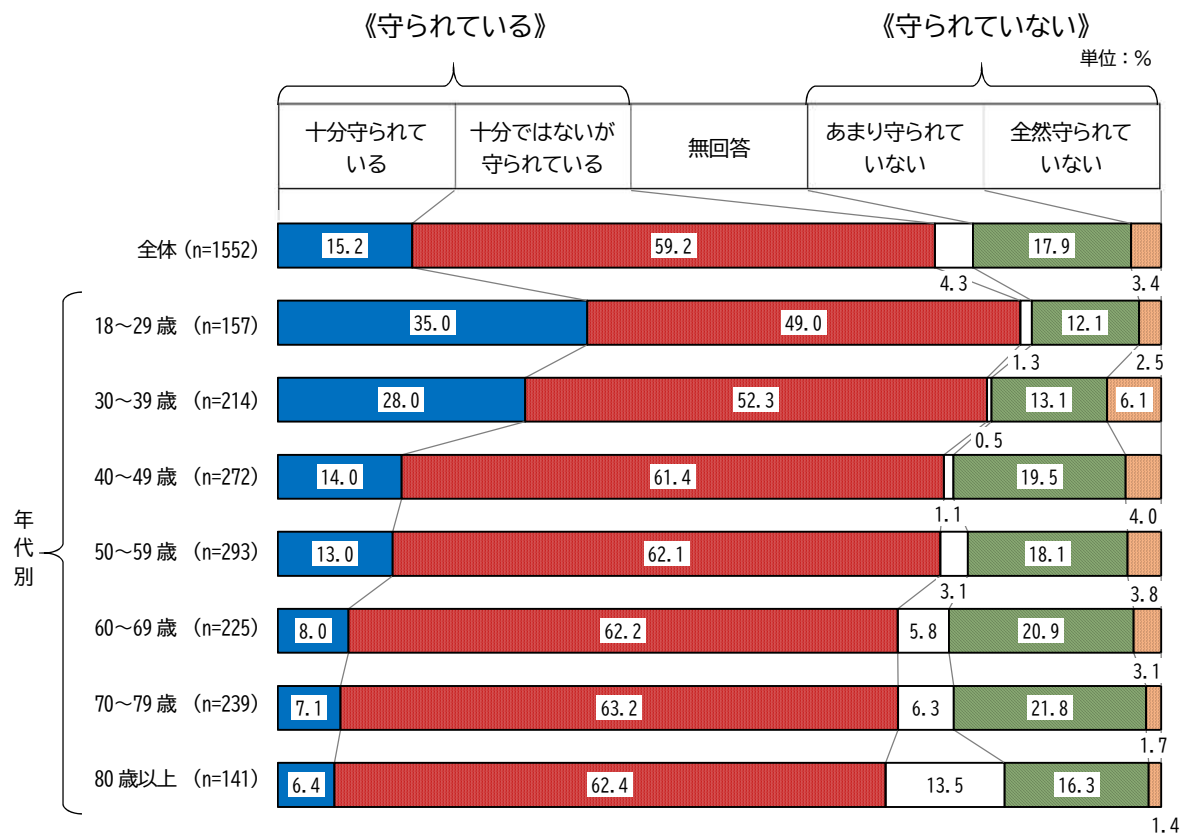
人権が守られているか 性別



年代別でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は年齢層が低いほど割合が高い傾向にあり、18～29歳（84.0%）では8割半ば近くとなっている。

一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は60～69歳（24.0%）と40～49歳、70～79歳（23.5%）が2割半ばとなっている。

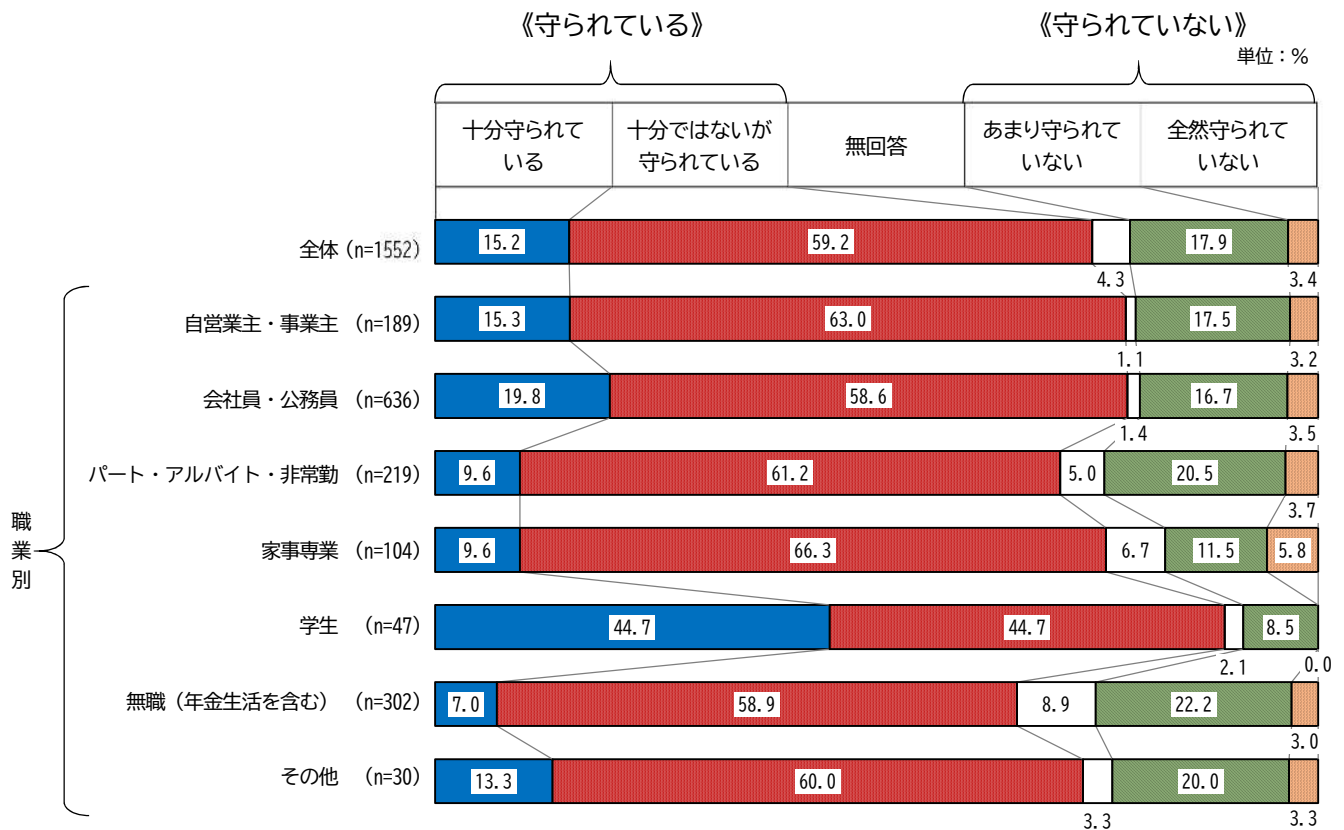
人権が守られているか 年代別



職業別でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は学生（89.4%）で9割弱と最も高くなっている。

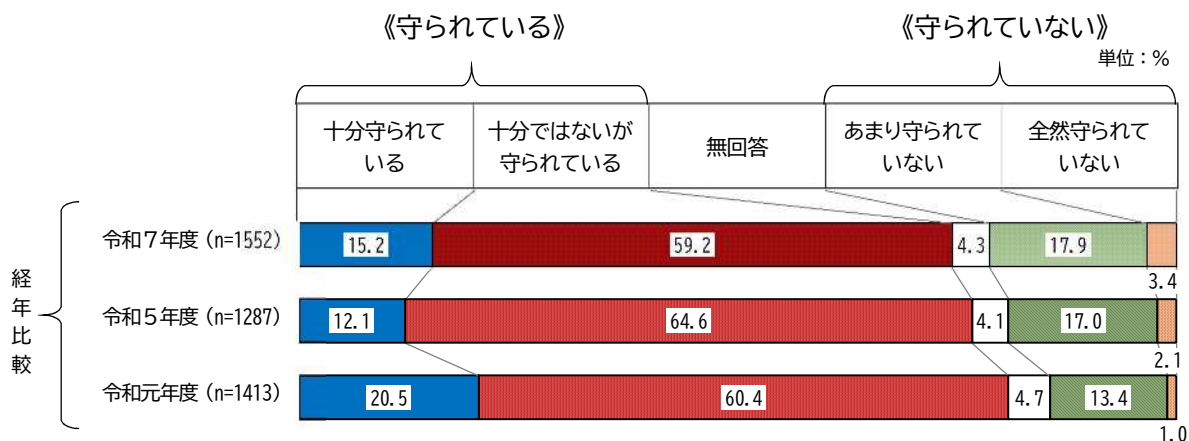
一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は無職（年金生活を含む）（25.2%）が2割半ばと最も高くなっている。

人権が守られているか 職業別



経年比較でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は、令和元年度が80.9%、令和5年度が76.7%、令和7年度が74.4%で、年々減少している。一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は、令和元年度が14.4%、令和5年度が19.1%、令和7年度が21.3%で、年々増加している。

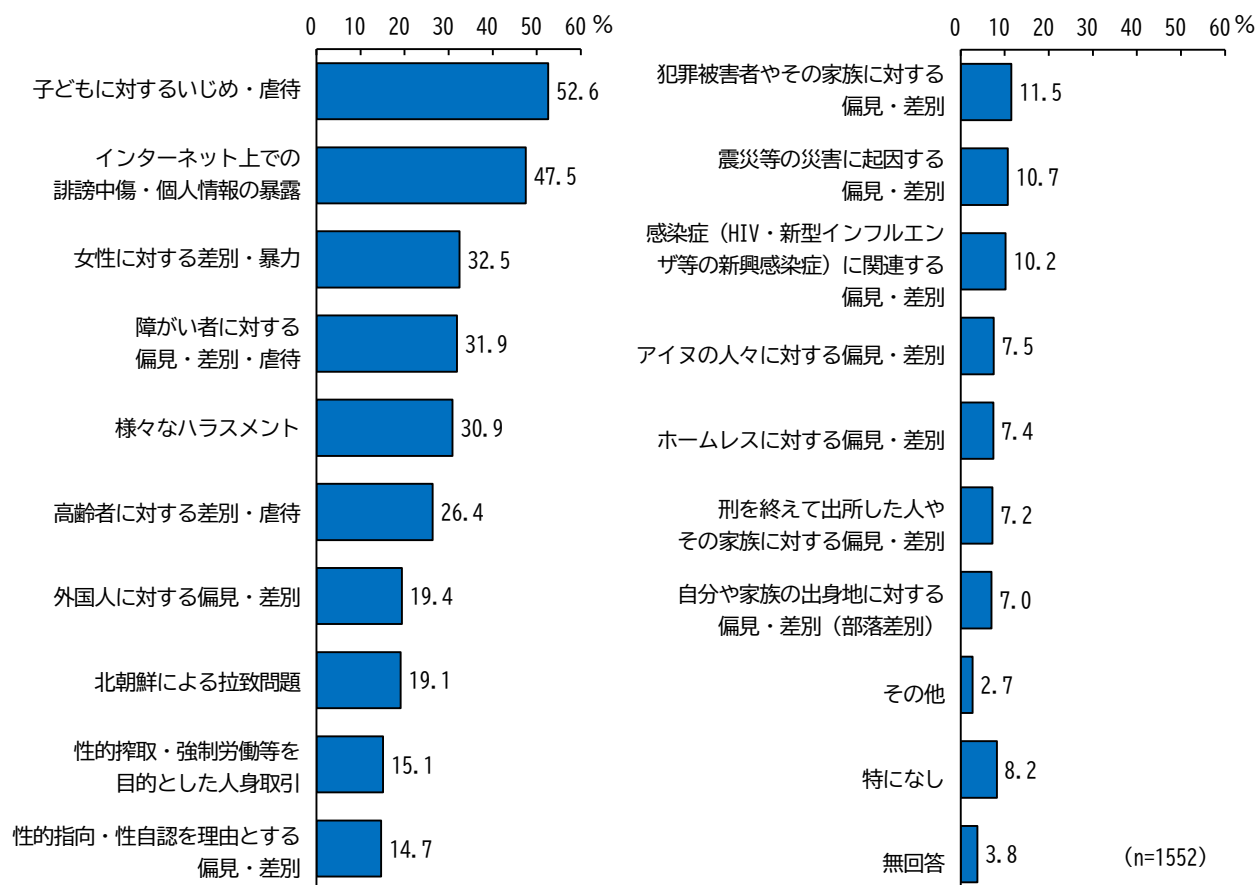
人権が守られているか 経年比較



(2) 関心のある人権問題

◇「子どもに対するいじめ・虐待」が5割強

問 22 あなたが、関心があり、解消に向けて取り組むべきと考える人権問題は何ですか。
(○はいくつでも)



関心のある人権問題について聞いたところ、「子どもに対するいじめ・虐待」（52.6%）が5割強と最も高く、次いで「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」（47.5%）が5割近くで高くなっている。

性別でみると、男女とも「子どもに対するいじめ・虐待」の割合が最も高く、女性（55.4%）が5割半ば、男性（49.6%）が5割弱で女性の方が6ポイント近く高くなっている。また、「女性に対する差別・暴力」は女性（38.0%）が男性（25.0%）より13.0ポイント高くなっている。

関心のある人権問題 性別

単位：%

		子どもに対するいじめ・虐待	インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	女性に対する差別・暴力	障がい者に対する偏見・差別・虐待	様々なハラスメント	高齢者に対する差別・虐待	外国人に対する偏見・差別	北朝鮮による拉致問題	性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引	性的指向・性自認を理由とする偏見・差別
全体 (n=1552)		52.6	47.5	32.5	31.9	30.9	26.4	19.4	19.1	15.1	14.7
性別	男性 (n=641)	49.6	46.0	25.0	31.0	29.2	22.6	21.2	19.0	14.0	14.2
	女性 (n=874)	55.4	48.5	38.0	32.5	32.0	29.3	18.0	18.8	15.7	14.9
	その他 (n=13)	46.2	61.5	69.2	30.8	53.8	23.1	30.8	30.8	30.8	30.8

		犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別	震災等の災害に起因する偏見・差別	感染症(HIV・新型インフルエンザ等の新興感染症)に関連する偏見・差別	アイヌの人々に対する偏見・差別	ホームレスに対する偏見・差別	刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	自分や家族の出身地に対する偏見・差別(部落差別)	その他	特になし	無回答
全体 (n=1552)		11.5	10.7	10.2	7.5	7.4	7.2	7.0	2.7	8.2	3.8
性別	男性 (n=641)	11.7	10.9	10.6	7.2	8.9	7.6	8.3	3.4	8.9	2.8
	女性 (n=874)	11.1	10.5	9.6	7.3	6.1	6.5	5.7	2.3	7.7	3.9
	その他 (n=13)	23.1	15.4	23.1	23.1	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0

年代別でみると、「子どもに対するいじめ・虐待」は30～49歳が6割台と高くなっている。「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」は40～79歳が5割台と高くなっている。

関心のある人権問題 年代別

単位：％

		子どもに対するいじめ・虐待	インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	女性に対する差別・暴力	障がい者に対する偏見・差別・虐待	様々なハラスメント	高齢者に対する差別・虐待	外国人に対する偏見・差別	北朝鮮による拉致問題	性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引	性的指向・性自認を理由とする偏見・差別
	全体 (n=1552)	52.6	47.5	32.5	31.9	30.9	26.4	19.4	19.1	15.1	14.7
年代別	18～29歳 (n=157)	48.4	43.3	37.6	24.2	31.8	14.6	21.7	12.1	19.7	13.4
	30～39歳 (n=214)	62.1	43.0	36.0	26.2	32.7	15.9	22.4	10.7	21.5	18.7
	40～49歳 (n=272)	63.2	50.0	34.9	35.7	37.1	21.7	21.0	14.7	16.9	17.6
	50～59歳 (n=293)	46.8	50.2	29.7	30.4	31.4	31.1	18.1	17.1	13.3	14.7
	60～69歳 (n=225)	56.0	53.8	35.6	40.0	27.6	36.9	18.7	22.2	11.6	12.9
	70～79歳 (n=239)	49.0	52.3	33.1	37.2	32.6	31.4	22.2	31.0	15.1	16.3
	80歳以上 (n=141)	37.6	32.6	19.1	22.7	18.4	29.8	9.2	28.4	7.8	5.7
		犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別	震災等の災害に起因する偏見・差別	感染症(HIV・新型インフルエンザ等の新興感染症)に関連する偏見・差別	アイヌの人々に対する偏見・差別	ホームレスに対する偏見・差別	刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	自分や家族の出身地に対する偏見・差別(部落差別)	その他	特になし	無回答
	全体 (n=1552)	11.5	10.7	10.2	7.5	7.4	7.2	7.0	2.7	8.2	3.8
年代別	18～29歳 (n=157)	12.7	13.4	10.2	7.0	8.3	5.7	8.3	2.5	4.5	1.9
	30～39歳 (n=214)	9.8	11.2	7.9	4.7	7.5	5.6	7.5	4.2	5.6	0.5
	40～49歳 (n=272)	15.8	9.9	9.6	8.5	6.6	7.0	8.5	3.3	7.0	1.5
	50～59歳 (n=293)	9.9	10.9	9.6	6.5	6.5	7.2	5.1	4.1	11.6	1.7
	60～69歳 (n=225)	12.4	11.6	10.7	9.3	6.2	9.3	9.8	2.2	7.6	1.3
	70～79歳 (n=239)	11.3	11.7	15.5	10.5	11.7	9.6	6.7	0.8	10.9	5.0
	80歳以上 (n=141)	6.4	4.3	7.1	5.0	3.5	3.5	2.1	0.7	9.2	19.1

人権が守られているか別でみると、「様々なハラスメント」は人権が守られていないと思う人ほど割合が高くなっており、「全然守られていない」（47.2％）では4割半ばを超えている。「十分ではないが守られている」と回答した人では、「子どもに対するいじめ・虐待」（55.5％）を選択した割合が5割半ば、「あまり守られていない」と回答した人では、「子どもに対するいじめ・虐待」（54.7％）と「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」（54.7％）を選択した割合が5割半ば近くと高くなっている。

関心のある人権問題 人権が守られているか別

単位：％

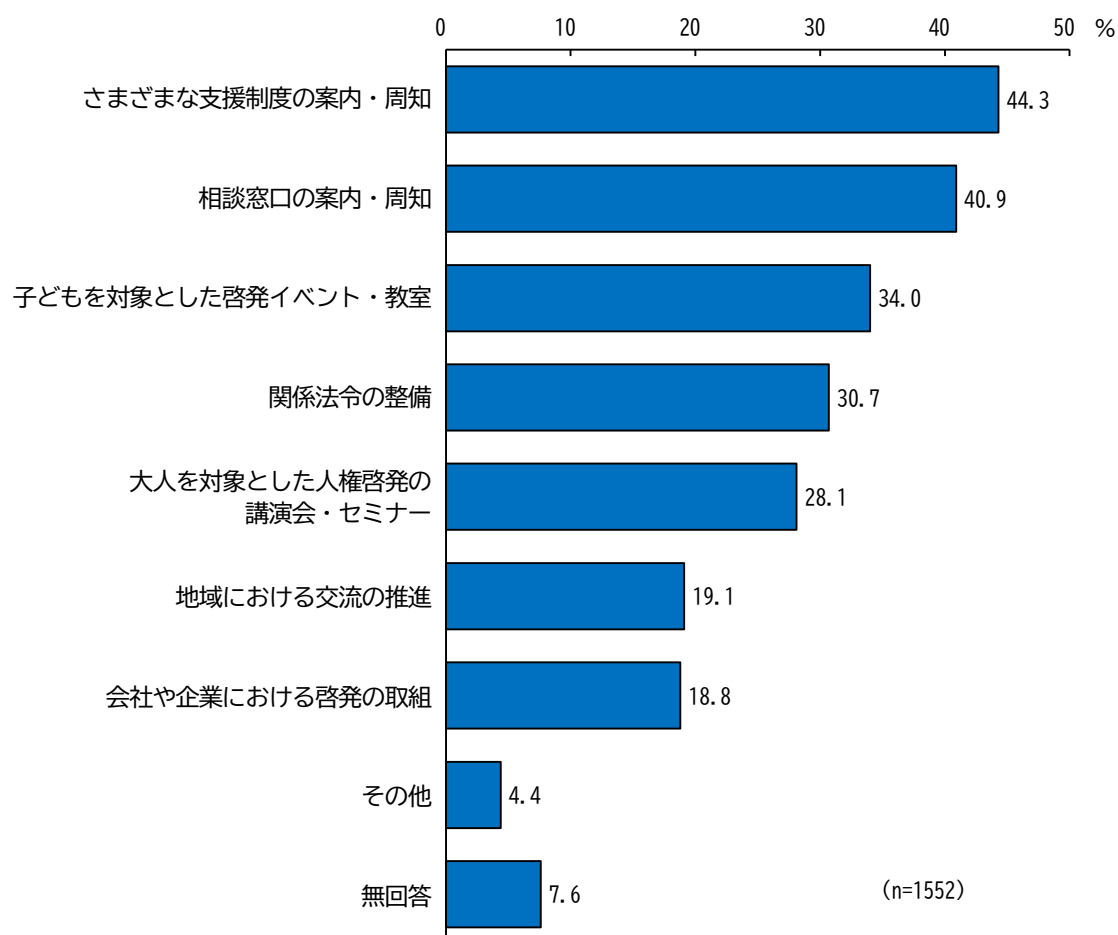
		子どもに対するいじめ・虐待	インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	女性に対する差別・暴力	障がい者に対する偏見・差別・虐待	様々なハラスメント	高齢者に対する差別・虐待	外国人に対する偏見・差別	北朝鮮による拉致問題	性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引	性的指向・性自認を理由とする偏見・差別
全体 (n=1552)		52.6	47.5	32.5	31.9	30.9	26.4	19.4	19.1	15.1	14.7
人権が守られているか別	十分守られている (n=236)	47.0	39.0	21.2	22.0	21.2	17.4	18.2	15.3	11.4	6.8
	十分ではないが守られている (n=919)	55.5	49.6	34.6	34.5	30.5	27.4	18.8	20.2	14.9	14.8
	あまり守られていない (n=278)	54.7	54.7	38.5	35.6	40.3	31.7	24.1	20.5	19.4	21.2
	全然守られていない (n=53)	41.5	41.5	37.7	24.5	47.2	26.4	18.9	18.9	18.9	18.9

		犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別	震災等の災害に起因する偏見・差別	感染症（HIV・新型インフルエンザ等の新興感染症）に関連する偏見・差別	アイヌの人々に対する偏見・差別	ホームレスに対する偏見・差別	刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	自分や家族の出身地に対する偏見・差別（部落差別）	その他	特になし	無回答
全体 (n=1552)		11.5	10.7	10.2	7.5	7.4	7.2	7.0	2.7	8.2	3.8
人権が守られているか別	十分守られている (n=327)	7.6	7.6	7.6	5.9	7.2	5.1	6.8	2.1	15.3	0.8
	十分ではないが守られている (n=239)	12.0	9.5	10.8	6.6	5.3	7.1	6.0	2.0	7.1	2.5
	あまり守られていない (n=211)	13.3	17.3	10.8	10.4	13.3	9.0	10.8	4.7	5.8	1.4
	全然守られていない (n=168)	17.0	15.1	11.3	15.1	17.0	9.4	7.5	11.3	9.4	1.9

(3) 多様性を認め合う社会の実現に必要な取組

◇「さまざまな支援制度の案内・周知」が4割超

問 23 すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合う社会を実現するためには、どのような事業や取組が必要だと考えますか。(〇はいくつでも)



多様性を認め合う社会の実現に必要な取組について聞いたところ、「さまざまな支援制度の案内・周知」(44.3%)が4割を超え最も高く、以下、「相談窓口の案内・周知」(40.9%)、「子どもを対象とした啓発イベント・教室」(34.0%)が続いている。

性別でみると、男女とも「さまざまな支援制度の案内・周知」の割合が最も高く、女性（49.8%）が5割弱、男性（38.1%）が4割近くで女性の方が11.7ポイント高くなっている。「相談窓口の案内・周知」は女性（45.1%）が男性（35.4%）より9.7ポイント高くなっている。

多様性を認め合う社会の実現に必要な取組 性別

単位：％

		さまざまな支援制度の案内・周知	相談窓口の案内・周知	子どもを対象とした啓発イベント・教室	関係法令の整備	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	地域における交流の推進	会社や企業における啓発の取組	その他	無回答
全体 (n=1552)		44.3	40.9	34.0	30.7	28.1	19.1	18.8	4.4	7.6
性別	男性 (n=641)	38.1	35.4	32.4	33.4	27.3	20.3	18.7	6.6	7.0
	女性 (n=874)	49.8	45.1	35.2	28.9	28.6	18.6	18.9	2.7	7.3
	その他 (n=13)	46.2	46.2	38.5	38.5	38.5	7.7	38.5	23.1	0.0

年代別でみると、「相談窓口の案内・周知」は40～49歳（33.8%）と30～39歳（31.3%）が3割台と他の年齢層より低くなっている。「さまざまな支援制度の案内・周知」は60～69歳（50.7%）が5割、「子どもを対象とした啓発イベント・教室」は40～49歳（44.1%）が4割半ば近くと高くなっている。「関係法令の整備」は18～49歳が4割近くと高くなっている。

多様性を認め合う社会の実現に必要な取組 年代別

単位：％

		さまざまな支援制度の案内・周知	相談窓口の案内・周知	子どもを対象とした啓発イベント・教室	関係法令の整備	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	地域における交流の推進	会社や企業における啓発の取組	その他	無回答
全体 (n=1552)		44.3	40.9	34.0	30.7	28.1	19.1	18.8	4.4	7.6
年代別	18～29歳 (n=157)	43.9	41.4	28.7	38.2	21.7	16.6	24.2	1.3	6.4
	30～39歳 (n=214)	41.6	31.3	37.9	38.3	27.1	16.8	22.0	5.6	3.7
	40～49歳 (n=272)	44.1	33.8	44.1	38.6	33.8	19.5	22.1	6.6	4.8
	50～59歳 (n=293)	44.4	40.3	27.6	32.1	25.9	18.1	18.1	7.5	4.1
	60～69歳 (n=225)	50.7	49.3	36.4	29.8	28.4	22.2	19.6	4.0	3.6
	70～79歳 (n=239)	47.7	50.6	32.6	21.8	32.6	20.5	15.9	1.3	10.5
	80歳以上 (n=141)	35.5	41.8	27.7	10.6	22.7	20.6	7.8	2.1	25.5

人権が守られているか別でみると、「子どもを対象とした啓発イベント・教室」は人権が守られていると思う人ほど割合が高く、「十分守られている」(36.9%)では3割半ばを超えている。「さまざまな支援制度の案内・周知」は「十分ではないが守られている」(48.1%)が5割近く、「相談窓口の案内・周知」は「あまり守られていない」(44.6%)と「十分ではないが守られている」(43.6%)が4割半ば近くと高くなっている。「関係法令の整備」は「全然守られていない」(41.5%)が4割強と高くなっている。

多様性を認め合う社会の実現に必要な取組 人権が守られているか別

単位：％

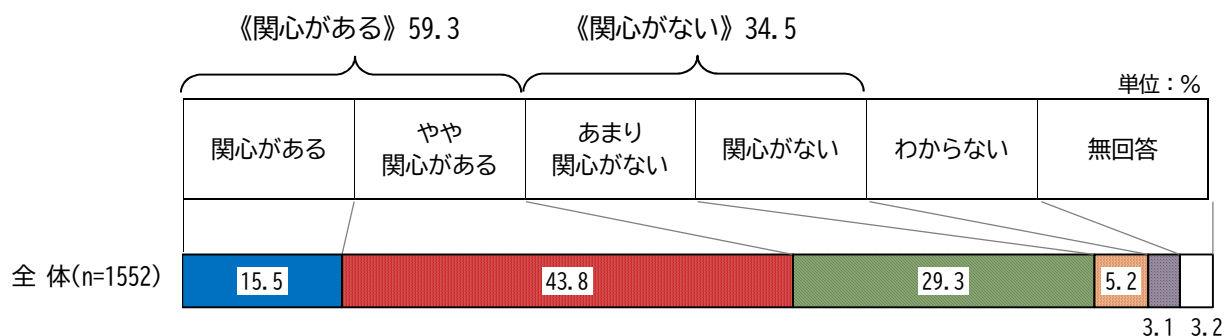
		さまざまな支援制度の案内・周知	相談窓口の案内・周知	子どもを対象とした啓発イベント・教室	関係法令の整備	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	地域における交流の推進	会社や企業における啓発の取組	その他	無回答
全体 (n=1552)		44.3	40.9	34.0	30.7	28.1	19.1	18.8	4.4	7.6
人権が守られているか別	十分守られている (n=236)	34.7	31.8	36.9	31.4	25.4	21.2	18.6	4.2	5.5
	十分ではないが守られている (n=919)	48.1	43.6	35.4	28.9	29.6	19.4	18.3	3.7	5.4
	あまり守られていない (n=278)	43.5	44.6	33.5	37.1	29.9	19.4	20.9	5.0	5.8
	全然守られていない (n=53)	37.7	30.2	17.0	41.5	18.9	11.3	24.5	18.9	15.1

7. 区政への関心と要望

(1) 区政への関心

◇ 《関心がある》が約6割

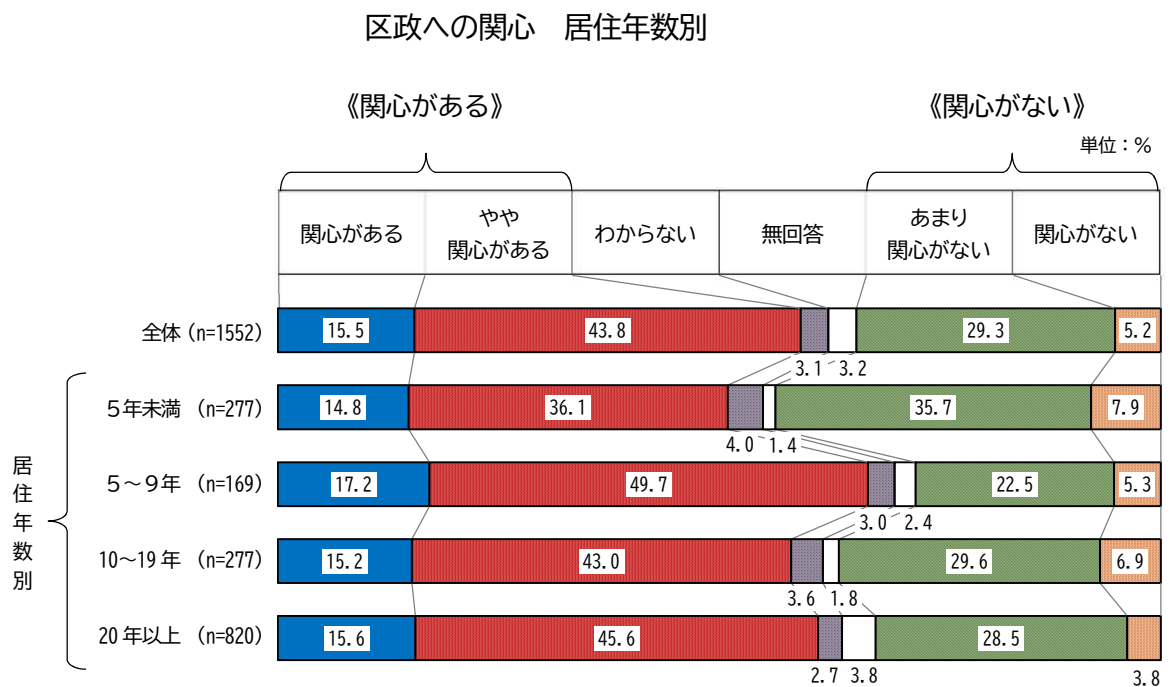
問 24 あなたは、区政にどの程度関心がありますか。(○は1つだけ)



(注) 《関心がある》＝「関心がある」＋「やや関心がある」
《関心がない》＝「あまり関心がない」＋「関心がない」

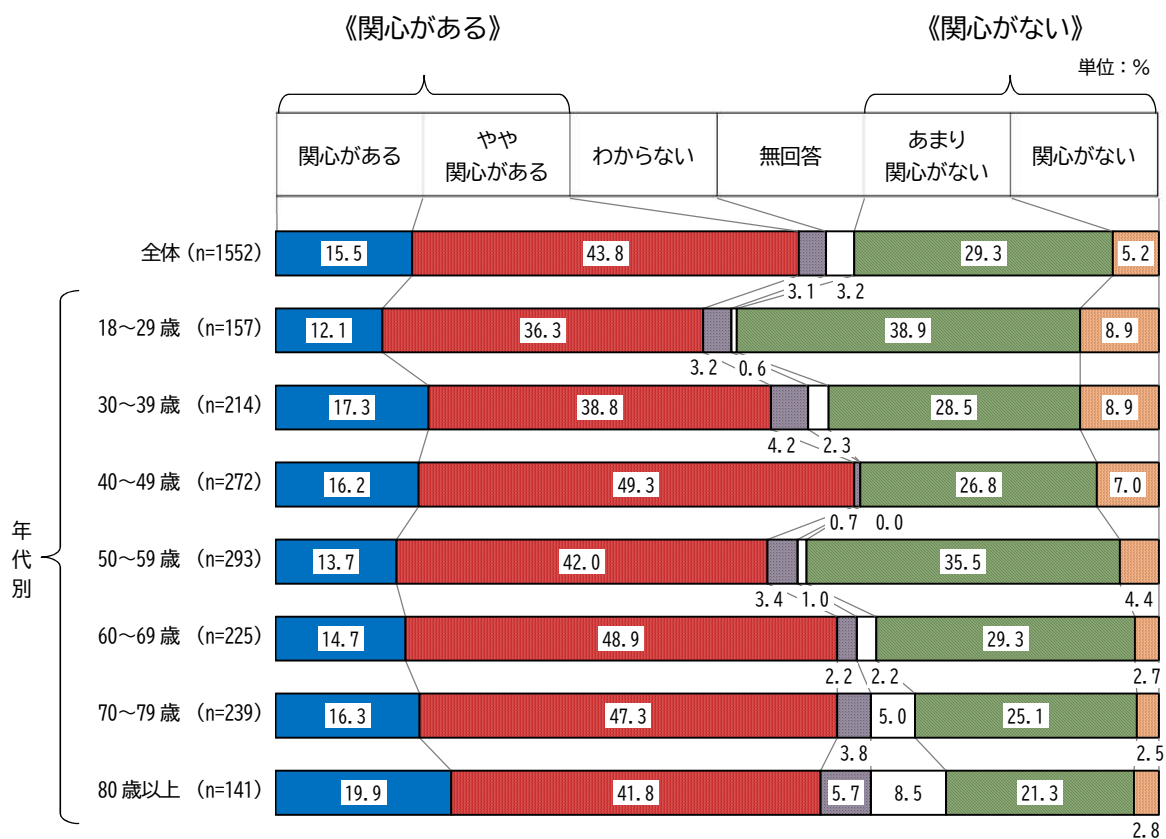
区政への関心について聞いたところ、「関心がある」(15.5%)と「やや関心がある」(43.8%)を合わせた《関心がある》(59.3%)は約6割、一方、「あまり関心がない」(29.3%)と「関心がない」(5.2%)を合わせた《関心がない》(34.5%)は3割半ば近くとなっている。

居住年数別でみると、《関心がある》は「5～9年」(66.9%)が6割半ばを超え、「20年以上」(61.2%)が6割強と高く、すべての居住年数で《関心がある》の割合が5割を超えている。一方、《関心がない》は「5年未満」(43.6%)が4割半ば近くと最も高くなっている。



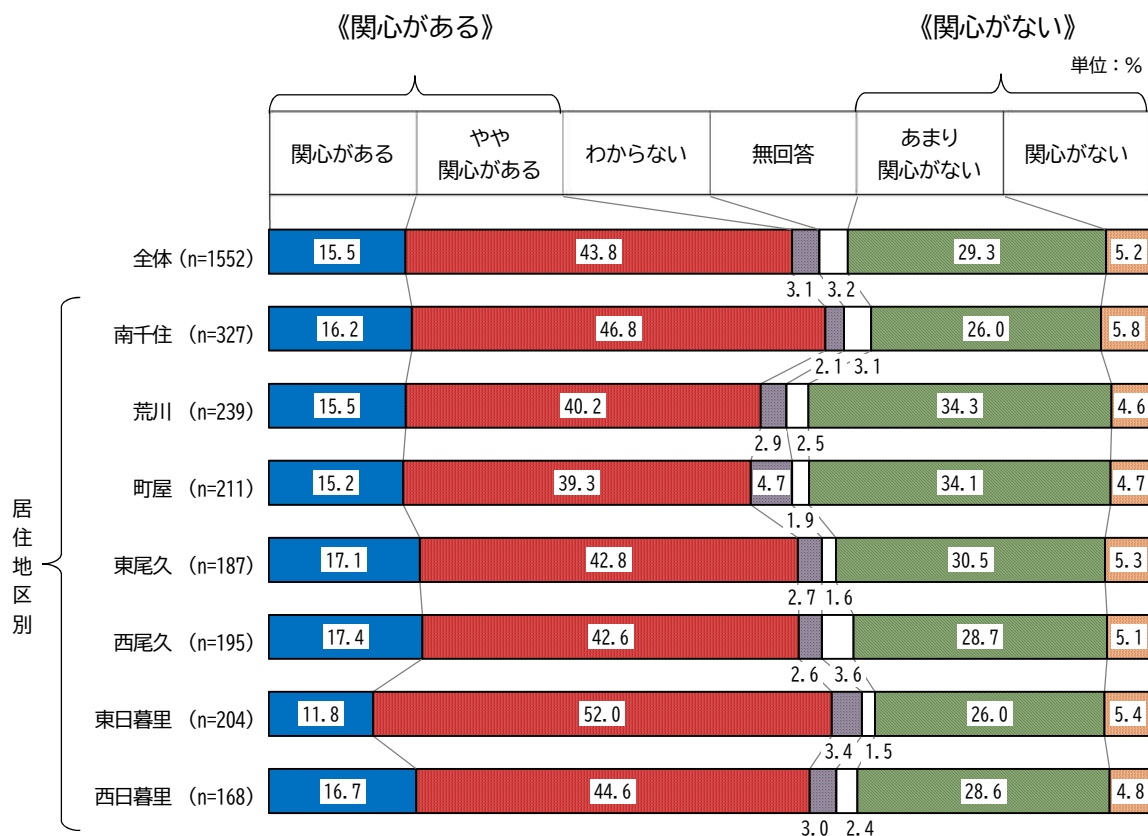
年代別でみると、《関心がある》は40～49歳（65.5%）が6割を超え最も高く、次いで60～69歳と70～79歳（63.6%）が高くなっている。一方、《関心がない》は18～29歳（47.8%）が5割近くで最も高く、30～69歳が3割台と、70歳以上に比べ高くなっている。

区政への関心 年代別



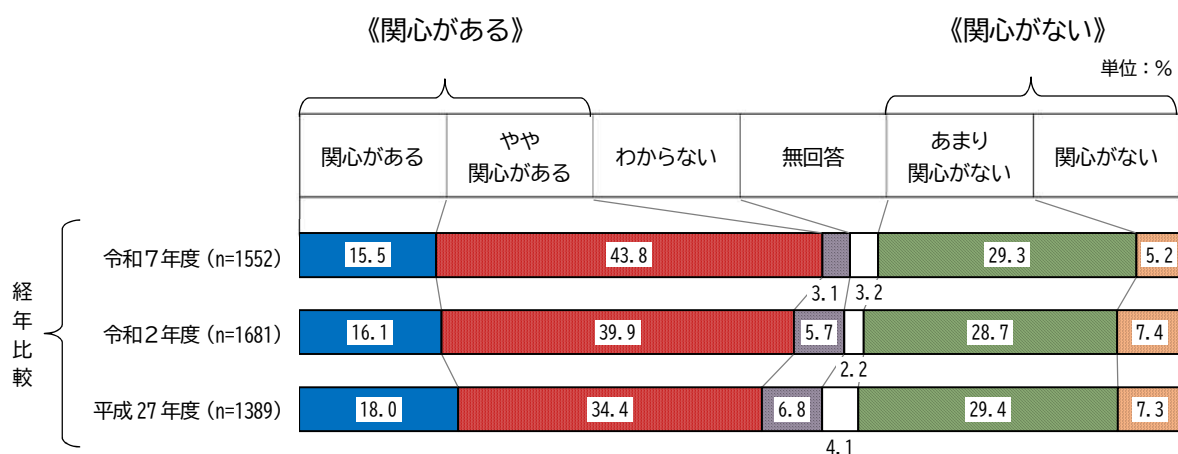
居住地区別でみると、《関心がある》は東日暮里地区（63.8%）と南千住地区（63.0%）が6割半ば近く、西日暮里地区（61.3%）が6割強、西尾久地区（60.0%）が6割と高くなっている。

区政への関心 居住地区別



経年比較でみると、《関心がある》は平成27年度が52.4%、令和2年度が56.0%、令和7年度が59.3%で、増加している。一方、《関心がない》は平成27年度が36.7%、令和2年度が36.1%、令和7年度が34.5%と減少している。

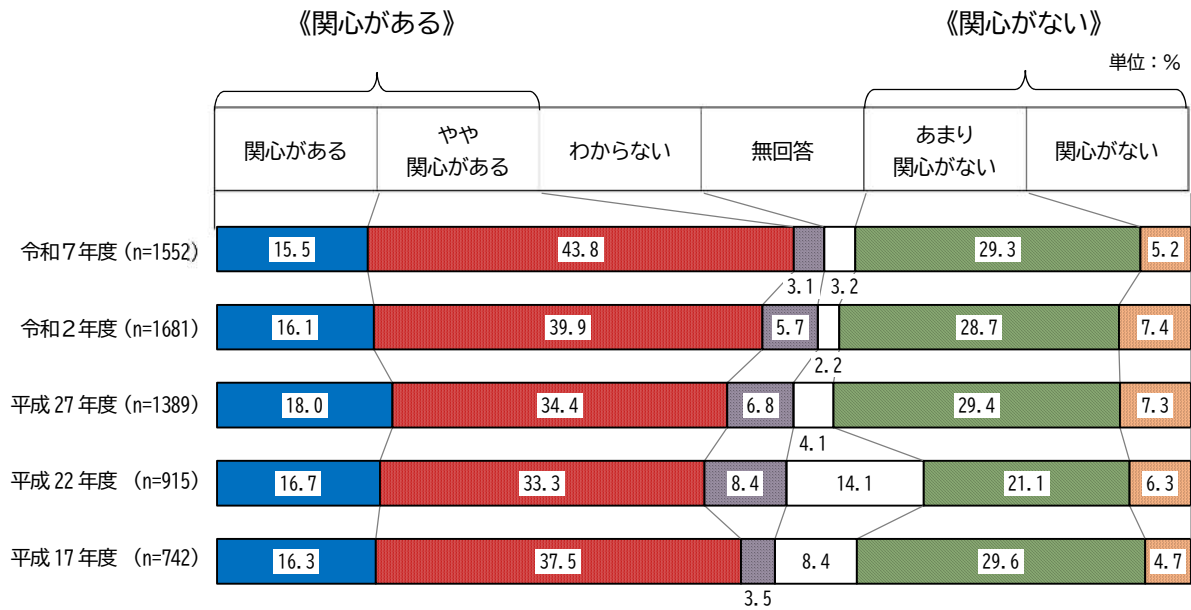
区政への関心 経年比較



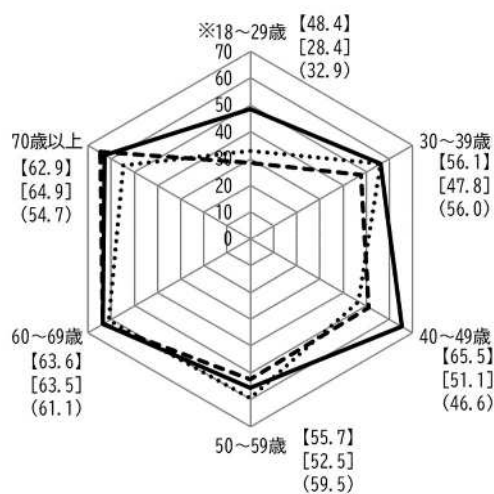
過去の荒川区政世論調査から

問：あなたは、区政にどの程度関心がありますか。

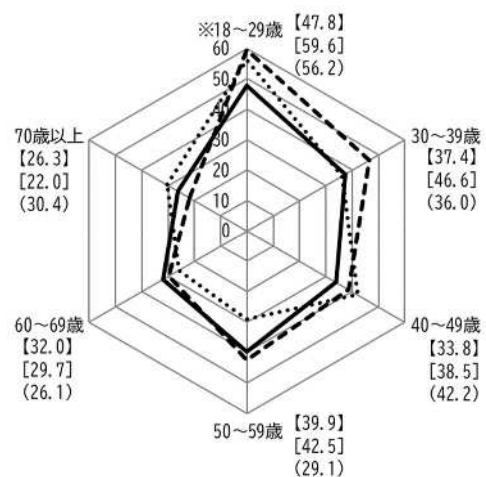
《関心がある》は平成 22 年度に減少しているが、平成 22 年度から令和 7 年度にかけては、増加している。



《関心がある》割合
年代別・経年比較



《関心がない》割合
年代別・経年比較



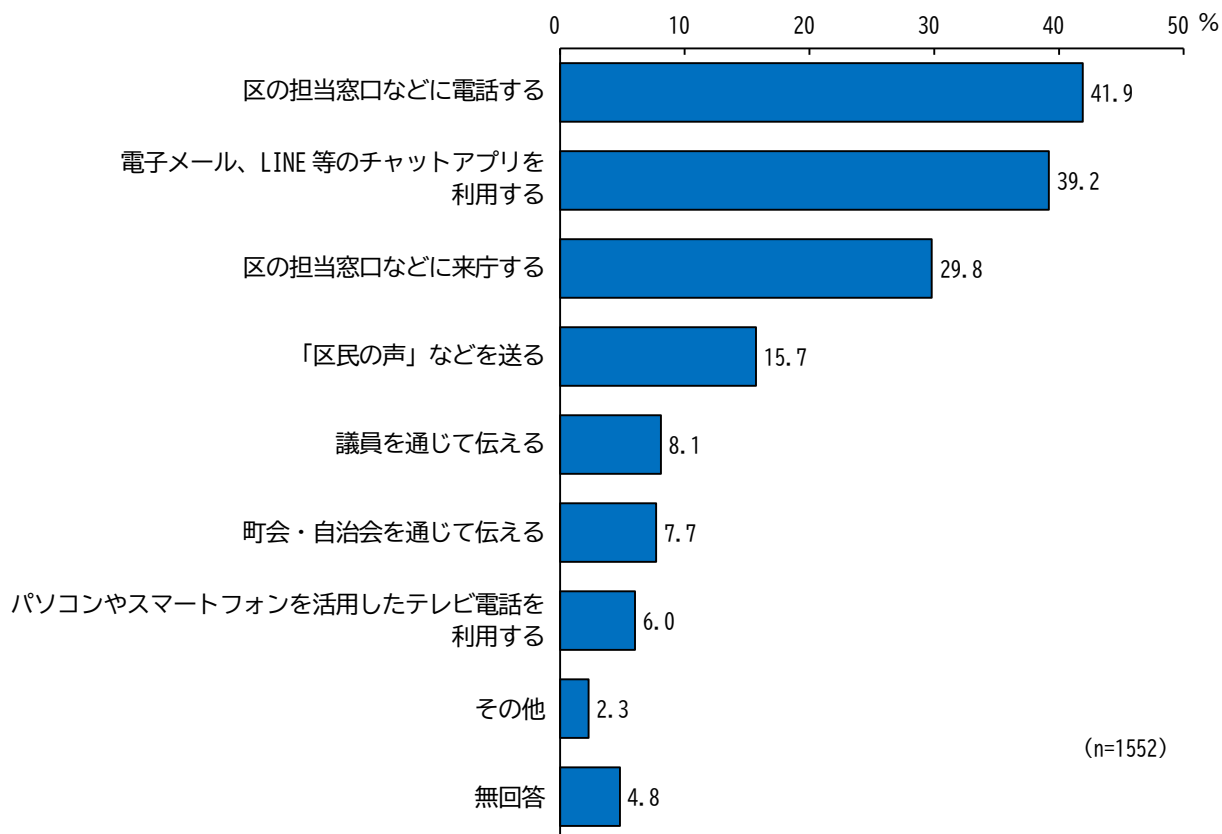
※平成 17 年度は、20～29 歳

【 — 】 令和7年
[- -] 平成27年
(.....) 平成17年
単位：%

(2) 区政への意見・要望などの伝達方法

◇「区の担当窓口などに電話する」が4割強

問 25 区に意見・要望や相談することがある場合、どのような手段を利用したいですか。
(〇はいくつでも)



区政への意見・要望などの伝達方法について聞いたところ、「区の担当窓口などに電話する」(41.9%)が4割強で最も高く、以下、「電子メール、LINE等のチャットアプリを利用する」(39.2%)、「区の担当窓口などに来庁する」(29.8%)、「区民の声」などを送る」(15.7%)が続いている。

年代別でみると、「電子メール、LINE等のチャットアプリを利用する」は年齢層が低いほど割合が高くなっており、18～29歳（66.2%）で6割半ばを超え、30～39歳（59.3%）で約6割となっている。一方、「区の担当窓口などに電話する」は年齢層が高いほど割合が高くなる傾向にあり、70～79歳（57.7%）と80歳以上（56.0%）で5割半ばを超えて高くなっている。「区の担当窓口などに来庁する」は70～79歳（48.1%）で5割近くと高くなっている。

区政への意見・要望などの伝達方法 年代別

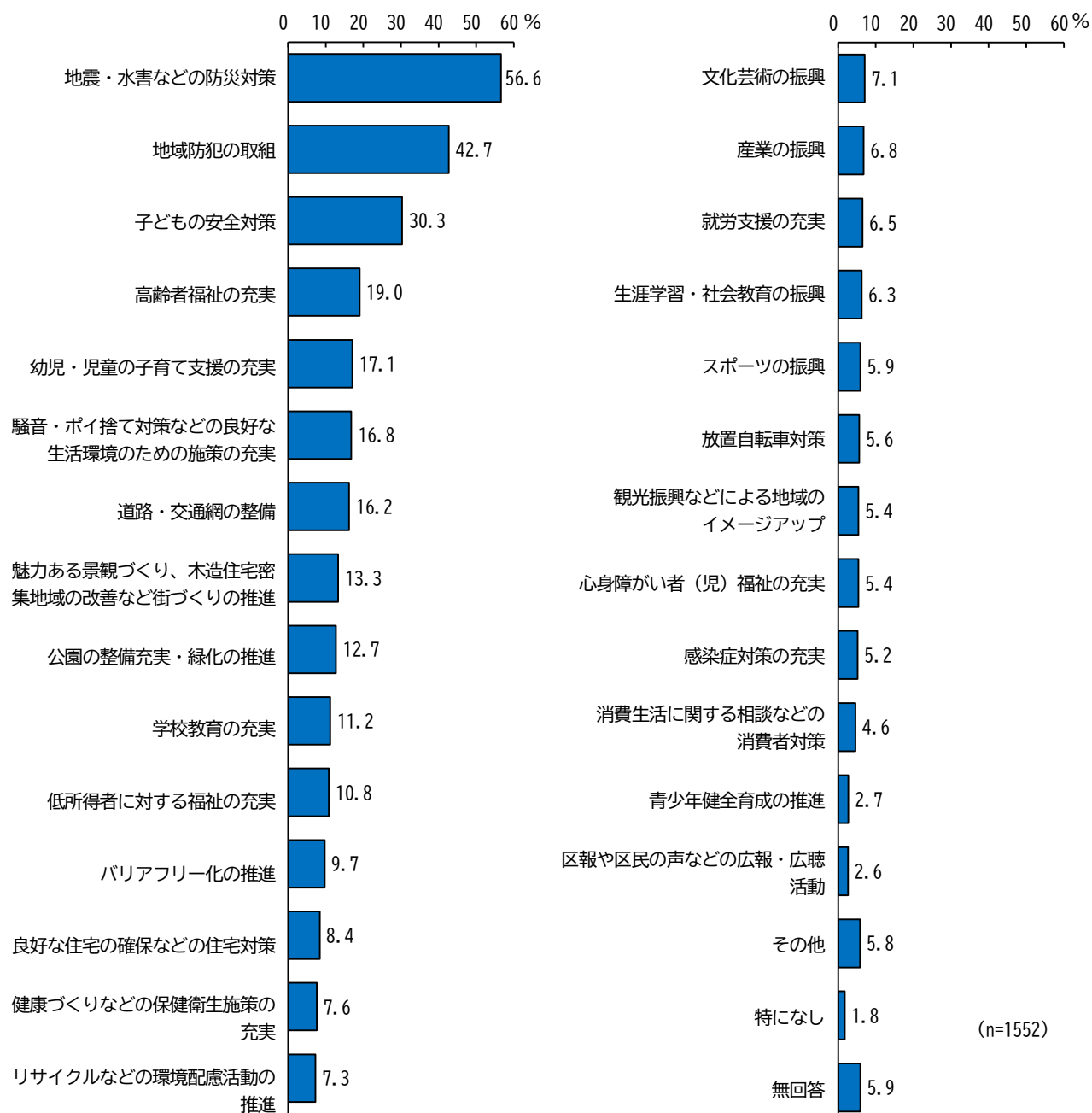
単位：％

	区の担当 窓口など に電話す る	電子メー ル、LINE 等のチャッ トアプリを 利用する	区の担当 窓口など に来庁す る	「区民の 声」などを 送る	議員を通 じて伝える	町会・自治 会を通じ て伝える	パソコンや スマート フォンを活 用したテレ ビ電話を 利用する	その他	無回答
全体（n=1552）	41.9	39.2	29.8	15.7	8.1	7.7	6.0	2.3	4.8
18～29歳（n=157）	24.8	66.2	18.5	16.6	4.5	3.8	9.6	0.0	2.5
30～39歳（n=214）	31.8	59.3	18.7	24.8	6.5	3.3	7.9	2.8	1.9
40～49歳（n=272）	32.7	57.7	17.6	21.3	8.8	8.8	6.6	1.5	2.6
50～59歳（n=293）	43.0	41.0	30.4	12.6	7.8	6.1	6.5	4.1	1.0
60～69歳（n=225）	49.3	29.3	39.1	14.2	9.8	8.4	5.8	3.6	4.9
70～79歳（n=239）	57.7	13.0	48.1	11.7	8.8	13.0	3.8	1.3	5.9
80歳以上（n=141）	56.0	2.8	37.6	6.4	10.6	10.6	1.4	2.1	14.2

(3) 今後、区に力を入れてほしい事業

◇「地震・水害などの防災対策」が5割を超える

問 26 荒川区が行っている次の事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を、次の中からお選びください。(〇は5つまで)



今後、区に力を入れてほしい事業について聞いたところ、「地震・水害などの防災対策」(56.6%)が5割を超えて最も高く、以下、「地域防犯の取組」(42.7%)、「子どもの安全対策」(30.3%)が続いている。

経年比較すると、「地震・水害などの防災対策」は、令和元年度を除き、第1位となっている。「地域防犯の取組」は令和2年度以降第2位となっており、令和7年度（42.7%）が最も高くなっている。

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） 経年比較

単位：％

年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
令和7年	地震・水害などの防災対策	56.6	地域防犯の取組	42.7	子どもの安全対策	30.3	高齢者福祉の充実	19.0	幼児・児童の子育て支援の充実	17.1	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.8	道路・交通網の整備	16.2
令和6年	地震・水害などの防災対策	62.4	地域防犯の取組	33.9	子どもの安全対策／高齢者福祉の充実			25.2	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	18.1	幼児・児童の子育て支援の充実	17.3	道路・交通網の整備	17.0
令和5年	地震・水害などの防災対策	59.9	地域防犯の取組	36.4	子どもの安全対策	31.1	高齢者福祉の充実	25.7	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／幼児・児童の子育て支援の充実			19.7	道路・交通網の整備	18.9
令和4年	地震・水害などの防災対策	58.8	地域防犯の取組	31.0	高齢者福祉の充実	26.8	子どもの安全対策	23.0	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7	公園の整備充実・緑化の推進	18.3	幼児・児童の子育て支援の充実	15.3
令和3年	地震・水害などの防災対策	64.0	地域防犯の取組	32.8	子どもの安全対策	29.2	高齢者福祉の充実	27.1	幼児・児童の子育て支援の充実	18.1	感染症対策の充実	17.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	17.0
令和2年	地震・水害などの防災対策	58.2	地域防犯の取組	31.2	感染症対策の充実	25.3	子どもの安全対策	24.7	高齢者福祉の充実	24.3	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7	幼児・児童の子育て支援の充実	17.7
令和元年	高齢者福祉の充実	35.8	地震などの防災対策	34.7	幼児・児童の子育て支援の充実	23.9	子どもの安全対策	19.2	地域防犯の取組	19.0	学校教育の充実	18.1	健康づくりなどの保健衛生施策の充実	17.3
平成30年	地震などの防災対策	37.6	高齢者福祉の充実	25.8	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	24.3	地域防犯の取組	23.9	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	23.3	幼児・児童の子育て支援の充実	21.6	道路・交通網の整備	19.5
平成29年	地震などの防災対策	31.0	高齢者福祉の充実	28.4	幼児・児童の子育て支援の充実	24.1	道路・交通網の整備	20.7	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	20.5	地域防犯の取組	20.1	公園の整備充実・緑化の推進／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	19.3
平成28年	地震などの防災対策	37.0	高齢者福祉の充実	31.7	幼児・児童の子育て支援の充実	24.9	地域防犯の取組	22.2	子どもの安全対策	20.4	公園の整備充実・緑化の推進	19.6	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.0

居住地区別にみると、東日暮里地区を除いた地区で「地震・水害などの防災対策」が第1位、「地域防犯の取組」が第2位に挙げられている。東日暮里地区では「地域防犯の取組」が第1位、「地震・水害などの防災対策」が第2位に挙げられている。「子どもの安全対策」はすべての地区で第3位に挙げられている。

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） 居住地区別

単位：％

地区	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
全区	地震・水害などの防災対策	56.6	地域防犯の取組	42.7	子どもの安全対策	30.3	高齢者福祉の充実	19	幼児・児童の子育て支援の充実	17.1	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.8	道路・交通網の整備	16.2
南千住	地震・水害などの防災対策	57.8	地域防犯の取組	39.8	子どもの安全対策	33.3	高齢者福祉の充実	19.9	幼児・児童の子育て支援の充実	19.6	道路・交通網の整備	17.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	15.0
荒川	地震・水害などの防災対策	54.4	地域防犯の取組	34.7	子どもの安全対策	25.9	高齢者福祉の充実／幼児・児童の子育て支援の充実			20.5	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	17.6	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	16.7
町屋	地震・水害などの防災対策	64.9	地域防犯の取組	43.1	子どもの安全対策	26.1	道路・交通網の整備	19.9	高齢者福祉の充実	17.5	幼児・児童の子育て支援の充実	15.2	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／学校教育の充実	13.3
東尾久	地震・水害などの防災対策	63.1	地域防犯の取組	48.1	子どもの安全対策	33.2	高齢者福祉の充実	20.3	道路・交通網の整備	17.6	幼児・児童の子育て支援の充実／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進			13.9
西尾久	地震・水害などの防災対策	60.5	地域防犯の取組	44.1	子どもの安全対策	31.8	高齢者福祉の充実	23.1	幼児・児童の子育て支援の充実	15.9	道路・交通網の整備	13.8	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／低所得者に対する福祉の充実／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	13.3
東日暮里	地域防犯の取組	50.0	地震・水害などの防災対策	49.0	子どもの安全対策	27.9	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.6	幼児・児童の子育て支援の充実／公園の整備充実・緑化の推進			16.2	高齢者福祉の充実／道路・交通網の整備	15.7
西日暮里	地震・水害などの防災対策	47.0	地域防犯の取組	45.2	子どもの安全対策	35.7	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	30.4	幼児・児童の子育て支援の充実	17.3	高齢者福祉の充実	16.7	学校教育の充実	13.7

居住地区別に経年比較すると、令和5年度から令和7年度では全ての地区で「地震・水害などの防災対策」（全体第1位）が上位2位以内に挙げられている。

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） 居住地区別／経年比較

単位：％

地区	年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
南千住	令和7年	地震・水害などの防災対策	57.8	地域防犯の取組	39.8	子どもの安全対策	33.3	高齢者福祉の充実	19.9	幼児・児童の子育て支援の充実	19.6	道路・交通網の整備	17.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	15.0
	令和6年	地震・水害などの防災対策	60.3	地域防犯の取組	30.7	子どもの安全対策	28.0	高齢者福祉の充実	25.0	道路・交通網の整備	20.0	幼児・児童の子育て支援の充実	18.3	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	17.3
	令和5年	地震・水害などの防災対策	58.0	地域防犯の取組	35.1	子どもの安全対策	31.4	高齢者福祉の充実	29.8	道路・交通網の整備	20.8	幼児・児童の子育て支援の充実	19.6	バリアフリー化の推進	18.0

単位：％

地区	年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
荒川	令和7年	地震・水害などの防災対策	54.4	地域防犯の取組	34.7	子どもの安全対策	25.9	高齢者福祉の充実／幼児・児童の子育て支援の充実			20.5	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	17.6	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	16.7
	令和6年	地震・水害などの防災対策	65.2	地域防犯の取組	34.8	子どもの安全対策	25.4	高齢者福祉の充実	24.2	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	21.3	幼児・児童の子育て支援の充実／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進			17.6
	令和5年	地震・水害などの防災対策	58.5	子どもの安全対策	36.7	地域防犯の取組	35.4	高齢者福祉の充実	26.2	幼児・児童の子育て支援の充実	24.0	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	22.7	道路・交通網の整備	18.3

単位：％

地区	年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
町屋	令和7年	地震・水害などの防災対策	64.9	地域防犯の取組	43.1	子どもの安全対策	26.1	道路・交通網の整備	19.9	高齢者福祉の充実	17.5	幼児・児童の子育て支援の充実	15.2	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／学校教育の充実	13.3
	令和6年	地震・水害などの防災対策	62.4	地域防犯の取組	30.2	高齢者福祉の充実	29.1	子どもの安全対策	20.6	バリアフリー化の推進／幼児・児童の子育て支援の充実			16.9	道路・交通網の整備	16.4
	令和5年	地震・水害などの防災対策	63.4	地域防犯の取組	39.0	子どもの安全対策	29.9	高齢者福祉の充実	25.6	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／道路・交通網の整備			23.8	幼児・児童の子育て支援の充実	18.3

単位：％

地区	年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
東尾久	令和7年	地震・水害などの防災対策	63.1	地域防犯の取組	48.1	子どもの安全対策	33.2	高齢者福祉の充実	20.3	道路・交通網の整備	17.6	幼児・児童の子育て支援の充実／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進			13.9
	令和6年	地震・水害などの防災対策	65.4	地域防犯の取組	35.2	高齢者福祉の充実	25.9	子どもの安全対策	24.7	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	22.8	幼児・児童の子育て支援の充実／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進			21.6
	令和5年	地震・水害などの防災対策	66.9	地域防犯の取組	34.3	子どもの安全対策	29.6	高齢者福祉の充実	27.8	幼児・児童の子育て支援の充実	23.1	低所得者に対する福祉の充実	20.1	道路・交通網の整備	19.5

単位：％

地区	年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
西尾久	令和7年	地震・水害などの防災対策	60.5	地域防犯の取組	44.1	子どもの安全対策	31.8	高齢者福祉の充実	23.1	幼児・児童の子育て支援の充実	15.9	道路・交通網の整備	13.8	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進／低所得者に対する福祉の充実	13.3
	令和6年	地震・水害などの防災対策	67.1	地域防犯の取組	37.6	高齢者福祉の充実	28.2	子どもの安全対策	22.4	幼児・児童の子育て支援の充実	18.8	道路・交通網の整備	17.6	バリアフリー化の推進	17.1
	令和5年	地震・水害などの防災対策	58.2	地域防犯の取組	31.5	子どもの安全対策	28.5	高齢者福祉の充実	21.2	公園の整備充実・緑化の推進	20.6	幼児・児童の子育て支援の充実	19.4	道路・交通網の整備	18.8

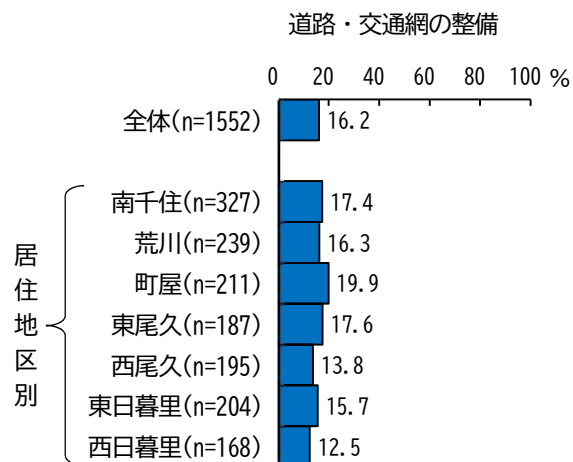
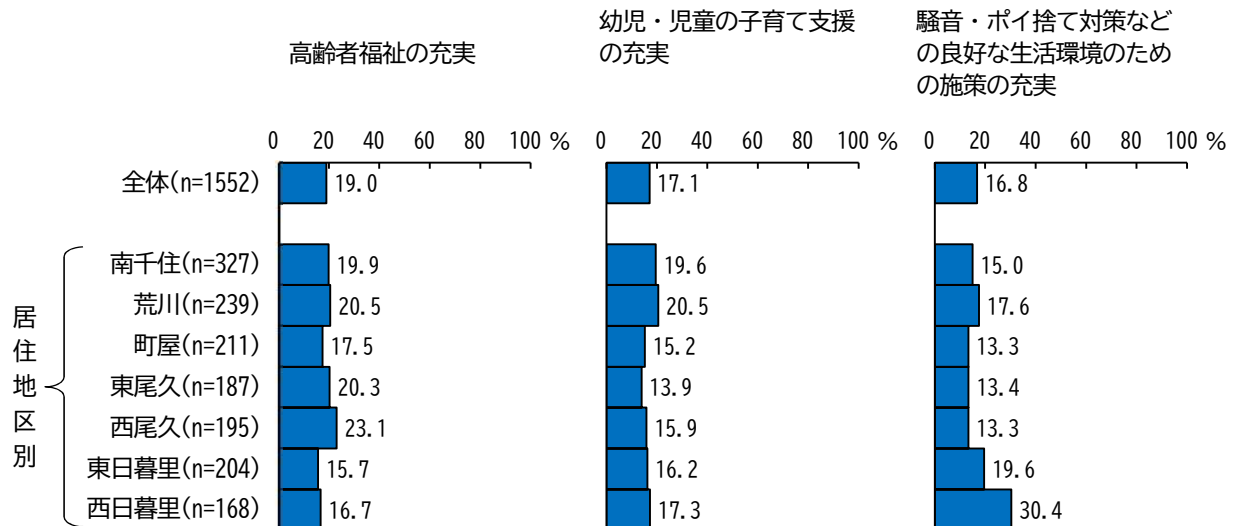
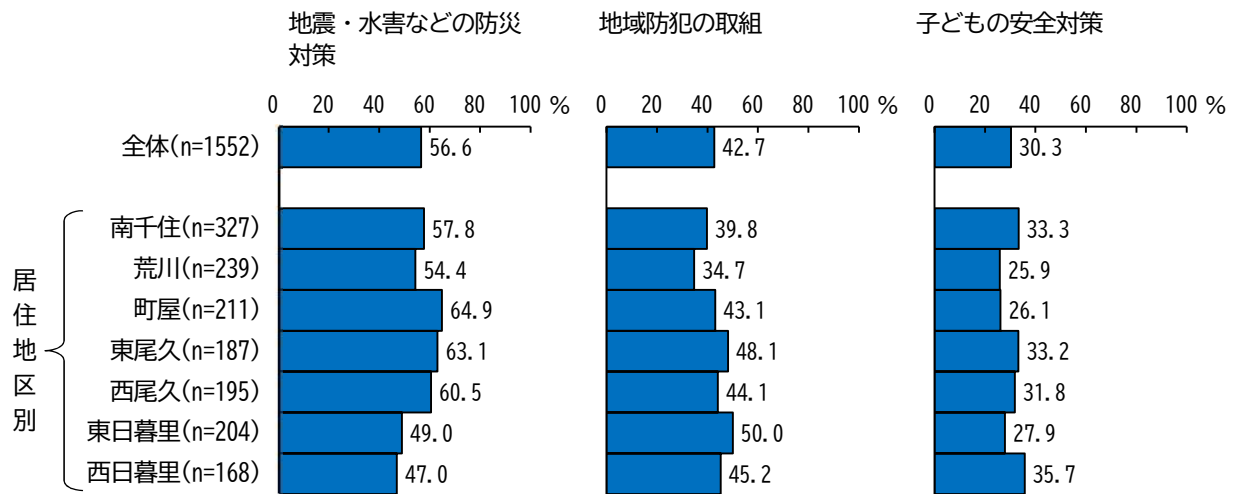
単位：％

地区	年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
東日暮里	令和7年	地域防犯の取組	50.0	地震・水害などの防災対策	49.0	子どもの安全対策	27.9	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.6	幼児・児童の子育て支援の充実／公園の整備充実・緑化の推進		16.2	高齢者福祉の充実／道路・交通網の整備		15.7
	令和6年	地震・水害などの防災対策	61.9	地域防犯の取組	40.3	子どもの安全対策	25.4	高齢者福祉の充実	23.2	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	21.0	公園の整備充実・緑化の推進	18.2	幼児・児童の子育て支援の充実	16.0
	令和5年	地震・水害などの防災対策	59.1	地域防犯の取組	41.6	子どもの安全対策	32.5	高齢者福祉の充実	26.0	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	22.1	公園の整備充実・緑化の推進	17.5	道路・交通網の整備	16.2

単位：％

地区	年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
西日暮里	令和7年	地震・水害などの防災対策	47.0	地域防犯の取組	45.2	子どもの安全対策	35.7	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	30.4	幼児・児童の子育て支援の充実	17.3	高齢者福祉の充実	16.7	学校教育の充実	13.7
	令和6年	地震・水害などの防災対策	64.6	地域防犯の取組	33.8	子どもの安全対策	33.1	高齢者福祉の充実	23.1	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／道路・交通網の整備		17.7	公園の整備充実・緑化の推進		15.4
	令和5年	地震・水害などの防災対策	59.9	地域防犯の取組	43.1	子どもの安全対策	29.2	高齢者福祉の充実	24.1	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	22.6	幼児・児童の子育て支援の充実	19.7	学校教育の充実	17.5

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） 居住地区別



年代別にみると、「地震・水害などの防災対策」は60～69歳（71.1%）が7割強と最も高くなっている。「子どもの安全対策」は40～49歳（46.7%）が4割半ばを超え、「幼児・児童の子育て支援の充実」は30～39歳（39.7%）が4割弱と最も高くなっている。

今後、区に力を入れてほしい事業 年代別

単位：％

		地震・水害などの防災対策	地域防犯の取組	子どもの安全対策	高齢者福祉の充実	幼児・児童の子育て支援の充実	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	道路・交通網の整備	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	公園の整備・充実・緑化の推進	学校教育の充実
	全体 (n=1552)	56.6	42.7	30.3	19.0	17.1	16.8	16.2	13.3	12.7	11.2
年代別	18～29歳 (n=157)	45.2	34.4	35.0	1.3	21.0	18.5	19.1	19.1	17.2	15.3
	30～39歳 (n=214)	50.5	43.0	45.3	4.7	39.7	15.4	17.3	15.0	15.9	20.6
	40～49歳 (n=272)	56.3	48.2	46.7	7.7	24.3	19.5	18.0	10.3	14.7	21.0
	50～59歳 (n=293)	61.1	45.7	20.5	21.8	6.8	18.1	17.1	13.0	11.9	5.1
	60～69歳 (n=225)	71.1	48.9	26.7	28.9	12.9	15.6	12.9	14.2	8.0	4.9
	70～79歳 (n=239)	59.4	40.2	20.1	34.3	10.5	14.6	18.0	13.8	12.1	7.1
	80歳以上 (n=141)	46.1	32.6	16.3	36.2	5.7	16.3	9.2	9.9	9.9	4.3
		低所得者に対する福祉の充実	バリアフリー化の推進	良好な住宅の確保などの住宅対策	健康づくりなどの保健衛生施策の充実	リサイクルなどの環境配慮活動の推進	文化芸術の振興	産業の振興	就労支援の充実	生涯学習・社会教育の振興	スポーツの振興
	全体 (n=1552)	10.8	9.7	8.4	7.6	7.3	7.1	6.8	6.5	6.3	5.9
年代別	18～29歳 (n=157)	7.6	1.9	15.3	6.4	5.7	9.6	3.2	2.5	3.8	10.8
	30～39歳 (n=214)	4.7	2.8	11.2	5.1	5.6	9.3	8.4	6.1	7.5	6.1
	40～49歳 (n=272)	5.5	4.4	7.4	5.9	3.7	8.1	8.5	5.1	3.7	7.4
	50～59歳 (n=293)	13.0	14.0	8.9	7.2	8.9	6.8	7.5	9.9	6.5	5.1
	60～69歳 (n=225)	14.2	14.2	7.6	9.3	6.2	6.7	6.2	8.9	7.6	5.8
	70～79歳 (n=239)	17.6	15.5	6.7	10.5	11.3	5.4	7.9	8.4	9.2	3.3
	80歳以上 (n=141)	13.5	14.2	2.8	9.9	11.3	3.5	3.5	0.7	5.7	4.3
		放置自転車対策	観光振興などによる地域のイメージアップ	心身障がい者(児)福祉の充実	感染症対策の充実	消費生活に関する相談などの消費者対策	青少年健全育成の推進	区報や区民の声などの広報・広聴活動	その他	特になし	無回答
	全体 (n=1552)	5.6	5.4	5.4	5.2	4.6	2.7	2.6	5.8	1.8	5.9
年代別	18～29歳 (n=157)	3.2	6.4	0.6	2.5	2.5	2.5	1.3	5.7	1.3	3.2
	30～39歳 (n=214)	3.3	4.7	2.3	3.7	4.7	4.7	1.4	8.9	2.3	3.3
	40～49歳 (n=272)	7.7	8.1	7.4	1.5	3.7	2.6	1.8	7.0	1.1	3.7
	50～59歳 (n=293)	4.1	7.2	5.8	4.8	5.8	2.4	3.1	7.5	3.4	2.4
	60～69歳 (n=225)	5.8	4.9	5.8	6.7	6.7	0.9	1.3	5.8	0.9	5.8
	70～79歳 (n=239)	6.3	3.3	9.2	8.8	4.6	2.5	5.0	1.3	1.7	7.1
	80歳以上 (n=141)	9.9	1.4	4.3	9.9	2.8	4.3	5.0	3.5	1.4	15.6

ライフステージ別にみると、家族形成期、家族成長前期を除いたライフステージで「地震・水害などの防災対策」が第1位に挙げられている。家族形成期、家族成長前期では「子どもの安全対策」が第1位、「地震・水害などの防災対策」が第2位に挙げられている。

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） ライフステージ別

単位：％

区分	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
全体	地震・水害などの防災対策	56.6	地域防犯の取組	42.7	子どもの安全対策	30.3	高齢者福祉の充実	19.0	幼児・児童の子育て支援の充実	17.1	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.8	道路・交通網の整備	16.2
家族形成期	子どもの安全対策	53.8	地震・水害などの防災対策	49.5	幼児・児童の子育て支援の充実	48.9	地域防犯の取組	41.4	学校教育の充実	20.4	公園の整備充実・緑化の推進	18.3	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	16.7
家族成長前期	子どもの安全対策	69.5	地震・水害などの防災対策	57.8	地域防犯の取組	46.1	学校教育の充実	38.3	幼児・児童の子育て支援の充実	32.0	公園の整備充実・緑化の推進	23.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	14.1
家族成長後期	地震・水害などの防災対策	57.3	地域防犯の取組	47.9	子どもの安全対策	36.8	学校教育の充実	20.5	幼児・児童の子育て支援の充実	19.7	道路・交通網の整備	18.8	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	13.7
家族成熟期	地震・水害などの防災対策	62.5	地域防犯の取組	47.3	子どもの安全対策	27.7	高齢者福祉の充実	21.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	20.5	道路・交通網の整備	18.8	低所得者に対する福祉の充実	14.3
高齢期	地震・水害などの防災対策	66.1	地域防犯の取組	41.9	高齢者福祉の充実	33.1	子どもの安全対策	27.1	道路・交通網の整備	17.4	バリアフリー化の推進	16.5	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	14.8
（一人暮らし） 高齢期	地震・水害などの防災対策	53.2	高齢者福祉の充実	40.4	地域防犯の取組	33.3	低所得者に対する福祉の充実	22.7	子どもの安全対策	17.0	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	14.9	バリアフリー化の推進	14.9
一人暮らし	地震・水害などの防災対策	52.7	地域防犯の取組	43.3	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	21.4	道路・交通網の整備	18.4	子どもの安全対策	17.4	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	13.4	低所得者に対する福祉の充実	13.4
その他	地震・水害などの防災対策	55.2	地域防犯の取組	42.9	高齢者福祉の充実	20.6	子どもの安全対策	19.5	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	18.3	道路・交通網の整備	16.0	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	13.5

VI 自由記述

380 人の方から 555 件の区政に対するご意見・ご要望をいただきました。

同一主旨のご意見・ご要望や、個人が特定されてしまう記述等を除き、一部抜粋したものを掲載させていただきます。

自由記述の項目別件数一覧

項目	件数	項目	件数
区政全般	52	清掃、リサイクル事業	27
財政運営	9	環境美化、公害対策	17
事務手続	15	公園、緑化	23
広報、広聴	20	低所得者に対する福祉	14
区立施設	13	高齢者福祉	17
地域活動、地域コミュニティー	39	心身障がい者（児）福祉	3
地域防犯、治安対策	32	公衆衛生、健康増進	7
防災対策	11	子育て支援	34
交通、道路整備	57	スポーツ・文化の振興、生涯学習	16
交通安全、放置自転車対策	32	学校教育、青少年健全育成	15
都市計画、再開発事業	30	世論調査	10
産業振興、地域の活性化	24	その他	38

【区政全般】

- まちづくりについて応援しております。今後も魅力的な荒川区を実現できるようによろしく願いいたします。また、住民が協力できることは協力を仰いでください。
(東尾久/20代) …同様意見 11 件
- 大人と子どもとお年寄りが楽しく安全に暮らせる区になるように考えています。コロナ禍以降人同士の交流が減り、街で挨拶をする事が減りました。誰もが笑顔になれるよう私達も取り組みたいと思います。
(西尾久/60代)
- 荒川区の公園や図書館、人の温かさに惹かれて、他区から戻ってきました。デジタルシステム等は他区の方が進んでいる現状も体感しました。それでもこの温かさの残る荒川区に住みたいと決断しました。幸福度を指標とした区の方針にも信頼を寄せています。公園の注意喚起や樹木の伐採時のお知らせ文などからも、住民への配慮を感じる優しい言い回しであることを実感しています。ぜひ、今後もより良い荒川区の発展を願います。一住人として微力ですができることを探していきたいと思います。
(東尾久/30代)
- 街の問題に 1 つ 1 つ向き合い対応していただくことが区政への信頼に繋がります。町屋地域で言うと道路が整備され商店が多く交通の便も良く住みやすい。荒川区に愛着があります。区長も代わり区の計画も進みこれからが楽しみです。
(町屋/40代)
- 東日暮里に住んで 55 年になります。生活環境も子育てに必要な事柄で区営の利用が出来ました。町会の皆様に子ども会等、日曜日を利用した集まりに参加出来た事で私も地域を知る事が出来ました。中学校を通じて長野県の人々との交流も出来、とても住みよい地域だと思っています。
(東日暮里/80歳以上)
- 小 1 の頃からずっと荒川区に住んでいて、地域のお祭りに参加したり、18 歳になったら選挙に行ったり、仕事の都合で転居を考えなければずっと住んでいた町です。ここまで育てて下さりありがとうございました。
(町屋/20代)

- 住みやすいと感じています。公共の施設や取組が充実しているからと感じます。ありがとうございます。狭々しいところが、もうすこしゆったりするといいのかなと思います。子の教育については、一番大切と思うところが色々な保護者の声があり大変かと思いますが、子たちをきたえるために必要と思うことは、堂々と専門家として大事と伝え守りに入りすぎず、良いと思うことはどんどんやり通してほしいです。守るばかりにぬるま湯になって子たちの力をひきだせない、ということになりませんよう安全とのバランスが難しいですが、たくさんのサービスで子どもたちは毎日楽しそうです。ありがとうございます。（東尾久/40代）
- 現在0歳児を育てていますが、ふれあい館や一時預かりができる場所もあり、子育てしやすい環境であると感じています。また地域のお祭りや屋台、銭湯に活気のある商店街もあり、そのような下町情緒あふれる荒川区で生活できてとても楽しいです。今後もこれらの下町の良さを残し続けてほしいと思います。（東尾久/30代）
- 荒川区という区名から洪水になりそうなイメージがあるのだと思いますが、物価が安くスーパーや飲食店が沢山あり暮らしやすいことも利点です。今後も荒川区をより良い区にするようにご尽力くださいますようお願い申し上げます。（町屋/70代）
- 南千住4丁目は町がきれいで、商業施設も良くてとても住みやすいと思います。荒川区と南千住の魅力がもっと多くの人々に伝わってほしいです。（南千住/30代）
- 南千住に2004年12月に引っ越してきて20年以上住んでいて、とても住みやすいと感じています。これからも荒川区や南千住にはもっともっと発展していったほしいです。
（南千住/40代） …同様意見1件
- 私は南千住が大好きです。商業施設含め、充実しており道も広く綺麗です。小児科さんも評判が良く保育園もたくさんあります。困ることはほとんどありませんでした。ずっと永住したいくらい大好きなんです。でも、住むところがもうありません。汐入地区は2LDKが当たり前のように20万円超えます。分譲も中古で7000万超えは当たり前です。小学生になるまでには荒川区外に引っ越す目標でいます。少し前までは住宅がたくさん建ちお手頃な値段だったんだろうけど、今子育て始まった世代には物価が上がりすぎてどうしても住み続けることは難しいと判断しました。もっと安ければなあ。大好きでした荒川区。子育ても最高の環境なので小学校も汐入地区で通わせたかったなあと思いました。（南千住/30代）
- とても住みやすい街だと思います。今は1人で暮らしていますが、今後結婚などを視野に入れた時、住み続けるべきかどうかは子育て支援などに力を入れているかどうかを重視したいと思います。あとは都心部(新宿あたり)にもっと出やすいと嬉しいなと感じます。(今でも出やすいですがもう少し時間が短縮できたら)電車のことなので難しいことです。（荒川/20代）
- 荒川区は新旧のバランスがとても良く、とても住みやすい地域だと思う。今後災害対策を進めてほしい。（東尾久/70代）
- 子どもが1歳の時に荒川区に引っ越してきて、ひろば館や乳幼児活動など子育て支援が充実していると感じています。子どもも大きくなり、中高生が体を動かしたり友達との居場所になるような場所づくりと飲食店含め、大人が気軽につどえる場所がもっと充実したらいいねと思っています。（東尾久/40代）

- 問題提起（荒川区の現状）：世帯数の増加（単身化）と人口の流動性により、世代・属性間の分断が進み、地域への愛着（シビックプライド）が希薄化している。このままでは災害時の共助機能の低下や街の魅力低下の悪循環に陥る。提案①：「知的好奇心」と「文化発信」を軸とした、世代や障害の有無を問わないオープンの居場所（サードプレイス）を推進すべき。これは、限定的なコミュニティでは得られない、多様性への理解を深め、人権を尊重する社会へ繋がる。提案②：「道に面した緑化やミニマムな共同管理」を奨励すべき。これは、非金銭的な幸福感と自然な会話を生み出し、見知らぬ人との交流への抵抗感を減らす最も効果的でミニマムな一歩である。（町屋/50代）
- 今後、各個人の性自認の尊重について対処していくのであれば、尊重するのは大事だが、公共のトイレや更衣室や銭湯とか、医療関係などで身体的問題が重要視される場合は、性自認が優先されるとかではなく、もっと真剣に考えてほしい。それに対しての法整備してほしい。たとえば、トイレなら男女共有トイレを増やすなど。（東日暮里/20代） …同様意見 1 件
- 昔から荒川区に根をはっている者に、メリットのある区政をお願いします。（町屋/30代）
- 比較的に安全安心な街である点では誇らしい気持ちがします。（西尾久/80歳以上）
- 安心、安全な荒川区にして下さい。宜しくお願いします。（東日暮里/40代） …同様意見 4 件
- 子どもからお年寄りまで、安心して暮らせる区になることを望んでいます。これから高齢化がますます進み、土地代の高さから、さらに若い世代が流入しにくい街になっていくのではないかと危惧しています。（西日暮里/40代）
- 毎日安心して過ごせる生活をのぞみます。世界大戦が起りません様に。核を使う様な事にならない事をのぞみます。（西日暮里/80歳以上）
- 地方政治が“日本”を変えていくきっかけになるので、議員さん及び役所の方々には“日本のため”となる事業や施策をしっかりとご検討いただき、取り組んでいただきたいと思います。決して利権に振り回されることのないようお願いしたいです。（東日暮里/30代）

【財政運営】

- 税金全て高すぎです。住民税、国民健康保険、年金、なにかしら区で補助金出してほしい。（町屋/30代） …同様意見 4 件
- 無駄な政策は見直してほしい。（無回答／無回答）
- ふるさと納税に貴重な住民税、所得税をもっていかれないう頑張ってください。（町屋/30代）
- ふるさと納税は後手に回っている気がします。私は税を区でしっかり使っていただきたいので、ふるさと納税で地方に税を支払う事はありませんが、呼び掛けだけではなく積極的に取り組んで頂きたい。（東日暮里/50代）

【事務手続】

- 荒川区役所へ行くのが大変。他の所でもできる手続きを増やして欲しい。荒川区の業務をDX化すべき。マイナンバー手続きのアナログさがっかりした。（南千住/50代）
- AI を駆使して人減らしを。専門職を増やして、外注しないように。（東日暮里/70代） …同様意見 1 件
- デジタル化を推進してほしい。理由：紙媒体で政策を行うと無駄な経費、時間、労力を要するから。（南千住/20代）

- 各補助金などの支援は簡単に不正取得や不正利用できないよう、厳格に審査を行っていただきたいです。大事な税金や社会保障です。丁寧に扱っていただきたいです。
(西日暮里/40 代) …同様意見 4 件
- 生活等について相談に来庁した場合等は、方法がないのではなく何としてでも解決出来る様に努力して頂きたい。
(荒川/50 代)

【広報、広聴】

- あらかわ区報を読んでいますと色々のことが分かって楽しいです。
(東日暮里/80 歳以上)
- 荒川区の居住者の人口の変動や、年齢別構成の変化がどうなっているか（増えている？高齢化率は？）や、外国人在住者数、ごみの量、応来構成、昼夜間人口、利用交通手段、などの基本的な地域の状況が台東区や北区、文京区、足立区等周辺の区と比較してどうなっているかもわかるようにして、荒川区の現状と今後に向けた課題などを区民がより実感をもってわかるような、区報での情報提供などあるとよいのでは、と思います。
(東日暮里/50 代)
- 日暮里駅周辺と区役所が遠いせいか区政についてよく分からないことが多い。図書館に行った時、区報を見る程度。
(東日暮里/70 代)
- 助成金、補助金のサイトが見にくい。対象者とカテゴリ区分で表にしてほしい。(東尾久/40 代)
- 助成制度をわかりやすくまとめたり、リーフレットでもいいので作ってほしい。
(西日暮里/30 代)
- 現在、区においては各種情報や支援制度が一定程度整備されていると感じています。しかしながら、実際に利用しようとする際に「どこからアクセスすればよいのか分からない」「制度の存在を知らない」「調べる時間がない」といった理由で、必要な情報や支援にたどり着けないケースがあります。(例えば、育児で忙しい最中は情報を精査する余裕が無く、落ち着いてから後で支援制度を知ることが多くありました)。この課題を解消するために、まず最初にアクセスすべきエントリー窓口を設け、区民に対してわかりやすく周知・アピールすることが重要だと考えます。そこから、各種制度や担当部署へスムーズに振り分ける仕組みがあると、多くの区民にとって利用しやすくなるでしょう。また、窓口対応を人員のみで賄うのは負担が大きいため、チャット Bot などのデジタル対応（既に存在しますが、より扱いやすく・目立つように）を強化し、気軽に情報を得られる環境を整えることが効果的だと思います。特に、質問に対する自動応答や、適切な担当部署への案内機能を充実させることで、区民が必要な情報に迅速にたどり着けるようになることを期待しています。
(東日暮里/40 代)
- 今回のアンケートで、室内の防災に助成金が申請できることを初めて知りました。区政の情報を自ら得ようとできていなかったのも、これからは意識して得ようと思いますが、わかりやすい情報発信、ホームページの作成をお願いしたいです。ふれあい館のページなど、項目名が曖昧で、閲覧したい PDF に辿り着くまでに時間がかかるため。
(東尾久/30 代)
- 賃貸マンションの為、区の情報は町内会などから入らず、定期的に郵便受けに入る区議の区政ニュースで知る事も多いです。とても助かっています。これからは、アプリを活用して情報弱者にならないようにしたいと思いました。
(荒川/50 代)
- 荒川区は魅力的な部分が沢山あるにも関わらず、その魅力を十分に広告できていないと感じる。
(南千住/20 代)
- 他の 22 区にはない特徴を訴求した方が良いと思います。
(荒川/60 代)

- 下町を長所としてブランディングしてほしい。 (東日暮里/40代)
- 誰もが住みやすい街づくりを引き続きよろしくお願いします。あら坊、あらみいが好きなので、いつも看板に癒されています。もっと活躍してくれると嬉しいです。封筒の折り紙作ります。 (荒川/30代)
- あら坊、あらみいちゃんのグッズを増やして欲しいです。大ファンです。町で沢山見かけてとてもいやされます。 (町屋/50代) …同様意見1件
- 若い方々の意見が多く取り入れられるといいですね。 (東尾久/60代)
- 区民が何でも気軽に相談でき、親身になって応じてくれるような体制を整備して下さい。荒川区の明るい未来を期待できるようにして下さい。 (西尾久/80歳以上)
- 区民からの声を取り入れようとする姿勢は見える。けれど窓口の人間や、こういったアンケートに真面目に答えても、何か電話やコンタクトがあるわけもない。結局自分の意見がどこに行っているのかわからないし、改善していない町並みを見ると、まあそんなもんだらうなと思います。 (荒川/40代)
- 世論調査にしっかり答える意識を持つ人がそもそもまれであると思います。しかし答える意識を持つ人、意見を持つ人は確実におり、そういう人から継続的に意見を聞き続けられるような仕組み、区政のモニターのような存在があるといいと思います。区のめざす五年後、十年後のビジョンをVR等で作り、それをモニターに体験してもらうなどして具体的な意見を集めるといいのではないのでしょうか。 (西日暮里/30代)

【区立施設】

- 町屋三丁目に建設予定のふれあい館に、調理室と音楽室、シアタールームを設置して欲しいです。 (町屋/50代)
- 区役所庁舎を新しくしてほしい。 (東尾久/40代) …同様意見2件
- 区政ではありませんが区役所を1年に1回程利用しますが行くたびに迷います。都電を降りてからの矢じるし等を取りつけて欲しいです。 (町屋/70代)
- 区役所の場所が悪過ぎる。日暮里か西日暮里に移転すべき。 (東日暮里/40代) …同様意見1件
- 荒川区の図書館が不要な場所ばかりで文京区の所を使っています。西日暮里は荒川区の公共物が利用しにくい場所ばかりです。 (西日暮里/50代)
- 汐入東小は廃止されると聞きましたが、図書館にすることはできますか？読書や自習をお家では出来ない人が、遠い所の図書館に行くのは大変です。ご検討のほど、宜しくお願い申し上げます。 (南千住/40代)
- 日暮里地区の公的な施設をもっと充実させてほしいです。マンションが増え、人口増加にも関わらず、ゆいの森、荒川区スポーツセンターなど遠いのにコミュニティバスもなく、利用しづらいので、充実しているとは言えないと思います。例えば、諏訪台第二体育館を二階建てにするなど建て直し、地域の住民も健康維持に利用できるとか、図書館をもっと広くして、充実させるなど、こちらの地域住民が身近に利用できる施設を作ってほしいです。ぜひ、スポーツセンターを日暮里地区にも作ってほしいです。 (西日暮里/50代)

- 私は九峡小学校卒ですが、現在は各学年1組と聞きました。町屋は、荒川区の中心で好立地です。近くの四峡小学校と統合して、JR三河島駅近くの生涯学習センターのように高齢者や不登校児や幼児の遊び場にしていただけたら良いと思います。他区では、不登校児に給食を出すところがあるそうです。ご検討いただけると幸いです。(町屋/70代)
- 集合住宅で駐車場の台数が少なく、空きも出ないため、新たに駐車場を借りたいが、近くに空きがなかったり、相場(3~5万)も高いので、車を持ちづらい状況です。区の空いているスペースなどを駐車場として整備して貸し出すなどのサービスを検討していただけると幸いです。(町屋/40代)
- 荒川区には現在清里に宿泊施設があるが、ここは、小中学生の課外授業に使用され、一般の区民は利用しづらい。グリーンパール那須は売却されてしまいましたが、売却にあたり区民の意見を聞いたのでしょうか？不満、疑問を持っている方がとても多いです。いまさら売却をしてしまった現在どうにもなりません、たしか5年間区からの補助があり、今までの料金で利用できますが、この期間がすぎても区からの補助が受けられますようお願いします。とてもいい環境でいい所ですので。(荒川/70代)

【地域活動、地域コミュニティー】

- 町会の回覧で必要な内容(ハザードマップ、ごみの捨て方分類等いろいろ)の書類は、所帯ごとに配布すべき。(東日暮里/70代)
- 町内会が、高齢者が多く存続が厳しいので区をあげて考えていったほうがよい。(西尾久/50代)
- 町会費の回収を町会にやらせるのではなく、住民税に上乗せして回収した方がいい。集合住宅に居住の家族は町会費について納得していない人もいるが、小さな子どもがいる家族である事も事実。荒川区全ての人に回覧板が目に入れば地域活動も活発になると思います。その為のしくみ作りを早急をお願いしたい。そのシステムを完成し、荒川区で全市区町村に発信すれば、より荒川区に注目が集まり人口も増えると思います。(町屋/60代)
- 回覧板を廃止してほしい。(東尾久/40代)
- 町会の負担が大きい。町会運営の負担を区や関係各所が減らすべき。それぞれは依頼していることが少しのつもりかも知れないが、その依頼をこなす町会にはかなりの負担。新規町会加入者もない中いろいろ振ってくるが区のサポートが少なすぎる。(荒川/50代)
- 問19について、本来町会とは自主的に組織し運営するものだと思いますが、町会運営に人がいません。少ない人数で回しています。どこもみんな忙しく人手が足りないとは思いますが、昔からの住人(高齢者80代)の仕事負担が多岐にわたり多すぎる(重すぎる)ため、真面目な人ほど疲労します。このままでは町会が運営休止になるだろうと危機感を抱いています。今は参加窓口がないので、有志の方への応援要請の仕方(この場合マンション住民とか)はどうしたら良いのか？世代交代、老若男女の参加している状態にするには、どうしたら良いのか？区(区役所)のお知恵を拝借したいです。(西日暮里/40代)
- お祭りをするのはいいが1日中騒ぎながら神輿を担いで練り歩くのはやめてほしい。(南千住/40代)
- 家にいた時に家の前に、お祭りのお神輿もった子どもが楽しそうにできて微笑ましくとても良かった。そういった地域と子どもたちがつながるような行事は続けて欲しいです。(東日暮里/20代)

- 地域の住民が繋がりやすい環境整備が大切だと思います。 (南千住/50代)
- 外国籍の住民が増えています。良い面、悪い面両方あると思うので、この点について、区民の声を聞いて、共生に向けた対応策を検討して欲しいと思います。
(西尾久/50代) …同様意見 1 件
- 外国人について。荒川区は外国人比率が高い。地域で何か問題やトラブルがあるわけではないが、地域（役所だけでなく町会や外国籍の一般の方）に担当者（ボランティア？）を依頼し、普段から交流を深めていけると良い。 (東尾久/70代)
- 外国人の多い地域です。共生の為のマナー周知・向上活動を行ってほしい。マナーを守ってる人が我慢や負担を強いられる仕組みにならないように、誰もが気持ちよく暮らせる区にしてほしい。
(東日暮里/30代) …同様意見 11 件
- 近くのシェアハウスに住んでいる方が夜外で、大声で話している時があるので、そういう時の苦情窓口を設置して欲しい。
(荒川/70代) …同様意見 2 件

【地域防犯、治安対策】

- 深夜の騒音対策、防犯対策などもう少し力を入れてほしい。 (西尾久/50代)
- 治安が悪くなっているので安心して暮らせる荒川区にして欲しい。夜道を安心して歩ける街にして欲しい。
(西尾久/50代) …同様意見 14 件
- 日暮里駅周辺では、パトロールを行ってもらっていることは知っているが、1本脇道にそれるだけで街灯が少なく、街の様相が一気にかわる。そうしたところのパトロールの強化をお願いしたい。
(西日暮里/20代)
- 防犯パトロール車は税金のムダ使いです。昼夜ムダにくるくる回るだけなら、パトカーで充分。
(荒川/60代)
- 荒川区内でおきている事件等を、くわしくLINE等で流してほしい。犯人がつかまったかなどで。産まれも育ちも日暮里、子育ても住みやすい日暮里にしました。これからも住みやすい町づくりを応援しています。
(東日暮里/40代)
- 詐欺（住宅の修理など）の取り締まりの強化。 (西尾久/50代)
- 荒川区は昔、不良が多いと言われていましたが、現在は治安も良く事件数も23区中5番目に少ないと聞きました。もっとアピールすべきだと思います。
(町屋/70代)
- 夜間のパトカーのサイレンがうるさい。 (西日暮里/50代)
- 六丁目は細い道を抜け道として両方から入れる道が多くありますが、夜は暗く防犯カメラもないです。安全に歩ける様に「誰かが見ている」という防犯カメラ設置をお願い致します。
(東日暮里/60代)
- 公園や道端に、ホームレスのような人が普通にいます。夜に企業の敷地内と思われる場所で就寝しているのを5度ほど見たことがあり、通報して良いのか迷います。また、路上喫煙が非常に多いです。公園に吸い殻がたくさん落ちています。朝、子供と保育園に向かうときにタバコの臭いが漂っているところがあります。昼間に道端でお酒を飲んで座り込んでいる人もいて困惑します。以前埼玉の浦和に住んでいましたが、荒川区に引っ越したところ治安が明らかに悪すぎて驚きました。防犯面の強化を強く希望します。
(東日暮里/30代)
- これからも犯罪発生率が低い街を維持してほしい。
(東日暮里/40代)

- 夜になると街中で立ちションをしている姿をよく見ます(たまたまなのかもしれませんが...) 衛生的にどうなんだろうと思う時があるので、何かいい施策がありましたら、ぜひお願いしたいと思います。(西日暮里/20代) …同様意見1件
- 細い歩道や歩道のない道路を横何列にもなって歩く人が多いと感じます。公園利用のマナーも悪いです。(西日暮里/30代)

【防災対策】

- 10年に1度台風時に膝下浸水を経験している。事前の対策方法は？(西尾久/60代)
- 大雨が降ると内水氾濫をおこす。高くして家を建て替えたのにトイレ、洗濯機の排水口から雨水がふき上げて来た。下水道の整備をお願いしたい。(町屋/60代)
- 災害対策とその周知を進めて頂きたい。イベントなど市民参加型で、災害時の状況をリアルに体感できるような施策が必要と考えます。(東尾久/40代)
- 防災対策で安全器具の取り付けや「感震ブレーカー」の設置をお願いしたい時の手助けがあれば助かります(高齢者には)。(南千住/70代)
- 防災無線が反響して、聞こえづらく、放送内容が分からない。(荒川/50代) …同様意見1件
- 地盤が弱いエリアで家がよく揺れます。マンション程頑丈でないアパートなど集合住宅の場合、地震などの災害時、どの様な対応が良いか防災アプリなどでも良いので発信してほしい。(西尾久/30代)
- ハザードマップ(水害)が真っ赤で危険度が高く見られがちですが、隅田川はスーパー堤防で守られているでしょうし、そんなに危険度高い実感がない。検証してハザードマップを良化できれば、都心へのアクセス良いので人口流入増になるのでは？(南千住/40代) …同様意見1件
- 今回の調査でも防災に関する質問がありました。先に回答した通り、恥ずかしながら備蓄については特に私の家では準備をしておりません。災害に備えて備蓄をするにはまずどんなものをどれくらい用意すればいいのか分からなかったり、お金もかかるし後回しにすればいいや、と考えてしまうのが備蓄をしていない要因です。そこで、他区ですでに実施されている防災カタログギフト事業を荒川区でもぜひ実施していただきたく存じます。このようなカタログギフトをお配りいただければ、防災グッズを用意しやすくなるだけでなく、必要な防災グッズが一目でわかるので大変ありがたいと感じます。区にとってはお金のかかる事業となってしまいますが、区民の防災意識を高めるためにもぜひご検討のほどよろしく願いいたします。(南千住/20代)
- 消防活動にも外国人の参加を許可してほしい。(西日暮里/50代)

【交通、道路整備】

- 「さくらバス」の拡充(復活)をお願いします。(南千住/60代) …同様意見7件
- 都バスとの関係かコミュニティバスが運行しなくなった。再開または、都バス運行本数の増加を申し入れてほしい。(南千住/60代)
- さくらバスへの助成金給付をご検討下さい。(南千住/60代) …同様意見1件

- 隅田川沿いにバスを通して欲しい。出来れば台東区のコミュニティバスと連携してお互いに乗り入れ、若しくは協同で経営して欲しい。隅田川沿いの両区民の足は公共手段はバスのみです。お互いに行きたい場所（南千住駅や、その商業施設、浅草や上野）は近いのに遠いです。本当は何かしらの鉄道の駅があれば一番良いのですが。とにかく不便です。（南千住/50代）
- 日暮里駅の近くにコミュニティバスのバス停を。（東日暮里/70代）
- コミュニティバスの本数を増やして欲しいです。また平日でもゆいの森に停車して欲しい。せっかく良い図書館なのに行きづらいので。よろしくお願いします。（南千住/40代）
- さくらバスの、特に町屋-南千住間本数を元に戻してほしいです。夏の熱中症や夜の防犯の観点から、本数増加はメリットがあると思います。（南千住/60代） …同様意見1件
- コミュニティバスの廃止により個人タクシー利用（区からの代替案タクシーは不便で面倒な為利用しません）か徒歩距離増加。駅前以外の高齢者住人には辛過ぎる。（町屋/40代）
- 北千住の方へ行くバスを通してほしい。大勢の意見。（南千住/80歳以上）
- 荒川区は交通に関して便利ですが、足立区と違い羽田空港行きのリムジンバスの停留所がなく、羽田空港に行く時南千住もリムジンバスが利用できる停留所があれば、鉄道以外でも便利になると思います。（南千住/60代）
- 三河島駅の改札口を二ヶ所をお願いしたい。（西日暮里/80歳以上）
- JR南千住駅に北口を増設してください。JRは現状、区からお金が出ない限り作るつもりはないようです。改札の大きさと人の多さが全く釣り合っておらず、危険な状態です。（南千住/30代）
- 交通の便はいいと思うが町屋駅の始発をもう少し早くしてほしい。朝早い便の羽田空港を利用することができないため。国の問題ではあるかもしれないが、区として訴えてほしい。（町屋/20代）
- 都電荒川線の有効活用を。コミュニティバスとの接続など。（南千住/50代）
- 都電の踏切がとても邪魔です。バス程度のサイズの電車が通るたびずっと待たされ、とても不便です。町屋駅の隣にある踏切は乗客の乗降中もずっと封鎖されるため、特に時間がかかります。レールを撤去してバスを運行させれば良いだけのようになりますが、何か不都合があるのでしょうか。（町屋/30代）
- 高層マンション増えすぎて通勤ラッシュがひどいことになっています。（町屋/30代）
- 大学病院なし、他の区の大学病院に通う手段も不便。区役所への交通不便。高層マンションを作るのではなく、病院、スーパーを駅周辺に効率よく区民が利用できる町作りをしてほしい。（南千住/50代）
- 図書館やふるさと文化館、荒川遊園など、地域に根差した魅力的な文化的施設があるので、上手にPRすることで若い世代にアプローチできればと感じます。ただ、こうした施設を利用するには、区内の移動に不便さを感じます。バスもあるようですが、どのような経路で運行しているのか、どれくらい利便性があるのかがわからず、利用しにくいです。その結果、余暇の時間を過ごすのに区外の商業施設へ行く形になってしまいます。（西日暮里/40代）
- 駅前から町屋や繊維街に行くのが大変な時がある。（東日暮里/40代）
- 電車の騒音が減ると大変ありがたいです。（西日暮里/20代）
- 歩道と車道の間、段差をなくして下さい。車イスの時に非常に困りました。（町屋/80歳以上）

- 高齢者や障がい者がいるので、道路を整備して歩きやすさ、行動しやすくして欲しいです。
(西尾久/50代)
- 以前住んでいた東京の他区と比較し、道路がでこぼこしており、歩きづらいと感じています。
ぜひとも整備をお願いします。
(西尾久/20代)
- 荒川区の最大の課題は国道4号線で汐入地区と町屋地区との交通網が分断されている現状です。特に今年4月からの汐入さくらバス廃止に伴いこの傾向は一層大きくなり、両地区を跨ぐ区民の交流、活動を大きく阻害していると思います。これを解決する為の手段の一例として、①都電を三ノ輪から汐入地区まで延長する方法、②国道4号線から汐入地区までの道路を拡幅しバスの運行を増加する方法、③汐入地区から明治通りまでの道路を拡幅し代替交通網を整備する方法等を早急に検討、実現することを要望します。
(南千住/70代)
- 危険な道路を改修し、安全な街を作って欲しい。
(西尾久/40代)
- 区内はせまい路地が多い。それが良さでもあるが曲がり角の見通しは良くした方がよいと思う。自転車もキックボードも電動になりスピードが出せてしまう移動手段があたり前になっている。電動キックボードは若い人しか利用できない。そもそも若い者が楽する手段が区内に必要なのか疑問に思う。歩行に不安を感じる高齢者が安心して移動できない現状があると思う。
(西尾久/60代)
- 区でやっている道路工事だからといって、家の玄関の前に車を停めることはやめてほしい。区でやっていることは、なんでも許されるのはおかしい。説明にくる人も上から目線の態度で不愉快だ。
(西日暮里/50代)
- 電柱を減らしてほしい。
(東尾久/40代)
- 防災の観点から、木造住宅密集地域の電柱の地中化を推進してほしい。
(荒川/60代)
- 電柱の撤去。震災時、狭い道路にたくさん建っている電柱が心配である。予算のかかる問題だと思うので、区の方で計画的に、地中に埋める等の対策を考えて欲しい。
(東尾久/70代)
- 日暮里駅に自転車用エレベーターを増やして欲しいです。
(西日暮里/50代)
- 日暮里駅南口の長い階段で困っている人をよく見ます。区民ではありませんが、エレベーターの設置の検討が必要ではないかと思います。少なくとも、中央口にまわればエスカレーターがある旨の看板などがあると親切だとも思っております。
(東日暮里/30代)
- 日暮里駅の南口階段にエレベーターかエスカレーターを設置して欲しい。電車から降りてきた大荷物の観光客や高齢者は階段を使いにくい。自転車で無理に降りてこようとする人もいて、とても危ないです。
(荒川/50代)
- 現在、町屋の道路の拡張工事がされています。商業施設側には、エスカレーターやエレベーターがありますが、是非銀行側にも作ってください。
(町屋/70代)
- 荒川遊園通り（特に）や住宅街通りなど道路工事のたびに、道路が汚くなりますよ。アスファルトももちろんですが、タイル状の道路は工事業者に“元に戻すよう”指導してほしい。道が汚いと街も汚いです。
(西尾久/60代)
- 駅前にあるバス停付近の歩道はどこも混雑していて、歩道が通りにくい。バスターミナルの整備とまではいかなくとも改善してほしい。
(荒川/40代)

- ゆいの森通りの道路拡張に都が土地買収していますが、何年後に広がりますか？そのような土地が他にも多々あります。その様な土地を一時でも家庭菜園に使えないのでしょうか？他の区では家庭菜園の活動がありますが荒川区ではほぼありません。高齢者や小さな子どもがいる家族には必要だと思います。（町屋/60代）
- 道路工事が頻繁で住みづらい。各インフラ事業者の都合かもしれませんが、時期を同じにする仕組み等、区で改善策が打てるようであればすすめてほしいです。（荒川/30代）
- 南千住駅前の商業施設に行くのに遠回りをしています。南千住第二中学校の高架下あたりに直接行ける道がほしい。（南千住/70代）
- 町に気軽に座れる場所が欲しい。建築物が密集した空間では座るための場所が存在せず、狭い道を常に歩かされる作りになっているが、とても疲れるのでどうにかしてほしいと感じる。自分は若年層かつ健康なので今のところ大きな問題はないが、事故などで心身にトラブルがあった際には町のそういった構造が原因で外出のハードルをかなり上げてしまうような気がする。（荒川/20代）
- アクロシティから足立区側に直接渡れるような歩道橋を作してほしい。千住大橋の商業施設を利用した後の遠回りが不便。（荒川/40代）
- 南千住7丁目のドラッグストア前の道路、何回言っても直さない。雨の日は水が溜まり、通る車が全部泥ハネ運転、高齢者や子どもが泥だらけになる。匂いもして不衛生な環境、害虫も、ひどいです。（南千住/50代）
- 駅前の道が狭く、ベビーカーでの通行がしにくいです。また自転車の往来も多く、歩道と車道をどちらも走っているため危ないと感じる瞬間が多々あります。（町屋/30代）
- 近年の夏は酷暑で暑さが長く続くので、歩道だけでも環境に優しい、日差しの熱を吸収しない地面にできたらいいなと思います。（東尾久/30代）
- 町屋駅前の信号待ちは日陰がないので、日差しをしのげる日陰があるといい。（韓国の道路に設置している巨大パラソルみたいな）（東尾久/30代）
- 大雨情報が多発になっている近年、大昔からの道路のチェックと対処を早急をお願いしたい。（荒川/70代）
- 空き家対策や不燃化対策などを行っているのは理解できます。また、高齢者の単身世帯などで古い住宅の更新が進まないのも理解できます。ただ、衛生面や防災上、道路面の未利用の物（ブロックや壊れた植木鉢や金属片など）を積極的に回収してほしいです。（東尾久/40代）
- 道路に私物が出ていて危険。見廻り、注意喚起してほしい。（西尾久/60代）

【交通安全、放置自転車対策】

- 通学時に、日本語学校の生徒さんが多く道が歩きづらくなっています。また、歩道に飲食店の荷物が置いてあるのも困っています。放置自転車の取り締まりが厳しすぎると思います。低所得者から五千円もとるのはやめていただきたいです。（東日暮里/10代）
- 特定の曜日に建物から大勢の人が一気に道路を横断し、信号無視も平気でしている現状を何とかしてほしい。（町屋/40代）
- 荒川区に”ながらスマホ防止条例”がありますが、この条例違反に対して警察権が行使される場面を見たことがありません。遵守させるつもりがないのであれば、条例を廃止してください。（町屋/30代）

- 外国の方が多く住んでるのはいいのですが、自転車の乗り方が危ないです。色々なマナー等、区役所で教えて欲しいです。 (西日暮里/50代)
- 荒川区に住みはじめてから、自然の近さと地域活動（お祭り）に魅力を感じていましたが、子どもが生まれ、さらに良さを実感しています。一つ、我が子が成長する中で心配な点は、（下町である上）歩道が狭く道路が近いこと、縦横無尽に速い速度で自転車をこいでいる人が多いことです。環境的に改善することは難しく、致し方ないことと承知の上、お伝えさせていただきます。 (南千住/20代)
- これから自転車に対する罰則が厳しくなりますが、近くに隅田川貨物がある為、貨物車が怖くて車道を走れません。道幅を広げるか、時間帯の規制をして欲しいです。 (南千住/50代)
- 来年から実施される自転車の歩道通行禁止について、①自転車レーンを幅広くしてほしい（町屋駅周辺等）。②自転車で走行レーンを通る際、体にあたる街路樹を切ってほしい（三ノ輪から白ひげ橋にかけての明治通り等）。③狭い歩道を走る自転車の取り締まり強化してほしい（町屋駅周辺）。 (荒川/50代)
- 来年度から自転車が完全に車道になるとか、子どもも年配者も、車道で右折したい時どうするなど不安ばかり。講習などしてほしい。 (荒川/40代)
- 歩道を暴走する自転車が、老若男女問わず多すぎて大変危険。どうかしてほしい。 (町屋/40代) …同様意見5件
- 生活感が日暮里―三河島あたりなのでその他は分かりませんが、道路の走行に関してルールを守らない自転車や歩行者が多く危険に感じています。特に高齢者や外国人が多いです。すぐ近くに横断歩道があるのに道路を横断し急ぐ様子がなかったり、道路を逆走する自転車、道路走行中に信号を守らない自転車などです。 (西日暮里/30代)
- 荒川区内に限りませんが、最近道路を歩いていると自転車とぶつかりそうになるなど、危険な思いをすることが多くなりました。私が住んでいる地域は比較的坂道が少なく、環境面からも移動するのに自転車はとても便利だと思います。しかし、まだまだ狭い道も多く、かなりのスピードで危険な運転をする人が少なくありません。徐々に自転車専用レーンも増えてきているかと思いますが、今後は行政が積極的に自転車専用レーンを整備するとともに、危険な運転がなされないような交通ルールの周知をより徹底していくべきだと思います。 (南千住/20代)
- 自転車に限らず電動キックボードについても事故が起こらないような対策がより必要です。このままではいつ近所で事故が起こってもおかしくないと感じています。どうかご対応のほどよろしくお願いいたします。 (南千住/20代)
- 車のマナーが悪いと感じることがあります。裏道をものすごいスピードで通る車（タクシー含む）や、横断歩道の近くに駐車していたり。また自転車のマナーも気になることが多いです。歩道をものすごい速度でとったり、走行したり。警察と連携してしっかり取り締まってほしいです。 (荒川/30代)
- 荒川4丁目と5丁目の間にある「花ノ木」の信号の所が危険で何度もひやりとしています。車の直進や右左折が分かりにくいのか、歩行者の信号が青で渡ろうとしても、すごい勢いで車が突っ込んでくることが多々あります。歩行者用の信号が特殊で、真正面からじゃないとよく見えず、車から見えないのもよくないと思います。子どもやお年寄りがひかれそうになっているのを何度も見たことがあります。車が分かりやすいように安全対策をして欲しいです。 (荒川/40代)

- 西日暮里駅前の交番側の歩行者用信号機が新型に（平らなもの）変わってから（ずい分前ですが）とても見にくくなりました。ずっとどこに言ったらいいいのか判らなかったのですが、この機会に意見します。見にくくなった詳細ですが、信号ををななめから見ると全く見えません。渡る前、歩道にさしかかる前を見ると見えないので赤なのか青なのか判りにくいです。信号は色々な角度から見やすいものを設置して下さい。一度現地で検証してみてください。以前の信号機に戻してほしいです。正面からだけよく見えるものでは意味ありません。本当に大丈夫か確認して設置されたのですか？（西日暮里/50代）
- JR 尾久駅をよく使っています。駅自体は北区なのですが、西尾久地区の人が多く利用しています。この駅を利用するとき、明治通りを渡ります。ここの信号機（徒歩）の時間が短すぎます。お年寄りが渡るところを見ているとハラハラします。実際に、死亡事故も起きています。時間をなんとかもう少し長くならないか北区へ掛け合うことはできないでしょうか？例えば、車の信号が西尾久方面へ曲がるタイミングで、駐輪場側の徒歩の信号機を青に切り替えできないでしょうか？実際に、同じようにやっている地区はありました。都営三田線の本蓮沼駅の中仙道の道路を見てください。意味が分かります。自分もそのうち足腰が弱くなる時が来ます。ここの道路&信号だけでなく、いつか全ての道路が、安心して渡れるようになってほしいと思います。（西尾久/40代）
- 狭い道が多いのですが、もっと一方通行を徹底し、その標示をわかりやすく設置していただけないでしょうか（但し、自転車には一方通行は無理かと思います）。（西日暮里/70代）
- 日暮里駅前の交通問題。風俗の送迎者が邪魔。2重駐車はあたりまえ、横断歩道の前5mにも平気で停める。駅前交番は何の取り締まりもせず。なぜ野放しにするのか。（西日暮里/50代）
- 町屋駅尾竹橋通りの交番周辺で、駐停車禁止区間（交差点/横断歩道 5m 以内）に路上駐車している車が沢山ありますが、何故黙認されているのでしょうか。問答無用で検挙してください。（町屋/30代）
- 交通事故が多いので、自転車や車、乗り物の類の取り締まりを強化すべきと考えます。一定期間だけ強化しても無意味ですので、可能であれば条例や制度を整え、長期的な観点で考えていただきたいです。（東日暮里/30代）
- 自転車駐輪場が少ないため、増やしてほしい。（東尾久/30代） …同様意見 2 件
- シルバーに仕事を。町屋駅周辺放置自転車啓発業務の再開。（町屋/60代）
- 町屋駅周辺はこのところマンションの建設ラッシュです。現状でも町屋駅前の駐輪場はいっぱいなのに、これ以上住民が増えるとまた以前のように駅前に放置自転車が出てくるのではないかと懸念しています。町屋駅周辺の駐輪場を増やして欲しいです。（町屋/40代）

【都市計画、再開発事業】

- 3人目の子どもを考えたいが、家が高すぎて、狭すぎて限界を感じます。住宅環境厳しいです。（南千住/30代）
- 荒川区に住み続けたいと思っても、ファミリー向けの物件購入は高額の為難しくなっています。子育て世代への家賃補助または物件購入費補助などあればありがたいです。（東尾久/30代）
- 余りにもマンションが建ちすぎます。（東尾久/80歳以上） …同様意見 1 件
- 一戸建てが欲しいがマンションが建ち過ぎて並べない。一戸建てが狭い。（町屋/30代）

- やや広い土地が空くとすぐマンションが建ってしまいます。元から住む住民にとっては騒音や日照、ごみの問題から誰もマンションができることを歓迎していません。住宅街のマンション建設には厳しい基準を作してほしいです。住環境を考えると一戸建てが好ましいです。ただでさえ人口密度が高く朝の電車混雑もひどいので、これ以上人口が増えてほしくはありません。
(町屋/40代)
- 新たにマンション等の住居が増えてきているため、同時に街の住民数も増加していると思います。街を活性化するという点では良いと思いますが、街の景観や下町らしさへの配慮は少ないように感じていて、街のあたたかさがうすれていってしまっているのが少し寂しいです。店やコンビニ、区の施設の充実度は高いと思います。
(南千住/20代)
- 最近マンション建設が増えている。景観の悪化が進む、片側一車線の道路面の高さ制限をしてほしい。5階以下に制限してほしい。一戸建てが住みにくくなっている。住みやすい住宅地域を残してほしい。
(東日暮里/70代)
- マンションを作りすぎている。人が増えすぎて街のキャパシティを超えてきている。災害時に避難所など足りなくなるため、マンションの数は規制したほうがいい。まちづくりができない。
(荒川/30代) …同様意見1件
- 商業施設の跡地にマンションが建設されるのはつまらなすぎです。荒川区での生活が彩るような商業施設が新たに誕生してほしい(難しいとは思いますが…)。
(荒川/20代)
- マンションばかり、カフェなど飲食店が駅前へ集中。
(南千住/30代)
- マンションばかり増えているので、日常の買い物がしやすいように大型スーパーを増やして欲しい。
(東尾久/40代)
- 町屋駅周辺は、他の千代田線沿線の駅に比べ、開発が遅れてしまった感があります。かなり前に反対の声が強く再開発がうまくいかなかったのは承知していますが、マンションばかり建つ割に、魅力的な商業施設などができないため、綾瀬、北綾瀬などに負けてしまっていると思います。尾竹橋通りや事業所の跡地など、ぜひ魅力的で地域活性に繋がるようにしていただきたいです。
(荒川/40代)
- 事業者の跡地に高層マンションが建てられるとの噂だが、人口に対してあまりにもスーパーが少ないため、跡地利用に関しては周辺住人の生活環境も考えてほしい(商業施設を低層階に作るなど)。
(荒川/30代)
- 町屋にずっと住んでいます(産まれてからずっと)。私はまだ色々な交通で買い物へ行く事ができるけど、高齢者の方がかわいそうな街になったと常々思っています。ディスカウントショップやちょっとした服など買う店がどんどんなくなり、マンションばかり増えていき一人暮らしの不自由な方々はどうしているのかと思っています。私も近い未来、ここに住んでいて生活していけるのかと不安に思うことが多々あります。
(町屋/50代)
- 子どもや高齢者には住みやすい町だと思うが、商業施設や駅前含め生活感がすごい町。この町から出たくないと思わせる美しさやオシャレさ、伝統とのコラボなど主婦やこれから大人になっていく若者向けに対策を考えて欲しい。また、町の人柄が本当に悪い。自転車ですれ違うと、舌うちを何度されたか。他の町から越して来てカルチャーショックだった。ゆずり合ったり、お礼をいう人は見かけない。ギスギスした町というイメージ。残念です。南千住の駅前をもっと素敵にして下さい。そうすれば心に余裕ができると思います。
(南千住/40代)

- なぜ、白鬚西地区内の土地の親子継承がだめだったのか、納得ができない。小さな土地でも自分の土地であれば、一生住み続けられたのに。 (南千住/70代)
- 西日暮里に出来る予定の商業施設が楽しみ。もっと外から人が来る区になってほしい。 (荒川/40代)
- 荒川区の玄関口である西日暮里駅の再開発に大きな期待を持っていますが、5年以上かかると聞いています。もっとスピード感をもって進めていただけるとよいのではないかと思います。西日暮里駅周辺の景観は、若い世代にとって魅力あるものとは言い難いように思います。 (西日暮里/40代)
- 三河島駅前の開発に期待しています。 (荒川/30代)
- 稼働率の低いアパート、マンション、ビル等を建て替えしやすい制度を充実させて、建て替えが進むと町が良くなると思います。 (南千住/40代)
- 住宅密集地域内にある家屋の建替えの際、十分な路地間の確保や違法建築のチェックをもっと厳しく。 (南千住/70代)
- よく言えば下町、悪く言えば小汚い街という印象を受けてしまいます。住環境の整備が防災、防犯にもつながるので是非早急に取り組んで欲しいと思います。よろしくお願いいたします。 (荒川/30代)
- 木造の空き家や劣化した歩道など、環境の整備が追いついていない。早急に対処して欲しい。(特に木造の空き家は崩れかけが多く危険。また、ごみの不法投棄で汚いので対処して欲しい) (荒川/30代)
- 何十年も空家のままに放置された住宅があり、放火等の心配があります。 (町屋/80歳以上)
- 区外である鶯谷駅を含め、駅と駅前の整備を協働で改善してほしい。 (東日暮里/60代)
- 東京駅まで2駅という利便性が高まったはずの尾久駅なのに、廃れた駅舎に寂れた駅周辺。荒川区と北区の境のせいなのか、全く手付かずな気がします。駅ビルを建てるスペースはあるのに、駅前にスーパーやドラッグストアもなく、車両基地の先の地域とは分断されているのに、荒川区も北区もコミュニティバス等を走らせる事もなく、せっかくの交通の利便性を、全く土地の価値に活かしていないと感じる。土地が空けば無作為にマンションだけが建てられていくが、近隣のスーパーマーケット等もみんな寂れているので、新しく若い人が住みたい街にはなっていない。常々もったいなく感じています。 (西尾久/40代)
- 荒川の良さを残して欲しい(建物、景観など)。電柱の地中化を早く進めて欲しい。 (西尾久/60代)

【産業振興、地域の活性化】

- 荒川区の生活は概ね満足していますが、近くで買い物ができるところがもっとあるとうれしいです。周りの地区にあるようなショッピングモール、映画館など。 (町屋/50代)
- チェーン店の飲食店を増やしてほしい。 (荒川/30代)
- ショッピングモール等、飲食店を増やして欲しい。 (東日暮里/50代)
- もっと店を増やしてください。ディスカウントストアやファミリーレストランがなくなり、とても辛いです。 (荒川/20代)
- もっと遊ぶ施設作ってほしい！観光スポットや有名なところがないので、どこに住んでいるか聞かれた時、荒川区と答えるのがとても恥ずかしい。 (荒川/10代)

- 南千住4丁目は銀行がなくて不便です。 (南千住/50代)
- 駅前に飲食店が増えてくれれば有り難いです。 (南千住/30代)
日本の外国系IT企業で働いており、効果的な方法を通じて自社と荒川区の発展を結びつけた
いと考えています。もし、新しい形の外国人中小企業商会や展示会、その他の関連イベントが
あれば、ぜひ参加したいと思っています。 (荒川/40代)
- バーコードの決済での、ポイント付与を行ってほしい。 (南千住/60代)
- 物価高の折、商品券の発行をして頂きたい。 (荒川/70代)
- プレミアム付き商品券やキャッシュレスキャンペーンお願いします。 (西尾久/50代)
- 同じようなスーパーがあるので、別のスーパーの誘致も考えてほしい。図書館やふれあい館の
数が多いのはよいと思うが、活用の仕方に何かもっと良い方法があるのでは。勢いや活気に欠
けている区だと思う。さくらバスの減少には驚きました。地域の活性化には交通の便も大切な
のではないのでしょうか。 (南千住/70代)
- ①汐入公園で野外映画をやってほしい。一緒にキッチンカーやクラフトビール販売も(すみだ
パークシネマフェスティバルのようなイベント)。②汐入地区の隅田川の川沿いにカフェやバ
ルなど作ってほしい。汐入地区に住んで17年、子どもは成人して子育てが終わりました。子
育て中は学校、地域のイベントに積極的に参加していましたが、ここ数年は何も参加していな
いです。この年代多いのではないのでしょうか。汐入公園での食フェスやお笑いライブ、トーク
ショー等あったら参加したいです。 (南千住/50代)
- 荒川区は商業施設がとても少なく、身近に買い物を楽しんだり、カフェなど憩いの場所もほと
んどないので、そこが魅力にかけるところだと思います。企業を誘致して、いろいろなアイデ
アをだしてもらい、魅力的な街作りをしてほしいです。荒川区の税収は増えていると聞きます。
住民生活の身近な部分を改善して魅力ある住みやすい街にしてくれるよう切に願います。
(西日暮里/50代)
- 物価高等の経済的变化に、地域商店の努力が限界に来ていると想像する。地域経済の活性化も
大事だが、現状を維持できる対策はないか。新たに開店してもすぐに閉店する店舗も見受ける。
当然経営者の努力が前提だが、地域としての支援策は考えられないか。 (東日暮里/40代)
- 熊の前商店街一帯は、この数年の間でも発展してきており、賑やかさと同時に静かで穏やかな
環境が実現してきているように思います。このような環境が区内全体に広がるといいなと思い
ます。 (西日暮里/40代)
- インバウンドの外国人に、日本のマナーを周知して戴きたい。 (南千住/60代)
- 自営業や起業の支援をしてほしい。金銭的な支援もありがたいですが、人材交流などもしたい
です。 (西尾久/30代)
- 閉店した飲食店の譲渡などのサポートがあるといいと思う。 (荒川/30代)
- 趣味で街の銭湯によく行きます。荒川区の魅力は「東京屈指の下町文化・銭湯やお祭り文化」
だと思います。銭湯が減っていることが寂しいですし、困っている高齢者も沢山いると思いま
す。銭湯の番台さんは皆確かに高齢の方が多く、引き継ぎ手がないこと(引き継ぎ手を探し
たり、一からやる労力そのものが大変そう)が閉店の原因でもあると考えます。そこで区が引
き継ぎ手を募集したり次の世代に引き継ぐまでの約3年を伴走運営すれば、番台さんの重荷が
減ると思います。もしそのような取り組みがあれば私も進んで参加したいです。荒川区には

様々な魅力的な下町文化があるので、区役所に「下町文化継承課」のような部署をそもそも作ってみても未来の荒川区への投資になると思います。(荒川/20代)

- 荒川区は素晴らしい銭湯が沢山あるので、その銭湯を残す対策をしてほしい。(西尾久/30代)
- 荒川区出身の某プロレスラーを荒川区観光大使に。(南千住/50代)

【清掃、リサイクル事業】

- ごみ出しのマナー。分別せず、常に歩道にごみが置かれていて汚れている。ごみ出しルールの周知をしてほしい。(西尾久/60代) …同様意見4件
- プラスチックの分別について、昔は燃える、燃えないごみを分別していたものをひとまとめにして慣れていたのに、再び分別となりました。なんだか納得できません。(町屋/50代) …同様意見1件
- 資源回収の時、アルミ缶とスチール缶がゴチャゴチャに入っているの、アルミ缶専用のコンテナを用意して頂きたい。(西尾久/50代)
- ビン、缶、段ボールを毎週回収してほしい。(東尾久/40代) …同様意見1件
- ごみ集積所に出したごみを、開封しないでほしい。(町屋/30代)
- ごみ出しのルールを知らない外国人の方が、ごみの集積所に缶を出したりしている人がいます。できれば多言語でポスターのようなものを設置していただけないでしょうか。(西日暮里/70代) …同様意見10件
- ペットボトルをリサイクルするとポイントがもらえるなど、個人の負担にならない程度でやりたい人がやれるような仕組みが整備されるといい。(東尾久/30代) …同様意見1件
- リサイクル活動のフリーマーケットの回数を増やしていただきたいです。運営が大変なのかもしれませんが、出店希望でも落選がある程の希望者がいるという事は、多くの人が不用品を捨てずに再利用してもらいたいと思っているからだと思います。ごみとして出すのではなく、次の人へ渡すという機会をお願いします。(東尾久/70代)

【環境美化、公害対策】

- 地球温暖化について積極的に取り組んで欲しいです。プラントベース（ホールフード）の食生活にすると環境負荷をかなりおさえることが出来ます。(東尾久/40代)
- ごみのポイ捨てや自転車マナーなど、うんざりするのでもっと好きな区にして頂きたいです。(町屋/40代)
- タバコの吸い殻やペットボトル等のポイ捨てが目につくので改善していただきたいです。(荒川/20代)
- 道にごみを捨てる人が多い。とにかく駅周辺が臭い。公衆トイレの臭いが道にただよっている。(西日暮里/50代)
- 町をきれいにして下さい。明らかに中央区等よりきれいではない(道路)。(南千住/40代)
- とにかく街をきれいにして下さい。交通の便もよくポテンシャルのある街だと思いますが、とにかくきたない！道も狭くて電線いっぱい、駅前もきたなくてがっかりします！あちこちにある高架下、トンネルが暗くて怖いです。子どもを安心して育てていくためにも、よろしくお願いします。(西日暮里/40代)

- 溢れかえるペットボトルなどのごみは目に余ります。区で公共のごみ箱を積極的に設置したらいかがでしょうか？ (東尾久/40 代)
- たばこ、ごみのポイ捨てや犬の糞が住宅の前に放置されている。 (西尾久/40 代)
- 南千住駅周辺や荒川区側の千住大橋周辺のポイ捨てされているごみがとても気になります。喫煙者のマナーについても気になります。荒川区は路上喫煙禁止でしょうか？駅周辺、マンション周辺での喫煙者が多いです。犯罪抑止のためにも、地域美化について考えていただきたいです。 (南千住/30 代)
- 三河島駅前の歩道が美しく整備されましたが、飲食店がごみのポリバケツを数個、常時ガードレール側に放置しています。衛生面、美観上自身の店の中にしまう様、行政指導をお願いします。駅から2分の所でせっかくの美しい歩道が台無しです。 (東日暮里/70 代)
- 外での喫煙行為の厳罰化求む。 (町屋/30 代)
- 他の区に比べて歩きタバコ、喫煙所以外でのタバコを吸う人がとても多い気がします。これから子どもが生まれてくるのですが不安です。改善運動をしてくださると嬉しいです。 (西日暮里/30 代) …同様意見 1 件
- 喫煙所をもう少し等間隔で設置して欲しい。路上喫煙やポイ捨てが減ると思うので。 (西尾久/20 代)
- 南千住5丁目に住んでいますが、街全体としてタバコのポイ捨てなどが非常に多いと感じます。ぜひ対策をお願いいたします。 (南千住/30 代)

【公園、緑化】

- きれいな街に住み、公園や土手もきれいで安心して住める街になってほしい。緑多い街できれいな街がうれしい。 (町屋/60 代)
- 町屋7丁目の堤防横の公園の整備で大きな木を切ってしまったたり、緑がなくなってしまったことは大変遺憾です。 (町屋/50 代)
- 荒川区役所の周りの木々や花々がすごくキレイで、お散歩していて心がこちよい、良い気分になります。いつもお手入れありがとうございます。 (西日暮里/20 代)
- これからも緑をたくさん増やして貴重な木や植物を大切にしたい区政に期待します。よろしくお願いします。 (西尾久/30 代)
- 東京 23 区内で一番緑が少ない区と聞きました。整備しすぎた公園ばかりでなく、緑が深い公園も作って頂きたい。 (西尾久/80 歳以上)
- 荒川区は緑が少なく、さびしい。今後広い土地が空いたら公園、緑地等を増やしてもらおうと心が落ち着く。 (無回答/無回答)
- 子どもの目線でみると公園が少なく、緑も少ないと思います。エリア的に難しいとは思いますが、子どもだけでなくお年寄りにも必要ではないでしょうか。真土小跡地の公園は貴重な遊び場でした。他区にくらべて、住みづらい要因ではないでしょうか。 (西日暮里/40 代)
- ボール遊び出来る公園を作ってほしい。 (西尾久/70 代) …同様意見 1 件
- 荒川自然公園をペット可にして欲しい。 (南千住/40 代) …同様意見 1 件
- 川辺や公園にもう少しベンチなど増やして頂きたい。高齢者が多い地域では座ると隣席の人達の交流が出来ると思う。 (南千住/70 代)

- 自然公園のバス道路側にエレベーターをつけてほしいです。都電側にはありますがこちら側はないので、公園に着くまでが坂なのでとても大変です。車いすの人は特に大変です。よろしく考えて下さい。お願いします。 (町屋/80 歳以上)
- 公園では、出来ないことが増えすぎて自由にやりたいことで遊べません。例えば、ボール遊びや夏の風物詩の花火。花火に関しては、期間を設けたりして、夏イベント開催時に特定エリアのみ花火が出来る・・・みたいなことがやれたら楽しいだろうと思います。この間、豊島区のイケ・サンパークのイベントで体験して子どもも喜んでいたので！ (東尾久/40 代)
- 子ども達が、大きな声を出し、走り回り、ボール遊びをする、そんな公園が、無さすぎると思います。(ボール禁止、声出し禁止、の看板) 近所の方々の理解の無さで、通報される。国の将来を背負うのは、子どもや若者達です。ルールを守っての事に、理解してほしいです。 (町屋/40 代)
- 3年前出産し、子育てをして初めて荒川区内の公園を数々訪れることになったのですが気になる点があります。お掃除前だとタバコの吸い殻や飲食のごみが散乱していることが多々あります。難しいとは思いますがお掃除の曜日や時間が明らかになっているとありがたいです。一度、爪楊枝や竹串を子どもが手にとってしまい焦りました。シルバーさんが綺麗にお掃除してくださるのにはとても感謝しています。 (町屋/30 代)
- ローラー公園が近くにありますが、ごみの散乱が酷い。こんなに汚い公園は他に見た事ありません。 (東日暮里/50 代)
- 公園で子どもが遊んでも平気でタバコを吸っている方がいるのが気になります。高齢男性が多いです。 (町屋/30 代)
- 当方は自宅保育をしています。保育園の子ども達と遊ぶ時間が重なると公園の遊具を占領されてしまい遊べません。仕方なくこちらの生活時間をややずらし、昼食時に連れていきます。もちろん、園児の年齢が近そうであれば混ざって遊ばせてもらうこともありますが年長さん達だと勢いよく走ってこられた時ぶつかったりして危険です。曜日や時間で住み分けできるというのですが難しいですね。 (町屋/30 代)
- 3歳の子どものがいます。子どもが安全に健やかに暮らせる社会を望んでいます。小さい公園のトイレが男性用とだれでもトイレの二つになっているのが不安です。女性用トイレやトイレ利用時の防犯対策の強化を希望します。 (西尾久/40 代)
- 公園によしずではなくしっかりと日陰が欲しいです。夏は全く公園で遊べません。樹木が多めの公園に行ってみましたが虫よけをしていても大量の蚊が寄ってきます。じゃぶじゃぶ池もありがたく利用させて頂いてはいるのですが、帰宅後お風呂に入れたり洗濯したりと普通に公園で遊ぶより手間がかかるので毎日に行けません。 (町屋/30 代)
- 都政にはなるが、都立汐入公園にドッグランを設置してほしい。 (南千住/20 代)

【低所得者に対する福祉】

- 物価がとても高く、生活が大変です。後期高齢者の年金生活者の為にもっと支援金をお願いします。 (荒川/70 代)
- 物価高に対する支援。 (東尾久/30 代) …同様意見 1 件
- 生活が苦しいです。給付金があればうれしいです。 (東日暮里/70 代)
- 離婚による年金分割で、年金が月額で6万円になり、生活していけない。 (西尾久/70 代)

- 税金が高すぎて手取りがほんの少ししか増えない。額面年収はそこそこあるのに生活が苦しい。
(荒川/40代)
- 生活費が足りない、限界、この歳でお金を借りたが返していかなければ、社会福祉協議会があることは知っているがお金を貸してくれるかどうか不安。
(東尾久/70代)
- 荒川区の財政は慎重な運営が求められる状況にある中で、物価高への対応は非常に重要な課題だと考えます。そこで、特定目的基金の一部活用や一時的な支援制度の導入など、現実的に可能な範囲で結構ですので、光熱費補助や区内商品券の配布など、短期間で効果が見える施策を希望します。継続的な負担には慎重さが必要ですが、今すぐ区民生活を支えるための具体策を検討していただけると助かります。
(西尾久/30代)
- 広くないにも関わらず、賃貸物件の家賃が高いので、補助金等の支援策を考えてほしい。
(東尾久/40代)
- 私自身は就職氷河期世代。何とか大企業の正社員になれたが、未だに非正規や低所得で苦しむ同世代の人がいると思う。区内企業への就職支援や、区役所や区施設での雇用はできないか。
(東日暮里/40代)

【高齢者福祉】

- 補聴器をしているが、感音難聴の為、何を話しているのかよく分からずその為に地域やサークルの集まりに参加しない事が多い。又、最近同じ荒川区内の娘と同居を始めたのでこちらの地域には馴染みがなく、高齢の為というのもあります。いろいろな細やかな情報を区報にもっとどんどん載せて下さい。
(荒川/80歳以上)
- 一人暮らしの人が安心して生活出来る街づくりをお願いします。急に一人暮らしになってしまい、毎日寂しいので見守る会にお願いしたい。
(荒川/80歳以上)
- 身よりのない人に身近に話しかけてほしい。一人暮らしのため、毎日心淋しい事が多く、話したい時がある。高齢のため毎日が苦しい事が多い(身よりが無いために)。いつも不安だらけです。
(町屋/80歳以上)
- 荒川区の銭湯が次々に廃業しています。せっかくのお風呂券も近くに銭湯がないので、行きたくてもなかなか利用できません。荒川区だけでなく近隣の足立区、北区などでも利用出来るようになると嬉しいです。高齢者にとって銭湯はとても楽みな憩いの場なので、ご検討頂きたいです。
(荒川/70代)
- 独り暮らし高齢者が安心して自立生活ができる区営住宅が不足している。
(西尾久/60代)
- 区営(都営)住宅に、ずっと入れない。
(荒川/60代)
- 老後安心して暮らせる住宅を増やして欲しい。
(西尾久/50代)
- 賃貸住宅に住んでおり、パートで働いているが、家賃が負担になってきている。都営住宅に入るには収入が高いため入れず、高齢になり負担が大きいため、補助して欲しい。
(南千住/70代)
- 荒川区は福祉に力をいれていると思います。今後とも生活用品、用具等の支援強化をお願いします。
(西尾久/80歳以上)
- 各地域の相談者がいらっしやると良いと思います。
(荒川/80歳以上)
- 高齢者への見守り。(ひとり暮らしの方への声かけ)
(西尾久/50代)

- 今年引っ越して来てまもなく包括支援センター、ケアマネージャーさんと連携して助けていただき、本当に助かりました。（介護の件で）ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。（東尾久/60代）
- 介護保険料が都内No.1は???。介護を受ける際に最低の介護にならないようにたのみます。他区の事業所は判りませんが、皆さん忙しそうにしていますね!!おぎなりのサービスになっていませんか?。（町屋/70代）
- 子育て世帯だけケアすればよいというものではない。第2次ベビーブーム世代がこれから引退してゆく中、年金も先延ばしされ、貧困な人が多くなることが懸念される。雇用等年配者が幸せに楽しく暮らせる場所になればステキだと思う。ふるさと納税等で税収が少なくなる中、大変だとは思いますがよろしくお願いします。頑張ってください。（東日暮里/50代）
- 高齢化社会に対応できる生活支援の益々の充実を希望します。（南千住/60代）
- 長らく東京特別区に住んで荒川区には6年前に引っ越してきましたが、図書館なども充実しており、町も比較的清潔で住みやすいと思います。高齢者になるまで住んでいるかはわかりませんが、高齢者の地域活動参加を促進できるものがあればと思います（荒川/50代）
- 介護をしている人が情報交換をできる集まりがあると良いとおもいます。（東日暮里/60代）

【心身障がい者（児）福祉】

- 荒川区の障がい者雇用をもっと考えるべき。区役所でも雇用していると聞いているが軽度の方。障がい者の方に、力を入れるべき。板橋区や葛飾区など見習ってほしい。（町屋/30代）
- 子どもや障がい者などの生活弱者と言われるような人々への支援活動の充実を希望します。（南千住/60代）

【公衆衛生、健康増進】

- 害虫や獣の駆除。（西尾久/50代）
- 年1回のがん検診についてお願いがあります。胃がんの内視鏡検査が偶数年齢のみ1000円でできますが、毎年できるようにして欲しいです。（南千住/50代）
- ガン検診の有料化に理解出来ない。（荒川/60代）
- ワクチン接種補助等について、以前は免疫疾患も先行接種など考慮されていましたが、現在は年齢による分類でしか考慮されていません。再度免疫疾患も対象として欲しいです。（南千住/50代）
- 3次救急病院の新設。（町屋/40代）
- 区政だけではないが今の医療制度に疑問があります。高齢者は本人負担は少なくてすみませんがそのために病院等との話し合いがうまくいかないと納得のいかない治療をされてしまいます。（高い薬の治療などあまり丁寧に説明されない場合があります。治療のために利用されているように感じました。）（東尾久/70代）

【子育て支援】

- 出産費の無償化。（町屋/40代）

- 共働きの家庭でどちらかに何かあると子どもを養うのが厳しくなる。大家族や祖父母が近くにいる方はフォローができるが、そうでないと働き方にも制限が出てしまう。共働きで子どもがいても働きやすい環境作りをしてほしい。(荒川/40代)
- 子育て支援に現金をまく他に何か方法はないのかと疑問を感じる。(西尾久/60代)
- 子ども、高齢者福祉の充実。(西日暮里/60代)
- 保育士を荒川区でやっております。保育料無料やだれでも通園、子育て支援としてとてもいいと思うのですが、もっと現場の保育士に目を向けていただきたいです。子どもが沢山通えても保育士がどんどん減ります。手当の拡充など検討していただきたいです。この仕事大好きなので無理せず続けたいです。よろしくお願いします。(南千住/20代)
- 子どもを育てやすい環境を整えていただきましてありがたく思います。しかしながら、現代における親のストレスは凄まじく、また発散できる場も多くはありません。仕事が休みの日や、仕事終わりに少しでも自分の時間がとれれば、親の心の余裕ができ、子どもや周囲への接し方が変わってくると思います。少しの時間でも子どもを預けられたり、臨機応変に預かってもらえる場があると子育ての質の向上につながるのではないのでしょうか？そういった場を私自身も作っていったらと思っています。(西尾久/40代)
- 子育て相談がLineでできれば良いのにとします。ワンオペ育児だと電話相談や来所相談はハードルが高く感じます。(時間、体力がない)(東尾久/30代)
- 病児保育の無償化希望します。(南千住/40代)
- 乳児のおむつ又はミルクの助成金など必要と思う。この先の高齢化社会を支えていく大切な人たちです。今まで支えてくれた高齢の方々の補助(おむつなど)も必要かと思いますが、未来の社会人への補助も必要と思います。国が行う事ですが、区政でできたら子どもは増える可能性もあります。(東尾久/30代)
- 物価高で生活が苦しい。子どもが産まれるため、補助金や助成金を充実させてほしい。(荒川/30代)
- 子どもへの支援を充実させて欲しいです。(南千住/30代) …同様意見1件
- 10年以上前の話になりますが、当時は待機児童も多く病児保育もほとんどありませんでした。世間的に今よりも子育てに対する理解もなく、2人目を諦めた経緯があります。限られた予算の中なので致し方ないとは思いますが、高齢者支援は充実していたのに、子育て世代は切り捨てられていたと思っています。今の世代の方にはそのような思いをして欲しくありません。是非子育て世代への支援を充実させてください。(南千住/40代)
- 私の長女は保育園卒園時に東日本大震災、高校生時はコロナ感染症で、自粛期間を複数経験した。他にも移動教室や修学旅行等に行けなかった人も多いのではないかと。社会的環境で学生時代の大切な時間に自粛を余儀なくされた世代に、何かしらの支援、助成はできないか。(東日暮里/40代)
- 子どもが欲しい家族への支援、保育など子育てに関する援助が手厚いと長く住むことへの魅力が増すと思います。(南千住/30代)
- 今後結婚しても住んでもいいと思っている。そのためにも若者や、子どもがいる家庭や将来子どもを望んでいる既婚者にむけて過ごしやすい制度や助成があったらいいなと感じた。(東日暮里/20代)

- 保育園の数が足りない。子育てしやすい環境を整えてほしい。荒川区を高齢者が多い街から子育てしやすい街に変えて欲しい。 (荒川/30代)
- 保育園がもう少し増えるといいと思います。 (東日暮里/30代)
- 保育園の統廃合。 (南千住/20代)
- 子連れが喜ぶ公園、施設があまりに少ない。 (東日暮里/40代)
- 近くに大きな公園がなく、こどもの遊ぶ場所が少ないです。ふれあい館にもお世話になっていますが、混んでいることも多いのでこどもが安全に遊べる場所が増えると嬉しいです。 (東日暮里/30代)
- 学童の帰宅時シルバーさんがつくが、コースの数よりシルバーさんの数が少ないためコースによっては子ども1人で帰ることになる。もっと人を増やして欲しい。 (荒川/30代)
- 荒川区に転居してきて、近隣住民や商店街の方などに見守っていただきながら子育てができました。おぐぎんぎ商店街のように、ほかの商店街も充実したのになると良いと思います。あらかわ遊園や図書館は子育てのリフレッシュ場所として利用させていただきました。 (西尾久/40代)
- 近隣の区との、行政支援の差、子育て支援の差が気になります。印鑑証明書のコンビニ発行料の違い、各種助成金の違いなど。荒川区は台東区、北区、足立区等と隣接しており、自宅によっては、他区の支援センターの方が近い場合があります。参加資格等に在住者のみだと残念に思うことがあります。様々な面で、他区との連携支援を切に願います。例えば、北区には、産後ドゥーラの助成がありますが荒川区にはありません。子育て支援は荒川区も独自の支援体制が手厚く感謝しておりますが、産後直後に手を借りたいのは、「家事」です。ぜひ、荒川区も北区のような産後ドゥーラ制度を望みます。また、産後ドゥーラ養成講座を受講する人への助成を通して、支援者の数も増やすべきと考えます。ご検討のほどよろしくお願いします。 (東尾久/30代)
- 現在、ファミリーサポート制度にお世話になっておりますが、東京都の子育て支援制度を利用した民間ベビーシッターの利用をする方が、出費が少ないため、どちらを優先するか悩ましいところです(安心した近隣の人間関係によるサポート/できるだけ支出の少ない支援)。以前から迷わず前者を選んでいましたが、家計の逼迫から後者の充実を希望します。乳幼児期から学齢期に渡る、切れ目のない支援制度があれば、安心して出産することができるので、ぜひよろしくお願いします。 (東尾久/30代)
- 子育て世帯です。荒川区はふれあい館や児童館などの入園前の子どもが過ごせる場が多くあり、大変助かりました。可能であれば、赤ちゃんがゆっくりと眠る事ができるお部屋や施設があると、さらにありがたいです。 (東尾久/30代)
- 乳幼児を育てる支援は充実している気がしますが、児童(小中高生)に対する支援の充実が不明です。街にマンションばかり続々と建設されるイメージがあり、ファミリー層は多いが、保育園、小学校、学童、子どもの居場所作り等が間に合っているのか不安です。 (南千住/30代)
- 多子家族に対しての塾代補助(所得制限なし)。 (町屋/40代)
- 第3子以降の食費補助(所得制限なし)。 (町屋/40代)

【スポーツ・文化の振興、生涯学習】

- 西尾久近くの図書館の蔵書を充実して欲しい(町屋だと少し遠い為)。 (西尾久/30代)

- 土日に来るスポーツや習い事を増やして欲しい。 (西尾久/40代)
- 荒川区で生まれ30年間東尾久運動場のテニスコートを使用させて頂いておりますが、コートが古くなると滑ったりケガをするので、修繕していただきました。しかしながら、クラブハウスは相変わらず汚くて、トイレはサビだらけで狭く使いづらいです。幾度も話にしていますが、コート代も駐車代も支払っているのに一向に変わりません。他区の施設はどんどんきれいに改修しておりますので、是非荒川区も厚生施設に力を入れてほしいと思います。そうでないと若い区民が他区に移動してしまいます。ぜひ、よろしくお願いいたします。 (西日暮里/60代)
- 減税補助で1万円ほとんど恩恵がなく、文化振興に対してもイベント補助金が10万のみ。フリーランスや文化継承者のための補助金や、イベントが少ないことなどで、住みにくさしか感じられない。文化レベルも低く、大きな劇場がある割に、イベントが少ない。手厚い補助があるならば、区政だよりや掲示板に提示すべきである。区民税を多く払っている、意味が見出せない、改善されなければ、他区に今すぐにでも転居したい。 (荒川/30代)
- 伝統工芸の仕事に就く機会、チャンスを増やして頂きたい。 (西尾久/30代)
- ゆいの森あらかわはとても魅力的ですが遠すぎてあまり利用できません。区のはしっこに住んでいる人も行きやすい大きい図書館ができれば良いです。 (東尾久/30代)
- ゆいの森あらかわ、荒川総合スポーツセンターを利用しています。とても良い環境でありがたい。利用人口も多く、土日曜日は利用者が多く本を読む場所がなかったり、スポーツセンターでは利用者が多く、あきらめて帰る事もある。高齢者が住みよい荒川区。 (南千住/70代)
- スポーツについて、世界で活躍する荒川区出身野球選手がいるなかで荒川区での盛り上がりを感じられない。パブリックビューイングなど開催して盛り上げてほしい。 (町屋/20代)
- 荒川区スポーツセンターの利用料金が高いと思います。また、区民と区民以外で料金が同じですが、違いを作るとか、区民は優先利用ができるとか工夫してほしいです。また、体育館の個人利用の方法もわかりづらく、合理的ではないので改善してほしいです。①現在は、3時間利用ですが、基本的には利用時間を2時間にし、空いていれば延長できるなどし、待たせずたくさんの方に利用してもらえるようにする。②体育館に行ってみないと利用できるかどうかかわらないだと、遠方からくる住民には負担である、など、利用法を見直してほしいです。オンラインで、予約できるなど改善を強く望みます。 (西日暮里/50代)
- 趣味でバスケサークルに入っていて都内の様々な区のスポーツセンターに行ってみて感じたのですが、荒川区は至る所の冷水機が少ないなって。設置場所を増やすと、スポーツをやる全世代がより公共施設を使いやすくなると思います。 (荒川/20代)
- 会社員として図書館の営業時間とどうしても合いません。 (東日暮里/30代)
- かけっこ教室やスイミング施設があるとより魅力的と感じます。 (東尾久/30代)
- 図書館の整備素晴らしい！！区民のことを考えて頂きありがとうございます。 (西尾久/40代)
- 陸上競技場を作って欲しい。 (西尾久/50代)
- 隅田川テラスがあらかわ遊園地まで伸びて欲しい。ランニングコースが伸びると良い。浅草方面からインバウンドのランナーがくるので彼らが寄れるお店や汗を流す銭湯やランニングステーションがあると良い。 (西尾久/50代)
- スポーツ施設の充実。子どもからお年寄りのメンタル体力向上の為。 (西尾久/60代)

【学校教育、青少年健全育成】

- 給食の牛乳は選択制にしてほしいです。子どもが遅延型アレルギーで肌荒れしていますが、病気ではない為困っています。(東尾久/40代)
- 学校教育施設の充実。近隣の小学校校舎は70歳代の私が通っていた頃からの校舎を今も使っている。計画されていると思うが、近隣他区の小学校改築の様子を知る者として、荒川区ももう少し早い改築を望みたい。(東尾久/70代) …同様意見2件
- 小学校の先生たちの生徒に対する差別が、また見かけられるのでそれをもっと改善すべき。(東日暮里/40代)
- 特別支援学級を一日小やひぐらし小といった西日暮里地区に追加設置してほしい。区長に期待しています。(西日暮里/40代)
- 教育の内容充実のため、十分に現場に人やお金が行きわたるようにしてほしい。国がやらないことを手入れしてほしいです。(南千住/40代)
- 小学校の裏に机やイスが大量に放置され、雨ざらしになっているのを見かけるが、物を大事にして欲しい。何か有効活用できないのか考えて欲しい。税金が使われているのならなおさらです。(南千住/50代)
- 学校に通えない子どもへの支援を考えてほしい。教育センターには、区立学校退職後の教員ばかりでした。区立学校の先生の対応に疑問を持った私にとっては、安心して預けられるような説明は得られませんでした。先駆けて不登校支援をしている先生をトップにし、本当の意味での個別教育、そして、足立区に負けない不登校支援対策を区として取り組んでほしいです。荒川区には、ホッとステーションの代表のように、昔からこの問題に取り組んでいる方がいます。また、私立中学の中には、日常的に普通に個別対応をしている私立中学があります。そういった方々の力を借りて協力しながら、教育について考えていただきたいです。また、その取り組みにより教育に強い荒川区というアピールポイントになると思います。(東尾久/40代)
- 学校部活動の地域展開を積極的にすすめてもらいたい。将来的には教員の負担ゼロへ。(町屋/40代)
- 学校に自販機設置。(町屋/40代)

【世論調査】

- 世論調査の存在は知っていましたが、届いたのは初めてで何か役に立てばうれしく思います。設問多く勉強になりました。(西尾久/20代)
- 何を目標に掲げてどのくらい達成したのか、みたいな報告がぱっと一目でわかるようなものがありますか？なかったらほしいです。(東尾久/30代)
- こうしたアンケート調査の実施により、「より良い区政」のあり方を模索する皆さん方(区役所の担当者の皆様)に敬意を表したいと思います。「区民の声」を拾い上げる努力は大切です。これからも、「より良い荒川区づくり」に向けてがんばってください。(東尾久/70代)
- 要望したとしても、それに対する回答がきつとないので、要望する気にもならない。(西尾久/50代)
- 今回のアンケートで、いろんな団体や集まりが有る事を改めて知ることができてよかったです。本当にありがとうございました。できればこのような集まりや団体に参加をしたいと思いますが、どのように参加すればよろしいでしょうか？(東尾久/50代)

- いつもいろいろお世話になっております。2025 年 4 月から西日暮里に住んで困ったことがいっぱいあった。一番ありがたいのは荒川区役所の人たちです。誰でも優しくてここから本当に感謝しております。でもこのアンケートを家にする時、自分の母国語で説明ぐらい入ってくればもっと助かりますのでそれをよろしく頼みたいです。ありがとうございます。これからもよろしく願います。
(西日暮里/30 代)

【その他】

- 都民住宅に住んでいる 60 代です。住宅の買い取りはできるのか、できるのであればどうしたらよいのか知りたい。情報提供をしていただけたら、ありがたい。自分自身が動けるうちに。
(南千住/60 代)
- 動物愛護は知らなかった。あらかわ区報に詳しくのせてほしい。
(西尾久/30 代)
- 地域猫などの活動もされていると思うのですが、猫を嫌いな人たちから猫への嫌がらせや虐待なども聞くのでそういった取り締まりなど力を入れてほしいです。治安にも関係してくると思うので、人も動物も安心して暮らせるようにお願いしたいです。
(西尾久/30 代)
- 地域猫の管理。子どもたちが道路上で地域猫とふれあう姿をよく見かける。子どもの衛生管理が心配。また駐車場、庭への排泄物の問題もある。区として、どこか決められたところで管理して飼う等の対策を考えて欲しい。
(東尾久/70 代)
- 地域猫もいっぱいいて、みんな人懐こくて、その地域に住んでる人が優しい人で可愛がってる方がいるんだなと感じました。
(東日暮里/20 代)
- 未来ある若者を育ててください。
(西尾久/30 代)
- 子どもや高齢者だけでなく、単身で就労し納税している者らにもメリットのある区政をお願いします。
(町屋/30 代)
- 子どもや高齢者だけでなく、働く世代への支援も考えてほしい。賃金は上昇しているが、物価高の影響で±0かマイナスになっていると感じることが多々あるため。
(町屋/20 代)
- 子どもがいる家庭だけでなく、独身者への支援や給付も考えて欲しい
(荒川/30 代)
- 一人暮らしに優しいまちづくりを進めてほしい(費用面を中心に)。
(南千住/20 代)
- 若い単身世帯への支援の拡充。
(東尾久/30 代)
- オーナー不在の民泊営業で夜間の騒音や無秩序なごみ出し等に対策が必要。
(南千住/70 代)
- まずは地方選挙からウェブでの投票を導入してほしい。投票率も上がるし、投票管理者・立会人や土日の従事職員も不要となる。ポスター掲示場や選挙公報も不要。開発費用はすぐに回収できると思うのだが、なぜどこもやらないのか不思議でならない。
(東日暮里/40 代)
- 期日前投票などのやり方は、しっかりできているのか不安になる。
(南千住/50 代)
- 少子化対策として、東京都がマッチングアプリの運営をしているが、荒川区でも独自の取組をして欲しい。
(東尾久/40 代)
- ご当地ナンバーを作してほしい。
(東日暮里/40 代)
- 都内どこでも同様と思われませんが、家賃が高騰しすぎではないかと思います。
(南千住/30 代)
- 外壁塗装への助成金があると良い。
(町屋/40 代)
- 区の条例でスマホ時間規制。
(町屋/40 代)
- 区議会議員の定数削減。
(南千住/70 代) …同様意見 2 件
- 荒川区議員の給料削減。
(町屋/40 代)

- ぜひ、差別のない区民にやさしい政治を。選挙の時だけのお願いと公約を是非お忘れなき様、自己保身に政治家の方は走らぬ様によろしく願いいたします。 (荒川/70代)
- 各区議会議員の活動報告を定期的の開示してほしい。次の選挙で判断材料にしたい。 (町屋/70代)

***VII* 集計表**

問1 居住年数

		調 査 数	5 年 未 満	5 ～ 9 年	1 0 ～ 1 9 年	2 0 年 以 上	無 回 答
全 体		1,552	17.8	10.9	17.8	52.8	0.6
居 住 地 区	南千住	327	16.8	11.3	26.3	45.3	0.3
	荒川	239	18.4	11.3	12.6	57.7	0.0
	町屋	211	12.8	7.6	17.1	62.1	0.5
	東尾久	187	17.6	10.7	12.8	58.3	0.5
	西尾久	195	15.4	10.3	13.8	58.5	2.1
	東日暮里	204	20.6	13.2	18.1	47.5	0.5
	西日暮里	168	25.6	11.9	21.4	41.1	0.0
年 代	18～29歳	157	51.0	5.7	14.6	28.7	0.0
	30～39歳	214	50.5	22.4	10.7	16.4	0.0
	40～49歳	272	14.3	21.3	36.4	27.2	0.7
	50～59歳	293	7.8	9.6	27.6	54.9	0.0
	60～69歳	225	4.9	6.2	12.4	76.4	0.0
	70～79歳	239	3.3	2.9	6.7	85.8	1.3
	80歳以上	141	5.0	2.8	4.3	85.8	2.1
同 居 世 帯 人 数	1人	358	26.8	10.9	12.0	49.7	0.6
	2人	535	20.2	9.5	13.1	56.8	0.4
	3人	324	14.5	11.1	19.8	54.0	0.6
	4人	220	9.5	13.6	31.8	45.0	0.0
	5人	59	3.4	11.9	28.8	55.9	0.0
	6人以上	35	2.9	8.6	28.6	54.3	5.7
居 住 形 態	持ち家(一戸建て)	506	5.3	4.7	12.5	77.3	0.2
	持ち家(集合住宅)	463	9.3	10.2	28.7	51.0	0.9
	借家(一戸建て)	43	30.2	14.0	7.0	48.8	0.0
	借家(集合住宅)	465	37.4	18.3	14.8	28.8	0.6
	寮・社宅	27	51.9	7.4	14.8	25.9	0.0
	その他	29	13.8	3.4	10.3	69.0	3.4
ラ イ フ ス テ ー ジ	家族形成期	186	59.7	24.7	4.3	11.3	0.0
	家族成長前期	128	5.5	20.3	50.8	21.1	2.3
	家族成長後期	117	6.0	7.7	39.3	47.0	0.0
	家族成熟期	112	7.1	7.1	24.1	61.6	0.0
	高齢期	236	1.7	3.4	7.6	86.9	0.4
	高齢期(一人暮らし)	141	5.7	3.5	6.4	83.0	1.4
	一人暮らし	201	43.3	16.9	15.4	24.4	0.0
	その他	431	10.4	7.7	16.9	64.3	0.7
性 別	男	641	16.5	11.1	17.2	54.6	0.6
	女	874	18.6	10.6	18.4	51.8	0.5
	その他(どちらでもない、わからない)	13	23.1	23.1	23.1	30.8	0.0
国 籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	41.6	15.6	13.0	29.9	0.0
	印を付けなかった方	1,475	16.6	10.6	18.1	54.0	0.6

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問2 定住意向

		調査数	住み続けるつもり	当分の間は住むつもり	できれば転居したい	転居するつもり	わからない	無回答
全 体		1,552	55.9	30.6	3.6	3.0	6.1	0.8
居住地区	南千住	327	56.6	31.2	2.1	3.7	5.8	0.6
	荒川	239	58.6	28.0	4.2	2.9	6.3	0.0
	町屋	211	55.5	28.9	5.2	2.8	6.2	1.4
	東尾久	187	56.7	30.5	2.7	2.1	7.5	0.5
	西尾久	195	65.1	23.6	3.6	2.1	4.1	1.5
	東日暮里	204	50.5	36.8	5.4	2.5	4.4	0.5
	西日暮里	168	48.2	35.7	3.0	5.4	7.7	0.0
年代	18～29歳	157	17.8	49.7	5.7	11.5	14.6	0.6
	30～39歳	214	34.6	45.3	9.3	6.5	4.2	0.0
	40～49歳	272	47.4	40.8	3.7	1.8	5.1	1.1
	50～59歳	293	61.4	29.0	3.1	1.0	5.5	0.0
	60～69歳	225	68.4	23.1	1.3	2.2	4.9	0.0
	70～79歳	239	74.1	15.5	1.7	0.8	6.3	1.7
	80歳以上	141	84.4	9.2	0.7	0.0	3.5	2.1
同居世帯人数	1人	358	50.6	31.3	5.3	4.2	8.4	0.3
	2人	535	57.6	29.3	3.4	3.2	5.6	0.9
	3人	324	57.7	30.9	2.5	2.8	5.6	0.6
	4人	220	52.3	36.4	4.5	2.7	4.1	0.0
	5人	59	74.6	22.0	0.0	0.0	3.4	0.0
	6人以上	35	57.1	22.9	2.9	0.0	8.6	8.6
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	74.7	19.0	0.8	0.6	4.2	0.8
	持ち家(集合住宅)	463	62.6	29.8	2.8	0.9	3.0	0.9
	借家(一戸建て)	43	51.2	32.6	2.3	2.3	11.6	0.0
	借家(集合住宅)	465	30.8	43.9	7.7	7.7	9.2	0.6
	寮・社宅	27	18.5	51.9	3.7	11.1	14.8	0.0
	その他	29	65.5	17.2	0.0	0.0	13.8	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	36.6	44.6	5.9	9.1	3.8	0.0
	家族成長前期	128	58.6	35.9	0.8	0.0	2.3	2.3
	家族成長後期	117	57.3	35.0	3.4	0.9	3.4	0.0
	家族成熟期	112	56.3	30.4	2.7	0.9	9.8	0.0
	高齢期	236	77.1	16.5	0.4	1.3	3.4	1.3
	高齢期(一人暮らし)	141	75.2	14.9	1.4	0.0	7.8	0.7
	一人暮らし	201	31.3	43.8	8.0	7.5	9.5	0.0
	その他	431	56.6	28.5	4.2	2.3	7.2	1.2
性別	男	641	56.2	30.0	3.4	3.0	6.2	1.2
	女	874	56.4	30.7	3.5	3.2	5.8	0.3
	その他(どちらでもない、わからない)	13	23.1	53.8	15.4	0.0	7.7	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	59.7	27.3	1.3	2.6	9.1	0.0
	印を付けなかった方	1,475	55.7	30.8	3.7	3.1	5.9	0.8

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問2-1 住み続けたい理由

		調査数	住み慣れているから	自分の家（土地）だから	家の広さなどの居住環境が良いから	家賃（地代）が安いから	通勤・通学に便利だから	買い物など毎日の生活の便が良いから	仕事や商売の関係で都合だから	環境が充実しているから	館・ふれあい館など子育て	保育園、幼稚園、ひろば	子どもの教育のため	地域での人間関係が良いから
全 体		1,343	61.5	55.0	17.4	9.4	39.8	43.0	10.6	6.2	3.4	14.4		
居住地区	南千住	287	55.7	54.7	22.6	10.1	37.3	43.6	6.6	7.3	5.2	13.6		
	荒川	207	61.4	53.6	12.6	10.1	40.1	43.0	12.1	6.8	1.4	15.0		
	町屋	178	68.0	51.1	16.9	9.6	36.5	40.4	10.1	3.9	2.8	11.8		
	東尾久	163	64.4	54.6	16.0	9.2	42.9	41.1	14.7	9.2	3.7	19.6		
	西尾久	173	67.1	58.4	18.5	9.8	31.8	46.8	13.3	6.4	3.5	18.5		
	東日暮里	178	62.9	56.7	17.4	7.9	44.4	53.4	9.0	4.5	4.5	13.5		
	西日暮里	141	53.2	56.7	16.3	9.2	50.4	29.1	10.6	5.0	2.1	9.2		
年代	18～29歳	106	50.9	23.6	17.9	13.2	56.6	34.9	10.4	1.9	0.0	5.7		
	30～39歳	171	48.5	32.7	18.1	15.8	60.8	37.4	8.8	16.4	7.6	9.9		
	40～49歳	240	59.6	57.1	16.7	10.4	52.9	39.6	12.5	13.3	10.8	13.3		
	50～59歳	265	64.5	61.5	17.0	8.3	49.1	37.0	12.1	2.3	2.3	16.2		
	60～69歳	206	67.5	62.6	19.4	4.9	31.1	49.0	12.6	2.4	0.0	14.6		
	70～79歳	214	68.2	66.4	16.8	8.9	15.0	53.7	10.3	1.9	0.0	15.4		
	80歳以上	132	62.9	61.4	17.4	6.8	12.1	47.7	4.5	4.5	0.8	24.2		
同居世帯人数	1人	293	62.1	39.6	16.7	14.7	35.5	42.7	11.3	2.0	0.3	11.3		
	2人	465	58.5	54.8	17.2	13.1	34.6	46.7	8.6	1.5	0.0	12.5		
	3人	287	63.1	59.6	19.2	5.2	46.0	43.9	11.8	12.2	6.3	18.5		
	4人	195	64.1	64.6	19.0	3.1	50.8	36.4	10.8	13.8	8.2	17.4		
	5人	57	64.9	71.9	14.0	0.0	49.1	38.6	15.8	8.8	12.3	21.1		
	6人以上	28	53.6	64.3	17.9	3.6	28.6	32.1	14.3	10.7	14.3	10.7		
居住形態	持ち家（一戸建て）	474	66.9	82.3	13.7	2.3	30.4	40.9	11.2	5.5	2.1	18.1		
	持ち家（集合住宅）	428	57.2	77.3	21.7	1.6	38.6	42.3	7.7	7.0	3.5	12.4		
	借家（一戸建て）	36	66.7	8.3	22.2	27.8	33.3	38.9	16.7	2.8	2.8	19.4		
	借家（集合住宅）	347	58.5	1.7	18.7	27.7	55.3	49.9	11.5	6.6	5.5	11.2		
	寮・社宅	19	47.4	0.0	10.5	0.0	52.6	15.8	15.8	10.5	5.3	21.1		
	その他	24	79.2	12.5	4.2	4.2	33.3	29.2	16.7	0.0	0.0	4.2		
ライフステージ	家族形成期	151	41.1	37.7	18.5	14.6	56.3	35.1	11.9	24.5	8.6	13.2		
	家族成長前期	121	55.4	66.1	19.0	5.0	58.7	39.7	10.7	19.8	18.2	20.7		
	家族成長後期	108	66.7	63.9	16.7	2.8	50.0	35.2	7.4	5.6	8.3	12.0		
	家族成熟期	97	63.9	58.8	20.6	7.2	50.5	45.4	10.3	2.1	0.0	21.6		
	高齢期	221	65.2	72.4	19.0	5.9	19.0	54.3	8.1	2.3	0.0	18.6		
	高齢期（一人暮らし）	127	69.3	56.7	15.7	7.9	14.2	44.1	8.7	2.4	0.0	14.2		
	一人暮らし	151	55.6	26.5	19.2	21.2	55.6	43.0	13.9	0.7	0.7	7.9		
	その他	367	67.3	55.6	14.7	9.0	35.7	41.7	12.0	1.4	0.3	11.7		
性別	男	552	64.5	53.6	15.4	9.6	40.4	39.3	15.6	5.8	4.5	13.0		
	女	761	59.4	56.1	19.1	9.2	39.4	45.7	6.8	6.6	2.8	15.8		
	その他（どちらでもない、わからない）	10	70.0	50.0	40.0	10.0	30.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	67	61.2	41.8	16.4	14.9	37.3	35.8	6.0	7.5	10.4	9.0		
	印を付けなかった方	1,276	61.5	55.7	17.5	9.1	39.9	43.3	10.9	6.1	3.1	14.7		

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問2-1 住み続けたい理由

		調査数	境自然が 良い街並み などの生活 環境	文化や教育 などの公共 施設が整備 されている から	まちなぎの 雰囲気が好 きだから	その他	無回答
全 体		1,343	12.4	7.2	19.4	5.2	0.3
居住地区	南千住	287	21.6	8.4	22.6	6.3	0.0
	荒川	207	10.6	9.2	19.3	3.9	1.0
	町屋	178	10.1	5.6	19.7	6.7	0.0
	東尾久	163	12.9	8.6	22.1	4.3	1.2
	西尾久	173	12.7	7.5	20.8	4.6	0.0
	東日暮里	178	6.7	5.6	15.7	3.9	0.0
	西日暮里	141	3.5	4.3	13.5	7.1	0.0
年代	18～29歳	106	11.3	8.5	22.6	3.8	0.0
	30～39歳	171	9.9	7.0	25.1	5.8	0.6
	40～49歳	240	15.0	8.3	18.3	3.8	0.0
	50～59歳	265	13.2	6.0	23.8	6.0	0.0
	60～69歳	206	9.7	4.4	17.0	3.9	0.0
	70～79歳	214	12.1	8.4	13.6	5.6	1.4
	80歳以上	132	12.9	9.1	16.7	8.3	0.0
同居世帯人数	1人	293	8.9	6.8	18.8	7.2	0.7
	2人	465	13.5	5.6	18.1	5.2	0.2
	3人	287	12.2	8.4	21.6	4.5	0.3
	4人	195	13.8	7.7	20.0	3.6	0.0
	5人	57	17.5	12.3	28.1	5.3	0.0
	6人以上	28	7.1	10.7	14.3	7.1	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	474	8.0	7.0	16.7	3.6	0.2
	持ち家(集合住宅)	428	14.5	9.1	18.2	4.2	0.0
	借家(一戸建て)	36	8.3	2.8	19.4	5.6	0.0
	借家(集合住宅)	347	15.6	6.1	23.9	7.8	0.6
	寮・社宅	19	26.3	10.5	26.3	5.3	5.3
	その他	24	12.5	4.2	20.8	16.7	0.0
ライフステージ	家族形成期	151	11.3	7.9	21.2	5.3	0.7
	家族成長前期	121	15.7	10.7	24.8	7.4	0.0
	家族成長後期	108	19.4	8.3	16.7	1.9	0.0
	家族成熟期	97	10.3	8.2	26.8	6.2	0.0
	高齢期	221	14.0	7.7	15.8	3.2	0.5
	高齢期(一人暮らし)	127	7.1	7.9	14.2	7.1	1.6
	一人暮らし	151	11.3	6.0	21.9	6.6	0.0
	その他	367	11.4	5.2	18.8	5.2	0.0
性別	男	552	11.8	8.0	20.1	4.2	0.4
	女	761	13.0	7.0	19.3	6.2	0.3
	その他(どちらでもない、わからない)	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	67	16.4	9.0	22.4	4.5	1.5
	印を付けなかった方	1,276	12.1	7.1	19.3	5.3	0.2

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問2-2 転居したい理由

		調査数	から 自分の家 (土地)で はない	家の 広さな どの居 住環境 が	家賃 (地代) が高い から	が相 続税、 固定資 産税の 負担	通勤・ 通学に 不便だ から	が買 い物な ど毎日 の生活 の便	だ仕 事や商 売の関 係で不 都合	環境が 充実し ていな いから て	館・ふ れあい 館など 子育て に	保 育園、 幼稚園 、ひろ ば	子 ども の教育 のため	ら地 域で の人間 関係が 悪い
全 体		103	31.1	20.4	26.2	1.9	16.5	10.7	9.7	0.0	5.8	6.8		
居住地区	南千住	19	47.4	15.8	15.8	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3		
	荒川	17	17.6	5.9	23.5	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9		
	町屋	17	17.6	23.5	29.4	5.9	23.5	5.9	11.8	0.0	5.9	17.6		
	東尾久	9	33.3	33.3	33.3	0.0	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0		
	西尾久	11	18.2	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1		
	東日暮里	16	25.0	31.3	50.0	0.0	18.8	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0		
	西日暮里	14	57.1	14.3	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	21.4	7.1		
年代	18～29歳	27	29.6	14.8	18.5	0.0	22.2	3.7	18.5	0.0	3.7	0.0		
	30～39歳	34	35.3	35.3	35.3	0.0	20.6	5.9	2.9	0.0	8.8	5.9		
	40～49歳	15	6.7	20.0	20.0	0.0	20.0	13.3	13.3	0.0	13.3	6.7		
	50～59歳	12	41.7	16.7	41.7	0.0	8.3	50.0	8.3	0.0	0.0	8.3		
	60～69歳	8	50.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	70～79歳	6	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3		
	80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
同居世帯人数	1人	34	20.6	26.5	26.5	2.9	29.4	14.7	14.7	0.0	0.0	5.9		
	2人	35	37.1	17.1	31.4	0.0	5.7	14.3	5.7	0.0	5.7	8.6		
	3人	17	35.3	17.6	29.4	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9		
	4人	16	37.5	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	18.8	0.0	12.5	6.3		
	5人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	6人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
居住形態	持ち家(一戸建て)	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3		
	持ち家(集合住宅)	17	11.8	11.8	0.0	5.9	17.6	11.8	17.6	0.0	5.9	5.9		
	借家(一戸建て)	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	借家(集合住宅)	72	37.5	23.6	36.1	0.0	15.3	11.1	8.3	0.0	6.9	6.9		
	寮・社宅	4	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ライフステージ	家族形成期	28	42.9	35.7	42.9	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	14.3	3.6		
	家族成長前期	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
	家族成長後期	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0		
	家族成熟期	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0		
	高齢期	4	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0		
	高齢期(一人暮らし)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0		
	一人暮らし	31	22.6	25.8	29.0	3.2	32.3	12.9	12.9	0.0	0.0	3.2		
	その他	28	32.1	7.1	14.3	0.0	21.4	17.9	7.1	0.0	0.0	7.1		
性別	男	41	39.0	19.5	31.7	4.9	14.6	14.6	12.2	0.0	7.3	9.8		
	女	59	27.1	18.6	22.0	0.0	18.6	8.5	8.5	0.0	5.1	5.1		
	その他(どちらでもない、わからない)	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	印を付けなかった方	100	32.0	21.0	27.0	2.0	15.0	11.0	10.0	0.0	6.0	7.0		

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問2-2 転居したい理由

		調査数	境自然 が悪い 街並み などの 生活環	が文化 や教育 などの 公共施 設	まちの 雰囲気 が嫌い だから	その他	無回答
全 体		103	14.6	4.9	9.7	29.1	1.0
居住地区	南千住	19	10.5	5.3	10.5	21.1	0.0
	荒川	17	17.6	5.9	11.8	41.2	0.0
	町屋	17	5.9	5.9	0.0	29.4	0.0
	東尾久	9	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0
	西尾久	11	18.2	0.0	18.2	18.2	0.0
	東日暮里	16	18.8	0.0	12.5	25.0	0.0
	西日暮里	14	14.3	0.0	7.1	42.9	7.1
年代	18～29歳	27	7.4	0.0	0.0	29.6	0.0
	30～39歳	34	5.9	2.9	5.9	32.4	0.0
	40～49歳	15	20.0	6.7	13.3	26.7	0.0
	50～59歳	12	50.0	25.0	41.7	16.7	0.0
	60～69歳	8	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70～79歳	6	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
	80歳以上	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
同居世帯人数	1人	34	23.5	8.8	11.8	26.5	0.0
	2人	35	17.1	2.9	11.4	34.3	2.9
	3人	17	5.9	5.9	0.0	41.2	0.0
	4人	16	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0
	5人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6人以上	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	7	28.6	14.3	14.3	57.1	0.0
	持ち家(集合住宅)	17	23.5	5.9	23.5	23.5	5.9
	借家(一戸建て)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	借家(集合住宅)	72	11.1	2.8	6.9	27.8	0.0
	寮・社宅	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ	家族形成期	28	7.1	3.6	3.6	28.6	0.0
	家族成長前期	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	家族成長後期	5	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	家族成熟期	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	高齢期	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	高齢期(一人暮らし)	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	一人暮らし	31	19.4	9.7	9.7	25.8	0.0
	その他	28	17.9	3.6	17.9	39.3	0.0
性別	男	41	17.1	4.9	12.2	31.7	0.0
	女	59	11.9	5.1	6.8	27.1	1.7
	その他(どちらでもない、わからない)	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	印を付けなかった方	100	15.0	5.0	10.0	29.0	1.0

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問3 住みよさ評価

		調査数	非常に住みよい	まあまあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
全 体		1,552	22.0	69.1	6.1	1.2	1.7
居住地区	南千住	327	26.6	67.9	3.7	1.2	0.6
	荒川	239	16.7	73.6	7.9	0.8	0.8
	町屋	211	24.6	66.8	4.7	1.9	1.9
	東尾久	187	26.2	63.6	7.0	0.5	2.7
	西尾久	195	22.6	66.7	6.2	1.0	3.6
	東日暮里	204	18.6	73.0	5.9	1.5	1.0
	西日暮里	168	16.1	71.4	9.5	1.2	1.8
年代	18～29歳	157	27.4	63.1	8.9	0.0	0.6
	30～39歳	214	16.8	71.5	7.9	2.3	1.4
	40～49歳	272	22.4	68.4	7.4	1.1	0.7
	50～59歳	293	27.3	63.5	6.5	1.7	1.0
	60～69歳	225	16.0	75.6	5.8	1.3	1.3
	70～79歳	239	19.7	74.5	3.3	0.4	2.1
	80歳以上	141	24.8	66.0	2.8	0.7	5.7
同居世帯人数	1人	358	20.9	67.9	7.8	1.7	1.7
	2人	535	19.1	72.9	6.4	0.4	1.3
	3人	324	23.8	66.7	5.6	1.5	2.5
	4人	220	27.3	67.3	3.6	0.9	0.9
	5人	59	23.7	66.1	8.5	1.7	0.0
	6人以上	35	25.7	60.0	5.7	2.9	5.7
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	23.7	69.4	4.5	0.6	1.8
	持ち家(集合住宅)	463	18.1	73.0	5.8	0.9	2.2
	借家(一戸建て)	43	25.6	67.4	7.0	0.0	0.0
	借家(集合住宅)	465	22.8	66.7	8.2	1.7	0.6
	寮・社宅	27	22.2	59.3	11.1	0.0	7.4
	その他	29	31.0	58.6	0.0	3.4	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	20.4	68.3	8.6	1.6	1.1
	家族成長前期	128	25.8	65.6	3.9	2.3	2.3
	家族成長後期	117	23.1	69.2	6.8	0.0	0.9
	家族成熟期	112	29.5	63.4	6.3	0.0	0.9
	高齢期	236	22.5	72.9	3.4	0.4	0.8
	高齢期(一人暮らし)	141	18.4	73.8	4.3	1.4	2.1
	一人暮らし	201	22.4	64.7	10.4	1.5	1.0
	その他	431	20.0	70.3	5.6	1.4	2.8
性別	男	641	23.2	67.1	6.4	1.7	1.6
	女	874	21.3	70.4	5.9	0.8	1.6
	その他(どちらでもない、わからない)	13	7.7	76.9	15.4	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	28.6	64.9	5.2	1.3	0.0
	印を付けなかった方	1,475	21.6	69.3	6.2	1.2	1.8

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問4 まちづくりを進めていく上で重要な課題

		調査数	住宅・住環境の整備	道路の整備	交通網の整備	駅前などの開発整備	公園・緑地の整備	建築物の不燃化などの防災まちづくり	川・水辺環境などをつくる隅田川沿岸の整備	並み・歴史・文化を大切にしたい街の保全や景観の整備	自然環境に配慮したまちづくり	歩道の段差解消など高齢者・障がい者に配慮したまちづくり
全体		1,552	24.9	24.6	13.7	33.1	18.3	32.4	12.2	10.1	18.2	29.6
居住地区	南千住	327	17.7	21.7	19.6	33.6	19.6	32.7	13.1	10.4	17.4	31.5
	荒川	239	29.7	24.7	11.7	30.5	17.2	35.6	10.9	9.2	20.1	34.3
	町屋	211	23.7	34.6	13.3	30.3	17.1	32.7	13.3	8.1	15.6	30.8
	東尾久	187	28.9	28.3	18.2	31.0	12.3	34.2	13.9	8.6	17.6	26.7
	西尾久	195	20.0	25.1	13.8	26.7	17.4	35.4	23.1	7.7	21.0	29.7
	東日暮里	204	28.9	22.1	8.8	38.2	19.6	29.4	4.9	10.3	15.7	27.9
	西日暮里	168	31.5	17.3	6.5	43.5	22.6	25.6	6.0	15.5	22.6	20.2
年代	18～29歳	157	28.0	21.7	18.5	44.6	20.4	21.7	14.6	14.0	12.7	8.9
	30～39歳	214	29.4	23.4	15.4	43.0	26.6	25.2	11.7	9.8	16.4	11.2
	40～49歳	272	26.5	27.9	16.2	37.5	20.2	34.9	12.1	7.4	17.6	16.5
	50～59歳	293	18.8	24.9	12.6	37.5	11.3	32.8	11.6	10.2	18.8	36.2
	60～69歳	225	28.0	26.2	10.2	26.7	17.3	41.8	15.1	10.2	19.1	39.6
	70～79歳	239	25.5	21.3	13.0	22.2	16.7	37.2	11.3	11.7	24.7	41.8
	80歳以上	141	19.9	26.2	10.6	17.7	17.7	28.4	8.5	7.1	15.6	52.5
同居世帯人数	1人	358	29.3	21.8	12.6	29.1	15.6	30.4	12.3	10.9	21.2	34.1
	2人	535	22.6	26.4	14.8	33.5	17.9	29.7	10.5	9.9	18.3	31.2
	3人	324	28.4	23.5	12.7	32.4	18.5	38.0	14.2	11.1	15.1	26.2
	4人	220	19.5	27.7	15.0	40.5	21.4	35.5	14.5	8.2	17.3	22.7
	5人	59	23.7	28.8	10.2	33.9	15.3	39.0	10.2	10.2	25.4	27.1
	6人以上	35	22.9	20.0	22.9	31.4	31.4	22.9	11.4	5.7	14.3	20.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	24.3	27.7	12.6	27.9	17.6	37.7	10.5	10.9	18.6	33.2
	持ち家(集合住宅)	463	19.9	22.2	13.4	38.0	19.2	36.3	16.0	10.2	21.4	30.7
	借家(一戸建て)	43	27.9	34.9	18.6	30.2	20.9	30.2	7.0	4.7	9.3	18.6
	借家(集合住宅)	465	29.5	23.7	15.3	33.8	17.8	24.3	10.8	9.9	16.3	24.3
	寮・社宅	27	25.9	29.6	14.8	37.0	18.5	18.5	3.7	7.4	18.5	18.5
	その他	29	51.7	17.2	6.9	27.6	10.3	31.0	20.7	6.9	13.8	58.6
ライフステージ	家族形成期	186	33.3	24.7	15.6	46.2	28.0	25.3	11.3	7.0	14.0	11.3
	家族成長前期	128	24.2	26.6	15.6	30.5	28.1	36.7	17.2	8.6	23.4	11.7
	家族成長後期	117	18.8	24.8	13.7	46.2	14.5	37.6	17.9	6.8	16.2	17.9
	家族成熟期	112	25.9	28.6	14.3	34.8	9.8	34.8	7.1	4.5	12.5	35.7
	高齢期	236	22.9	26.7	12.3	25.8	18.2	40.7	13.1	13.1	21.6	40.3
	高齢期(一人暮らし)	141	26.2	24.1	7.8	19.1	14.9	36.2	13.5	6.4	19.9	51.1
	一人暮らし	201	29.9	19.9	15.9	35.8	16.4	24.9	11.9	13.4	22.4	21.4
	その他	431	21.3	24.1	13.9	31.6	16.5	29.9	10.0	12.1	16.2	35.3
性別	男	641	26.4	25.9	13.7	30.9	19.2	27.9	13.1	12.2	16.8	26.2
	女	874	24.3	23.8	13.8	34.4	17.5	35.9	11.2	8.4	19.8	31.9
	その他(どちらでもない、わからない)	13	23.1	30.8	15.4	46.2	15.4	38.5	30.8	23.1	7.7	30.8
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	29.9	22.1	16.9	39.0	32.5	18.2	5.2	7.8	18.2	15.6
	印を付けなかった方	1,475	24.7	24.7	13.6	32.8	17.6	33.2	12.5	10.2	18.2	30.3

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問4 まちづくりを進めていく上で重要な課題

		調査数	その他	わからない	無回答
全 体		1,552	10.4	3.0	2.5
居住地区	南千住	327	8.6	3.1	3.1
	荒川	239	11.7	2.5	1.7
	町屋	211	10.0	3.8	0.9
	東尾久	187	11.2	3.2	2.7
	西尾久	195	11.3	1.5	2.1
	東日暮里	204	12.3	3.9	3.9
	西日暮里	168	9.5	3.0	2.4
年代	18～29歳	157	9.6	4.5	0.6
	30～39歳	214	16.4	2.3	2.8
	40～49歳	272	16.2	1.8	1.8
	50～59歳	293	10.6	3.4	1.0
	60～69歳	225	8.4	1.3	1.3
	70～79歳	239	4.6	5.0	2.5
	80歳以上	141	4.3	2.8	9.2
同居世帯人数	1人	358	9.2	3.6	0.6
	2人	535	9.7	3.7	2.4
	3人	324	12.3	2.5	2.5
	4人	220	11.4	1.8	2.7
	5人	59	11.9	0.0	6.8
	6人以上	35	8.6	2.9	5.7
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	10.1	2.2	3.6
	持ち家(集合住宅)	463	9.1	2.4	2.8
	借家(一戸建て)	43	7.0	2.3	0.0
	借家(集合住宅)	465	12.9	4.5	1.1
	寮・社宅	27	11.1	0.0	0.0
	その他	29	3.4	3.4	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	20.4	1.6	1.6
	家族成長前期	128	15.6	1.6	3.1
	家族成長後期	117	6.0	2.6	2.6
	家族成熟期	112	8.9	4.5	1.8
	高齢期	236	5.5	3.4	2.5
	高齢期(一人暮らし)	141	2.8	5.0	0.7
	一人暮らし	201	14.4	3.0	0.0
	その他	431	9.3	2.8	4.6
性別	男	641	12.6	3.1	2.5
	女	874	9.0	2.9	2.4
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	13.0	6.5	3.9
	印を付けなかった方	1,475	10.2	2.8	2.4

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問5 区政に関する情報の入手方法

		調査数	「あらかわ区報」	「あらかわ区議会だより」	「わたしの便利帳」	区が作成したポスター・チラシ	町会の回覧板	地域の掲示板	人づて（家族・友人・知人）	所属している会や団体	新聞	ケーブルテレビ
全 体		1,552	47.0	16.9	10.5	11.3	19.3	19.6	16.0	3.4	5.7	4.8
居住地区	南千住	327	45.3	16.5	7.3	14.4	15.0	16.8	15.0	3.4	4.9	2.8
	荒川	239	47.7	16.7	11.7	10.5	15.1	20.5	21.3	2.5	6.3	6.3
	町屋	211	45.0	19.0	9.5	11.4	19.0	21.3	16.6	3.8	6.6	3.8
	東尾久	187	55.1	17.6	13.4	12.8	18.7	18.7	17.6	4.8	5.9	7.5
	西尾久	195	54.9	17.4	14.4	9.7	28.7	20.0	12.8	3.1	5.1	4.1
	東日暮里	204	40.7	13.7	10.3	12.7	23.0	24.5	13.7	2.5	6.9	2.5
	西日暮里	168	42.3	18.5	7.1	6.5	18.5	16.7	16.1	4.2	4.8	7.1
年代	18～29歳	157	16.6	4.5	1.3	10.2	7.0	12.1	19.7	0.0	3.8	1.3
	30～39歳	214	21.5	8.4	0.9	8.4	6.1	21.0	18.2	3.3	1.9	2.3
	40～49歳	272	44.1	13.6	4.0	11.0	14.3	21.3	21.0	4.0	3.7	1.5
	50～59歳	293	39.9	14.7	8.2	10.6	17.7	18.8	14.7	3.4	4.4	5.5
	60～69歳	225	56.4	20.0	12.0	12.4	24.0	16.4	14.7	2.7	4.0	4.4
	70～79歳	239	73.2	30.5	23.4	12.1	28.9	19.7	12.1	2.9	10.5	8.4
	80歳以上	141	79.4	27.7	27.7	17.0	41.1	29.1	11.3	7.8	14.9	10.6
同居世帯人数	1人	358	39.9	14.8	10.6	11.5	14.8	20.4	12.3	2.8	6.1	3.1
	2人	535	50.8	19.4	14.2	10.1	20.7	16.4	12.3	3.4	6.2	6.7
	3人	324	46.0	16.7	6.5	11.4	19.1	21.0	17.3	4.0	4.3	3.7
	4人	220	50.0	18.2	9.5	13.6	20.5	22.3	23.6	1.8	5.0	3.6
	5人	59	55.9	15.3	8.5	13.6	25.4	25.4	33.9	8.5	8.5	3.4
	6人以上	35	34.3	5.7	0.0	11.4	20.0	17.1	22.9	5.7	8.6	8.6
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	57.9	20.8	15.0	11.9	40.5	22.7	19.0	4.5	7.3	7.1
	持ち家（集合住宅）	463	51.2	19.2	11.0	11.9	9.7	17.7	17.3	2.8	6.7	4.1
	借家（一戸建て）	43	41.9	16.3	9.3	9.3	16.3	16.3	18.6	0.0	2.3	2.3
	借家（集合住宅）	465	32.9	10.8	6.2	11.8	6.7	19.1	12.3	2.8	3.0	3.4
	寮・社宅	27	29.6	7.4	7.4	3.7	14.8	18.5	11.1	3.7	11.1	3.7
	その他	29	44.8	27.6	3.4	3.4	17.2	13.8	6.9	6.9	3.4	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	23.7	9.7	1.6	11.8	11.3	23.1	15.1	3.2	2.7	3.8
	家族成長前期	128	50.8	18.0	3.1	13.3	12.5	21.1	31.3	3.1	6.3	3.1
	家族成長後期	117	43.6	8.5	4.3	9.4	17.9	17.1	17.9	2.6	4.3	0.0
	家族成熟期	112	45.5	15.2	8.9	14.3	18.8	24.1	20.5	2.7	5.4	4.5
	高齢期	236	78.8	33.1	26.3	11.9	35.2	18.6	10.2	3.8	8.5	7.6
	高齢期（一人暮らし）	141	60.3	21.3	18.4	12.8	24.8	27.0	15.6	4.3	10.6	6.4
	一人暮らし	201	25.4	10.4	5.5	10.0	7.0	16.9	9.0	1.5	3.0	1.0
	その他	431	45.5	15.3	9.7	10.2	20.4	16.5	16.9	4.2	5.3	7.0
性別	男	641	45.1	17.6	9.0	11.9	19.3	17.5	14.7	3.4	5.8	5.1
	女	874	49.1	16.6	11.7	11.3	19.2	21.4	17.0	3.3	5.5	4.5
	その他（どちらでもない、わからない）	13	30.8	0.0	0.0	0.0	30.8	23.1	30.8	0.0	7.7	0.0
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	27.3	5.2	2.6	6.5	15.6	29.9	16.9	2.6	9.1	7.8
	印を付けなかった方	1,475	48.0	17.6	10.9	11.6	19.5	19.1	16.0	3.4	5.5	4.7

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問5 区政に関する情報の入手方法

		調査数	荒川区ホームページ	荒川区メールマガジン	荒川区LINE	荒川区X（旧ツイッター）	荒川区フェイスブック	荒川区YouTube（区長の記者会見など）	その他	特に入手していない	無回答
全 体		1,552	20.8	1.4	5.3	3.5	0.8	1.4	3.7	21.1	0.8
居住地区	南千住	327	21.4	1.8	4.3	3.4	0.3	1.2	5.8	20.8	0.6
	荒川	239	21.8	2.1	6.7	2.9	0.8	2.1	5.9	19.2	0.8
	町屋	211	20.4	1.4	1.9	1.9	0.5	1.4	2.8	22.7	0.0
	東尾久	187	22.5	1.1	5.3	5.3	1.6	1.1	1.6	21.4	0.5
	西尾久	195	22.1	1.5	7.2	3.1	1.5	0.5	2.1	14.4	1.0
	東日暮里	204	18.1	1.0	6.9	5.4	0.5	1.0	2.5	22.1	1.0
	西日暮里	168	20.8	0.6	6.0	3.0	0.6	2.4	3.6	26.8	1.2
年代	18～29歳	157	16.6	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	0.6	42.7	0.0
	30～39歳	214	20.6	0.0	9.8	9.8	0.9	1.4	6.1	29.9	0.9
	40～49歳	272	23.5	2.6	8.8	7.0	0.7	0.7	5.1	22.8	0.4
	50～59歳	293	26.3	2.7	4.8	1.7	1.0	2.0	5.1	25.6	0.3
	60～69歳	225	30.7	1.8	4.9	1.8	1.3	2.2	3.1	12.9	0.4
	70～79歳	239	15.5	0.8	2.5	0.4	0.8	1.3	2.1	9.6	1.3
	80歳以上	141	4.3	0.7	1.4	0.0	0.0	1.4	1.4	3.5	2.1
同居世帯人数	1人	358	17.3	0.6	3.4	2.8	0.0	0.6	3.4	28.2	1.4
	2人	535	19.8	1.3	4.3	2.2	1.1	1.5	3.0	20.2	0.6
	3人	324	24.7	2.5	9.0	4.6	1.2	1.9	5.2	18.5	0.6
	4人	220	25.5	2.3	6.4	5.0	0.5	1.4	4.5	17.3	0.0
	5人	59	20.3	0.0	5.1	8.5	1.7	1.7	3.4	15.3	0.0
	6人以上	35	17.1	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	25.7	0.0
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	19.6	1.2	4.5	2.8	1.4	2.6	3.4	12.5	0.4
	持ち家（集合住宅）	463	23.8	2.2	7.1	3.5	0.6	0.9	4.1	17.7	0.9
	借家（一戸建て）	43	20.9	2.3	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	23.3	0.0
	借家（集合住宅）	465	20.0	1.1	5.2	4.3	0.4	0.9	4.3	32.5	0.6
	寮・社宅	27	14.8	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	33.3	3.7
	その他	29	10.3	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	3.4	27.6	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	22.6	0.5	12.9	10.2	1.1	1.1	7.0	28.0	0.5
	家族成長前期	128	28.1	3.1	8.6	7.0	0.0	0.0	3.9	10.2	0.8
	家族成長後期	117	26.5	5.1	8.5	1.7	1.7	1.7	5.1	23.1	0.0
	家族成熟期	112	25.9	1.8	3.6	4.5	0.0	1.8	3.6	17.9	0.0
	高齢期	236	22.9	1.3	3.4	1.3	1.3	2.5	2.5	5.9	0.0
	高齢期（一人暮らし）	141	12.1	0.7	4.3	0.0	0.0	0.7	1.4	11.3	2.1
	一人暮らし	201	21.9	0.5	3.0	4.5	0.0	0.5	5.0	40.8	0.5
	その他	431	16.2	0.9	3.0	1.6	1.2	1.6	2.8	23.9	1.4
性別	男	641	20.3	1.4	4.4	3.4	0.5	1.6	3.7	24.8	0.6
	女	874	21.4	1.5	6.2	3.7	1.0	1.1	3.8	18.1	0.8
	その他（どちらでもない、わからない）	13	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	27.3	1.3	3.9	3.9	1.3	1.3	7.8	20.8	1.3
	印を付けなかった方	1,475	20.5	1.4	5.4	3.5	0.7	1.4	3.5	21.1	0.7

（調査数は件数、それ以外の数字は％）

問6 荒川区の魅力だと感じているもの

		調査 数	交通 の便	飲食 店	商店 街	地域 のお祭 り	子育 て環 境	スポ ーツ 環 境	図 書 館	公 園	隅 田 川 テ ラ ス な ど の 水 辺	桜・ バラ な ど の 花 々 や 緑
全 体		1,552	61.2	7.7	11.7	11.3	8.2	1.9	18.9	8.6	8.6	11.9
居 住 地 区	南千住	327	60.6	3.7	12.8	17.1	11.3	3.1	14.1	15.9	25.4	15.3
	荒川	239	62.8	10.0	7.9	13.4	7.9	2.5	27.6	10.0	2.5	9.2
	町屋	211	64.5	15.6	10.9	7.1	6.2	0.5	20.9	10.4	5.7	11.8
	東尾久	187	54.5	8.6	25.7	8.6	4.3	1.1	24.6	5.3	2.1	10.7
	西尾久	195	42.1	2.1	9.2	4.1	10.3	2.1	15.4	5.1	7.2	20.5
	東日暮里	204	69.6	6.9	9.3	9.8	7.4	1.5	17.2	6.9	5.4	6.4
	西日暮里	168	75.6	8.9	7.1	14.3	7.7	2.4	14.3	1.2	1.8	6.5
年 代	18～29歳	157	55.4	16.6	18.5	15.3	5.1	0.6	17.8	12.7	7.0	9.6
	30～39歳	214	60.7	12.6	17.8	13.1	15.0	1.4	21.0	8.4	6.1	7.0
	40～49歳	272	51.8	8.1	9.2	14.3	19.9	2.2	25.7	8.8	7.4	7.0
	50～59歳	293	64.2	6.8	10.9	11.6	6.5	1.7	14.7	7.2	13.7	9.6
	60～69歳	225	72.4	5.3	5.3	9.8	3.6	1.8	19.1	7.6	9.3	12.4
	70～79歳	239	63.6	3.3	15.1	8.4	2.1	3.8	18.8	8.8	7.1	15.1
	80歳以上	141	58.2	2.1	6.4	5.7	0.0	1.4	12.8	9.2	7.8	28.4
同 居 世 帯 人 数	1人	358	59.2	8.9	15.4	9.5	1.4	2.0	15.1	8.9	8.9	8.7
	2人	535	66.4	7.7	11.0	8.2	1.9	1.7	15.0	6.2	9.7	15.5
	3人	324	61.7	9.0	11.7	15.1	14.2	2.2	26.9	9.3	6.8	9.6
	4人	220	52.7	6.4	10.0	13.2	20.0	2.7	22.7	14.1	10.9	10.0
	5人	59	54.2	3.4	3.4	18.6	22.0	1.7	25.4	8.5	3.4	13.6
	6人以上	35	60.0	0.0	11.4	20.0	22.9	0.0	14.3	8.6	0.0	11.4
居 住 形 態	持ち家(一戸建て)	506	63.4	5.9	10.1	13.2	6.5	2.0	17.2	7.7	5.5	12.5
	持ち家(集合住宅)	463	61.6	6.7	8.2	11.9	11.2	3.2	21.4	9.5	13.8	13.8
	借家(一戸建て)	43	55.8	4.7	23.3	2.3	2.3	0.0	20.9	0.0	2.3	9.3
	借家(集合住宅)	465	59.4	10.1	15.9	9.2	7.7	1.1	18.3	9.7	8.2	9.9
	寮・社宅	27	55.6	22.2	18.5	14.8	7.4	0.0	18.5	3.7	0.0	3.7
	その他	29	65.5	10.3	0.0	10.3	6.9	0.0	17.2	17.2	10.3	17.2
ラ イ フ ス テ ー ジ	家族形成期	186	58.1	12.4	16.1	14.5	21.0	0.5	24.7	11.3	5.9	4.8
	家族成長前期	128	46.9	10.2	13.3	16.4	31.3	2.3	29.7	12.5	6.3	9.4
	家族成長後期	117	57.3	4.3	11.1	14.5	20.5	1.7	20.5	9.4	10.3	12.0
	家族成熟期	112	79.5	8.9	6.3	11.6	7.1	2.7	17.0	8.9	9.8	6.3
	高齢期	236	64.4	4.2	9.7	9.3	1.3	3.0	16.5	9.7	9.7	19.5
	高齢期(一人暮らし)	141	60.3	4.3	13.5	7.8	0.0	4.3	14.2	9.2	8.5	12.1
	一人暮らし	201	57.7	12.4	17.4	10.0	2.5	0.5	15.4	9.5	9.5	6.0
	その他	431	63.3	6.5	8.6	10.2	1.9	1.6	17.9	4.9	8.8	15.5
性 別	男	641	59.1	8.6	11.5	10.1	8.3	2.3	17.5	10.3	10.5	8.7
	女	874	62.9	7.3	11.7	12.0	8.1	1.7	19.6	7.3	7.4	14.2
	その他(どちらでもない、わからない)	13	46.2	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	46.2	15.4	7.7	15.4
国 籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	55.8	9.1	18.2	5.2	14.3	3.9	22.1	9.1	11.7	6.5
	印を付けなかった方	1,475	61.5	7.7	11.3	11.6	7.9	1.8	18.8	8.6	8.5	12.1

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問6 荒川区の魅力だと感じているもの

		調査数	都電	日暮里 織維街	あらかわ遊園	芸術・文化	伝統工芸・モノづくり	福祉サービス	まちの美化・リサイクル	安全安心	その他	無回答
全 体		1,552	37.9	9.2	12.4	0.6	2.9	3.2	0.4	7.1	1.7	6.9
居住地区	南千住	327	25.7	3.7	5.5	1.2	4.3	3.4	0.3	5.8	1.5	8.0
	荒川	239	44.4	5.0	10.0	0.4	3.3	2.1	0.4	8.8	1.3	6.7
	町屋	211	44.1	8.1	12.8	0.9	2.4	3.3	0.0	3.8	2.8	7.1
	東尾久	187	49.7	4.8	15.0	0.0	1.6	5.9	0.0	7.5	1.1	7.0
	西尾久	195	65.1	3.1	33.8	0.0	2.1	1.5	0.0	8.7	0.0	6.7
	東日暮里	204	20.6	25.0	7.8	0.5	1.0	4.4	1.5	9.8	1.0	8.3
	西日暮里	168	20.8	20.2	6.5	0.6	5.4	1.8	0.0	6.0	4.8	3.6
年代	18～29歳	157	29.3	7.0	13.4	1.3	2.5	0.6	0.0	8.3	2.5	5.7
	30～39歳	214	30.8	9.3	10.7	0.5	2.3	2.3	0.5	8.9	3.3	4.2
	40～49歳	272	33.8	12.1	14.0	1.1	3.7	2.2	0.4	5.9	0.7	7.7
	50～59歳	293	35.5	9.9	14.3	0.7	2.7	2.7	0.0	6.1	2.4	5.5
	60～69歳	225	42.7	8.4	13.3	0.0	3.1	4.0	0.4	7.6	1.3	4.9
	70～79歳	239	46.4	9.6	12.6	0.4	4.2	4.2	0.8	6.3	0.8	7.9
	80歳以上	141	48.9	5.7	5.7	0.0	0.7	7.8	0.7	7.8	0.7	14.9
同居世帯人数	1人	358	41.9	10.1	8.9	0.8	1.7	3.1	0.8	6.4	1.7	7.8
	2人	535	38.9	9.7	10.3	0.4	3.4	3.6	0.4	6.9	2.2	7.3
	3人	324	33.0	6.5	15.7	0.3	3.4	2.8	0.0	8.3	1.9	4.9
	4人	220	38.6	10.0	15.0	0.9	3.2	3.2	0.5	8.6	0.5	6.4
	5人	59	37.3	15.3	18.6	1.7	3.4	5.1	0.0	1.7	0.0	8.5
	6人以上	35	31.4	5.7	25.7	0.0	2.9	0.0	0.0	5.7	2.9	8.6
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	43.9	9.7	16.0	0.4	4.0	3.4	0.2	7.9	1.4	7.5
	持ち家(集合住宅)	463	34.6	8.6	11.9	0.4	2.6	3.0	0.2	5.8	1.5	7.3
	借家(一戸建て)	43	51.2	4.7	14.0	2.3	4.7	7.0	0.0	7.0	0.0	4.7
	借家(集合住宅)	465	33.8	10.1	9.5	0.9	1.9	2.8	0.6	7.1	2.2	6.0
	寮・社宅	27	25.9	7.4	7.4	0.0	3.7	7.4	3.7	11.1	3.7	7.4
	その他	29	48.3	6.9	10.3	0.0	3.4	3.4	0.0	13.8	3.4	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	27.4	8.1	13.4	0.5	2.2	1.6	0.0	4.3	2.7	5.9
	家族成長前期	128	29.7	10.9	21.9	0.8	3.9	1.6	0.0	8.6	0.8	5.5
	家族成長後期	117	32.5	11.1	13.7	0.9	2.6	1.7	0.0	6.8	0.9	6.8
	家族成熟期	112	32.1	7.1	16.1	0.0	3.6	4.5	0.0	11.6	1.8	1.8
	高齢期	236	48.3	11.0	12.3	0.4	4.7	4.7	0.8	8.1	1.3	6.4
	高齢期(一人暮らし)	141	56.0	6.4	9.2	0.0	0.7	5.0	0.7	5.7	0.7	8.5
	一人暮らし	201	31.8	11.4	9.5	1.5	2.0	2.0	1.0	6.5	2.5	8.0
	その他	431	39.0	8.1	10.2	0.5	3.0	3.7	0.2	7.0	2.1	8.4
性別	男	641	38.8	5.6	14.2	0.6	2.2	2.8	0.3	8.1	1.7	7.2
	女	874	37.3	11.8	11.3	0.5	3.4	3.7	0.5	6.4	1.8	6.8
	その他(どちらでもない、わからない)	13	38.5	23.1	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	22.1	6.5	5.2	0.0	1.3	3.9	1.3	18.2	5.2	9.1
	印を付けなかった方	1,475	38.7	9.4	12.7	0.6	3.0	3.2	0.3	6.5	1.6	6.8

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問7 荒川区の魅力を人に勧めたいか

		調査数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらでもない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
全 体		1,552	27.0	40.1	23.8	3.2	3.5	2.4
居住地区	南千住	327	25.1	44.6	22.6	2.1	3.1	2.4
	荒川	239	28.5	43.9	19.7	2.5	5.0	0.4
	町屋	211	30.3	34.6	23.7	5.2	3.8	2.4
	東尾久	187	29.9	38.0	25.1	3.2	2.1	1.6
	西尾久	195	27.2	41.5	21.5	3.1	4.1	2.6
	東日暮里	204	24.5	37.7	27.0	3.9	2.5	4.4
	西日暮里	168	25.0	38.1	28.6	3.6	3.6	1.2
年代	18～29歳	157	29.3	43.3	22.3	1.9	3.2	0.0
	30～39歳	214	28.5	42.1	19.2	3.7	5.1	1.4
	40～49歳	272	27.6	39.0	25.7	4.4	3.3	0.0
	50～59歳	293	26.3	38.9	24.6	5.1	3.4	1.7
	60～69歳	225	22.2	46.7	24.9	1.8	0.9	3.6
	70～79歳	239	25.5	36.8	27.6	1.7	5.0	3.3
	80歳以上	141	33.3	33.3	19.1	2.8	3.5	7.8
同居世帯人数	1人	358	24.0	41.1	24.0	4.2	3.9	2.8
	2人	535	23.4	41.3	26.5	2.4	3.4	3.0
	3人	324	31.5	37.7	21.3	4.0	3.7	1.9
	4人	220	32.7	38.2	22.7	3.2	2.3	0.9
	5人	59	33.9	45.8	13.6	3.4	3.4	0.0
	6人以上	35	31.4	37.1	22.9	0.0	8.6	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	30.4	39.1	23.1	2.6	2.2	2.6
	持ち家(集合住宅)	463	25.9	43.4	21.8	2.8	3.7	2.4
	借家(一戸建て)	43	23.3	34.9	30.2	4.7	2.3	4.7
	借家(集合住宅)	465	24.5	39.1	25.8	4.5	4.3	1.7
	寮・社宅	27	25.9	37.0	18.5	3.7	11.1	3.7
	その他	29	27.6	44.8	20.7	0.0	0.0	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	26.9	43.5	21.0	3.2	4.8	0.5
	家族成長前期	128	35.2	41.4	18.0	2.3	2.3	0.8
	家族成長後期	117	30.8	39.3	22.2	4.3	2.6	0.9
	家族成熟期	112	33.0	29.5	29.5	7.1	0.9	0.0
	高齢期	236	30.1	38.1	24.2	1.7	3.4	2.5
	高齢期(一人暮らし)	141	19.1	41.1	28.4	2.8	4.3	4.3
	一人暮らし	201	25.4	43.8	20.9	4.5	4.0	1.5
	その他	431	23.7	40.1	25.3	2.6	3.7	4.6
性別	男	641	26.4	38.1	25.4	3.1	4.8	2.2
	女	874	27.3	41.6	22.7	3.3	2.3	2.7
	その他(どちらでもない、わからない)	13	23.1	53.8	7.7	0.0	15.4	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	51.9	19.5	15.6	3.9	5.2	3.9
	印を付けなかった方	1,475	25.7	41.2	24.2	3.2	3.4	2.4

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問8 荒川区に愛着を感じているか

		調査数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらでもない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
全 体		1,552	37.4	41.9	14.0	2.6	2.8	1.2
居住地区	南千住	327	37.6	42.2	14.4	2.8	1.5	1.5
	荒川	239	39.3	36.4	18.0	3.3	2.1	0.8
	町屋	211	41.2	39.3	13.7	2.4	2.4	0.9
	東尾久	187	44.4	41.7	9.6	2.1	1.6	0.5
	西尾久	195	40.5	42.1	9.7	3.1	4.1	0.5
	東日暮里	204	29.9	47.1	15.7	2.9	2.9	1.5
	西日暮里	168	28.0	48.2	15.5	1.8	6.0	0.6
年代	18～29歳	157	28.7	49.0	16.6	1.9	3.2	0.6
	30～39歳	214	36.4	37.9	15.4	4.7	4.7	0.9
	40～49歳	272	36.4	41.9	15.1	3.3	3.3	0.0
	50～59歳	293	39.6	39.2	12.6	4.8	3.4	0.3
	60～69歳	225	36.9	45.8	15.1	0.9	0.0	1.3
	70～79歳	239	38.5	46.0	12.6	1.3	1.7	0.0
	80歳以上	141	45.4	34.0	10.6	0.0	3.5	6.4
同居世帯人数	1人	358	32.1	46.1	14.5	2.2	4.5	0.6
	2人	535	35.7	40.7	16.3	3.4	2.1	1.9
	3人	324	42.0	38.9	12.7	2.8	3.1	0.6
	4人	220	41.8	42.7	11.8	1.8	1.4	0.5
	5人	59	45.8	44.1	6.8	1.7	1.7	0.0
	6人以上	35	42.9	42.9	8.6	2.9	2.9	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	46.8	38.5	10.9	1.8	1.0	1.0
	持ち家(集合住宅)	463	33.9	46.2	14.3	1.7	2.6	1.3
	借家(一戸建て)	43	39.5	39.5	16.3	2.3	2.3	0.0
	借家(集合住宅)	465	31.2	41.9	17.4	4.7	3.9	0.9
	寮・社宅	27	22.2	48.1	14.8	3.7	7.4	3.7
	その他	29	44.8	37.9	10.3	0.0	6.9	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	34.4	38.7	18.8	4.8	3.2	0.0
	家族成長前期	128	42.2	42.2	10.2	2.3	3.1	0.0
	家族成長後期	117	43.6	42.7	9.4	2.6	1.7	0.0
	家族成熟期	112	41.1	39.3	15.2	3.6	0.0	0.9
	高齢期	236	38.6	45.3	12.7	1.3	0.4	1.7
	高齢期(一人暮らし)	141	36.9	45.4	13.5	0.7	2.8	0.7
	一人暮らし	201	27.9	48.3	15.4	3.5	4.5	0.5
	その他	431	38.7	37.6	14.4	2.6	4.2	2.6
性別	男	641	37.6	41.3	14.4	2.7	3.3	0.8
	女	874	37.4	43.0	13.3	2.6	2.3	1.4
	その他(どちらでもない、わからない)	13	38.5	15.4	30.8	0.0	15.4	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	45.5	31.2	11.7	5.2	2.6	3.9
	印を付けなかった方	1,475	37.0	42.4	14.2	2.5	2.8	1.0

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問9 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄

		調査数	水等（を備蓄している）	ルファ化米、乾パン、保	る長期保存用食料等（へア	備蓄用として販売されている置きがある（日常備蓄）	トル飲料（水・お茶等）の買	カップ麺、お菓子類、ペット	ご飯、レトルト食品、缶詰、	普段使っている食料等（パッ	の管理組合等の倉庫で備蓄	自宅ではなく、マンション	備蓄はしていない	無回答
全 体		1,552		33.2	62.3	6.6	22.7	1.1						
居住地区	南千住	327		37.0	67.6	7.6	17.7	0.9						
	荒川	239		31.0	65.7	4.2	19.2	1.3						
	町屋	211		28.0	55.0	8.1	27.5	1.9						
	東尾久	187		32.1	62.6	4.8	25.1	0.0						
	西尾久	195		31.8	57.9	4.6	27.2	1.0						
	東日暮里	204		35.8	65.2	6.9	21.1	1.0						
	西日暮里	168		38.7	60.1	9.5	23.8	1.2						
年代	18～29歳	157		23.6	47.8	3.2	38.9	0.0						
	30～39歳	214		42.1	49.5	6.1	24.3	0.9						
	40～49歳	272		41.2	67.3	9.9	12.9	0.0						
	50～59歳	293		30.0	62.5	8.2	25.6	0.7						
	60～69歳	225		30.7	69.8	7.1	21.3	0.4						
	70～79歳	239		33.1	67.4	5.0	21.3	1.7						
	80歳以上	141		29.1	68.1	3.5	18.4	5.0						
同居世帯人数	1人	358		24.0	60.3	3.6	30.2	0.8						
	2人	535		35.0	60.7	6.5	22.8	1.7						
	3人	324		35.8	66.4	9.6	19.1	0.6						
	4人	220		44.5	63.2	8.6	13.6	0.5						
	5人	59		25.4	64.4	5.1	22.0	0.0						
	6人以上	35		34.3	62.9	2.9	28.6	0.0						
居住形態	持ち家（一戸建て）	506		32.8	66.8	0.4	20.4	1.8						
	持ち家（集合住宅）	463		39.5	67.6	18.4	13.6	0.9						
	借家（一戸建て）	43		18.6	55.8	0.0	34.9	0.0						
	借家（集合住宅）	465		30.8	55.1	2.4	31.0	0.6						
	寮・社宅	27		29.6	55.6	11.1	25.9	0.0						
	その他	29		13.8	44.8	3.4	44.8	0.0						
ライフステージ	家族形成期	186		40.9	54.8	6.5	24.7	0.5						
	家族成長前期	128		48.4	69.5	13.3	7.0	0.8						
	家族成長後期	117		38.5	68.4	9.4	17.1	0.0						
	家族成熟期	112		18.8	60.7	8.0	29.5	0.0						
	高齢期	236		33.1	69.1	6.8	19.5	2.1						
	高齢期（一人暮らし）	141		24.8	68.8	2.1	22.7	2.1						
	一人暮らし	201		23.9	54.7	5.0	34.8	0.0						
	その他	431		35.0	59.9	5.6	22.3	1.6						
性別	男	641		28.7	55.2	8.0	28.4	1.6						
	女	874		36.2	68.2	5.8	18.2	0.8						
	その他（どちらでもない、わからない）	13		61.5	46.2	0.0	15.4	0.0						
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77		27.3	51.9	11.7	23.4	1.3						
	印を付けなかった方	1,475		33.6	62.8	6.3	22.6	1.1						

（調査数は件数、それ以外の数字は％）

問9-1 災害時に備えた備蓄の量

		調査数	7日分以上の備蓄をしている	3日分以上、7日分未満の備蓄をしている	3日分未満の備蓄をしている	無回答
全 体		1,183	11.7	49.0	37.8	1.4
居住地区	南千住	266	17.3	45.1	35.7	1.9
	荒川	190	10.0	47.9	41.1	1.1
	町屋	149	10.7	50.3	36.2	2.7
	東尾久	140	12.1	51.4	35.0	1.4
	西尾久	140	6.4	49.3	42.9	1.4
	東日暮里	159	9.4	53.5	35.8	1.3
	西日暮里	126	13.5	47.6	38.9	0.0
年代	18～29歳	96	15.6	51.0	32.3	1.0
	30～39歳	160	10.6	44.4	45.0	0.0
	40～49歳	237	8.4	48.5	43.0	0.0
	50～59歳	216	13.9	48.1	37.0	0.9
	60～69歳	176	11.4	54.0	34.7	0.0
	70～79歳	184	13.6	47.8	34.2	4.3
	80歳以上	108	11.1	50.0	33.3	5.6
同居世帯人数	1人	247	10.5	50.6	37.2	1.6
	2人	404	12.6	52.7	32.9	1.7
	3人	260	12.7	46.9	39.6	0.8
	4人	189	11.6	45.0	42.3	1.1
	5人	46	8.7	39.1	50.0	2.2
	6人以上	25	12.0	36.0	52.0	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	394	11.7	47.5	39.6	1.3
	持ち家(集合住宅)	396	13.1	54.5	31.3	1.0
	借家(一戸建て)	28	14.3	35.7	50.0	0.0
	借家(集合住宅)	318	10.7	45.0	42.8	1.6
	寮・社宅	20	10.0	55.0	35.0	0.0
	その他	16	0.0	43.8	43.8	12.5
ライフステージ	家族形成期	139	10.1	49.6	40.3	0.0
	家族成長前期	118	10.2	45.8	44.1	0.0
	家族成長後期	97	13.4	44.3	41.2	1.0
	家族成熟期	79	11.4	48.1	40.5	0.0
	高齢期	185	14.6	50.8	31.4	3.2
	高齢期(一人暮らし)	106	7.5	56.6	33.0	2.8
	一人暮らし	131	13.7	47.3	38.9	0.0
	その他	328	11.6	48.8	37.5	2.1
性別	男	449	15.4	49.0	34.5	1.1
	女	708	9.9	48.9	39.7	1.6
	その他(どちらでもない、わからない)	11	0.0	63.6	36.4	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	58	13.8	43.1	43.1	0.0
	印を付けなかった方	1,125	11.6	49.3	37.5	1.5

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問9-2 備蓄を行っていない理由

		調査数	良いのかかわらないか 準備すれば	何をのくらないか 準備すれば	災害時には行政やボランティア等が提供し	倒壊から入替や管理が面	備蓄物資の	地震や水害が起きる可能性	お金がかかるから	備蓄物資を置くスペースがないから	その他	無回答
全体		352	39.8	2.6	30.7	6.8	27.8	50.6	7.1	3.4		
居住地区	南千住	58	32.8	6.9	29.3	3.4	24.1	44.8	10.3	5.2		
	荒川	46	34.8	4.3	32.6	13.0	26.1	47.8	10.9	0.0		
	町屋	58	46.6	1.7	36.2	10.3	25.9	46.6	3.4	0.0		
	東尾久	47	44.7	0.0	31.9	2.1	29.8	55.3	6.4	4.3		
	西尾久	53	43.4	0.0	28.3	9.4	28.3	54.7	9.4	5.7		
	東日暮里	43	41.9	4.7	32.6	7.0	32.6	51.2	4.7	2.3		
	西日暮里	40	32.5	0.0	27.5	2.5	32.5	62.5	2.5	5.0		
年代	18～29歳	61	31.1	1.6	24.6	3.3	36.1	57.4	1.6	3.3		
	30～39歳	52	32.7	1.9	34.6	11.5	23.1	55.8	9.6	1.9		
	40～49歳	35	45.7	0.0	25.7	5.7	40.0	80.0	5.7	0.0		
	50～59歳	75	40.0	0.0	26.7	5.3	29.3	52.0	9.3	2.7		
	60～69歳	48	56.3	4.2	35.4	8.3	18.8	43.8	2.1	2.1		
	70～79歳	51	35.3	9.8	39.2	11.8	23.5	35.3	9.8	5.9		
	80歳以上	26	42.3	0.0	34.6	0.0	26.9	30.8	11.5	7.7		
同居世帯人数	1人	108	29.6	0.9	30.6	4.6	31.5	46.3	13.0	1.9		
	2人	122	43.4	3.3	31.1	8.2	23.0	50.8	3.3	2.5		
	3人	62	51.6	3.2	29.0	6.5	29.0	53.2	4.8	3.2		
	4人	30	36.7	3.3	40.0	13.3	36.7	63.3	3.3	3.3		
	5人	13	46.2	0.0	15.4	7.7	30.8	53.8	7.7	7.7		
	6人以上	10	30.0	10.0	40.0	0.0	30.0	60.0	10.0	20.0		
居住形態	持ち家(一戸建て)	103	49.5	4.9	39.8	5.8	30.1	43.7	4.9	4.9		
	持ち家(集合住宅)	63	39.7	3.2	42.9	7.9	14.3	50.8	4.8	3.2		
	借家(一戸建て)	15	46.7	6.7	20.0	6.7	46.7	53.3	0.0	13.3		
	借家(集合住宅)	144	34.0	0.7	20.8	8.3	31.9	57.6	8.3	0.7		
	寮・社宅	7	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0		
	その他	13	23.1	0.0	38.5	0.0	23.1	38.5	30.8	7.7		
ライフステージ	家族形成期	46	39.1	0.0	28.3	6.5	17.4	56.5	4.3	0.0		
	家族成長前期	9	33.3	0.0	44.4	11.1	44.4	55.6	22.2	11.1		
	家族成長後期	20	30.0	10.0	20.0	5.0	40.0	55.0	5.0	5.0		
	家族成熟期	33	54.5	0.0	33.3	9.1	27.3	57.6	0.0	0.0		
	高齢期	46	52.2	6.5	28.3	10.9	17.4	45.7	4.3	6.5		
	高齢期(一人暮らし)	32	40.6	0.0	43.8	6.3	28.1	34.4	9.4	6.3		
	一人暮らし	70	25.7	1.4	27.1	4.3	32.9	55.7	11.4	0.0		
	その他	96	41.7	3.1	31.3	6.3	30.2	47.9	7.3	5.2		
性別	男	182	35.7	2.2	30.8	9.3	28.0	47.3	7.1	2.7		
	女	159	45.9	3.1	32.1	3.8	27.7	54.1	6.9	3.1		
	その他(どちらでもない、わからない)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0		
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	18	55.6	5.6	33.3	27.8	33.3	33.3	5.6	0.0		
	印を付けなかった方	334	38.9	2.4	30.5	5.7	27.5	51.5	7.2	3.6		

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問10 災害用トイレの備蓄

		調 査 数	備 蓄 し て い る	備 蓄 し て い な い	無 回 答
全 体		1,552	46.5	52.2	1.3
居 住 地 区	南千住	327	50.8	48.0	1.2
	荒川	239	47.7	51.9	0.4
	町屋	211	38.9	56.9	4.3
	東尾久	187	44.9	55.1	0.0
	西尾久	195	43.6	55.9	0.5
	東日暮里	204	49.5	49.5	1.0
	西日暮里	168	50.0	49.4	0.6
年 代	18～29歳	157	29.9	69.4	0.6
	30～39歳	214	46.7	52.3	0.9
	40～49歳	272	54.8	45.2	0.0
	50～59歳	293	46.8	52.6	0.7
	60～69歳	225	48.4	50.7	0.9
	70～79歳	239	46.9	50.6	2.5
	80歳以上	141	44.7	51.8	3.5
同 居 世 帯 人 数	1人	358	34.6	63.7	1.7
	2人	535	50.7	47.9	1.5
	3人	324	50.3	48.8	0.9
	4人	220	52.7	47.3	0.0
	5人	59	39.0	61.0	0.0
	6人以上	35	48.6	51.4	0.0
居 住 形 態	持ち家(一戸建て)	506	48.0	50.6	1.4
	持ち家(集合住宅)	463	57.9	41.7	0.4
	借家(一戸建て)	43	37.2	62.8	0.0
	借家(集合住宅)	465	37.0	61.7	1.3
	寮・社宅	27	25.9	70.4	3.7
	その他	29	34.5	62.1	3.4
ラ イ フ ス テ ー ジ	家族形成期	186	51.6	47.8	0.5
	家族成長前期	128	63.3	36.7	0.0
	家族成長後期	117	56.4	43.6	0.0
	家族成熟期	112	35.7	64.3	0.0
	高齢期	236	49.6	48.7	1.7
	高齢期(一人暮らし)	141	45.4	51.8	2.8
	一人暮らし	201	28.9	70.6	0.5
	その他	431	46.4	51.3	2.3
性 別	男	641	37.8	61.0	1.2
	女	874	53.1	45.9	1.0
	その他(どちらでもない、わからない)	13	69.2	30.8	0.0
国 籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	27.3	70.1	2.6
	印を付けなかった方	1,475	47.5	51.3	1.2

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問10-1 災害用トイレの備蓄の量

		調 査 数	る 7 日 分 以 上 の 備 蓄 を し て い	備 蓄 を し て い る 7 日 分 未 満 の	る 3 日 分 未 満 の 備 蓄 を し て い	無 回 答
全 体		722	16.9	38.2	44.3	0.6
居 住 地 区	南千住	166	17.5	36.7	44.6	1.2
	荒川	114	13.2	35.1	51.8	0.0
	町屋	82	17.1	39.0	43.9	0.0
	東尾久	84	17.9	42.9	38.1	1.2
	西尾久	85	9.4	41.2	49.4	0.0
	東日暮里	101	22.8	38.6	37.6	1.0
	西日暮里	84	20.2	35.7	44.0	0.0
年 代	18～29歳	47	12.8	29.8	55.3	2.1
	30～39歳	100	17.0	35.0	48.0	0.0
	40～49歳	149	12.8	38.3	49.0	0.0
	50～59歳	137	19.7	35.0	45.3	0.0
	60～69歳	109	19.3	40.4	40.4	0.0
	70～79歳	112	17.9	42.0	39.3	0.9
	80歳以上	63	17.5	46.0	33.3	3.2
同 居 世 帯 人 数	1人	124	17.7	37.1	44.4	0.8
	2人	271	18.1	38.0	43.5	0.4
	3人	163	17.2	34.4	48.5	0.0
	4人	116	14.7	46.6	37.9	0.9
	5人	23	13.0	39.1	47.8	0.0
	6人以上	17	11.8	29.4	58.8	0.0
居 住 形 態	持ち家(一戸建て)	243	16.5	35.0	47.7	0.8
	持ち家(集合住宅)	268	18.7	41.4	39.6	0.4
	借家(一戸建て)	16	18.8	37.5	43.8	0.0
	借家(集合住宅)	172	15.7	37.2	46.5	0.6
	寮・社宅	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	その他	10	10.0	50.0	40.0	0.0
ラ イ フ ス テ ー ジ	家族形成期	96	17.7	30.2	52.1	0.0
	家族成長前期	81	14.8	38.3	46.9	0.0
	家族成長後期	66	13.6	48.5	37.9	0.0
	家族成熟期	40	22.5	35.0	42.5	0.0
	高齢期	117	21.4	40.2	38.5	0.0
	高齢期(一人暮らし)	64	18.8	40.6	39.1	1.6
	一人暮らし	58	17.2	32.8	50.0	0.0
	その他	200	14.0	39.0	45.5	1.5
性 別	男	242	16.5	43.8	39.3	0.4
	女	464	17.0	35.1	47.2	0.6
	その他(どちらでもない、わからない)	9	22.2	44.4	33.3	0.0
国 籍	印を付けた方(外国籍の方)	21	19.0	38.1	42.9	0.0
	印を付けなかった方	701	16.8	38.2	44.4	0.6

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問10-2 災害用トイレを備蓄していない理由

		調査数	かわのから ない備蓄 すれば良 い	災害時 には行政 提供して くれる	入替や 管理が面 倒だから	どこで 買うかわ からないか	お金が かかるから	置くス ペースが ないから	使用し たことが なく使 い方	その他	無回答
全 体		810	36.0	7.3	17.7	21.1	23.5	30.2	28.0	8.6	2.5
居住地区	南千住	157	35.0	8.9	17.2	19.1	21.7	28.7	25.5	8.9	2.5
	荒川	124	33.9	4.8	18.5	21.0	22.6	33.9	36.3	6.5	1.6
	町屋	120	40.8	7.5	20.0	25.0	22.5	31.7	26.7	10.0	0.8
	東尾久	103	33.0	3.9	22.3	28.2	26.2	35.0	22.3	3.9	3.9
	西尾久	109	45.0	13.8	14.7	21.1	23.9	25.7	30.3	10.1	1.8
	東日暮里	101	35.6	6.9	16.8	19.8	28.7	25.7	23.8	10.9	1.0
	西日暮里	83	27.7	3.6	14.5	13.3	20.5	31.3	32.5	10.8	3.6
年代	18～29歳	109	25.7	4.6	19.3	23.9	24.8	35.8	21.1	4.6	1.8
	30～39歳	112	33.9	8.0	23.2	15.2	25.0	34.8	25.9	6.3	0.9
	40～49歳	123	29.3	4.1	17.1	19.5	24.4	39.0	18.7	14.6	0.0
	50～59歳	154	34.4	7.8	14.9	18.8	29.9	32.5	30.5	7.8	1.3
	60～69歳	114	43.9	8.8	18.4	22.8	21.9	26.3	31.6	7.9	0.9
	70～79歳	121	44.6	8.3	16.5	24.8	18.2	19.8	35.5	9.1	8.3
	80歳以上	73	42.5	11.0	15.1	24.7	16.4	20.5	34.2	11.0	2.7
同居世帯人数	1人	228	28.9	6.6	18.0	25.0	23.7	28.9	24.1	10.1	1.3
	2人	256	37.5	7.4	17.6	19.5	21.9	27.7	28.5	7.4	3.9
	3人	158	39.9	5.7	19.6	18.4	19.6	34.2	32.3	8.2	0.6
	4人	104	36.5	7.7	17.3	18.3	28.8	32.7	31.7	8.7	1.9
	5人	36	44.4	8.3	11.1	25.0	33.3	36.1	25.0	13.9	2.8
	6人以上	18	44.4	22.2	22.2	16.7	27.8	27.8	11.1	0.0	5.6
居住形態	持ち家(一戸建て)	256	41.0	8.2	19.9	22.3	21.5	23.0	33.2	8.2	3.1
	持ち家(集合住宅)	193	42.5	6.2	18.7	22.3	18.1	22.8	34.2	10.4	2.1
	借家(一戸建て)	27	22.2	11.1	18.5	33.3	51.9	25.9	22.2	0.0	3.7
	借家(集合住宅)	287	29.3	5.9	15.3	17.4	25.8	41.5	20.9	8.0	2.4
	寮・社宅	19	21.1	0.0	15.8	26.3	21.1	47.4	15.8	5.3	0.0
	その他	18	38.9	27.8	22.2	22.2	27.8	22.2	22.2	16.7	0.0
ライフステージ	家族形成期	89	33.7	3.4	22.5	19.1	20.2	32.6	23.6	5.6	1.1
	家族成長前期	47	40.4	4.3	25.5	14.9	19.1	23.4	25.5	17.0	2.1
	家族成長後期	51	35.3	13.7	13.7	21.6	31.4	33.3	27.5	5.9	0.0
	家族成熟期	72	33.3	5.6	13.9	15.3	30.6	37.5	30.6	6.9	2.8
	高齢期	115	44.3	11.3	19.1	22.6	16.5	26.1	38.3	5.2	6.1
	高齢期(一人暮らし)	73	39.7	5.5	15.1	28.8	17.8	19.2	37.0	12.3	2.7
	一人暮らし	142	23.9	6.3	19.7	23.9	26.8	34.5	16.9	7.7	0.0
	その他	221	39.4	7.7	14.9	19.9	24.9	30.8	28.5	10.4	3.2
性別	男	391	33.5	8.7	19.9	20.2	24.3	30.7	25.6	7.2	2.6
	女	401	39.2	6.0	15.5	21.7	21.7	29.7	30.4	10.0	2.5
	その他(どちらでもない、わからない)	4	0.0	0.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	54	40.7	1.9	20.4	16.7	27.8	24.1	29.6	5.6	0.0
	印を付けなかった方	756	35.7	7.7	17.5	21.4	23.1	30.7	27.9	8.9	2.6

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問11 家具の転倒・落下防止

		調査数	行 大 つ 部 て 分 い の る 家 具 類 に 対 策 を	行 一 つ 部 て の い 家 具 類 だ け に 対 策 を	夫 な 対 しい 策 て が 器 い い 具 る 、 の 家 設 具 置 類 は の 配 置 を 工 い	は お ク 置 り 、 い 倒 て れ い ず な よ う な 収 納 し て	行 っ て い な い	無 回 答
全 体		1,552	14.6	30.9	12.0	9.8	30.5	2.1
居住地区	南千住	327	18.7	35.5	9.5	8.9	25.1	2.4
	荒川	239	12.6	28.5	15.9	8.8	32.6	1.7
	町屋	211	18.5	26.1	8.1	10.4	33.6	3.3
	東尾久	187	14.4	27.8	15.0	9.6	31.6	1.6
	西尾久	195	9.7	36.4	13.8	5.6	32.8	1.5
	東日暮里	204	11.3	30.4	11.8	14.2	30.4	2.0
	西日暮里	168	14.9	31.5	12.5	10.7	29.2	1.2
年代	18～29歳	157	19.1	28.7	5.7	11.5	34.4	0.6
	30～39歳	214	10.7	24.3	12.6	10.3	41.1	0.9
	40～49歳	272	14.0	37.1	13.6	8.8	25.0	1.5
	50～59歳	293	11.9	34.5	9.9	11.9	31.4	0.3
	60～69歳	225	18.7	28.9	12.4	11.1	28.4	0.4
	70～79歳	239	16.3	30.5	13.4	7.5	28.0	4.2
	80歳以上	141	12.8	29.8	17.0	6.4	25.5	8.5
同居世帯人数	1人	358	7.0	24.0	12.3	14.0	39.9	2.8
	2人	535	16.3	31.0	11.4	8.0	30.3	3.0
	3人	324	16.4	31.5	14.2	8.0	28.7	1.2
	4人	220	19.5	37.7	11.4	10.9	20.5	0.0
	5人	59	15.3	47.5	6.8	8.5	22.0	0.0
	6人以上	35	20.0	31.4	17.1	5.7	25.7	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	16.6	35.6	11.5	8.7	25.7	2.0
	持ち家(集合住宅)	463	21.4	33.7	13.0	10.4	19.9	1.7
	借家(一戸建て)	43	18.6	30.2	4.7	9.3	34.9	2.3
	借家(集合住宅)	465	6.5	24.1	13.1	10.1	44.7	1.5
	寮・社宅	27	3.7	29.6	7.4	18.5	37.0	3.7
	その他	29	6.9	24.1	13.8	10.3	41.4	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	12.4	24.2	13.4	8.6	40.3	1.1
	家族成長前期	128	14.8	33.6	17.2	13.3	21.1	0.0
	家族成長後期	117	23.1	44.4	9.4	8.5	14.5	0.0
	家族成熟期	112	12.5	36.6	11.6	7.1	31.3	0.9
	高齢期	236	18.2	31.8	15.3	8.1	23.7	3.0
	高齢期(一人暮らし)	141	9.2	30.5	12.8	10.6	31.9	5.0
	一人暮らし	201	6.0	18.9	12.9	17.4	44.3	0.5
	その他	431	17.6	33.2	8.4	7.4	29.9	3.5
性別	男	641	16.1	31.0	10.3	9.5	31.4	1.7
	女	874	13.8	30.7	13.7	9.8	30.0	1.9
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	61.5	7.7	15.4	15.4	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	20.8	15.6	13.0	18.2	27.3	5.2
	印を付けなかった方	1,475	14.3	31.7	12.0	9.4	30.6	2.0

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問11-1 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由

		調査数	強いから	固定する方法がわからないから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけるに	質貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけるに	持ち家に住んでおり、家具や壁に傷をつけたくないから	地震が起きても転倒・落下等しない、または転倒・落下等しても危険ではないと思うから	固定しても効果がないと思うから	お金をかけたくないから	助成制度を知らなかったから	設置が面倒だから	その他	無回答
全 体		1,140	20.9	24.5	8.7	18.1	5.5	8.8	37.4	24.5	6.7	2.6		
居住地区	南千住	229	18.3	24.0	11.4	23.6	6.6	2.6	37.6	22.7	7.0	2.6		
	荒川	184	26.6	24.5	7.6	13.0	8.2	9.8	41.8	28.3	7.1	1.6		
	町屋	143	16.8	28.0	7.7	11.9	8.4	7.7	35.7	26.6	8.4	2.1		
	東尾久	139	20.1	24.5	8.6	13.7	3.6	10.1	38.8	24.5	5.0	5.8		
	西尾久	162	25.3	19.8	6.2	21.0	3.1	13.0	38.9	25.9	6.8	1.9		
	東日暮里	148	18.9	27.7	8.8	22.3	2.7	11.5	31.1	21.6	6.1	2.7		
	西日暮里	123	19.5	24.4	9.8	19.5	4.9	9.8	38.2	23.6	4.9	1.6		
年代	18～29歳	108	14.8	37.0	2.8	18.5	1.9	14.8	26.9	26.9	4.6	2.8		
	30～39歳	167	15.6	37.7	8.4	12.6	3.6	9.0	42.5	28.7	2.4	1.8		
	40～49歳	206	19.9	25.7	10.7	18.4	4.4	6.8	40.8	25.7	8.7	0.0		
	50～59歳	222	18.5	20.3	14.0	18.5	3.6	9.0	34.2	23.4	11.3	1.4		
	60～69歳	157	22.3	21.0	10.2	19.7	10.8	9.6	39.5	23.6	5.1	1.3		
	70～79歳	172	24.4	18.0	5.2	22.1	7.0	9.3	39.0	23.3	5.2	6.4		
	80歳以上	102	35.3	12.7	3.9	15.7	7.8	2.9	36.3	19.6	5.9	7.8		
同居世帯人数	1人	273	22.0	37.7	5.5	19.0	4.0	12.1	33.3	19.4	6.2	2.9		
	2人	389	19.8	23.7	7.5	17.0	6.4	7.7	36.0	23.1	6.9	3.3		
	3人	241	19.1	21.6	9.1	19.9	6.6	8.7	37.8	28.6	6.6	2.1		
	4人	153	21.6	16.3	14.4	19.0	4.6	5.2	44.4	28.8	6.5	2.0		
	5人	45	26.7	11.1	11.1	8.9	2.2	4.4	48.9	28.9	11.1	0.0		
	6人以上	26	15.4	3.8	23.1	23.1	3.8	19.2	38.5	26.9	0.0	3.8		
居住形態	持ち家(一戸建て)	368	25.0	0.0	12.2	19.8	8.7	7.6	39.7	27.7	6.5	3.8		
	持ち家(集合住宅)	308	25.3	0.6	15.6	22.1	5.5	6.2	44.5	26.3	9.1	1.9		
	借家(一戸建て)	30	13.3	43.3	0.0	6.7	3.3	20.0	26.7	20.0	10.0	10.0		
	借家(集合住宅)	381	13.6	64.6	1.3	15.0	2.6	11.3	30.7	20.7	4.2	1.3		
	寮・社宅	20	10.0	75.0	0.0	10.0	5.0	5.0	35.0	15.0	0.0	5.0		
	その他	23	30.4	13.0	4.3	4.3	8.7	13.0	34.8	21.7	17.4	4.3		
ライフステージ	家族形成期	145	17.2	38.6	7.6	14.5	2.1	8.3	40.0	26.2	2.8	1.4		
	家族成長前期	92	23.9	17.4	17.4	21.7	2.2	5.4	42.4	30.4	6.5	1.1		
	家族成長後期	80	17.5	13.8	13.8	21.3	1.3	13.8	40.0	27.5	7.5	2.5		
	家族成熟期	89	16.9	22.5	12.4	15.7	5.6	5.6	41.6	24.7	6.7	1.1		
	高齢期	167	26.9	10.2	7.8	18.6	10.8	6.6	41.3	24.0	4.8	4.8		
	高齢期(一人暮らし)	106	29.2	27.4	5.7	21.7	4.7	11.3	38.7	17.9	2.8	5.7		
	一人暮らし	153	17.6	47.1	4.6	17.6	3.9	13.7	29.4	19.6	7.8	1.3		
	その他	308	19.2	18.8	7.8	17.2	7.5	7.5	34.1	26.0	10.1	2.6		
性別	男	466	14.6	23.6	10.7	22.3	6.9	11.6	36.1	24.5	4.7	3.6		
	女	650	25.5	24.8	7.4	15.1	4.6	6.6	37.7	24.5	8.0	2.0		
	その他(どちらでもない、わからない)	11	0.0	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1	63.6	9.1	9.1	0.0		
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	43	14.0	20.9	9.3	27.9	11.6	4.7	34.9	14.0	9.3	2.3		
	印を付けなかった方	1,097	21.1	24.6	8.7	17.7	5.3	8.9	37.5	24.9	6.6	2.6		

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問12 感震ブレーカーの設置状況

		調査数	全額自己負担で感震ブレーカーを設置した	助成金を活用して感震ブレーカーを設置した	東京都が無料配布したコンセンタティブ感震ブレーカーを設置した	居住する前から感震ブレーカーが設置されていた	感震ブレーカーを知らない	本設問まで感震ブレーカーを知らなかった	無回答
全体		1,552	6.3	2.8	4.2	9.7	18.4	54.3	4.4
居住地区	南千住	327	4.3	1.8	3.7	13.8	14.4	57.5	4.6
	荒川	239	5.4	2.1	7.1	7.9	21.8	52.7	2.9
	町屋	211	8.5	5.2	3.3	8.5	16.6	53.1	4.7
	東尾久	187	4.3	4.8	6.4	6.4	23.0	51.9	3.2
	西尾久	195	8.7	2.6	6.7	5.6	19.5	51.8	5.1
	東日暮里	204	5.4	2.0	1.5	11.3	20.6	53.9	5.4
	西日暮里	168	8.9	1.8	0.6	11.9	15.5	58.3	3.0
年代	18～29歳	157	6.4	1.3	2.5	7.6	7.6	72.6	1.9
	30～39歳	214	1.4	0.0	1.9	9.3	15.0	71.5	0.9
	40～49歳	272	5.1	1.1	1.8	14.0	13.6	63.2	1.1
	50～59歳	293	2.4	2.4	2.4	10.2	19.8	60.8	2.0
	60～69歳	225	8.0	2.2	2.7	7.6	27.1	47.6	4.9
	70～79歳	239	10.5	7.5	9.2	8.8	23.8	33.1	7.1
	80歳以上	141	13.5	5.7	12.1	7.8	19.1	25.5	16.3
同居世帯人数	1人	358	3.4	3.1	5.0	8.9	19.3	54.5	5.9
	2人	535	8.0	3.7	5.4	10.3	19.1	47.9	5.6
	3人	324	4.9	2.2	1.9	9.6	18.2	60.8	2.5
	4人	220	7.3	2.3	4.1	10.5	18.6	56.4	0.9
	5人	59	11.9	0.0	3.4	10.2	20.3	52.5	1.7
	6人以上	35	5.7	0.0	2.9	5.7	2.9	80.0	2.9
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	13.0	3.6	7.3	4.0	25.3	42.5	4.3
	持ち家(集合住宅)	463	4.1	5.0	1.5	15.6	15.1	53.8	5.0
	借家(一戸建て)	43	4.7	0.0	9.3	7.0	16.3	62.8	0.0
	借家(集合住宅)	465	1.3	0.2	2.8	9.5	15.1	67.5	3.7
	寮・社宅	27	3.7	0.0	0.0	14.8	14.8	63.0	3.7
	その他	29	6.9	3.4	3.4	20.7	17.2	44.8	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	2.2	1.1	2.7	10.2	12.4	71.0	0.5
	家族成長前期	128	7.8	0.8	2.3	14.1	11.7	62.5	0.8
	家族成長後期	117	8.5	2.6	1.7	14.5	12.8	58.1	1.7
	家族成熟期	112	5.4	0.9	1.8	12.5	19.6	58.0	1.8
	高齢期	236	13.1	7.6	5.9	7.6	23.3	35.6	6.8
	高齢期(一人暮らし)	141	5.0	5.0	11.3	7.1	24.1	34.8	12.8
	一人暮らし	201	2.0	1.0	1.0	9.5	15.9	69.7	1.0
	その他	431	5.8	2.1	4.9	8.4	20.9	52.0	6.0
性別	男	641	6.2	2.8	3.7	10.1	20.6	53.8	2.7
	女	874	6.3	2.9	4.3	9.7	16.6	54.6	5.6
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	92.3	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	6.5	1.3	1.3	23.4	14.3	49.4	3.9
	印を付けなかった方	1,475	6.2	2.8	4.3	9.0	18.6	54.5	4.4

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問12-1 感震ブレーカーの未設置理由

		調査数	お金をかけたくないから	避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	設置しても効果がないと思うから	電気が突然止まると困るから	分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	設置する方法がわからないか、または設置するのが難しいか	助成制度を知らなかったか	設置が面倒だから	その他	無回答
全体		286	30.4	21.0	6.3	5.9	3.8	7.3	5.2	38.5	22.0	6.6	0.0
居住地区	南千住	47	31.9	21.3	2.1	6.4	4.3	4.3	0.0	40.4	17.0	14.9	0.0
	荒川	52	34.6	15.4	3.8	7.7	3.8	9.6	1.9	44.2	23.1	5.8	0.0
	町屋	35	22.9	20.0	8.6	11.4	5.7	8.6	11.4	40.0	37.1	2.9	0.0
	東尾久	43	30.2	23.3	4.7	4.7	2.3	9.3	0.0	34.9	16.3	7.0	0.0
	西尾久	38	36.8	13.2	10.5	5.3	7.9	2.6	10.5	36.8	21.1	7.9	0.0
	東日暮里	42	19.0	31.0	7.1	2.4	2.4	11.9	14.3	38.1	19.0	0.0	0.0
	西日暮里	26	38.5	23.1	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	34.6	26.9	7.7	0.0
年代	18～29歳	12	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	33.3	25.0	0.0	0.0
	30～39歳	32	31.3	28.1	0.0	9.4	3.1	3.1	6.3	31.3	25.0	3.1	0.0
	40～49歳	37	32.4	35.1	5.4	2.7	2.7	8.1	2.7	32.4	18.9	10.8	0.0
	50～59歳	58	24.1	22.4	1.7	3.4	3.4	1.7	8.6	32.8	24.1	10.3	0.0
	60～69歳	61	23.0	13.1	11.5	6.6	8.2	9.8	3.3	37.7	21.3	6.6	0.0
	70～79歳	57	40.4	17.5	5.3	8.8	1.8	17.5	3.5	43.9	22.8	3.5	0.0
	80歳以上	27	44.4	14.8	14.8	7.4	0.0	0.0	7.4	63.0	18.5	7.4	0.0
同居世帯人数	1人	69	23.2	31.9	5.8	7.2	5.8	13.0	4.3	27.5	15.9	2.9	0.0
	2人	102	26.5	20.6	7.8	5.9	0.0	4.9	3.9	47.1	24.5	5.9	0.0
	3人	59	27.1	18.6	1.7	6.8	5.1	10.2	8.5	42.4	23.7	6.8	0.0
	4人	41	46.3	12.2	4.9	4.9	7.3	2.4	4.9	31.7	26.8	14.6	0.0
	5人	12	66.7	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	41.7	8.3	8.3	0.0
	6人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	128	35.9	0.0	10.9	7.0	6.3	7.0	7.8	40.6	27.3	9.4	0.0
	持ち家(集合住宅)	70	34.3	2.9	1.4	8.6	2.9	11.4	2.9	52.9	27.1	5.7	0.0
	借家(一戸建て)	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
	借家(集合住宅)	70	15.7	70.0	2.9	2.9	1.4	5.7	1.4	22.9	11.4	4.3	0.0
	寮・社宅	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ	家族形成期	23	34.8	34.8	0.0	4.3	4.3	0.0	8.7	26.1	17.4	8.7	0.0
	家族成長前期	15	40.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	20.0	26.7	20.0	0.0
	家族成長後期	15	40.0	20.0	0.0	6.7	20.0	6.7	6.7	20.0	20.0	6.7	0.0
	家族成熟期	22	36.4	22.7	4.5	0.0	9.1	4.5	4.5	27.3	22.7	18.2	0.0
	高齢期	55	38.2	5.5	9.1	5.5	1.8	9.1	1.8	60.0	21.8	3.6	0.0
	高齢期(一人暮らし)	34	29.4	23.5	8.8	8.8	8.8	20.6	5.9	32.4	8.8	2.9	0.0
	一人暮らし	32	15.6	40.6	3.1	6.3	3.1	6.3	3.1	18.8	21.9	3.1	0.0
	その他	90	25.6	21.1	8.9	7.8	0.0	4.4	7.8	46.7	27.8	5.6	0.0
性別	男	132	28.0	18.9	6.8	5.3	5.3	6.1	4.5	45.5	26.5	3.0	0.0
	女	145	33.8	21.4	5.5	6.9	2.8	9.0	4.8	32.4	17.9	10.3	0.0
	その他(どちらでもない、わからない)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	11	36.4	18.2	27.3	0.0	9.1	9.1	9.1	36.4	27.3	18.2	0.0
	印を付けなかった方	275	30.2	21.1	5.5	6.2	3.6	7.3	5.1	38.5	21.8	6.2	0.0

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問13 地域の行事や活動への参加頻度

		調査数	いつも参加している	時々参加している	ほとんど参加していない	まったく参加しない	行事を知らない	無回答
全 体		1,552	4.1	24.6	31.5	26.2	12.2	1.5
居住地区	南千住	327	4.9	32.1	30.3	22.9	9.5	0.3
	荒川	239	4.2	21.8	31.0	29.7	12.1	1.3
	町屋	211	5.2	22.3	31.3	27.5	11.4	2.4
	東尾久	187	4.8	23.0	29.9	26.2	14.4	1.6
	西尾久	195	2.6	28.2	35.4	20.5	11.8	1.5
	東日暮里	204	3.4	21.6	27.9	28.9	15.7	2.5
	西日暮里	168	2.4	19.6	38.7	28.6	10.7	0.0
年代	18～29歳	157	2.5	15.9	27.4	22.3	29.9	1.9
	30～39歳	214	0.9	22.4	27.1	25.7	22.9	0.9
	40～49歳	272	2.6	35.7	22.4	29.8	9.2	0.4
	50～59歳	293	4.8	19.8	34.5	29.4	10.9	0.7
	60～69歳	225	5.3	24.0	40.4	23.1	6.2	0.9
	70～79歳	239	5.9	25.1	33.1	27.6	6.3	2.1
	80歳以上	141	6.4	27.0	38.3	19.9	4.3	4.3
同居世帯人数	1人	358	4.2	12.8	27.9	34.6	18.7	1.7
	2人	535	3.0	20.2	31.6	29.9	13.6	1.7
	3人	324	4.3	31.2	35.8	21.3	6.5	0.9
	4人	220	5.9	37.3	30.5	16.8	9.1	0.5
	5人	59	1.7	50.8	32.2	8.5	5.1	1.7
	6人以上	35	8.6	34.3	28.6	20.0	8.6	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	6.3	32.2	33.8	21.9	4.3	1.4
	持ち家(集合住宅)	463	3.9	27.6	35.6	25.3	6.5	1.1
	借家(一戸建て)	43	4.7	14.0	39.5	20.9	20.9	0.0
	借家(集合住宅)	465	1.7	15.1	25.2	32.0	24.9	1.1
	寮・社宅	27	3.7	25.9	25.9	22.2	18.5	3.7
	その他	29	3.4	13.8	31.0	34.5	17.2	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	1.6	26.9	28.0	21.5	21.0	1.1
	家族成長前期	128	3.1	57.0	30.5	7.0	1.6	0.8
	家族成長後期	117	2.6	36.8	24.8	23.9	12.0	0.0
	家族成熟期	112	8.9	18.8	40.2	23.2	8.9	0.0
	高齢期	236	5.9	32.6	33.9	21.6	3.8	2.1
	高齢期(一人暮らし)	141	5.7	17.0	36.9	29.8	7.1	3.5
	一人暮らし	201	2.0	10.0	22.9	37.3	27.4	0.5
	その他	431	3.9	17.2	33.9	31.3	11.6	2.1
性別	男	641	4.4	19.7	32.0	30.9	12.0	1.1
	女	874	3.9	28.4	31.2	22.4	12.5	1.6
	その他(どちらでもない、わからない)	13	7.7	15.4	38.5	30.8	7.7	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	3.9	15.6	32.5	27.3	16.9	3.9
	印を付けなかった方	1,475	4.1	25.1	31.5	26.1	11.9	1.4

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問13-1 参加している地域の行事や活動

		調査数	町会・自治会の活動	お祭りなどの地域の催し	交通安全や、防災・防犯に関する活動	趣味・娯楽、自己啓発等のサークル活動	スポーツ・健康（ラジ操、こころばん体操等）に関する活動	読書や文化啓発に関する活動	環境美化・リサイクルに関する活動	高齢者・障がい者等の支援	動物愛護に関する活動	子育て支援
全 体		445	43.8	71.5	19.6	12.1	15.1	4.3	9.4	4.9	0.7	10.3
居住地区	南千住	121	38.8	70.2	19.8	11.6	15.7	4.1	9.1	5.0	0.0	9.9
	荒川	62	51.6	75.8	24.2	11.3	16.1	4.8	9.7	6.5	0.0	14.5
	町屋	58	43.1	58.6	15.5	13.8	13.8	3.4	13.8	5.2	1.7	12.1
	東尾久	52	42.3	78.8	19.2	19.2	15.4	7.7	19.2	9.6	1.9	13.5
	西尾久	60	53.3	63.3	20.0	11.7	15.0	5.0	1.7	3.3	0.0	5.0
	東日暮里	51	37.3	72.5	15.7	13.7	13.7	3.9	3.9	3.9	2.0	7.8
	西日暮里	37	40.5	86.5	21.6	2.7	10.8	0.0	10.8	0.0	0.0	10.8
年代	18～29歳	29	13.8	93.1	6.9	3.4	6.9	3.4	3.4	0.0	0.0	6.9
	30～39歳	50	14.0	82.0	14.0	4.0	4.0	8.0	2.0	2.0	2.0	40.0
	40～49歳	104	33.7	91.3	7.7	2.9	14.4	4.8	2.9	1.0	0.0	16.3
	50～59歳	72	44.4	68.1	19.4	6.9	12.5	4.2	12.5	5.6	1.4	4.2
	60～69歳	66	56.1	56.1	25.8	16.7	18.2	1.5	13.6	7.6	0.0	3.0
	70～79歳	74	67.6	60.8	31.1	25.7	20.3	4.1	18.9	12.2	1.4	1.4
	80歳以上	47	57.4	44.7	31.9	27.7	21.3	4.3	10.6	4.3	0.0	2.1
同居世帯人数	1人	61	52.5	63.9	29.5	16.4	16.4	1.6	11.5	8.2	1.6	1.6
	2人	124	49.2	61.3	23.4	19.4	10.5	4.0	13.7	7.3	0.8	3.2
	3人	115	36.5	75.7	11.3	10.4	15.7	7.8	6.1	1.7	0.0	15.7
	4人	95	40.0	75.8	18.9	6.3	13.7	2.1	8.4	3.2	1.1	17.9
	5人	31	35.5	93.5	16.1	6.5	19.4	6.5	6.5	9.7	0.0	16.1
	6人以上	15	46.7	80.0	20.0	0.0	33.3	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7
居住形態	持ち家（一戸建て）	195	50.3	70.8	21.0	13.3	15.4	3.1	13.3	6.2	1.0	5.1
	持ち家（集合住宅）	146	42.5	75.3	19.2	13.0	15.1	4.8	5.5	2.1	0.0	13.0
	借家（一戸建て）	8	37.5	87.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	借家（集合住宅）	78	29.5	67.9	12.8	7.7	16.7	5.1	9.0	6.4	0.0	20.5
	寮・社宅	8	37.5	75.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
	その他	5	80.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
ライフステージ	家族形成期	53	17.0	86.8	9.4	1.9	3.8	9.4	1.9	1.9	0.0	43.4
	家族成長前期	77	32.5	90.9	14.3	3.9	18.2	3.9	5.2	2.6	0.0	20.8
	家族成長後期	46	34.8	76.1	6.5	0.0	15.2	4.3	2.2	0.0	0.0	2.2
	家族成熟期	31	67.7	61.3	32.3	9.7	16.1	3.2	9.7	3.2	0.0	0.0
	高齢期	91	62.6	57.1	26.4	26.4	20.9	4.4	18.7	8.8	1.1	3.3
	高齢期（一人暮らし）	32	65.6	46.9	40.6	18.8	21.9	0.0	18.8	12.5	0.0	0.0
	一人暮らし	24	29.2	87.5	8.3	12.5	8.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
	その他	91	42.9	65.9	20.9	15.4	12.1	3.3	9.9	5.5	1.1	2.2
性別	男	154	51.3	76.0	26.0	13.0	13.6	4.5	7.8	5.2	0.0	6.5
	女	282	40.4	69.1	16.0	11.7	16.3	4.3	10.3	4.6	1.1	12.8
	その他（どちらでもない、わからない）	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	15	20.0	53.3	20.0	20.0	6.7	6.7	20.0	6.7	6.7	13.3
	印を付けなかった方	430	44.7	72.1	19.5	11.9	15.3	4.2	9.1	4.9	0.5	10.2

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問13-1 参加している地域の行事や活動

		調査数	緑化推進に関する活動	学校行事・教育に関する活動	その他	無回答
全 体		445	1.6	19.8	0.7	2.2
居住地区	南千住	121	2.5	23.1	0.8	1.7
	荒川	62	1.6	12.9	0.0	1.6
	町屋	58	3.4	19.0	1.7	3.4
	東尾久	52	1.9	26.9	0.0	0.0
	西尾久	60	0.0	15.0	0.0	5.0
	東日暮里	51	0.0	13.7	2.0	3.9
	西日暮里	37	0.0	29.7	0.0	0.0
年代	18～29歳	29	0.0	6.9	3.4	0.0
	30～39歳	50	2.0	26.0	0.0	2.0
	40～49歳	104	0.0	42.3	0.0	1.0
	50～59歳	72	2.8	29.2	1.4	5.6
	60～69歳	66	3.0	6.1	0.0	6.1
	70～79歳	74	2.7	1.4	1.4	0.0
	80歳以上	47	0.0	6.4	0.0	0.0
同居世帯人数	1人	61	1.6	1.6	4.9	0.0
	2人	124	2.4	3.2	0.0	3.2
	3人	115	0.9	21.7	0.0	3.5
	4人	95	2.1	42.1	0.0	1.1
	5人	31	0.0	48.4	0.0	0.0
	6人以上	15	0.0	20.0	0.0	6.7
居住形態	持ち家(一戸建て)	195	1.0	15.9	0.0	3.6
	持ち家(集合住宅)	146	2.1	27.4	0.7	0.7
	借家(一戸建て)	8	0.0	12.5	0.0	0.0
	借家(集合住宅)	78	2.6	16.7	2.6	2.6
	寮・社宅	8	0.0	37.5	0.0	0.0
	その他	5	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ	家族形成期	53	1.9	15.1	0.0	3.8
	家族成長前期	77	0.0	57.1	0.0	0.0
	家族成長後期	46	2.2	32.6	0.0	6.5
	家族成熟期	31	0.0	29.0	0.0	0.0
	高齢期	91	2.2	4.4	0.0	0.0
	高齢期(一人暮らし)	32	3.1	0.0	3.1	0.0
	一人暮らし	24	0.0	4.2	8.3	0.0
	その他	91	2.2	7.7	0.0	5.5
性別	男	154	0.6	16.9	0.0	1.3
	女	282	2.1	21.3	1.1	2.8
	その他(どちらでもない、わからない)	3	0.0	33.3	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	15	0.0	40.0	0.0	0.0
	印を付けなかった方	430	1.6	19.1	0.7	2.3

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問13-2 地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ

		調査数	家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動から	友人・知人に誘われたから	地域の課題を解決したから	または、定年後などから時間、余裕ができたから	子育てが一段落したから、また、余裕が足りなかったから仕方なく	参加するのが当たり前だったから	その他	無回答
全 体		445	33.3	23.6	3.8	2.7	12.4	3.1	9.2	11.9
居住地区	南千住	121	35.5	19.0	5.0	1.7	12.4	4.1	10.7	11.6
	荒川	62	38.7	17.7	3.2	1.6	12.9	4.8	11.3	9.7
	町屋	58	29.3	29.3	5.2	3.4	15.5	3.4	5.2	8.6
	東尾久	52	32.7	21.2	1.9	1.9	7.7	3.8	9.6	21.2
	西尾久	60	20.0	31.7	5.0	3.3	18.3	1.7	10.0	10.0
	東日暮里	51	33.3	23.5	2.0	3.9	9.8	2.0	7.8	17.6
	西日暮里	37	43.2	27.0	2.7	5.4	8.1	0.0	8.1	5.4
年代	18～29歳	29	27.6	34.5	0.0	0.0	6.9	0.0	27.6	3.4
	30～39歳	50	40.0	34.0	4.0	0.0	8.0	2.0	10.0	2.0
	40～49歳	104	52.9	21.2	0.0	0.0	5.8	1.9	10.6	7.7
	50～59歳	72	33.3	16.7	5.6	1.4	16.7	5.6	6.9	13.9
	60～69歳	66	25.8	16.7	9.1	4.5	16.7	4.5	7.6	15.2
	70～79歳	74	21.6	24.3	4.1	6.8	20.3	4.1	6.8	12.2
	80歳以上	47	12.8	29.8	4.3	6.4	10.6	2.1	4.3	29.8
同居世帯人数	1人	61	8.2	32.8	11.5	0.0	14.8	3.3	13.1	16.4
	2人	124	23.4	25.0	4.0	6.5	14.5	3.2	9.7	13.7
	3人	115	36.5	22.6	4.3	1.7	11.3	3.5	10.4	9.6
	4人	95	43.2	18.9	0.0	1.1	10.5	2.1	9.5	14.7
	5人	31	61.3	25.8	0.0	3.2	3.2	6.5	0.0	0.0
	6人以上	15	66.7	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0	0.0	6.7
居住形態	持ち家(一戸建て)	195	37.9	22.1	2.6	2.6	14.9	3.6	4.1	12.3
	持ち家(集合住宅)	146	34.2	24.0	5.5	4.8	9.6	1.4	11.0	9.6
	借家(一戸建て)	8	25.0	12.5	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0	12.5
	借家(集合住宅)	78	25.6	25.6	5.1	0.0	7.7	2.6	20.5	12.8
	寮・社宅	8	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5
	その他	5	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0
ライフステージ	家族形成期	53	41.5	17.0	1.9	0.0	11.3	0.0	22.6	5.7
	家族成長前期	77	55.8	29.9	0.0	0.0	1.3	1.3	6.5	5.2
	家族成長後期	46	45.7	15.2	4.3	2.2	8.7	4.3	8.7	10.9
	家族成熟期	31	35.5	16.1	3.2	3.2	19.4	6.5	3.2	12.9
	高齢期	91	20.9	23.1	3.3	8.8	16.5	5.5	6.6	15.4
	高齢期(一人暮らし)	32	3.1	31.3	9.4	0.0	25.0	0.0	9.4	21.9
	一人暮らし	24	16.7	37.5	12.5	0.0	4.2	4.2	20.8	4.2
	その他	91	29.7	23.1	4.4	2.2	15.4	3.3	5.5	16.5
性別	男	154	35.7	24.7	5.8	3.2	13.0	2.6	7.1	7.8
	女	282	32.6	23.0	2.8	2.5	12.1	3.2	10.6	13.1
	その他(どちらでもない、わからない)	3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	15	20.0	26.7	6.7	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7
	印を付けなかった方	430	33.7	23.5	3.7	2.6	12.6	2.8	9.1	12.1

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問14 住居周辺の知っている団体活動

		調査数	町会・自治会の活動	お祭りなどの地域の催し	交通安全や、防災・防犯に関する活動	趣味・娯楽、自己啓発等のサークル活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こころばん体操等）に関する活動	読書や文化啓発に関する活動	環境美化・リサイクルに関する活動	高齢者・障がい者等の支援	動物愛護に関する活動	子育て支援
全 体		1,552	60.9	77.4	39.2	14.4	29.0	6.8	13.9	11.3	3.2	13.5
居住地区	南千住	327	58.7	79.8	45.9	20.2	34.6	9.2	14.1	13.1	1.5	19.6
	荒川	239	61.1	76.6	35.6	11.7	25.9	6.3	15.9	10.9	2.5	13.4
	町屋	211	64.9	76.3	34.1	12.3	31.8	8.5	16.1	11.8	5.2	12.8
	東尾久	187	67.4	76.5	41.7	16.6	32.6	7.0	15.5	13.4	3.7	12.8
	西尾久	195	66.2	74.4	40.5	17.4	26.7	4.6	16.9	13.8	5.6	13.8
	東日暮里	204	53.4	78.9	38.2	9.8	24.5	5.4	9.8	9.8	2.0	8.3
	西日暮里	168	56.5	78.0	35.7	10.7	24.4	5.4	7.7	6.0	3.0	10.1
年代	18～29歳	157	38.9	78.3	26.1	10.2	24.2	10.8	2.5	5.7	0.6	10.2
	30～39歳	214	39.7	74.3	26.6	9.8	19.6	5.6	3.7	7.0	3.7	23.8
	40～49歳	272	62.9	84.6	42.3	13.6	29.8	11.8	11.8	12.9	4.8	22.8
	50～59歳	293	63.1	76.8	41.0	14.3	30.4	6.5	17.7	12.3	4.1	15.0
	60～69歳	225	77.8	84.4	48.9	20.0	30.2	4.9	20.9	14.2	1.8	8.9
	70～79歳	239	71.1	73.6	45.2	17.2	33.1	5.9	20.9	10.9	3.3	5.0
	80歳以上	141	66.0	65.2	39.0	15.6	35.5	0.7	14.9	16.3	2.1	2.8
同居世帯人数	1人	358	49.4	68.4	31.8	10.6	19.3	4.7	9.2	11.5	2.0	4.7
	2人	535	60.4	73.8	37.2	16.1	30.1	5.0	13.8	10.8	4.1	7.1
	3人	324	65.4	83.6	45.1	14.5	32.1	8.6	15.7	11.7	3.4	22.5
	4人	220	69.1	87.3	42.7	17.7	36.8	10.9	16.4	12.3	2.7	24.1
	5人	59	81.4	89.8	54.2	18.6	35.6	13.6	22.0	13.6	3.4	28.8
	6人以上	35	62.9	88.6	40.0	5.7	28.6	5.7	14.3	8.6	2.9	28.6
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	77.1	84.0	47.8	14.8	34.0	4.5	20.2	12.6	4.7	14.0
	持ち家（集合住宅）	463	66.7	81.4	39.7	17.7	36.1	8.4	13.2	12.1	2.6	15.3
	借家（一戸建て）	43	55.8	72.1	34.9	11.6	14.0	4.7	14.0	11.6	2.3	14.0
	借家（集合住宅）	465	40.2	67.5	31.2	11.8	20.0	8.4	9.0	9.0	2.4	12.5
	寮・社宅	27	33.3	70.4	18.5	11.1	22.2	7.4	3.7	14.8	3.7	7.4
	その他	29	58.6	89.7	41.4	10.3	10.3	3.4	10.3	17.2	0.0	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	38.7	79.0	27.4	11.3	22.0	9.7	5.4	7.0	3.8	30.6
	家族成長前期	128	68.8	88.3	43.0	17.2	35.2	15.6	9.4	13.3	2.3	32.0
	家族成長後期	117	72.6	84.6	50.4	12.0	35.0	9.4	17.9	10.3	6.0	23.9
	家族成熟期	112	70.5	83.9	49.1	16.1	33.9	8.9	23.2	17.9	1.8	18.8
	高齢期	236	76.7	77.1	44.9	22.9	38.6	3.4	22.5	11.9	3.4	7.2
	高齢期（一人暮らし）	141	65.2	68.8	42.6	12.8	29.8	4.3	12.1	13.5	1.4	3.5
	一人暮らし	201	38.8	67.7	24.4	10.0	11.9	5.5	7.5	10.0	2.5	6.0
	その他	431	62.6	77.3	40.1	13.2	29.7	5.1	14.4	10.9	3.5	6.5
性別	男	641	63.2	74.1	36.8	13.3	23.1	6.1	12.9	9.8	2.5	10.0
	女	874	59.8	80.2	41.3	15.4	33.6	7.6	14.9	12.7	3.8	16.2
	その他（どちらでもない、わからない）	13	46.2	76.9	30.8	7.7	38.5	0.0	15.4	15.4	0.0	7.7
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	37.7	63.6	22.1	15.6	24.7	5.2	7.8	7.8	1.3	9.1
	印を付けなかった方	1,475	62.1	78.1	40.1	14.4	29.2	6.9	14.2	11.5	3.3	13.7

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問14 住居周辺の知っている団体活動

		調査数	緑化推進に関する活動	学校行事・教育に関する活動	その他	知っている活動はない	無回答
全 体		1,552	5.7	15.1	0.8	10.8	1.7
居住地区	南千住	327	8.6	22.0	0.9	8.9	2.1
	荒川	239	4.2	10.0	2.1	12.6	0.4
	町屋	211	8.1	16.6	1.4	10.0	0.9
	東尾久	187	4.8	16.0	0.0	11.2	2.1
	西尾久	195	6.7	12.8	0.5	9.2	2.1
	東日暮里	204	2.9	11.3	0.5	14.2	1.5
	西日暮里	168	3.6	14.3	0.0	11.3	1.8
年代	18～29歳	157	0.6	11.5	0.0	14.6	0.6
	30～39歳	214	3.3	14.5	0.0	17.8	0.5
	40～49歳	272	6.3	29.8	0.7	8.8	0.4
	50～59歳	293	7.2	18.1	1.4	12.3	0.7
	60～69歳	225	6.7	13.3	1.3	6.2	0.4
	70～79歳	239	7.1	6.3	0.8	9.6	2.1
	80歳以上	141	7.8	5.0	1.4	6.4	9.2
同居世帯人数	1人	358	3.6	5.9	1.1	17.3	2.5
	2人	535	5.8	7.9	0.2	14.2	1.7
	3人	324	5.9	19.1	1.5	4.6	0.9
	4人	220	9.1	31.8	0.9	4.5	0.9
	5人	59	8.5	44.1	0.0	3.4	0.0
	6人以上	35	2.9	40.0	2.9	5.7	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	6.7	16.8	1.0	5.1	1.8
	持ち家(集合住宅)	463	6.9	19.2	0.4	7.1	1.3
	借家(一戸建て)	43	2.3	7.0	0.0	14.0	2.3
	借家(集合住宅)	465	4.3	11.2	1.3	20.6	1.1
	寮・社宅	27	3.7	14.8	0.0	14.8	0.0
	その他	29	3.4	3.4	0.0	3.4	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	2.7	9.7	0.5	13.4	0.0
	家族成長前期	128	5.5	52.3	0.8	3.1	0.8
	家族成長後期	117	7.7	36.8	0.0	8.5	0.0
	家族成熟期	112	8.0	25.9	1.8	7.1	0.9
	高齢期	236	9.7	7.2	0.4	8.1	1.7
	高齢期(一人暮らし)	141	5.0	5.0	0.7	9.9	4.3
	一人暮らし	201	3.0	6.5	1.5	22.9	1.0
	その他	431	5.3	9.5	0.9	9.7	3.0
性別	男	641	3.7	15.0	1.2	12.9	0.8
	女	874	7.3	15.7	0.6	8.9	2.2
	その他(どちらでもない、わからない)	13	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	3.9	19.5	2.6	20.8	1.3
	印を付けなかった方	1,475	5.8	14.9	0.7	10.3	1.8

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問15 住居周辺の知っている団体

		調査数	町会・自治会	商店街	公衆浴場	消防団	防犯協会	趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	高年者クラブ	青年会議所	女性団体	コミュニティカレッジ
全 体		1,552	74.7	48.1	30.2	34.1	8.3	10.5	8.5	3.3	1.4	5.5
居住地区	南千住	327	73.7	53.8	25.4	33.6	9.8	12.2	8.6	3.1	0.6	4.0
	荒川	239	72.0	45.6	32.2	28.9	9.2	11.7	7.9	3.8	1.7	9.6
	町屋	211	77.7	42.2	20.9	35.5	5.7	10.0	9.5	5.2	2.8	7.1
	東尾久	187	75.4	59.4	33.2	42.2	7.0	9.1	8.6	1.6	2.1	7.5
	西尾久	195	79.5	46.2	38.5	37.4	10.3	17.4	11.3	4.1	1.0	4.6
	東日暮里	204	75.5	42.6	32.8	36.3	8.8	6.4	9.3	2.9	0.0	2.0
	西日暮里	168	70.8	45.2	32.7	25.0	4.8	6.0	3.0	2.4	1.8	3.6
年代	18～29歳	157	52.9	44.6	24.2	21.7	1.3	5.1	2.5	1.3	1.3	0.6
	30～39歳	214	52.8	43.9	24.3	23.4	3.3	5.1	3.7	3.7	1.4	2.8
	40～49歳	272	80.1	51.1	33.1	37.9	7.7	8.8	7.7	4.4	0.7	4.8
	50～59歳	293	77.1	56.3	36.5	40.6	9.2	9.6	5.8	3.8	1.4	5.1
	60～69歳	225	88.0	53.8	34.2	40.9	8.4	13.8	10.2	4.4	1.8	10.2
	70～79歳	239	82.4	43.1	25.1	35.1	13.0	14.2	11.7	1.7	1.7	7.5
	80歳以上	141	83.7	36.9	29.8	30.5	13.5	19.1	20.6	2.8	1.4	5.7
同居世帯人数	1人	358	61.5	38.5	29.6	25.7	7.3	8.7	7.0	1.4	1.1	3.4
	2人	535	72.3	45.6	26.5	33.3	8.6	11.4	8.2	1.9	0.9	5.6
	3人	324	82.7	52.2	32.4	35.2	8.6	11.1	8.6	4.9	2.2	8.0
	4人	220	85.9	59.5	35.5	41.8	8.2	12.3	9.1	5.0	0.5	3.6
	5人	59	91.5	64.4	35.6	52.5	6.8	11.9	16.9	8.5	3.4	11.9
	6人以上	35	82.9	57.1	31.4	48.6	11.4	2.9	5.7	11.4	5.7	2.9
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	90.9	49.8	33.0	43.9	12.5	12.3	13.4	4.5	2.4	6.5
	持ち家(集合住宅)	463	81.0	53.3	30.5	34.3	8.0	12.7	7.1	3.2	0.4	6.3
	借家(一戸建て)	43	72.1	46.5	27.9	18.6	4.7	9.3	4.7	4.7	2.3	7.0
	借家(集合住宅)	465	54.2	42.6	25.6	25.6	4.5	6.9	5.4	2.4	0.9	3.9
	寮・社宅	27	37.0	33.3	33.3	29.6	3.7	7.4	3.7	0.0	7.4	3.7
	その他	29	75.9	55.2	58.6	37.9	10.3	13.8	6.9	0.0	0.0	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	58.6	44.6	22.0	28.5	4.3	6.5	3.8	4.3	1.6	4.3
	家族成長前期	128	87.5	60.2	42.2	37.5	4.7	14.1	6.3	5.5	0.0	7.8
	家族成長後期	117	87.2	65.8	39.3	47.0	7.7	8.5	6.0	6.0	2.6	6.0
	家族成熟期	112	82.1	50.9	36.6	40.2	8.9	11.6	11.6	3.6	0.9	6.3
	高齢期	236	89.0	47.0	28.0	41.5	11.4	16.1	13.6	3.0	2.1	10.6
	高齢期(一人暮らし)	141	75.9	39.7	33.3	27.7	7.8	12.8	11.3	0.0	0.0	4.3
	一人暮らし	201	50.7	36.8	26.4	22.9	6.0	5.5	4.0	2.0	2.0	2.5
	その他	431	75.4	49.2	28.1	33.9	10.7	10.0	9.5	3.2	1.2	4.2
性別	男	641	75.4	46.5	30.4	34.6	10.6	8.7	7.5	2.7	1.1	3.6
	女	874	74.8	49.8	30.3	34.1	6.8	12.0	9.5	3.8	1.6	7.2
	その他(どちらでもない、わからない)	13	61.5	30.8	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	53.2	48.1	26.0	23.4	5.2	7.8	10.4	2.6	2.6	2.6
	印を付けなかった方	1,475	75.8	48.1	30.4	34.7	8.5	10.6	8.4	3.3	1.3	5.7

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問15 住居周辺の知っている団体

		調査数	環境保全団体	社会福祉協議会	地域包括支援センター	障がい者団体	民生委員・児童委員	シルバー人材センター	動物愛護団体	青少年育成団体（子ども会含む）	緑化推進団体	P T A
全 体		1,552	1.1	15.8	22.9	6.1	17.2	30.2	3.3	3.5	2.8	25.5
居住地区	南千住	327	1.5	15.9	20.5	4.3	16.2	25.4	2.8	4.9	6.1	28.4
	荒川	239	1.7	19.2	23.8	6.7	16.3	28.9	4.2	4.6	2.5	21.8
	町屋	211	1.4	19.0	23.2	9.0	19.0	36.5	4.7	4.7	3.8	30.8
	東尾久	187	1.1	17.6	27.8	3.7	20.3	42.2	3.2	2.1	2.1	25.7
	西尾久	195	1.0	21.0	26.7	11.8	22.6	37.4	5.1	2.6	1.5	29.2
	東日暮里	204	0.5	7.8	21.1	2.9	13.7	17.6	1.5	3.9	1.0	18.6
	西日暮里	168	0.0	7.1	18.5	4.8	12.5	25.6	1.8	0.6	0.6	23.8
年代	18～29歳	157	0.6	3.8	5.7	3.8	1.9	10.8	0.6	3.2	0.6	19.7
	30～39歳	214	0.5	7.5	11.2	4.7	3.3	18.2	3.7	2.3	1.4	15.0
	40～49歳	272	1.8	15.4	15.4	5.9	19.1	33.5	2.9	4.0	2.9	39.7
	50～59歳	293	1.4	16.4	24.6	7.2	19.5	28.3	2.7	4.1	2.0	31.7
	60～69歳	225	0.9	23.6	36.9	9.3	26.2	34.2	5.3	6.7	5.3	27.1
	70～79歳	239	1.3	19.2	28.5	5.4	20.9	43.5	4.2	1.3	3.3	19.2
	80歳以上	141	0.7	21.3	38.3	5.0	26.2	36.9	2.8	2.8	4.3	15.6
同居世帯人数	1人	358	0.8	13.1	23.2	6.7	12.6	24.6	2.0	1.7	2.5	9.5
	2人	535	0.9	14.8	23.2	5.4	17.2	27.3	4.3	2.4	3.2	15.5
	3人	324	1.5	20.4	21.9	6.2	18.5	34.6	4.6	6.2	3.4	34.3
	4人	220	1.4	15.5	22.7	6.8	21.4	35.5	1.4	4.1	0.9	50.0
	5人	59	1.7	18.6	23.7	6.8	23.7	39.0	5.1	6.8	6.8	59.3
	6人以上	35	0.0	8.6	25.7	5.7	17.1	40.0	0.0	8.6	2.9	51.4
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	1.6	19.4	30.6	6.7	25.9	38.3	4.5	5.1	3.4	34.4
	持ち家（集合住宅）	463	1.3	16.8	24.6	6.0	16.4	32.0	3.2	3.0	2.6	28.5
	借家（一戸建て）	43	0.0	20.9	9.3	9.3	9.3	18.6	2.3	2.3	0.0	16.3
	借家（集合住宅）	465	0.4	10.1	14.6	5.2	9.7	20.4	1.9	2.8	2.6	15.3
	寮・社宅	27	0.0	7.4	11.1	3.7	0.0	22.2	3.7	0.0	3.7	14.8
	その他	29	3.4	27.6	37.9	13.8	27.6	41.4	3.4	0.0	3.4	20.7
ライフステージ	家族形成期	186	1.1	8.1	15.1	3.8	5.9	21.5	2.2	3.2	2.2	12.4
	家族成長前期	128	0.0	18.8	16.4	6.3	24.2	40.6	2.3	4.7	0.8	70.3
	家族成長後期	117	1.7	16.2	20.5	3.4	21.4	36.8	3.4	4.3	2.6	55.6
	家族成熟期	112	0.9	19.6	32.1	10.7	21.4	28.6	2.7	5.4	1.8	46.4
	高齢期	236	1.7	23.3	34.3	6.4	25.8	41.9	6.4	3.4	3.8	22.9
	高齢期（一人暮らし）	141	0.0	15.6	35.5	5.7	19.1	37.6	1.4	0.7	3.5	10.6
	一人暮らし	201	1.0	10.0	13.4	7.0	8.0	15.4	2.5	2.5	1.5	8.0
	その他	431	1.4	15.8	20.6	6.3	16.7	27.4	3.5	4.2	3.9	18.8
性別	男	641	1.4	14.2	17.0	5.0	12.3	23.4	2.3	3.7	1.4	20.4
	女	874	0.9	17.2	27.6	7.2	21.2	35.5	4.0	3.4	3.9	29.7
	その他（どちらでもない、わからない）	13	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	0.0	11.7	9.1	2.6	5.2	15.6	5.2	0.0	0.0	24.7
	印を付けなかった方	1,475	1.2	16.0	23.7	6.3	17.8	30.9	3.2	3.7	3.0	25.6

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問15 住居周辺の知っている団体

		調査数	その他の地域活動団体	知っている団体はない	無回答
全 体		1,552	0.8	12.8	1.9
居住地区	南千住	327	0.9	11.3	3.1
	荒川	239	0.4	15.1	1.7
	町屋	211	2.4	13.3	1.4
	東尾久	187	0.0	10.2	1.1
	西尾久	195	1.0	10.3	0.5
	東日暮里	204	0.5	13.7	2.5
	西日暮里	168	0.6	17.3	0.6
年代	18～29歳	157	0.6	26.1	1.3
	30～39歳	214	0.5	29.4	1.4
	40～49歳	272	1.5	10.3	0.7
	50～59歳	293	0.7	12.3	1.0
	60～69歳	225	0.4	3.6	0.9
	70～79歳	239	0.8	6.3	2.9
	80歳以上	141	1.4	4.3	5.0
同居世帯人数	1人	358	0.6	21.8	2.5
	2人	535	0.9	15.0	1.7
	3人	324	1.5	6.8	0.6
	4人	220	0.0	6.4	1.4
	5人	59	1.7	1.7	0.0
	6人以上	35	0.0	5.7	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	1.0	2.8	0.8
	持ち家(集合住宅)	463	1.1	9.9	1.3
	借家(一戸建て)	43	0.0	11.6	4.7
	借家(集合住宅)	465	0.6	26.7	2.4
	寮・社宅	27	0.0	18.5	0.0
	その他	29	0.0	6.9	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	1.1	25.3	1.1
	家族成長前期	128	0.8	3.9	0.0
	家族成長後期	117	0.9	6.8	0.0
	家族成熟期	112	0.9	9.8	0.9
	高齢期	236	1.3	3.0	1.3
	高齢期(一人暮らし)	141	0.0	8.5	3.5
	一人暮らし	201	1.0	31.8	2.0
	その他	431	0.7	10.2	3.2
性別	男	641	1.1	13.1	0.8
	女	874	0.7	12.1	2.3
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	30.8	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	0.0	20.8	2.6
	印を付けなかった方	1,475	0.9	12.3	1.8

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問16 興味または参加してみたい活動

		調査数	町会・自治会の活動	お祭りなどの地域の催し	交通安全や、防災・防犯に関する活動	趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	スポーツ・健康（ラジオ体操、こころばん体操等）に関する活動	読書や文化啓発に関する活動	環境美化・リサイクルに関する活動	高齢者・障がい者等の支援	動物愛護に関する活動	子育て支援
全 体		1,552	7.4	17.8	5.6	18.0	15.5	8.8	6.5	6.2	6.5	7.8
居住地区	南千住	327	8.0	16.2	4.9	18.3	20.8	8.9	7.3	4.0	4.9	10.7
	荒川	239	5.4	17.6	7.1	22.2	16.3	7.5	5.0	5.9	6.3	7.5
	町屋	211	6.2	14.7	6.2	14.7	10.4	10.4	7.1	5.2	7.6	6.6
	東尾久	187	9.1	21.4	5.3	17.6	14.4	5.3	7.0	7.5	7.5	8.0
	西尾久	195	10.8	16.9	6.7	22.6	13.3	10.8	6.2	9.7	7.2	7.2
	東日暮里	204	5.9	20.1	3.4	16.2	14.2	10.3	7.4	7.4	7.4	5.9
	西日暮里	168	6.5	19.0	6.0	15.5	17.3	8.9	4.8	5.4	6.0	6.5
年代	18～29歳	157	3.8	30.6	1.9	15.9	8.9	8.3	3.2	0.6	5.1	5.1
	30～39歳	214	7.5	28.5	6.5	18.7	12.6	14.5	8.9	2.8	8.9	18.2
	40～49歳	272	8.5	25.4	5.1	10.3	15.4	8.8	5.9	4.8	8.8	13.6
	50～59歳	293	4.8	12.3	5.8	18.4	13.0	7.2	7.8	8.5	8.2	6.5
	60～69歳	225	8.0	10.7	7.6	21.8	20.4	8.9	4.9	8.4	5.3	4.9
	70～79歳	239	10.0	10.0	5.0	25.1	18.8	8.4	6.7	7.1	3.3	2.1
	80歳以上	141	8.5	7.8	6.4	17.0	19.9	5.7	7.8	10.6	3.5	1.4
同居世帯人数	1人	358	4.7	15.4	5.3	21.8	14.8	11.5	6.7	7.3	4.5	2.0
	2人	535	6.5	13.6	4.9	18.5	17.0	8.2	6.9	6.7	7.3	3.6
	3人	324	10.5	24.4	6.8	15.4	14.8	9.0	5.9	4.6	7.7	14.5
	4人	220	9.1	20.9	7.7	15.5	15.0	6.8	5.9	5.5	5.9	13.6
	5人	59	6.8	18.6	1.7	18.6	18.6	10.2	8.5	8.5	5.1	13.6
	6人以上	35	5.7	22.9	2.9	17.1	8.6	5.7	8.6	5.7	11.4	28.6
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	9.5	16.2	5.5	14.8	16.8	4.5	6.7	7.7	6.1	6.1
	持ち家（集合住宅）	463	7.1	14.7	6.7	21.6	16.8	10.8	7.1	5.6	6.5	9.9
	借家（一戸建て）	43	4.7	20.9	4.7	9.3	7.0	9.3	2.3	0.0	16.3	4.7
	借家（集合住宅）	465	5.8	22.4	4.5	18.7	13.8	11.0	5.6	4.5	5.8	8.0
	寮・社宅	27	11.1	29.6	11.1	25.9	29.6	11.1	14.8	22.2	11.1	7.4
	その他	29	0.0	6.9	0.0	13.8	3.4	13.8	3.4	10.3	6.9	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	10.2	33.3	9.1	16.1	12.4	10.8	4.8	2.7	5.4	23.1
	家族成長前期	128	10.2	27.3	5.5	13.3	15.6	8.6	8.6	6.3	7.8	22.7
	家族成長後期	117	6.0	17.9	5.1	11.1	16.2	8.5	5.1	3.4	9.4	9.4
	家族成熟期	112	9.8	23.2	8.0	20.5	15.2	4.5	3.6	9.8	8.9	6.3
	高齢期	236	9.3	11.9	5.9	23.3	22.0	7.2	6.8	8.1	4.7	2.5
	高齢期（一人暮らし）	141	5.0	6.4	8.5	22.7	17.7	7.1	5.0	12.1	0.7	1.4
	一人暮らし	201	4.5	21.9	3.0	21.9	12.9	14.4	8.5	4.5	7.5	2.5
	その他	431	6.3	11.8	3.7	15.3	13.7	8.1	7.2	5.3	7.7	4.2
性別	男	641	8.9	18.3	5.8	15.8	12.8	8.1	5.1	5.6	4.7	6.1
	女	874	6.5	17.4	5.4	19.9	17.8	9.2	7.3	6.6	8.0	9.3
	その他（どちらでもない、わからない）	13	0.0	30.8	7.7	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	6.5	20.8	5.2	22.1	19.5	7.8	13.0	11.7	11.7	6.5
	印を付けなかった方	1,475	7.5	17.6	5.6	17.8	15.3	8.9	6.2	5.9	6.2	7.9

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問16 興味または参加してみたい活動

		調査数	緑化推進に関する活動	学校行事・教育に関する活動	その他	興味のある活動はまたは参加して	無回答
全 体		1,552	6.6	4.9	2.2	38.7	6.6
居住地区	南千住	327	8.0	4.9	2.1	34.3	7.6
	荒川	239	6.3	3.3	1.3	37.2	6.3
	町屋	211	5.7	5.2	1.9	48.8	5.7
	東尾久	187	7.5	5.9	2.1	41.7	5.9
	西尾久	195	7.2	8.2	2.6	30.3	6.7
	東日暮里	204	5.9	3.4	2.5	41.7	5.9
	西日暮里	168	4.2	3.6	2.4	40.5	5.4
年代	18～29歳	157	3.8	5.7	1.9	46.5	5.1
	30～39歳	214	8.9	9.3	0.9	39.7	0.5
	40～49歳	272	5.1	10.3	1.1	41.2	1.5
	50～59歳	293	7.2	3.4	2.7	46.1	2.0
	60～69歳	225	10.2	2.2	2.2	36.9	4.9
	70～79歳	239	3.8	1.3	2.1	33.5	14.2
	80歳以上	141	6.4	0.7	5.0	21.3	24.8
同居世帯人数	1人	358	5.3	3.4	2.5	45.0	6.4
	2人	535	8.4	1.5	2.1	37.2	9.2
	3人	324	5.9	7.4	1.9	35.8	5.2
	4人	220	5.0	9.1	2.3	38.6	1.4
	5人	59	8.5	10.2	3.4	37.3	1.7
	6人以上	35	5.7	17.1	0.0	37.1	2.9
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	8.1	5.3	1.2	37.0	7.9
	持ち家(集合住宅)	463	5.6	5.2	1.9	37.8	5.2
	借家(一戸建て)	43	2.3	2.3	4.7	39.5	14.0
	借家(集合住宅)	465	6.5	4.1	2.4	41.5	5.2
	寮・社宅	27	7.4	11.1	7.4	25.9	3.7
	その他	29	0.0	3.4	13.8	48.3	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	5.9	9.7	0.5	38.2	0.5
	家族成長前期	128	3.1	19.5	1.6	32.8	0.8
	家族成長後期	117	9.4	6.8	1.7	44.4	0.0
	家族成熟期	112	1.8	2.7	1.8	38.4	3.6
	高齢期	236	9.7	0.8	1.7	29.7	11.0
	高齢期(一人暮らし)	141	2.1	0.7	0.7	41.1	11.3
	一人暮らし	201	7.5	5.5	3.5	47.8	3.0
	その他	431	7.7	1.9	3.5	39.0	11.4
性別	男	641	5.1	6.6	1.7	46.0	5.1
	女	874	7.7	3.9	2.6	33.3	7.1
	その他(どちらでもない、わからない)	13	7.7	0.0	0.0	46.2	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	3.9	9.1	7.8	31.2	2.6
	印を付けなかった方	1,475	6.7	4.7	1.9	39.1	6.8

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問17 興味または参加してみたい団体

		調査数	町会・自治会	地域活動を行う商店街	地域活動を行う公衆浴場	消防団	防犯協会	趣味・娯楽・自己啓発等のサークル団体	高年者クラブ	青年会議所	女性団体	コミュニティカレッジ
全 体		1,552	5.5	4.5	3.1	1.6	2.4	14.9	2.1	0.6	1.8	4.7
居住地区	南千住	327	6.4	3.7	4.0	1.2	2.1	13.5	1.2	0.6	1.8	3.4
	荒川	239	3.3	3.8	2.9	1.7	0.8	16.7	2.5	0.4	2.9	4.2
	町屋	211	6.2	4.7	2.4	1.9	3.8	12.3	1.9	1.4	1.4	6.6
	東尾久	187	6.4	6.4	2.1	0.5	2.1	16.0	1.6	0.0	1.1	4.3
	西尾久	195	8.7	3.6	2.1	2.1	1.5	19.0	4.1	0.5	1.0	6.7
	東日暮里	204	3.9	4.9	3.4	2.9	3.9	14.2	2.9	0.5	1.5	3.9
	西日暮里	168	3.0	4.8	4.8	1.2	3.0	14.9	0.6	0.6	2.4	4.8
年代	18～29歳	157	3.8	7.0	4.5	1.9	1.3	11.5	0.0	1.3	3.2	3.2
	30～39歳	214	5.6	8.9	6.1	1.4	2.3	13.1	0.0	1.9	2.3	1.9
	40～49歳	272	7.0	6.3	4.4	2.2	4.4	12.5	0.7	0.7	1.5	5.1
	50～59歳	293	4.4	3.8	3.4	2.7	2.4	15.0	1.0	0.7	1.7	6.1
	60～69歳	225	4.9	2.7	1.8	0.9	1.8	20.4	1.3	0.0	1.3	7.1
	70～79歳	239	5.9	1.7	0.4	0.8	1.3	15.1	5.9	0.0	2.1	5.0
	80歳以上	141	6.4	1.4	0.7	0.7	2.8	18.4	7.1	0.0	0.7	2.8
同居世帯人数	1人	358	3.1	3.9	3.6	1.1	2.0	14.2	3.1	0.8	2.8	5.0
	2人	535	5.2	4.3	2.1	1.3	1.5	13.8	2.1	0.2	1.3	3.9
	3人	324	8.0	5.9	4.0	1.5	4.0	17.3	1.9	1.2	2.8	7.1
	4人	220	6.4	5.5	3.6	3.6	3.2	14.1	1.4	0.9	0.5	3.2
	5人	59	5.1	1.7	1.7	1.7	1.7	23.7	0.0	0.0	1.7	6.8
	6人以上	35	5.7	2.9	5.7	0.0	2.9	11.4	2.9	0.0	0.0	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	6.9	3.2	2.8	1.4	2.6	16.6	2.8	0.2	1.4	3.0
	持ち家(集合住宅)	463	6.0	4.3	2.2	1.3	2.6	16.2	1.3	0.9	1.5	5.8
	借家(一戸建て)	43	4.7	2.3	0.0	2.3	0.0	4.7	2.3	0.0	2.3	4.7
	借家(集合住宅)	465	3.9	6.2	4.9	1.9	1.9	14.0	1.5	0.4	1.9	5.2
	寮・社宅	27	3.7	3.7	0.0	0.0	7.4	11.1	3.7	3.7	3.7	0.0
	その他	29	3.4	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9	3.4	0.0	3.4	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	7.5	9.7	6.5	2.2	4.8	11.8	0.5	1.6	2.2	3.2
	家族成長前期	128	9.4	8.6	3.1	0.0	1.6	10.9	0.8	0.0	0.0	6.3
	家族成長後期	117	3.4	5.1	5.1	3.4	1.7	17.1	0.9	0.0	1.7	4.3
	家族成熟期	112	4.5	3.6	0.9	3.6	4.5	17.9	0.9	0.0	0.9	4.5
	高齢期	236	6.4	0.8	0.8	1.3	1.7	18.6	4.7	0.0	1.7	4.7
	高齢期(一人暮らし)	141	2.8	0.7	0.7	0.0	2.1	14.9	7.8	0.0	2.8	4.3
	一人暮らし	201	3.0	6.0	5.5	1.5	1.5	13.4	0.0	1.5	3.0	6.0
	その他	431	6.0	3.7	2.6	1.6	2.1	14.8	1.4	0.9	1.6	4.6
性別	男	641	7.6	4.5	3.0	2.5	3.7	13.6	1.6	0.8	0.2	3.3
	女	874	4.2	4.3	3.3	1.0	1.5	16.0	2.3	0.5	3.0	5.7
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	6.5	9.1	2.6	3.9	5.2	15.6	2.6	1.3	5.2	7.8
	印を付けなかった方	1,475	5.5	4.3	3.1	1.5	2.2	14.9	2.0	0.6	1.6	4.5

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問17 興味または参加してみたい団体

		調査数	環境保全団体	社会福祉協議会	地域包括支援センター	障がい者団体	民生委員・児童委員	シルバー人材センター	動物愛護団体	青少年育成団体（子ども会含む）	緑化推進団体	P T A
全 体		1,552	2.3	2.3	3.1	2.2	1.4	4.7	6.1	1.4	4.4	1.2
居住地区	南千住	327	2.4	1.5	3.4	2.4	2.4	2.4	6.7	1.2	4.3	1.2
	荒川	239	1.7	0.8	4.2	1.7	0.4	4.6	3.8	0.4	3.3	0.4
	町屋	211	2.8	4.7	3.8	2.8	0.9	7.6	7.1	1.9	4.7	0.9
	東尾久	187	2.7	1.6	2.7	1.1	0.5	5.9	5.9	1.1	4.3	2.7
	西尾久	195	2.6	4.1	3.6	3.6	2.1	5.6	5.6	1.0	5.6	2.6
	東日暮里	204	2.0	2.5	2.5	1.0	2.5	3.9	7.4	2.9	5.4	0.5
	西日暮里	168	1.2	1.8	0.6	2.4	0.0	4.2	6.5	1.8	3.6	0.6
年代	18～29歳	157	0.0	0.6	0.6	2.5	0.0	0.0	5.7	0.0	1.3	1.3
	30～39歳	214	2.3	1.4	2.8	0.9	0.5	0.9	7.9	3.3	4.7	1.4
	40～49歳	272	1.8	2.9	3.3	2.6	2.2	1.5	7.7	2.2	5.5	4.4
	50～59歳	293	3.8	3.1	2.4	4.1	1.0	2.7	8.2	2.4	5.5	0.7
	60～69歳	225	1.8	2.7	3.6	1.8	3.1	10.7	6.7	0.9	5.3	0.0
	70～79歳	239	3.8	1.7	3.8	1.7	1.3	11.7	2.9	0.0	2.9	0.0
	80歳以上	141	0.7	3.5	5.0	0.0	0.7	4.3	0.7	0.0	5.0	0.0
同居世帯人数	1人	358	1.7	1.1	3.6	3.1	0.3	4.5	4.7	0.3	3.4	0.6
	2人	535	2.8	2.4	3.0	1.7	1.1	6.4	7.1	0.6	4.9	0.0
	3人	324	2.8	3.7	3.4	2.2	2.5	3.7	5.6	3.1	4.6	2.5
	4人	220	1.8	2.3	2.7	2.3	1.8	2.7	5.9	1.8	4.1	2.7
	5人	59	1.7	1.7	1.7	0.0	3.4	6.8	8.5	5.1	8.5	1.7
	6人以上	35	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	5.7	2.9	5.7	5.7
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	2.4	2.0	3.0	2.2	1.6	4.2	4.9	1.4	4.5	0.8
	持ち家（集合住宅）	463	2.4	3.0	3.7	2.2	1.7	5.8	7.3	1.7	5.4	1.7
	借家（一戸建て）	43	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	11.6	0.0	2.3	0.0
	借家（集合住宅）	465	1.7	1.9	2.4	1.7	0.9	4.1	5.8	1.3	3.4	1.3
	寮・社宅	27	3.7	3.7	3.7	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0	3.7
	その他	29	3.4	3.4	6.9	6.9	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	2.2	1.6	2.7	0.5	1.6	1.6	5.4	3.8	2.2	2.2
	家族成長前期	128	3.1	3.1	3.1	3.9	1.6	1.6	7.0	3.9	3.9	7.0
	家族成長後期	117	0.0	4.3	3.4	1.7	1.7	3.4	8.5	2.6	6.0	1.7
	家族成熟期	112	0.9	0.9	1.8	2.7	1.8	2.7	7.1	0.9	1.8	0.9
	高齢期	236	3.4	3.8	3.4	0.8	3.0	11.0	4.2	0.4	5.1	0.0
	高齢期（一人暮らし）	141	1.4	1.4	5.7	0.7	0.7	7.1	0.0	0.0	1.4	0.0
	一人暮らし	201	1.5	0.5	2.0	4.5	0.0	2.5	7.5	0.5	4.5	1.0
	その他	431	3.0	2.6	3.0	2.6	0.9	4.6	7.4	0.9	6.5	0.2
性別	男	641	2.2	2.5	2.0	2.7	1.4	4.8	3.9	1.7	3.1	1.4
	女	874	2.4	2.3	3.8	1.9	1.3	4.5	7.7	1.3	5.1	1.1
	その他（どちらでもない、わからない）	13	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	2.6	2.6	3.9	2.6	0.0	7.8	6.5	1.3	0.0	0.0
	印を付けなかった方	1,475	2.2	2.3	3.1	2.2	1.4	4.5	6.0	1.4	4.7	1.3

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問17 興味または参加してみたい団体

		調査数	その他の地域活動団体	興味のある団体はまたは参加してみたい	無回答
全 体		1,552	0.8	51.7	9.3
居住地区	南千住	327	0.9	53.5	11.0
	荒川	239	0.4	52.7	8.8
	町屋	211	0.9	57.8	6.6
	東尾久	187	0.5	51.3	10.2
	西尾久	195	2.1	41.0	11.8
	東日暮里	204	0.0	52.5	8.3
	西日暮里	168	0.0	53.6	4.8
年代	18～29歳	157	1.9	66.2	1.9
	30～39歳	214	0.5	57.5	4.2
	40～49歳	272	0.4	58.8	4.4
	50～59歳	293	1.0	58.7	2.7
	60～69歳	225	0.4	46.7	6.7
	70～79歳	239	1.3	40.6	19.2
	80歳以上	141	0.0	27.7	33.3
同居世帯人数	1人	358	1.1	53.1	9.5
	2人	535	0.6	50.5	12.0
	3人	324	1.2	50.6	6.2
	4人	220	0.5	56.8	4.5
	5人	59	0.0	54.2	3.4
	6人以上	35	0.0	48.6	11.4
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	0.4	48.0	11.3
	持ち家(集合住宅)	463	0.2	51.4	8.0
	借家(一戸建て)	43	2.3	46.5	20.9
	借家(集合住宅)	465	1.1	56.6	6.5
	寮・社宅	27	3.7	55.6	7.4
	その他	29	6.9	62.1	10.3
ライフステージ	家族形成期	186	0.5	59.7	3.8
	家族成長前期	128	0.8	50.0	5.5
	家族成長後期	117	0.0	61.5	0.9
	家族成熟期	112	0.9	57.1	6.3
	高齢期	236	0.4	40.7	12.3
	高齢期(一人暮らし)	141	0.0	44.0	18.4
	一人暮らし	201	1.5	60.7	2.5
	その他	431	1.2	49.2	14.6
性別	男	641	0.8	56.9	6.9
	女	874	0.8	47.9	10.9
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	76.9	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	1.3	50.6	5.2
	印を付けなかった方	1,475	0.7	51.8	9.6

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問18 地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと

		調査数	活動内容に関する積極的な活動（町会、NPO、信託など）が信頼でき、活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること	活動内容に魅力があること
全 体		1,552	13.8	7.8	11.0	22.3	5.0	9.5	16.9	2.8	10.9
居住地区	南千住	327	17.4	7.6	12.8	20.5	4.3	7.0	14.1	2.1	14.1
	荒川	239	10.9	7.1	9.6	28.0	6.3	13.0	13.8	1.7	9.6
	町屋	211	11.8	7.1	12.3	19.9	7.6	8.1	17.1	5.2	10.9
	東尾久	187	11.8	6.4	10.7	17.1	5.9	12.8	21.4	3.7	10.2
	西尾久	195	10.3	7.7	10.3	27.2	4.1	8.7	19.5	2.6	9.7
	東日暮里	204	15.7	10.8	11.8	20.1	4.9	7.4	16.7	2.5	10.3
	西日暮里	168	17.9	7.1	8.9	25.0	2.4	10.1	19.6	1.8	7.1
年代	18～29歳	157	22.9	5.7	10.8	25.5	7.6	5.7	16.6	0.6	4.5
	30～39歳	214	14.5	6.5	16.4	21.5	6.5	8.4	18.7	3.3	4.2
	40～49歳	272	10.3	7.4	13.2	25.7	8.5	8.8	16.5	3.3	6.3
	50～59歳	293	11.9	8.9	10.2	19.1	3.1	10.2	24.9	3.1	8.5
	60～69歳	225	11.1	10.7	10.2	23.6	3.1	11.6	19.6	2.7	7.6
	70～79歳	239	15.1	6.7	8.8	21.3	3.3	13.0	11.3	2.5	18.0
	80歳以上	141	16.3	7.1	5.7	21.3	3.5	5.7	5.0	2.8	32.6
同居世帯人数	1人	358	13.7	8.9	8.4	22.9	5.0	8.9	17.0	3.6	11.5
	2人	535	14.6	7.5	11.4	20.6	3.6	11.4	14.6	2.8	13.6
	3人	324	12.7	8.6	11.4	21.9	6.5	8.0	20.7	1.5	8.6
	4人	220	14.5	5.9	13.6	25.0	5.9	9.1	18.6	0.9	6.4
	5人	59	10.2	6.8	10.2	28.8	6.8	10.2	16.9	5.1	5.1
	6人以上	35	17.1	0.0	17.1	31.4	5.7	2.9	14.3	5.7	5.7
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	12.1	8.5	11.7	22.5	4.9	10.5	16.6	1.8	11.5
	持ち家（集合住宅）	463	13.8	8.2	10.4	23.3	4.3	8.4	19.0	2.6	9.9
	借家（一戸建て）	43	18.6	4.7	16.3	14.0	2.3	9.3	14.0	4.7	16.3
	借家（集合住宅）	465	15.9	6.7	11.6	21.5	5.8	8.6	16.6	3.4	9.9
	寮・社宅	27	14.8	7.4	3.7	44.4	3.7	7.4	11.1	3.7	3.7
	その他	29	6.9	13.8	6.9	10.3	10.3	13.8	13.8	10.3	13.8
ライフステージ	家族形成期	186	21.0	8.1	13.4	19.9	5.4	3.8	21.0	3.2	4.3
	家族成長前期	128	9.4	3.1	17.2	25.0	9.4	8.6	23.4	0.8	3.1
	家族成長後期	117	13.7	7.7	16.2	26.5	3.4	7.7	17.1	1.7	6.0
	家族成熟期	112	10.7	8.0	12.5	25.9	5.4	8.0	18.8	3.6	7.1
	高齢期	236	15.7	5.9	9.3	23.7	2.5	11.9	13.1	1.3	16.5
	高齢期（一人暮らし）	141	15.6	6.4	9.2	22.7	2.8	9.2	13.5	2.8	17.7
	一人暮らし	201	13.4	10.4	8.0	22.4	6.5	9.5	19.4	4.0	6.5
	その他	431	11.4	9.3	9.3	19.5	5.3	11.8	14.6	3.7	15.1
性別	男	641	14.7	6.9	12.3	20.3	5.6	9.5	19.7	2.7	8.4
	女	874	13.5	8.1	10.2	24.3	4.6	9.3	15.1	2.9	12.1
	その他（どちらでもない、わからない）	13	15.4	30.8	15.4	0.0	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	19.5	2.6	18.2	20.8	5.2	9.1	11.7	5.2	7.8
	印を付けなかった方	1,475	13.5	8.1	10.6	22.4	5.0	9.5	17.2	2.7	11.1

（調査数は件数、それ以外の数字は％）

問19 地域の団体が取り組むべき課題

		調査数	策 防 災 ・ 防 犯 ・ 交 通 安 全 の 対	環 境 美 化 や 生 活 環 境 の 整 備	ち 高 齢 者 等 が 暮 ら し や す い ま	子 育 て し や す い ま ち づ くり	会 子 ども ・ 若 者 を 取 り 巻 く 社	づ 地 域 の 人 と 人 と の つ な が り	手 地 域 の 将 来 的 な 課 題 (担 い	多 文 化 共 生 や 支 援	に 地 域 で 活 動 す る 団 体 の 取 組	そ の 他	無 回 答
	全 体	1,552	58.6	30.4	34.4	34.3	20.9	27.1	24.2	10.5	5.3	2.6	3.5
居 住 地 区	南千住	327	57.2	30.9	34.3	38.2	23.5	29.7	22.6	9.5	6.1	1.5	4.9
	荒川	239	56.9	27.6	37.7	34.7	20.9	26.4	27.6	13.0	4.6	2.1	2.9
	町屋	211	63.0	29.9	34.6	28.9	19.4	24.2	24.2	9.0	4.3	5.2	4.7
	東尾久	187	56.1	29.9	40.1	40.6	23.0	29.9	33.7	11.2	3.2	3.2	2.7
	西尾久	195	60.0	36.4	37.9	33.8	21.0	30.8	19.0	6.2	7.2	1.5	2.1
	東日暮里	204	57.4	31.4	31.4	31.4	18.1	25.5	18.1	13.2	5.4	1.5	2.9
	西日暮里	168	60.7	28.0	24.4	32.7	20.2	22.0	26.2	12.5	5.4	3.6	1.2
年 代	18～29歳	157	44.6	29.3	10.8	39.5	34.4	22.9	23.6	11.5	4.5	3.2	3.8
	30～39歳	214	57.5	28.5	11.2	55.6	29.4	23.4	22.4	12.1	5.1	3.7	0.9
	40～49歳	272	57.7	27.6	18.8	43.8	28.7	29.0	26.1	9.6	5.1	2.9	1.8
	50～59歳	293	60.1	36.2	37.9	27.0	16.7	28.3	25.3	10.6	7.2	2.7	2.7
	60～69歳	225	69.3	35.1	50.2	30.7	16.0	25.3	27.1	15.1	6.2	1.8	1.3
	70～79歳	239	62.8	27.6	57.3	25.9	11.7	28.9	25.5	9.6	3.8	0.8	4.6
	80歳以上	141	51.1	26.2	55.3	15.6	11.3	31.2	17.0	3.5	3.5	2.8	11.3
同 居 世 帯 人 数	1人	358	55.0	30.2	37.4	22.1	17.0	24.3	21.2	9.2	6.4	3.4	2.5
	2人	535	61.3	33.5	37.4	29.2	15.0	25.6	23.4	11.4	5.6	1.7	4.9
	3人	324	60.8	27.2	30.9	43.8	25.6	29.0	27.2	11.7	4.3	3.4	3.1
	4人	220	58.6	31.4	29.1	50.5	31.4	30.9	28.2	10.5	3.2	1.4	0.0
	5人	59	55.9	20.3	32.2	39.0	28.8	35.6	33.9	11.9	5.1	6.8	3.4
	6人以上	35	51.4	28.6	28.6	60.0	40.0	31.4	11.4	2.9	11.4	0.0	0.0
居 住 形 態	持ち家(一戸建て)	506	60.7	29.4	39.3	32.0	19.8	29.2	26.7	9.5	6.1	2.8	3.2
	持ち家(集合住宅)	463	62.9	33.0	37.1	38.2	22.5	29.6	28.3	11.4	3.9	1.1	2.8
	借家(一戸建て)	43	55.8	37.2	25.6	25.6	18.6	30.2	11.6	14.0	7.0	0.0	7.0
	借家(集合住宅)	465	53.3	29.0	26.7	34.4	21.3	23.9	18.9	10.1	6.0	3.9	3.7
	寮・社宅	27	33.3	14.8	25.9	40.7	18.5	14.8	18.5	14.8	3.7	3.7	0.0
	その他	29	72.4	34.5	55.2	27.6	24.1	20.7	31.0	10.3	0.0	3.4	3.4
ラ イ フ ス テ ー ジ	家族形成期	186	54.8	32.3	10.2	66.1	30.1	26.3	22.6	14.0	3.8	3.2	0.5
	家族成長前期	128	63.3	26.6	22.7	60.2	36.7	36.7	28.9	7.8	0.8	1.6	0.8
	家族成長後期	117	56.4	30.8	21.4	36.8	29.1	25.6	23.9	9.4	2.6	3.4	0.9
	家族成熟期	112	57.1	26.8	36.6	39.3	21.4	28.6	25.9	12.5	10.7	1.8	2.7
	高齢期	236	62.7	31.8	54.7	29.7	13.6	31.4	27.1	12.7	4.2	0.8	3.8
	高齢期(一人暮らし)	141	56.0	26.2	57.4	19.9	11.3	24.8	24.1	5.7	7.8	2.1	2.1
	一人暮らし	201	54.2	33.3	20.9	24.9	20.9	24.4	18.9	10.4	5.5	4.5	3.0
	その他	431	60.3	30.9	39.0	22.7	16.9	24.4	24.1	10.0	6.3	2.8	7.2
性 別	男	641	57.1	30.7	34.8	33.9	22.5	25.4	21.4	8.9	6.7	3.1	2.8
	女	874	59.8	30.1	34.3	35.2	19.9	28.6	26.4	11.7	4.0	2.2	3.7
	その他(どちらでもない、わからない)	13	69.2	46.2	23.1	38.5	23.1	30.8	38.5	23.1	7.7	0.0	0.0
国 籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	45.5	24.7	20.8	29.9	14.3	20.8	13.0	35.1	3.9	3.9	3.9
	印を付けなかった方	1,475	59.3	30.7	35.1	34.6	21.2	27.5	24.8	9.2	5.4	2.5	3.5

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問20 地域の人々とのつながりの必要性

		調査数	ある方が 良い	良 ど い ち ら か と 言 え ば あ る 方 が	良 ど い ち ら か と 言 え ば な い 方 が	な い 方 が 良 い	無 回 答
全 体		1,552	35.0	48.7	10.7	3.2	2.4
居住地区	南千住	327	31.8	50.5	11.9	3.1	2.8
	荒川	239	35.1	49.4	10.9	1.7	2.9
	町屋	211	35.1	47.9	11.8	3.8	1.4
	東尾久	187	36.4	51.9	8.0	2.7	1.1
	西尾久	195	42.6	43.6	9.7	2.1	2.1
	東日暮里	204	33.3	48.5	9.8	5.4	2.9
	西日暮里	168	33.3	48.8	12.5	4.2	1.2
年代	18～29歳	157	26.1	53.5	13.4	3.8	3.2
	30～39歳	214	27.1	51.4	15.4	5.6	0.5
	40～49歳	272	30.1	52.9	12.5	4.0	0.4
	50～59歳	293	33.8	48.8	11.9	4.1	1.4
	60～69歳	225	40.0	48.4	9.8	1.3	0.4
	70～79歳	239	41.0	47.3	7.1	0.8	3.8
	80歳以上	141	51.1	34.8	2.8	2.1	9.2
同居世帯人数	1人	358	29.1	48.3	15.4	4.7	2.5
	2人	535	35.9	48.4	9.3	3.6	2.8
	3人	324	38.6	47.5	10.5	1.5	1.9
	4人	220	37.3	52.3	8.2	1.8	0.5
	5人	59	39.0	50.8	6.8	1.7	1.7
	6人以上	35	37.1	45.7	8.6	8.6	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	45.3	45.5	6.5	1.4	1.4
	持ち家(集合住宅)	463	32.6	52.3	10.4	2.4	2.4
	借家(一戸建て)	43	41.9	37.2	7.0	9.3	4.7
	借家(集合住宅)	465	26.2	51.0	15.1	5.4	2.4
	寮・社宅	27	37.0	44.4	18.5	0.0	0.0
	その他	29	27.6	48.3	17.2	6.9	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	29.6	55.4	10.2	4.8	0.0
	家族成長前期	128	37.5	49.2	12.5	0.8	0.0
	家族成長後期	117	35.9	53.8	6.0	2.6	1.7
	家族成熟期	112	38.4	45.5	11.6	3.6	0.9
	高齢期	236	47.0	44.9	4.2	1.3	2.5
	高齢期(一人暮らし)	141	34.8	50.4	9.9	1.4	3.5
	一人暮らし	201	24.9	47.3	19.4	7.0	1.5
	その他	431	33.6	47.3	11.1	3.2	4.6
性別	男	641	35.3	48.2	10.9	3.7	1.9
	女	874	35.1	49.3	10.8	2.6	2.2
	その他(どちらでもない、わからない)	13	23.1	61.5	7.7	7.7	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	42.9	44.2	3.9	5.2	3.9
	印を付けなかった方	1,475	34.6	48.9	11.1	3.1	2.3

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問20-1 つながりがある方が良いと思う理由

		調査数	コミュニティからは日常シヨンが必要のだから	人々との安心感	身近な人々との安心感	隣近所の人々との安心感	いざというときに頼りにすること	利益があるから	日常の仕事や生活にとって	地域の情報や他人の考え方がわかるから	自分の成長につながるから	地域の人々以外のつながりがないから	その他	無回答
全 体		1,299	54.5	69.3	53.4	8.2	22.8	10.3	4.2	1.7	0.5			
居住地区	南千住	269	55.8	68.0	62.1	8.6	23.8	9.3	4.5	1.5	0.0			
	荒川	202	50.5	71.3	47.5	8.9	25.2	13.4	4.5	2.0	1.0			
	町屋	175	60.6	68.0	51.4	8.0	18.9	10.3	2.9	4.0	0.0			
	東尾久	165	55.8	67.9	52.1	8.5	22.4	7.9	5.5	1.2	0.0			
	西尾久	168	54.2	75.6	48.2	4.2	28.0	13.1	3.6	1.8	0.0			
	東日暮里	167	56.3	67.7	55.1	9.6	21.0	7.8	5.4	0.0	0.6			
	西日暮里	138	50.0	67.4	53.6	8.7	19.6	11.6	2.9	0.7	1.4			
年代	18～29歳	125	44.0	50.4	63.2	13.6	20.0	16.0	3.2	0.8	0.0			
	30～39歳	168	41.7	59.5	58.3	13.1	25.6	11.3	1.8	2.4	0.6			
	40～49歳	226	46.0	74.8	56.2	9.3	15.5	8.8	2.7	2.7	0.4			
	50～59歳	242	58.3	69.0	52.5	7.9	21.5	9.9	6.2	2.1	0.0			
	60～69歳	199	61.8	72.9	47.2	5.0	19.1	9.0	3.0	1.0	1.0			
	70～79歳	211	64.5	78.7	46.4	5.7	29.9	8.5	5.7	0.9	0.0			
	80歳以上	121	62.8	71.9	56.2	4.1	33.1	12.4	6.6	0.8	0.8			
同居世帯人数	1人	277	56.0	62.8	49.8	9.4	24.2	10.5	6.9	1.4	1.1			
	2人	451	56.8	69.0	50.3	5.3	22.0	7.5	4.4	1.6	0.2			
	3人	279	52.7	73.1	55.6	10.0	22.2	11.5	4.3	2.5	0.0			
	4人	197	53.3	71.6	58.4	10.7	24.4	14.2	1.0	1.0	0.5			
	5人	53	49.1	73.6	58.5	7.5	24.5	15.1	1.9	1.9	0.0			
	6人以上	29	51.7	82.8	79.3	10.3	20.7	6.9	0.0	0.0	0.0			
居住形態	持ち家(一戸建て)	459	56.4	79.3	53.4	6.1	22.9	9.4	3.3	1.5	0.7			
	持ち家(集合住宅)	393	57.3	69.2	53.9	8.1	25.2	10.4	3.3	1.5	0.0			
	借家(一戸建て)	34	47.1	85.3	47.1	5.9	20.6	11.8	8.8	5.9	2.9			
	借家(集合住宅)	359	49.0	55.2	56.0	10.9	21.2	10.3	5.8	1.1	0.8			
	寮・社宅	22	45.5	72.7	31.8	18.2	18.2	22.7	4.5	4.5	0.0			
	その他	22	72.7	63.6	36.4	0.0	13.6	9.1	4.5	9.1	0.0			
ライフステージ	家族形成期	158	43.0	60.1	58.2	10.1	24.1	9.5	3.8	3.8	0.0			
	家族成長前期	111	50.5	73.0	65.8	11.7	21.6	11.7	1.8	2.7	0.9			
	家族成長後期	105	51.4	80.0	51.4	12.4	14.3	13.3	2.9	0.0	0.0			
	家族成熟期	94	62.8	67.0	53.2	5.3	20.2	9.6	3.2	3.2	0.0			
	高齢期	217	66.4	78.8	51.6	6.5	27.2	7.4	3.2	0.5	0.5			
	高齢期(一人暮らし)	120	65.0	71.7	40.0	5.8	31.7	9.2	6.7	0.8	1.7			
	一人暮らし	145	47.6	57.9	57.9	13.1	17.9	12.4	5.5	1.4	0.7			
	その他	349	51.6	67.6	51.9	5.4	22.1	10.9	4.9	1.7	0.6			
性別	男	535	52.9	65.0	52.0	10.5	23.2	10.8	5.2	1.7	0.7			
	女	738	55.7	72.4	54.3	6.2	22.8	9.9	3.4	1.8	0.4			
	その他(どちらでもない、わからない)	11	45.5	63.6	63.6	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0			
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	67	58.2	62.7	32.8	11.9	20.9	16.4	1.5	1.5	1.5			
	印を付けなかった方	1,232	54.3	69.6	54.5	8.0	22.9	10.0	4.3	1.7	0.5			

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問20-2 つながりがない方が良いと思う理由

		調査数	日常的なシヨンの会話が負担の大きいから	よく知らない人々につきあ	人づきあいが苦手だから	他人に頼られたくないから	地域の行事や活動への参加を求められるから	他のやりたくないことをやる時間	他のやりなげればならないことをやる時間	地域の人々以外とのつながり	その他	無回答
全 体		216	32.4	40.3	39.8	12.5	26.9	16.7	22.2	14.8	6.0	0.9
居住地区	南千住	49	26.5	38.8	38.8	10.2	22.4	16.3	24.5	16.3	4.1	2.0
	荒川	30	30.0	23.3	40.0	13.3	30.0	0.0	13.3	10.0	6.7	0.0
	町屋	33	51.5	39.4	57.6	24.2	33.3	30.3	36.4	9.1	9.1	0.0
	東尾久	20	30.0	60.0	25.0	5.0	25.0	15.0	5.0	15.0	0.0	0.0
	西尾久	23	26.1	30.4	52.2	17.4	17.4	8.7	13.0	8.7	4.3	0.0
	東日暮里	31	45.2	45.2	38.7	9.7	35.5	22.6	29.0	25.8	3.2	3.2
	西日暮里	28	17.9	46.4	17.9	3.6	25.0	21.4	25.0	17.9	14.3	0.0
年代	18～29歳	27	22.2	25.9	18.5	11.1	22.2	29.6	22.2	18.5	7.4	0.0
	30～39歳	45	33.3	48.9	46.7	15.6	28.9	20.0	26.7	13.3	13.3	0.0
	40～49歳	45	48.9	44.4	37.8	17.8	42.2	31.1	24.4	15.6	2.2	0.0
	50～59歳	47	27.7	44.7	42.6	4.3	21.3	10.6	25.5	14.9	6.4	0.0
	60～69歳	25	24.0	32.0	44.0	20.0	20.0	0.0	16.0	12.0	0.0	0.0
	70～79歳	19	31.6	36.8	42.1	5.3	21.1	0.0	15.8	21.1	5.3	5.3
	80歳以上	7	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
同居世帯人数	1人	72	31.9	43.1	40.3	11.1	22.2	13.9	16.7	22.2	6.9	1.4
	2人	69	26.1	37.7	34.8	8.7	31.9	23.2	21.7	17.4	7.2	1.4
	3人	39	48.7	43.6	56.4	17.9	23.1	10.3	25.6	0.0	5.1	0.0
	4人	22	36.4	40.9	31.8	18.2	40.9	18.2	36.4	9.1	0.0	0.0
	5人	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	6人以上	6	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	40	42.5	40.0	52.5	10.0	30.0	12.5	20.0	7.5	2.5	0.0
	持ち家(集合住宅)	59	25.4	44.1	33.9	13.6	25.4	20.3	25.4	23.7	3.4	0.0
	借家(一戸建て)	7	42.9	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
	借家(集合住宅)	95	33.7	38.9	38.9	14.7	28.4	17.9	23.2	14.7	10.5	1.1
	寮・社宅	5	20.0	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	7	14.3	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
ライフステージ	家族形成期	28	21.4	42.9	32.1	10.7	25.0	21.4	25.0	14.3	14.3	0.0
	家族成長前期	17	41.2	35.3	29.4	17.6	47.1	23.5	29.4	0.0	0.0	0.0
	家族成長後期	10	20.0	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0
	家族成熟期	17	47.1	35.3	58.8	11.8	23.5	5.9	11.8	17.6	0.0	0.0
	高齢期	13	15.4	23.1	46.2	0.0	23.1	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7
	高齢期(一人暮らし)	16	25.0	37.5	43.8	6.3	12.5	0.0	0.0	31.3	6.3	0.0
	一人暮らし	53	34.0	45.3	39.6	9.4	26.4	18.9	22.6	20.8	7.5	0.0
	その他	62	37.1	43.5	43.5	17.7	27.4	22.6	25.8	11.3	6.5	1.6
性別	男	94	34.0	31.9	39.4	16.0	25.5	11.7	25.5	13.8	8.5	1.1
	女	117	32.5	47.9	41.0	9.4	29.1	20.5	19.7	13.7	4.3	0.9
	その他(どちらでもない、わからない)	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	7	42.9	42.9	28.6	14.3	42.9	28.6	57.1	14.3	14.3	0.0
	印を付けなかった方	209	32.1	40.2	40.2	12.4	26.3	16.3	21.1	14.8	5.7	1.0

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問21 人権が守られているか

		調査数	十分守られている	十分ではないが守られている	あまり守られていない	全然守られていない	無回答
	全 体	1,552	15.2	59.2	17.9	3.4	4.3
居住地区	南千住	327	16.5	60.6	14.4	3.1	5.5
	荒川	239	13.8	57.7	21.3	4.2	2.9
	町屋	211	15.6	60.7	17.5	2.8	3.3
	東尾久	187	13.4	63.1	18.7	1.1	3.7
	西尾久	195	13.8	57.9	16.9	6.2	5.1
	東日暮里	204	18.1	59.8	16.7	2.5	2.9
	西日暮里	168	14.9	56.0	21.4	4.2	3.6
年代	18～29歳	157	35.0	49.0	12.1	2.5	1.3
	30～39歳	214	28.0	52.3	13.1	6.1	0.5
	40～49歳	272	14.0	61.4	19.5	4.0	1.1
	50～59歳	293	13.0	62.1	18.1	3.8	3.1
	60～69歳	225	8.0	62.2	20.9	3.1	5.8
	70～79歳	239	7.1	63.2	21.8	1.7	6.3
	80歳以上	141	6.4	62.4	16.3	1.4	13.5
同居世帯人数	1人	358	15.1	57.0	17.3	5.3	5.3
	2人	535	12.9	60.4	17.8	4.1	4.9
	3人	324	19.1	58.0	17.3	2.2	3.4
	4人	220	17.3	60.5	20.0	0.9	1.4
	5人	59	13.6	66.1	15.3	1.7	3.4
	6人以上	35	11.4	68.6	17.1	2.9	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	13.0	63.8	17.8	1.6	3.8
	持ち家(集合住宅)	463	15.6	62.4	15.8	2.2	4.1
	借家(一戸建て)	43	11.6	55.8	23.3	4.7	4.7
	借家(集合住宅)	465	16.6	54.6	18.9	6.2	3.7
	寮・社宅	27	33.3	37.0	22.2	3.7	3.7
	その他	29	13.8	48.3	24.1	6.9	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	23.7	55.4	15.6	5.4	0.0
	家族成長前期	128	16.4	64.1	14.8	2.3	2.3
	家族成長後期	117	21.4	58.1	17.9	0.9	1.7
	家族成熟期	112	17.0	57.1	23.2	0.9	1.8
	高齢期	236	6.4	64.8	19.9	1.7	7.2
	高齢期(一人暮らし)	141	8.5	61.7	18.4	2.8	8.5
	一人暮らし	201	20.4	54.2	15.4	7.5	2.5
	その他	431	13.7	58.7	18.3	3.5	5.8
性別	男	641	18.7	56.2	18.7	3.9	2.5
	女	874	12.9	61.9	17.0	3.0	5.1
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	61.5	30.8	7.7	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	26.0	46.8	19.5	1.3	6.5
	印を付けなかった方	1,475	14.6	59.9	17.8	3.5	4.1

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問22 関心のある人権問題

		調査数	女性に対する差別・暴力	子どもに対するいじめ・虐待	高齢者に対する差別・虐待	障がい者に対する偏見・差別	自分や家族の出身地に対する偏見・差別（部落差別）	アイヌの人々に対する偏見・差別	外国人に対する偏見・差別	感染症（HIV・新型コロナウイルス）に関連する偏見・差別	刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別
全体		1,552	32.5	52.6	26.4	31.9	7.0	7.5	19.4	10.2	7.2	11.5
居住地区	南千住	327	34.6	52.6	24.5	31.8	8.9	9.2	17.1	11.0	9.5	11.9
	荒川	239	26.8	49.4	26.8	31.0	7.9	7.9	20.9	11.3	8.8	12.1
	町屋	211	35.5	52.6	31.3	32.2	5.7	7.6	18.5	10.9	6.2	10.9
	東尾久	187	36.4	60.4	26.7	33.7	3.7	5.9	18.2	9.1	7.0	12.3
	西尾久	195	26.2	51.3	25.1	28.2	4.6	5.6	12.8	7.7	4.1	8.7
	東日暮里	204	30.9	49.5	25.0	31.4	5.9	6.9	23.5	10.3	6.9	12.7
	西日暮里	168	38.1	56.5	26.2	35.7	10.1	7.7	27.4	10.7	6.0	11.9
年代	18～29歳	157	37.6	48.4	14.6	24.2	8.3	7.0	21.7	10.2	5.7	12.7
	30～39歳	214	36.0	62.1	15.9	26.2	7.5	4.7	22.4	7.9	5.6	9.8
	40～49歳	272	34.9	63.2	21.7	35.7	8.5	8.5	21.0	9.6	7.0	15.8
	50～59歳	293	29.7	46.8	31.1	30.4	5.1	6.5	18.1	9.6	7.2	9.9
	60～69歳	225	35.6	56.0	36.9	40.0	9.8	9.3	18.7	10.7	9.3	12.4
	70～79歳	239	33.1	49.0	31.4	37.2	6.7	10.5	22.2	15.5	9.6	11.3
	80歳以上	141	19.1	37.6	29.8	22.7	2.1	5.0	9.2	7.1	3.5	6.4
同居世帯人数	1人	358	34.1	46.4	26.8	30.4	7.8	9.2	20.7	12.8	8.4	13.7
	2人	535	32.9	45.6	29.7	33.3	7.1	9.3	19.8	10.7	8.4	10.5
	3人	324	31.5	64.8	23.1	31.5	7.1	6.5	20.7	9.6	4.9	11.4
	4人	220	34.5	60.9	23.2	32.7	5.0	4.1	15.0	7.7	5.5	9.1
	5人	59	32.2	57.6	22.0	27.1	10.2	1.7	23.7	6.8	6.8	15.3
	6人以上	35	20.0	68.6	31.4	37.1	5.7	5.7	17.1	5.7	8.6	14.3
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	31.0	55.5	27.5	31.6	4.2	5.7	15.0	10.9	5.9	10.5
	持ち家（集合住宅）	463	33.3	54.4	27.6	34.3	7.1	7.6	20.1	9.5	7.8	11.9
	借家（一戸建て）	43	34.9	48.8	34.9	37.2	7.0	9.3	27.9	11.6	4.7	9.3
	借家（集合住宅）	465	33.8	50.1	22.4	29.5	9.2	9.5	22.2	9.9	8.4	12.9
	寮・社宅	27	37.0	44.4	29.6	33.3	11.1	3.7	37.0	7.4	7.4	11.1
	その他	29	31.0	44.8	37.9	37.9	13.8	6.9	13.8	17.2	6.9	6.9
ライフステージ	家族形成期	186	36.0	69.4	14.5	24.7	7.5	7.0	18.8	8.6	4.3	10.8
	家族成長前期	128	34.4	72.7	19.5	37.5	7.0	6.3	21.9	4.7	3.9	10.2
	家族成長後期	117	30.8	57.3	19.7	24.8	6.0	3.4	16.2	7.7	5.1	9.4
	家族成熟期	112	27.7	50.0	34.8	40.2	7.1	5.4	25.0	7.1	8.9	15.2
	高齢期	236	34.7	53.4	34.7	40.3	5.9	9.3	20.3	11.9	7.6	9.7
	高齢期（一人暮らし）	141	27.7	44.7	30.5	30.5	5.7	9.2	19.1	13.5	8.5	9.9
	一人暮らし	201	38.8	46.8	22.9	29.9	9.0	9.0	21.9	11.4	8.0	16.9
	その他	431	29.7	43.9	28.8	29.9	7.0	7.7	16.7	11.4	8.4	10.7
性別	男	641	25.0	49.6	22.6	31.0	8.3	7.2	21.2	10.6	7.6	11.7
	女	874	38.0	55.4	29.3	32.5	5.7	7.3	18.0	9.6	6.5	11.1
	その他（どちらでもない、わからない）	13	69.2	46.2	23.1	30.8	15.4	23.1	30.8	23.1	23.1	23.1
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	33.8	31.2	23.4	22.1	18.2	5.2	64.9	2.6	3.9	3.9
	印を付けなかった方	1,475	32.5	53.8	26.5	32.4	6.4	7.7	17.0	10.6	7.3	11.9

（調査数は件数、それ以外の数字は％）

問22 関心のある人権問題

		調査数	中傷・インターネット上の暴露	北朝鮮による拉致問題	差別ホームレスに対する偏見・差別	性的指向・性自認を理由とする偏見・差別	性的搾取・人身取引	性的・差別的災害に起因する偏見・差別	様々なハラスメント	その他	特になし	無回答
全体		1,552	47.5	19.1	7.4	14.7	15.1	10.7	30.9	2.7	8.2	3.8
居住地区	南千住	327	49.5	20.2	6.7	15.3	18.3	12.2	32.7	3.7	5.8	4.6
	荒川	239	43.9	24.7	10.5	13.4	16.3	10.5	34.3	2.9	8.4	4.2
	町屋	211	46.0	15.2	5.2	12.3	10.4	9.0	31.8	3.3	8.5	3.3
	東尾久	187	48.7	19.3	9.1	19.8	16.0	10.7	31.0	4.3	8.0	2.1
	西尾久	195	47.7	17.4	4.1	8.7	12.3	9.2	32.3	1.0	9.7	4.1
	東日暮里	204	50.0	18.1	7.8	16.7	15.2	9.8	26.5	1.5	11.8	3.9
	西日暮里	168	48.2	19.0	8.3	19.0	17.3	11.9	28.0	1.8	7.7	0.6
年代	18～29歳	157	43.3	12.1	8.3	13.4	19.7	13.4	31.8	2.5	4.5	1.9
	30～39歳	214	43.0	10.7	7.5	18.7	21.5	11.2	32.7	4.2	5.6	0.5
	40～49歳	272	50.0	14.7	6.6	17.6	16.9	9.9	37.1	3.3	7.0	1.5
	50～59歳	293	50.2	17.1	6.5	14.7	13.3	10.9	31.4	4.1	11.6	1.7
	60～69歳	225	53.8	22.2	6.2	12.9	11.6	11.6	27.6	2.2	7.6	1.3
	70～79歳	239	52.3	31.0	11.7	16.3	15.1	11.7	32.6	0.8	10.9	5.0
	80歳以上	141	32.6	28.4	3.5	5.7	7.8	4.3	18.4	0.7	9.2	19.1
同居世帯人数	1人	358	49.7	23.2	9.5	15.6	15.4	13.1	34.1	3.4	7.3	4.7
	2人	535	46.2	21.1	7.1	16.3	14.6	10.5	29.5	2.2	9.0	4.5
	3人	324	49.4	15.4	6.8	14.8	18.2	12.0	32.1	2.2	9.6	2.5
	4人	220	45.0	13.2	6.4	12.3	10.9	6.4	27.7	3.2	6.8	1.4
	5人	59	47.5	16.9	6.8	11.9	16.9	6.8	33.9	3.4	6.8	1.7
	6人以上	35	51.4	22.9	2.9	8.6	22.9	11.4	34.3	2.9	8.6	0.0
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	48.6	24.1	5.1	12.8	14.2	9.3	29.4	2.0	9.3	4.0
	持ち家(集合住宅)	463	52.1	16.6	6.0	14.0	13.2	10.8	27.2	3.5	7.6	3.7
	借家(一戸建て)	43	37.2	16.3	7.0	11.6	14.0	7.0	30.2	0.0	11.6	4.7
	借家(集合住宅)	465	44.7	16.3	10.5	17.8	18.9	12.9	36.6	2.6	7.3	2.4
	寮・社宅	27	29.6	7.4	14.8	18.5	14.8	7.4	25.9	11.1	3.7	0.0
	その他	29	37.9	31.0	13.8	13.8	10.3	13.8	41.4	3.4	10.3	10.3
ライフステージ	家族形成期	186	44.6	10.8	5.9	17.7	23.1	12.4	32.3	3.2	5.9	0.0
	家族成長前期	128	46.9	15.6	6.3	16.4	15.6	7.8	28.1	2.3	4.7	0.0
	家族成長後期	117	53.8	12.0	5.1	14.5	16.2	6.8	29.9	1.7	6.8	1.7
	家族成熟期	112	47.3	16.1	8.9	8.9	13.4	5.4	33.0	3.6	12.5	0.9
	高齢期	236	45.8	24.2	7.6	15.3	12.7	11.0	32.2	0.8	10.2	4.7
	高齢期(一人暮らし)	141	56.7	31.9	9.9	10.6	11.3	9.9	27.0	0.0	6.4	7.8
	一人暮らし	201	46.3	17.4	9.0	19.9	18.9	15.4	41.3	5.5	7.5	1.5
	その他	431	45.7	20.4	7.0	13.0	12.5	11.1	26.7	3.2	9.5	7.2
性別	男	641	46.0	19.0	8.9	14.2	14.0	10.9	29.2	3.4	8.9	2.8
	女	874	48.5	18.8	6.1	14.9	15.7	10.5	32.0	2.3	7.7	3.9
	その他(どちらでもない、わからない)	13	61.5	30.8	23.1	30.8	30.8	15.4	53.8	0.0	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	26.0	3.9	7.8	6.5	10.4	6.5	16.9	5.2	6.5	2.6
	印を付けなかった方	1,475	48.6	19.9	7.4	15.1	15.4	10.9	31.7	2.6	8.3	3.9

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問23 多様性を認め合う社会の実現に必要な取組

		調査数	子どもを対象とした啓発イベント・教室	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	相談窓口の案内・周知	さまざまな支援制度の案内・周知	関係法令の整備	地域における交流の推進	会社や企業における啓発の取組	その他	無回答
全 体		1,552	34.0	28.1	40.9	44.3	30.7	19.1	18.8	4.4	7.6
居住地区	南千住	327	36.7	30.0	37.0	40.1	28.7	19.0	20.8	4.9	8.6
	荒川	239	34.3	24.3	39.7	48.5	34.7	23.8	17.6	4.6	7.1
	町屋	211	28.9	22.3	44.5	46.4	27.5	16.6	18.5	2.8	6.2
	東尾久	187	36.4	29.4	47.1	48.1	33.7	19.8	17.6	3.2	8.0
	西尾久	195	31.8	30.3	43.1	44.6	30.8	20.5	16.4	5.6	7.7
	東日暮里	204	31.9	30.4	38.2	43.1	31.4	18.1	18.6	3.4	6.4
	西日暮里	168	37.5	29.2	41.1	43.5	30.4	14.9	22.0	7.1	5.4
年代	18～29歳	157	28.7	21.7	41.4	43.9	38.2	16.6	24.2	1.3	6.4
	30～39歳	214	37.9	27.1	31.3	41.6	38.3	16.8	22.0	5.6	3.7
	40～49歳	272	44.1	33.8	33.8	44.1	38.6	19.5	22.1	6.6	4.8
	50～59歳	293	27.6	25.9	40.3	44.4	32.1	18.1	18.1	7.5	4.1
	60～69歳	225	36.4	28.4	49.3	50.7	29.8	22.2	19.6	4.0	3.6
	70～79歳	239	32.6	32.6	50.6	47.7	21.8	20.5	15.9	1.3	10.5
	80歳以上	141	27.7	22.7	41.8	35.5	10.6	20.6	7.8	2.1	25.5
同居世帯人数	1人	358	31.3	27.9	46.9	44.4	32.4	17.6	17.0	5.6	7.0
	2人	535	30.7	26.9	42.4	45.0	28.2	20.0	18.1	3.4	8.8
	3人	324	39.5	31.8	38.3	46.9	31.8	20.7	22.5	4.9	5.6
	4人	220	38.2	27.3	35.0	41.4	32.7	18.2	19.5	5.5	5.9
	5人	59	42.4	30.5	39.0	44.1	28.8	23.7	18.6	1.7	3.4
	6人以上	35	34.3	22.9	28.6	40.0	37.1	14.3	17.1	5.7	5.7
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	31.6	28.3	42.7	44.9	27.9	21.1	17.6	3.6	7.7
	持ち家(集合住宅)	463	35.9	28.1	40.2	46.4	32.2	20.3	20.1	4.5	6.5
	借家(一戸建て)	43	20.9	30.2	32.6	53.5	27.9	20.9	16.3	2.3	16.3
	借家(集合住宅)	465	35.5	27.7	40.9	42.2	33.8	16.3	19.6	5.4	6.7
	寮・社宅	27	40.7	18.5	40.7	48.1	14.8	18.5	18.5	7.4	0.0
	その他	29	41.4	37.9	41.4	37.9	34.5	17.2	20.7	6.9	10.3
ライフステージ	家族形成期	186	40.9	31.2	33.9	44.1	39.2	16.1	23.7	4.8	5.4
	家族成長前期	128	51.6	32.0	30.5	44.5	36.7	21.9	22.7	5.5	2.3
	家族成長後期	117	40.2	25.6	29.9	36.8	34.2	15.4	23.1	4.3	4.3
	家族成熟期	112	28.6	32.1	47.3	47.3	31.3	18.8	19.6	5.4	3.6
	高齢期	236	36.0	28.0	46.2	52.1	20.3	25.4	16.5	1.7	8.5
	高齢期(一人暮らし)	141	29.1	27.0	51.1	45.4	22.0	14.9	11.3	1.4	12.1
	一人暮らし	201	33.3	27.9	43.8	43.3	39.8	19.9	20.9	8.5	3.0
	その他	431	26.5	25.8	40.6	41.5	28.3	18.3	16.7	4.4	12.3
性別	男	641	32.4	27.3	35.4	38.1	33.4	20.3	18.7	6.6	7.0
	女	874	35.2	28.6	45.1	49.8	28.9	18.6	18.9	2.7	7.3
	その他(どちらでもない、わからない)	13	38.5	38.5	46.2	46.2	38.5	7.7	38.5	23.1	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	39.0	26.0	37.7	36.4	31.2	26.0	18.2	5.2	5.2
	印を付けなかった方	1,475	33.8	28.2	41.0	44.7	30.6	18.8	18.8	4.4	7.7

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問24 区政への関心

		調査数	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない	無回答
全 体		1,552	15.5	43.8	29.3	5.2	3.1	3.2
居住地区	南千住	327	16.2	46.8	26.0	5.8	2.1	3.1
	荒川	239	15.5	40.2	34.3	4.6	2.9	2.5
	町屋	211	15.2	39.3	34.1	4.7	4.7	1.9
	東尾久	187	17.1	42.8	30.5	5.3	2.7	1.6
	西尾久	195	17.4	42.6	28.7	5.1	2.6	3.6
	東日暮里	204	11.8	52.0	26.0	5.4	3.4	1.5
	西日暮里	168	16.7	44.6	28.6	4.8	3.0	2.4
年代	18～29歳	157	12.1	36.3	38.9	8.9	3.2	0.6
	30～39歳	214	17.3	38.8	28.5	8.9	4.2	2.3
	40～49歳	272	16.2	49.3	26.8	7.0	0.7	0.0
	50～59歳	293	13.7	42.0	35.5	4.4	3.4	1.0
	60～69歳	225	14.7	48.9	29.3	2.7	2.2	2.2
	70～79歳	239	16.3	47.3	25.1	2.5	3.8	5.0
	80歳以上	141	19.9	41.8	21.3	2.8	5.7	8.5
同居世帯人数	1人	358	12.8	39.9	33.8	5.6	4.5	3.4
	2人	535	15.0	44.5	29.9	5.0	2.6	3.0
	3人	324	17.0	45.7	26.5	4.9	4.3	1.5
	4人	220	18.6	49.5	26.4	4.5	0.9	0.0
	5人	59	20.3	47.5	20.3	8.5	3.4	0.0
	6人以上	35	14.3	31.4	37.1	8.6	0.0	8.6
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	18.2	46.0	26.5	3.4	2.6	3.4
	持ち家(集合住宅)	463	15.1	48.4	26.6	5.6	1.7	2.6
	借家(一戸建て)	43	11.6	32.6	51.2	0.0	4.7	0.0
	借家(集合住宅)	465	13.3	39.1	32.7	7.7	4.3	2.8
	寮・社宅	27	18.5	25.9	37.0	0.0	7.4	11.1
	その他	29	10.3	41.4	37.9	0.0	10.3	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	21.5	41.9	26.9	6.5	2.7	0.5
	家族成長前期	128	20.3	49.2	21.9	5.5	1.6	1.6
	家族成長後期	117	16.2	47.9	31.6	2.6	1.7	0.0
	家族成熟期	112	19.6	35.7	30.4	6.3	4.5	3.6
	高齢期	236	16.5	50.8	25.0	2.1	3.0	2.5
	高齢期(一人暮らし)	141	12.8	41.8	28.4	4.3	5.7	7.1
	一人暮らし	201	12.4	38.8	37.3	7.0	3.5	1.0
	その他	431	11.8	42.9	30.6	6.3	2.8	5.6
性別	男	641	19.3	39.8	30.6	5.9	2.0	2.3
	女	874	13.0	47.0	28.6	4.7	3.4	3.2
	その他(どちらでもない、わからない)	13	0.0	53.8	38.5	0.0	7.7	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	16.9	36.4	26.0	6.5	6.5	7.8
	印を付けなかった方	1,475	15.4	44.1	29.5	5.2	2.9	2.9

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問25 区政への意見・要望などの伝達方法

		調査数	区の担当窓口などに来庁する	区の担当窓口などに電話する	「区民の声」などを送る	電子メール、LINE等を利用する	パソコンやスマートフォンを活用したテレビ電話を利用する	議員を通じて伝える	町会・自治会を通じて伝える	その他	無回答
全 体		1,552	29.8	41.9	15.7	39.2	6.0	8.1	7.7	2.3	4.8
居住地区	南千住	327	27.8	39.8	15.6	41.3	6.1	8.0	8.3	1.5	5.2
	荒川	239	36.4	43.5	15.1	37.2	7.5	8.8	9.2	2.1	2.9
	町屋	211	25.1	45.5	13.7	34.6	4.7	8.5	7.6	3.3	4.7
	東尾久	187	28.3	41.7	18.2	38.0	7.0	8.6	8.0	1.6	4.3
	西尾久	195	34.9	55.9	14.4	35.9	5.6	8.7	9.7	3.1	4.1
	東日暮里	204	29.9	31.9	17.2	48.5	3.4	7.8	5.9	2.9	3.4
	西日暮里	168	27.4	37.5	17.9	40.5	7.7	7.1	5.4	2.4	3.0
年代	18～29歳	157	18.5	24.8	16.6	66.2	9.6	4.5	3.8	0.0	2.5
	30～39歳	214	18.7	31.8	24.8	59.3	7.9	6.5	3.3	2.8	1.9
	40～49歳	272	17.6	32.7	21.3	57.7	6.6	8.8	8.8	1.5	2.6
	50～59歳	293	30.4	43.0	12.6	41.0	6.5	7.8	6.1	4.1	1.0
	60～69歳	225	39.1	49.3	14.2	29.3	5.8	9.8	8.4	3.6	4.9
	70～79歳	239	48.1	57.7	11.7	13.0	3.8	8.8	13.0	1.3	5.9
	80歳以上	141	37.6	56.0	6.4	2.8	1.4	10.6	10.6	2.1	14.2
同居世帯人数	1人	358	35.8	41.6	15.9	34.4	6.1	6.1	5.0	3.1	5.6
	2人	535	31.4	45.0	12.3	33.3	6.4	8.0	7.1	1.9	4.3
	3人	324	25.3	38.3	18.8	50.3	5.2	9.3	8.3	2.5	3.4
	4人	220	25.9	40.9	19.5	45.9	5.9	9.5	9.5	1.8	1.8
	5人	59	27.1	50.8	23.7	44.1	5.1	8.5	16.9	1.7	1.7
	6人以上	35	20.0	40.0	5.7	48.6	11.4	14.3	11.4	5.7	2.9
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	32.2	47.8	14.2	31.6	4.2	11.3	10.9	2.2	6.1
	持ち家(集合住宅)	463	31.1	40.2	18.4	41.3	5.8	6.3	7.6	1.1	3.5
	借家(一戸建て)	43	41.9	46.5	14.0	34.9	9.3	9.3	7.0	2.3	2.3
	借家(集合住宅)	465	25.2	37.2	15.9	46.9	8.0	6.9	3.9	3.4	3.9
	寮・社宅	27	18.5	22.2	14.8	37.0	14.8	3.7	14.8	7.4	3.7
	その他	29	37.9	55.2	6.9	41.4	0.0	10.3	10.3	3.4	0.0
ライフステージ	家族形成期	186	15.6	29.6	26.3	61.3	7.5	9.1	5.9	2.7	1.1
	家族成長前期	128	18.0	33.6	22.7	60.2	7.0	7.8	9.4	1.6	2.3
	家族成長後期	117	19.7	41.0	16.2	56.4	5.1	6.8	8.5	1.7	1.7
	家族成熟期	112	30.4	45.5	13.4	38.4	5.4	8.9	11.6	2.7	2.7
	高齢期	236	39.8	54.2	11.9	18.2	5.1	11.4	10.6	0.8	5.5
	高齢期(一人暮らし)	141	47.5	56.0	8.5	9.9	2.1	8.5	6.4	0.7	9.9
	一人暮らし	201	27.9	31.3	20.9	51.2	9.5	4.0	3.5	5.0	2.0
	その他	431	31.6	42.5	11.4	34.6	5.6	7.9	7.7	2.6	7.7
性別	男	641	33.7	41.3	13.7	38.2	8.1	9.4	8.0	2.7	5.1
	女	874	26.9	42.4	17.5	39.8	4.5	7.4	7.3	2.2	4.0
	その他(どちらでもない、わからない)	13	15.4	30.8	0.0	69.2	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	37.7	39.0	3.9	28.6	7.8	1.3	13.0	7.8	2.6
	印を付けなかった方	1,475	29.4	42.0	16.3	39.8	5.9	8.5	7.5	2.0	4.9

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問26 今後、区に力を入れてほしい事業

		調査数	地震・水害などの防災対策	地域防犯の取組	子どもの安全対策	文化芸術の振興	生涯学習・社会教育の振興	スポーツの振興	産業の振興	消費生活に関する相談など	就労支援の充実	観光振興などによる地域のイメーリアップ
全 体		1,552	56.6	42.7	30.3	7.1	6.3	5.9	6.8	4.6	6.5	5.4
居住地区	南千住	327	57.8	39.8	33.3	5.8	8.9	8.0	5.5	4.0	6.7	6.4
	荒川	239	54.4	34.7	25.9	4.2	5.9	5.4	8.8	2.1	6.3	4.6
	町屋	211	64.9	43.1	26.1	7.6	3.3	4.3	6.2	5.2	8.5	3.3
	東尾久	187	63.1	48.1	33.2	5.3	5.3	6.4	7.0	6.4	7.0	4.8
	西尾久	195	60.5	44.1	31.8	9.7	8.7	5.1	4.6	5.1	6.2	5.1
	東日暮里	204	49.0	50.0	27.9	8.8	6.4	5.9	7.8	5.9	5.9	6.4
	西日暮里	168	47.0	45.2	35.7	10.1	4.8	5.4	8.3	4.2	5.4	6.5
年代	18～29歳	157	45.2	34.4	35.0	9.6	3.8	10.8	3.2	2.5	2.5	6.4
	30～39歳	214	50.5	43.0	45.3	9.3	7.5	6.1	8.4	4.7	6.1	4.7
	40～49歳	272	56.3	48.2	46.7	8.1	3.7	7.4	8.5	3.7	5.1	8.1
	50～59歳	293	61.1	45.7	20.5	6.8	6.5	5.1	7.5	5.8	9.9	7.2
	60～69歳	225	71.1	48.9	26.7	6.7	7.6	5.8	6.2	6.7	8.9	4.9
	70～79歳	239	59.4	40.2	20.1	5.4	9.2	3.3	7.9	4.6	8.4	3.3
	80歳以上	141	46.1	32.6	16.3	3.5	5.7	4.3	3.5	2.8	0.7	1.4
同居世帯人数	1人	358	53.1	38.8	17.6	8.1	6.1	3.9	5.9	5.6	6.1	4.7
	2人	535	59.4	42.8	21.5	7.5	5.4	4.9	6.5	4.3	6.7	4.9
	3人	324	58.6	46.9	44.1	6.8	8.0	6.2	6.8	6.5	6.8	4.9
	4人	220	58.2	45.0	47.3	6.8	7.7	10.0	8.2	2.3	6.4	5.9
	5人	59	55.9	39.0	47.5	3.4	6.8	10.2	15.3	3.4	10.2	15.3
	6人以上	35	45.7	48.6	48.6	2.9	0.0	8.6	0.0	0.0	2.9	8.6
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	58.5	47.0	30.0	6.9	6.9	6.7	6.3	4.0	5.7	5.9
	持ち家(集合住宅)	463	62.0	41.7	31.1	7.6	7.6	6.3	8.9	3.2	5.4	6.9
	借家(一戸建て)	43	65.1	37.2	32.6	4.7	7.0	2.3	9.3	4.7	7.0	7.0
	借家(集合住宅)	465	50.8	41.7	29.5	7.3	4.1	4.5	5.6	6.5	7.3	3.2
	寮・社宅	27	22.2	22.2	33.3	14.8	14.8	14.8	0.0	14.8	14.8	7.4
	その他	29	58.6	37.9	24.1	0.0	6.9	6.9	10.3	0.0	20.7	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	49.5	41.4	53.8	8.1	4.3	7.0	8.1	2.7	4.8	3.8
	家族成長前期	128	57.8	46.1	69.5	8.6	5.5	10.2	4.7	0.8	3.1	8.6
	家族成長後期	117	57.3	47.9	36.8	5.1	6.0	7.7	11.1	6.8	9.4	6.0
	家族成熟期	112	62.5	47.3	27.7	4.5	8.0	4.5	6.3	5.4	12.5	6.3
	高齢期	236	66.1	41.9	27.1	6.8	10.2	5.9	8.1	3.4	5.9	4.2
	高齢期(一人暮らし)	141	53.2	33.3	17.0	2.8	5.0	0.0	4.3	4.3	6.4	2.1
	一人暮らし	201	52.7	43.3	17.4	12.4	7.0	7.0	7.0	7.0	6.0	6.5
	その他	431	55.2	42.9	19.5	6.5	5.1	5.6	6.0	5.3	6.5	6.0
性別	男	641	51.5	39.5	27.9	5.9	7.5	7.3	8.6	5.9	6.1	5.9
	女	874	60.3	45.9	32.5	7.9	5.4	5.1	5.6	3.4	7.0	4.9
	その他(どちらでもない、わからない)	13	76.9	38.5	30.8	23.1	23.1	0.0	7.7	15.4	7.7	15.4
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	36.4	26.0	29.9	11.7	5.2	10.4	7.8	15.6	10.4	11.7
	印を付けなかった方	1,475	57.6	43.6	30.3	6.8	6.4	5.7	6.8	4.0	6.3	5.1

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

問26 今後、区に力を入れてほしい事業

		調査数	活動の推進 リサイクルなどの環境配慮	策の充実 良好な生活環境のための施策の充実	騒音・ポイ捨て対策などの実施	低所得者に対する福祉の充実	高齢者福祉の充実	心身障がい者（児）福祉の充実	バリアフリー化の推進	健康づくりなどの保健衛生施策の充実	感染症対策の充実	幼児・児童の子育て支援の充実	青少年健全育成の推進
全 体		1,552	7.3	16.8	10.8	19.0	5.4	9.7	7.6	5.2	17.1	2.7	
居住地区	南千住	327	6.1	15.0	11.0	19.9	7.0	7.3	8.6	6.1	19.6	3.1	
	荒川	239	6.7	17.6	11.7	20.5	4.6	12.1	8.8	3.8	20.5	2.1	
	町屋	211	7.1	13.3	12.8	17.5	3.8	10.4	5.7	3.8	15.2	3.8	
	東尾久	187	9.1	13.4	10.7	20.3	5.9	9.6	10.2	7.0	13.9	4.3	
	西尾久	195	8.7	13.3	13.3	23.1	5.6	9.2	9.2	6.2	15.9	1.5	
	東日暮里	204	9.3	19.6	9.8	15.7	6.4	12.7	5.9	3.9	16.2	1.5	
	西日暮里	168	6.0	30.4	6.0	16.7	4.2	7.7	4.2	5.4	17.3	3.0	
年代	18～29歳	157	5.7	18.5	7.6	1.3	0.6	1.9	6.4	2.5	21.0	2.5	
	30～39歳	214	5.6	15.4	4.7	4.7	2.3	2.8	5.1	3.7	39.7	4.7	
	40～49歳	272	3.7	19.5	5.5	7.7	7.4	4.4	5.9	1.5	24.3	2.6	
	50～59歳	293	8.9	18.1	13.0	21.8	5.8	14.0	7.2	4.8	6.8	2.4	
	60～69歳	225	6.2	15.6	14.2	28.9	5.8	14.2	9.3	6.7	12.9	0.9	
	70～79歳	239	11.3	14.6	17.6	34.3	9.2	15.5	10.5	8.8	10.5	2.5	
	80歳以上	141	11.3	16.3	13.5	36.2	4.3	14.2	9.9	9.9	5.7	4.3	
同居世帯人数	1人	358	8.7	18.7	17.6	23.5	7.0	9.2	7.8	5.0	8.1	2.5	
	2人	535	8.2	17.4	11.4	20.6	4.9	13.5	9.5	6.2	11.6	1.3	
	3人	324	8.3	17.0	8.3	16.0	4.3	7.7	6.5	4.9	28.4	4.3	
	4人	220	4.5	14.5	4.1	17.3	7.3	5.5	5.9	3.2	22.3	4.5	
	5人	59	3.4	11.9	8.5	11.9	1.7	10.2	3.4	1.7	23.7	1.7	
	6人以上	35	0.0	14.3	5.7	8.6	5.7	2.9	5.7	8.6	54.3	0.0	
居住形態	持ち家（一戸建て）	506	9.9	16.6	10.1	20.9	4.7	10.1	7.1	7.5	16.0	3.0	
	持ち家（集合住宅）	463	5.8	16.4	5.4	19.7	5.8	12.5	8.9	5.0	17.5	2.6	
	借家（一戸建て）	43	14.0	18.6	27.9	9.3	11.6	7.0	7.0	2.3	14.0	2.3	
	借家（集合住宅）	465	5.6	18.5	14.2	16.8	5.4	6.0	7.7	3.4	17.6	2.6	
	寮・社宅	27	14.8	7.4	11.1	11.1	3.7	3.7	3.7	3.7	22.2	3.7	
	その他	29	3.4	13.8	27.6	34.5	6.9	27.6	3.4	3.4	24.1	3.4	
ライフステージ	家族形成期	186	5.4	15.6	3.8	2.2	0.5	3.8	4.8	4.3	48.9	3.2	
	家族成長前期	128	3.9	14.1	3.1	5.5	11.7	3.9	6.3	1.6	32.0	5.5	
	家族成長後期	117	5.1	13.7	3.4	12.0	1.7	0.9	6.0	4.3	19.7	2.6	
	家族成熟期	112	3.6	20.5	14.3	21.4	8.0	11.6	7.1	6.3	8.0	1.8	
	高齢期	236	10.2	13.6	11.9	33.1	6.4	16.5	10.2	7.6	13.6	2.1	
	高齢期（一人暮らし）	141	10.6	14.9	22.7	40.4	9.2	14.9	9.2	8.5	5.7	3.5	
	一人暮らし	201	7.5	21.4	13.4	10.9	5.5	4.5	7.5	3.0	9.5	2.0	
	その他	431	8.1	18.3	11.6	20.6	4.2	13.0	7.9	5.1	10.0	2.3	
性別	男	641	6.4	15.9	12.2	18.4	6.2	8.3	6.6	4.8	16.1	2.5	
	女	874	7.9	17.6	10.0	19.6	5.0	10.8	8.5	5.5	18.2	3.0	
	その他（どちらでもない、わからない）	13	15.4	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	7.7	7.7	15.4	0.0	
国籍	印を付けた方（外国籍の方）	77	5.2	6.5	11.7	10.4	1.3	2.6	10.4	1.3	16.9	5.2	
	印を付けなかった方	1,475	7.5	17.4	10.8	19.5	5.6	10.1	7.5	5.4	17.2	2.6	

（調査数は件数、それ以外の数字は％）

問26 今後、区に力を入れてほしい事業

		調査数	住魅力ある景観づくりの推進 住宅密集地域の改善など、木造	道路・交通網の整備	放置自転車対策	公園の整備充実・緑化の推進	良好な住宅の確保などの住宅対策	学校教育の充実	区報や区民の声などの広報・広聴活動	その他	特になし	無回答
全体		1,552	13.3	16.2	5.6	12.7	8.4	11.2	2.6	5.8	1.8	5.9
居住地区	南千住	327	13.5	17.4	3.7	14.4	7.6	10.7	2.8	5.8	3.1	4.9
	荒川	239	16.7	16.3	7.9	12.1	6.3	12.1	4.6	5.9	0.8	7.5
	町屋	211	11.8	19.9	9.0	10.0	10.4	13.3	0.9	6.2	0.9	4.3
	東尾久	187	13.9	17.6	5.3	11.8	10.7	9.6	1.1	4.3	0.5	5.3
	西尾久	195	13.3	13.8	3.1	11.8	8.2	10.8	3.6	6.2	1.5	5.1
	東日暮里	204	12.3	15.7	6.4	16.2	8.3	9.3	2.0	6.4	2.0	4.9
	西日暮里	168	11.9	12.5	4.8	12.5	8.3	13.7	3.6	6.5	3.6	4.2
年代	18～29歳	157	19.1	19.1	3.2	17.2	15.3	15.3	1.3	5.7	1.3	3.2
	30～39歳	214	15.0	17.3	3.3	15.9	11.2	20.6	1.4	8.9	2.3	3.3
	40～49歳	272	10.3	18.0	7.7	14.7	7.4	21.0	1.8	7.0	1.1	3.7
	50～59歳	293	13.0	17.1	4.1	11.9	8.9	5.1	3.1	7.5	3.4	2.4
	60～69歳	225	14.2	12.9	5.8	8.0	7.6	4.9	1.3	5.8	0.9	5.8
	70～79歳	239	13.8	18.0	6.3	12.1	6.7	7.1	5.0	1.3	1.7	7.1
	80歳以上	141	9.9	9.2	9.9	9.9	2.8	4.3	5.0	3.5	1.4	15.6
同居世帯人数	1人	358	13.1	15.4	5.9	8.9	10.3	4.7	4.5	5.9	3.1	7.0
	2人	535	16.3	19.3	7.5	13.1	7.3	6.2	1.9	6.0	1.9	5.2
	3人	324	11.7	12.7	5.2	13.0	10.5	17.6	1.5	5.6	1.2	3.4
	4人	220	9.5	17.3	2.7	15.5	6.8	21.4	2.7	5.9	0.9	4.5
	5人	59	20.3	15.3	3.4	15.3	6.8	22.0	6.8	6.8	0.0	5.1
	6人以上	35	2.9	14.3	2.9	28.6	2.9	20.0	0.0	5.7	2.9	2.9
居住形態	持ち家(一戸建て)	506	14.0	14.4	6.5	12.8	5.9	9.7	3.4	5.1	1.0	7.1
	持ち家(集合住宅)	463	14.0	17.5	6.0	14.9	4.8	14.5	2.2	5.8	1.1	5.2
	借家(一戸建て)	43	9.3	20.9	0.0	7.0	7.0	9.3	4.7	2.3	0.0	2.3
	借家(集合住宅)	465	12.7	16.6	4.9	11.6	14.6	9.7	2.2	6.5	3.7	4.7
	寮・社宅	27	18.5	14.8	7.4	11.1	14.8	14.8	0.0	7.4	0.0	3.7
	その他	29	3.4	17.2	3.4	3.4	13.8	13.8	3.4	10.3	0.0	3.4
ライフステージ	家族形成期	186	16.7	16.1	5.4	18.3	14.5	20.4	0.5	8.1	1.1	2.2
	家族成長前期	128	10.9	14.1	2.3	23.4	4.7	38.3	1.6	6.3	0.8	3.9
	家族成長後期	117	11.1	18.8	0.9	12.8	5.1	20.5	2.6	6.0	0.9	5.1
	家族成熟期	112	8.0	18.8	2.7	8.9	11.6	4.5	2.7	9.8	1.8	1.8
	高齢期	236	14.8	17.4	8.1	12.3	5.5	5.9	1.7	2.1	1.3	6.4
	高齢期(一人暮らし)	141	14.2	9.2	5.0	5.7	7.1	2.8	7.1	1.4	2.1	12.1
	一人暮らし	201	13.4	18.4	6.5	10.9	12.4	5.0	2.5	9.0	4.0	3.5
	その他	431	13.5	16.0	7.2	11.4	7.2	7.0	3.0	5.6	1.9	8.4
性別	男	641	13.7	17.9	6.1	12.9	8.3	12.2	2.5	6.6	2.7	5.3
	女	874	12.9	15.1	5.4	12.6	8.6	10.9	2.9	5.3	1.1	5.7
	その他(どちらでもない、わからない)	13	23.1	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
国籍	印を付けた方(外国籍の方)	77	9.1	15.6	1.3	18.2	9.1	11.7	3.9	6.5	1.3	6.5
	印を付けなかった方	1,475	13.6	16.2	5.8	12.4	8.4	11.2	2.6	5.8	1.8	5.9

(調査数は件数、それ以外の数字は%)

第 50 回 荒川区政世論調査 《報告書》

—— 令和 7 年度 ——

令和 8 年 1 月発行

登 録 (07) 0074
発 行 荒川区区政広報部秘書課
東京都荒川区荒川 2-2-3
電話 03-3802-3111 (代表) 内線 2161
委託先 株式会社名豊
愛知県名古屋市中村区名駅南 1-21-19
電話 052-526-6001

庁議説明資料	
7.12.25	地域文化スポーツ部スポーツ振興課

「荒川区スポーツ推進プラン」の素案について

内 容	区は、スポーツ基本法に基づき、平成28年4月に「荒川区スポーツ推進プラン」（以下「プラン」という。）を策定し、これまで様々なスポーツ施策を推進してきたところである。現行プランは、本年度で計画期間が満了となることから、今後のさらなるスポーツの推進に向けて次期プランを策定する。 1 プランの概要 （1）目的 区民のスポーツへの参加を促進し、スポーツを通じた健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化、そして青少年の健全な育成を目指すとともに、区民の誰もがいきいきとスポーツに親しめる荒川区を実現し、さらに発展していくための道筋を示す。 （2）プランの位置付け スポーツ基本法に定める「地方スポーツ推進計画」の性格を有し、国や都が各々の計画に基づき実施するスポーツ関連事業との役割分担を図りながら、地域の実情を十分に踏まえ、スポーツの更なる推進に向けた方向性を示すとともに、区のスポーツに深く関わる計画との連携を図り、区を挙げて、最も効果的に区のスポーツ振興を推進していく。 （3）基本理念 「すべての区民が 身近な地域でスポーツに親しみ スポーツで 人が 地域が つながり 荒川区の 明るい未来を 創る」 （4）プランのポイント（現行の課題及び基本目標） ① 現行の課題 現行プランの振り返りを行うとともに、荒川区民スポーツ意識調査（※）を行った結果、以下の3点の課題が明らかとなった。 ※荒川区民スポーツ意識調査 ア 一般向け調査（区内在住の18歳以上から、2,500名を無作為抽出） イ 障がい者向け調査（障害者手帳を持つ区内在住の18歳以上から、1,000名を無作為抽出） ウ 小学生・中学生・高校生向け調査（区内在住又は在学中の区立の小学校、中学校及び区内の高等学校の学生） 課題1 スポーツへの参加機会の拡大と多様なニーズへの対応 区民全体のスポーツ実施率は一定向上しているものの、子育て世代や働き盛り世代など忙しく時間がない方や、障がいのある方など、それぞれスポーツに取り組む主体に応じた運動機会の提供には、まだ改善の余地がある。 また、スポーツイベント等の情報発信力の強化と、パラスポーツへの物理的・精神的バリアの解消等の取組が必要である。

課題2 地域コミュニティにおけるスポーツの活用とスポーツを支える人材の育成

スポーツは、地域の活性化を促進する有力なツールの一つであるが、地域活動の担い手の高齢化や、スポーツ団体・地域スポーツクラブの認知度の低さといった課題が見られる。特に、子どもたちや障がいのある方のスポーツ活動には、それらを支えるスポーツボランティアの存在が必要不可欠であり、スポーツを通じて人々のつながりを深め、地域の活力を高めるためには、新たな担い手の確保と育成、活動支援が不可欠である。

課題3 スポーツ環境の充実と利便性の向上

区立スポーツ施設に対して、老朽化解消やより身近な場所への施設整備、障がい者の利用環境向上、そして誰もがスポーツ施設を利用しやすくするための利用方法の改善などが求められている。また、多様化するスポーツニーズへの対応や多忙でスポーツ施設を利用できない方へのスポーツ環境の提供も課題となっている。

② 基本目標の設定

上記の課題を解決するために以下の3点の基本目標を設定しその目標を達成するために必要な施策・事業を整理した。

基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

子どもから高齢者まで、障がいの有無等にかかわらず、誰もが自分に合ったスポーツに親しむことができ、様々なスポーツニーズに対応したスポーツ活動の機会と場の充実を図る。区民にスポーツのある生活を提供し、生涯にわたる運動習慣の定着を促進する。

基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

スポーツを「する」人、スポーツ大会を「みる」人、ボランティアなどでスポーツを「支える」人、これら多様な人々が集まることで、その場所に新たな賑わいが生まれる。スポーツを通じて区民同士の新たなつながりを生み出し、地域の賑わいを創出できるよう、団体支援や仲間づくり支援などの施策に取り組んでいく。

基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

誰もが身近な場所で気軽にスポーツに取り組めるよう、既存の施設のバリアフリー化や施設・設備の充実を図るとともに、スポーツ施設の地域バランスを考慮した新規施設の整備にも取り組んでいく。また、アーバンスポーツやeスポーツなど、近年多様化するスポーツニーズの動向を注視し、適切なスポーツ環境を提供していく。

(6) 施策体系図

本プランの3つの基本目標を達成するための施策体系図については、別紙1「荒川区スポーツ推進プラン（素案）【概要版】」参照

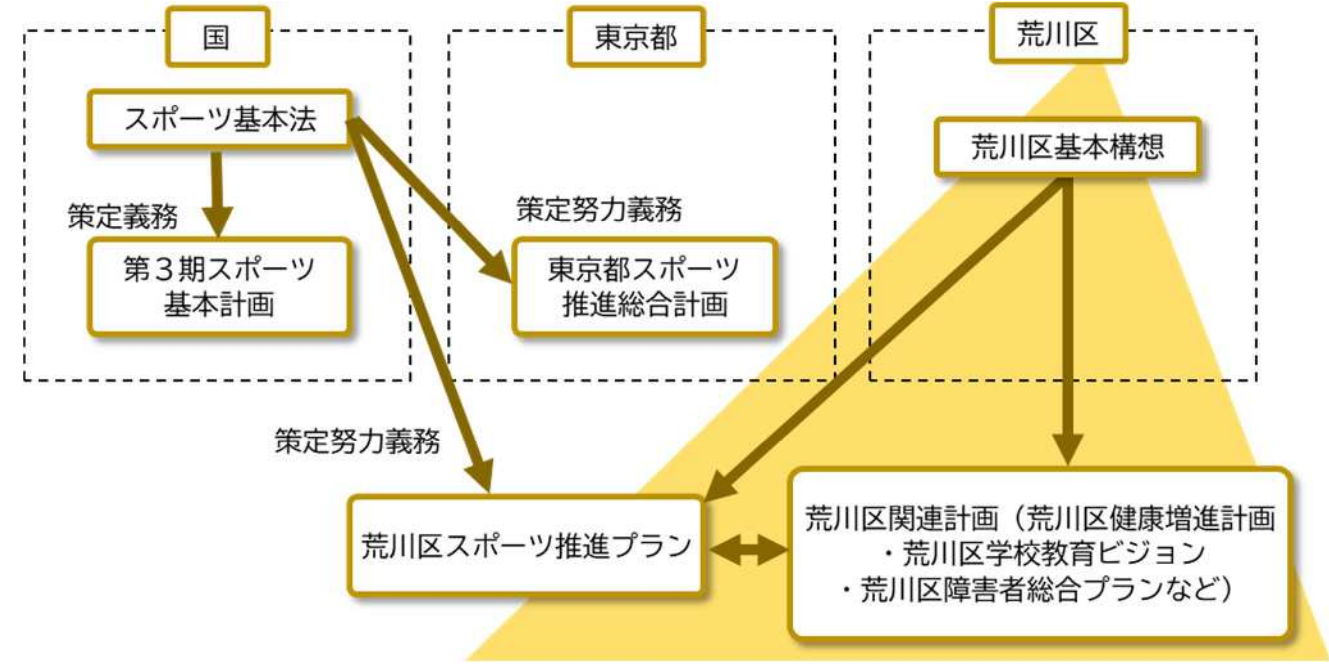
	(7) 計画期間 令和8年度から令和12年度までの5年間とする。 2 検討体制・経過 本プランは、学識経験者、アスリート経験者と区内スポーツ団体代表者、担当副区長及び関係部署で組織する、荒川区スポーツ推進プラン策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置し、本プランの素案を検討した。 令和7年10月30日 第1回策定委員会 11月25日 第2回策定委員会			
今 後 の 予 定	令和8年 1月15日 文教・子育て支援委員会 1月中～下旬 パブリックコメント 2月上旬 第3回策定委員会 2月上旬 政策会議・庁議 2月20日 文教・子育て支援委員会 3月下旬 第4回策定委員会			
議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見
1月15日	—	1月21日	1月中旬	—

荒川区スポーツ推進プラン（素案）【概要版】

1 荒川区スポーツ推進プランの概要

- ◆ 区民のスポーツへの参加を促進し、スポーツを通じた健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化、そして青少年の健全な育成を目指すとともに、区民の誰もがいきいきとスポーツに親しめる荒川区を実現し、さらに発展していくための道筋を示します。
- ◆ スポーツ基本法に定める「地方スポーツ推進計画」の性格を有し、国や都が各々の計画に基づき実施するスポーツ関連事業との役割分担を図りながら、区の地域の実情を踏まえ、スポーツの更なる推進に向けた方向性を示すものです。また、スポーツに深く関わる他の計画との連携を図り、区全体でスポーツを推進していきます。

2 本プランの位置づけ



3 本プランの計画期間

本プランの計画期間は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度の5か年とします。区のスポーツの中期的方向性を見据えつつ、柔軟かつ実効性の高い運用を行うとともに、社会情勢や区民ニーズの変化、施策の進捗状況などを的確に把握し、5年ごとに必要な見直しを行っていきます。

4 解決すべき課題

現行プランの振り返りを行うとともに、荒川区民スポーツ意識調査を行った結果、以下の3点の課題が抽出されました。

- 課題1 スポーツへの参加機会の拡大と多様なニーズへの対応
- 課題2 地域コミュニティにおけるスポーツの活用とスポーツを支える人材の育成
- 課題3 スポーツ環境の充実と利便性の向上

5 基本理念・基本目標・施策等の体系図

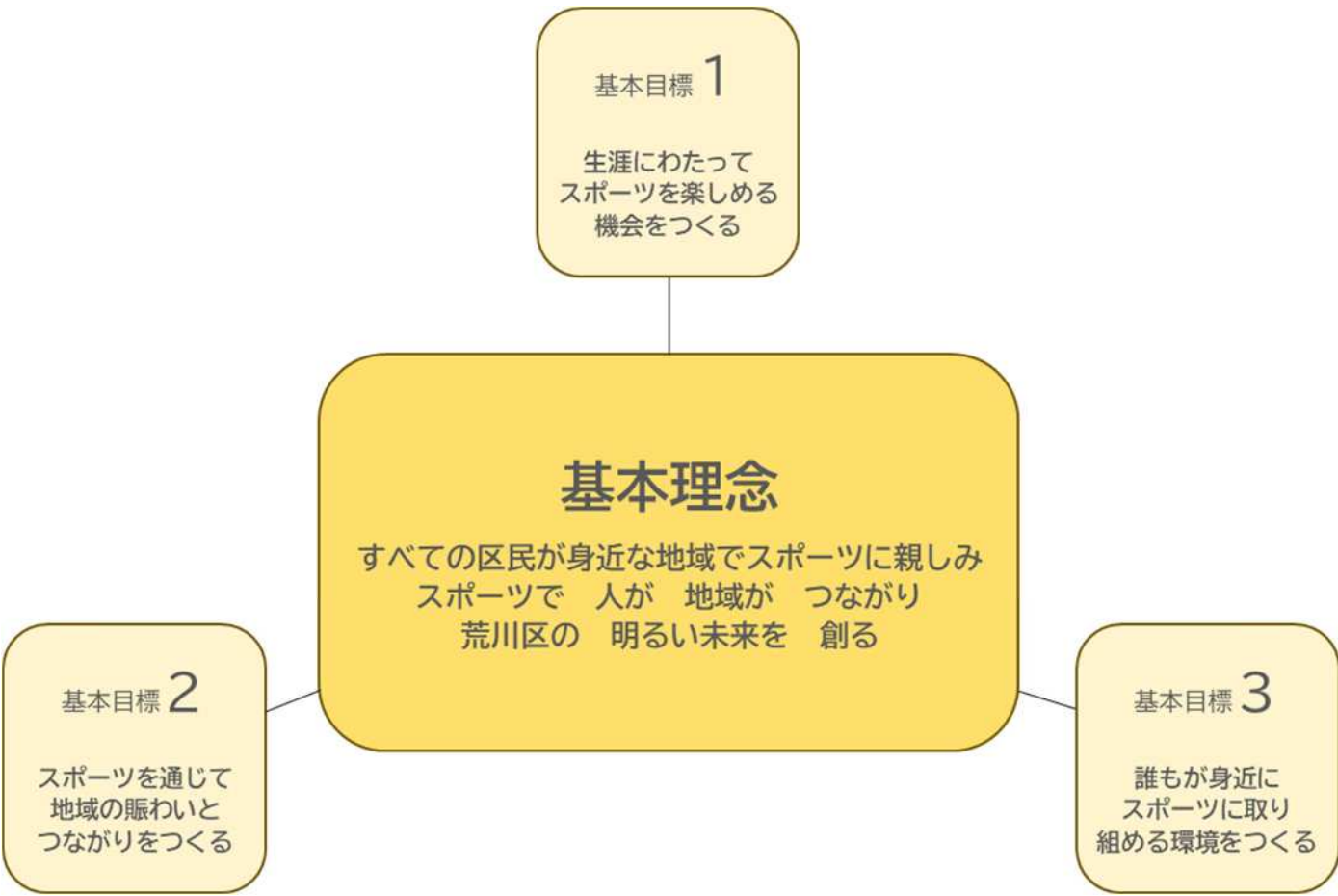
「基本理念」

すべての区民が 身近な地域でスポーツに親しみ
スポーツで 人が 地域が つながり
荒川区の 明るい未来を 創る

「基本目標及び施策」

抽出された課題を解決するために以下の3点の基本目標を設定し、それらに紐づく施策等を整理しました。

- 基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる
- 基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる
- 基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる



「施策体系図」

★は重点プロジェクト

基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

施策1 子ども達のスポーツ活動を充実する ★

スポーツに触れる・スポーツを楽しむ
学校におけるスポーツ活動を充実する
運動能力を伸ばす
チャレンジを応援する

施策2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす

運動をするきっかけをつくる
健康を考える
スポーツで生活満足度を高める

施策3 スポーツで高齢者の健康増進といきがづくりを応援する

運動習慣の定着を支援する
楽しみながら体を動かす
フレイルを予防する

施策4 障がい者のスポーツ活動を推進する ★

パラスポーツへの距離を縮める
障がいへの理解を深める
スポーツを通じてつながる
運動習慣の定着と運動機能の向上を支援する

基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

施策1 地域のスポーツ団体を支援する ★

活動環境の整備と認知度の向上を図る

施策2 トップアスリートと連携する

アスリートにより競技力向上を図る
アスリートへの応援等を通じてまちの賑わいを創出する

施策3 仲間づくりを応援する ★

集う場・機会を提供する
クラブやサークルの活動を支援する

施策4 スポーツで交流を推進する

日常の交流の場を設ける
競技を通して交流する
国内・国際交流を促進する
事業者のスポーツ活動を推進する

基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

施策1 スポーツ環境を充実する ★

スポーツ施設を整備する
その他のスポーツ環境を整備する

施策2 障がい者のスポーツ環境を整える

スポーツ施設の利用環境を向上する

施策3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報発信を強化する

スポーツ施設の稼働率を上げる
酷暑下におけるスポーツ施設利用の適正化を図る
スポーツに関する情報発信を強化する

6 プラン推進に向けた実施体制

（１）区民・団体・事業者等との連携

① スポーツ団体との連携

荒川区でスポーツ活動を支える中心的な役割を担う荒川区スポーツ協会及び各加盟競技団体、スポーツ推進委員などの団体が持つ専門的な知見や指導力、地域に根差したネットワークなどを最大限発揮していただけるよう、なお一層連携を強化し、協力関係を発展させていきます。

② 大学・研究機関等との連携

区内にある大学や専門研究機関などが持つ学術的知見、研究成果、専門的な施設・人材は、区のスポーツ推進に大きな可能性をもたらします。現在も協力関係にありますが、今後は、例えば学生のイベント運営へのボランティア参画などの人的交流も含め、さらなる連携の強化を図っていきます。

③ 民間スポーツ施設との連携

区内のスポーツジムやパーソナルジムなどでは、仕事などで時間的な制約のある方や、新しい区民のスポーツニーズに応える重要な役割を担っています。これらの民間施設との連携を強化し、区全体のスポーツ活動を一層活性化させていきます。

（２）推進体制の充実

本プランを効果的に推進するため、スポーツに関わる各部署が横断的に連携し、戦略的にスポーツ施策を推進します。また、本プランの進捗管理を行うため、新たな会議体を設置し、定期的に報告を行い、ご意見を頂戴しながら各施策の推進に努めてまいります。

（３）プランの着実な実行

本プランの目標達成に向けて具体的な施策を着実に実行していくため、５年毎に本プランを見直し、改定プランを策定するといったPDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを実施します。設定した基本目標ごとの達成指標を中心に施策の実施状況を点検・評価し、改善につなげるプロセスを徹底します。

荒川区スポーツ推進プラン

【令和 8 年（2026）度～令和 12 年（2031）度版】

令和8年（2026年）4月

荒 川 区

目次

第1章 プラン策定にあたって.....	1
1 プランの策定と背景.....	2
(1) 区が目指すスポーツの推進.....	2
(2) スポーツを取り巻く社会状況の変化.....	2
2 プラン位置づけ・計画期間.....	3
(1) 位置付け.....	3
(2) 計画期間.....	4
第2章 荒川区のスポーツ活動の現状と課題.....	5
1 荒川区のスポーツ活動の現状.....	6
(1) 区のスポーツ活動.....	6
(2) スポーツ関連団体等.....	7
(3) 大学・研究機関等.....	9
(4) 民間スポーツ施設.....	9
2 スポーツ推進プランの取組状況.....	10
(1) 基本目標1 気軽にスポーツに親しめるようスポーツの裾野を広げる.....	10
(2) 基本目標2 生涯健康で暮らせるようスポーツで健康増進を図る.....	10
(3) 基本目標3 スポーツのレベルアップのため選手や指導員を育成する.....	11
(4) 基本目標4 地域の力を高めるため人や地域をスポーツでつなぐ.....	11
3 荒川区スポーツ意識調査の結果.....	12
(1) 一般向け調査.....	12
(2) 障がい者向け調査.....	16
(3) 小学生・中学生・高校生向け調査.....	18
4 荒川区内の主なスポーツ団体へのヒアリング.....	21
5 解決すべき課題.....	22
第3章 スポーツ推進プランの概要.....	24
1 基本理念と基本目標.....	24
(1) 基本理念.....	24
(2) 基本目標.....	24
2 達成指標一覧.....	27
(1) 基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる.....	27

(2) 基本目標2	スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる.....	28
(3) 基本目標3	誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる.....	28
(4) スポーツ推進プラン全体.....		29
第4章	基本目標ごとの取組.....	32
1	基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる.....	32
(1)	施策1 子どもたちのスポーツ活動を充実する(★重点プロジェクト)	32
(2)	施策2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす.....	34
(3)	施策3 スポーツで高齢者の健康増進と生きがいづくりを応援する.....	36
(4)	施策4 障がい者のスポーツ活動を推進する(★重点プロジェクト)	37
2	基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる.....	39
(1)	施策1 地域のスポーツ団体を支援する(★重点プロジェクト)	39
(2)	施策2 トップアスリートと連携する.....	40
(3)	施策3 仲間づくりを応援する(★重点プロジェクト)	41
(4)	施策4 スポーツで交流を推進する.....	42
3	基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる.....	44
(1)	施策1 スポーツ環境を充実する(★重点プロジェクト)	44
(2)	施策2 障がい者のスポーツ環境を整える.....	46
(3)	施策3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報 発信を強化する	47
第5章	プラン推進に向けた実施体制.....	49
1	区民・団体・事業者等との連携.....	50
(1)	スポーツ団体との連携.....	50
(2)	大学・研究機関等との連携.....	50
(3)	民間スポーツ施設との連携.....	51
2	推進体制の充実.....	51
3	プランの着実な実行.....	51

第 1 章

プラン策定にあたって

第1章 プラン策定にあたって

1 プランの策定と背景

(1) 区が目指すスポーツの推進

区は、区民一人ひとりの心身の健康と生活の質の向上、地域社会の活力等の観点から、スポーツが果たす役割を重視し、これまで、区民のスポーツ活動を推進するために施設の整備やイベントの開催、多様な団体との連携に努めてきました。

本プランは、区民のスポーツへの参加を促進し、スポーツを通じた健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化、そして青少年の健全な育成を目指すとともに、区民の誰もがいきいきとスポーツに親しめる区を実現し、さらに発展させていくための道筋を示すものです。

なお、本プランにおいて、スポーツとは、スポーツ基本法の理念に基づき、いわゆる競技スポーツだけではなく、レクリエーション、健康などを目的とする身体活動などを含む広義の運動を意味しています。

(2) スポーツを取り巻く社会状況の変化

前回プランを作成した平成28(2016)年度以降、スポーツに影響を与えた社会状況の変化としては、以下の点が挙げられます。

近年、気候変動の影響が顕在化し、令和2(2020)年には環境省と気象庁が、「熱中症警戒アラート」の試行運用を関東甲信越地方で開始し、その後全国に適用される等、熱中症リスクが高まっています。夏場の熱中症リスクは、特に高齢者や子どもたちの運動機会を減少させる要因となり、スポーツ施設における暑さ対策や、屋内外の活動場所のバランスを見直す必要性に迫られています。

令和2(2020)年以降のコロナ禍による様々な生活活動の制約により、スポーツ活動においてもソーシャルディスタンスの確保や感染防止のための衛生管理が必須となりました。この影響は、地域における各種スポーツ団体の活動停止、学校体育の制限、スポーツ施設の利用制限など、多岐にわたり、人々の運動機会を著しく減少させました。一方で、孤立感の解消やストレス軽減のために、適度な運動がいかに重要であるかという認識が深まり、感染リスクを考慮した上での運動機会の確保、オンラインとオフラインを融合した新たなスポーツ活動のあり方などが模索されるようになりました。

令和3(2021)年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が無観客で開催され、日本選手団を始めとする世界の一流選手たちの活躍は国民に大きな感動と活力を与えました。また、令和7(2025)年には、東京2025デフリンピックが開催され、日本勢のメダルラッシュに沸きました。そうした中、国は「第2期スポーツ基本計画」に基づき、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形で国民の生活に浸透させるための施策を推進してきました。

また、その他にもスポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。テクノロジーの進化は、スポーツ環境にも大きな影響を与え、特にデジタル空間における新たなスポーツであるeスポーツも急速に広がりを見せています。加えてスケートボードやクライミングなどのアーバンス

ポーツ、モルックやボッチャなどのニュースポーツの社会への浸透も注目すべき点であると考えています。

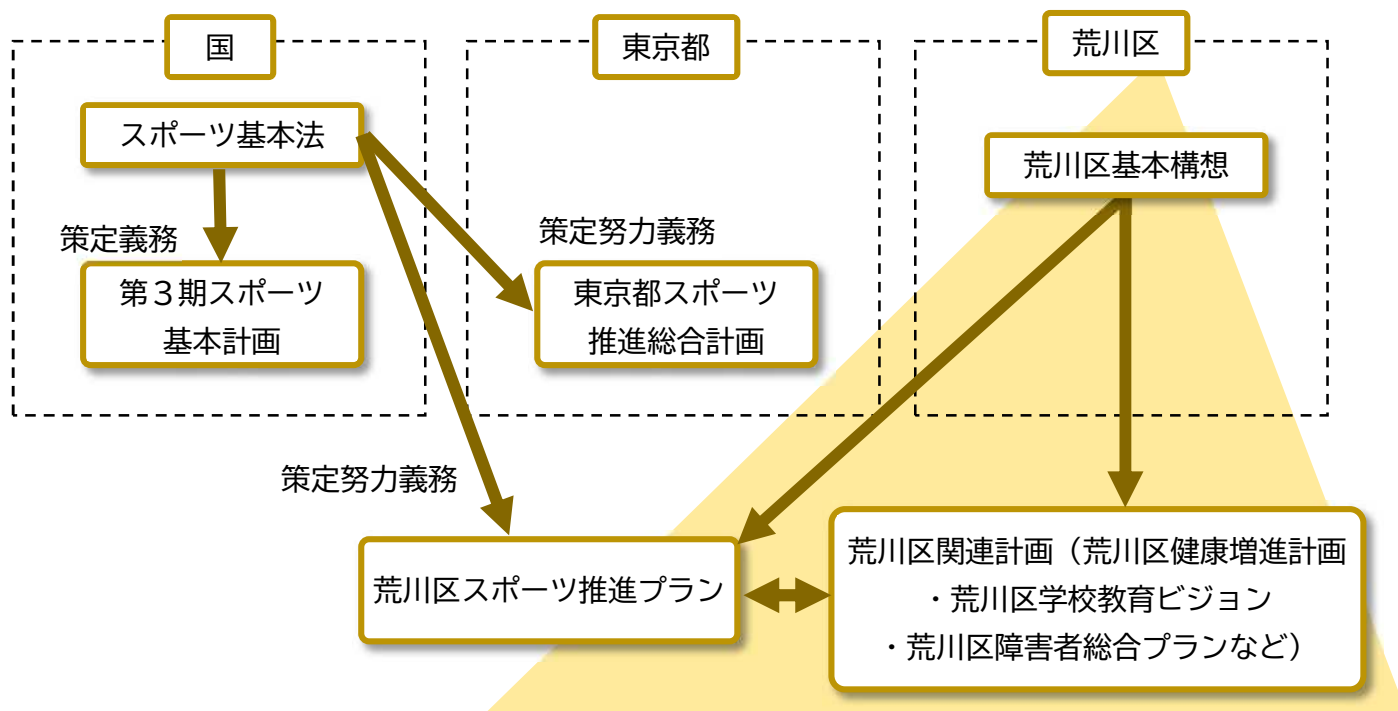
区においては、こうした社会状況の変化も踏まえ、更なるスポーツの振興に向けて新たな施策を展開していく必要があります。

2 プラン位置づけ・計画期間

(1) 位置付け

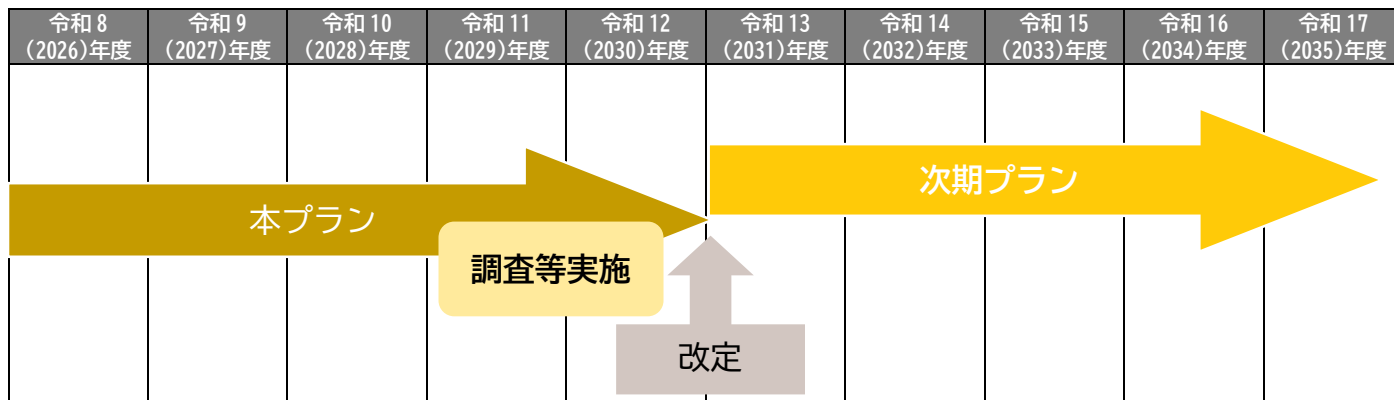
本プランは、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項に定める「地方スポーツ推進計画」の性格を有し、国の「第3期スポーツ基本計画」（令和4（2022）年3月25日策定、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度まで）や東京都の「東京都スポーツ推進総合計画」（令和7（2025）年3月策定、令和7（2025）年度から令和12（2030）年度まで）に基づき国や東京都が実施するスポーツ関連事業との役割分担を図りながら、地域の実情を踏まえ、スポーツの更なる推進に向けた方向性を示すものです。

また、スポーツに深く関わる他の計画との連携を図り、区全体でスポーツ振興を推進していきます。



(2) 計画期間

本プランの計画期間は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度の5か年とします。区のスポーツの中期的方向性を見据えつつ、柔軟かつ実効性の高い運用を行うとともに、社会情勢や区民ニーズの変化、施策の進捗状況などを的確に把握し、5年ごとに必要な見直しを行っていきます。



コラム

<「スポーツ」の語源>

スポーツ史という分野の研究によれば、英語の「Sport」は19～20世紀にかけて世界で一般化した言葉であり、その由来はラテン語の「deportare」（デポルターレ）という単語だとされています。

デポルターレとは、元々、「運び去る、運搬する」の意味で、転じて、「義務からの気分転換、元気の回復」、仕事や家事といった「日々の生活から離れる」気晴らしや遊び、楽しみ、休養といったものを指します。

スポーツは、人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにするためのものです。より楽しむために勝利を追及するもよし、マイペースで楽しむもよし、誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、楽しめるものであるべきです。

(出典 スポーツ庁HP

<https://sports.go.jp/special/policy/meaning-of-sport-and-deportare.html>)

第 2 章

荒川区のスポーツ活動の 現状と課題

第2章 荒川区のスポーツ活動の現状と課題

1 荒川区のスポーツ活動の現状

(1) 区のスポーツ活動

① 区のスポーツ事業等

区では、区民スポーツ大会をはじめとするスポーツイベントを、荒川区スポーツ協会やスポーツ推進委員等の協力を得て年間を通じて開催しています。平成4（1992）年度に区制60周年を機に始まった荒川リバーサイドマラソンは令和7（2025）年度で第32回目を迎え、子どもから高齢者まで最も多い年で2500人もの方が参加する区内最大のスポーツイベントに成長しました。そのほか、子どもたちが運動の楽しさを知るきっかけづくりとなるよう、ボッチャやモルックなどのニュースポーツを中心とした体験会を実施しているほか、各スポーツ団体が開催するイベントに対する支援も行っています。

② 区のスポーツ関連施設等

i. スポーツ施設

区のスポーツ施設は、屋内スポーツ施設が2施設、屋外スポーツ施設が6施設、合わせて8施設があり、区民が気軽にスポーツに親しむ環境を提供しています。

○ 屋内スポーツ施設

昭和60（1985）年に開館した荒川総合スポーツセンターは、区民のスポーツ活動の中核となる施設であり、区民スポーツ大会などの大会会場として利用されている他、各種スポーツイベントも行われています。また、幅広いメニューのスポーツ教室も展開しており、区民に人気を博しています。

令和元（2019）年度に大規模リニューアル工事を実施し、設備の更新に合せて、施設全体のバリアフリー化も行いました。

荒川遊園スポーツハウスは、平成5年（1993）に荒川総合スポーツセンターに次ぐ第2の屋内スポーツ施設として開館し、温水プールやトレーニングルーム等の個人利用や各種教室事業を中心に区民に親しまれてきました。

施設・設備の老朽化の解消と合わせて、高齢者のフレイル予防やパラスポーツなど障がい者のスポーツ利用の促進、子どもや子育て世代が気軽に利用できる設備の充実等を目的として、令和9（2027）年度のリニューアルオープンに向けて、令和7（2025）年度から、改修工事に着手しています。

○ 屋外スポーツ施設

区内各所に、野球場、サッカー場、庭球場、多目的広場などを備える屋外スポーツ施設が6施設あります。

これらの施設は、区民スポーツ大会などの各種大会会場として活用されているほか、近年

では、高齢者を中心にグラウンドゴルフ等での利用も増えてきています。

それぞれの施設の開設以来、必要な修繕を実施するとともに、東尾久運動場多目的広場の人工芝敷設や夜間照明設置、区民運動場多目的広場への夜間照明設置等、利用環境の更なる向上に向かって取り組んでいます。

ii. 公園施設

区の公園には、野球場や庭球場を備える公園が2施設、防球ネットを備えたボール遊びができる公園が9施設あるほか、アスレチックや複合遊具など子どもたちが自由な発想で遊びながら体を動かせる場となっています。

今後、新たに整備する公園においても、スポーツ利用も視野に入れて、検討を行っていきます。

iii. 学校施設

区内の小中学校の校庭や体育館は、教育活動に支障がない範囲において、子どもたちの遊び場のほか、地域のスポーツ活動やイベントなどで日常的に多くの方に利用されており、地域のコミュニティ拠点となっています。施設の老朽化が進んでおり、今後計画的に改修や建替えを行う予定です。

iv. ふれあい館等

乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代が交流し、区民の自主的な活動や地域コミュニティの拠点であるふれあい館等では、多目的室を備え、スポーツやダンスもできる環境が用意されています。

v. 放課後子ども教室（にこにこすくーる）

放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点として、地域の方々の協力を得て、実施校に在籍する全児童に対し、遊びをはじめ、勉強やスポーツ・文化活動などの交流を図る場となっています。

（2） スポーツ関連団体等

荒川区には、人と人との結び付きを大切にする温かい地域社会が息づいており、区におけるスポーツの推進においても、この地域性は欠くことのできない大きな力となっています。荒川区には様々なスポーツ関連団体があり、それぞれの団体が活発に活動することで区民のスポーツ振興に大きな役割を果たしています。

① 荒川区スポーツ協会

昭和26(1951)年の設立以来、区内の28のスポーツ競技団体（令和7(2025)年度現在）を統括するとともに、バックアップを行う区内最大のスポーツ団体です。

各加盟競技団体において区民スポーツ大会各競技の運営に当たっているほか、各団体主催の大会実施、ジュニア育成事業の展開も行っています。また、親子向けや主に子育て世代をターゲットとした独自のスポーツイベントも実施しており、区と緊密に連携しながら区のスポーツ

振興に大きな役割を果たしています。

平成28(2016)年には法人格を取得し、一般社団法人として社会的、法的にも自主自立した団体として活動を継続しており、令和7(2025)年にはスポーツ基本法の改正に基づき、名称をこれまでの荒川区体育協会から荒川区スポーツ協会に改めました。

② 荒川区スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき区が委嘱する非常勤職員であり、スポーツ基本法の理念に基づき区民とスポーツをつなぐコーディネーターとして活動しています。

運動の経験のない人、運動が苦手と感じている人でも気軽に参加できるニュースポーツや、障がいの有無にかかわらず共に取り組めるパラスポーツなどの体験会等のイベントを主催し、区民がスポーツへの第一歩を踏み出すために大きな役割を果たしています。

そのほかにも、スポーツひろばの運営や各種ニュースポーツの指導員としての派遣などを通じて、地域におけるスポーツ活動の普及にも尽力しています。

③ 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、学校等の身近な場所を利用して、地域住民自らが主体的に企画・運営し、年齢、関心、技術等それぞれの志向・レベルに応じたスポーツを通じた地域の多世代交流などの活動を行う団体です。

区内には、平成22(2010)年11月に設立した南千住スポーツクラブがあり、汐入小学校・汐入東小学校を拠点として、14種目のスポーツ教室が展開されており、近隣に住む子どもから高齢者まで約260名の会員が活動しています（令和7(2025)年10月末現在）。

現在、区において2か所目の総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、指導者となる人材や対象とする地域等、検討が続けられています。

④ 東京都障害者スポーツ指導員協議会荒川

障がいの有無、年齢や性別、国籍等を越えて、パラスポーツを楽しみながら行う活動をしています。

区が実施する、パラスポーツのボランティアを養成するパラスポーツサポーター養成講習会や、荒川リバーサイドマラソンにおける障がい者の伴走支援、知的障がいがある方を対象にスポーツ等の各種活動を行うさくら教室にもご協力いただいています。

⑤ 荒川ころばん体操リーダー

荒川ころばん体操・せらばん体操・あらみん体操は、荒川区と首都大学東京（現東京都立大学）が共同開発した転倒予防や筋力アップのためのオリジナルの体操です。

ふれあい館等20か所の区内施設において、「荒川ころばん体操リーダー」が、ボランティアで運営しており、上記のオリジナル体操に加えて健康に役立つ情報取得や参加者同士の交流の場となっています。

⑥ 荒川区高年者クラブ連合会

区内では、64クラブ、約4,300人（令和7(2025)年4月現在）の会員が、健康で明るく過ごすために様々な活動を行っています。活動内容は会員の教養の向上、健康増進、地域の清掃

や園芸、街なか花壇などの社会奉仕活動、会員相互の親睦など様々です。また、グラウンドゴルフやパタンクなど高齢者の軽スポーツの普及とクラブ間の交流も図っています。

⑦ 地域のスポーツクラブ・サークル（社会教育関係団体）

区内には、気の合う仲間等で構成するスポーツクラブやサークルが数多く存在しており、主に学校体育館や校庭を会場として活動しています。区に社会教育関係団体として登録しているクラブ・サークルは、令和7(2025)年10月現在で17種目、413団体に上っています。

(3) 大学・研究機関等

① 大学等

区内には、東京都立大学荒川キャンパス（以下「都立大」という。）と、東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパスがあります。

都立大は、専門分野が福祉や医療等であり、これらの分野で連携を進めるべく、平成30(2018)年に健康づくりに関する包括連携協定を締結し、定期的に関係者会議において意見交換を行うとともに、ころばん体操等の実施会場として都立大の施設を利用したり、都立大でパラスポーツイベントを行う際は、区が後援を行ったり、相互に連携を図りながら事業を行っています。

東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパスは、南千住汐入の再開発エリアに位置し、体育館やグラウンド等のスポーツ施設の区民利用で連携を行っています。

② 研究機関

区内には、義足などの義肢や装具を作成し、リハビリテーションを行う、民間における国内唯一の専門組織である公益財団法人鉄道弘済会「義肢装具サポートセンター」があります。

区で実施するパラスポーツイベントである「パラスポーツフェスティバル」などを行う際には、義肢の展示や義足での歩行体験など、障がいへの理解を深める取組に協力いただくなど連携を行っています。

(4) 民間スポーツ施設

区内には、温水プールやトレーニングマシンを備えた様々なタイプの民間スポーツ施設があり、24時間営業のスポーツジムやパーソナルジム、ピラティスやヨガのスタジオなどを合わせると100近くの施設が運営されています。また空手道場やボクシングジムなどの格闘技のできる施設も多く、スケートボードやスポーツクライミングなどのアーバンスポーツができる施設もあります。

2 スポーツ推進プランの取組状況

平成28(2016)年3月に策定した荒川区スポーツ推進プランで掲げた基本目標ごとにとり組状況を振り返ります。

(1) 基本目標1 気軽にスポーツに親しめるようスポーツの裾野を広げる

誰でも参加できる場をつくり、身近なスポーツ環境を整えることで、区民が気軽にスポーツに触れ、体験する機会や場の充実を図る取組を進めました。

【主な事業】

荒川リバーサイドマラソン、パラスポーツフェスティバル、スポーツひろば、スポーツセンター・スポーツハウス事業、ふれあい館のスポーツ事業、放課後子ども総合プラン等事業 等

【取組状況等】

区や関連団体などの主催で様々なスポーツ事業を展開するとともに、スポーツセンターの大規模改修などにより、区民にスポーツに接する機会を提供し、スポーツ施設の利用環境の向上を図りました。

引き続き、区民が参加しやすいスポーツイベントを企画・運営するとともに、パラスポーツイベントへの障がいのある方の参加促進や大会形式へのレベルアップなどの新たな取組が求められています。また、老朽化した荒川遊園スポーツハウスの大規模改修により誰もが使いやすい施設にしていくとともに、地域バランスを考慮した新たな施設整備等も求められています。

(2) 基本目標2 生涯健康で暮らせるようスポーツで健康増進を図る

区民の運動習慣をサポートし、スポーツを通じて体力の維持向上を図り、子どもから高齢者まで、生涯健康で暮らせるよう健康の増進を図る取組を進めました。

【主な事業】

ころばん・せらばん・ばん座位体操、親子で体力アップ、ラジオ体操の振興、荒川区健康ポイントアプリ「あらチャレ」、No!メタボチャレンジャー、高年者クラブスポーツ事業支援 等

【取組状況等】

親子で体力アップ事業やころばん体操など、子どもから高齢者までそれぞれの属性に応じて参加できる様々な事業の実施により、生涯の運動習慣をサポートする取組を行ってきました。また、令和7(2025)年度に荒川区健康ポイントアプリ「あらチャレ」を開始し、アプリ参加の皆様に、楽しみながら気軽に健康増進に取り組んでいただいています。

今後一層のスポーツ振興を図っていくため、余暇時間や体力などライフステージごとに変化する要因を考慮し、年代や障がいの有無等、それぞれスポーツに取り組む方の特性に応じた施策実施が求められています。また、ころばん体操など、特に高齢者向け事業において、高齢者の外出機会増加を図る取組が求められています。

(3) 基本目標3 スポーツのレベルアップのため選手や指導員を育成する

アスリートや指導員、ボランティア等の活動を支援・育成し、スポーツのレベルアップにつながる取組を実施しました。

【主な事業】

アスリートレベルアップ塾、スポーツ推進委員活動、パラスポーツサポーターや初級パラスポーツ指導員の養成、部活動推進、青少年スポーツ活動支援、教育委員会褒章 等

【取組状況等】

オリンピックなどの国際大会や海外プロリーグで活躍する日本人選手を目にする機会が増え、競技力の向上を目指す機運が高まるとともに、アーバンスポーツなど新たなスポーツへの注目も高まりました。区としては、特に子どもたち向けにスポーツのレベルアップにつながる取組を実施しており、今後、区民のスポーツニーズの動向も踏まえながら推進していくことが求められています。

中学校の部活動については、全国的に部活動指導員の活用や学校間で合同練習等を行う地域連携、地域クラブ活動に移行する地域移行などの新しい取組が始まっています。区でも地域移行に関してモデル事業を開始したところであり、今後のあり方について検討をしていく必要があります。

(4) 基本目標4 地域の力を高めるため人や地域をスポーツでつなぐ

地域の力を高めるため、スポーツイベントの開催や団体等との連携を図り、人や地域をスポーツでつなぐ取組を実施しました。

【主な事業】

スポーツ協会への支援、区民ハイキング、地域のスポーツイベントへの支援、友好交流都市等とのスポーツ交流事業 等

【取組状況等】

スポーツによる地域コミュニティ活性化の役割に着目し、地域スポーツ団体への支援や仲間づくり、交流事業などの取組を行いました。

少子化やライフスタイルの多様化、インターネットの普及等に伴い、区民のスポーツ活動の状況は多様化しており、スポーツ協会加盟団体に所属しないスポーツチームやサークルが多く存在しています。今後、そうした活動について区としてどう関われば区全体としてのスポーツ振興につなげていくか検討していくことが求められています。

3 荒川区スポーツ意識調査の結果

区では、本プラン策定の基礎資料とするため、区民のスポーツに関する意識や実態についてのアンケート調査「荒川区民スポーツ意識調査」を実施しました。意識調査は、以下の3種類を実施しました。

○一般向け調査（区内在住の18歳以上から2,500名を無作為抽出）

○障がい者向け調査（障害者手帳を持つ区内在住の18歳以上から1,000名を無作為抽出）

○小学生・中学生・高校生向け調査（区内在住又は在学中の区立の小学校、中学校及び区内の高等学校の学生）

各アンケート結果の概要は次のとおりです。

（1）一般向け調査

本調査では、区内在住の18歳以上から、2,500人の方を無作為に抽出してアンケートを実施し、673件（26.9%）の方から回答を得たものです。

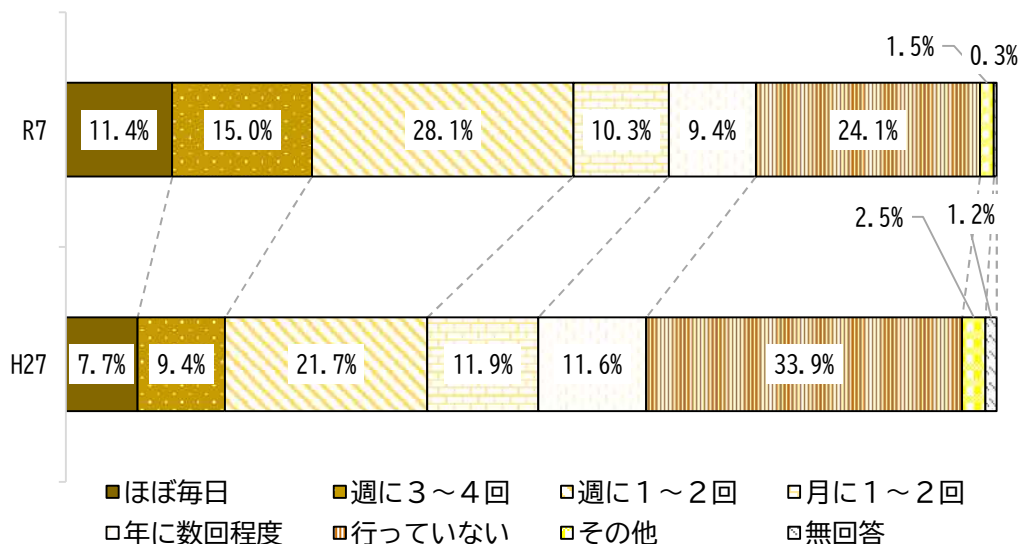
① スポーツの実施状況について（詳細は資料編2～20ページを参照ください。）

<スポーツに対する考え方>

スポーツや運動は、幸福で豊かな生活を送るために必要であると答えた方は9割を超えていました。

<スポーツ実施状況>

週1回以上スポーツを実施している割合は54.5%となっており、令和7(2025)年度までの目標値50%を上回りました（下棒グラフ参照）。



<行っているスポーツ・今後やりたいスポーツ>

「現在実施しているスポーツ」で回答割合が最も多かったのは「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」（65.2%）であり、性別や年代別で見ると、男性、女性どの年代においても回答割合が最も多くなりました。一方、「今後やりたいスポーツ」で回答割合が多かったのも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」（36.0%）であり、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」（29.6%）、「水泳」（16.6%）でした。

<スポーツの実施場所>

日ごろスポーツや運動を行っている場所としては、「歩道や遊歩道」の割合が最も多く、6割弱でした。

<スポーツを行う理由・誰とスポーツを行うか>

スポーツを行う理由としては「健康・体力づくり」で約71%、次いで「運動不足の解消」で約59%、「楽しみ、気晴らし、ストレス解消」の割合で約56%となりました。また、「誰と行っているのか」という設問に対して、「一人で」行っていると回答した割合が7割弱でした。

<スポーツを行っていない理由>

スポーツや運動を「行っていない」、あるいはスポーツの実施頻度に「満足していない」理由としては、「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」と回答した割合が5割弱と、最も多く、特に子育て世代や働き盛り世代がスポーツや運動を行っていないことが分かりました。

<スポーツ活性化のために区が行うべき施策>

スポーツ活動をより活性化するために必要な区の施策としては、「公共スポーツ施設の整備・充実」の割合が4割弱で最も多く、次いで「子ども（小・中学生）の体力・運動能力の向上」、「高齢者のスポーツによる健康寿命の延伸」の割合が多くなりました。

② 区等のスポーツイベントの参加状況について（詳細は資料編 21～23 ページを参照ください。）

応援や観覧も含み、この1年間で区やスポーツ協会主催のスポーツイベントに「参加したことがある」と回答した方は1割弱でした。

「参加したことがある」理由で最も回答割合が多かったのは、「家族や友人とともに楽しめる」が5割弱で、次いで「イベントの内容に興味があった」、「参加費が安い（かからない）」が4割弱でした。

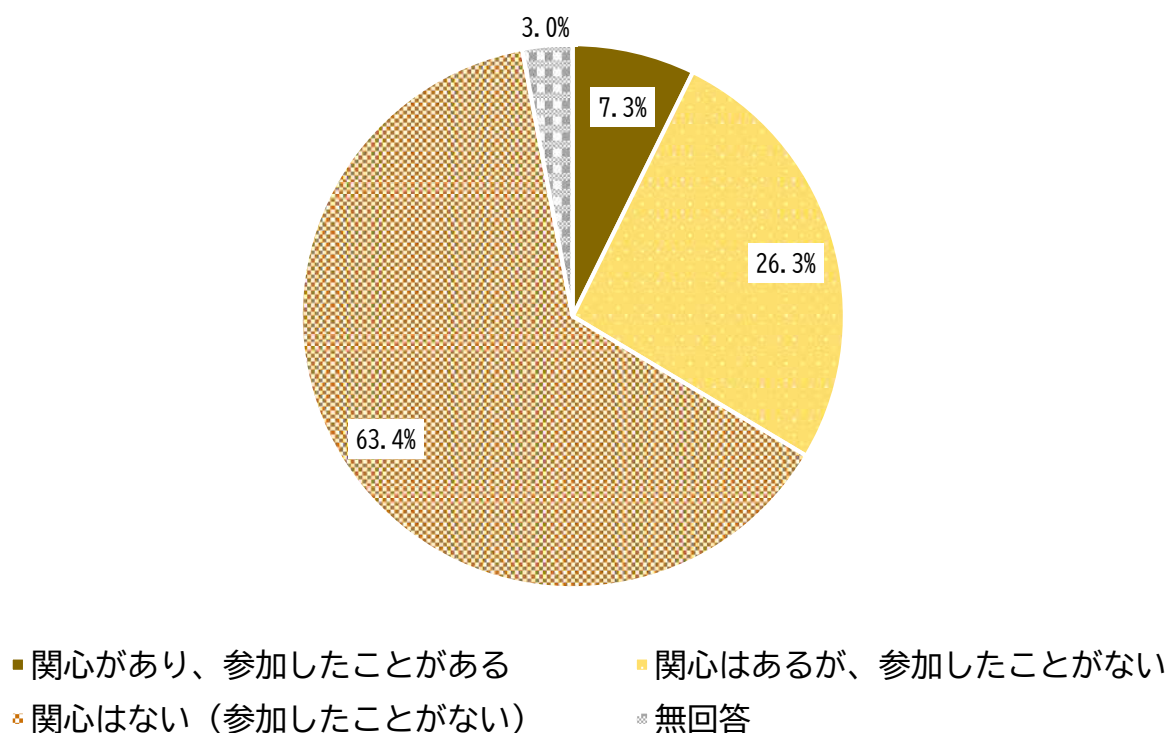
一方、「参加したことがない」理由で最も回答割合が多かったのは、「開催していることを知らなかった」で5割以上となりました。

③ スポーツを支える活動について（詳細は資料編 24～30 ページを参照ください。）

<スポーツボランティアに関する関心>

スポーツや運動の指導・審判、スポーツイベントのボランティア等のスポーツを支えるボランティアに “関心がある”（「関心があり、参加したことがある」及び「関心はあるが、参加したことがない」を選択した方）という回答者は3割程度となりました（下図グラフ参照）。

“関心がある”という回答者のなかで、参加する（または参加したい）目的として、最も回答割合が多かったのは、「自らの健康づくりや生きがいづくり」（57.5%）、次いで「地域の交流の場づくり」（41.2%）、「社会貢献」（38.9%）となりました。



<スポーツの担い手の認知度>

「スポーツ推進委員」について、「活動内容について知っている」の回答割合は 3.7%、「名前は聞いたことがある」の回答割合は 17.5%となりました。さらに、「参加したい（参加している）」、「話を聞いてみたい」と回答した方が2割弱でした。

「荒川区スポーツ協会」について、「活動内容について知っている」の回答割合は 5.3%、「名前は聞いたことがある」の回答割合は 17.2%となりました。

「地域スポーツクラブ」について、「活動内容について知っている」の回答割合は 9.1%、「名前は聞いたことがある」の回答割合は 22.0%となりました。

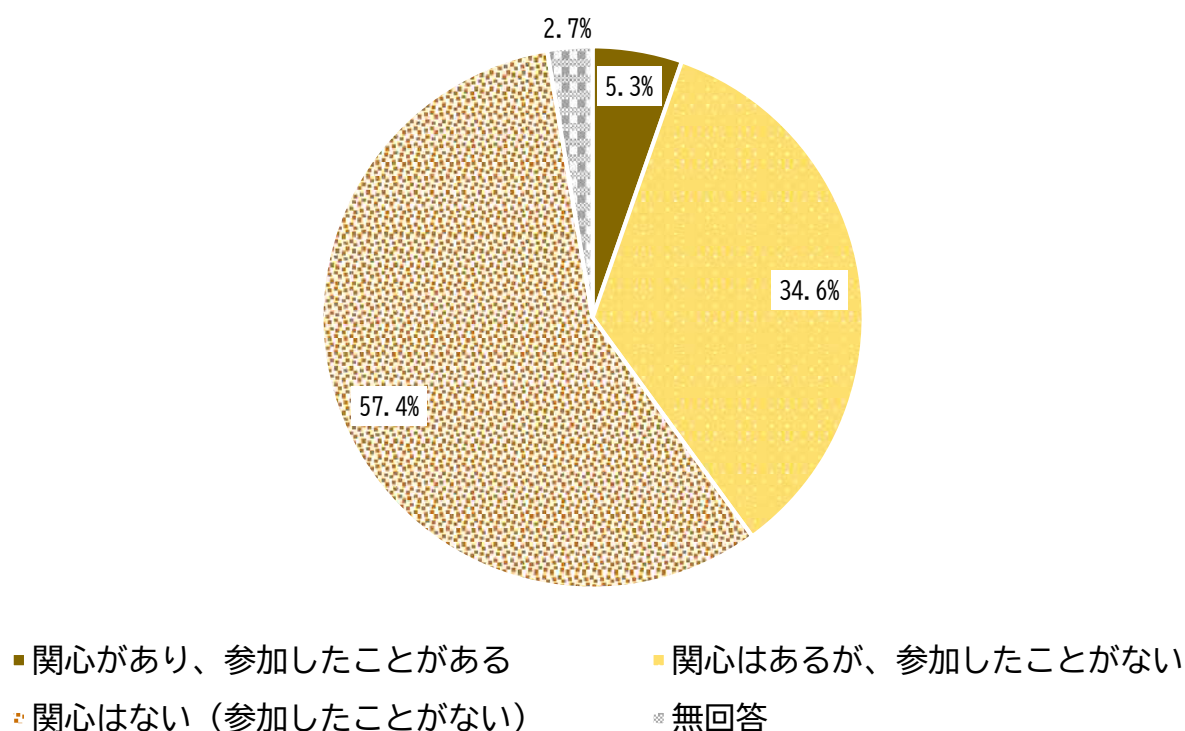
いずれのスポーツの担い手に関しても認知度は、3割前後となっていました。

④ パラスポーツについて（詳細は資料編 31～33 ページを参照ください。）

パラスポーツに関心や参加経験（応援や観覧も含む）について、「関心があり、参加したことがある」が 5.3%、「関心はあるが、参加したことがない」が 34.6%と“関心がある”は約 40%であり、令和 7（2025）年度までの目標値である 50%を下回りました（下図グラフ参照）。

“関心がある”回答者の中で、関心のある種目のうち最も回答割合が多かったのは、「車いすテニス」（46.5%）、次いで「ボッチャ」（46.1%）、車いすバスケットボール（45.0%）であり、いずれも 5 割弱となりました。

「関心はない（参加したことがない）」と回答した方の中で、パラスポーツに関心がない理由として最も多かったのは、「身近にパラスポーツに関わる人がいない（知らない）」で 4 割程度となりました。



⑤ 区立スポーツ施設の利用状況等について（詳細は資料編 34～37 ページを参照ください。）

区立スポーツ施設の利用状況について、いずれかの施設を利用したことがあると回答した方のなかでは、「荒川総合スポーツセンター」が最も多く、5 割程度でした。

区立スポーツ施設を利用している回答者の施設に対する満足度について、「満足している」、「まあ満足している」と回答した方は約 8 割でした。

一方で、不満があると回答した方について、その内容は、「利用可能な時間帯が限られている」、「施設内の設備・備品等が劣化又は不足している」がいずれも約 45%で最も多い回答でした。

今後区立スポーツに対して望むこととして、「身近な場所への施設の増加」（41.3%）の回答割合が最も多く、次いで「良好な衛生環境の維持」（29.1%）、「より一層の利用手続き、予約方法の簡素化」（22.6%）でした。

(2) 障がい者向け調査

本調査では、障害者手帳を持つ区内在住の 18 歳以上から、1,000 人の方を無作為に抽出してアンケートを実施し、302 件（30.2%）の方から回答を得たものです。

① 障がいの状況について（詳細は資料編 43～46 ページを参照ください。）

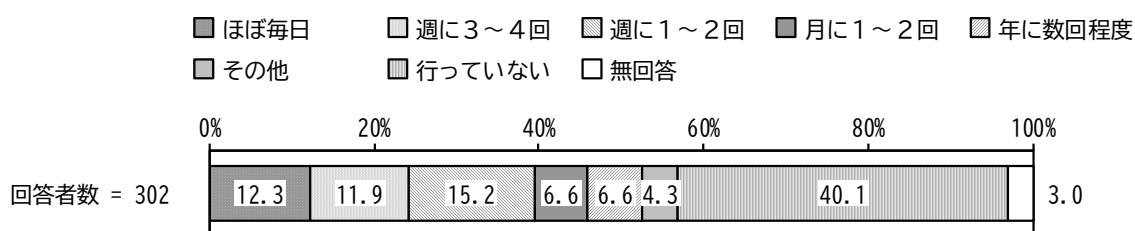
幸福で豊かな生活を送るうえで、スポーツ活動を必要であると回答している割合は 9 割弱、必要でないと回答している割合は 1 割程度でした。

持っている手帳については、「身体障害者手帳」の割合が 67.5%、「精神障害者保健福祉手帳」の割合が 23.2%、「愛の手帳」の割合が 19.2%でした。

② スポーツの実施状況について（詳細は資料編 47～70 ページを参照ください。）

<スポーツの実施頻度と満足度・スポーツを行わない理由>

日ごろスポーツや運動を行っている実施頻度について、「週に 1～2 回」の割合が 15.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が 12.3%、「週に 3～4 回」の割合が 11.9%でした。また、「行っていない」と回答した方の割合が約 40%でした（下棒グラフ参照）。この実施頻度について満足しているとの回答が 62.2%、満足していないとの回答が 25.0%となりました。スポーツや運動を「行っていない」あるいは実施頻度に「満足していない」という回答した理由を調査したところ、「体力や体調に不安がある」の割合が最も高く、36.0%でした。



<行っているスポーツ・今後やりたいスポーツ>

どのようなスポーツを行っているかについては、「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が 28.5%、「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」の割合が 12.2%でした。

また、今後やってみたいスポーツを調査したところ、「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が 20.5%、「水泳」の割合が 16.9%でした。

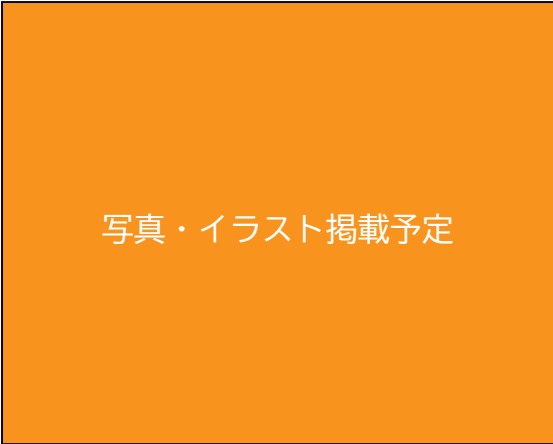
<障がい者のスポーツの活動活性化のために重要なこと>

障がい者のスポーツ活動をより活性化するために重要なことについては、「スポーツ施設までの移動手段の確保」の割合が最も高く、3 割程度となりました。

③ 区立スポーツ施設について（詳細は資料編 71～73 ページを参照ください。）

区立スポーツ施設の利用状況について、最も回答割合が多かったのは、「荒川総合スポーツセンター」で4割程度でした。また、いずれの施設も「利用したことがない」と回答した方も4割程度でした。区立スポーツ施設を利用していると回答した方の中では、7割弱が満足しているという結果になりました。

区立スポーツ施設に望むことについては、「利用手続き、予約方法の効率化、見直し」の割合が最も高く、2割程度でした。なお、区立スポーツ施設を利用するうえで最も困っていること、改善してほしいことについて、主な自由意見としては、「施設数の増加」、「施設までの移動手段の確保」、「職員・スタッフの接遇、指導力の向上」などが挙がりました。



写真・イラスト掲載予定

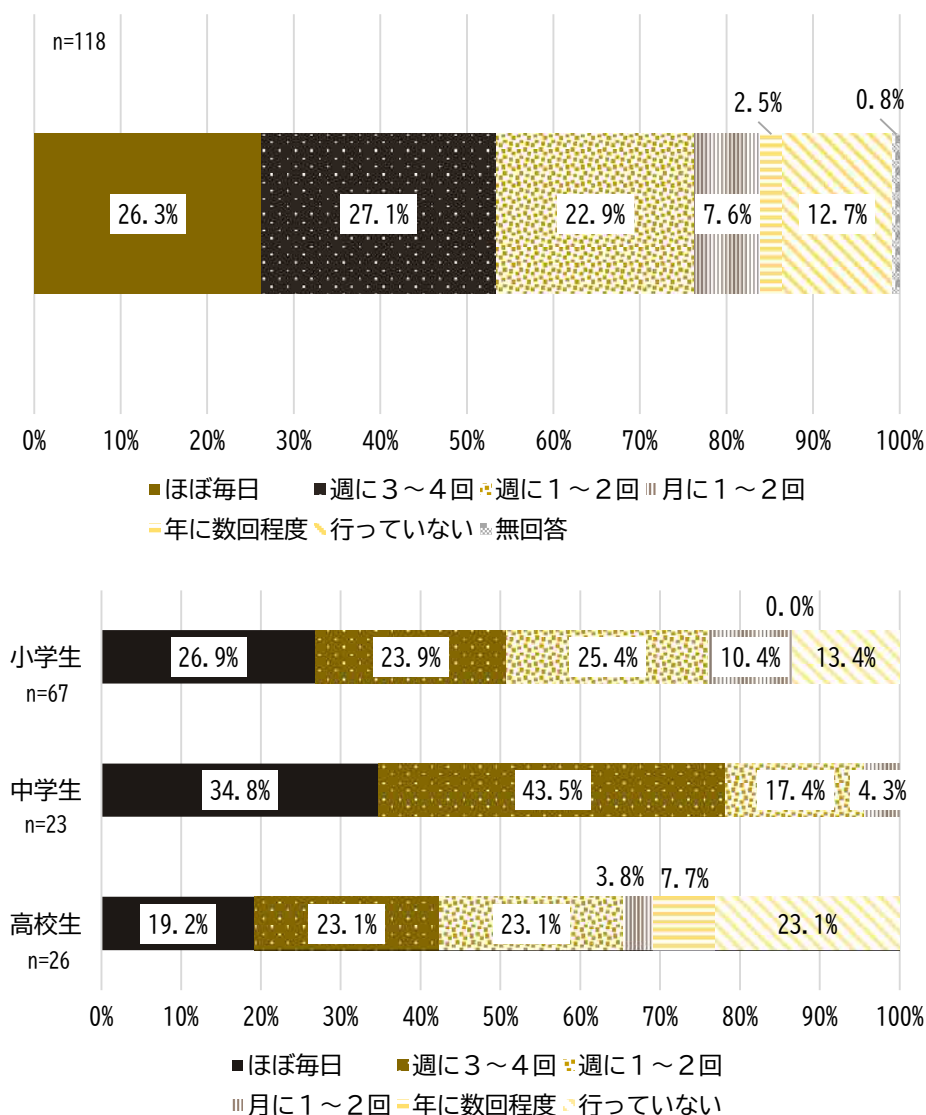
(3) 小学生・中学生・高校生向け調査

本調査は区内在住あるいは在学中の区立の小学校、中学校、区内の高等学校の学生を対象とし、各学校を通してアンケートへの回答を呼びかけ 118 件の回答を得たものです。

① スポーツの実施状況について（詳細は資料編 78～86 ページを参照ください。）

<スポーツ実施状況>

学校の体育の授業以外での、スポーツの実施状況については、「週に3～4回」と回答した方が 27.1%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」と回答した方が 26.3%でした。学年別に見ると、中学生の中で「行っていない」と回答した方はいませんでした（下棒グラフ参照）。



<行っているスポーツ・今後やりたいスポーツ>

「行っているスポーツ」について、小学生の回答割合が最も多かったのは「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」(37.9%)、次いで「水泳」(29.3%)、「サッカー、フットサル」(20.7%)でした。

中学生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(26.1%)、次いで「筋力トレーニング」(21.7%)、「サッカー、フットサル」(13.0%)でした。

高校生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(25.0%)、次いで「サッカー、フットサル」、「テニス、ソフトテニス」、「バスケットボール(3on3を含む)」、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「自転車あそび」(いずれも15.0%)、「バレーボール」、「体操(軽い体操・ラジオ体操など)」(いずれも10.0%)でした。

「今後やりたいスポーツ」について、小学生の回答割合で最も高かったのは、「卓球」(25.4%)、次いで「バドミントン」、「ボウリング」(いずれも22.4%)、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「釣り」(いずれも19.4%)でした。

中学生の回答割合で最も高かったのは、「テニス、ソフトテニス」(34.8%)、次いで「バドミントン」、「eスポーツ」(いずれも26.1%)、「卓球」、「剣道、薙刀」(いずれも21.7%)でした。

高校生の回答割合で最も高かったのは、「釣り」(26.9%)、次いで「卓球」(19.2%)、「バスケットボール(3on3を含む)」、「筋力トレーニング」、「剣道、薙刀」、「弓道、アーチェリー」、「キャンプ」、「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」、「eスポーツ」(いずれも15.4%)でした。

<スポーツの実施場所>

「実施しているスポーツ」を行った場所について、最も回答割合が多かったのが、「学校の体育館・校庭」(42.7%)、次いで「広場や公園」(32.0%)、「スポーツセンターや南千住野球場などの区のスポーツ施設」(27.2%)でした。

<スポーツを行う理由・行わない理由>

「実施しているスポーツ」を行う理由について、「楽しみ」(51.5%)、次いで「健康・体力づくり」(48.5%)、「自分の技術力向上・能力の向上」(40.8%)でした。

一方、スポーツを「行っていない」と回答した方の中で最も割合が多かったのは、「特に理由はない」(33.3%)、次いで「その他」(面倒くさい、塾や受験勉強で忙しいなど)、「体力に自信がない」(いずれも26.7%)、「一緒に行く仲間がいない」(20.0%)が多くなりました。

スポーツや運動のクラブやサークルなどの所属の状況については、最も回答割合が多かったのは、「地域やクラブのサークル」(18.6%)、次いで「民間のスポーツクラブ」(11.0%)、「学校のサークル」(10.2%)が多くなりました。

② 区のスポーツ施設について (詳細は資料編 87～90 ページを参照ください。)

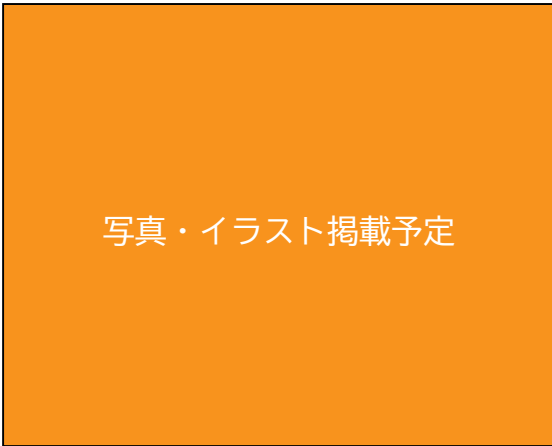
区立スポーツ施設の利用状況について、いずれかの施設を利用したことがあると回答した方のなかで、最も回答割合が多かったのは、「荒川総合スポーツセンター」(65.3%)でした。

区立スポーツ施設を利用していると回答した方の中では、9割程度が満足をしているとの回答でした。

荒川区にないスポーツ施設で、「あったらいいなと思うスポーツ施設」に関しては、小学生で最も回答割合が高いのは「ボウリング場」、「その他」（いずれも 26.9%）、次いで「スケートボード場」、「ドローンを飛ばすことができる施設」（いずれも 23.9%）、「ダイビングプール」、「壁打ちができる場所」（いずれも 22.4%）でした。

中学生で最も回答割合が高いのは「e スポーツができる施設」、「ボウリング場」（いずれも 26.1%）、次いで「クライミングのできる壁」、「400m の陸上トラック&フィールド」、「アーチェリー場」（いずれも 21.7%）、「バッティングセンター」、「壁打ちができる場所」、「その他」（いずれも 17.4%）でした。

高校生で最も回答割合が高いのは「e スポーツができる施設」（30.8%）、次いで「アーチェリー場」、「その他」（いずれも 15.4%）、「クライミングのできる壁」、「400m の陸上トラック&フィールド」、「ドローンを飛ばすことができる施設」、「壁打ちができる場所」、「ボウリング場」（いずれも 11.5%）でした。

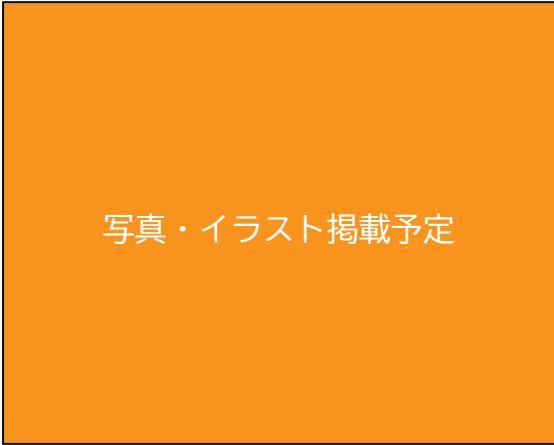


写真・イラスト掲載予定

4 荒川区内の主なスポーツ団体へのヒアリング

本プランの策定にあたり、荒川区スポーツ協会、荒川区スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、東京都障害者スポーツ指導員協議会荒川等のスポーツ関連団体にも、区民のスポーツ活動を支える担い手として、ヒアリングを実施しました。

その結果、各団体の活動をけん引する役員等の高齢化に伴う将来的な担い手の確保や、実施事業等への区民の興味・関心の向上について、各団体が共通して課題として捉えていることがわかりました。



写真・イラスト掲載予定

5 解決すべき課題

本章「2 スポーツ推進プランの取組状況」、「3 荒川区スポーツ意識調査の結果」を踏まえ、本区の今後のスポーツの推進に向けて、優先的に取り組むべき重要課題として大きく以下の3点に整理します。

課題1：スポーツへの参加機会の拡大と多様なニーズへの対応

区民全体のスポーツ実施率は一定向上しているものの、子育て世代や働き盛り世代など忙しく時間がない方や、障がいのある方など、それぞれのスポーツに取り組む主体に応じて運動機会を提供し、さらにスポーツを通じて健康増進を図るにあたっては、まだ改善の余地があります。また、スポーツイベント等の情報発信力の強化と、パラスポーツへの物理的・精神的バリアの解消等の取組が必要です。

課題2：地域コミュニティにおけるスポーツの活用とスポーツを支える人材の育成

スポーツは、地域活性化を促進する有力なツールとなりますが、地域活動の担い手の高齢化や、スポーツ団体・地域スポーツクラブの認知度の低さといった課題が見られます。特に子どもたちや障がいのある方のスポーツ活動には、それらを支えるスポーツボランティアの存在が必要不可欠であり、スポーツを通じて人々のつながりを深め、地域の活力を高めるためには、新たな担い手の確保と育成、そして活動支援が不可欠です。

課題3：スポーツ環境の充実と利便性の向上

区立スポーツ施設に対して、老朽化解消やより身近な場所への施設整備、障がい者の利用環境向上、そして誰もがスポーツ施設を利用しやすくするための利用方法の改善などが求められています。また、多様化するスポーツニーズへの対応や多忙でスポーツ施設を利用できない方へのスポーツ環境の提供も課題となっています。

本プランでは、荒川区のスポーツを将来にわたって発展させていくために、これらの課題解決に向けた方策を検討し、戦略的に各施策を実施します。



写真・イラスト掲載予定

第 3 章

スポーツ推進プランの

概要

第3章 スポーツ推進プランの概要

1 基本理念と基本目標

(1) 基本理念

スポーツへのアプローチ方法としては、「する」・「みる」・「支える」といった方法があり、荒川区ではこの3点をアプローチの視点としてスポーツ施策に取り組んできました。

本スポーツ推進プランの策定にあたっては、この3つのアプローチ方法に加えて、全ての区民が、様々な形でスポーツに関わり、その恩恵を享受できる社会を目指します。区民がスポーツを通じて、個々に心身ともに健康で充実した人生を送るとともに、人と人がつながり、また人と地域がつながることで、荒川区全体が活性化し、その先に荒川区の明るい未来が創出されるよう、本プランの基本理念を次のとおり定めます。

基本理念

すべての区民が 身近な地域でスポーツに親しみ
スポーツで 人が 地域が つながり
荒川区の 明るい未来を 創る

(2) 基本目標

今期のプランにおいては、前章の課題を踏まえ、基本理念の実現に向けて達成すべき3つの基本目標を下記のとおり設定します。これらの目標は、区民のスポーツニーズの多様化に対応するとともに、スポーツが持つ多面的な価値を最大限に引き出すことを目指します。

基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

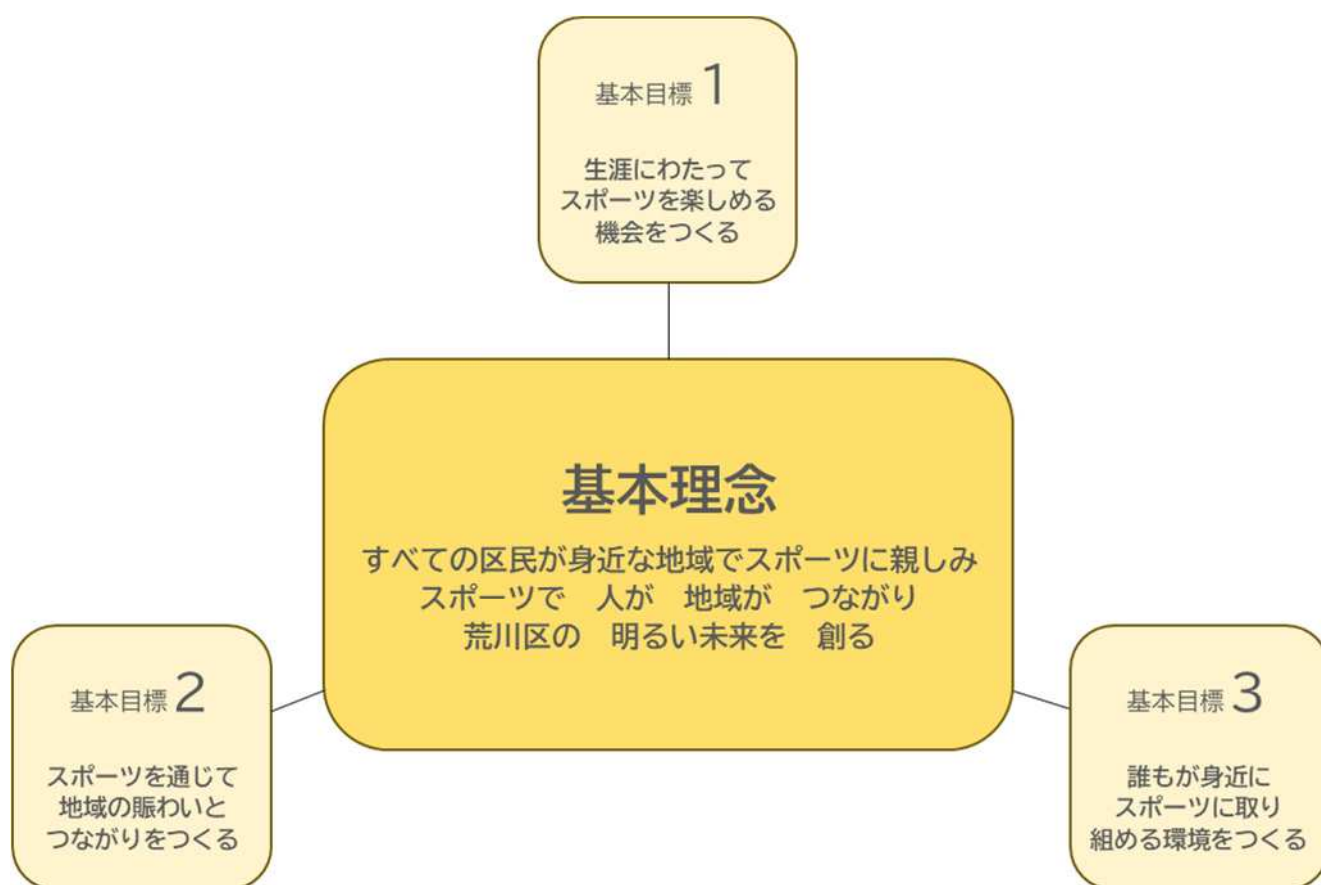
子どもから高齢者まで、障がいの有無等にかかわらず、誰もが自分に合ったスポーツに親しむことができ、様々なスポーツニーズに対応したスポーツ活動の機会と場の充実を図ります。区民にスポーツのある生活を提供し、生涯にわたる運動習慣の定着を促進します。

基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

スポーツを「する」人、スポーツ大会を「みる」人、ボランティアなどでスポーツを「支える」人、そして、様々な形でスポーツを「応援する人」、こうした多様な人々が集まることで、その場所に新たな賑わいが生まれます。スポーツを通じて区民同士の新たなつながりを生み出し、地域の賑わいを創出できるよう、団体支援や仲間づくり支援などの施策に取り組めます。

基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

誰もが身近な場所で気軽にスポーツに取り組めるよう、既存の施設のバリアフリー化や施設・設備の充実を図るとともに、スポーツ施設の地域バランスを考慮した新規施設の整備にも取り組めます。また、アーバンスポーツやeスポーツなど、近年多様化するスポーツニーズの動向を注視し、適切なスポーツ環境を提供できるよう対応していきます。



＜荒川区スポーツ推進プラン施策体系＞ ★…重点プロジェクト

基本目標 1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

施策 1 子ども達のスポーツ活動を充実する ★

スポーツに触れる・スポーツを楽しむ
学校におけるスポーツ活動を充実する
運動能力を伸ばす
チャレンジを応援する

施策 2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす

運動をするきっかけをつくる
健康を考える
スポーツで生活満足度を高める

施策 3 スポーツで高齢者の健康増進といきがいづくりを応援する

運動習慣の定着を支援する
楽しみながら体を動かす
フレイルを予防する

施策 4 障がい者のスポーツ活動を推進する ★

パラスポーツへの距離を縮める
障がいへの理解を深める
スポーツを通じてつながる
運動習慣の定着と運動機能の向上を支援する

基本目標 2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

施策 1 地域のスポーツ団体を支援する ★

活動環境の整備と認知度の向上を図る

施策 2 トップアスリートと連携する

アスリートにより競技力向上を図る
アスリートへの応援等を通じてまちの賑わいを創出する

施策 3 仲間づくりを応援する ★

集う場・機会を提供する
クラブやサークルの活動を支援する

施策 4 スポーツで交流を推進する

日常の交流の場を設ける
競技を通して交流する
国内・国際交流を促進する
事業者のスポーツ活動を推進する

基本目標 3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

施策 1 スポーツ環境を充実する ★

スポーツ施設を整備する
その他のスポーツ環境を整備する

施策 2 障がい者のスポーツ環境を整える

スポーツ施設の利用環境を向上する

施策 3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報発信を強化する

スポーツ施設の稼働率を上げる
酷暑下におけるスポーツ施設利用の適正化を図る
スポーツに関する情報発信を強化する

2 達成指標一覧

スポーツ推進プランに基づく取組の進捗状況を管理するため、基本目標ごとに達成度を確認するための指標を設定します。なお、現状値は令和 7 (2025) 年度現在の実績値、目標値は令和 12 (2030) 年度の目標値になります。

(1) 基本目標 1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

【指標】スポーツ実施率（全施策）

スポーツ実施率に関しては、基本目標 1 の各施策で対象とする属性ごとの進捗状況を管理するために、属性別¹に指標を設定します。

指標		現状値	目標値
子どものスポーツ実施率（週 1 回以上スポーツをしている）		76.3%	80%
	小中学生	81.1%	85%
	高校生	65.4%	75%
大人のスポーツ実施率（週 1 回以上スポーツをしている）		54.5%	70%
	子育て世代（中学生以下の子どもがいる世帯）	53.9%	70%
	働き盛り（25～64 歳）	50.7%	70%
	高齢者（前期）（65 歳～74 歳）	54.7%	70%
	高齢者（後期）（74 歳～）	68.1%	70%
障がい者のスポーツ実施率（週 1 回以上スポーツをしている）		39.4%	50%

【指標】パラスポーツへの関心（施策 3）

※関連：基本目標 3—施策 2 障がい者のスポーツ環境を整える

障がいのある方のスポーツ活動を推進するとともに、障がいの有無にかかわらず、パラスポーツを通じた障がいへの理解を促進します。

指標	現状値	目標値
大人のパラスポーツへの関心度	39.9%	80%

¹ 属性は、厚生労働省が作成した「健康日本 21（第一次）」の年齢区分を参考に、今回実施した各種調査の結果を年齢層でクロス集計を行い抽出しています。

(2) 基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

【指標】スポーツボランティアに関する関心（施策1）

区のスポーツ活動推進のけん引役であるスポーツ推進委員やスポーツ協会をはじめとするスポーツボランティアへの関心を高め、持続可能な推進体制の確立を目指します。

指標	現状値	目標値
スポーツボランティアに関する関心	33.6%	50%

【指標】クラブやサークルへの所属状況（施策3）

スポーツを通じて、人と人がつながり、人と地域がつながることで「元気なまち・あらかわ」の実現にもつなげていきます。

指標	現状値	目標値
大人のスポーツや運動のクラブやサークルなどに所属している割合	19.8%	25%
障がい者のスポーツや運動のクラブやサークルなどに所属している割合	11.0%	15%
子どものクラブやサークルなどに所属している割合	44.1%	50%

(3) 基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

【指標】スポーツ施設の整備状況（施策1）

区民のスポーツ活動の基盤として、区民一人ひとりの身近な場所にスポーツ施設のある環境を整えるとともに、安全で快適に利用できるよう内容の充実を図ります。

指標	現状	目標
あらかわ遊園スポーツハウスの大規模改修	改修中	整備完了（令和9(2027)年度）
南千住野球場、荒川遊園運動場の照明LED化	計画中	整備完了（令和9(2027)年度）
東尾久運動場多目的広場のレベルアップ	計画中	整備完了（令和10(2028)年度）
三河島北アリーナの整備	計画中	整備完了（令和12(2030)年度）

【指標】区立施設の利用状況（施策3）

区民共通の財産であるスポーツ施設が有効に活用され、区民のスポーツ活動の場として機能するよう、ハード・ソフト両面からレベルアップを図ります。

指標	現状値	目標値
大人の区立スポーツ施設を利用したことがある割合	59.3%	65%
障がい者の区立スポーツ施設を利用したことがある割合	49.3%	55%
子どもの区立スポーツ施設を利用したことがある割合	72.9%	80%

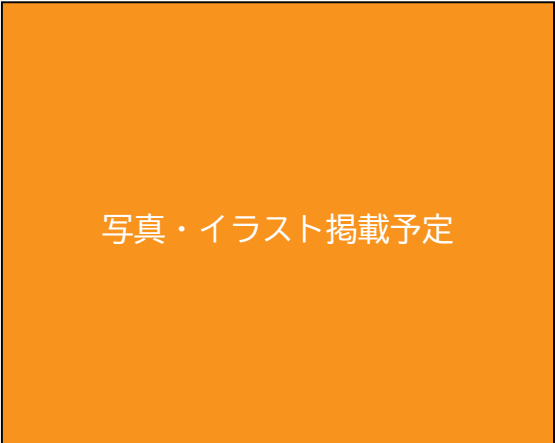
（4）スポーツ推進プラン全体

【指標】区等主催のスポーツイベントへの参加割合

様々な方を対象に実施している区やスポーツ協会主催のスポーツイベントについて、情報発信を強化し、区民の皆様に広く周知するとともに、スポーツイベントが区民のスポーツ習慣定着のきっかけとなるよう、参加しやすく、楽しいイベントを開催していきます。

指標	現状値	目標値
区やスポーツ協会主催のスポーツイベントへの参加割合	8.8%	15%

写真・イラスト掲載予定

A large orange square with a thin black border, centered on the page. It serves as a placeholder for a photograph or illustration.

写真・イラスト掲載予定

第 4 章

基本目標ごとの取組

第4章 基本目標ごとの取組

1 基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

(1) 施策1 子どもたちのスポーツ活動を充実する(★重点プロジェクト)

子どもの頃からスポーツに触れ、親しむことができる環境を整備し、生涯を通じたスポーツ習慣を身に付ける第一歩となる取組を実施していきます。子どもたちが多くの時間を過ごす幼稚園や保育園、学校でのスポーツ活動の充実や、「もっと運動やスポーツがしたい」と思う子どもたちの運動能力向上、全国大会や国際大会などへのチャレンジ精神を持ってスポーツに取り組む子どもたちの応援など、幅広く子どもたちのスポーツ活動の充実を図ります。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツに触れる・スポーツを楽しむ	
ニュースポーツ・パラスポーツの促進	誰もが気軽に取り組めるボッチャ等のパラスポーツやモルック等のニュースポーツの体験会等により、スポーツの楽しさを再認識してもらう機会を提供します。
放課後子ども総合プラン（にこにこすくーる）	学校施設などで児童の安全な放課後の居場所を作るとともに、地域の参加・協力を得て、遊び、スポーツ、文化活動等の様々なプログラムを実施します。
幼稚園や保育園での運動遊びの実施	子どもたちの心身の成長や社会性の発達のために、幼稚園や保育園において楽しみながら身体を動かせる運動遊びの機会を設けます。
親子で体力アップ	スポーツ協会による、親子で楽しみながら身体を動かせる運動会形式のスポーツイベントを実施します。
区施設での子どもの遊び場の提供	ふれあい館やひろば館、文化施設やスポーツ施設などにおいて、猛暑日でも子どもたちが安心・安全に遊べる場所を提供します。
●学校におけるスポーツ活動を充実する	
部活動地域展開の推進	将来的な部活動の地域展開に向けて、令和7(2025)年度にモデル校1校で開始した地域連携モデル事業について、検証を行いながら対象校や種目等の拡大を図ります。
小学校地区連合運動会、中学校連合体育大会	区内4地区ごとに小学6年生を対象に地区別連合運動会を実施するとともに、各中学校で選抜した選手による連合体育大会（陸上競技大会）を実施します。
体育授業のレベルアップ	体育・スポーツをテーマとする研究指定校事業において、学習指導等のあり方について調査研究が行い、体育授業のレベルアップを図ります。

取組	内容
●運動能力を伸ばす	
スポーツ施設における子ども向け教室	スポーツセンター、スポーツハウス、新設予定の三河島北アリーナにおいて、多彩なメニューの子ども向けスポーツ教室を展開します。
子どもスポーツパワーアップ	スポーツを通じて子どもたちが豊かな心を育み、レベルの高い指導を受けることのできる事業を実施する団体等を支援します。
鉄人レース・イン・汐入	南千住スポーツクラブが主催する小学生対象のアクアスロン(水泳とランニング) 大会の実施を支援します。
●チャレンジを応援する	
アスリートによるレベルアップ塾	トップアスリートの指導により、レベルアップを図るとともに、アスリートを目指す子どもたちのモチベーションを醸成します。
スポーツ協会によるジュニア育成事業	スポーツ協会の各競技団体による子どもたちの競技力の向上を目的とした練習会や大会等を実施します。
わんぱく相撲荒川区大会	東京青年会議所荒川区委員会等で構成する実行委員会が実施する小学生等の相撲大会の開催を支援します。
スポーツ活動支援(全国大会・国際大会等出場)	全国大会や国際大会へ出場する個人又は団体に対し、交通費、宿泊費等の必要経費を助成します。
スポーツ活動への教育委員会褒賞	スポーツ大会等で優秀な成績を収めた児童、生徒等に対し、今後の一層の励みとなるよう、教育委員会が褒賞します。

(2) 施策2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす

仕事や子育てに多忙でなかなか運動をする機会を設けることができない働き盛り世代や子育て世代について、運動をするきっかけをつくり、まずは体を動かしてもらう取組や、自身の健康を振り返り、改善につなげてもらう機会の提供、生活の中にスポーツを位置づけ、生活満足度の向上を実感してもらう取組などを総合的に実施していきます。

<主な取組>

取組	内容
●運動をするきっかけをつくる	
あらかわ秋のスポーツイベント	各種スポーツ教室や体力テストの実施等により、スポーツと触れ合う機会を提供するとともに、区内スポーツ施設を無料開放し、気軽にスポーツに参加できる場を提供します。
区民ウォーキング	区近郊の名所などを巡る、幅広い年齢層が参加できるウォーキングイベントを実施します。
託児付スポーツイベントの実施	スポーツ協会主催のストレッチやヨガ、ピラティスなどが体験できる「たまには運動しませんか」など、子育て世代をターゲットにした託児付のスポーツイベントを実施します。
ひとりでも参加しやすいスポーツイベントの実施	单身独居の大人が、気兼ねなくスポーツに親しめるよう、ひとりでも参加しやすいスポーツイベントを企画していきます。
●健康を考える	
健康づくり支援事業（あらかわNo!メタボチャレンジ事業）	無理なく継続できる運動習慣の獲得に向けて、参加する仲間と助け合いながら、健康に関する講座と実技を組み合わせたプログラムを実施します。
糖尿病対策推進事業	糖尿病の予防を目的とした情報発信や、講演会を開催するとともに、医療機関と連携した糖尿病栄養相談を実施します。
健康づくり支援事業（健康ポイントアプリ）	ウォーキングの歩数や様々な健康行動に応じてポイントを付与する健康ポイントアプリを運営します。健康無関心層の行動変容を促します。
健康経営事業所の顕彰（健康づくり推進事業所表彰）	従業員の運動機会増進の取組を含む健康管理の維持・増進のための取組を実施している中小企業等に対し、顕彰することにより、事業所のイメージ向上、人材確保・定着につなげる取組を実施していきます。

取組	内容
●スポーツで生活満足度を高める	
荒川リバーサイドマラソン	親子で参加できるふれあいの部や、障がいのある方の伴走支援など、働き盛り・子育て世代も含め誰もが参加しやすい温かみのある大会を実施します。
区民スポーツ大会	スポーツ協会加盟競技団体の運営で、様々な競技大会が開催されています。区民のスポーツ活動の成果を発揮する場であるとともに、区民相互の交流を場ともなっています。
スポーツ活動支援（国際大会出場）＜再掲＞	スポーツの国際大会に参加する個人又はスポーツ団体に対し、交通費、宿泊費等の必要経費を助成します。
スポクラ EKIDEN in しおiri	南千住スポーツクラブが主催する都立汐入公園を会場とした駅伝大会の実施を支援します。

コラム

＜生活活動＞

厚生労働省が、身体活動・運動分野の取組をさらに推進するために策定した「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」によると、定量的な推奨事項だけでなく、「個人差を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組む」といった定性的な推奨事項を含むものとし、身体活動の中に、日常生活における家事・労働・通勤・通学などに伴う活動を「生活活動」として位置づけている。

（出典：厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/content/001194020.pdf>）

● 家事による消費カロリーと歩数換算（目安）

（体重 60 kgの人が、10 分間行った場合）

家事の内容	消費カロリー	歩数換算
アイロンがけ	19 kcal	600 歩
洗濯物を干す	21 kcal	667 歩
立って食事の支度をする	21 kcal	667 歩
こどもと座りながら遊ぶ	23 kcal	733 歩
植物への水やり	26 kcal	833 歩
立ってペットと遊ぶ	29 kcal	933 歩
掃除機をかける	35 kcal	1,100 歩
風呂掃除	37 kcal	1,167 歩

（出典：東京都保健医療局ホームページ

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/kensui/undou/katsudou.html>）

(3) 施策3 スポーツで高齢者の健康増進と生きがいづくりを応援する

高齢者が無理なく運動やスポーツに取り組むことで、健康増進を図るとともに、外出や人と交流する機会を増やし、日々の生活の充実につなげます。日常的な運動習慣の定着や、楽しみながら体を動かせるような事業の実施、要介護状態へとつながるフレイルを予防するための取組などを推進します。

<主な取組>

取組	内容
●運動習慣の定着を支援する	
ラジオ体操の振興	中央大会の実施や町会・PTA等のリーダーを対象に指導者養成講習会を開催し、区民のラジオ体操の振興を図ります。
スポーツ施設の個人利用支援	日常的に気軽に運動に取り組めるよう、スポーツセンターやスポーツハウスのプール、トレーニングルーム等の個人利用料について区内在住・在勤・在学の65歳以上の方を対象に免除します。
スポーツ施設におけるシニア向け教室	スポーツセンター、スポーツハウスなどで、運動不足解消や身体の機能改善、フレイル予防を図る教室を実施します。
●楽しみながら体を動かす	
高齢者クラブにおけるスポーツ活動支援	グラウンドゴルフやパタンクなどの高齢者クラブにおけるスポーツ活動を支援します。
区民ウォーキング<再掲>	区近郊の名所などを巡る、幅広い年齢層が参加できるウォーキングイベントを実施します。
スポーツ協会によるシニア向け練習会等の実施	スポーツ協会の競技団体によるシニアのスポーツ参加を目的とした練習会や大会等を実施します。
eスポーツの活用	スポーツ施設などにおいて、従来のスポーツだけでなく、eスポーツを行える環境を整備し、運動機能維持や認知症予防につながるような教室・イベントを実施します。
スポーツ活動等への区功労者表彰	スポーツ活動を含め、区の振興・発展に特に功労があった方々に対して、区として感謝と敬意を表します。
●フレイルを予防する	
荒川区健康づくり体操（ころばん、せらばん、あらみん体操）	フレイル予防（身体・精神心理・社会的の3フレイル）を目的に荒川ころばん体操会場を運営していきます。体操リーダー養成講座を開催するなど持続可能な運営を支援します。
荒川ばん座位体操	下半身が不自由な方でも取り組める「荒川ばん座位体操」を高齢者施設等でも普及していきます。
ふれあい絆・活サロンの支援	「ふれあい絆・活サロン」は、高齢者や地域住民が気軽に通える交流の場であり、運動や脳トレなど様々なプログラムが提供されており、閉じこもり予防、介護予防等の支援を行います。

(4) 施策4 障がい者のスポーツ活動を推進する(★重点プロジェクト)

障がいのある方が自主的かつ積極的にスポーツに取り組むことができ、スポーツを通じて社会との関わりが深まるよう、共生社会の実現を目指します。障がいのある人もない人も共に楽しめるパラスポーツをより身近なものにする取組、パラスポーツを通じた障がいへの理解促進、障がい者のスポーツでの活躍の場の創出、障がい者の運動習慣の定着による運動機能の向上などを推進します。

<主な取組>

取組	内容
●パラスポーツへの距離を縮める	
パラスポーツフェスティバル	区民にパラスポーツの認知度を高め、その魅力を実感してもらえるよう、パラスポーツの体験・紹介や展示等のイベントを行います。
ニュースポーツ・パラスポーツの促進<再掲>	ボッチャ等のパラスポーツやモルック等のニュースポーツの体験会等を通じて、障がいのない方でも楽しめるパラスポーツへの理解を深めます。
パラスポーツ教室	「あらかわ秋のスポーツイベント」の一環としてボッチャ、車いすバスケ、5人制サッカーなどの教室を実施します。
●障がいへの理解を深める	
パラスポーツサポーター・初級パラスポーツ指導員の養成	区独自の認証制度「パラスポーツサポーター」は、パラスポーツや障がいについての講習会やパラスポーツの実技体験を行い、受講後はボランティアとして活躍いただきます。 また、次のステップとして、文京区・台東区・北区と合同で、公的資格である初級パラスポーツ指導員資格取得のための講習会も実施します。
障害者福社会館における交流講座等	障がいがある人となない人との交流講座やスポーツ活動により相互交流を促進し、理解を深めます。
パラリンピック・デフリンピック等の機運醸成	パラリンピックやデフリンピック、アジア大会などの国際大会開催に際して、荒川区ゆかりの選手を応援するなど機運を醸成し、障がいのある方への理解促進を図ります。
●スポーツを通じてつながる	
フットサル交流大会「あらかわ杯」	知的障がい児・者を対象に、普段の練習の成果を発揮する場として、フットサル交流大会を実施します。
荒川リバーサイドマラソン<再掲>	障がいのある方でも参加できるよう、必要がある方には伴走支援を実施します。
「ハートフル運動会」支援	様々な障がいを有する方が運動に取り組み、交流する場として、区心身障害児者福祉連合会主催の障害者大運動会「ハートフル運動会」の運営を支援します。

取組	内容
●運動習慣の定着と運動機能の向上を支援する	
スポーツ施設の利用支援	スポーツセンターやスポーツハウスのプール、トレーニングルーム等の個人利用料について各障がい者手帳保持者と介助者 1 名を対象に免除するとともに、障がい者の属する団体がパラスポーツで屋内スポーツ施設を利用する場合、区内団体料金の半額を減額します。
スポーツ施設における障がい者向け教室	スポーツセンター、スポーツハウスなどで、知的障がい、身体障がいを問わず、障がい者向け体操教室を実施します。
荒川ばん座位体操 ＜再掲＞	自発的に手足を動かすことができない方も、介助者と一緒にできる「荒川ばん座位体操」をアクロスあらかわやふれあい館等で実施します。
e スポーツの活用	スポーツ施設などにおいて、従来のスポーツだけでなく、e スポーツを行える環境を整備し、運動機能に制約がある方も体を動かし、また運動機能維持につながるような教室・イベントを実施します。

コラム

＜障害者スポーツとパラスポーツ＞

日本障がい者スポーツ協会（現日本パラスポーツ協会）が、令和 3（2021）年に発表した「2030 年ビジョン」において、従来「障害者スポーツ」としていた表記を「パラスポーツ」に変更を行った。

協会の説明によると、この変更は「『障がいのある人もない人も共に実践して楽しめるスポーツとして発展していく可能性を秘めているスポーツ』という障がい者スポーツの将来性等について、『パラスポーツ』という表現を通じてこれまで以上に理解・浸透を図っていくことを目指したものである」としている。

（出典：令和 3（2021）年 3 月 16 日 日本障がい者スポーツ協会(JPSA)「2030 年ビジョン」より）

2 基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

(1) 施策1 地域のスポーツ団体を支援する(★重点プロジェクト)

競技種目を横断的に統括し、区全体のスポーツ振興を推進する荒川区スポーツ協会や、区民とスポーツとを繋ぐコーディネーターとして区民の生涯スポーツ推進のけん引役であるスポーツ推進委員をはじめ、荒川区のスポーツ活動にとって必要不可欠な地域のスポーツ団体を支援していきます。

<主な取組>

取組	内容
●活動環境の整備と認知度の向上を図る	
スポーツ協会活動支援	荒川区スポーツ協会の運営について区が支援し、区の安定的なスポーツ振興を図ります。また、荒川区スポーツ協会と連携して、スポーツ指導者の養成・発掘に関する周知活動などに協力していきます。
スポーツ推進委員活動	委員がより活動しやすい環境整備を図るとともに、活動から得られる達成感など委員の魅力について区報や Youtube などの媒体を活用しながらPRを強化し、新たな人材確保につなげていきます。
総合型地域スポーツクラブ設立支援	区内で2番目のクラブ設立に向けた、調査・研究・試行等のための活動を支援します。

写真・イラスト掲載予定

(2) 施策2 トップアスリートと連携する

各競技で活躍する現役アスリートや、第一線を退いた元アスリートは高度な技術力を有しているとともに、高い知名度と影響力を有していることから、子どもたちをはじめとして質の高い指導を受けることや、スポーツイベント等への集客が見込めます。また、人気の高いスポーツの公式試合や大会等を誘致し、多くの区民がスポーツを応援をすることにより、まちの賑わいにつなげることも期待でき、今後、様々な連携を図っていきます。

<主な取組>

取組	内容
●アスリートの指導により競技力向上を図る	
アスリートによるレベルアップ塾<再掲>	トップアスリートの指導により、レベルアップを図るとともに、アスリートを目指す子どもたちのモチベーションを醸成します。
スポーツ施設におけるアスリート招聘イベント、教室等の実施	各スポーツ施設において、アスリートを招聘し、生の声を聴くことができるイベントやアスリートから直接指導を受けられる教室などを実施します。
●アスリートへの応援等を通じてまちの賑わいを創出する	
荒川区ゆかりのアスリートとの連携	区内在住、出身以外にも、これまで縁のあった方を荒川区ゆかりのアスリートとして、スポーツ指導やトークショー、試合の観戦機会創出など様々、連携した取組を実施していきます。
学生大会等への会場提供	新設する三河島北アリーナなどにおいて、公式試合や大会等に会場として貸与し、高いレベルのプレーを区民に身近に体験してもらう機会を提供していきます。

写真・イラスト掲載予定

(3) 施策3 仲間づくりを応援する(★重点プロジェクト)

スポーツが有する人と人をつなげ、人と地域をつなげる力を最大限発揮し、地域全体を活性化するため、基盤となる仲間づくりのきっかけとなる場や機会を提供するとともに、区民のスポーツクラブ・サークルの立ち上げや、立ち上げ後の活動の支援を行います。

<主な取組>

取組	内容
●集う場・機会を提供する	
スポーツひろば	平日夜間の学校体育館を主な会場として、身近な場所で区民がいろいろなスポーツに自由に参加できる場を提供します。スポーツを通じたコミュニティの拠点となっています。
「ハートフル運動会」支援<再掲>	様々な障がい有する方が運動に取り組み、交流する場として、区心身障害児者福祉連合会主催の障害者大運動会「ハートフル運動会」の運営を支援します。
●クラブやサークルの活動を支援する	
社会教育関係団体登録制度	区民の自主的なスポーツクラブやサークルについて、社会教育関係団体として登録することで、施設使用料減額などの優遇措置があります。令和7(2025)年10月現在で400を超える登録があります。
サークル活動の相談・支援	サークル活動に関する相談体制を構築するとともに、スポーツの仲間を見つけたい方を既存のサークルへつなげるなどの支援を行い、地域での仲間づくりを応援します。 また、スポーツ協会加盟の案内を行うなど、スポーツ協会の体制強化にもつなげていきます。

写真・イラスト掲載予定

(4) 施策4 スポーツで交流を推進する

スポーツ活動を通じて、区内だけでなく、友好交流都市をはじめとする他の都市を含め、多様な主体や場面、切り口で交流を図っていきます。また、区内事業者についてもスポーツ活動のパートナーとして積極的な取組を推進していきます。

<主な取組>

取組	内容
●日常の交流の場を設ける	
スポーツひろば<再掲>	平日夜間の学校体育館を主な会場として、身近な場所で区民がいろいろなスポーツに自由に参加できる場を提供します。スポーツを通じたコミュニティの拠点となっています。
区民ハイキング	実行委員会が主催するハイキング（春・夏・秋）の運営を支援し、自然にしみながら、区民の心身の健康増進を図るとともに、参加者同士の交流の場としていきます。
スポーツ推進委員活動<再掲>	スポーツ推進委員の活動を通じて、委員同士の団結や、事業への参加者との交流を図ります。
ふれあい館のスポーツ事業	乳幼児向けから高齢者向けまで、様々なスポーツ事業を通じて、あらゆる世代の交流を図ります。
●競技を通して交流する	
区民スポーツ大会<再掲>	スポーツ協会加盟競技団体の運営で、様々な競技大会が開催されています。区民のスポーツ活動の成果を発揮する場であるとともに、区民相互の交流の場ともなっています。
都民スポーツ大会等選手団派遣	代表選手派遣を支援するとともに、区代表選手団の結団式を開催し、区代表選手としての意識、団結力の向上を図ります。
城北五区親善大会	区の代表選手による親善試合を各区持ち回りで開催し、城北地区（北、荒川、板橋、豊島、練馬）のスポーツの振興と各区の親善、また、競技力の向上を図ります。
●国内・国際交流を促進する	
交流都市とのスポーツ交流事業	友好都市と荒川区のスポーツ団体との交流試合等を行い、スポーツを通じた交流を深めるとともに、荒川区のスポーツ団体の競技力の向上を図ります。
海外都市交流事業	スポーツや産業・観光・芸術文化などの広範な分野にわたる交流を深め、海外都市に対する区民の関心を高めるとともに、日本や荒川区の魅力を海外に伝え、相互理解を深めます。

取組	内容
●事業者のスポーツへの取組を推進する	
公衆浴場需要喚起対策補助事業（少年スポーツ大会応援事業）	東京都公衆浴場業生活衛生同業組合荒川支部が少年スポーツ大会等の参加者へ入浴券を配付する事業に対し、補助金を交付することにより、公衆浴場事業の振興及びスポーツによる交流を推進します。
スポーツ事業への協賛・ボランティア協力	荒川リバーサイドマラソンをはじめとする各種スポーツイベント等に対し、協賛やボランティアとしての協力を依頼し、区やスポーツ団体とともに事業者も一体となりスポーツを推進していきます。
健康経営に取り組む事業所の顕彰（再掲）	従業員の運動機会増進の取組を含む健康管理の維持・増進のための取組を実施している中小企業等に対し、顕彰することにより、事業所のイメージ向上、人材確保・定着に繋げる取組を実施していきます。

写真・イラスト掲載予定

3 基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

(1) 施策1 スポーツ環境を充実する(★重点プロジェクト)

区のスポーツ振興を図る上で、区民が身近な場所でスポーツに取り組める環境の整備が重要であり、スポーツ意識調査の結果からもスポーツ施設の整備を求める声が多く挙がっています。区内の地域バランスを考慮した施設整備を進めるとともに、利用環境の向上を図っていきます。また、例えば公園など、スポーツ施設以外でもスポーツのできる環境の整備にも努めていきます。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツ施設を整備する	
あらかわ遊園スポーツハウスの改修	老朽化した施設・設備を刷新するとともに、利用者動線の大幅な改善や大型エレベーターの新設などバリアフリー向上を図り、子ども、子育て世代、高齢者、障がいのある方も含めて、あらゆる区民の方が利用しやすいスポーツ施設として整備します。
三河島北アリーナの整備	区中央部にあるＪＲ三河島駅前の再開発区域内に多目的で利用できるアリーナを整備し、より多くの区民がスポーツに親しみやすい環境を整えます。また、クライミングウォールを設けるなどアーバンスポーツが実施できる環境も整備します。
東尾久運動場多目的広場のレベルアップ	利用環境の向上等を目的として、全面人工芝を敷設するとともに、スタンドベンチへの日除けの設置や夜間照明の新設を内容とする大幅なレベルアップ改修を実施していきます。
屋外スポーツ施設への夜間照明設備の整備	利用環境の向上と夏場の熱中症リスクの低減、省エネを目的として、区民運動場に新たに照明設備を設置する他、南千住野球場や荒川遊園運動場、荒川自然公園テニスコートについても今後、新たなＬＥＤランプへの交換を行い、照明機能の向上と環境負荷の低減を図ります。

取組	内容
●その他のスポーツ環境を整備する	
放課後子ども総合プラン （にこにこすくーる） ＜再掲＞	学校施設などで児童の安全な放課後の居場所を作るとともに、地域の参加・協力を得て、遊び、スポーツ、文化活動等の様々なプログラムを実施します。
ふれあい館の運営	乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代が交流し、区民の自主的な活動や地域コミュニティの拠点であり、スポーツ活動のできる多目的室も備えた「ふれあい館」でスポーツ関連の事業を実施していきます。
スポーツや運動もできる 公園の整備	スポーツ利用も視野に入れて公園を整備するとともに、ボール遊び場やフィットネス遊具の設置等、施設の新設や改修等の整備を行い、朝夕でも運動できる環境を提供します。
学校の施設貸し出し（校 庭、体育館）	教育活動に支障がない範囲において、校庭のほか体育館なども、地域のスポーツ活動やイベントなどで活用します。 さらに、今後の学校建替えを見据え、地域の皆様がより利用しやすい仕組みづくりや施設整備を検討していきます。
健康づくり普及啓発・環 境整備事業（あらかわウ ォーキングマップ）	区内おすすめのコースを、距離・歩数・時間・消費カロリー、健康情報と合わせて紹介する「荒川ウォーキングマップ」を作成し、区民の安全で快適なウォーキング環境を整備します。
歩行者中心の道路整備	老朽化した道路等の改修及び道路の無電柱化を推進したり、車道と歩道の段差を少なくしたりすることで、安全で快適な歩行環境を確保します。

写真・イラスト掲載予定

(2) 施策2 障がい者のスポーツ環境を整える

スポーツ施設におけるハード面、ソフト面のバリアを取り払い、障がい者が気兼ねなくスポーツを楽しめる環境を整える必要があります。そのためには、ハード面の整備を図るとともに、ソフト面を組み合わせた取組が非常に重要です。障がい者がスポーツに継続的に親しむことができるよう、推進していきます。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツ施設の利用環境を向上する	
スポーツセンターの障がい者利用環境の整備	令和元(2019)年度の大規模改修によりハード面でバリアフリーを向上するとともに、利用者により沿ったサービスを心掛けるなどソフト面でも継続的な取組を行った結果、令和5(2023)年に東京都及び東京都障害者スポーツ協会発行の「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」に事例として紹介されました。 現在、東京北卓球バレー同好会の定期的な活動場所となっている他、令和8(2026)年2月の東京都パラスポーツ次世代選手発掘プログラム競技体験会場として選定されるなど、障がい者の方が使いやすい施設として広く認知されてきています。 今後も利用者のご意見を参考にしながら、ハード・ソフトの両面からさらなるブラッシュアップに努めていきます。
あらかわ遊園スポーツハウスの改修 <再掲>	老朽化した施設・設備を刷新するとともに、バリアフリー向上を図り、子ども、子育て世代、高齢者、障がいのある方も含めて、あらゆる区民の方が利用しやすいスポーツ施設として整備します。 具体的には、大型エレベーター新設、段差解消、車いす利用者のプールへの入水を補助する入水ユニットや介助者の方とともに入室できる個室の更衣室の新設、バリアフリートイレの増設、車いすでも安全なバスケットゴールの設置など、様々な配慮を行っています。 改修後のソフト面についても、スポーツセンターにおける運営を参考としながら、障がいのある方でも利用しやすい運営を行います。

(3) 施策3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報発信を強化する

面積の小さい荒川区において、現状のスポーツ施設は非常に貴重な存在です。持てる資源を最大限有効活用し、施設の稼働率を高めていく工夫が必要です。また、近年、夏場の酷暑傾向が一層進行しており、酷暑下における屋外スポーツ施設の使用のあり方や屋内スポーツ施設の活用方法について検討していきます。またスポーツ施設の稼働率を高めるとともに、スポーツ事業等の情報発信を強化し、区民のスポーツ実施率向上に寄与します。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツ施設の稼働率を上げる	
屋外スポーツ施設利用対象者の拡大	屋外スポーツ施設は、土日・祝日について大会等でほぼ100パーセント稼働であるのに対し、平日の稼働率が低い状況です。こうした状況を改善するため、利用を区民（在住、在勤、在学）に限っている（西新井橋野球場では区民の大人に限っている）現状を変更し、平日に限り区外の方にも利用いただくとともに、各屋外スポーツ施設の利用状況を踏まえ、予約なしで自由に利用できる曜日や時間帯の設定を検討していきます。
スポーツ以外でのスポーツ施設の活用<再掲>	新設する三河島北アリーナでは、三河島駅前の立地を生かして、通常のスポーツ利用の他、集客力のある各種興行や見本市などの誘致を計画しており、まちの賑わいの創出にも寄与します。また、近年、ドローンの操作練習や競技会等での利用やテレビ番組のロケーションとしての利用に関する問い合わせも増えており、三河島北アリーナの新設を機にスポーツ施設の新たな活用方法を検討していきます。
スポーツ施設の予約・申し込み方法の簡素化	施設予約システムの更改において、事前手続き等について、可能な限りオンラインで対応できるよう改善を図っていきます。
●酷暑下におけるスポーツ施設利用の適正化を図る	
酷暑下におけるスポーツ施設の利用	夏場の酷暑傾向により、令和7(2025)年のスポーツ基本法改正でもスポーツ事故防止措置として気候変動への留意を国や地方自治体に義務付けています。スポーツ協会は、各加盟団体に熱中症対策物品の配付や貸出を実施しており、区としてもこれら貸出品の保管等に協力しているほか、各団体への注意喚起に努めています。また、熱中症特別警戒アラートが発令された際、屋外スポーツ施設の利用を一律禁止していますが、国や他自治体の動きを参考にしながら、区民の安全・安心に配慮した対応を行っていきます。一方、酷暑により屋外スポーツ施設の利用が縮小することにより、区民、特に子どもたちのスポーツ機会が減少することに備え、屋内スポーツ施設の活用方法についても改めて検討していきます。

●スポーツに関する情報発信を強化する

ターゲットに応じた情報
発信力の強化

区民のスポーツ活動を推進していくためには、区民が容易に入手することができ、分かりやすく、かつ、的確な情報の発信が必要不可欠です。スポーツイベントの開催情報や、クラブ・サークル活動に関する情報、施設の利用情報など、区民がスポーツに興味・関心を持ち、行動に移していただけるよう、ターゲットに応じて、様々な手段を活用したりするなど、必要な相手にしっかりと情報が届く発信力強化の方法を検討していきます。

地域で活動するスポーツ
団体の情報発信

スポーツを実施する人だけでなく、スポーツの担い手であるボランティアなどの従事者数を増やしていくために、活動から得られる達成感などボランティアの魅力について区報や Youtube などの媒体を活用しながらPRを強化し、地域で活動するスポーツ団体の情報発信を行っていきます。

荒川区ゆかりのアスリー
トとの連携（再掲）

区内在住、出身以外にも、これまで縁のあった方を荒川区ゆかりのアスリートなど情報発信力の協力をいただき、区民のスポーツへの関心を高めます。

写真・イラスト掲載予定

第 5 章

プラン推進に向けた 実施体制

第5章 プラン推進に向けた実施体制

本プランを実効性のあるものとするためには、区の関係部署が連携するだけでなく、プランを推進するための体制を構築するとともに、区民、スポーツ団体、教育機関、民間事業者などと連携することが不可欠です。これまで以上に、こうした多様な主体との連携を強化しながら、区民の皆様のスポーツへの参加を促進し、スポーツを通じた健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化、そして青少年の健全な育成を目指すとともに、区民の誰もがいきいきとスポーツに親しめる荒川区を実現していきます。

1 区民・団体・事業者等との連携

荒川区におけるスポーツの推進は、区だけで行うものではなく、区民の一人ひとりの主体的な参加と、地域で活動する様々な団体や事業者の協力があって初めて実現します。各主体がそれぞれの強みを生かし、相互に連携することで、より効果的かつ持続可能なスポーツ振興を図ります。

(1) スポーツ団体との連携

区民のスポーツ活動を支える中心的な役割を担っている荒川区スポーツ協会及び各加盟競技団体、スポーツ推進委員などが持つ専門的な知見や指導力、地域に根差したネットワークなどを最大限発揮できるよう、なお一層連携を強化し、協力関係を発展させていきます。

具体的には、区とスポーツ団体間で意見交換等を密にして目指すべき方向性を共有するとともに、それぞれの将来にわたる持続可能な運営体制の確立に向け、区としての支援のあり方を検討していきます。

また、社会教育関係団体は、令和7(2025)年10月現在で400を超える団体の登録があり、これ以外にもスポーツ協会に組織化されていないスポーツ種目に取り組む団体や、スポーツ協会に組織化されたスポーツ種目であってもスポーツ協会に加盟していない団体が多く存在しています。今後は区のスポーツ振興に向けて、これらの団体とどのように協力関係を構築していけるかが大きな課題であると考えます。

(2) 大学・研究機関等との連携

都立大学や都立産業技術高等専門学校といった大学等や、公益財団法人鉄道弘済会「義肢装具サポートセンター」のような専門研究機関が持つ学術的知見、研究成果、専門的な施設・人材は、区のスポーツ推進に大きな可能性をもたらします。

現在も保有施設の区民利用や事業実施などについて協力・連携しているところです。今後は、例えば学生のスポーツ推進委員への委嘱やイベント運営へのボランティア参画などの人的交流も含め、さらなる連携の強化を図っていくことが期待されます。

(3) 民間スポーツ施設との連携

第3章でも触れたように、区内には、スケートボードやスポーツクライミングなどのアーバンスポーツができる施設や24時間運営のスポーツジムやパーソナルジムなど、現状、区立スポーツ施設では対応できていないサービスを提供しており、仕事などで時間的な制約のある方や、新しい区民のスポーツニーズに応える重要な役割を担っています。これらの民間施設との連携を強化することで、区全体のスポーツ活動を一層活性化させることが可能と考えられます。

今後は、民間スポーツ施設との情報交換の場を設け、区民の民間スポーツ施設の利用状況やニーズを把握し、官民それぞれの役割分担を明確にして、お互いに相乗効果を発揮する取組を検討していきます。

2 推進体制の充実

本プランを効果的に推進するためには、区における体制強化と、各部署間の連携が不可欠です。スポーツ所管課だけでなく、健康、福祉、教育、子育て、産業経済、都市整備など、スポーツに関わる各部署が横断的に連携し、戦略的にスポーツ施策を推進します。

また、本プランの進捗管理を行うため、今回プラン策定にご尽力いただいた、荒川区スポーツ推進プラン策定委員会の委員も含めて新たな会議体を設置し、定期的に報告を行い、ご意見を頂戴しながら各施策の推進に努めていきます。

3 プランの着実な実行

本プランの目標達成に向けて、具体的な施策を着実に実行していくことが重要です。そのために、5年毎に本プランを見直し、改定プランを策定するといったPDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを実施します。第5章で設定した基本目標ごとの達成指標を中心に施策の実施状況を点検・評価し、改善につなげるプロセスを徹底します。

写真・イラスト掲載予定

荒川区スポーツ推進プラン

<資料編>

I 荒川区民スポーツ意識調査（一般）	1
＜調査の概要＞	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
＜調査結果＞	2
1. スポーツに対する考え方について	2
2. スポーツの実施状況について	3
3. 区等のスポーツイベントの参加状況について	21
4. スポーツを支える活動について	24
5. パラスポーツについて	31
6. 区立スポーツ施設について	34
7. 区立スポーツ水泳授業での活用について	38
8. あなたご自身について	39
II 荒川区民スポーツ意識調査（障がい者）	42
＜調査の概要＞	42
1 調査の目的	42
2 調査対象	42
3 調査期間	42
4 調査方法	42
5 回収状況	42
6 調査結果の表示方法	42
＜調査結果＞	43
1 スポーツに対する考え方について	43
2 障がいの状況について	44

3	スポーツの実施状況について	47
4	区立スポーツ施設について	71
5	あなたご自身について	74
Ⅲ	荒川区民スポーツ意識調査（小学生・中学生・高校生）	76
	＜調査の概要＞	76
1	調査の目的	76
2	調査対象	76
3	調査期間	76
4	調査方法	76
5	回答状況	76
6	調査結果の表示方法	76
	＜調査結果＞	77
1.	あなたご自身について	77
2.	スポーツの実施状況について	78
3.	区のスポーツ施設について	87
4.	自由意見	90
Ⅳ	荒川区スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱	91
Ⅴ	荒川区スポーツ推進プラン策定委員会委員名簿	93
Ⅵ	検討経過	94

I 荒川区民スポーツ意識調査（一般）

<調査の概要>

1 調査の目的

区民のスポーツや運動に関する意識、スポーツ活動の実態、区スポーツ施策に関する意見や要望を伺い、令和7年度に策定する「荒川区スポーツ推進プラン」の参考資料とすることを目的としています。

2 調査対象

区内在住の18歳以上から、2,500名を無作為抽出

3 調査期間

令和7年3月3日～令和7年3月21日

4 調査方法

郵送による配布・回収もしくはWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
2,500件	673件	26.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

<調査結果>

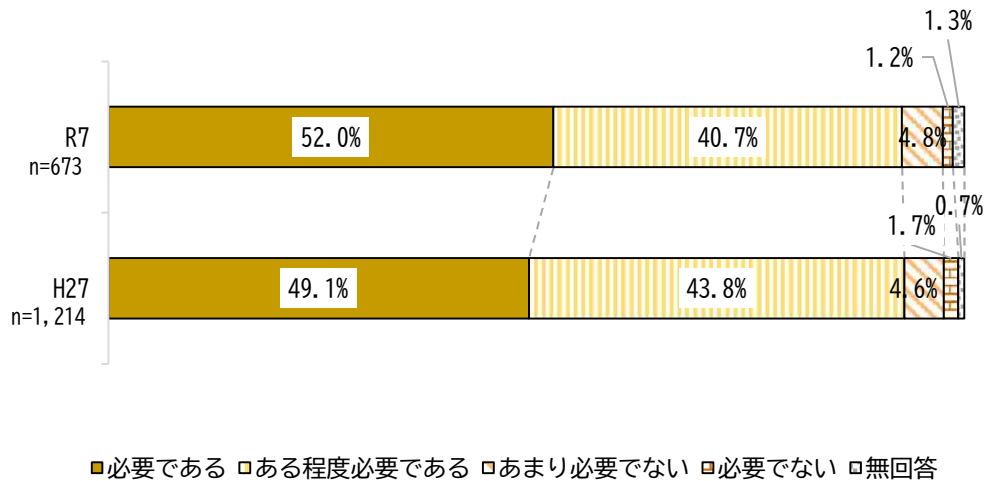
1. スポーツに対する考え方について

問1 あなたは、幸福で豊かな生活を送るうえで、スポーツ活動（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベント参加・開催を含むスポーツ活動全般）をどのようにお考えですか。（〇は1つ）

グラフ中の「R7」は本調査の結果、「H27」は10年前に行った前回調査の結果となります（以降、同様）。また、「n」とは当該設問の回答者数を表しています（以降、同様）。

本調査では、「必要である」「ある程度必要である」を合わせた“必要である”の割合が92.7%であり、前回の調査（92.9%）と0.2ポイントの差がありました。

また、本調査では、「あまり必要でない」「必要でない」を合わせた“必要でない”の割合が6.0%であり、前回の調査（6.3%）と0.3ポイントの差がありました。

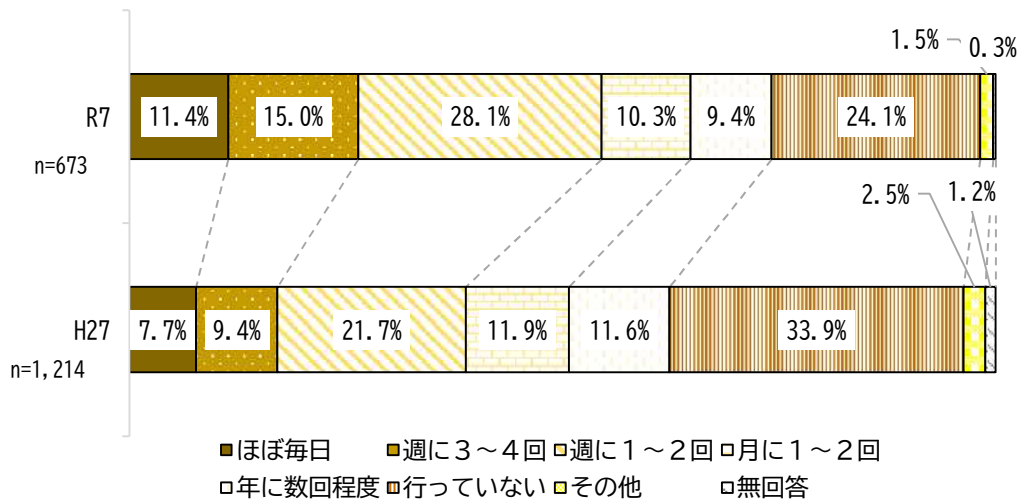


2. スポーツの実施状況について

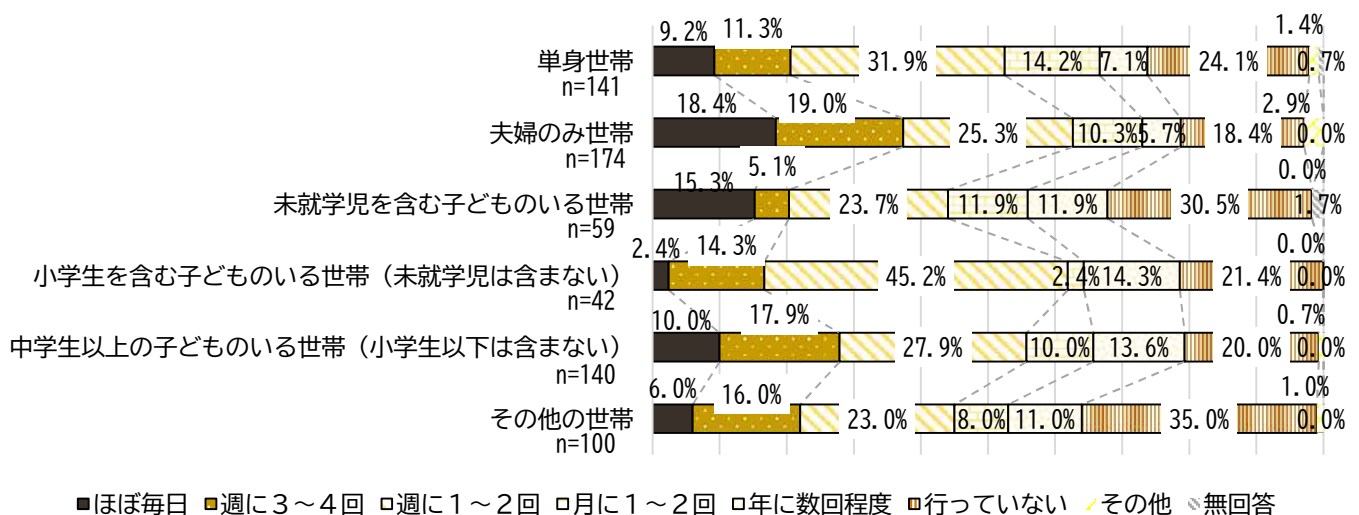
問2 あなたは、日ごろ、スポーツや運動をどのくらい行っていますか。(〇は1つ)

本調査では「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」を合わせた“行っている”の割合が74.2%であり、前回調査での“行っている”の割合(62.3%)から11.9ポイント増えていました。その中でも、本調査での「週に1～2回」の割合(28.1%)は、前回調査でのその割合(21.7%)よりも6.4ポイント増えていました。

それに対して、本調査での「行っていない」の割合(24.1%)は、前回調査のその割合(33.9%)よりも9.8ポイント減っていました。



本調査において、世帯別では、「夫婦のみの世帯」、「小学生を含む子どものいる世帯(未就学児は含まない)」、「中学生以上の子どものいる世帯(小学生以下は含まない)」の“行っている”の割合が、それぞれ78.7%、78.6%、79.3%となっており、他の世帯よりも割合が高くなりました。

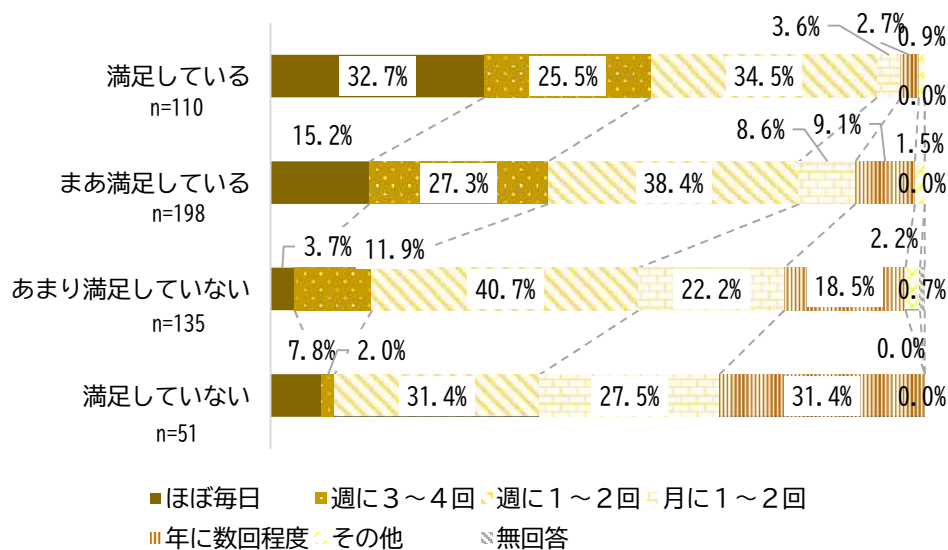


問3 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
あなたは、スポーツや運動を実施する頻度（問2で回答した頻度）について満足していますか。（○は1つ）

「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が60.2%、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が36.4%となりました。



本調査においては、スポーツ実施頻度の満足度が高い回答者ほど、スポーツ実施頻度がより高い傾向にありました。



問4 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
主にどのような運動を行っていますか。(〇は3つまで)

本調査の回答割合について、最も多かったのは「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」（65.2%）、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」（29.1%）、「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」（16.6%）となりました。

選択肢	回答
ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	65.2%
体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	29.1%
室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	16.6%
ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	11.1%
水泳	7.6%
ゴルフ	6.8%
サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	5.9%
登山、ハイキング、キャンプ	5.7%
その他	5.3%
ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	4.7%
スキー、スノーボード	3.3%
テニス、ソフトテニス	2.5%
バドミントン	1.8%
柔道、剣道、空手、合気道などの武道	1.8%
フットサル	1.6%
卓球	1.6%
釣り	1.2%
野球、ソフトボール	1.2%
ゲートボール、グラウンドゴルフ	1.0%
サッカー	1.0%
バレーボール	1.0%
バスケットボール	1.0%
ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.0%
ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	0.8%
ボウリング	0.8%
各種ニュースポーツ（モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.8%
ポッチャ	0.6%
各種陸上競技	0.2%
各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.2%
ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%
ラグビー	0.0%
弓道、アーチェリー	0.0%
各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%
無回答	1.4%

※回答者数 n=512

【男性年齢別：現在実施しているスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

いずれの年齢でも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の回答割合が最も多くなりました。 ※回答割合が高いほど、網掛けの色を濃くしています（問9でも同様）。

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	57.1%	57.1%	50.0%	60.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	28.6%	28.6%	20.0%	26.7%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こらぼん体操等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	28.6%	0.0%	20.0%	26.7%
6. 水泳	0.0%	0.0%	10.0%	6.7%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
9. スキー、スノーボード	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	14.3%	0.0%	0.0%	6.7%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	14.3%	0.0%	0.0%	20.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	14.3%	0.0%	0.0%	6.7%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	14.3%	0.0%	10.0%	0.0%
26. バドミントン	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	14.3%	0.0%	10.0%	6.7%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	14.3%	28.6%	10.0%	6.7%
各年代回答者数	7	7	10	15

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	50.0%	51.9%	50.0%	77.3%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	33.3%	22.2%	16.7%	13.6%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こらぼん体操等を含む）	27.8%	7.4%	16.7%	18.2%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	33.3%	11.1%	22.2%	4.5%
6. 水泳	5.6%	0.0%	16.7%	13.6%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	5.6%	3.7%	5.6%	13.6%
9. スキー、スノーボード	5.6%	3.7%	11.1%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	11.1%	0.0%	11.1%	9.1%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
12. 釣り	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	0.0%	7.4%	11.1%	4.5%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	5.6%	11.1%	0.0%	4.5%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	3.7%	0.0%	4.5%
20. フットサル	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
26. バドミントン	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	5.6%	14.8%	5.6%	4.5%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	5.6%	3.7%	0.0%	4.5%
各年代回答者数	18	27	18	22

次頁へ続く

選択肢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	68.4%	72.7%	73.3%	81.3%	80.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	15.8%	0.0%	0.0%	3.1%	8.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	21.1%	27.3%	0.0%	15.6%	16.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	5.3%	18.2%	13.3%	15.6%	12.0%
6. 水泳	10.5%	9.1%	0.0%	9.4%	4.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	5.3%	27.3%	13.3%	12.5%	4.0%
9. スキー、スノーボード	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	8.0%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
12. 釣り	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	13.3%	3.1%	4.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	5.3%	9.1%	0.0%	6.3%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	5.3%	9.1%	13.3%	3.1%	0.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	13.3%	3.1%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	6.7%	6.3%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ポッチャ	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	5.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
各年代回答者数	19	11	15	32	25

【女性年齢別：現在実施しているスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

いずれの年齢でも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の回答割合が最も多くなりました。 ※回答割合が高いほど、網掛けの色が濃くなっています（問9でも同様）。

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	85.7%	78.6%	78.9%	61.1%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	14.3%	21.4%	10.5%	5.6%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	14.3%	21.4%	26.3%	33.3%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	21.4%	28.6%	21.1%	22.2%
6. 水泳	7.1%	7.1%	5.3%	5.6%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	7.1%	0.0%	15.8%	0.0%
9. スキー、スノーボード	0.0%	7.1%	5.3%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	0.0%	15.8%	11.1%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	7.1%	0.0%	0.0%	16.7%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	0.0%	14.3%	5.3%	5.6%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
20. フットサル	0.0%	0.0%	5.3%	5.6%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	7.1%	0.0%	5.3%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	7.1%	7.1%	5.3%	0.0%
各年代回答者数	14	14	19	18

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	50.0%	57.1%	53.6%	61.1%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	17.9%	14.3%	10.7%	5.6%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	42.9%	28.6%	25.0%	38.9%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	17.9%	14.3%	25.0%	22.2%
6. 水泳	7.1%	0.0%	3.6%	5.6%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	4.8%	0.0%	5.6%
8. ゴルフ	3.6%	4.8%	7.1%	5.6%
9. スキー、スノーボード	10.7%	4.8%	7.1%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	10.7%	0.0%	10.7%	5.6%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	3.6%	0.0%	0.0%	5.6%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	7.1%	9.5%	3.6%	11.1%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	3.6%	0.0%	10.7%	0.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	4.8%	0.0%	5.6%
19. サッカー	3.6%	4.8%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	7.1%	9.5%	3.6%	5.6%
23. 卓球	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	4.8%	10.7%	0.0%
25. バスケットボール	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	3.6%	4.8%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	4.8%	7.1%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	7.1%	0.0%	0.0%	11.1%
各年代回答者数	28	21	28	18

次頁へ続く

選択肢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	65.0%	57.9%	70.6%	68.2%	64.5%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	5.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころぼん体操等を含む）	35.0%	47.4%	70.6%	45.5%	61.3%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	20.0%	15.8%	11.8%	9.1%	9.7%
6. 水泳	5.0%	15.8%	17.6%	18.2%	6.5%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	10.0%	10.5%	5.9%	0.0%	0.0%
9. スキー、スノーボード	10.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	3.2%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	5.9%	9.1%	6.5%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	15.0%	5.3%	11.8%	4.5%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	5.0%	10.5%	5.9%	4.5%	9.7%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	5.9%	4.5%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	5.0%	5.3%	5.9%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	5.0%	0.0%	0.0%	4.5%	3.2%
各年代回答者数	20	19	17	22	31

問9 あなたが今後行ってみたいスポーツや運動はありますか。(〇は3つまで)

問4の「現在実施しているスポーツ」に対して、「今後やってみたいスポーツ」の設問となります。そのため、本報告書では問5の前に問9について結果を述べます。

回答割合について、最も多かったのは「ウォーキング、散歩(街歩き、ペットの散歩等を含む)」(36.0%)、次いで「体操(ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む)」(29.6%)、「水泳」(16.6%)となりました。なかでも「水泳」は、問4の現在実施しているスポーツとしての回答割合は7.6%であり、割合の数を比較すると、9.0ポイント増えていました。

選択肢	割合
ウォーキング、散歩(街歩き、ペットの散歩 等を含む)	36.0%
体操(ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む)	29.6%
水泳	16.6%
室内運動器具(マシンジム、バランスボール等)による運動	15.3%
登山、ハイキング、キャンプ	12.6%
ランニング(ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む)	11.0%
ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、プレイキン等を含む)	8.3%
釣り	7.4%
ゴルフ	5.8%
ボウリング	5.6%
サイクリング(ロードバイク、マウンテンバイク等を含む)	5.5%
スキー、スノーボード	4.6%
卓球	4.0%
バドミントン	3.9%
ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	3.7%
柔道、剣道、空手、合気道などの武道	3.6%
その他	3.4%
テニス、ソフトテニス	3.3%
弓道、アーチェリー	3.0%
バスケットボール	2.7%
ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	2.2%
バレーボール	1.9%
野球、ソフトボール	1.8%
各種ニュースポーツ(モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	1.8%
ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.6%
ゲートボール、グラウンドゴルフ	1.5%
ポッチャ	1.5%
フットサル	0.9%
各種アーバンスポーツ(スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む)	0.7%
サッカー	0.7%
各種陸上競技	0.3%
ラグビー	0.3%
各種パラスポーツ(ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む)	0.1%
無回答	6.5%

※回答者数 n=673

【男性年齢別：今後やりたいスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

問4の「現在実施しているスポーツ」では、いずれの年齢でも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の回答割合が最も多かったのに対して、問9の「今後やりたいスポーツ」では、年齢によって、回答割合が最も多いスポーツが異なっていました。女性年齢別のデータでも同様のことがいえます。

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	12.5%	0.0%	10.0%	5.6%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	25.0%	22.2%	10.0%	11.1%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	12.5%	22.2%	0.0%	27.8%
6. 水泳	12.5%	0.0%	30.0%	16.7%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	10.0%	11.1%
8. ゴルフ	12.5%	0.0%	0.0%	11.1%
9. スキー、スノーボード	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	12.5%	11.1%	10.0%	27.8%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	11.1%	20.0%	5.6%
12. 釣り	0.0%	22.2%	10.0%	11.1%
13. ボウリング	12.5%	0.0%	0.0%	11.1%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	0.0%	11.1%	10.0%	5.6%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
20. フットサル	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
24. バレーボール	12.5%	0.0%	0.0%	5.6%
25. バスケットボール	12.5%	0.0%	0.0%	22.2%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
28. 弓道	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	12.5%	0.0%	0.0%	11.1%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
無回答	12.5%	11.1%	10.0%	0.0%
各年代回答者数	8	9	10	18

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	18.2%	23.5%	45.8%	33.3%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	22.7%	8.8%	41.7%	26.7%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	4.5%	2.9%	16.7%	26.7%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	9.1%	8.8%	16.7%	10.0%
6. 水泳	40.9%	29.4%	8.3%	23.3%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	4.5%	5.9%	0.0%	6.7%
8. ゴルフ	4.5%	5.9%	8.3%	6.7%
9. スキー、スノーボード	4.5%	8.8%	8.3%	3.3%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	9.1%	11.8%	20.8%	16.7%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
12. 釣り	9.1%	20.6%	12.5%	13.3%
13. ボウリング	9.1%	5.9%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	4.5%	8.8%	4.2%	6.7%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	9.1%	5.9%	4.2%	3.3%
19. サッカー	4.5%	2.9%	0.0%	0.0%
20. フットサル	4.5%	8.8%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	4.5%	8.8%	4.2%	3.3%
23. 卓球	9.1%	2.9%	0.0%	3.3%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	4.5%	5.9%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	4.5%	5.9%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	9.1%	0.0%	4.2%	10.0%
28. 弓道	4.5%	5.9%	0.0%	3.3%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	4.5%	2.9%	0.0%	3.3%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	8.8%	4.2%	3.3%
31. ボッチャ	4.5%	0.0%	0.0%	3.3%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	9.1%	5.9%	0.0%	6.7%
無回答	0.0%	0.0%	8.3%	3.3%
各年代回答者数	22	34	24	30

選択肢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	34.6%	31.3%	57.9%	63.2%	63.3%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	26.9%	18.8%	15.8%	2.6%	6.7%
3. 各種陸上競技	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	19.2%	12.5%	26.3%	13.2%	16.7%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	23.1%	25.0%	10.5%	10.5%	13.3%
6. 水泳	26.9%	6.3%	15.8%	15.8%	3.3%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	6.7%
9. スキー、スノーボード	3.8%	0.0%	5.3%	2.6%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	19.2%	18.8%	0.0%	5.3%	16.7%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	23.1%	12.5%	5.3%	2.6%	10.0%
13. ボウリング	0.0%	18.8%	0.0%	10.5%	6.7%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	3.8%	25.0%	10.5%	5.3%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	3.8%	0.0%	5.3%	2.6%	3.3%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
19. サッカー	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	3.8%	12.5%	0.0%	10.5%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	11.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	5.3%	2.6%	3.3%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニユースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	3.3%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
33. その他	0.0%	6.3%	5.3%	2.6%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	10.5%	10.5%	13.3%
各年代回答者数	26	16	19	38	30

【女性年齢別：今後やりたいスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	31.6%	11.8%	16.7%	24.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	26.3%	5.9%	25.0%	8.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッツ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	31.6%	35.3%	29.2%	52.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	15.8%	0.0%	16.7%	12.0%
6. 水泳	5.3%	35.3%	25.0%	24.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	10.5%	11.8%	12.5%	4.0%
8. ゴルフ	5.3%	0.0%	8.3%	12.0%
9. スキー、スノーボード	5.3%	0.0%	16.7%	12.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	10.5%	17.6%	8.3%	16.0%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	10.5%	11.8%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	8.3%	4.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	10.5%	5.9%	4.2%	4.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	10.5%	5.9%	12.5%	24.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	10.5%	0.0%	4.2%	4.0%
23. 卓球	5.3%	0.0%	0.0%	4.0%
24. バレーボール	5.3%	0.0%	4.2%	4.0%
25. バスケットボール	5.3%	11.8%	0.0%	8.0%
26. バドミントン	10.5%	11.8%	12.5%	4.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	4.2%	4.0%
28. 弓道	10.5%	5.9%	12.5%	4.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	5.9%	4.2%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
各年代回答者数	19	17	24	25

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	25.0%	47.2%	24.3%	25.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	11.1%	5.6%	5.4%	8.3%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッツ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	52.8%	52.8%	48.6%	50.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	16.7%	36.1%	21.6%	16.7%
6. 水泳	13.9%	16.7%	16.2%	25.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	2.8%	0.0%	2.7%	4.2%
8. ゴルフ	8.3%	5.6%	2.7%	4.2%
9. スキー、スノーボード	8.3%	0.0%	10.8%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	25.0%	16.7%	16.2%	4.2%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	2.8%	5.6%	5.4%	4.2%
12. 釣り	5.6%	2.8%	2.7%	4.2%
13. ボウリング	5.6%	8.3%	5.4%	8.3%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	5.6%	13.9%	0.0%	8.3%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	13.9%	13.9%	16.2%	12.5%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	2.8%	0.0%	2.7%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	2.8%	0.0%	2.7%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	5.6%	8.3%	2.7%	0.0%
23. 卓球	2.8%	2.8%	2.7%	4.2%
24. バレーボール	2.8%	8.3%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	2.8%	2.8%	2.7%	0.0%
26. バドミントン	13.9%	2.8%	5.4%	4.2%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	2.8%	0.0%	5.4%	0.0%
28. 弓道	2.8%	2.8%	2.7%	4.2%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	0.0%	2.8%	0.0%	4.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
各年代回答者数	36	36	37	24

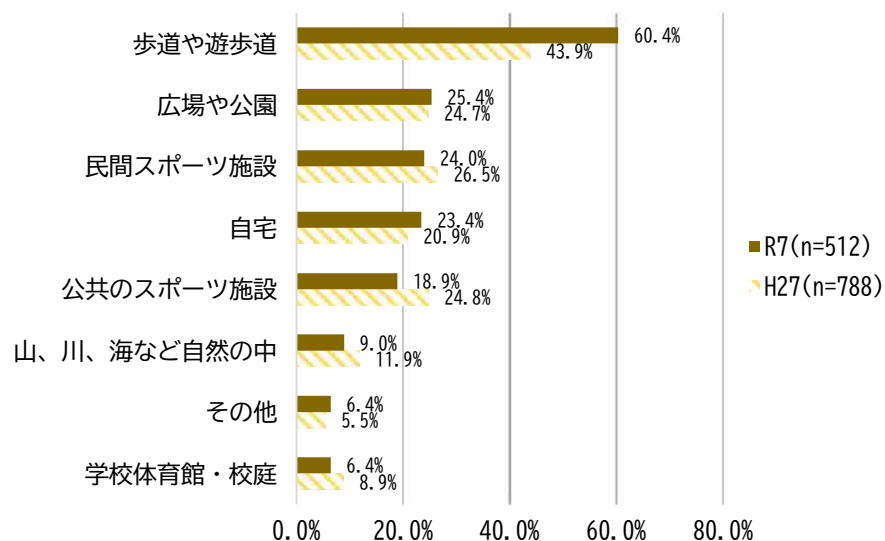
次頁へ続く

選択肢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	57.1%	47.6%	44.8%	45.2%	45.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	42.9%	52.4%	34.5%	35.5%	30.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	14.3%	23.8%	17.2%	9.7%	7.5%
6. 水泳	10.7%	4.8%	17.2%	16.1%	5.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	3.6%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	7.1%	9.5%	6.9%	3.2%	2.5%
9. スキー、スノーボード	7.1%	4.8%	0.0%	6.5%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	10.7%	9.5%	0.0%	9.7%	2.5%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	3.6%	0.0%	3.4%	6.5%	2.5%
13. ボウリング	0.0%	4.8%	10.3%	6.5%	5.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	4.8%	0.0%	9.7%	10.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	0.0%	9.5%	0.0%	3.2%	2.5%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	14.3%	9.5%	13.8%	6.5%	5.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	4.8%	3.4%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	19.0%	0.0%	6.5%	5.0%
24. バレーボール	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	0.0%	4.8%	3.4%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	7.1%	4.8%	3.4%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	3.4%	3.2%	5.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	3.6%	4.8%	6.9%	6.5%	5.0%
無回答	10.7%	0.0%	6.9%	12.9%	22.5%
各年代回答者数	28	21	29	31	40

問5 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動（問4で回答したスポーツや運動）を行った場所どこですか。（〇は3つまで）

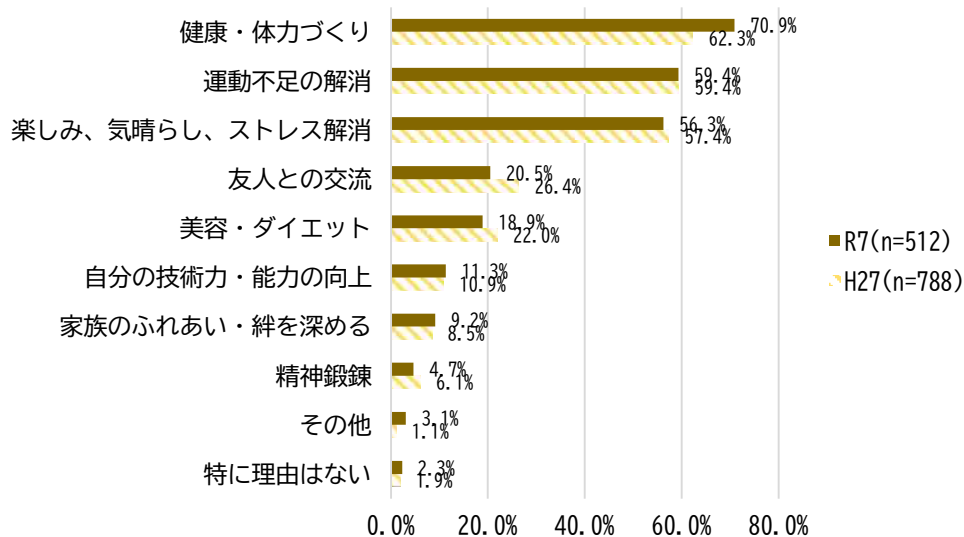
本調査では、「歩道や遊歩道」（60.4%）の割合が最も多く、次いで「広場や公園」（25.4%）、「民間スポーツ施設」の割合が多くなりました。そのなかでも、「歩道や遊歩道」の割合は、前回調査（43.9%）と比べて16.5ポイント増えました。

※前回調査の「公共のスポーツ施設」の割合（24.8%）は、「公共の屋内スポーツ施設」の割合（17.6%）と「公共の屋外スポーツ施設」の割合（7.2%）との合計になります。



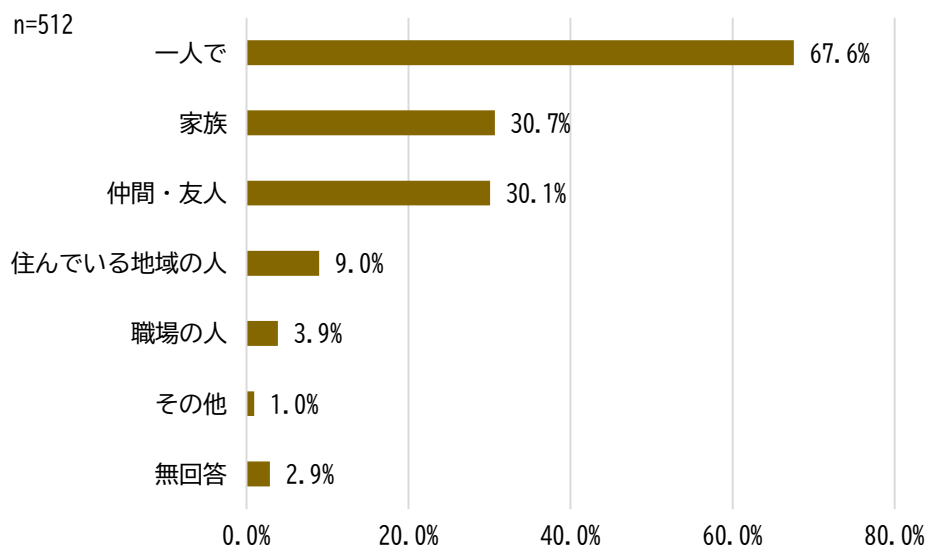
問6 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きます。】スポーツや運動を行ったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

本調査では、「健康・体力づくり」(70.9%)の割合が最も多く、次いで「運動不足の解消」(59.4%)、「楽しみ、気晴らし、ストレス解消」の割合(56.3%)が多くなりました。そのなかでも、「健康・体力づくり」の割合は、前回調査(62.3%)と比べて8.6ポイント増えました。



問7 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きます。】スポーツや運動を誰と行いましたか。(〇はいくつでも)

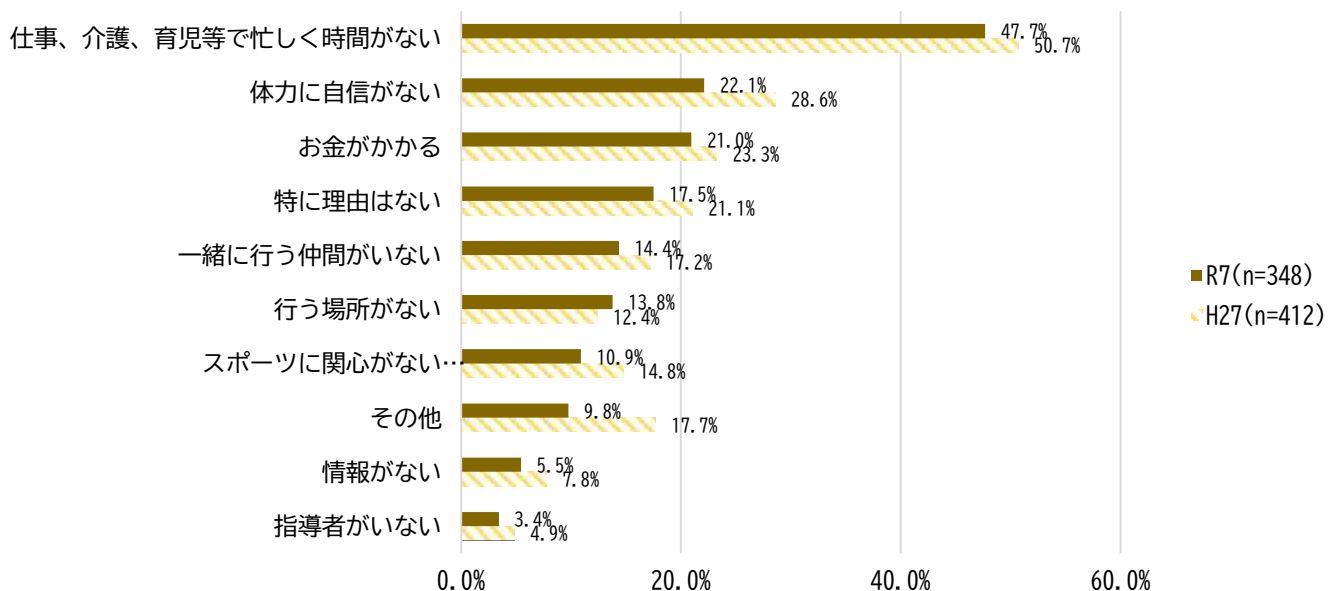
本調査では、「一人で」(67.6%)の割合が最も多く、次いで「家族」(30.7%)、「仲間・友人」の割合(30.1%)が多くなりました。



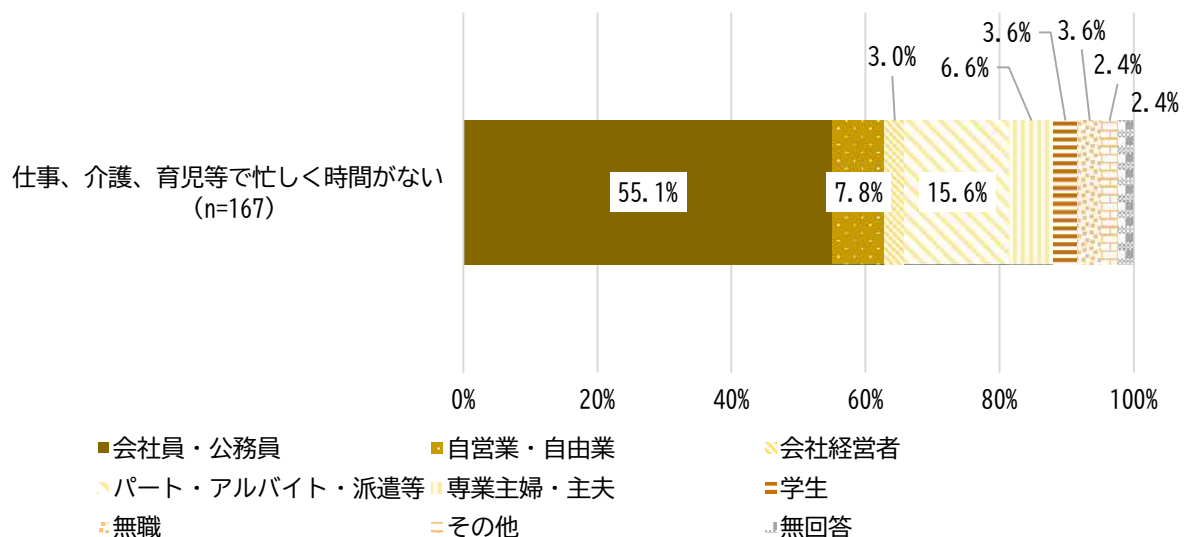
問8 【問2で「行っていない」に回答した方及び問3で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方にお聞きます。スポーツや運動を行わない、もしくは実施の頻度に満足できていないのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

本調査では、「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」(47.7%)の割合が最も多く、次いで「体力に自信がない」(22.1%)、「お金がかかる」の割合(21.0%)が多くなりました。また、これらの3つの項目について、ポイントの差はありますが、前回調査と割合の多さの順位は変わっていませんでした。

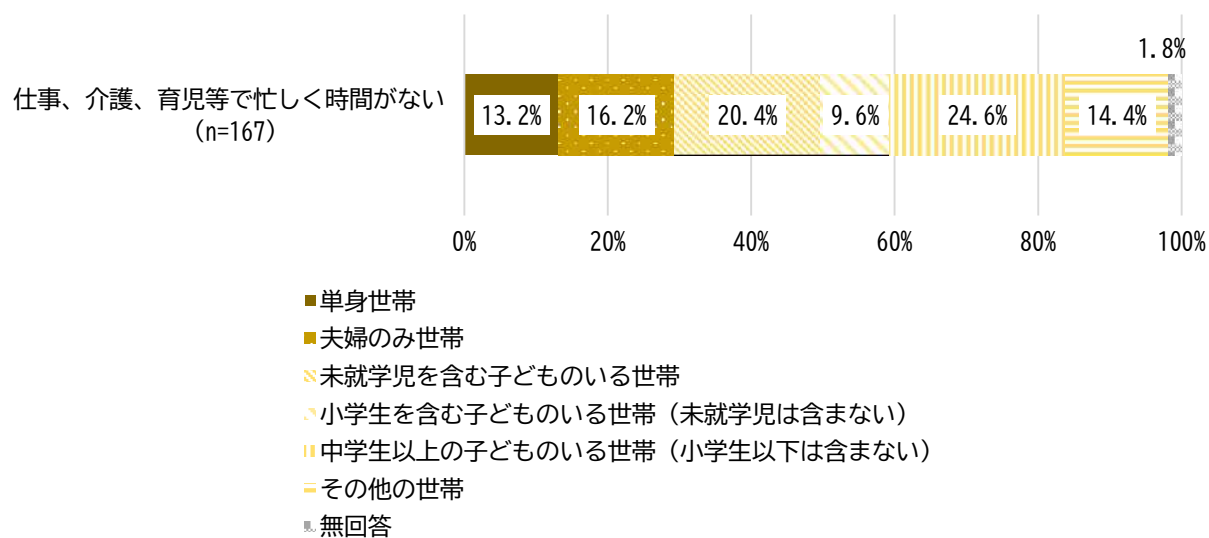
※前回調査ではスポーツや運動を「行っていない」と回答した方のみにお聞きしていました。



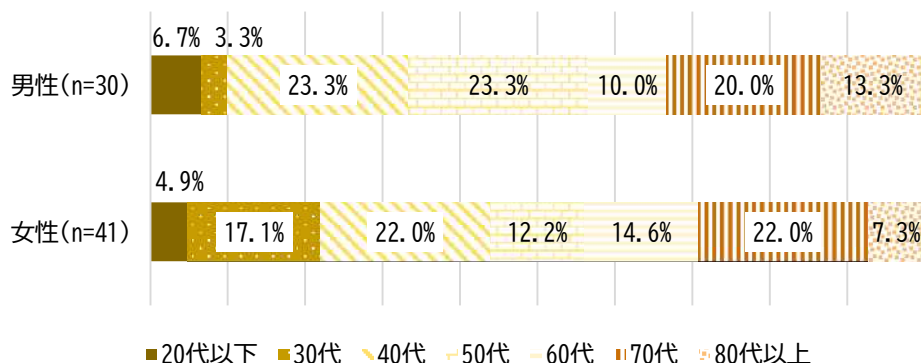
問8における「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」の回答者の職業(問3 9 参照)は、「会社員・公務員」(55.1%)の割合が最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣等」(15.6%)、「自営業・自由業」の割合(7.8%)が多くなりました。



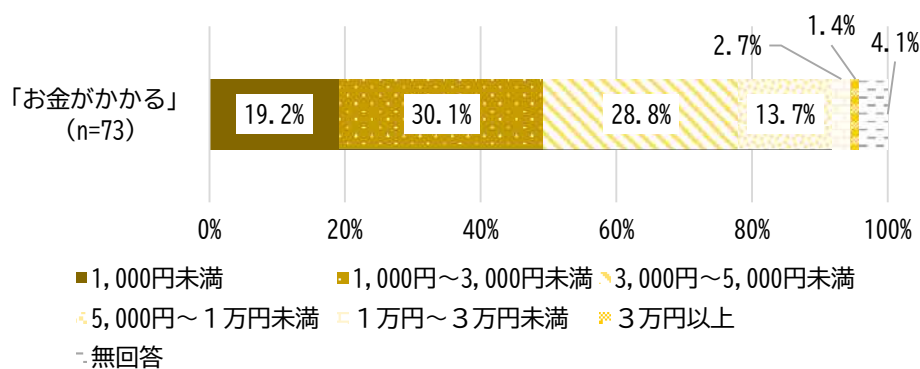
問8における「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」の回答者の世帯構成（問40参照）としては、「中学生以上の子どもがいる世帯（小学生以下は含まない）（24.6%）の割合が最も多く、次いで「未就学児を含む子どものいる世帯」（20.4%）、「夫婦のみ世帯」の割合（16.2%）が多くなりました。



問8における「体力に自信がない」と回答した方のうち、男性では、40代（23.3%）と50代（23.3%）が最も多く、次いで70代（20.0%）、80代以上（13.3%）となり、女性では、40代（22.0%）と70代（22.0%）が最も多く、次いで30代（17.1%）、60代（14.6%）となりました。



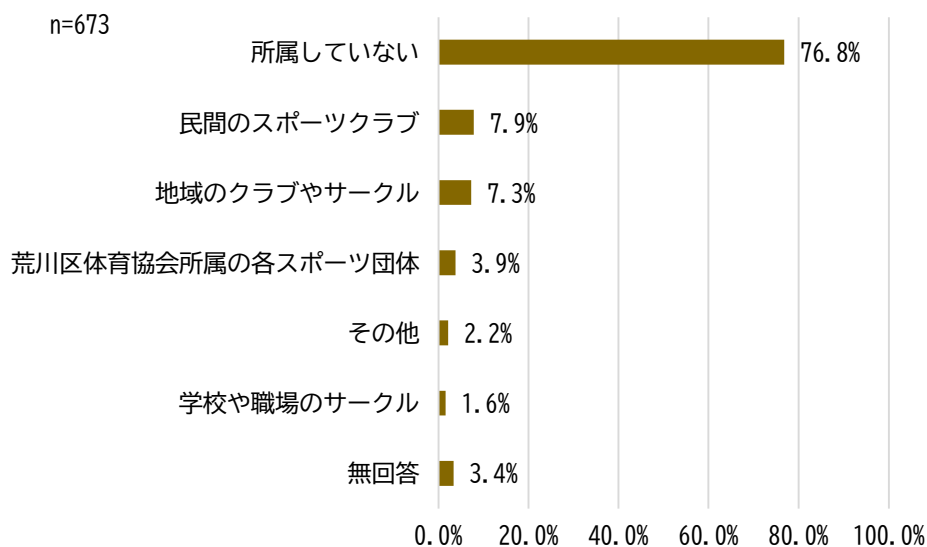
問8において「お金がかかる」と回答した方のスポーツや運動にかけても良いと思う1カ月の費用（問41参照）としては、「1,000円～3,000円未満」（30.1%）の割合が最も多く、次いで「3,000円～5,000円未満」（28.8%）、「1,000円未満」の割合（19.2%）が多くなりました。



問10 あなたは、現在スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属していますか。(〇はいくつでも)

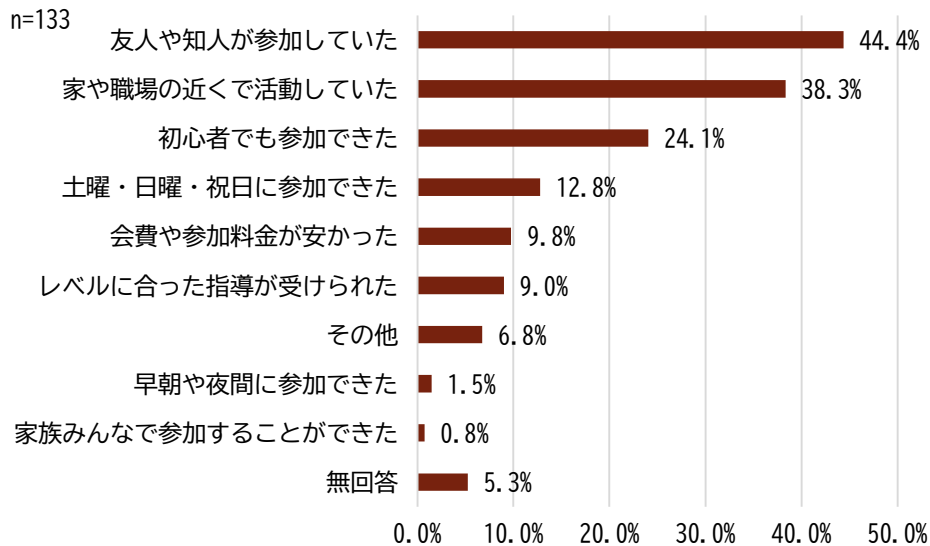
スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属している回答者の中では、「民間のスポーツクラブ」(7.9%)の割合が最も多く、次いで「地域のクラブやサークル」(7.3%)、「荒川区体育協会所属の各スポーツ団体」の割合(3.9%)が多くなりました。

※現在、「荒川区体育協会」は「荒川区スポーツ協会」に名称が変わっています(以降同様)。



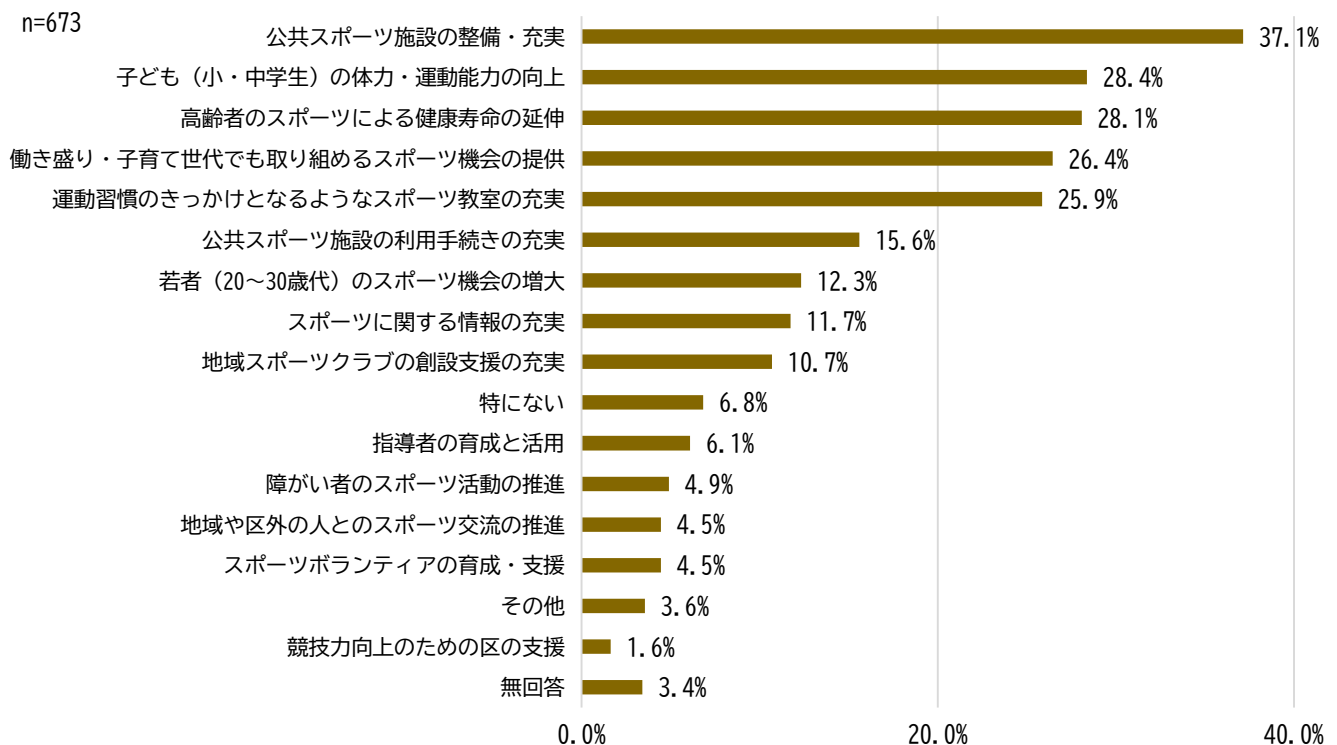
問11 【問10で「民間のスポーツクラブ」、「地域のクラブやサークル」、「学校や職場サークル」、「荒川区体育協会所属の各スポーツ団体」、「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】スポーツや運動のクラブやサークル(問10で回答したクラブやサークルに所属したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも))

本調査では、「友人や知人が参加していた」(44.4%)の割合が最も多く、次いで「家や職場の近くで活動していた」(38.3%)、「初心者でも参加できた」の割合(24.1%)が多くなりました。



問 12 あなたは、スポーツ活動がより活性化するには、区がどのような施策を行う必要があると考えますか。（〇は3つまで）

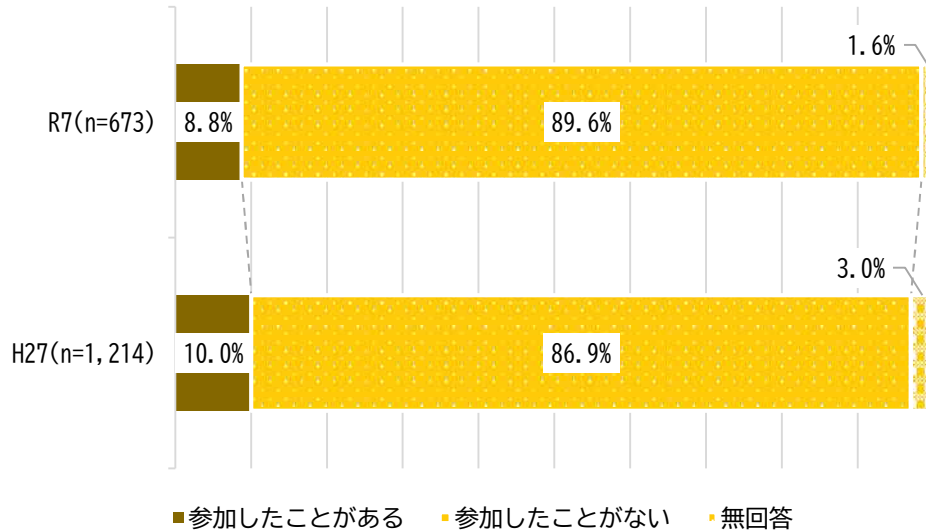
本調査では、「公共スポーツ施設の整備・充実」（37.1%）の割合が最も多く、次いで「子ども（小・中学生の体力・運動能力の向上」（28.4%）、「高齢者のスポーツによる健康寿命の延伸」の割合（28.1%）が多くなりました。



3. 区等のスポーツイベントの参加状況について

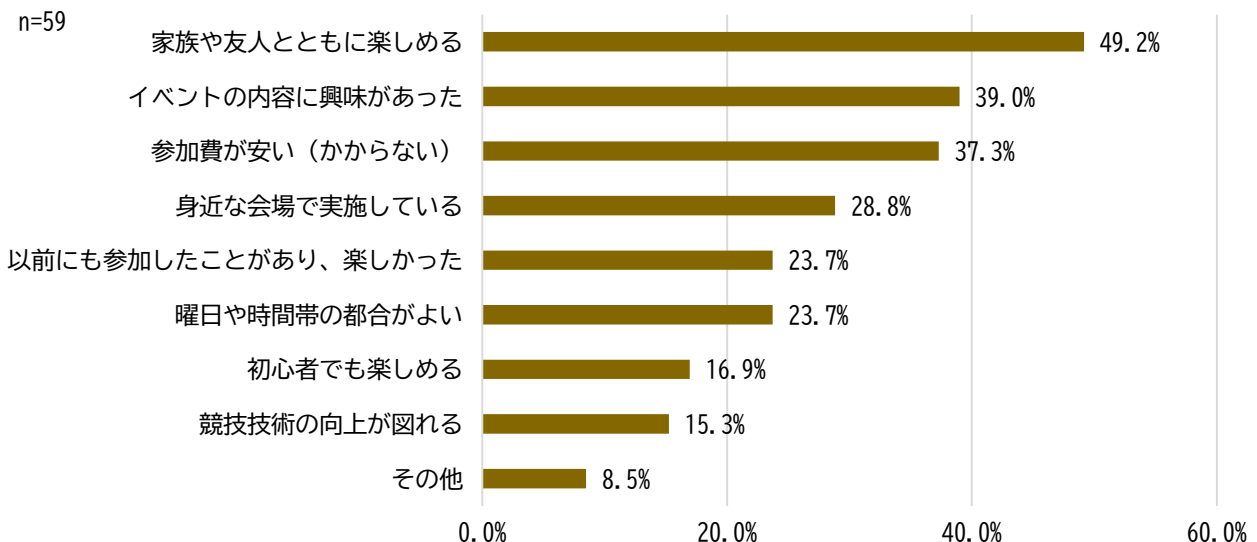
問 13 あなたは、この1年間で区や体育協会主催のスポーツイベントに参加したことがありますか。参加には応援や観覧も含みます。(○は1つ)

本調査では「参加したことがある」の回答者の割合が8.8%で、前回調査(10.0%)よりも1.2ポイント減っていました。また、本調査での「参加したことがない」の回答者の割合が89.6%で、前回調査(86.9%)よりも2.7ポイント増えています。



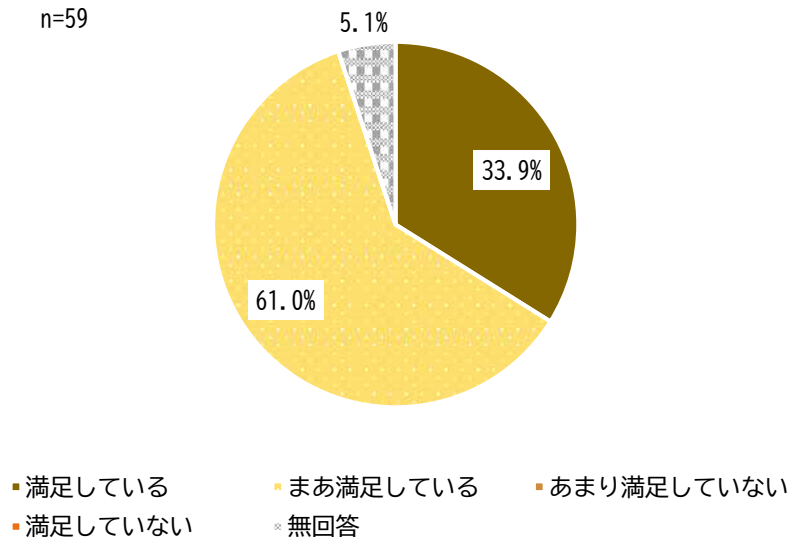
問 14 【問13で「参加したことがある」に回答した方にお聞きします。】区や体育協会主催のスポーツイベントに参加したのはどのような理由からです。(○はいくつでも)

本調査では「家族や友人とともに楽しめる」(49.2%)と回答した割合が最も多く、次いで「イベントの内容に興味があった」(39.0%)、「参加費が安い(かからない)」(37.3%)となりました。



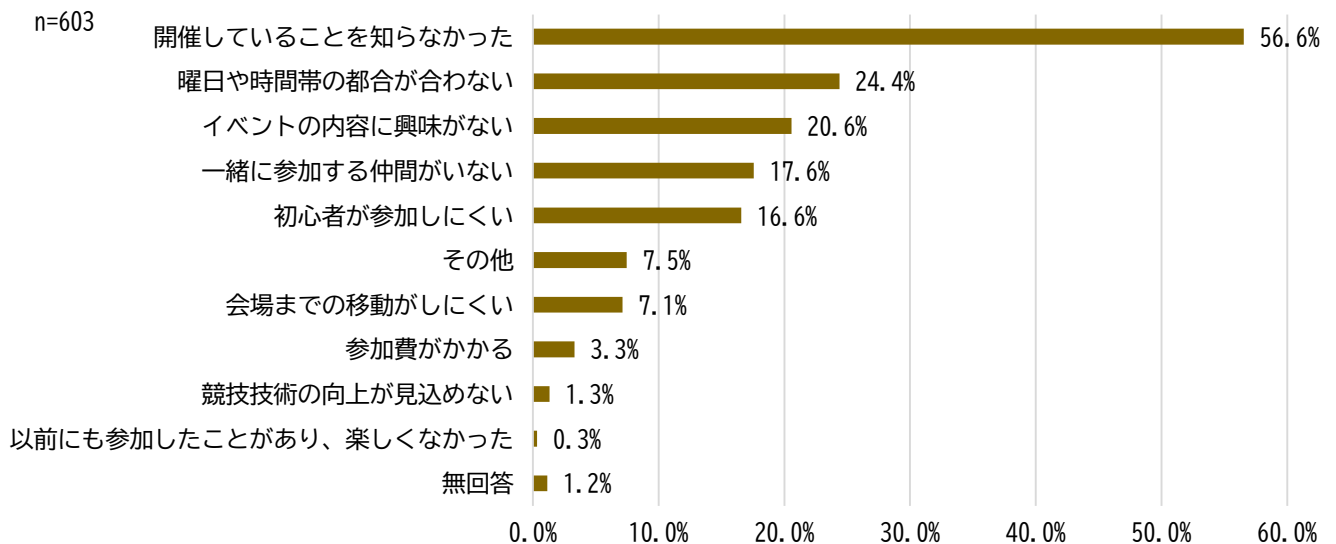
問 15 【問13で「参加したことがある」に回答した方にお聞きします。】参加した区や体育協会主催のスポーツイベントについて、満足していますか。(〇は1つ)

本調査では、「あまり満足していない」、「満足していない」と回答した方はいませんでした。「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の合計の割合が94.9%、それ以外は「無回答」でした。



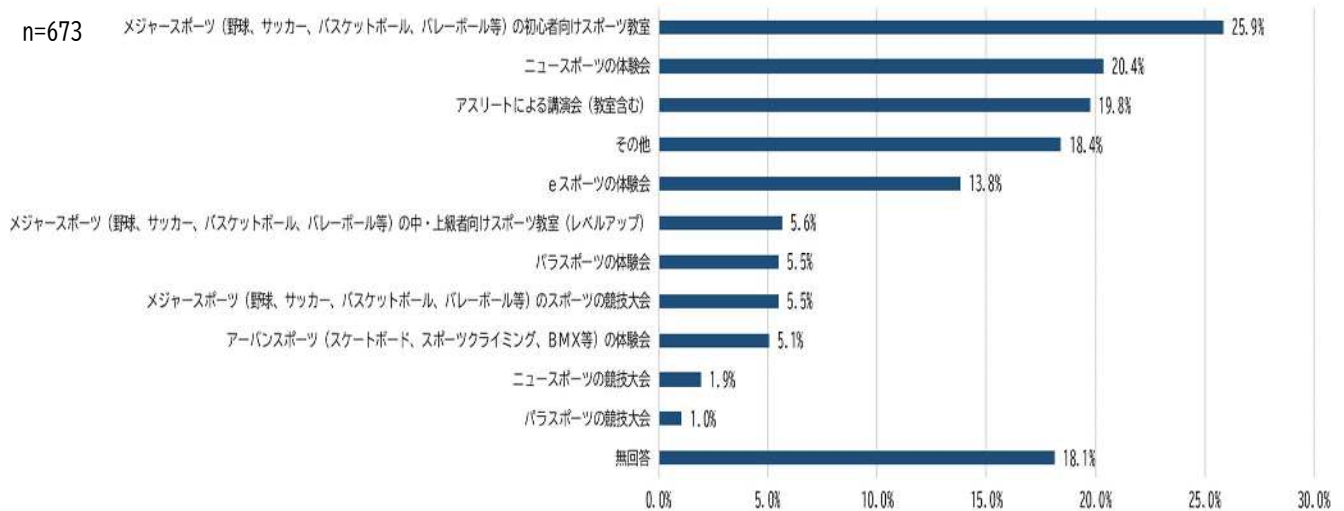
問 16 【問13で「参加したことがない」に回答した方にお聞きします。区や体育協会主催のスポーツイベントに参加しなかったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

本調査では、「開催していることを知らなかった」(56.6%)と回答した割合が最も多く、次いで「曜日や時間帯の都合が合わない」(24.4%)、「イベントの内容に興味がない」(20.6%)でした。



問 17 あなたは、今後どのようなスポーツイベントに参加したいですか。

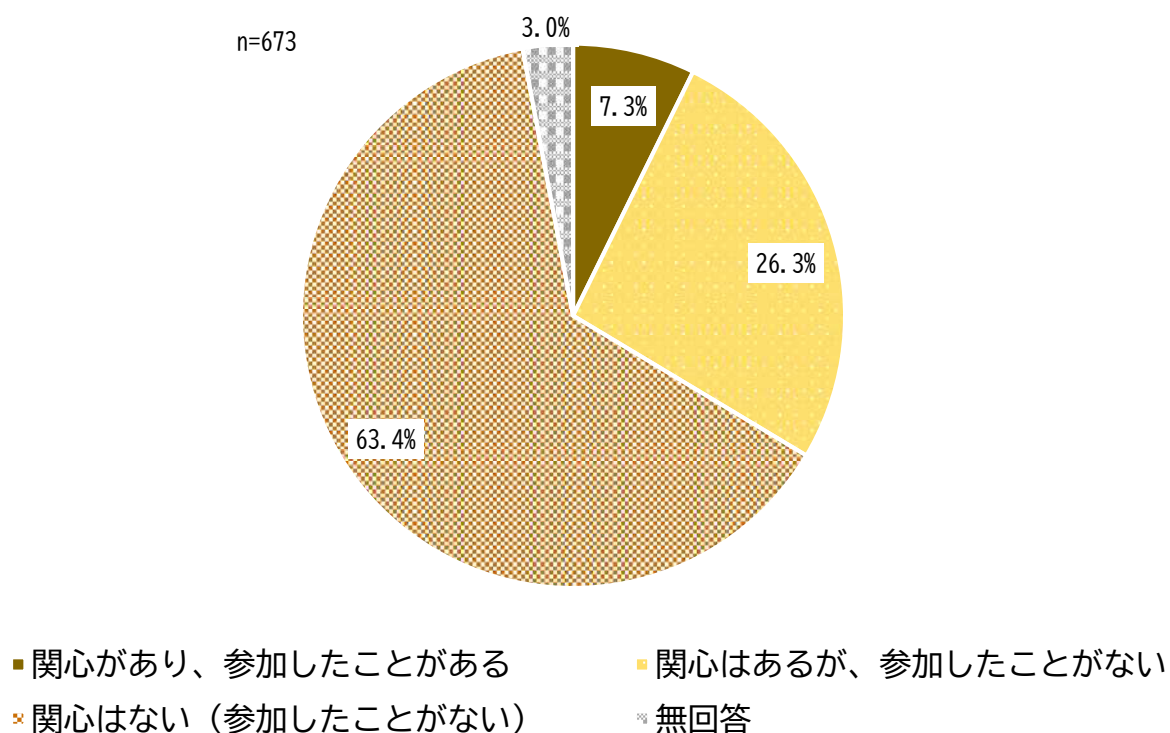
本調査では、「メジャースポーツ（野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール等）の初心者向けスポーツ教室」（25.9%）と回答した割合が最も多く、次いで「ニュースポーツの体験会」（20.4%）、「アスリートによる講演会（教室含む）」（19.8%）となりました。



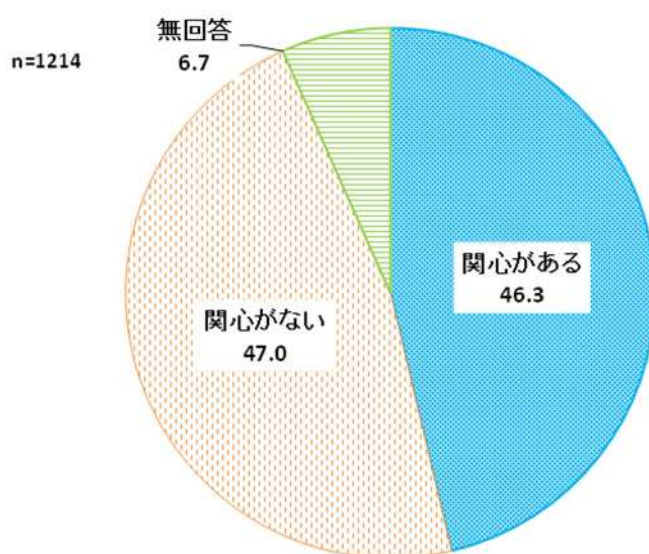
4. スポーツを支える活動について

問 18 あなたは、スポーツや運動の指導・審判、スポーツイベントのボランティア等のスポーツを支えるボランティアに関心や参加経験がありますか。

本調査の回答割合について、「関心があり、参加したことがある」が 7.3%、「関心はあるが、参加したことがない」が 26.3%、「関心はない（参加したことがない）」が 63.4%となりました。

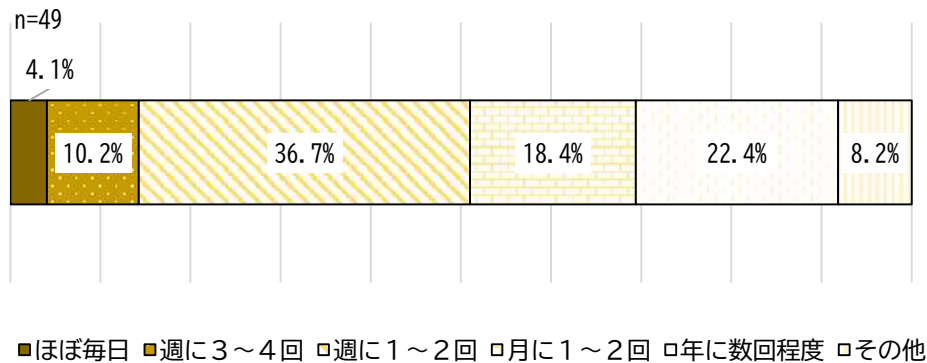


前回調査では、「あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。（○は1つ）」という設問に対して、「関心がある」と回答した割合が 46.3%、「関心がない」と回答した割合が「47.0%」となりました。



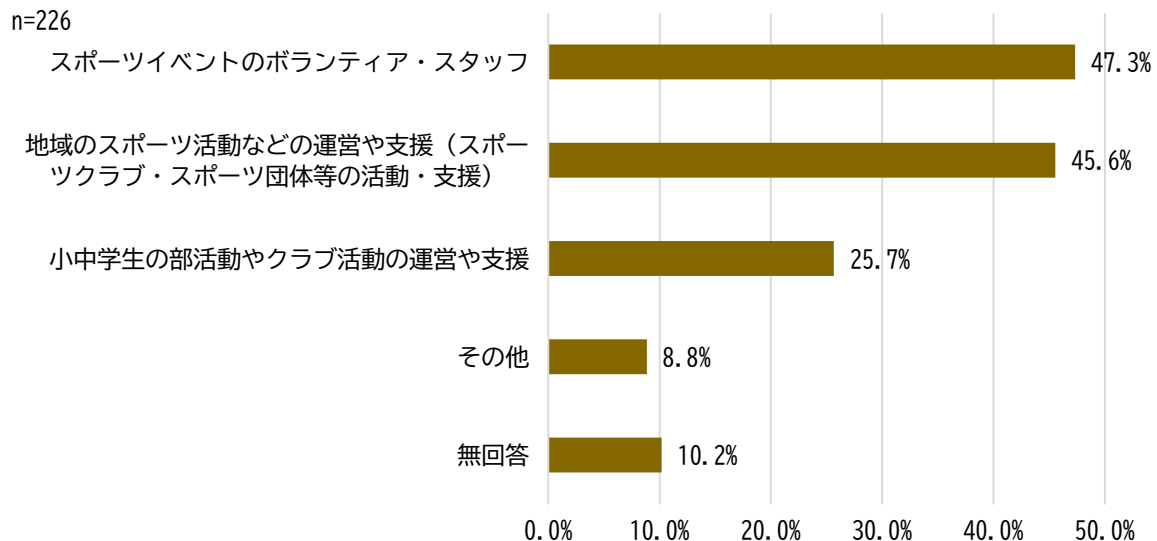
問 19 【問 18 で「関心があり、参加したことがある」と回答した方にお聞きします。あなたが参加されたスポーツを支えるボランティア活動の頻度はどの程度になりますか。

本調査では「週に 1 ～ 2 回」(36.7%) と回答した割合が最も多く、次いで「年に数回程度」(22.4%)、「月に 1 ～ 2 回」(18.4%) となりました。



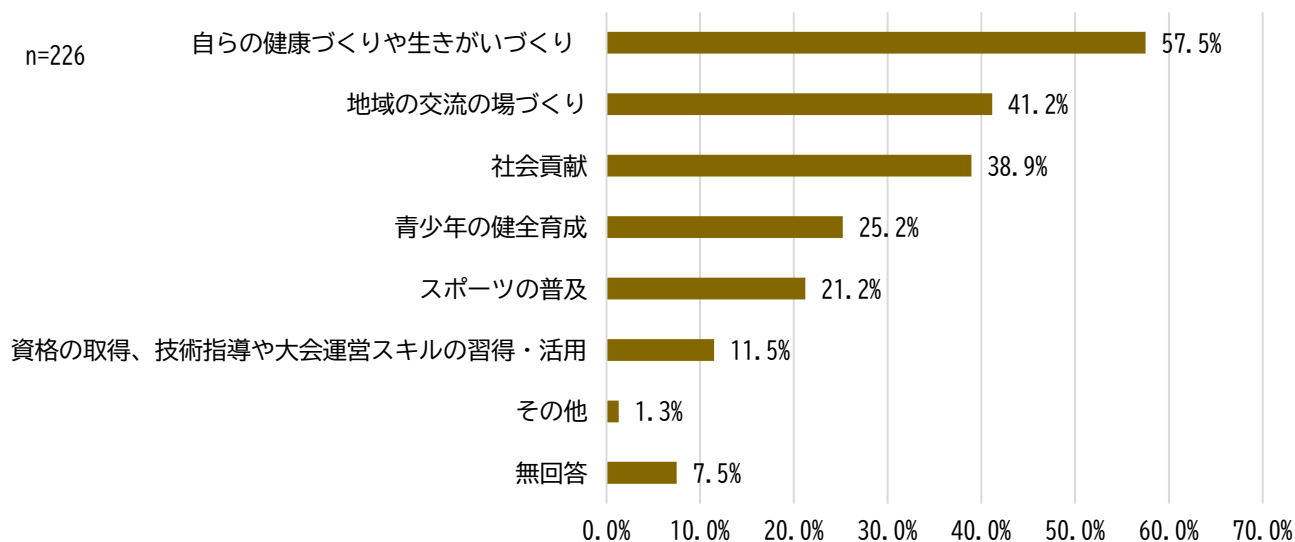
問 20 【問 18 で「関心があり、参加したことがある」、「関心はあるが、参加したことがない」のいずれかに回答した方にお聞きします。あなたは、どのようなスポーツを支える活動に参加していますか、また、参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

本調査では、「スポーツイベントのボランティアスタッフ」(47.3%) と回答した割合が最も多く、次いで「地域のスポーツ活動などの運営や支援(スポーツクラブ・スポーツ団体等の活動・支援)」(45.6%)、「小中学生の部活動やクラブ活動の運営や支援」(25.7%) となりました。



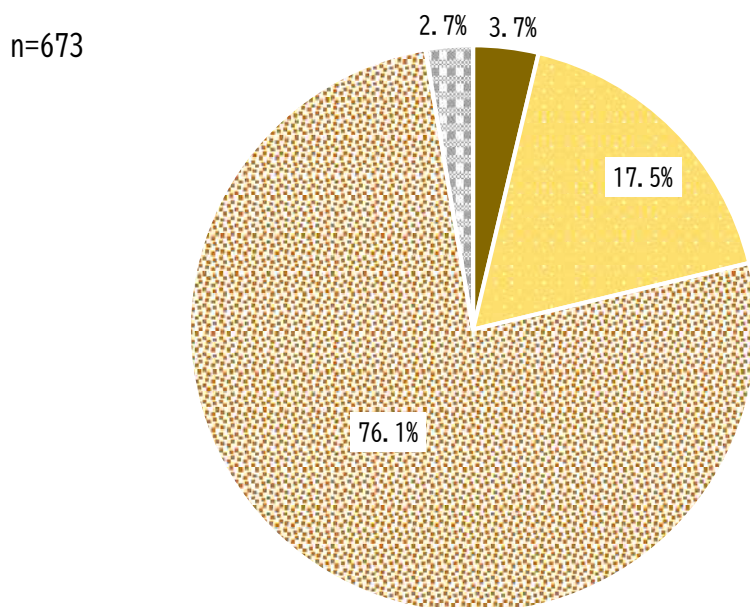
問 21 【問 18 で「関心があり、参加したことがある」、「関心はあるが、参加したことがない」のいずれかに回答した方にお聞きします。あなたは、どのような目的でスポーツを支える活動に参加していますか、また、参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

本調査では、「自らの健康づくりや生きがいづくり」(57.5%)と回答した割合が最も多く、次いで「地域の交流の場づくり」(41.2%)、「社会貢献」(38.9%)となりました。



問 22 あなたは、「スポーツ推進委員」を知っていますか。(〇は1つ)

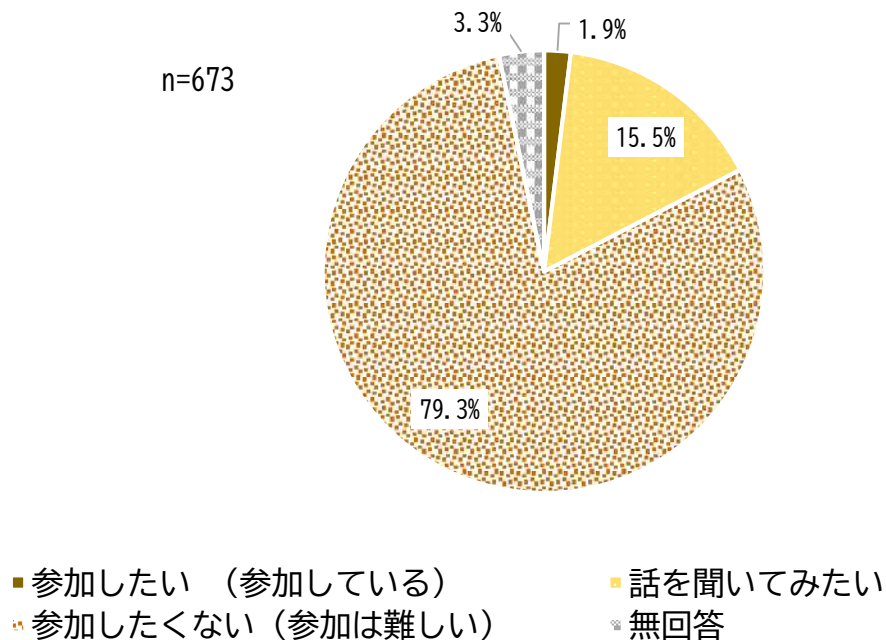
本調査の回答割合について、「活動内容について知っている」が3.7%、「名前は聞いたことがある」が17.5%、「知らない」が76.1%となりました。



■ 活動内容について知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない ■ 無回答

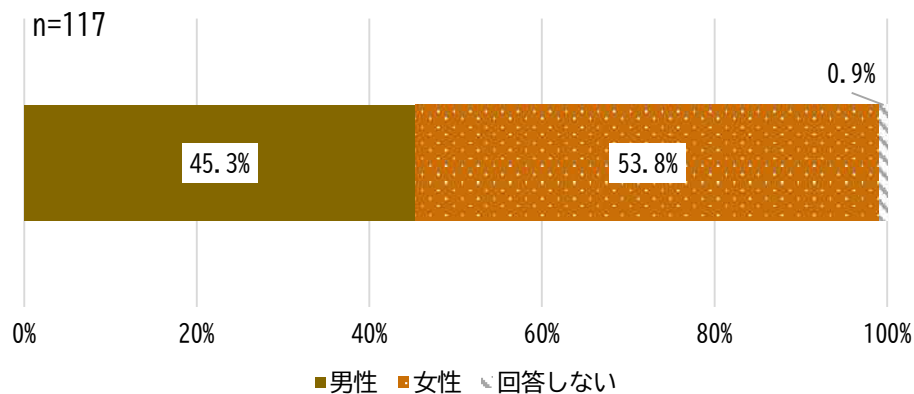
問 23 あなたは、地域のスポーツ活動の担い手として、「スポーツ推進委員」に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

本調査の回答割合については、「参加したい（参加している）」が 1.9%、「話を聞いてみたい」が 15.5%、「参加したくない」が 79.3%となりました。

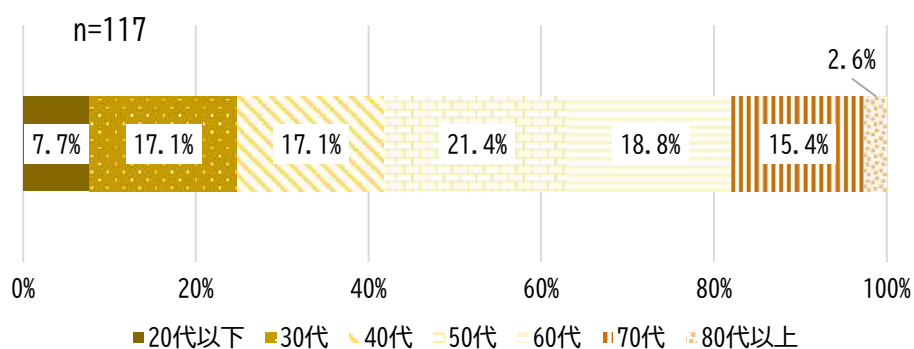


問 23 で「参加したい（参加している）」、「話を聞いてみたい」のいずれかを回答した方の属性は次のようになりました。

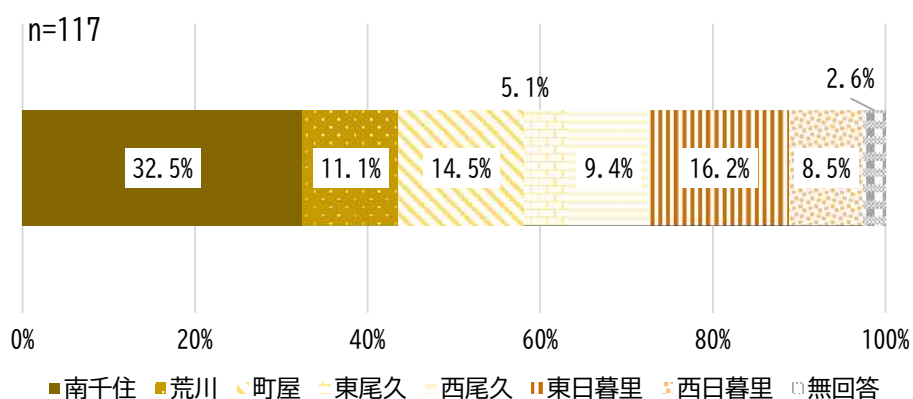
男女別の割合は、男性が 45.3%、女性が 53.8%、「回答しない」が 0.9%となりました。



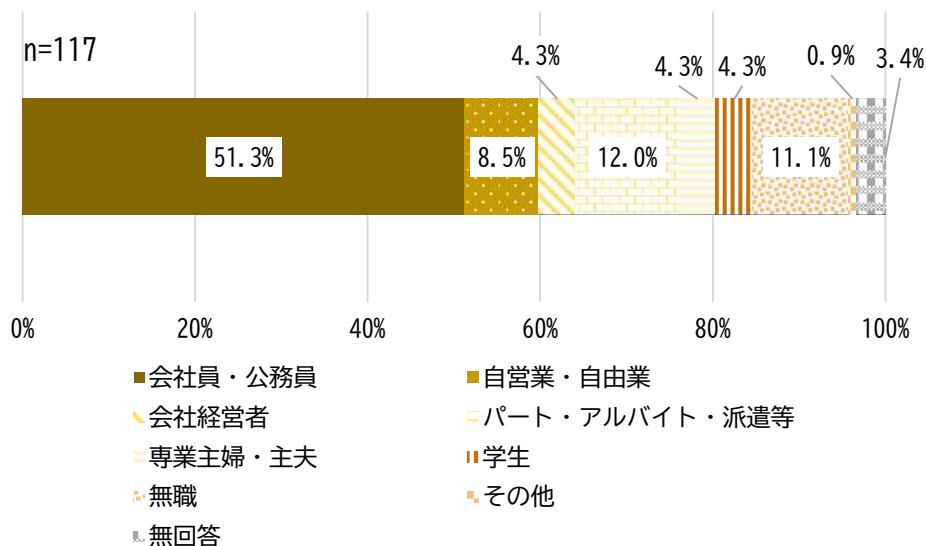
年齢別の割合は、50代（21.4%）が最も多く、次いで、60代（18.8%）、30代と40代（17.1%）となりました。



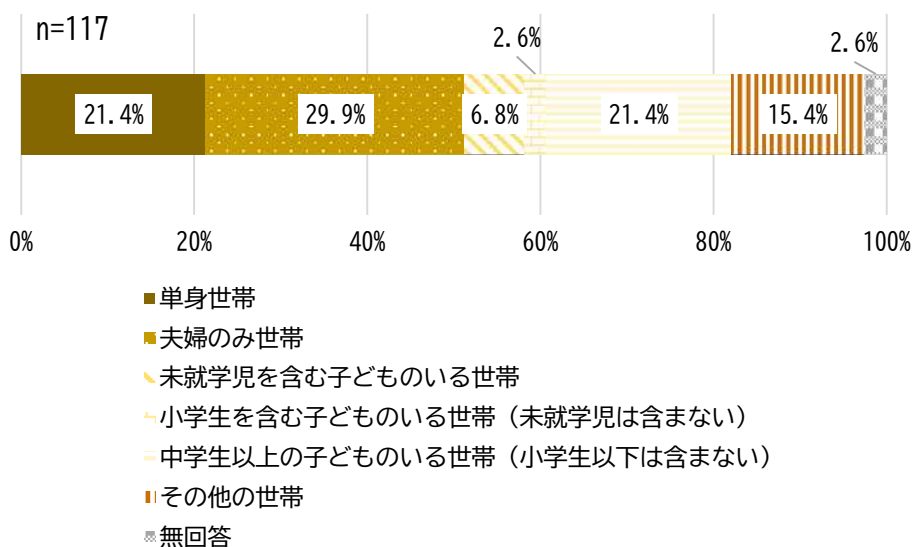
居住地域別の割合は、南千住（32.5%）が最も多く、次いで、東日暮里（16.2%）、町屋（14.5%）となりました。



職業別の割合は、「会社員・公務員」（51.3%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣等」（12.0%）、「無職」（11.1%）となりました。

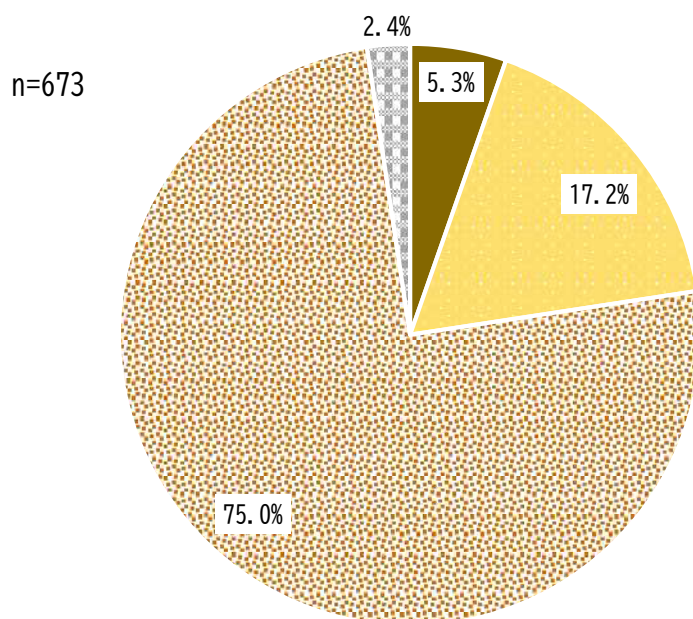


世帯構成別の割合は、「夫婦のみ世帯」（29.9%）が最も多く、次いで「単身世帯」と「中学生以上の子どもがいる世帯（小学生以下は含まない）」（21.4%）、「その他の世帯」（15.4%）となりました。



問 24 あなたは、「荒川区体育協会」を知っていますか。(○は1つ)

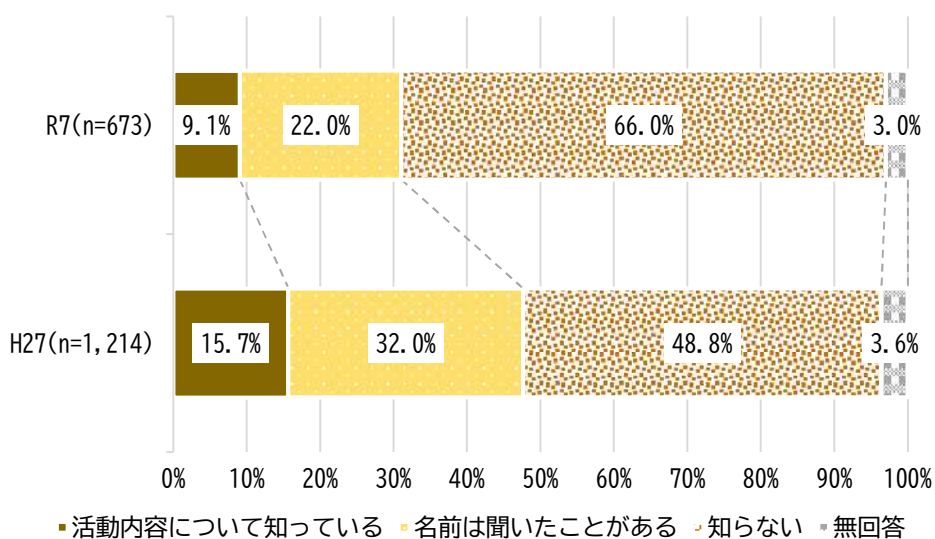
本調査での回答割合は、「活動内容について知っている」が5.3%、「名前は聞いたことがある」が17.2%、「知らない」が75.0%となりました。



■ 活動内容について知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない ■ 無回答

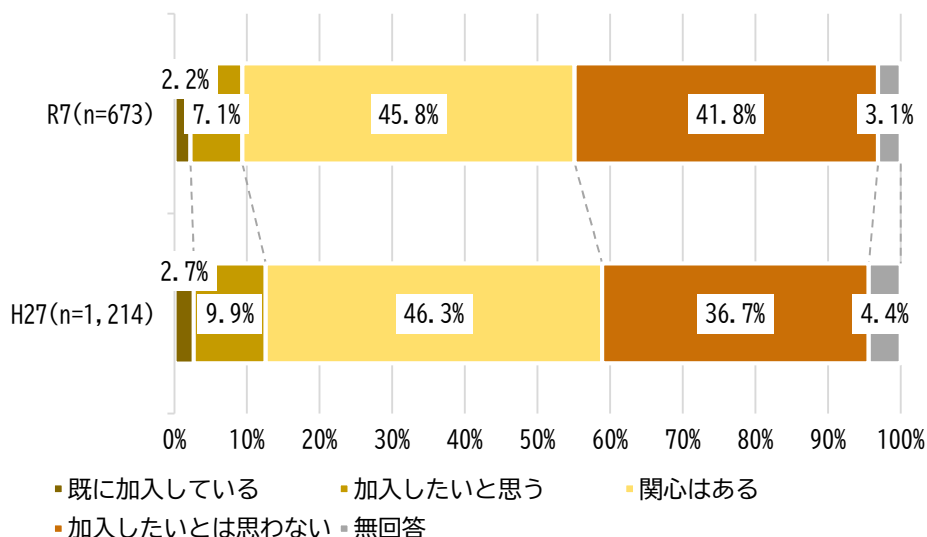
問 25 あなたは、「地域スポーツクラブ」を知っていますか。(○は1つ)

本調査での「活動内容について知っている」の回答割合は9.1%となり、前回調査(15.7%)と比べ6.6ポイント減りました。また、本調査での「名前は聞いたことがある」の回答割合は22.0%となり、前回調査(32.0%)と比べ、10.0ポイント減りました。さらに、本調査での「知らない」の回答割合は66.0%となり、前回調査(48.8%)と比べ、17.2ポイント増えました。

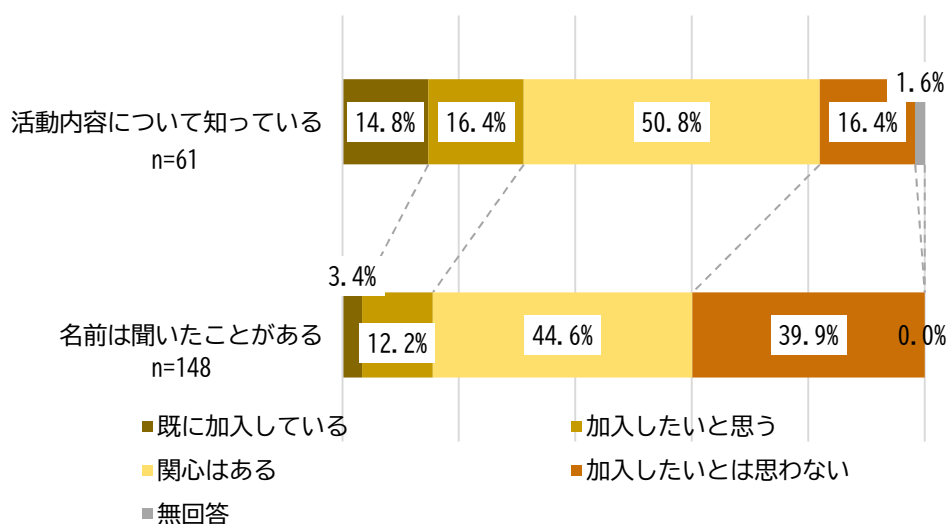


問 26 あなたは、「地域スポーツクラブ」が身近にあれば、加入したいと思いますか。(〇は1つ)

本調査での「既に参加している」の回答割合は2.2%となり、前回調査(2.7%)と比べ0.5ポイント減り、「参加したいと思う」の回答割合は7.1%で、前回調査(9.9%)と比べ、2.8ポイント減りました。また、本調査での「関心はある」の回答割合は45.8%となり、前回調査(46.3%)と比べ、0.5ポイント減りました。さらに、本調査での「参加したいと思わない」の回答割合は41.8%となり、前回調査(36.7%)と比べ、5.1ポイント増えました。



【地域スポーツクラブを知っている人の加入への関心状況】

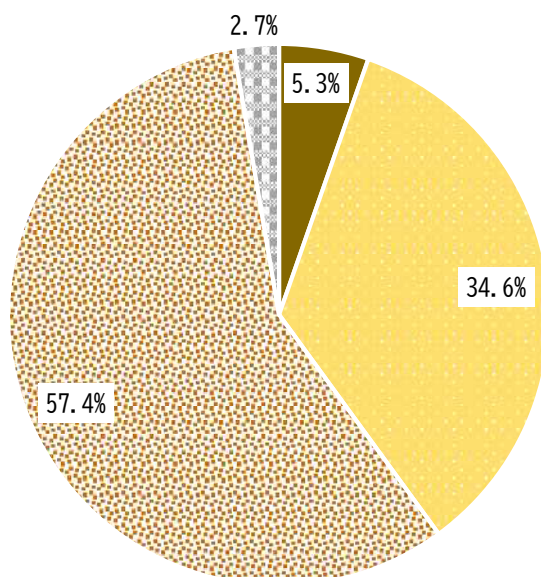


5. パラスポーツについて

問 27 あなたはパラスポーツに関心や参加経験がありますか。参加には応援や観覧も含みます。(○は1つ)

本調査での回答者の割合については、「関心があり、参加したことがある」が5.3%、「関心はあるが、参加したことがない」が34.6%、「関心はない（参加したことがない）」が57.4%となりました。

n=673



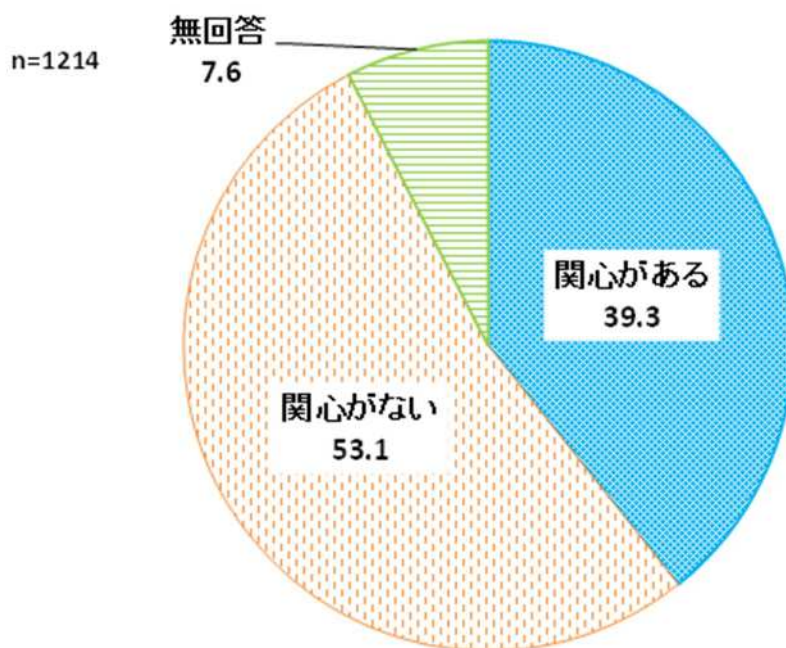
■ 関心があり、参加したことがある

■ 関心はあるが、参加したことがない

■ 関心はない（参加したことがない）

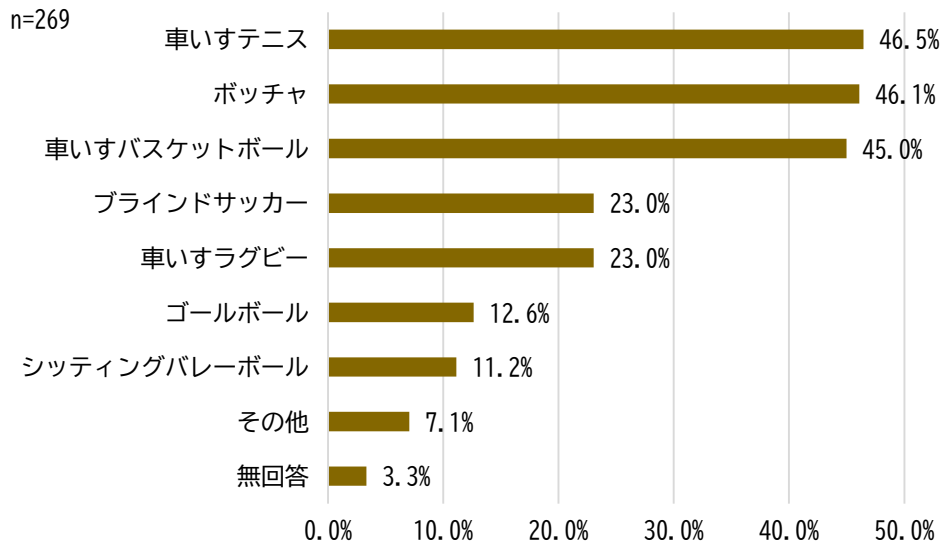
■ 無回答

前回調査では「あなたは、障がい者スポーツに関心がありますか。○は1つ」という設問に対して、「関心がある」が39.3%、「関心がない」が53.1%となりました。

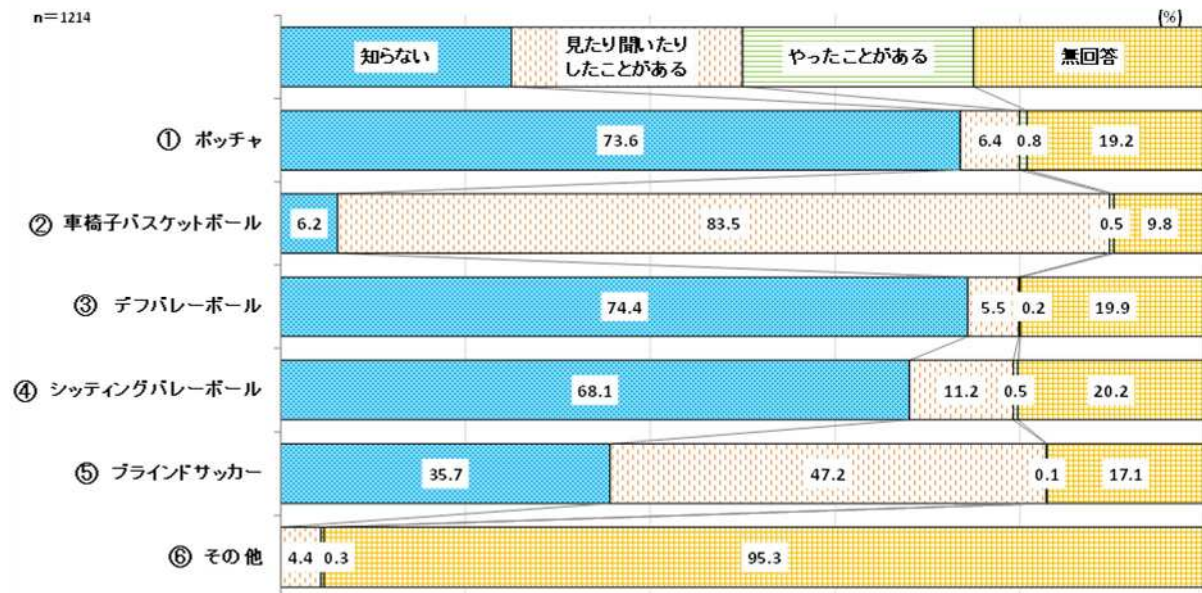


問 28 【問 27 で「関心があり、参加したことがある」、「関心はあるが、参加したことがない」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 関心のあるパラスポーツの種目を教えてください。（〇はいくつでも）

本調査での回答割合は、「車いすテニス」（46.5%）が最も多く、次いで「ボッチャ」（46.1%）、車いすバスケットボール（45.0%）となりました。



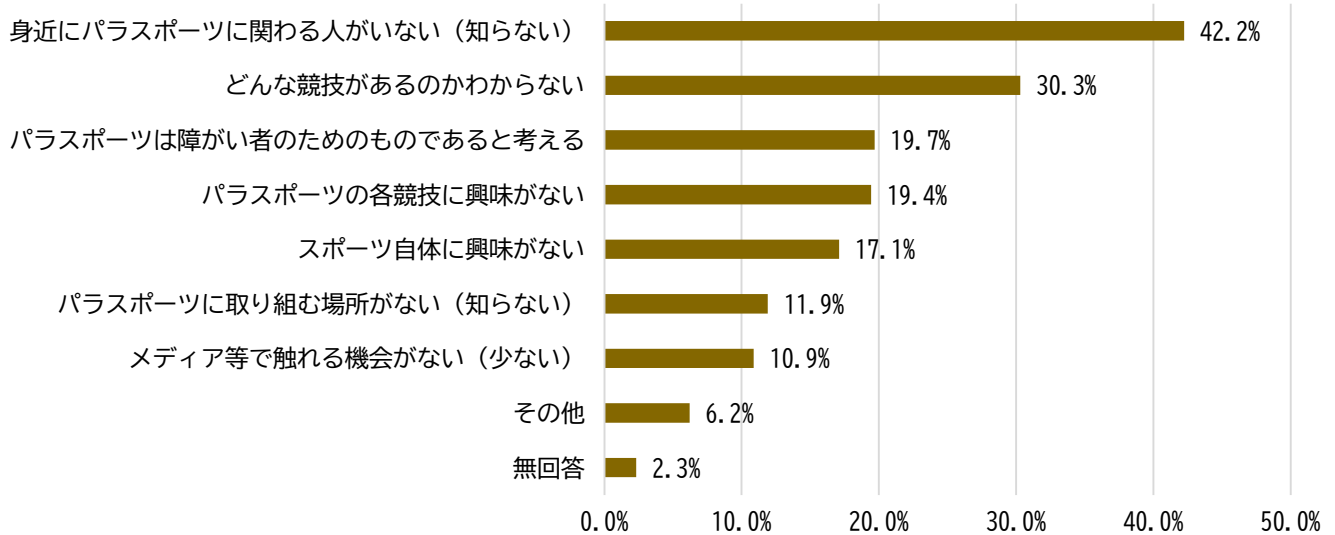
【参考】前回調査における「あなたは、障がい者スポーツを知っていますか。知らない、見たり聞いたことがある、やったことがある、いずれかを①～⑥までそれぞれについてお答えください。」という設問に対する回答は次のとおりでした。



問 29 【問 27 で「関心はない（参加したことがない）」に回答した方にお聞きします。
パラスポーツに関心がない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

本調査の回答割合は、「身近にパラスポーツに関わる人がいない（知らない）」（42.2%）が最も多く、次いで「どんな競技があるのかわからない」（30.3%）、「パラスポーツは障がい者のためのものであると考える」（19.7%）となりました。

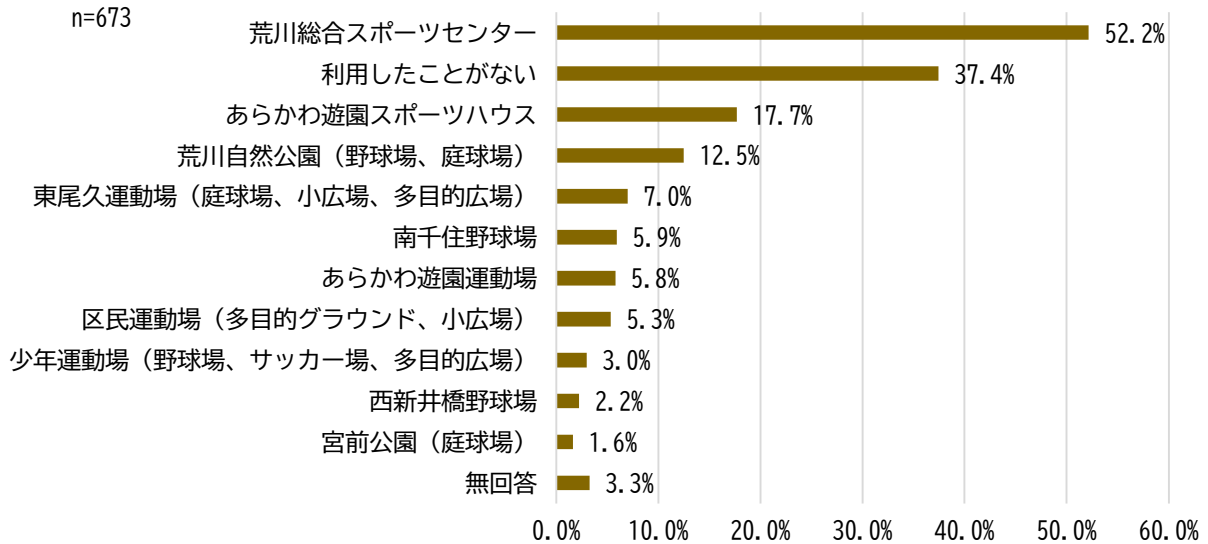
n=386



6. 区立スポーツ施設について

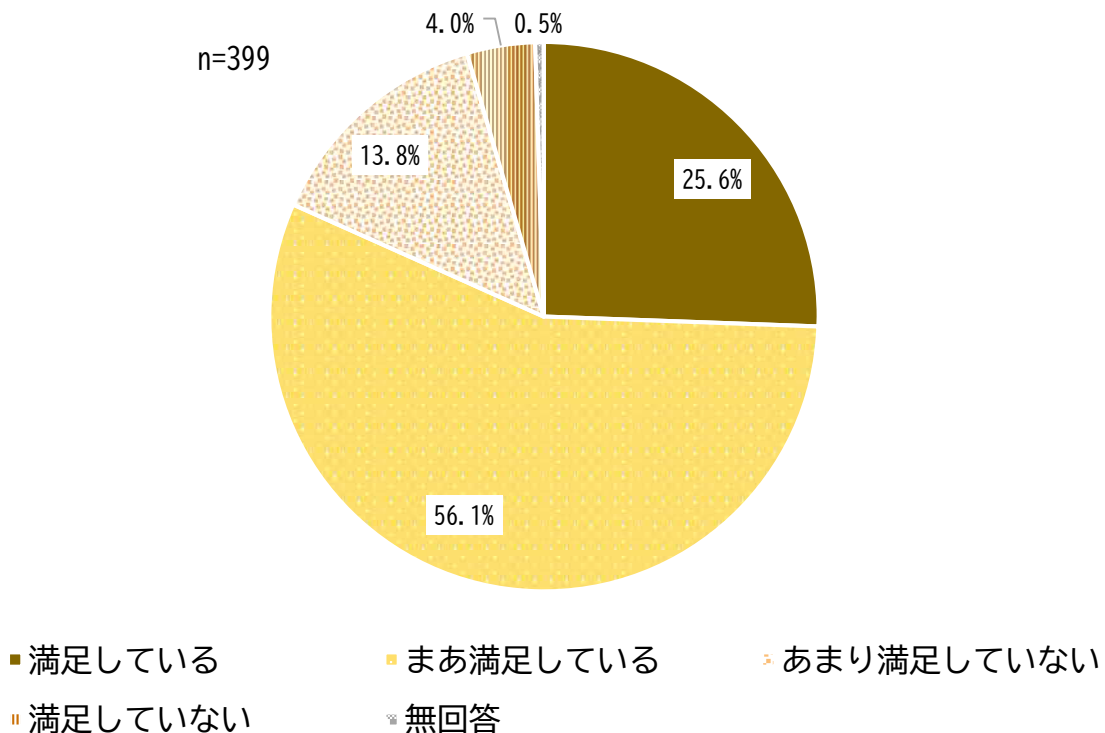
問 30 あなたは、以下の区立スポーツ施設を利用したことがありますか。(○はいくつでも)

本調査の回答割合は、「利用したことがない」と回答した方以外のなかでは、「荒川総合スポーツセンター」(52.2%) が最も多く、次いで「あらかわ遊園スポーツハウス」(17.7%)、「荒川自然公園(野球場、庭球場)」(12.5%) となりました。



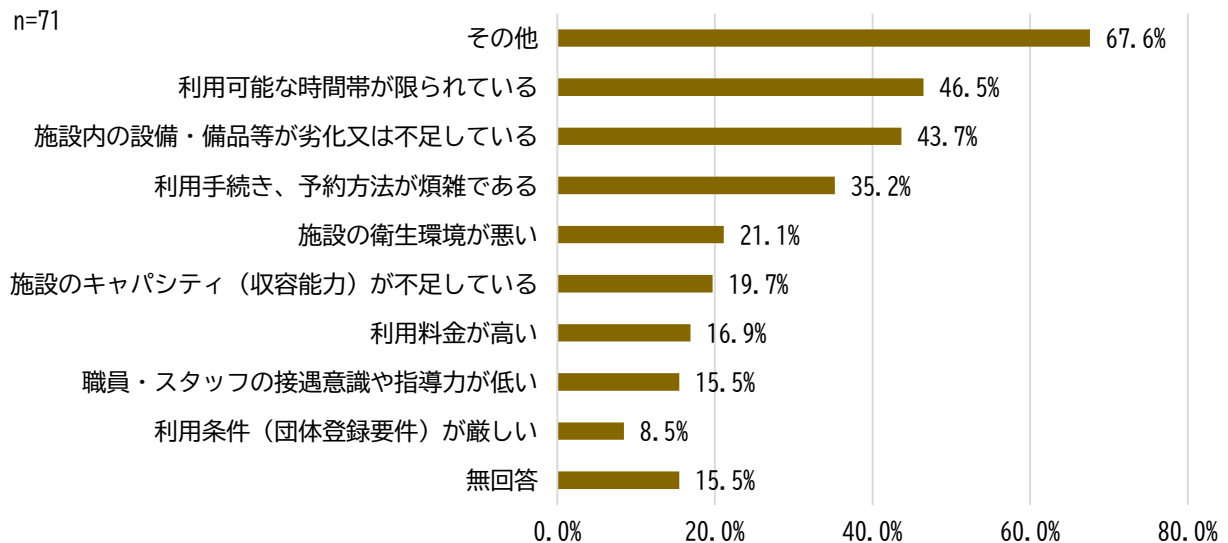
問 31 【問 30 で「荒川総合スポーツセンター」～「宮前公園(庭球場)」に回答した方にお聞きます。】利用したスポーツ施設(問 30 で回答したスポーツ施設)について満足していますか。(○は1つ)

本調査の回答割合は、「満足している」「まあ満足している」の合計“満足している”は81.7%、「あまり満足していない」「満足していない」の合計“満足していない”は17.8%となりました。



問 32 【問 31 で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方にお聞きします。】区立スポーツ施設で、どのような点に不満がありますか。（〇はいくつでも）

本調査の回答割合は、「その他」(67.6%)が最も多く、次いで「利用可能な時間帯が限られている」(46.5%)、「施設内の設備・備品等が劣化又は不足している」(43.7%)となりました。

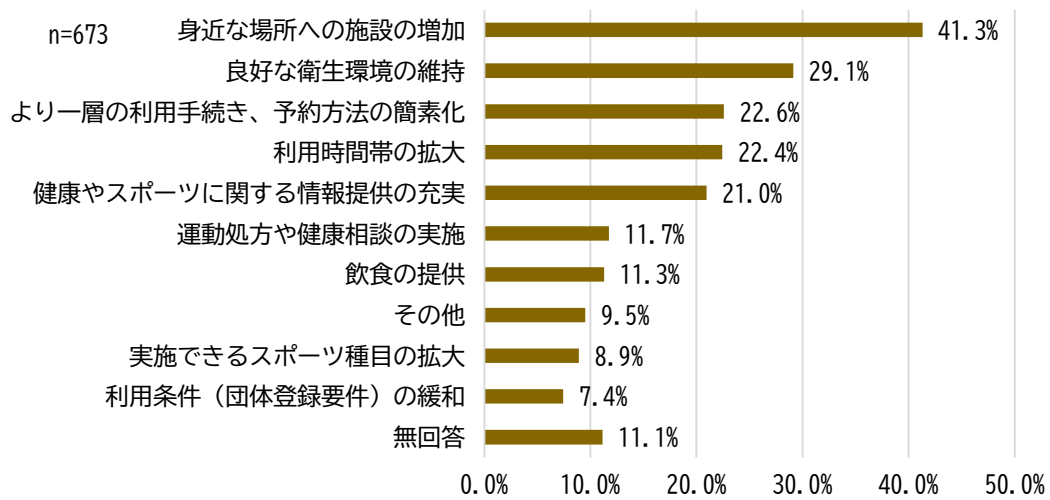


「その他」と回答した方は主に次のような意見を記述していました。

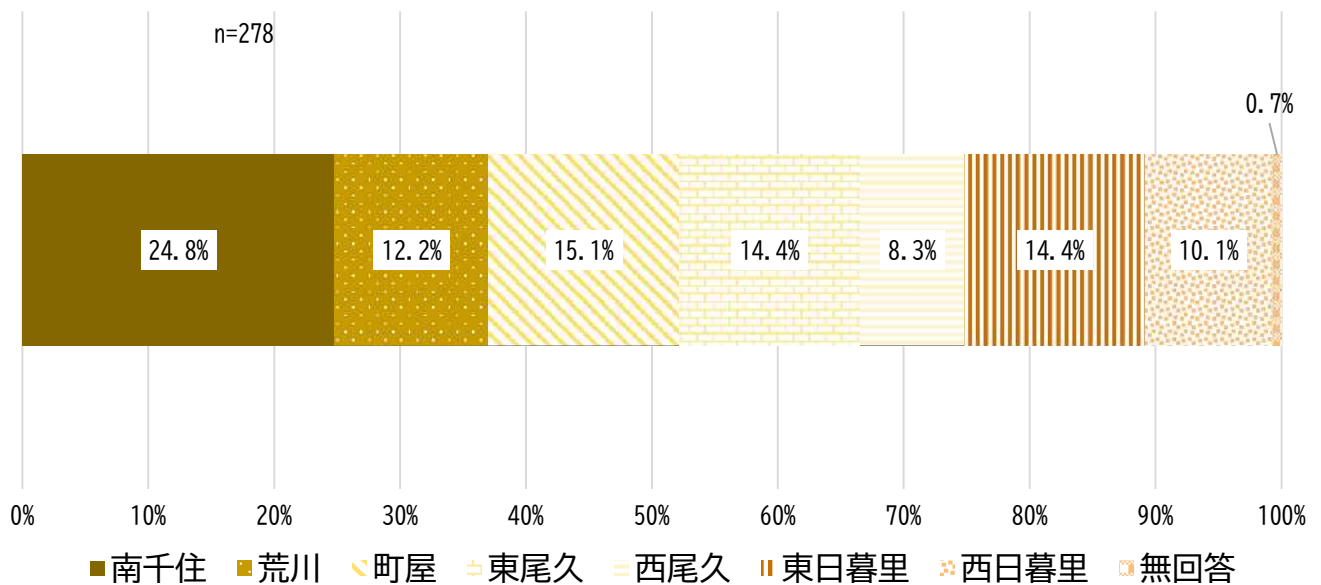
- ・施設へのアクセスが悪い。
- ・施設の存在自体を知らなかった。
- ・日本語が分からない。
- ・乳幼児の居場所がない。
- ・近隣区の施設のほうが良いのでそちらを使用している。
- ・ジムを使いたいけどどの機材が体のどの部位に効くのかを書いていて欲しい。簡単なトレーニング順番とかあったら良い。

問 33 あなたは、今後区立スポーツ施設に対して、望むことはありますか。(〇はいくつでも)

本調査の回答割合は、「身近な場所への施設の増加」(41.3%)が最も多く、次いで「良好な衛生環境の維持」(29.1%)、「より一層の利用手続き、予約方法の簡素化」(22.6%)となりました。



「身近な場所への施設の増加」と回答した方の居住場所の割合は、南千住(24.8%)が最も多く、次いで町屋(15.1%)、東尾久と東日暮里(いずれも14.4%)となりました。



問 34 問 33 で「実施できるスポーツ種目の拡大」と回答した方にお聞きします。拡大を希望する具体的なスポーツ種目があれば、記入してください（自由記述）。

【球技やチームスポーツ】

テニス、フットサル、ラグビー、卓球、ゴルフ、3on3 のバスケット、ゴルフ練習、スカッシュ、ゲートボール

【ロープを使うスポーツ】

縄跳び(自前で)

【体操・ダンス・トレーニング、走る、歩く、泳ぐ】

ヨガ、アルゼンチンタンゴ、社交ダンス、バレエ、古典舞踊、高齢でもできる筋トレ、ピラティス、高齢者用ジム（バランスボールを使って）、ふまねっと、年齢問わず参加できるもの（ダンスなど）、フラダンス、有酸素運動、水泳、プールによるアクアビクスや水泳（どなたでも健康維持ができるから）、マシンピラティス

【武道】

剣道、柔道、太極拳、合気道

【野外・アウトドアスポーツ】

釣り、パラグライダー、パラセーリング

【車輪のあるスポーツ】

サイクリング

【アーバンスポーツ】

ボルダリング

【パラスポーツ】

パラスポーツの体験会、ボッチャ

【ニュースポーツ】

モルック

【その他】

輪投げ、簡単に取り組める運動、主婦が参加できる身体作り

【施設設備の充実に関するご意見】

ランニング用のトラック、ジョギングコース、バッティングセンター、壁打ちできるところがほしい、バスケットボールゴールがあるバスケットコートがほしい、マシンの充実

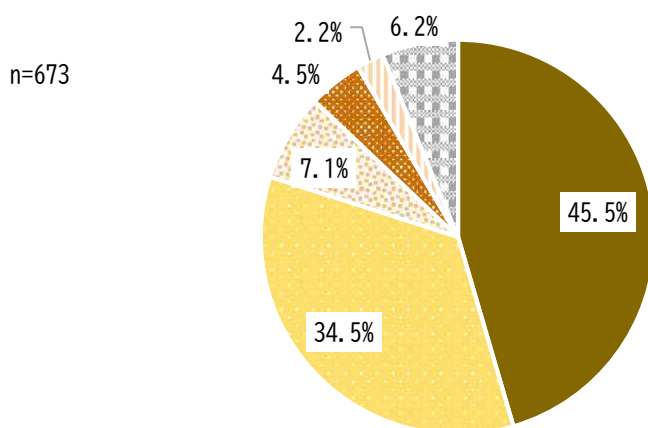
【その他ご意見】

近くのふれあい館に行って見たいと思いますが月の発行しているカレンダーを見る時はすでにいっぱい
の状態です。では次の年度変わりにと思い待っているとほぼいっぱい状態でいつ申し込みをするのか
わかりません。老人センターの様に 1 年間入った人は交代するとか半年で次の人が入れるようにすると
かしてほしいものです。

7. 区立スポーツ水泳授業での活用について

問 35 荒川区において、老朽化した学校施設の建替え時に合わせて、区立スポーツ施設のプールで、一部の時間帯を学校の水泳授業で活用することについてどのようにお考えですか。（○は1つ）

本調査では、「子ども達のために活用すべきである」「子ども達のために活用すべきであるが、一般利用への配慮が必要である」の割合の合計、“子ども達のために活用すべきである”は80.0%となりました。



- 子ども達のために活用すべきである
- 子ども達のために活用すべきであるが、一般利用への配慮が必要である
- 一般利用も考慮し、必要最小限の活用であればやむを得ない
- 水泳授業は学校内で行うべきである
- その他
- 無回答

8. あなたご自身について

問 36 あなたの性別について教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
男性	284	42.2%
女性	367	54.5%
回答しない	9	1.3%
その他	0	0.0%
無回答	13	1.9%
計	673	100.0%

問 37 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
24歳以下	27	4.0%
25～29歳	27	4.0%
30～34歳	35	5.2%
35～39歳	44	6.5%
40～44歳	58	8.6%
45～49歳	72	10.7%
50～54歳	62	9.2%
55～59歳	54	8.0%
60～64歳	56	8.3%
65～69歳	38	5.6%
70～74歳	48	7.1%
75～79歳	69	10.3%
80歳以上	72	10.7%
無回答	11	1.6%
計	673	100.0%

問 38 あなたの住んでいる地域を教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
南千住	164	24.4%
荒川	95	14.1%
町屋	88	13.1%
東尾久	94	14.0%
西尾久	68	10.1%
東日暮里	86	12.8%
西日暮里	67	10.0%
無回答	11	1.6%
計	673	100.0%

問 39 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
会社員・公務員	265	39.4%
自営業・自由業	47	7.0%
会社経営者	20	3.0%
パート・アルバイト・派遣等	88	13.1%
専業主婦・主夫	70	10.4%
学生	24	3.6%
無職	135	20.1%
その他	11	1.6%
無回答	13	1.9%
計	673	100.0%

問 40 あなたの世帯について教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
単身世帯	141	21.0%
夫婦のみ世帯	174	25.9%
未就学児を含む子どものいる世帯	59	8.8%
小学生を含む子どものいる世帯（未就学児は含まない）	42	6.2%
中学生以上の子どものいる世帯（小学生以下は含まない）	140	20.8%
その他の世帯	100	14.9%
無回答	17	2.5%
計	673	100.0%

問 41 スポーツや運動をする際に、あなた一人にかかる費用として、一月いくらまでであれば支出してもよいと思いますか。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
1,000 円未満	102	15.2%
1,000 円～3,000 円未満	189	28.1%
3,000 円～5,000 円未満	154	22.9%
5,000 円～1 万円未満	135	20.1%
1 万円～3 万円未満	56	8.3%
3 万円以上	13	1.9%
無回答	24	3.6%
計	673	100.0%

Ⅱ 荒川区民スポーツ意識調査（障がい者）

<調査の概要>

1 調査の目的

区民のスポーツや運動に関する意識、スポーツ活動の実態、区スポーツ施策に関する意見や要望を伺い、令和7年度に策定する「荒川区スポーツ推進プラン」の参考資料とすることを目的としています。

2 調査対象

区内在住の18歳以上から、1,000名を無作為抽出

3 調査期間

令和7年7月28日～令和7年8月15日

4 調査方法

郵送による配布・回収もしくはWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
1,000件	302件	30.2%

6 調査結果の表示方法

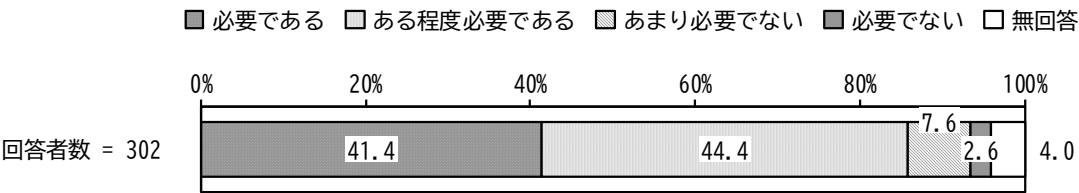
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

<調査結果>

1 スポーツに対する考え方について

問1 あなたは、幸福で豊かな生活を送るうえで、スポーツ活動（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベント参加・開催を含むスポーツ活動全般）をどのようにお考えですか。（○は1つ）

「必要である」「ある程度必要である」を合わせた“必要である”の割合が 85.8%、「あまり必要でない」「必要でない」を合わせた“必要でない”の割合が 10.2%となりました。

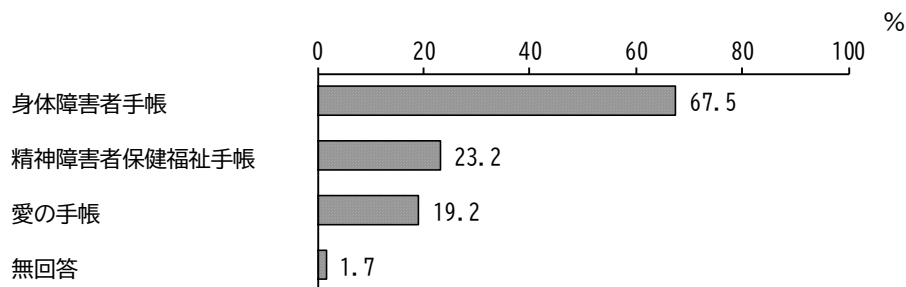


2 障がいの状況について

問2 あなたがお持ちの手帳はどれですか。(〇はいくつでも)

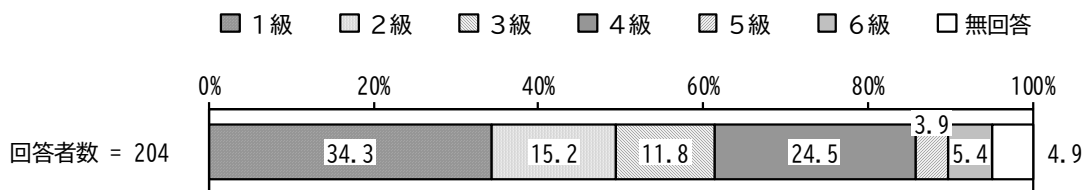
「身体障害者手帳」の割合が 67.5%、「精神障害者保健福祉手帳」の割合が 23.2%、「愛の手帳」の割合が 19.2%となりました。

回答者数 = 302



問3 【問2で「身体障害者手帳」に回答した方にお聞きします。】 お持ちの「身体障害者手帳」の等級を教えてください。(〇は1つ)

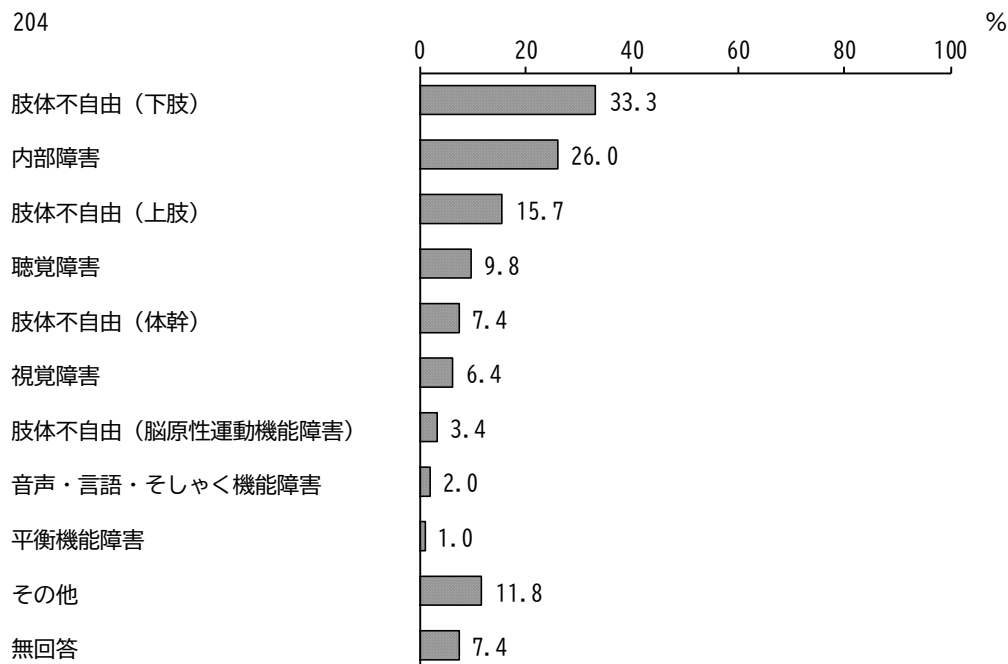
「1級」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「4級」の割合が 24.5%、「2級」の割合が 15.2%となりました。



問3-1 【身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします】 障がいの種類を教えてください。(〇はいくつでも)

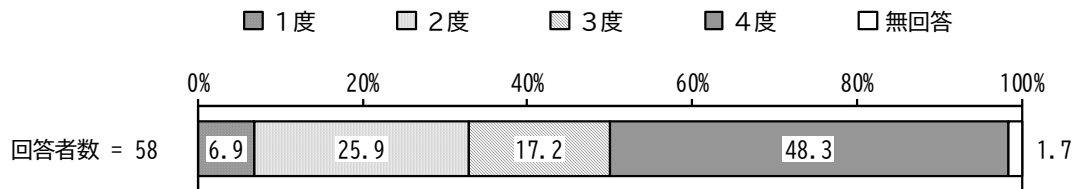
「肢体不自由（下肢）」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「内部障害」の割合が 26.0%、「肢体不自由（上肢）」の割合が 15.7%となりました。

回答者数 = 204



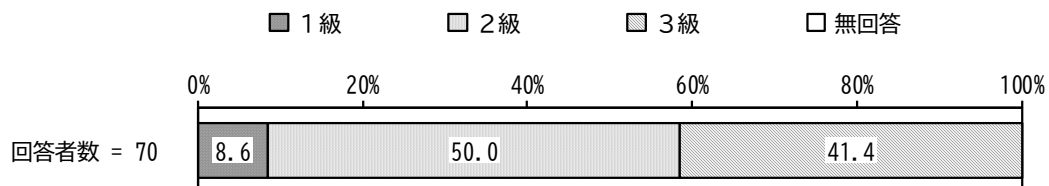
問4 【問2で「愛の手帳」に回答した方にお聞きします。】
お持ちの「愛の手帳」の等級を教えてください。(○は1つ)

「4度」の割合が48.3%と最も高く、次いで「2度」の割合が25.9%、「3度」の割合が17.2%となりました。



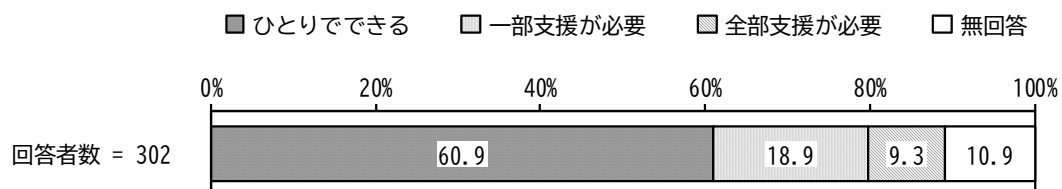
問5 【問2で「精神障害者保健福祉手帳」に回答した方にお聞きします。】
お持ちの「精神障害者保健福祉手帳」の等級を教えてください。(○は1つ)

「1級」の割合が8.6%、「2級」の割合が50.0%、「3級」の割合が41.4%となりました。



問6 移動や外出を行う際の状況について、お伺いします。
建物に入るまでや建物の中の移動をどのように行っているか教えてください。
(○は1つ)

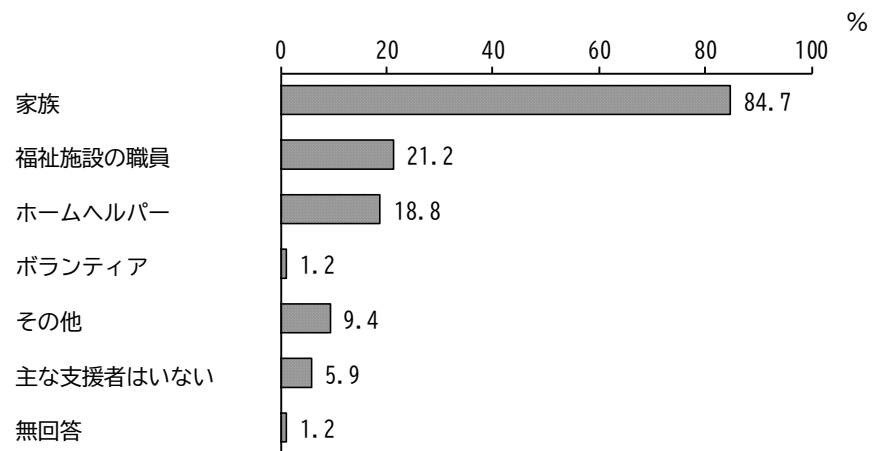
「ひとりでできる」の割合が60.9%、「一部支援が必要」の割合が18.9%、「全部支援が必要」の割合が9.3%となりました。



問7 【問6で「一部支援が必要」「全部支援が必要」に回答した方にお聞きします。】
移動や外出を行う際の、主な支援者を教えてください。(〇はいくつでも)

「家族」の割合が84.7%と最も高く、次いで「福祉施設の職員」の割合が21.2%、「ホームヘルパー」の割合が18.8%となりました。

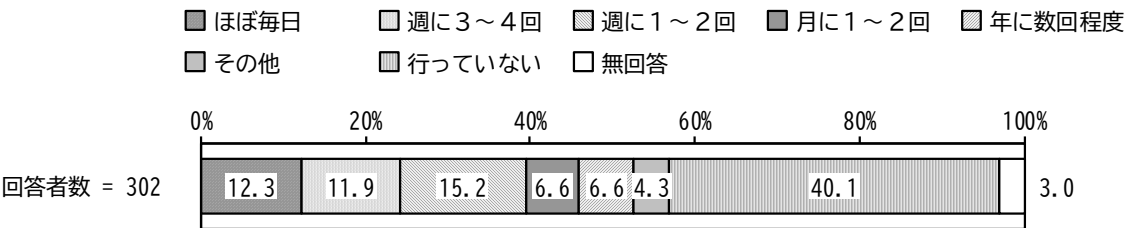
回答者数 = 85



3 スポーツの実施状況について

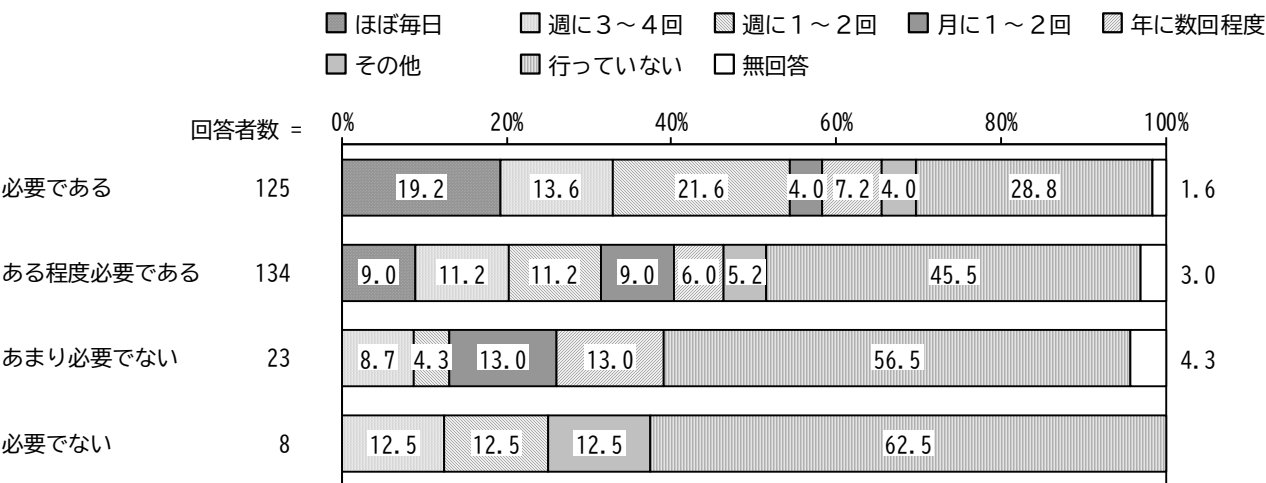
問8 あなたは、日ごろ、スポーツや運動をどのくらい行っていますか。(○は1つ)

「週に1～2回」の割合が15.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が12.3%、「週に3～4回」の割合が11.9%となりました。



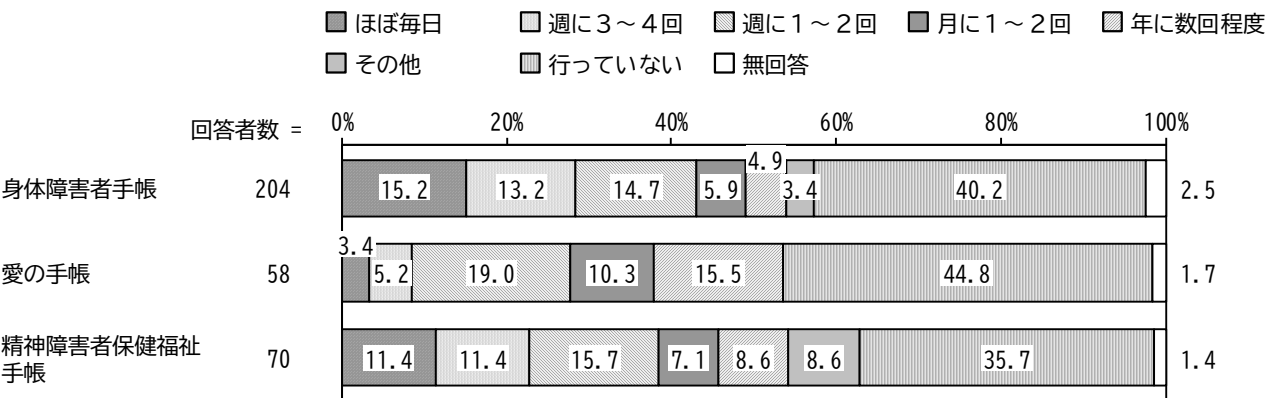
【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、『あまり必要でない』から『必要である』までスポーツに対する意識が高いほど“週1回以上”の割合が高くなりました。また、『あまり必要でない』で「週に1～2回」の割合が低くなりました。



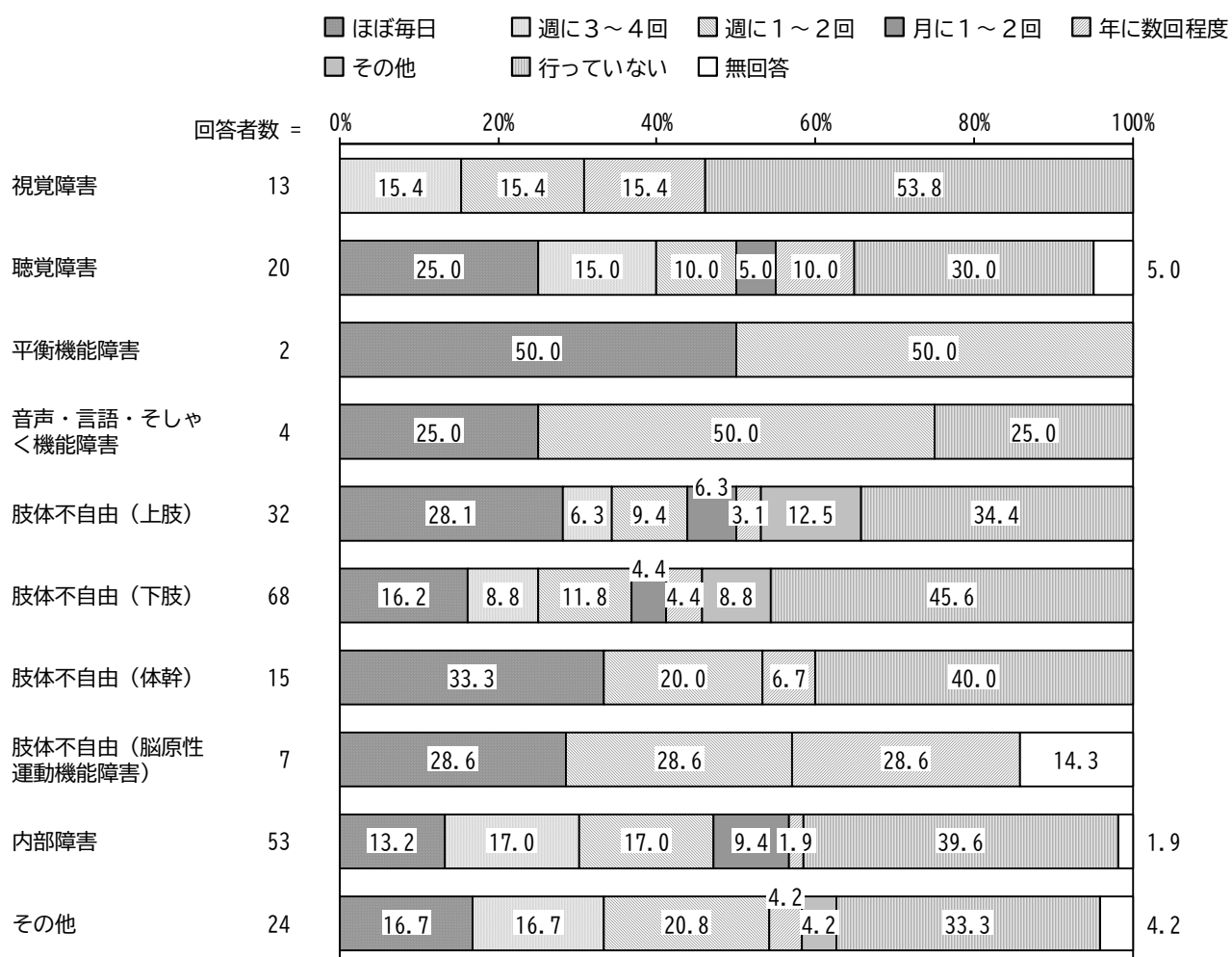
【手帳別】

手帳別にみると、愛の手帳で“週1回以上”の割合が低くなりました。



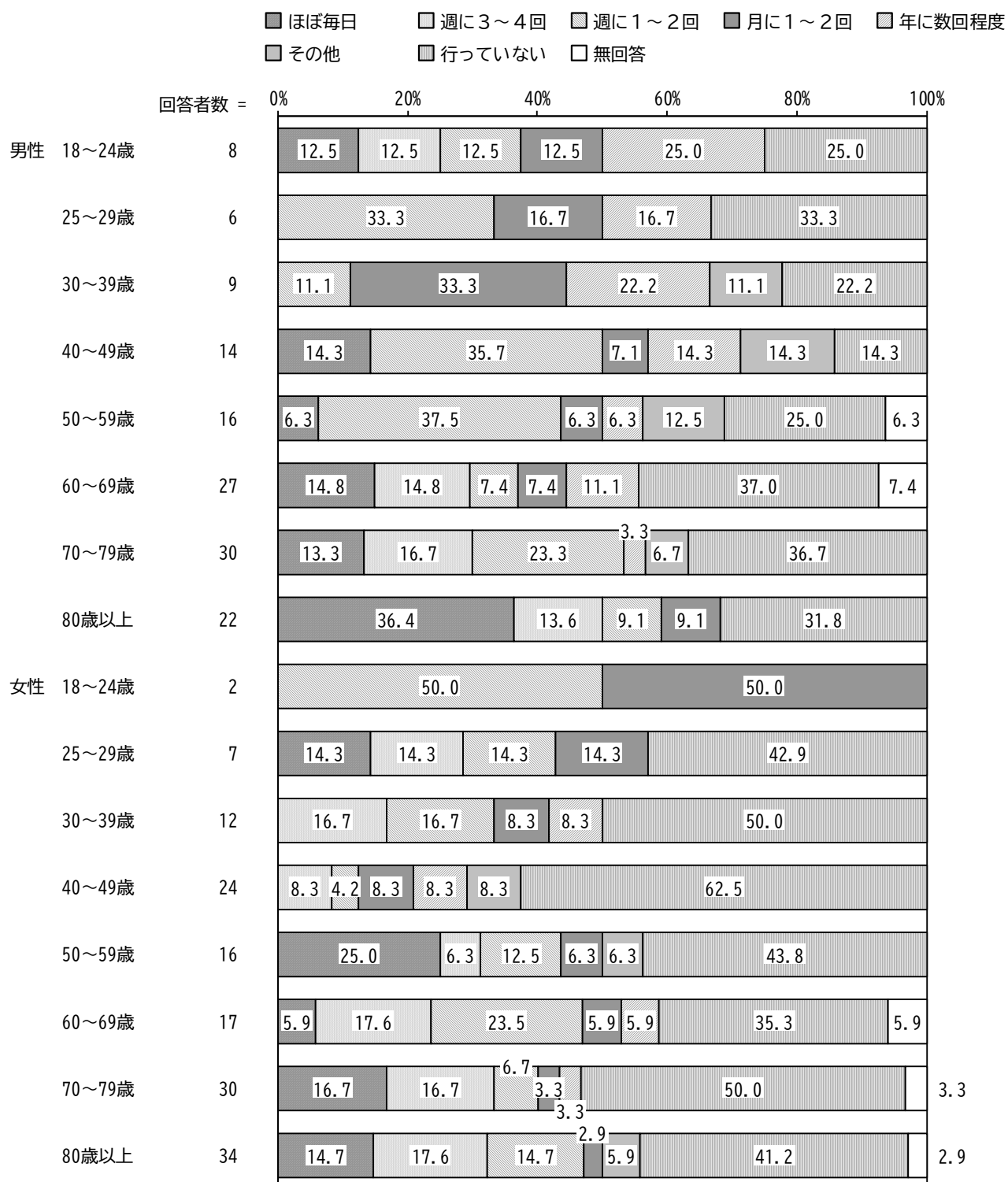
【障がい種別】

障がい種別にみると、肢体不自由（体幹）で“週1回以上”の割合が高くなりました。



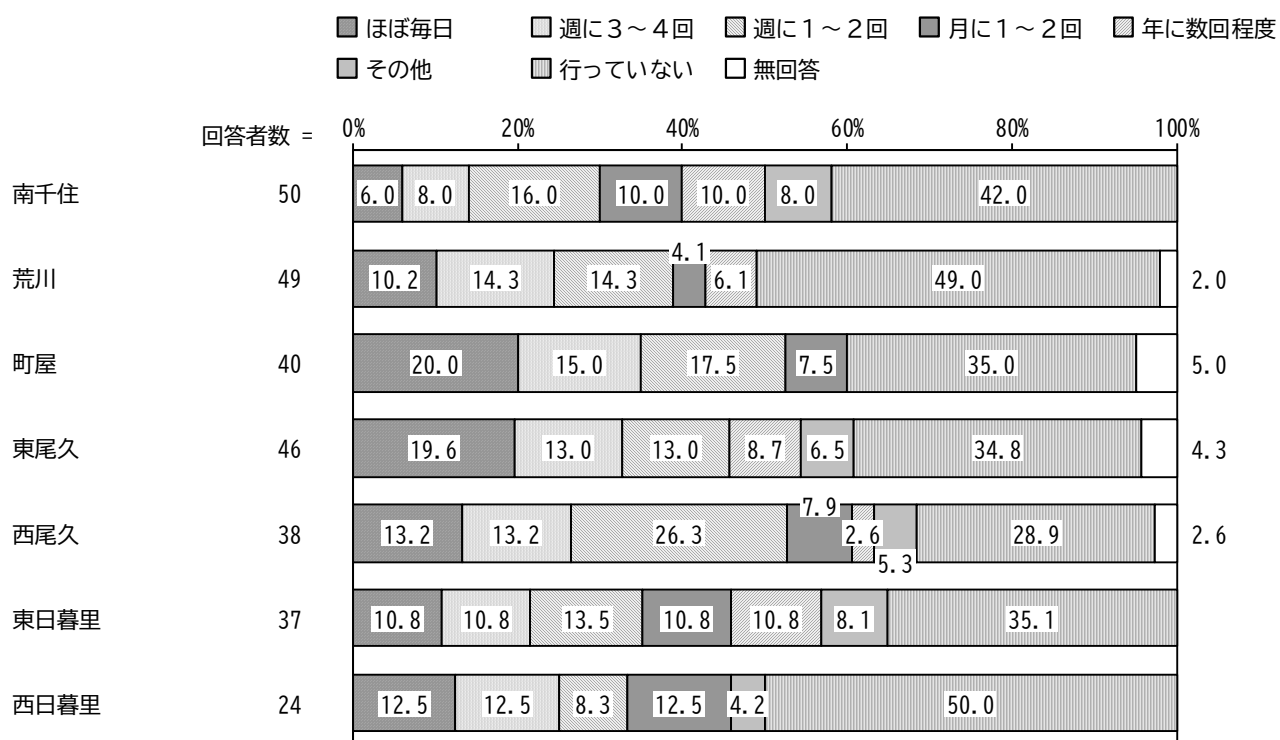
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では40～49歳から18～24歳まで年齢が下がるほど“週1回以上”の割合が高くなりました。また、男性80歳以上で「ほぼ毎日」の割合が高くなりました。



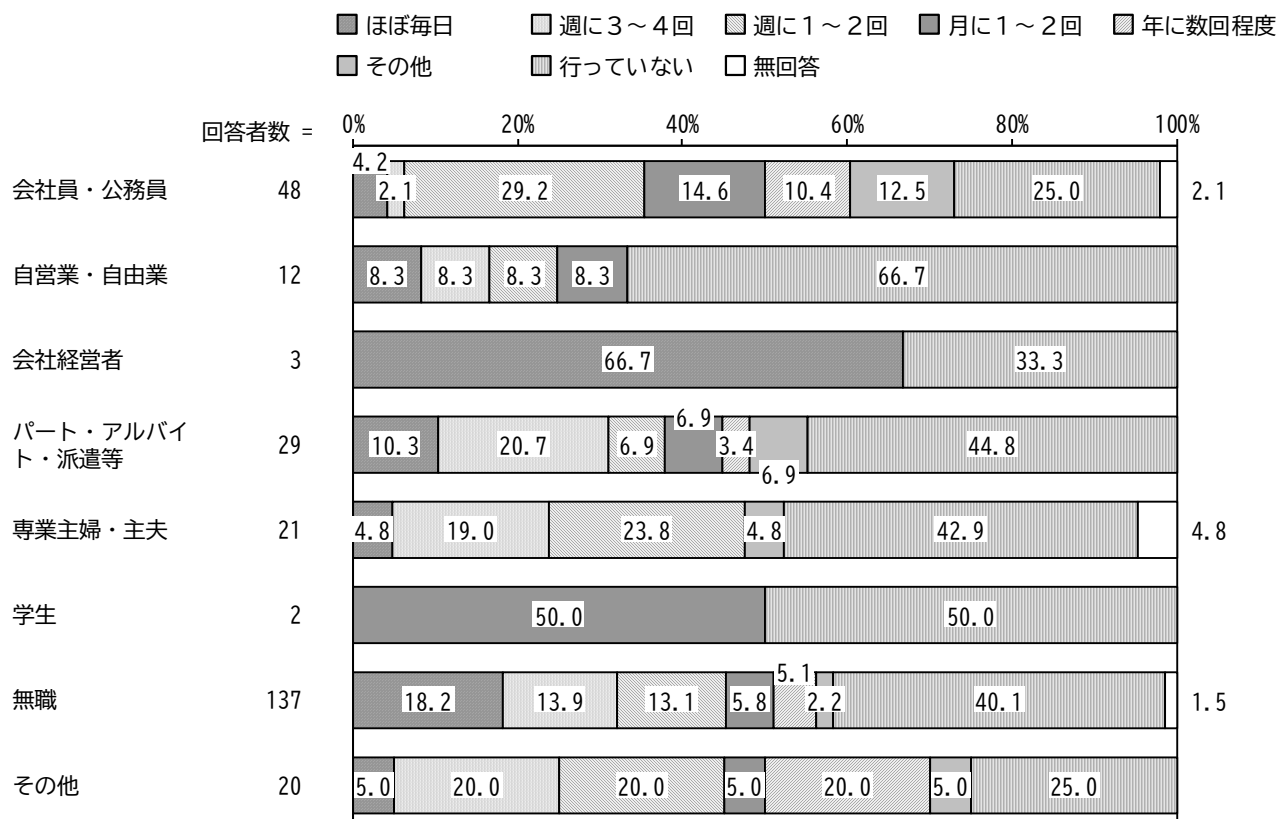
【居住地域別】

居住地域別にみると、町屋、西尾久で“週1回以上”の割合が高くなりました。



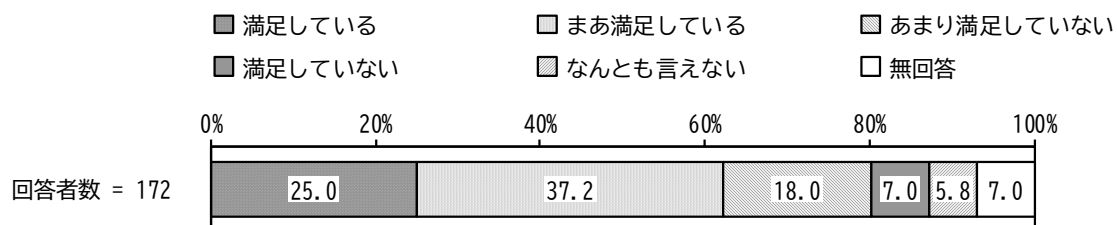
【職業別】

職業別にみると、自営業・自由業で“週1回以上”の割合が低くなりました。



問9 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 あなたは、スポーツや運動を実施する頻度（問8で回答した頻度）について、満足していますか。（○は1つ）

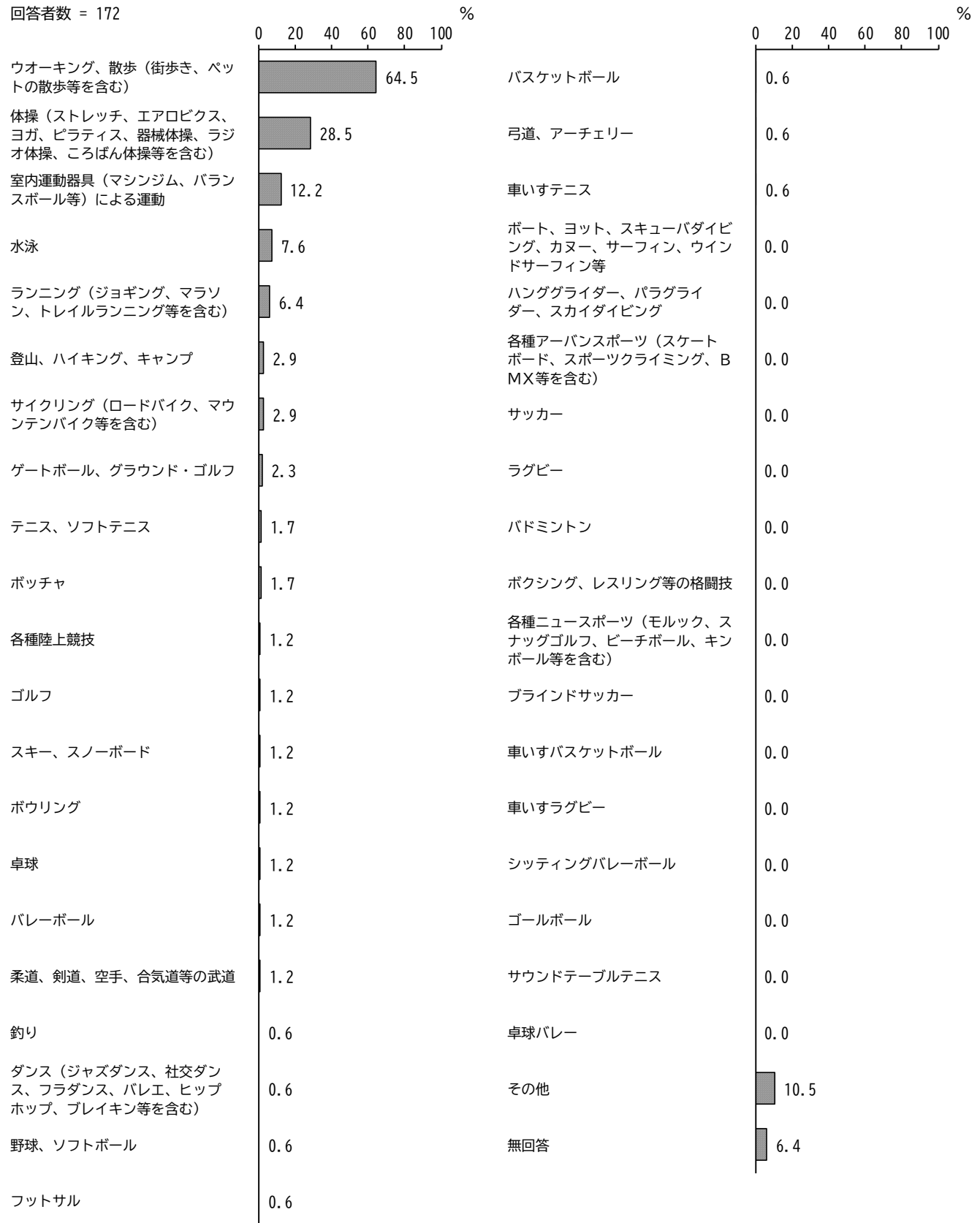
「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が62.2%、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が25.0%となりました。



問10 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
主にどのような運動を行っていますか。(〇は3つまで)

「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が64.5%と最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が28.5%、「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」の割合が12.2%となりました。

回答者数 = 172



【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、全体の割合に対して、『必要である』から『あまり必要でない』までスポーツに対する意識が低いほど「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こらばん体操等を含む）」「柔道、剣道、空手、合気道等の武道」の割合が高くなりました。また、『必要である』で「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ベットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こらばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全 体	172	64.5	6.4	1.2	28.5	12.2	7.6	0.0	1.2	1.2	2.9	0.0	0.6	1.2
必要である	87	64.4	9.2	1.1	27.6	16.1	9.2	0.0	1.1	1.1	3.4	0.0	0.0	0.0
ある程度必要である	69	65.2	4.3	1.4	30.4	5.8	7.2	0.0	1.4	0.0	2.9	0.0	1.4	1.4
あまり必要でない	9	55.6	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
必要でない	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	各種アーパンスポーツ（スケートボード、スノーボード、クライミング、BMX等を含む）	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全 体	2.3	2.9	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	1.7	1.2	1.2	0.6	0.0	1.2
必要である	3.4	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0
ある程度必要である	0.0	5.8	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4
あまり必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

（次ページへ続く）

単位：％

区分	弓道、アーチェリー	技 ボクシング、レスリング等の格闘	各種 ナツグゴルフ、ビーチボール、キン ボール等を含む	ポッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全 体	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	6.4
必要である	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	8.0
ある程度必要である	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1	5.8
あまり必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

(前ページの表 続き)

【手帳別】

手帳別にみると、全体の割合に対して、愛の手帳で「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」「水泳」「スキー、スノーボード」「ボウリング」「サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）」「ボッチャ」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッツ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操（こころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全 体	172	64.5	6.4	1.2	28.5	12.2	7.6	0.0	1.2	1.2	2.9	0.0	0.6	1.2
身体障害者手帳	117	60.7	6.0	0.9	32.5	12.8	5.1	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0
愛の手帳	31	74.2	6.5	0.0	12.9	6.5	19.4	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	6.5
精神障害者保健福祉手帳	44	68.2	6.8	2.3	27.3	11.4	4.5	0.0	2.3	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	各種アーパンスポーツ（スケートボード、スノーボード、クライミング、BMX等を含む）	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全 体	2.3	2.9	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	1.7	1.2	1.2	0.6	0.0	1.2
身体障害者手帳	3.4	2.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	2.6	1.7	0.0	0.9	0.0	0.9
愛の手帳	3.2	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	4.5	0.0	0.0	2.3

区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	ボッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全 体	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	6.4
身体障害者手帳	0.9	0.0	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	6.8
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体の割合に対して、聴覚障害で「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」「水泳」、肢体不自由（上肢）で「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全 体	117	60.7	6.0	0.9	32.5	12.8	5.1	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0
視覚障害	6	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚障害	13	76.9	0.0	0.0	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
平衡機能障害	2	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（上肢）	21	42.9	0.0	0.0	57.1	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
肢体不自由（下肢）	37	48.6	0.0	0.0	37.8	16.2	8.1	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0
肢体不自由（体幹）	9	55.6	11.1	11.1	77.8	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	6	16.7	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	31	67.7	9.7	0.0	41.9	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	15	60.0	6.7	0.0	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（次ページへ続く）

単位：％

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	各種アーパンスポーツ（スケートボード、スノーボード、スキー、BMX等を含む）	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全 体	3.4	2.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	2.6	1.7	0.0	0.9	0.0	0.9
視覚障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚障害	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（上肢）	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（下肢）	5.4	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（体幹）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7

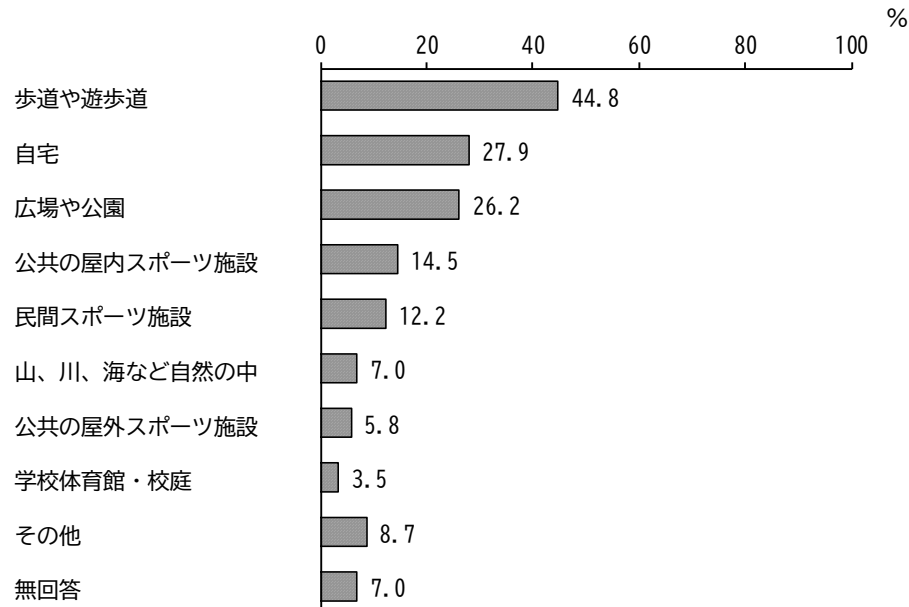
区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ユニースポーツ（モルック、ナツグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	ポッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全 体	0.9	0.0	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	6.8
視覚障害	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
聴覚障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
肢体不自由（上肢）	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	14.3
肢体不自由（下肢）	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	13.5
肢体不自由（体幹）	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7
内部障害	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7

（前ページの表 続き）

問11 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。
スポーツや運動（問10で回答したスポーツや運動）を行った場所はどこですか。
（〇は3つまで）

「歩道や遊歩道」の割合が44.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が27.9%、「広場や公園」の割合が26.2%となりました。

回答者数 = 172



【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、全体の割合に対して、スポーツに対する意識が高いほど「民間スポーツ施設」「公共の屋内スポーツ施設」の割合が高い傾向にあり、「山、川、海など自然の中」の割合が低い傾向にあり、『ある程度必要である』から『必要でない』までスポーツに対する意識が低いほど「自宅」の割合が高く、「歩道や遊歩道」の割合が低くなりました。また、『必要である』で「公共の屋外スポーツ施設」の割合が高く、『ある程度必要である』で「歩道や遊歩道」の割合が高くなりました。

単位：%

区分	回答者数 (件)	歩道や遊歩道	広場や公園	民間スポーツ施設	公共の屋内スポーツ施設	公共の屋外スポーツ施設	学校体育館・校庭	自宅	山、川、海など自然の中	その他	無回答
全 体	172	44.8	26.2	12.2	14.5	5.8	3.5	27.9	7.0	8.7	7.0
必要である	87	42.5	26.4	13.8	16.1	9.2	3.4	27.6	5.7	10.3	8.0
ある程度必要である	69	47.8	24.6	11.6	13.0	1.4	4.3	26.1	7.2	4.3	7.2
あまり必要でない	9	44.4	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1	22.2	0.0
必要でない	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0

【手帳別】

手帳別にみると、全体の割合に対して、愛の手帳で「公共の屋内スポーツ施設」、精神障害者保健福祉手帳で「歩道や遊歩道」「自宅」「山、川、海など自然の中」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数 (件)	歩道や遊歩道	広場や公園	民間スポーツ施設	公共の屋内スポーツ施設	公共の屋外スポーツ施設	学校体育館・校庭	自宅	山、川、海など自然の中	その他	無回答
全 体	172	44.8	26.2	12.2	14.5	5.8	3.5	27.9	7.0	8.7	7.0
身体障害者手帳	117	40.2	27.4	12.0	15.4	6.8	3.4	26.5	5.1	9.4	6.0
愛の手帳	31	41.9	25.8	9.7	19.4	9.7	3.2	12.9	6.5	9.7	9.7
精神障害者保健福祉手帳	44	47.7	18.2	11.4	11.4	0.0	4.5	38.6	11.4	4.5	13.6

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体の割合に対して、聴覚障害で「歩道や遊歩道」「広場や公園」「民間スポーツ施設」、肢体不自由（下肢）で「広場や公園」、内部障害で「歩道や遊歩道」「自宅」「公共の屋内スポーツ施設」の割合が高くなりました。

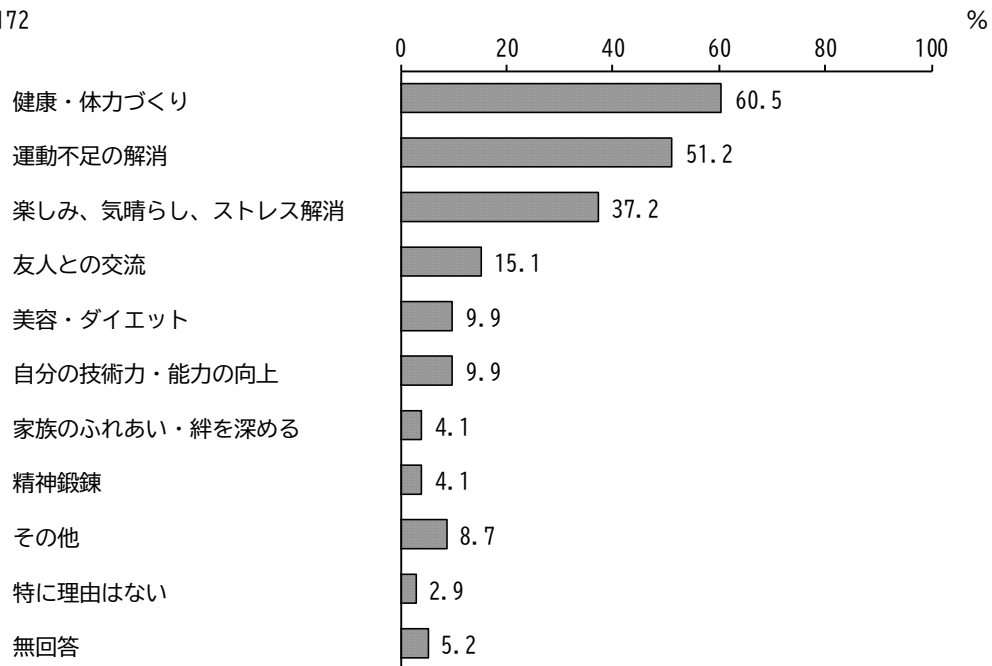
単位：％

区分	回答者数 (件)	歩道や遊歩道	広場や公園	民間スポーツ施設	公共の屋内スポーツ施設	公共の屋外スポーツ施設	学校体育館・校庭	自宅	山、川、海など自然の中	その他	無回答
全 体	117	40.2	27.4	12.0	15.4	6.8	3.4	26.5	5.1	9.4	6.0
視覚障害	6	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7
聴覚障害	13	76.9	38.5	30.8	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
平衡機能障害	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
肢体不自由（上肢）	21	19.0	28.6	9.5	9.5	0.0	0.0	23.8	0.0	14.3	14.3
肢体不自由（下肢）	37	24.3	32.4	8.1	13.5	5.4	2.7	18.9	5.4	10.8	8.1
肢体不自由（体幹）	9	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	6	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0
内部障害	31	45.2	25.8	9.7	25.8	9.7	3.2	35.5	3.2	16.1	3.2
その他	15	20.0	33.3	6.7	0.0	6.7	6.7	46.7	6.7	13.3	13.3

問12 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動を行ったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

「健康・体力づくり」の割合が60.5%と最も高く、次いで「運動不足の解消」の割合が51.2%、「楽しみ、気晴らし、ストレス解消」の割合が37.2%となりました。

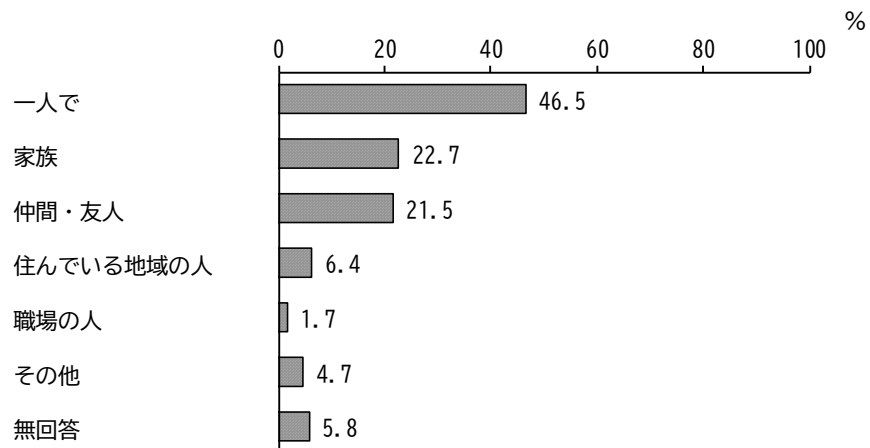
回答者数 = 172



問13 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動を、誰と行いましたか。(〇はいくつでも)

「一人で」の割合が46.5%と最も高く、次いで「家族」の割合が22.7%、「仲間・友人」の割合が21.5%となりました。

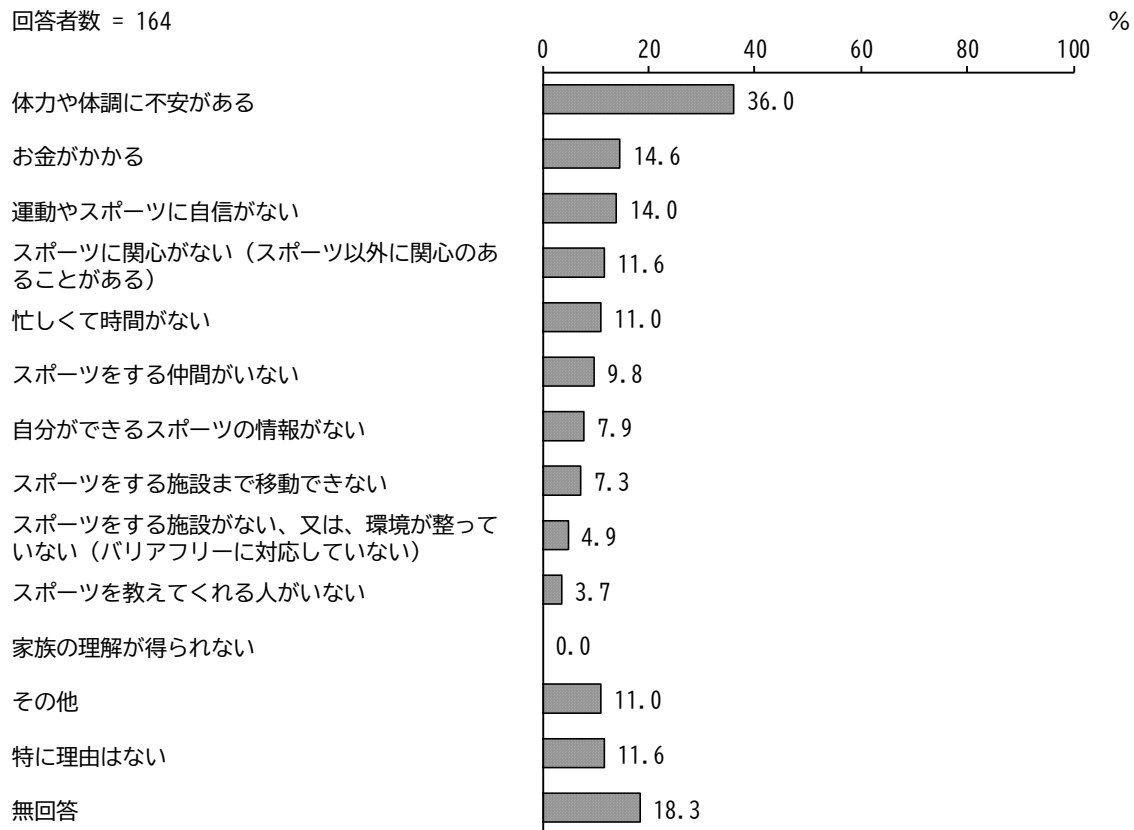
回答者数 = 172



問 14 【問 8 で「行っていない」に回答した方及び問 9 で「あまり満足していない」または「満足していない」に回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動を行わない、もしくは実施の頻度に満足できていないのはどのような理由からですか。（〇はいくつでも）

無回答者を除くと、「体力や体調に不安がある」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「お金がかかる」の割合が 14.6%、「運動やスポーツに自信がない」の割合が 14.0%となりました。

回答者数 = 164

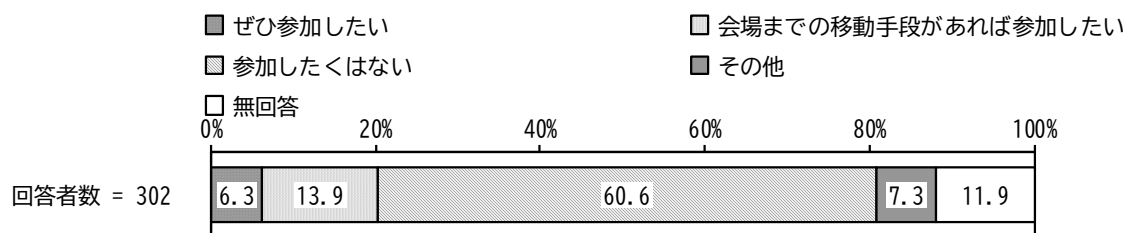


【「その他」の回答】

- ・ 障害のため。
- ・ 寝たきりのため動けない。
- ・ バイトでほぼ毎日 23,000～24,000 歩歩いているため。
- ・ 面倒だから。
- ・ 年齢と体力で無理なため。
- ・ 仕事内容が運動になっているため。

問 15 パラスポーツを体験するための体力測定会や競技体験会があったら、参加したいですか。
(○は1つまで)

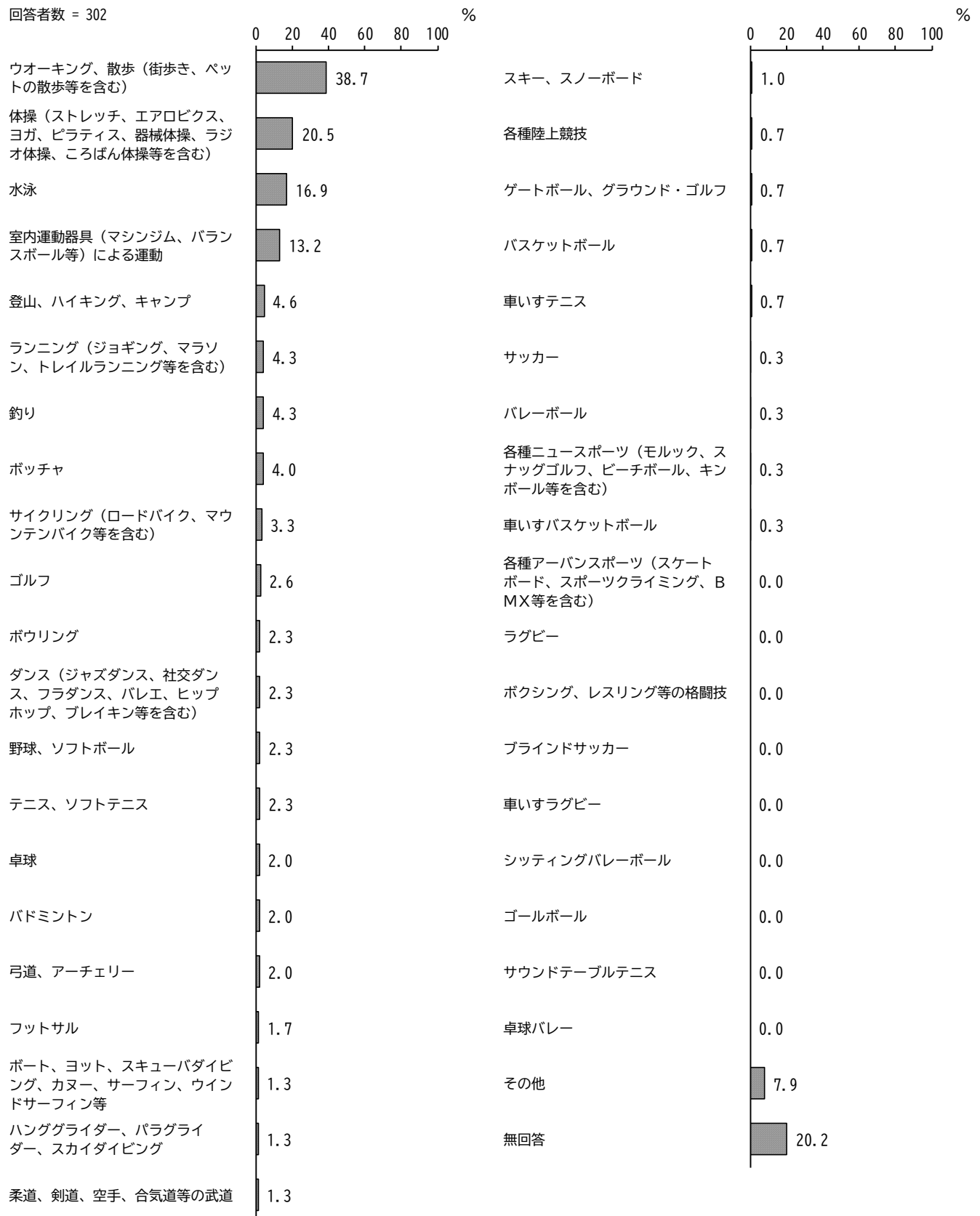
「ぜひ参加したい」の割合が 6.3%、「会場までの移動手段があれば参加したい」の割合が 13.9%、「参加したくはない」の割合が 60.6%となりました。



問 16 あなたが、今後行ってみたいスポーツや運動はありますか。(〇は3つまで)

「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が 20.5%、「水泳」の割合が 16.9%となりました。

回答者数 = 302



【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、全体の割合に対して、スポーツに対する意識が高いほど「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」「水泳」の割合が高い傾向にあり、『ある程度必要である』から『必要でない』までスポーツに対する意識が低いほど「ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ベットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全 体	302	38.7	4.3	0.7	20.5	13.2	16.9	1.3	2.6	1.0	4.6	1.3	4.3	2.3
必要である	125	40.8	6.4	0.8	24.0	18.4	24.8	0.8	3.2	0.8	6.4	0.8	4.0	1.6
ある程度必要である	134	38.8	3.0	0.7	20.1	10.4	12.7	2.2	2.2	1.5	3.7	0.7	4.5	3.0
あまり必要でない	23	43.5	4.3	0.0	13.0	13.0	8.7	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3
必要でない	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	各種アーパンスポーツ（スケートボード、スノーボード、スキー、BMX等を含む）	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全 体	0.7	3.3	2.3	0.0	2.3	0.3	1.7	0.0	2.3	2.0	0.3	0.7	2.0	1.3
必要である	0.8	4.0	1.6	0.0	3.2	0.0	0.8	0.0	3.2	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6
ある程度必要である	0.0	2.2	3.7	0.0	2.2	0.7	3.0	0.0	2.2	3.0	0.7	1.5	2.2	0.7
あまり必要でない	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0

（次ページへ続く）

単位：％

区分	弓道、アーチェリー	技 ボクシング、レスリング等の格闘	各種 ナツグゴルフ、ビーチボール、キン ボール等を含む	ポッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全 体	2.0	0.0	0.3	4.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	20.2
必要である	2.4	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	16.8
ある程度必要である	1.5	0.0	0.7	4.5	0.0	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.2	18.7
あまり必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4	21.7
必要でない	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5

(前ページの表 続き)

【手帳別】

手帳別にみると、全体の割合に対して、精神障害者保健福祉手帳で「水泳」、愛の手帳で「ボウリング」「ボッチャ」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数（件）	ウオーキング、散歩（街歩き、ベットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッツ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操（こころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全 体	302	38.7	4.3	0.7	20.5	13.2	16.9	1.3	2.6	1.0	4.6	1.3	4.3	2.3
身体障害者手帳	204	36.3	3.4	0.0	22.1	14.2	16.7	1.0	3.4	1.0	5.4	0.5	4.9	1.5
愛の手帳	58	34.5	5.2	0.0	13.8	12.1	13.8	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	5.2	8.6
精神障害者保健福祉手帳	70	41.4	7.1	2.9	24.3	14.3	24.3	2.9	2.9	1.4	2.9	4.3	2.9	0.0

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポートクライミング、BMX等を含む）	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全 体	0.7	3.3	2.3	0.0	2.3	0.3	1.7	0.0	2.3	2.0	0.3	0.7	2.0	1.3
身体障害者手帳	1.0	2.9	2.0	0.0	2.0	0.5	1.5	0.0	1.5	1.0	0.0	0.5	1.0	0.5
愛の手帳	0.0	5.2	3.4	0.0	0.0	1.7	5.2	0.0	1.7	5.2	1.7	1.7	3.4	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	1.4	2.9	0.0	4.3	0.0	2.9	0.0	2.9	1.4	0.0	0.0	2.9	5.7

区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	ボッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全 体	2.0	0.0	0.3	4.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	20.2
身体障害者手帳	1.0	0.0	0.5	3.9	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	22.1
愛の手帳	1.7	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	20.7
精神障害者保健福祉手帳	1.4	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	17.1

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体の割合に対して、視覚障害、肢体不自由（体幹）で「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」、肢体不自由（上肢）、肢体不自由（体幹）で「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」、肢体不自由（上肢）で「水泳」、視覚障害で「ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）」「ボッチャ」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全 体	204	36.3	3.4	0.0	22.1	14.2	16.7	1.0	3.4	1.0	5.4	0.5	4.9	1.5
視覚障害	13	38.5	0.0	0.0	38.5	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
聴覚障害	20	45.0	5.0	0.0	25.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
平衡機能障害	2	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（上肢）	32	31.3	3.1	0.0	18.8	25.0	37.5	0.0	0.0	3.1	6.3	0.0	6.3	0.0
肢体不自由（下肢）	68	27.9	0.0	0.0	17.6	19.1	32.4	1.5	2.9	0.0	4.4	0.0	4.4	2.9
肢体不自由（体幹）	15	20.0	0.0	0.0	40.0	26.7	33.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	7	42.9	0.0	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	53	34.0	5.7	0.0	24.5	9.4	9.4	0.0	3.8	1.9	9.4	0.0	7.5	1.9
その他	24	62.5	8.3	0.0	12.5	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0

（次ページへ続く）

単位：％

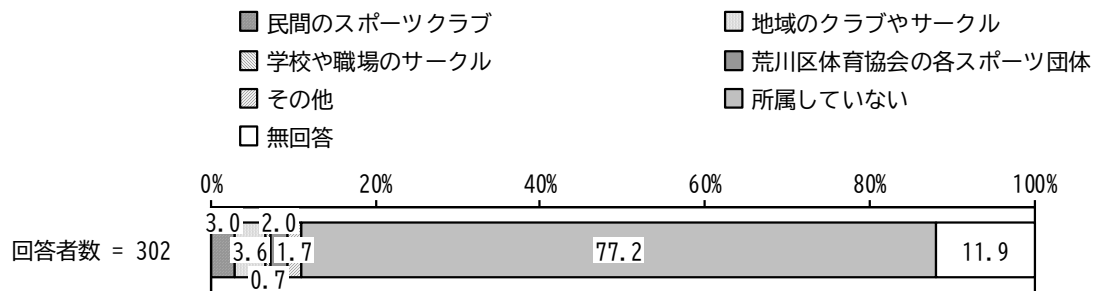
区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	各種アーパンスポーツ（スケートボード、スノーボード、スキー、BMX等を含む）	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全 体	1.0	2.9	2.0	0.0	2.0	0.5	1.5	0.0	1.5	1.0	0.0	0.5	1.0	0.5
視覚障害	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚障害	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（上肢）	3.1	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3	0.0	0.0	3.1	0.0
肢体不自由（下肢）	0.0	2.9	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0
肢体不自由（体幹）	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
内部障害	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0

区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ユニースポーツ（モルック、ナツグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	ポッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全 体	1.0	0.0	0.5	3.9	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	22.1
視覚障害	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4
聴覚障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	35.0
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
肢体不自由（上肢）	0.0	0.0	3.1	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	12.5
肢体不自由（下肢）	1.5	0.0	1.5	7.4	0.0	2.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	25.0
肢体不自由（体幹）	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	20.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.2	22.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	20.8

（前ページの表 続き）

問 17 あなたは、現在スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属していますか。
(複数所属している方は活動頻度の多いクラブ・サークルを1つ選択してください)

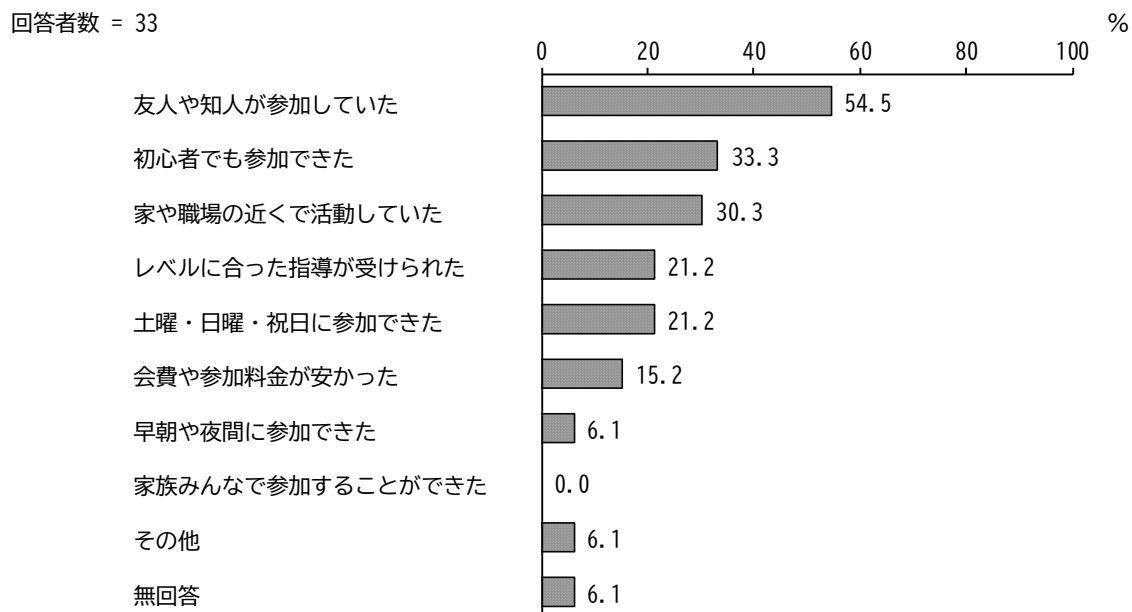
所属している回答者の中では、「地域のクラブやサークル」の割合が3.6%と最も高くなりました。



問 18 【問 17 で「民間のスポーツクラブ」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】

スポーツや運動のクラブやサークル（問 17 で回答したクラブやサークル）に所属したきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

「友人や知人が参加していた」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「初心者でも参加できた」の割合が 33.3%、「家や職場の近くで活動していた」の割合が 30.3%となりました。



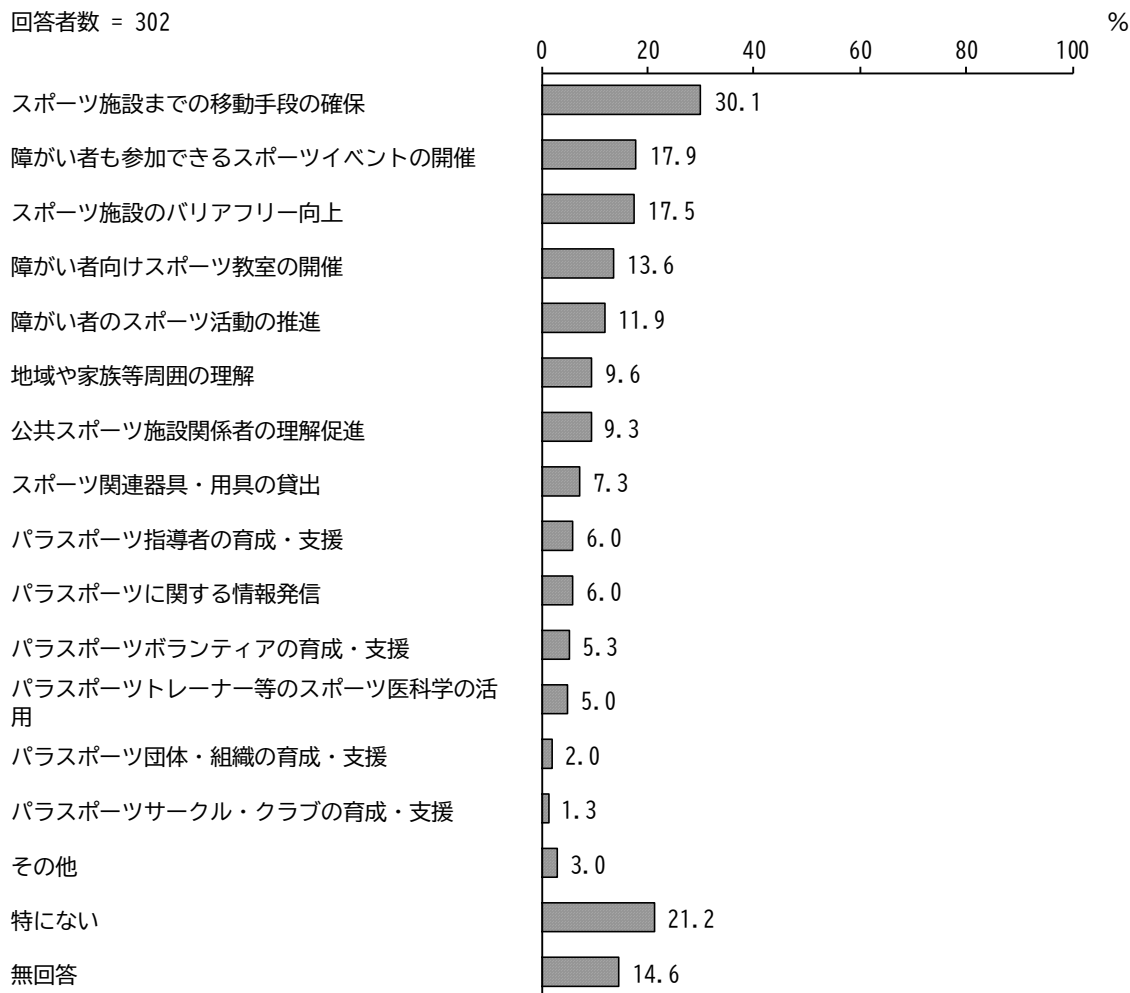
【「その他」の回答】

- ・ 20 年程前にヨガ教室に参加。経験があったのでスムーズに再度参加できた。
- ・ 若い頃より登山が趣味。

問 19 あなたは、障がい者のスポーツ活動がより活性化するには何が重要だと考えますか。(○は3つまで)

「特にない」という回答者以外で、「スポーツ施設までの移動手段の確保」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「障がい者も参加できるスポーツイベントの開催」の割合が 17.9%、「スポーツ施設のバリアフリー向上」の割合が 17.5%となりました。

回答者数 = 302



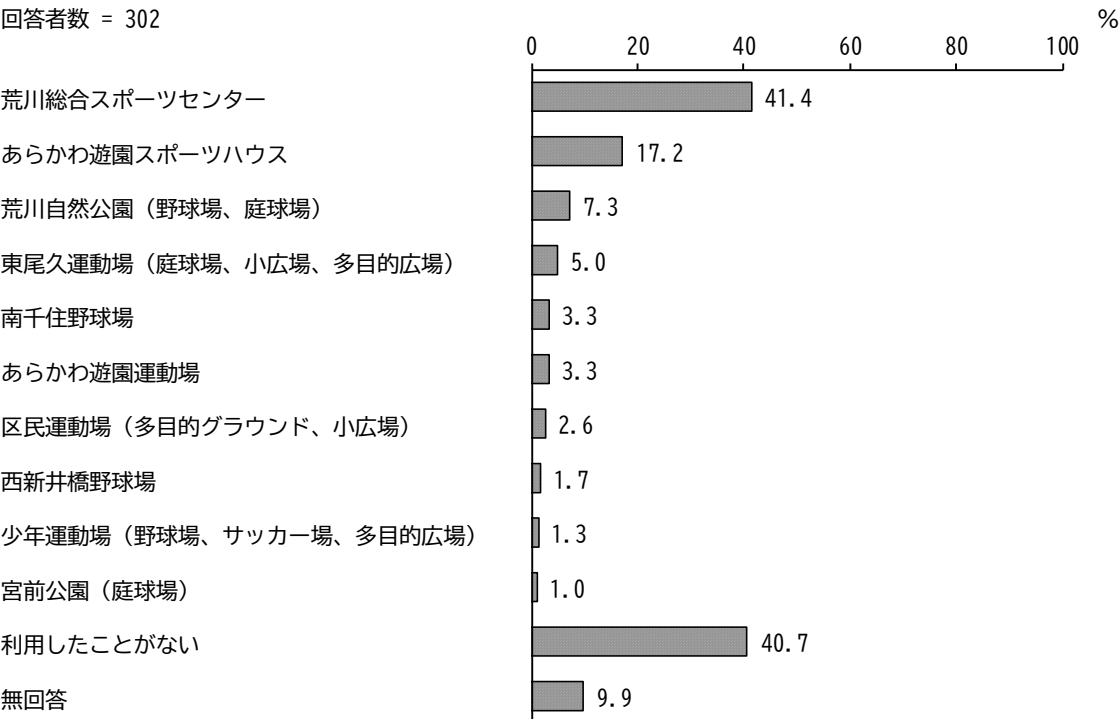
【「その他」の回答】

- ・ 他人と一緒に行動することができないため、1人でできる軽いスポーツならやってみたい。
- ・ 企業の理解
- ・ 障害者スポーツ（精神障害）への理解
- ・ 内部障害があると、受け入れてくれる施設がない。
- ・ 出来る範囲で、家でやりたい。
- ・ 特別支援学校を卒業すると運動の機会がなくなる。卒業前に何らか運動を継続するシステムが必要だと思う。
- ・ 使いやすいキレイな女性専用のトイレ。
- ・ スポーツ施設の提供
- ・ 経済的な支援

4 区立スポーツ施設について

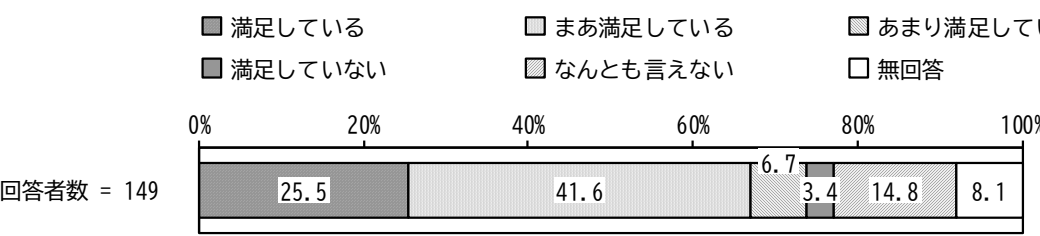
問 20 あなたは、以下の区立スポーツ施設を利用したことがありますか。(○はいくつでも)

施設を利用したことがある回答者の中では、「荒川総合スポーツセンター」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「あらかわ遊園スポーツハウス」の割合が 17.2%となりました。



問 21 【問 20 で「荒川総合スポーツセンター」～「宮前公園 (庭球場)」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
利用しているスポーツ施設 (問 20 で回答したスポーツ施設) について、満足していますか。(○は1つ)

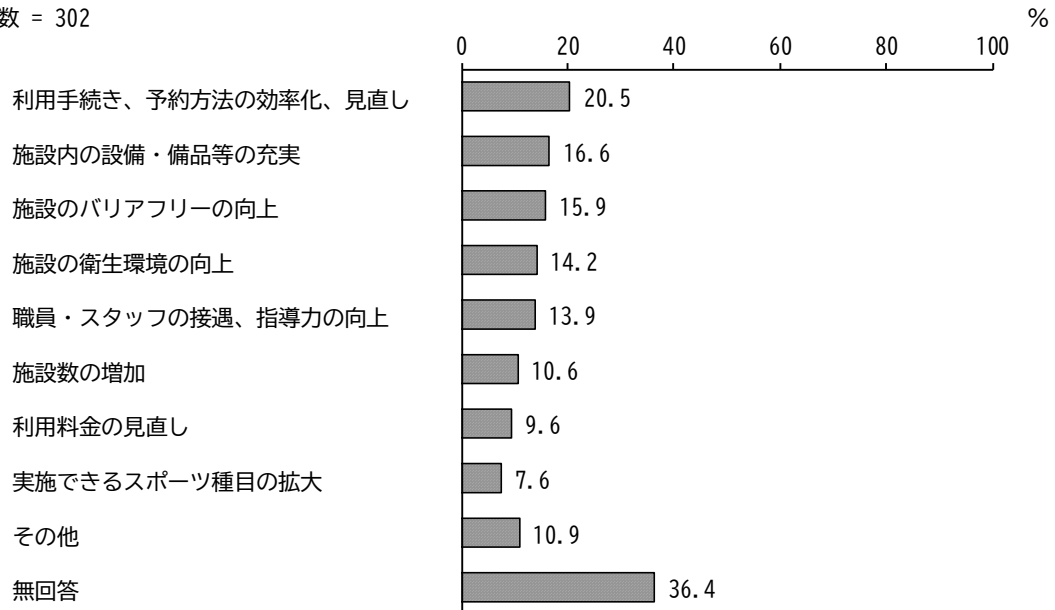
「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が 67.1%、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が 10.1%となりました。



問 22 あなたは、区立スポーツ施設について、望むことはありますか。(〇はいくつでも)

「利用手続き、予約方法の効率化、見直し」の割合が 20.5%と最も高く、次いで「施設内の設備・備品等の充実」の割合が 16.6%、「施設のバリアフリーの向上」の割合が 15.9%となりました。

回答者数 = 302



問 23 あなたが、区立スポーツ施設を利用する上で、最も困っていること、最も改善して欲しいと思うことを教えてください。（自由記述）

区立スポーツ施設に関する意見として、85 人から意見が寄せられました。

カテゴリ名	件数
施設数の増加	9
施設までの移動手段の確保	9
職員・スタッフの接遇、指導力の向上	8
施設内の設備・備品等の充実	5
利用手続き、予約方法の効率化、見直し	4
施設の衛生環境の向上	4
障がいのある方へ向けた情報発信	4
利用料金の見直し	2
施設のバリアフリーの向上	2
その他	10

※特になし、わからないを除いているため、件数の合計と意見をいただいた方の数は一致しません。

5 あなたご自身について

問 24 あなたの性別について教えてください。(○は1つ)

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性	女性	回答しない	その他	無回答
全 体	302	43.7	47.4	1.3	0.0	7.6

問 25 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

単位：％

区分	回答者数 (件)	24歳以下	25 ～ 29歳	30 ～ 34歳	35 ～ 39歳	40 ～ 44歳	45 ～ 49歳	50 ～ 54歳	55 ～ 59歳	60 ～ 64歳	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80歳以上	無回答
全 体	302	3.3	4.3	3.0	4.0	7.6	5.0	6.6	5.3	6.3	8.6	7.3	12.9	19.5	6.3

問 26 あなたの住んでいる地域を教えてください。(○は1つ)

単位：％

区分	回答者数 (件)	南千住	荒川	町屋	東尾久	西尾久	東日暮里	西日暮里	無回答
全 体	302	16.6	16.2	13.2	15.2	12.6	12.3	7.9	6.0

問 27 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

単位：％

区分	回答者数 (件)	会社員・公務員	自営業・自由業	会社経営者	パート・アルバイト・ 派遣等	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
全 体	302	15.9	4.0	1.0	9.6	7.0	0.7	45.4	6.6	9.9

問 28 あなたの世帯について教えてください。(○は1つ)

単位：％

区分	回答者数 (件)	単身世帯	夫婦のみ世帯	未就学児を含む子ども のいる世帯	小学生を含む子ども のいる世帯(未就学児 は含まない)	中学生以上の子ども のいる世帯(小学生以下 は含まない)	その他の世帯	無回答
全 体	302	24.5	22.5	0.3	1.3	10.9	31.5	8.9

問 29 スポーツや運動をする際に、あなた一人にかかる費用として、一月いくらまでであれば支出してもよいと思いますか。(○は1つ)

単位：％

区分	回答者数 (件)	1,000円未満	1,000円～3,000円未満	3,000円～5,000円未満	5,000円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円以上	無回答
全 体	302	24.2	27.8	14.6	13.9	3.0	0.3	16.2

Ⅲ 荒川区民スポーツ意識調査（小学生・中学生・高校生）

<調査の概要>

1 調査の目的

区民のスポーツや運動に関する意識、スポーツ活動の実態、区スポーツ施策に関する意見や要望を伺い、令和7年度に策定する「荒川区スポーツ推進プラン」の参考資料とすることを目的としています。

2 調査対象

区内在住あるいは在学中の区立の小学校、中学校、および区内の高等学校の学生

3 調査期間

令和7年8月29日～令和7年9月15日

4 調査方法

WEBによる回答

5 回答状況

回答者数の合計は118件でした。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

<調査結果>

1. あなたご自身について

問1 あなたの学年を教えてください（1つ選んでください）。

選択肢	件数	割合
小学校低学年（1年生・2年生）	3	2.5%
小学校中学年（3年生・4年生）	9	7.6%
小学校高学年（5年生・6年生）	55	46.6%
中学1年生	10	8.5%
中学2年生	8	6.8%
中学3年生	5	4.2%
高校1年生	9	7.6%
高校2年生	5	4.2%
高校3年生	12	10.2%
無回答	2	1.7%
合計	118	100.0%

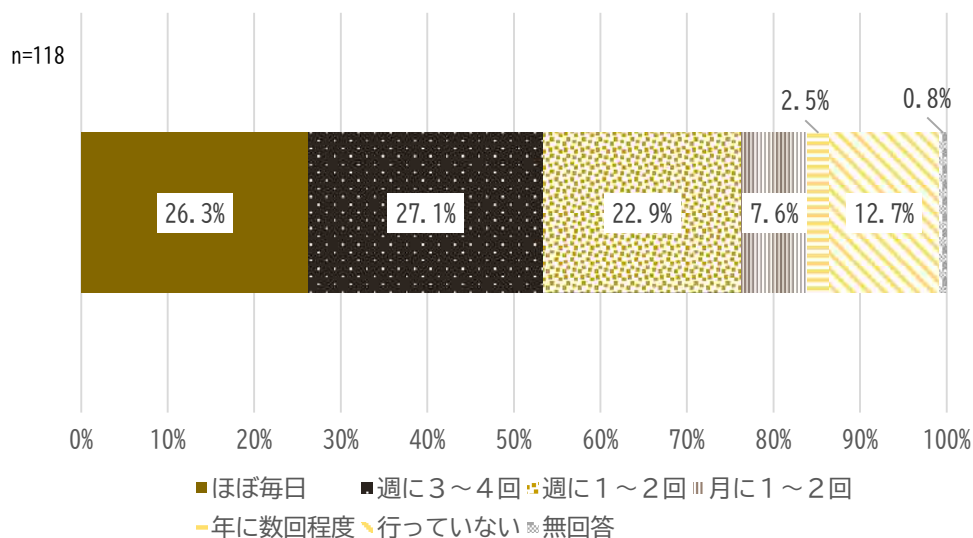
問2 あなたの住んでいる地域を教えてください。（1つ選んでください）。

選択肢	件数	割合
南千住	21	17.8%
荒川	21	17.8%
町屋	9	7.6%
東尾久	6	5.1%
西尾久	3	2.5%
東日暮里	17	14.4%
西日暮里	24	20.3%
荒川区外	15	12.7%
無回答	2	1.7%
合計	118	100.0%

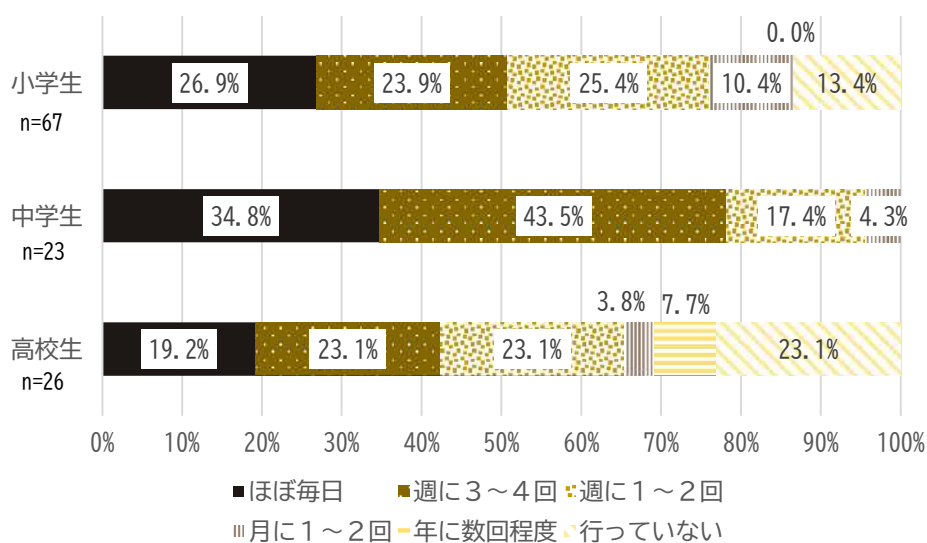
2. スポーツの実施状況について

問3 あなたは、学校の体育の授業以外で、スポーツをどのくらい行っていますか（1つ選んでください）。

本調査では「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」を合わせた“行っている”の割合が86.5%であり、「行っていない」の割合は12.7%でした。



本調査における中学生の回答者は、学校の体育の授業以外で、スポーツを月に1回以上実施しているという回答が100%占めており、「年に数回程度」「行っていない」という回答者はいませんでした。



問4 【問3で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」のいずれかに回答した方にお聞きします。】どのようなスポーツを行っていますか。(いくつでも選ぶことができます)

問8 問8. あなたが今後やってみたいスポーツはありますか(いくつでも選ぶことができます)。

ここでは、問4と問8の結果を併記します。5ページの表から、問4において、「行っているスポーツ」の中で回答割合が最も高かったのは「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」(24.3%)、次いで「サッカー、フットサル」、「水泳」(いずれも 17.5%)、「バドミントン」(16.5%)となりました。

問8において、「やりたいスポーツ」の中で回答割合が最も高かったのは、「卓球」(22.9%)、次いで「釣り」(20.3%)、「ボウリング」(17.8%)となりました。

6ページの表から、問4の「実施しているスポーツ」について、小学生の回答割合が最も多かったのは「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」(37.9%)、次いで「水泳」(29.3%)、「サッカー、フットサル」(20.7%)となりました。

中学生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(26.1%)、次いで「筋力トレーニング」(21.7%)、「サッカー、フットサル」(13.0%)となりました。

高校生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(25.0%)、次いで「サッカー、フットサル」、「テニス、ソフトテニス」、「バスケットボール(3on3を含む)」、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「自転車あそび」(いずれも 15.0%)、「バレーボール」、「体操(軽い体操・ラジオ体操など)」(いずれも 10.0%)となりました。

7ページの表から、問8の「今後やりたいスポーツ」について、小学生の回答割合で最も高かったのは、「卓球」(25.4%)、次いで「バドミントン」、「ボウリング」(いずれも 22.4%)、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「釣り」(いずれも 19.4%)となりました。

中学生の回答割合で最も高かったのは、「テニス、ソフトテニス」(34.8%)、次いで「バドミントン」、「eスポーツ」(いずれも 26.1%)、「卓球」、「剣道、薙刀」(いずれも 21.7%)となりました。

高校生の回答割合で最も高かったのは、「釣り」(26.9%)、次いで「卓球」(19.2%)、「バスケットボール(3on3を含む)」、「筋力トレーニング」、「剣道、薙刀」、「弓道、アーチェリー」、「キャンプ」、「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」、「eスポーツ」(いずれも 15.4%)となりました。

選択肢	実施しているスポーツ (n=103)【問4】	やりたいスポーツ (n=118)【問8】
1. 野球、ソフトボール（キャッチボールを含む）	9.7%	11.9%
2. サッカー、フットサル	17.5%	11.9%
3. キックベースボール	1.0%	1.7%
4. テニス、ソフトテニス	5.8%	16.9%
5. ラグビー（タグラグビーを含む）	1.0%	5.9%
6. ゴルフ	1.0%	11.9%
7. バドミントン	16.5%	18.6%
8. 卓球	6.8%	22.9%
9. バスケットボール（3on3を含む）	8.7%	15.3%
10. バレーボール	4.9%	10.2%
11. ハンドボール	4.9%	7.6%
12. ドッジボール	13.6%	14.4%
13. ボウリング	1.9%	17.8%
14. ゲートボール	0.0%	3.4%
15. フライングディスク（フリスビー）	2.9%	5.9%
16. ロープを使うスポーツ（ダブルダッチ、つなひき、なわとび、長なわとび）	4.9%	4.2%
17. ダンス（エアロビクスダンス、チアリーディング、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、プレイキンなどを含む）	11.7%	8.5%
18. 体操（軽い体操・ラジオ体操など）	10.7%	3.4%
19. 体操競技（器械体操、トランポリンを含む）	1.0%	5.9%
20. 新体操	1.0%	4.2%
21. 筋力トレーニング	13.6%	8.5%
22. 各種陸上競技（短距離走・中長距離走・幅跳び・高跳び・砲丸投げ・ジャバリックスローなど）	4.9%	5.1%
23. ウォーキングや散歩（ペットの散歩などを含む）	13.6%	5.9%
24. 水泳	17.5%	15.3%
25. 柔道、空手、テコンドー、合気道	5.8%	16.9%
26. 剣道、薙刀	1.9%	16.1%
27. 弓道、アーチェリー	0.0%	13.6%
28. 相撲	1.9%	2.5%
29. 海水浴	1.0%	7.6%
30. カヌー	0.0%	4.2%
31. ボート	0.0%	5.1%
32. サーフィン、ボディボード	1.9%	3.4%
33. シュノーケリング、スクーバダイビング	0.0%	2.5%
34. キャンプ	1.0%	11.0%
35. 釣り	2.9%	20.3%
36. ハイキング、登山	2.9%	11.0%
37. ウォークラリー、オリエンテーリング	0.0%	1.7%
38. スキー、スノーボード、そり	3.9%	11.0%
39. スケート	1.0%	11.9%
40. 一輪車	0.0%	7.6%
41. インラインスケート、ローラースケート	0.0%	6.8%
42. スケートボード	0.0%	7.6%
43. キックボード	1.9%	5.1%
44. サイクリング	6.8%	6.8%
45. おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ	24.3%	12.7%
46. 木登り	4.9%	8.5%
47. ゴムとび	0.0%	3.4%
48. 自転車あそび	13.6%	5.1%
49. 竹馬	1.0%	6.8%
50. フィールドアスレチック	1.0%	5.9%
51. ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.0%	3.4%
52. ボルダリング、リードクライミングなど	0.0%	5.9%
53. 各種ニュースポーツ（ボッチャ、モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	1.0%	4.2%
54. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	2.5%
55. eスポーツ	2.9%	16.9%
56. ドローン	1.0%	11.0%
57. その他	6.8%	0.0%
無回答	-	7.6%

※上の表は選択肢順に掲載しています。実施しているスポーツ（問4）とやりたいスポーツ（問8）の中でそれぞれ回答割合の数値が高いほど、網掛けの色が濃くなっています。

【学年別の実施しているスポーツ】

選択肢	小学生 (n=58)	中学生 (n=23)	高校生 (n=20)
1. 野球、ソフトボール（キャッチボールを含む）	13.8%	8.7%	0.0%
2. サッカー、フットサル	20.7%	13.0%	15.0%
3. キックベースボール	1.7%	0.0%	0.0%
4. テニス、ソフトテニス	1.7%	8.7%	15.0%
5. ラグビー（タグラグビーを含む）	0.0%	0.0%	5.0%
6. ゴルフ	1.7%	0.0%	0.0%
7. バドミントン	10.3%	26.1%	25.0%
8. 卓球	10.3%	0.0%	5.0%
9. バスケットボール（3on3を含む）	6.9%	8.7%	15.0%
10. バレーボール	3.4%	4.3%	10.0%
11. ハンドボール	8.6%	0.0%	0.0%
12. ドッジボール	20.7%	4.3%	5.0%
13. ボウリング	3.4%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール	0.0%	0.0%	0.0%
15. フライングディスク（フリスビー）	3.4%	0.0%	5.0%
16. ロープを使うスポーツ（ダブルダッチ、つなひき、なわとび、長なわとび）	6.9%	4.3%	0.0%
17. ダンス（エアロビックスダンス、チアリーディング、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキンなどを含む）	19.0%	4.3%	0.0%
18. 体操（軽い体操・ラジオ体操など）	12.1%	8.7%	10.0%
19. 体操競技（器械体操、トランポリンを含む）	1.7%	0.0%	0.0%
20. 新体操	1.7%	0.0%	0.0%
21. 筋力トレーニング	6.9%	21.7%	25.0%
22. 各種陸上競技（短距離走・中長距離走・幅跳び・高跳び・砲丸投げ・ジャベリックスローなど）	3.4%	8.7%	5.0%
23. ウォーキングや散歩（ペットの散歩などを含む）	17.2%	8.7%	10.0%
24. 水泳	29.3%	0.0%	5.0%
25. 柔道、空手、テコンドー、合気道	3.4%	4.3%	15.0%
26. 剣道、薙刀	3.4%	0.0%	0.0%
27. 弓道、アーチェリー	0.0%	0.0%	0.0%
28. 相撲	1.7%	0.0%	5.0%
29. 海水浴	1.7%	0.0%	0.0%
30. カヌー	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボート	0.0%	0.0%	0.0%
32. サーフィン、ボディボード	1.7%	0.0%	5.0%
33. シュノーケリング、スクーバダイビング	0.0%	0.0%	0.0%
34. キャンプ	1.7%	0.0%	0.0%
35. 釣り	3.4%	0.0%	5.0%
36. ハイキング、登山	5.2%	0.0%	0.0%
37. ウォークラリー、オリエンテーリング	0.0%	0.0%	0.0%
38. スキー、スノーボード、そり	6.9%	0.0%	0.0%
39. スケート	0.0%	0.0%	5.0%
40. 一輪車	0.0%	0.0%	0.0%
41. インラインスケート、ローラースケート	0.0%	0.0%	0.0%
42. スケートボード	0.0%	0.0%	0.0%
43. キックボード	3.4%	0.0%	0.0%
44. サイクリング	8.6%	4.3%	5.0%
45. おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ	37.9%	8.7%	5.0%
46. 木登り	3.4%	8.7%	5.0%
47. ゴムとび	0.0%	0.0%	0.0%
48. 自転車あそび	15.5%	8.7%	15.0%
49. 竹馬	1.7%	0.0%	0.0%
50. フィールドアスレチック	1.7%	0.0%	0.0%
51. ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.7%	0.0%	0.0%
52. ボルダリング、リードクライミングなど	0.0%	0.0%	0.0%
53. 各種ニュースポーツ（ボッチャ、モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	1.7%	0.0%	0.0%
54. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%
55. eスポーツ	3.4%	4.3%	0.0%
56. ドローン	1.7%	0.0%	0.0%
57. その他	6.9%	8.7%	0.0%

※上の表は選択肢順に掲載しています。学年別でそれぞれ回答割合の数値が高いほど、網掛けの色が濃くなっています。

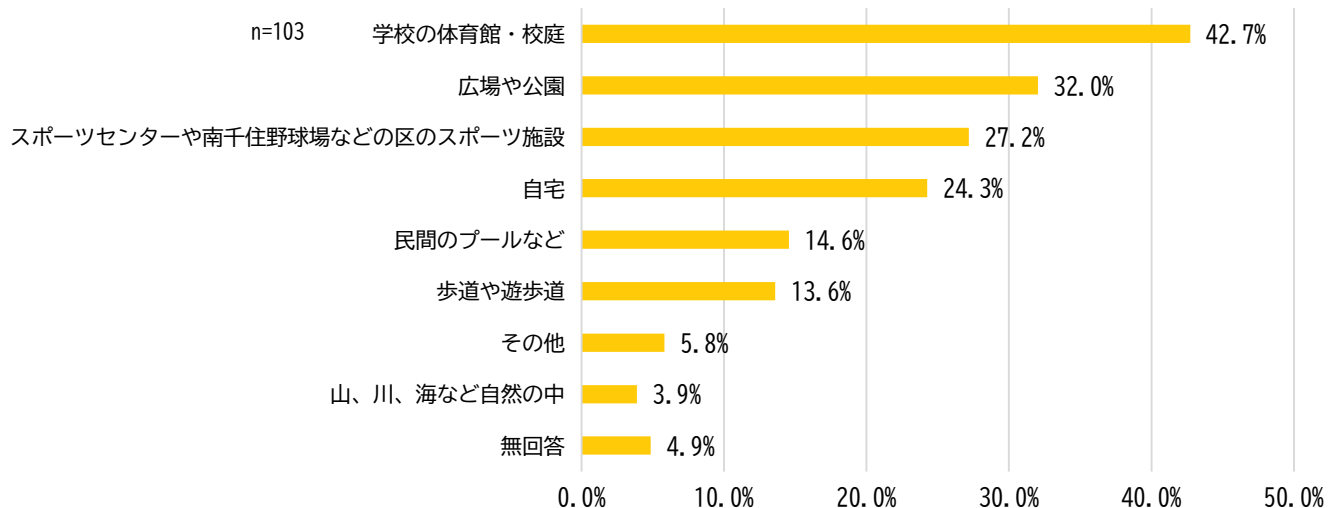
【学年別のやりたいスポーツ】

選択肢	小学生 (n=67)	中学生 (n=23)	高校生 (n=26)
1. 野球、ソフトボール（キャッチボールを含む）	11.9%	17.4%	7.7%
2. サッカー、フットサル	13.4%	8.7%	11.5%
3. キックベースボール	3.0%	0.0%	0.0%
4. テニス、ソフトテニス	14.9%	34.8%	7.7%
5. ラグビー（タグラグビーを含む）	7.5%	4.3%	3.8%
6. ゴルフ	16.4%	8.7%	3.8%
7. バドミントン	22.4%	26.1%	3.8%
8. 卓球	25.4%	21.7%	19.2%
9. バスケットボール（3on3を含む）	16.4%	13.0%	15.4%
10. バレーボール	11.9%	8.7%	7.7%
11. ハンドボール	9.0%	4.3%	7.7%
12. ドッジボール	17.9%	13.0%	7.7%
13. ボウリング	22.4%	13.0%	11.5%
14. ゲートボール	1.5%	4.3%	7.7%
15. フライングディスク（フリスビー）	4.5%	8.7%	7.7%
16. ロープを使うスポーツ（ダブルダッチ、つなひき、なわとび、長なわとび）	6.0%	0.0%	3.8%
17. ダンス（エアロビックダンス、チャリディング、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキンなどを含む）	11.9%	4.3%	3.8%
18. 体操（軽い体操・ラジオ体操など）	3.0%	0.0%	7.7%
19. 体操競技（器械体操、トランポリンを含む）	7.5%	4.3%	3.8%
20. 新体操	4.5%	8.7%	0.0%
21. 筋力トレーニング	3.0%	17.4%	15.4%
22. 各種陸上競技（短距離走・中長距離走・幅跳び・高跳び・砲丸投げ・ジャベリックスローなど）	6.0%	8.7%	0.0%
23. ウォーキングや散歩（ペットの散歩などを含む）	4.5%	17.4%	0.0%
24. 水泳	16.4%	17.4%	11.5%
25. 柔道、空手、テコンドー、合気道	19.4%	17.4%	7.7%
26. 剣道、薙刀	13.4%	21.7%	15.4%
27. 弓道、アーチェリー	11.9%	13.0%	15.4%
28. 相撲	1.5%	4.3%	3.8%
29. 海水浴	6.0%	17.4%	3.8%
30. カヌー	3.0%	8.7%	3.8%
31. ボート	4.5%	13.0%	0.0%
32. サーフィン、ボディボード	1.5%	13.0%	0.0%
33. シュノーケリング、スクーバダイビング	0.0%	8.7%	3.8%
34. キャンプ	10.4%	8.7%	15.4%
35. 釣り	19.4%	13.0%	26.9%
36. ハイキング、登山	10.4%	17.4%	7.7%
37. ウォークラリー、オリエンテーリング	0.0%	13.0%	3.8%
38. スキー、スノーボード、そり	13.4%	8.7%	0.0%
39. スケート	11.9%	17.4%	7.7%
40. 一輪車	10.4%	8.7%	0.0%
41. インラインスケート、ローラースケート	6.0%	8.7%	7.7%
42. スケートボード	9.0%	8.7%	3.8%
43. キックボード	6.0%	8.7%	0.0%
44. サイクリング	3.0%	13.0%	7.7%
45. おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ	13.4%	13.0%	15.4%
46. 木登り	7.5%	8.7%	11.5%
47. ゴムとび	4.5%	4.3%	0.0%
48. 自転車あそび	6.0%	4.3%	3.8%
49. 竹馬	7.5%	4.3%	7.7%
50. フィールドアスレチック	9.0%	4.3%	0.0%
51. ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.5%	8.7%	3.8%
52. ボルダリング、リードクライミングなど	4.5%	13.0%	3.8%
53. 各種ニュースポーツ（ボッチャ、モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	4.5%	8.7%	0.0%
54. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	13.0%	0.0%
55. eスポーツ	13.4%	26.1%	15.4%
56. ドローン	9.0%	17.4%	7.7%
57. その他	10.4%	0.0%	3.8%

※上の表は選択肢順に掲載しています。学年別でそれぞれ回答割合の数値が高いほど、網掛けの色が濃くなっています。

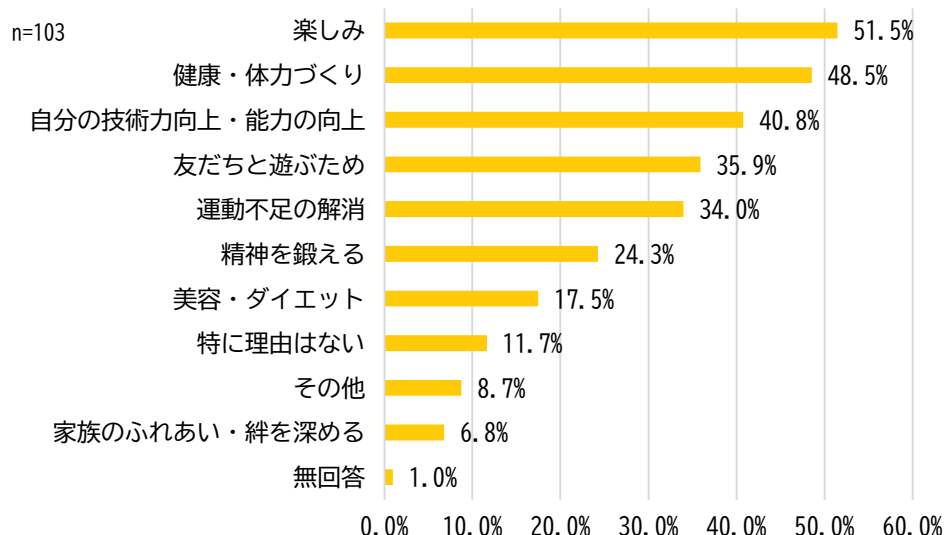
問5 【問3で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」のいずれかに回答した方にお聞きます。】問4で回答したスポーツを行った場所はどこですか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で最も回答割合が多かったのが、「学校の体育館・校庭」（42.7%）、次いで「広場や公園」（32.0%）、「スポーツセンターや南千住野球場などの区のスポーツ施設」（27.2%）となりました。



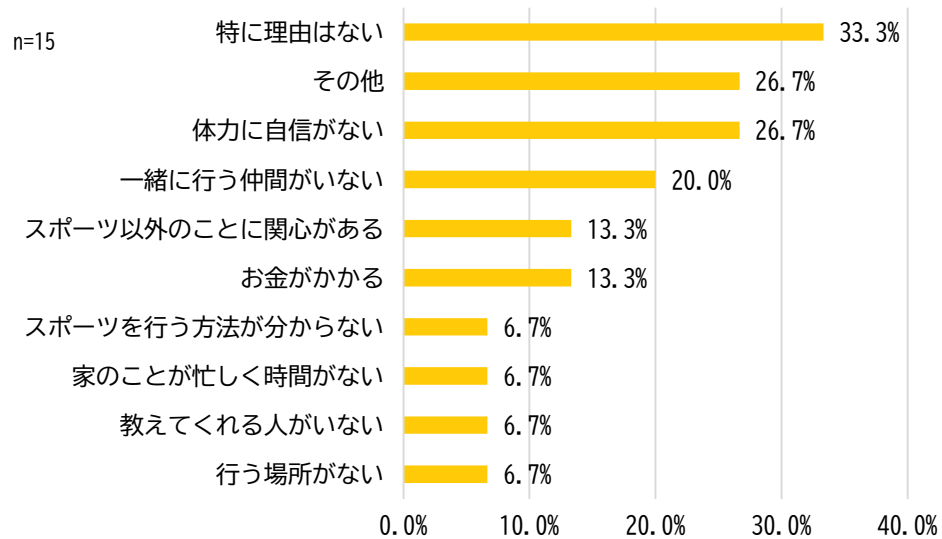
問6 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」のいずれかに回答した方にお聞きます。】
問4で回答したスポーツを行うのはどのような理由からですか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で最も回答割合が多かったのが、「楽しみ」（51.5%）、次いで「健康・体力づくり」（48.5%）、「自分の技術力向上・能力の向上」（40.8%）となりました。



問7 【問3で「行っていない」に回答した方にお聞きします。スポーツを行わないのはどのような理由からですか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で最も回答割合が多かったのは、「特に理由はない」（33.3%）、次いで「その他」「体力に自信がない」（いずれも 26.7%）、「一緒に行く仲間がいない」（20.0%）が多くなりました。

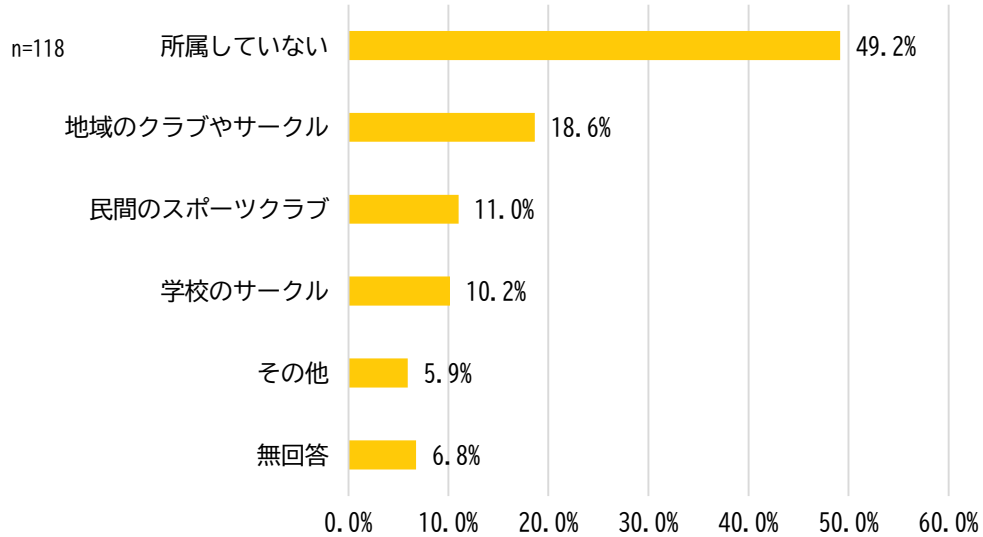


【「その他」の回答】

- ・「めんどくさい」
- ・「塾に行っているため。行きたいが、塾の宿題、時間がないから。」
- ・「受験があつて塾に通っているから。」
- ・「行く意味がない。」

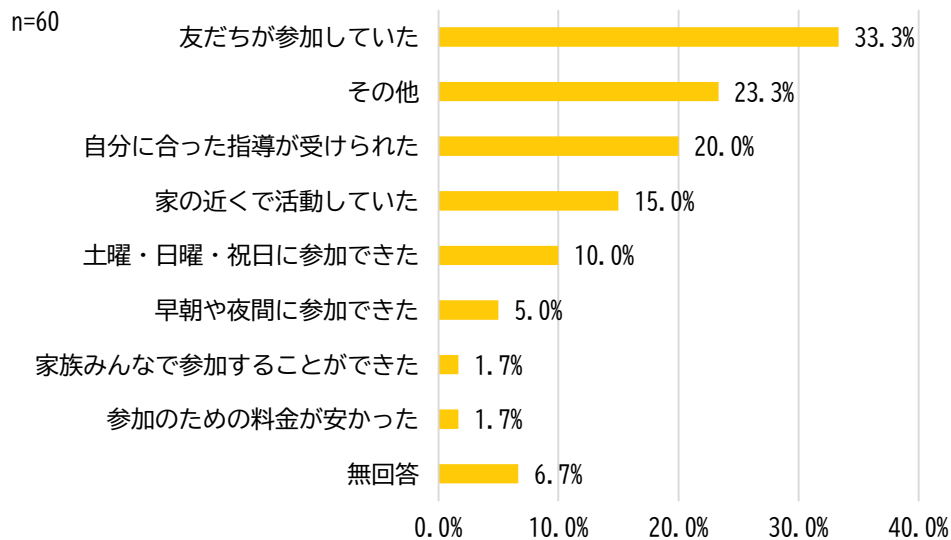
問9 あなたは、現在スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属していますか。(〇はいくつでも)

本調査で、「所属していない」(49.2%)と回答した方以外のなかで、最も回答割合が多かったのは、「地域やクラブのサークル」(18.6%)、次いで「民間のスポーツクラブ」(11.0%)、「学校のサークル」(10.2%)が多くなりました。



問10 【問9で「民間のスポーツクラブ」、「地域のクラブやサークル」、「学校や職場サークル」、「その他」のいずれかに回答した方にお聞きます。】スポーツや運動のクラブやサークル(問9で回答したクラブやサークルに所属したきっかけは何ですか。(いくつでも選ぶことができます))

本調査の回答割合で最も多かったのは、「友だちが参加していた」(33.3%)で、次いで「その他」(23.3%)、「自分に合った指導が受けられた」(20.0%)になりました。



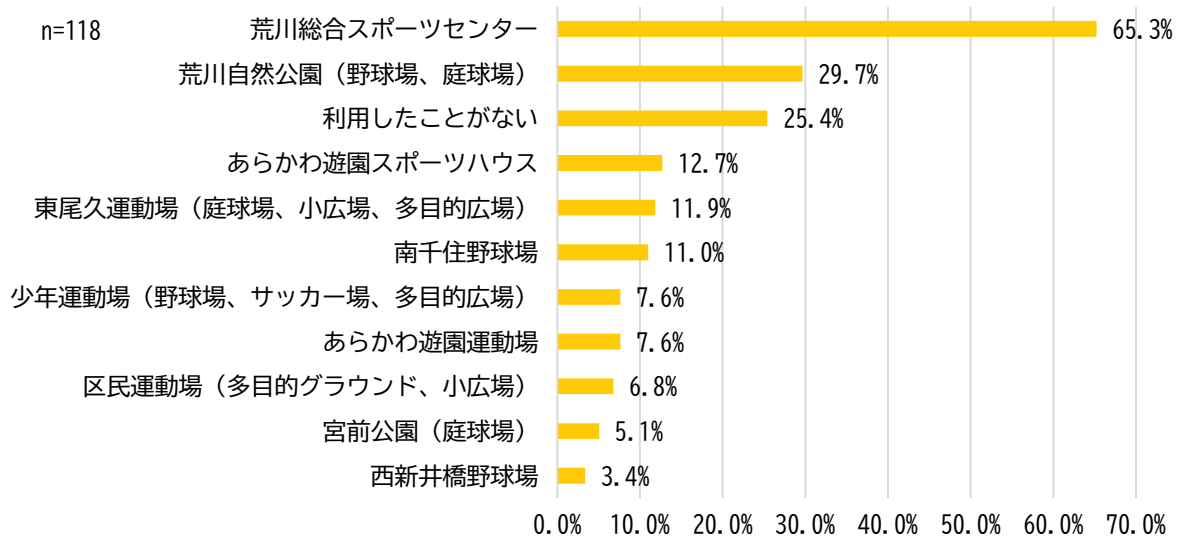
【「その他」の回答】

- ・「泳げるように、なりたいから。」
- ・「水泳を、やりたかったから。」
- ・「小学校の頃にやっていたから、続けました。」
- ・「やりたかったから」
- ・「水泳に興味があった」
- ・「泳げなかったため」
- ・「もともと学校の水泳が楽しかったから」
- ・「気に入った ホームページを見て」
- ・「仮入部が楽しかったから」
- ・「興味があった」
- ・「学校でみんな入ることが出来た」
- ・「幼い頃から習っていた」
- ・「たまたま見つけた」
- ・「兄弟がやっていた」
- ・「野球を見てみて面白いと思って近くの少年野球チームを探して、体験に行ってみて自分にあっていると
思ったチームを見つけて、入部してみた。」

3. 区のスポーツ施設について

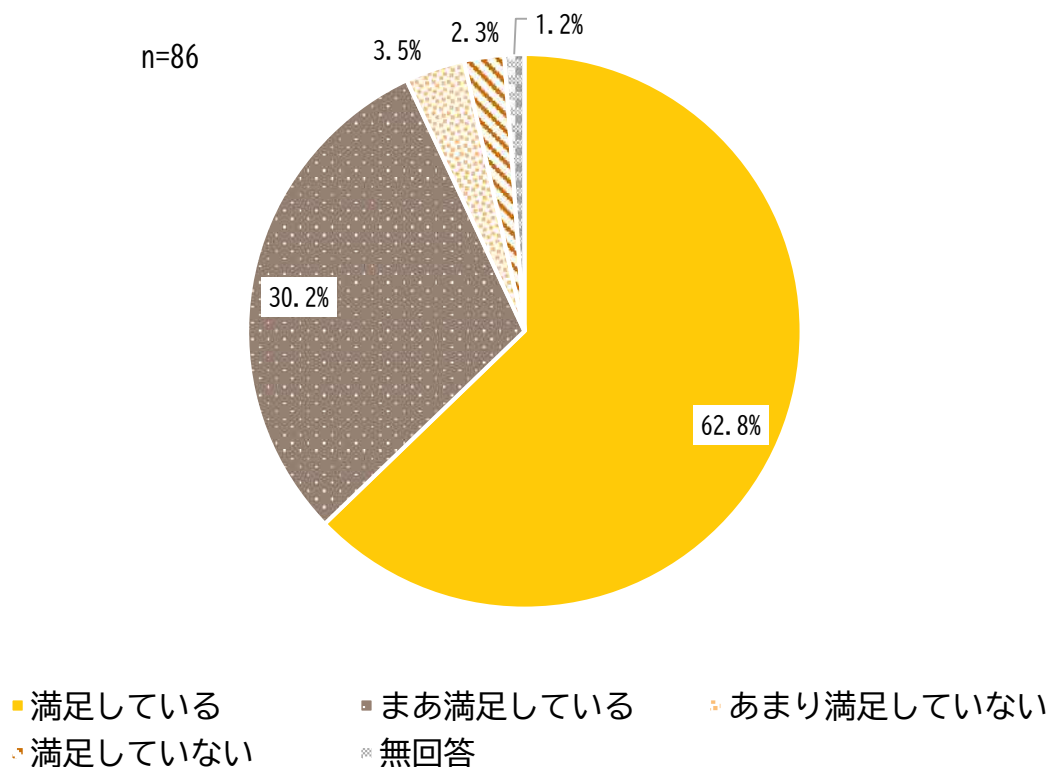
問 11 あなたは、以下の区立スポーツ施設を利用したことがありますか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で、「利用したことがない」（25.4%）と回答した方以外のなかで、最も回答割合が多かったのは、「荒川総合スポーツセンター」（65.3%）、次いで「荒川自然公園（野球場、庭球場）」（29.7%）、「あらかわ遊園スポーツハウス」（12.7%）が多くなりました。



問 12 【問 11 で「荒川総合スポーツセンター」～「宮前公園（庭球場）」に回答した方（「利用したことがない」と回答した方以外にお聞きします。】利用したスポーツ施設（問 11 で回答したスポーツ施設）について、満足していますか（1つ選んでください）。

本調査では「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が 93.0%であり、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合は 5.8%でした。



問 13. 【問 12 で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方にお聞きします。】区立スポーツ施設で、どのような点に不満がありますか（いくつでも選ぶことができます）。

問 12 で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方は 5 件であり、そのうち、「利用料金が高い」、「施設内が混んでいる」が最も多く、いずれも 3 件となりました。次いで「職員・スタッフの教え方がうまくない」、「施設内の器具が少ない」がいずれも 2 件、「利用可能な時間帯が限られている」、「利用手続き、予約方法が難しい」がいずれも 1 件となりました。

【参考】

本調査で「利用料金が高い」と回答した方は 3 件で、うち高校生が 2 件、中学生が 1 件ありました。

問 14 あったらいいと思うスポーツ施設はありますか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で回答割合が最も多かったのは、「ボウリング場」（28.0%）、次いで「e スポーツができる施設」（23.7%）、「ドローンを飛ばすことができる施設」（19.5%）となりました。

選択肢	割合
ボウリング場	28.0%
eスポーツができる施設	23.7%
ドローンを飛ばすことができる施設	19.5%
クライミングのできる壁	17.8%
ダイビングプール	17.8%
スケートボード場	16.1%
壁打ちができる場所	16.1%
バッティングセンター	14.4%
アーチェリー場	13.6%
400mの陸上トラック&フィールド	11.9%
ボート場	10.2%
カヌー場	9.3%
ビーチスポーツ（ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカーなど）ができる施設	9.3%
その他	9.3%
ボクシングジム	6.8%
ラグビーあるいはアメリカンフットボールができる場所	5.1%
各種パラスポーツ専用の施設	5.1%
スカッシュルーム	1.7%
無回答	18.6%

n=118

問 14 において、小学生で最も回答割合が高いのは「ボウリング場」、「その他」（いずれも 26.9%）、次いで「スケートボード場」、「ドローンを飛ばすことができる施設」（いずれも 23.9%）、「ダイビングプール」、「壁打ちができる場所」（いずれも 22.4%）となりました。

中学生で最も回答割合が高いのは「e スポーツができる施設」、「ボウリング場」（いずれも 26.1%）、次いで「クライミングのできる壁」、「400m の陸上トラック & フィールド」、「アーチェリー場」（いずれも 21.7%）、「バッティングセンター」、「壁打ちができる場所」、「その他」（いずれも 17.4%）となりました。

高校生で最も回答割合が高いのは「e スポーツができる施設」（30.8%）、次いで「アーチェリー場」、「その他」（いずれも 15.4%）、「クライミングのできる壁」、「400m の陸上トラック & フィールド」、「ドローンを飛ばすことができる施設」、「壁打ちができる場所」、「ボウリング場」（いずれも 11.5%）となりました。

選択肢	小学生 (n=67)	中学生 (n=23)	高校生 (n=26)
1. スケートボード場	23.9%	4.3%	7.7%
2. クライミングのできる壁	19.4%	21.7%	11.5%
3. 400m の陸上トラック & フィールド	9.0%	21.7%	11.5%
4. e スポーツができる施設	19.4%	26.1%	30.8%
5. ドローンを飛ばすことができる施設	23.9%	13.0%	11.5%
6. カヌー場	10.4%	13.0%	3.8%
7. ボート場	10.4%	13.0%	7.7%
8. ビーチスポーツ（ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカーなど）ができる施設	9.0%	13.0%	7.7%
9. ダイビングプール	22.4%	17.4%	7.7%
10. ラグビーあるいはアメリカンフットボールができる場所	6.0%	0.0%	7.7%
11. バッティングセンター	16.4%	17.4%	7.7%
12. スカッシュルーム	4.5%	13.0%	3.8%
13. 壁打ちができる場所	22.4%	17.4%	11.5%
14. ボウリング場	26.9%	26.1%	11.5%
15. ボクシングジム	7.5%	4.3%	3.8%
16. 各種パラスポーツ専用の施設	7.5%	8.7%	3.8%
17. アーチェリー場	13.4%	21.7%	15.4%
その他	26.9%	17.4%	15.4%

※上の表は選択肢順に掲載しています。各学年において、回答割合の数値が高いほど、網掛けの色を濃くしています。

4. 自由意見

荒川区のスポーツに関して、ご意見がございましたら、自由に記入してください。

- ・「いつもご丁寧にありますありがとうございます」
- ・「まあまあ満足」
- ・「ベイ東京ラグビースクールに行く小学生の勧誘」
- ・「子供でも気軽に遊べて休憩も取れるなんか東武動物公園みたいなかんじのしせつがあるといい」
- ・「とても良い」
- ・「南千住の方にイオンみたいな施設をつくってそこに体育館があったらいい」
- ・「バスケットゴールがある所を増やしてほしい」
- ・「尾久の原公園の芝と土の状態を良くして平らにしてほしいです」
- ・「荒川区はすてきなところだと思います。きっと各スポーツのできる子だけがやるところでなくもっと上達したいと思う人のできるところがあるだけで近くにあるスポーツになっていき出来たが増えると思います。」

IV 荒川区スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱

荒川区スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱

令和7年8月29日制定

(7 荒地ス第 1026 号)

(副 区 長 決 定)

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定に基づき、荒川区スポーツ推進プランの策定にあたり、多様な分野から広く専門的な意見を聴取し、必要な事項を検討するため、荒川区スポーツ推進プラン策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 荒川区におけるスポーツの施策に関すること
- (2) 荒川区スポーツ推進プランの策定に関すること
- (3) 前号に掲げるもののほか、荒川区スポーツ推進プラン策定に関して必要な事項に関すること

(構成)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体代表者等
- (3) 区職員
- (4) その他区長が必要と認める者

2 前項第3号に掲げる区職員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名した者とする。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(設置期間)

第5条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から荒川区スポーツ推進プランの策定日までとする。

(招集)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求めて、意見若しくは説明を聴き、又はこれらの者から必要な資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、委員会の内容その他委員会で知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、地域文化スポーツ部スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、荒川区スポーツ推進プランの策定にあたり、必要な事項は、地域文化スポーツ部長が別に定める。

附 則

この要綱は、第7条を除き、荒川区スポーツ推進プランの策定の日、その効力を失う。

別表（第3条関係）

区 職 員	地域文化スポーツ部を担任する 副区長 地域文化スポーツ部長 産業経済部長 福祉部長 健康部長 教育部長

V 荒川区スポーツ推進プラン策定委員会委員名簿

	区分	団体名・役職名等	氏 名
1	委員長	副区長	小 林 直 彦
2	副委員長	地域文化スポーツ部長	中 野 猛
3	学識経験者	筑波大学体育系助教	成 瀬 和 弥
4		東京都立大学健康福祉学部准教授	信 太 奈 美
5	関係団体代表者等	アスリート バレーボールV3監督	松 枝 寿 明
6		卓球解説者	藤 井 寛 子
7		区民代表 スポーツ協会会長	高 田 忠 則
8		スポーツ協会専務理事	瀧 澤 裕 子
9		スポーツ推進委員会会長	伊 藤 康 之
10		東京都障害者スポーツ指導員協議会荒川会長	神 保 秀 久
11	荒川区・教育委員会員	産業経済部長	小 林 弘 幸
12		福祉部長	堀 裕 美 子
13		健康部長	辻 佳 織
14		教育部長	菊 池 秀 幸

VI 検討経過

回	開催日	内容
1	令和7年10月30日	◆第1回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) 委員長選出 (2) スポーツ推進プラン策定の骨子(案)について
2	令和7年11月25日	◆第2回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) 委員長選出 (2) スポーツ推進プラン策定の骨子(案)について
3	令和8年 2月 日	◆第3回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) パブリックコメントの実施結果について (2) ○○○について (3) ○○○について
4	令和8年 3月 日	◆第4回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) ○○○について (2) ○○○について (3) ○○○について

庁議説明資料	
7.12.25	会計管理部会計管理課

私債権にかかる債権管理の取組状況について

内 容

1 概要

収入未済になっている私債権について、督促による債権の回収、債権の整理等、債権管理の取組状況を報告する。

2 債権管理の取組状況（令和7年12月1日現在）

未収債権について、督促による返済を得たほか、時効経過後等の債権整理を実施する。

（1）督促による債務返済

督促による債権の回収に努め、下記のとおり返済を得た。

債権名	債務者数 (人)	金額（円）
診療報酬に係る返還金	1	1,593,647
区民住宅施設使用料等	6	651,200
奨学資金貸付金返還金	16	285,600
信用保証料補助金返還金	1	108,930
延長スポット保育料等	14	68,700
緊急医療保護費等	2	68,138
応急資金貸付金返還金	3	60,000
商店街空き店舗活用事業補助金返還金	1	60,000
生業資金貸付金返還金	1	33,377
女性福祉資金貸付金返還金	1	2,000
その他	3	10,068
合計	49	2,941,660

（2）時効期間を経過等した債権の整理

① 債権放棄の実施

荒川区債権管理条例第13条第1号に基づき、債権を放棄するもの。

債権名	事由	債務者数(人)	金額（円）
福祉電話料	時効	1	4,594
合計	—	1	4,594

内 容 (つづき)	※上表のほか、荒川区債権管理条例第13条第2号に基づき、破産により、生活保護費弁償金（公債権）4人・2,537,186円を債権放棄する。 ② 破産法等に基づく債権消滅 法人の破産により、信用保証料補助金返還金1件・79,095円、ラングウッドビル地下施設中途解約違約金等1件・195,133,413円の債権が消滅。 (3) 収入未済見込額 債権回収の取組等により、令和7年度末の私債権の収入未済見込額は、6,352万円余で、令和6年度末現在の2億6,168万円余と比較して、約1億9,816万円減少する見込み（別紙）。 3 重点的取組内容 (1) 未収債権を発生させない徴収体制の整備 ・ 早期適時の督促催告徴収 ・ 減免基準等救済措置制定の検討 ・ 納付案内センターの活用 (2) 制度の見直し ・ 未収債権が発生しない制度、仕組に転換 (3) 弁護士への債権回収委託と訴訟提起等の法的措置の実施 ・ 現地調査の実施、債務者との面談や交渉、財産調査の実施 ・ 裁判所の判決等による強制執行 (4) 徴収目標値を債権毎に設定し、計画的な取組の実施 ・ 債権所管課による計画的な催告（文書、電話）、個別訪問等の実施 ・ 債務者の経済的な事情等を考慮した分割による債権回収 (5) 債権毎の回収に向けた取組状況を詳細に記録 ・ 各債権の督促催告等の状況を詳細に記録、適切な保管管理の徹底

参 考	◇区の私債権の状況 ・このような重点的な取組により、令和6年度における私債権の収入未済額は、令和5年度との比較では388万円減少し、債権管理条例制定時の平成21年度との比較では2,534万円減少している。				
	私債権の収入未済額（千円） 前年度及び債権管理条例制定時の平成21年度との比較				
	区分	令和6年度	令和5年度	平成21年度	令和5年度 比較増減
	現年度分	1,229	7,892	27,312	△6,663
	滞納繰越分	※ 260,457	※ 257,674	259,714	2,783
	合計	261,686	265,566	287,026	△3,880
※令和6年度及び5年度滞納繰越分には、ラングウッドビル地下施設中途解約違約金等195,133,413円を算入している。					
今 後 の 予 定	私債権の収入率（％） 前年度及び債権管理条例制定時の平成21年度との比較				
	区分	令和6年度	令和5年度	平成21年度	令和5年度 比較増減
	現年度分	99.40	96.86	97.04	2.54
	滞納繰越分	1.28	1.83	5.27	△0.55
	令和8年 1月14日 総務企画委員会 *債権管理条例に基づく債権放棄案件は、2月会議に「諸般の報告」を予定				
議会等報告		開示予定日	区報	HP	記者会見
1月14日 総務企画委員会		委員会報告後	—	—	—

<別紙>

督促による債務返済、時効の援用、債権放棄等の状況【私債権】

令和7年12月1日現在

(単位：人、円)

債権名	令和6年度末現在の 収入未済額 A		督促による 債務返済者数と金額 B		時効の援用 C		債権放棄 ※債権消滅を含む D		収入未済見込額 E	
	債務者数	収入未済額	債務者数	返済金額	債務者数	金額	債務者数	金額	債務者数	金額
介護事業者返納金及び加算金	1	29,683,789	0	0	0	0	0	0	1	29,683,789
区民住宅施設使用料等	9	10,193,025	6	651,200	0	0	0	0	8	9,541,825
診療報酬に係る返還金	1	10,210,130	1	1,593,647	0	0	0	0	1	8,616,483
奨学資金貸付金返還金	39	8,288,689	16	285,600	0	0	0	0	35	8,003,089
福祉電話料、緊急医療保護費等	42	2,156,795	2	68,138	0	0	1	4,594	40	2,084,063
応急資金貸付金返還金	11	2,109,000	3	60,000	0	0	0	0	11	2,049,000
女性福祉資金貸付金返還金	2	878,000	1	2,000	0	0	0	0	2	876,000
延長スポット保育料等	49	891,220	14	68,700	0	0	0	0	37	822,520
商店街空き店舗活用事業補助金返還金	1	870,000	1	60,000	0	0	0	0	1	810,000
生業資金貸付金返還金	1	454,377	1	33,377	0	0	0	0	1	421,000
保育士奨学資金貸付金返還金	3	350,000	0	0	0	0	0	0	3	350,000
信用保証料補助金返還金	4	365,323	1	108,930	0	0	1	79,095	2	177,298
ラングウッドビル地下施設中途解約違約金等	1	195,133,413	0	0	0	0	1	195,133,413	0	0
その他	11	102,890	3	10,068	0	0	0	0	8	92,822
合 計	175	261,686,651	49	2,941,660	0	0	3	195,217,102	150	63,527,889

E - A
-198,158,762

D X推進に向けた取組について

令和7年12月25日

総務企画課・デジタル推進課

目次



1. 区長からのメッセージ
2. 行政手続オンライン化進捗調査の概要
3. 窓口体験調査の実施報告
4. 働き方の変革(デジタル推進課の取組)
5. 標準化対象システム一覧

区長メッセージ

前回お伝えしたとおり、DXは私たち全員の課題であり、区民の皆様に「使いやすく、わかりやすく、そして速い」行政サービスを提供するための重要な取組です。

この間、行政手続のオンライン化に関しては、進捗状況を把握し、未対応の課題も明確になり補助金申請書の押印基準見直しや電子申請の本人確認方法の改善により、オンライン化の壁を一つずつ乗り越えてきました。確実に進んでいますが、これで満足してはいけません。さらに進めていくために、令和8年度予算で申請フォーム作成支援委託やヘルプデスクの活用といった手段も準備しています。これらをはじめ、多様な対策を組み合わせながら、より多くの手続をオンラインで完結できる環境を着実に整えていきましょう。

同時にペーパーレスの推進や業務改善、職員PCの機器更改なども進め、働き方改革も着実に進展させています。DXは単なる機械やシステムの導入ではありません。働き方やサービスの質を根本から変える挑戦です。だからこそ、皆さん一人ひとりの行動と意識が荒川区の未来をつくれます。

また、DXやデジタルに対して苦手意識のある方でも安心して取り組めるよう、質問や相談を気軽にできる体制を整備しています。恐れず、積極的に挑戦し、このチームの力で行政を次のステージへ押し上げましょう。皆さんの「爆速」の挑戦を全力で応援します！

行政手続オンライン化進捗調査の概要



調査概要

- ・目的：前回調査(令和7年5月)以降の行政手続オンライン化の進捗状況を把握する。
令和7年10月22日付通知による「補助金申請書への押印原則廃止」や「オンライン申請における本人確認方法の見直し」といった新基準の適用状況を確認する。
これらの見直しを踏まえ、各手続のオンライン化推進に向けた課題を整理し、全行政手続のオンライン化に向け、各手続のオンライン化の進捗状況を把握すること
- ・対象手続：法令又は条例等の規定に基づき区に対して行われる申請、届出等の行政手続。
- ・調査時期：令和7年10月22日～11月10日

調査結果

電子化の可否	R7.4.1時点	R7.11.1時点	前回比
対応済	182件	209件	+27件
可(未実施)	616件	926件	+310件
不可	1,665件	1,348件	-317件
総手続数	2,463件	2,483件	+20件

電子化の可否 前回「不可」→今回「可」又は「既に対応済」に変更した理由	
押印省略基準の見直し	236件
オンライン本人確認方法の見直し	6件
Logoフォームの新機能	29件
その他	67件

行政手続オンライン化進捗調査の概要



調査結果

電子化の可否(再掲)	R7.11.1時点	割合
対応済	209件	8%
可(未実施)	926件	37%
不可	1,348件	54%
総手続数	2,483件	100%

電子化「不可」の理由(複数回答n=1,348)	
手続が複雑で、画面設計や条件分岐が困難	301件
押印または署名の要件がデジタル対応していない	184件
法令や条例で「書面」または「対面提出」が義務付けられている	120件
添付書類の「原本確認」が必要で紙提出が必須	89件
電子的本人確認(マイナンバーカード等)の活用が未整備	20件
既存業務システムが古く、デジタル入力を受け入れられない	18件
その他	689件

電子化実施時期	手続数	割合
令和7年度	41件	5%
令和8年度	353件	28%
令和9年度(時期未定)	532件	67%
総手続数	926件	100%

電子化実施時期が「令和9年度(時期未定)」の理由(複数回答)n=528	
利用想定、年間申請件数が少ない	342件
庁内処理(受理後)の業務設計ができていない	114件
担当課のリソース不足(人手・予算)	98件
担当課での検討が未着手	98件
高齢者等への配慮からオンライン化に踏み切れていない	44件
住民からの問い合わせ対応等が懸念されている	28件
システム連携ができず二重入力になる	11件
その他	124件

今後の取組方針

1. 進捗確認と予定手続の優先順位付け

オンライン化予定手続(令和7年度41件、令和8年度353件、令和9年度以降532件)の進捗確認
オンライン化の早期実現に向けて、課題整理、実施年度の前倒し等、各所属へ個別ヒアリングを実施

<直近の対応状況>

総務企画課とデジタル推進課の担当者が、オンライン化可能な926手続きの所管(係)を対象に、所属担当者と対面で課題の
洗い出し・助言、実施年度の前倒し打診など取組を加速させるための土台づくりを実施

2. 成功事例の共有と活用

庁内・他自治体のオンライン化成功事例やノウハウを収集・共有し、推進に活用

3. 外部委託による職員負担の軽減

申請フォーム作成支援委託やヘルプデスク等を活用し、職員負担を抑えつつオンライン化を推進

窓口体験調査の実施報告



背景・目的・目標

背景 : 若手職員PTによる窓口改善への取組
目的及び目標: 住民目線での課題発見と、「あるべき窓口の姿」の整理
サービスの質向上と、区民満足度向上への貢献

実施概要

実施日時: 11月11日(火)
対象課 : 戸籍住民課、国保年金課、子育て支援課、学務課
調査方法: 職員が「ペルソナ」設定で来庁者体験
大田区等の他自治体、GovTech東京の職員も住民役等で参加
事後活動: 調査結果を基にワークショップを開催し、課題・改善策を検討

今回の体験調査のポイント

- ・多くの職員が参加できるよう時間をわけて2グループで実施(区職員13名参加)
- ・他自治体職員やGovTech東京の職員も住民役等で参加(14名参加)
- ・他自治体が実施する窓口体験調査にも参加、見学予定(大田区・墨田区)
- ・調査結果等については、成果報告会を開催し、報告を行います。

体験調査の様子



ワークショップの様子



働き方の変革(デジタル推進課の取組)



ペーパーレスの徹底

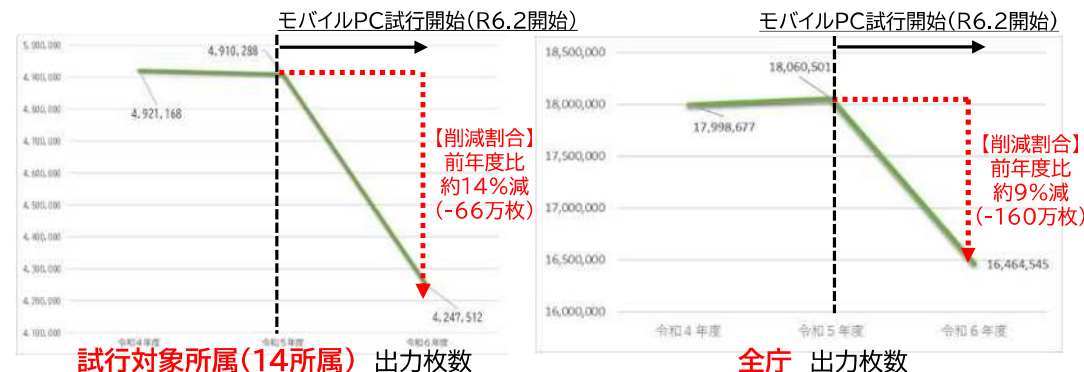
取組事例

- ・データ共有が原則
- ・課内打合せは、**共有フォルダ内**のデータ参照
- ・事業者打合せは、**電子データで実施**
- ・打合せはPCとディスプレイのみ！！



係長会の様子

活動指標	成果指標
・出力枚数の削減	・印刷や帳合作業の削減 ・資料の即時共有・更新 ・情報の検索性向上、書棚の削減



振り返り

- ・試験対象所属において、モバイルPCを活用し、出力枚数を前年度比約14%削減(-66万枚)
- ・打合せは、ディスプレイ活用、Web会議にて実施
- ・資料の印刷、帳合作業が一切不要となり、業務効率大幅に向上

業務改善・BPR

取組事例

- ・内部手続きのフローをオンライン化へ**見直し**
- ・会議運用の**見直し**
- ・各課へのサポート**支援**(オンライン化・RPA等)



活動指標	成果指標
・オンライン化した内部手続数増加	・職員の管理コスト、業務時間短縮 ・決裁状況フローの見える化

Garoonワークフローへ変更した内部手続

情報系システムユーザー登録申請、業務系システム利用者情報登録申請、
テレワークシステム利用申請、外部記憶装置使用申請、
Web会議主催用アカウント利用申請、ソフトウェアインストール・アンインストール申請
庁内LAN配線変更申請書、ネットワーク機器移設等申請など20手続

振り返り

- ・申請手続のほとんどをGaroonワークフローに移行
- ・職員は、申請書の管理、紙申請のデータ化作業、申請記録の検索などが不要となり、業務時間削減が大きなメリット

働き方の変革(デジタル推進課の取組)



ツールの活用

取組事例

- ・Garoon スペース・マルチレポートで情報共有
- ・生成AIの活用(文章添削・アイデア出し)
- ・出先拠点との庁内Web会議 ・AI議事録システムの活用(議事録)

活動指標	成果指標
・各種ツール利用件数の増加 ・スペース・マルチレポートの作成数増加	・職員の管理コスト、業務時間短縮 ・移動時間削減による業務効率化

ツール紹介

生成AI

- ・文章要約、添削、画像生成はこれにお任せ
- ・10月の削減効果は、全庁で**1,412時間削減!**(利用者388人)
- ・答答案や行数調整にも効果発揮!

AI議事録

- ・会議の議事録はこれにお任せ
- ・10月の削減効果は、全庁で**90時間!**
- ・議事録にかける時間を最小限に!



庁内会議システム

- ・本庁舎-出先の庁内会議はこれにお任せ
- ・**会議のための外出は、これからは不要!**
- ・移動時間を削減・時間を有効活用しよう!



職員の意識改革(ボトムアップによる実現)

取組事例

- ・Let's DXの発行 “2年間で13刊発行”
- ・書棚の紙媒体処分 ・なんでも相談会の開催 ・フリーアドレスの検討

活動指標	成果指標
・ツール類活用のお問合せ件数増加 ・打合せスペース、作業席等の確保	・DX意識の醸成、業務効率化 ・柔軟な執務環境の創出

書棚の紙媒体処分



取組背景

今年度は日々の保守対応に加え、標準化、モバイルPC導入に伴う事業者の作業スペースが不足

振り返り

モバイルPC導入により、ペーパーレス化することでスペースを確保し、課題解消。限られたスペースで最大限の効果を得られるよう、引き続き取り組む

なんでも相談会(Let's DXミニ展)

- ・なんでも相談会を令和7年7月、11月に実施。
- ・Garoon、生成AI、電子申請、AI議事録等相談があった。

きっかけ

DX推進に向け、職員が知らないこと、困っていることを直接聞く機会がなかった

当日

システム機能、業務見直し、システム導入など、色んな相談に対応

振り返り

庁内のDX推進には、気軽に相談できる窓口、知ってもらうための機会が重要



約100名来場!

実際の声(アンケート結果)

- ・とてもふわっとした内容でご相談させていただいたのにもかかわらず、要点を吸い上げ、必要な情報を提供して下さりとても良かったです。集計業務の根本を見直す良いきっかけになりました。
- ・よく分からなかった機能の説明を受けることができ、とても良かったです。気軽に対面で相談できる機会があまりないので、こういった機会を提供いただけることは助かります。

標準化対象システム一覧



(令和7年11月末時点)

システム種別	契約課	現行ベンダー	標準化対応ベンダー	移行予定時期
住民記録システム	デジタル推進課	日本電子計算	日本電子計算	R8.1
印鑑登録システム	デジタル推進課	日本電子計算	日本電子計算	R8.1
税務システム	税務課	日本電子計算	日本電子計算	R8.1
年金システム	デジタル推進課	日本電子計算	日本電子計算	R8.1
国民健康保険システム	国保年金課	GCC	GCC	R8.1
後期高齢者医療システム	国保年金課	GCC	GCC	R8.1
母子保健システム	健康推進課	両備システムズ	両備システムズ	R8.1
選挙システム	デジタル推進課	日本電子計算	ムサシ	R8.1
期日前投票システム	選管事務局	ムサシ	ムサシ	R8.1
戸籍システム	戸籍住民課	富士フイルム	富士フイルム	R8.2
障害者福祉システム	障害福祉課	富士通Japan	富士通Japan	R8.3
介護保険システム	介護保険課	富士通Japan	富士通Japan	R8.3
生活保護システム	生活福祉課	アイネス	アイネス	R9.1(※)
がん検診システム	保健予防課	日本コンピューター	日本コンピューター	R9.3(※)
予防接種システム	健康推進課	日本コンピューター	日本コンピューター	R9.3(※)
手当・医療費助成システム	デジタル推進課	アイネス	アイネス	R9.11(※)
保育管理システム	デジタル推進課	富士通Japan	富士通Japan	R10.3(※)
税滞納整理支援システム	デジタル推進課	北日本コンピューターサービス	変更	未定(※)
学齢簿・就学援助システム	デジタル推進課	富士通Japan	変更	未定(※)

(※) 特定移行支援システムとして対応